

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第474集

かわさき　さくぎ　ていち
河崎の柵擬定地発掘調査報告書

床上浸水対策特別対策事業関連遺跡発掘調査

(第3分冊 繩文時代編)

2006

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第474集
河崎の柵擬定地発掘調査報告書(第3分冊) 正誤表

頁	行	誤	正
314	8	langsdorpii,	langsdorpii (写図12),
315	34	写図12 キンブナの右側咽頭歯系	写図12 ギンブナの右側咽頭歯系
319	2	(国立歴史民族博物館)	(国立歴史民俗博物館)

河崎の柵擬定地発掘調査報告書

床上浸水対策特別対策事業関連遺跡発掘調査

(第3分冊 繩文時代編)

目 次

I	遺跡の立地と環境	1
II	縄文時代面の調査の経過と概要	2
1	調査経過	2
2	各調査区の概要と基本土層	3
III	検出された遺構	15
1	竪穴住居跡	15
2	炉跡・焼土	18
3	埋設土器	20
4	配石遺構	20
5	土坑	22
6	柱穴状土坑	23
IV	出土遺物	29
1	縄文・弥生土器	29
2	土製品	140
3	骨角器	169
4	自然遺物	169
5	石器・石製品	173
V	付 編	290
1	河崎の櫛擬定地出土遺物の自然化学分析	290
2	河崎の櫛擬定地出土天然アスファルトの有機化学分析	295
3	河崎の櫛擬定地出土黒曜石産地同定	301
4	河崎の櫛擬定地から出土したコイ科魚類咽頭歯遺体の分析	312
5	河崎の櫛擬定地出土の動物遺体	319
VI	ま と め	327
1	遺構	327
2	遺物	328
3	遺跡の性格	332
4	河崎の櫛擬定地の縄文人の漁撈活動について	333
5	岩手県における黒曜石産地の問題点	337

図版目次

第1図	B区土層断面模式図(e-e堤防)	1	第51図	土器25(162~166)	74
第2図	測量区全体図	2	第52図	土器26(167~170)	75
第3図	B区旧地形図	3	第53図	土器27(171~175)	76
第4図	a堤防断面図	4	第54図	土器28(176~179)	77
第5図	b堤防土層断面図	5	第55図	土器29(180~183)	78
第6図	c堤防・d堤防土層断面図	7	第56図	土器30(184~186)	79
第7図	e堤防1・2層の範囲	6	第57図	土器31(187~189)	80
第8図	e堤防3層の範囲	6	第58図	土器32(190~202)	81
第9図	e堤防土層断面図	6	第59図	土器33(203~215)	82
第10図	C区(調査区・基本土層)	9	第60図	土器34(216~224)	83
第11図	C区土層断面図	10	第61図	土器35(225~232)	84
第12図	D区全体図	11	第62図	土器36(233~237)	85
第13図	D区基本土層	11	第63図	土器37(238~244)	86
第14図	E区(全体図・基本土層)	12	第64図	土器38(245)	87
第15図	遺構配図図(B区・C区・D区)	13	第65図	土器39(246~250)	88
第16図	1号住居跡	16	第66図	土器40(251~261)	89
第17図	2号住居跡	17	第67図	土器41(262~271)	90
第18図	1号炉跡、1~3号焼土遺構	19	第68図	土器42(272)	91
第19図	1~3号壺段土器、1号配石遺構	21	第69図	土器43(273~279)	92
第20図	1~3号土坑	22	第70図	土器44(280~285)	93
第21図	4~5号土坑	23	第71図	土器45(286~296)	94
第22図	1~10号柱穴状土坑	24	第72図	土器46(297~310)	95
第23図	1~6号柱穴状土坑	25	第73図	土器47(311~319)	96
第24図	7~10号柱穴状土坑	26	第74図	土器48(320~323)	97
第25図	遺構内出土遺物1	27	第75図	土器49(324~328)	98
第26図	遺構内出土遺物2	28	第76図	土器50(329~340)	99
第27図	土器1(1~3)	50	第77図	土器51(341~347)	100
第28図	土器2(4~10)	51	第78図	土器52(348~355)	101
第29図	土器3(11~20)	52	第79図	土器53(356~368)	102
第30図	土器4(21~28)	53	第80図	土器54(369~377)	103
第31図	土器5(29~34)	54	第81図	土器55(378~386)	104
第32図	土器6(35~43)	55	第82図	土器56(387~392)	105
第33図	土器7(44~49)	56	第83図	土器57(393~397)	106
第34図	土器8(50~55)	57	第84図	土器58(398~402)	107
第35図	土器9(56~62)	58	第85図	土器59(403~406)	108
第36図	土器10(63~64)	59	第86図	土器60(407~412)	109
第37図	土器11(65~68)	60	第87図	土器61(413~420)	110
第38図	土器12(69~80)	61	第88図	土器62(421~424)	111
第39図	土器13(81~89)	62	第89図	土器63(425~432)	112
第40図	土器14(90~96)	63	第90図	土器64(433~438)	113
第41図	土器15(97~103)	64	第91図	土器65(439~445)	114
第42図	土器16(104~109)	65	第92図	土器66(446~453)	115
第43図	土器17(110~112)	66	第93図	土器67(454~456)	116
第44図	土器18(113~114)	67	第94図	土器68(457~467)	117
第45図	土器19(115~122)	68	第95図	土器69(468~479)	118
第46図	土器20(123~131)	69	第96図	土器70(480~485)	119
第47図	土器21(132~142)	70	第97図	土器71(486~496)	120
第48図	土器22(143~151)	71	第98図	土器72(497~505)	121
第49図	土器23(152~156)	72	第99図	土器73(506~513)	122
第50図	土器24(157~161)	73	第100図	土器74(514~518)	123

第101図	その他の土器 (ミニチュア土器、蓋形土器)	139	第146図	B区石器21	200
第102図	土製品1 (土錐・土偶1)	144	第147図	B区石器22	201
第103図	土製品2 (土偶2)	145	第148図	B区石器23	202
第104図	土製品3 (土偶3)	146	第149図	B区石器24	203
第105図	土製品4 (土偶4)	147	第150図	B区石器25	204
第106図	土製品5 (土偶5)	148	第151図	B区石器26	206
第107図	土製品6 (土偶6)	149	第152図	B区石器27	207
第108図	土製品7 (土偶7)	150	第153図	B区石器28	208
第109図	土製品8 (土偶8)	151	第154図	B区石器29	209
第110図	土製品9 (土偶9)	152	第155図	B区石器30	210
第111図	土製品10 (耳飾り1)	153	第156図	B区石器31	211
第112図	土製品11 (耳飾り2)	154	第157図	B区石器32	212
第113図	土製品12 (耳飾り3)	155	第158図	B区石器33	213
第114図	土製品13 (耳飾り4・環状土製品・土製腕輪・ 飾り玉)	156	第159図	B区石器34	215
第115図	土製品14 (鐸形土製品・動物形土製品・スタン プ形土製品・分離形土製品・飾り玉?)	57	第160図	B区石器35	216
第116図	土製品15 (石皿形土製品・その他の土製品)	158	第161図	B区石器36	217
第117図	土製品16 (円盤形土製品1)	159	第162図	B区石器37	218
第118図	土製品17 (円盤形土製品2)	160	第163図	B区石器38	219
第119図	土製品18 (円盤形土製品3)	161	第164図	B区石器39	220
第120図	土製品19 (円盤形土製品4)	162	第165図	B区石器40	221
第121図	骨角器1	170	第166図	B区石器41	222
第122図	骨角器2	171	第167図	B区石器42	223
第123図	石器平面類型	173	第168図	B区石器43	224
第124図	石器遺存類型	174	第169図	B区石器44	225
第125図	磨石類の痕跡表現	176	第170図	B区石器45	227
第126図	B区石器1	179	第171図	B区石器46	228
第127図	B区石器2	181	第172図	B区石器47	229
第128図	B区石器3	182	第173図	B区石器48	230
第129図	B区石器4	183	第174図	B区石器49	231
第130図	B区石器5	184	第175図	B区石器50	232
第131図	B区石器6	185	第176図	B区石器51	233
第132図	B区石器7	186	第177図	B区石器52	234
第133図	B区石器8	187	第178図	B区石器53	235
第134図	B区石器9	188	第179図	B区石器54	236
第135図	B区石器10	189	第180図	C区石器1	238
第136図	B区石器11	190	第181図	C区石器2	239
第137図	B区石器12	191	第182図	C区石器3	240
第138図	B区石器13	192	第183図	C区石器4	242
第139図	B区石器14	193	第184図	C区石器5	243
第140図	B区石器15	194	第185図	C区石器6	244
第141図	B区石器16	195	第186図	C区石器7	245
第142図	B区石器17	196	第187図	C区石器8	246
第143図	B区石器18	197	第188図	D区石器1	248
第144図	B区石器19	198	第189図	D区石器2	249
第145図	B区石器20	199	第190図	E区石器1	251
			第191図	E区石器2	252
			第192図	土製品出土分布図	331
			第193図	遺跡周辺の地形と棲息する魚類の分布図	
					334

表 目 次

第1表 繩文面の調査経過	2	第34表 石器観察表⑥	258
第2表 土坑観察表	22	第35表 石器観察表⑦	259
第3表 柱穴状土坑観察表	23	第36表 石器観察表⑧	260
第4表 土器観察表①	124	第37表 石器観察表⑨	261
第5表 土器観察表②	125	第38表 石器観察表⑩	262
第6表 土器観察表③	126	第39表 石器観察表⑪	263
第7表 土器観察表④	127	第40表 石器観察表⑫	264
第8表 土器観察表⑤	128	第41表 石器観察表⑬	265
第9表 土器観察表⑥	129	第42表 石器観察表⑭	266
第10表 土器観察表⑦	130	第43表 石器観察表⑮	267
第11表 土器観察表⑧	131	第44表 石器観察表⑯	268
第12表 土器観察表⑨	132	第45表 石器観察表⑰	269
第13表 土器観察表⑯	133	第46表 石器観察表⑯	270
第14表 土器観察表⑪	134	第47表 石器観察表⑯	271
第15表 土器観察表⑯	135	第48表 石器観察表⑯	272
第16表 土器観察表⑯	136	第49表 石器観察表⑯	273
第17表 土器観察表⑯	137	第50表 石器観察表⑯	274
第18表 土器観察表⑯	138	第51表 石器観察表⑯	275
第19表 土製品観察表①	163	第52表 石器観察表⑯	276
第20表 土製品観察表②	164	第53表 石器観察表⑯	277
第21表 土製品観察表③	165	第54表 石器観察表⑯	278
第22表 土製品観察表④	166	第55表 石器観察表⑯	279
第23表 土製品観察表⑤	167	第56表 石器観察表⑯	280
第24表 土製品観察表⑥	168	第57表 石器観察表⑯	281
第25表 骨角器観察表	172	第58表 石器観察表⑯	282
第26表 石器出土数・固化度表	176	第59表 石器観察表⑯	283
第27表 石器軸成表	177	第60表 石器観察表⑯	284
第28表 石器重量別組成表	178	第61表 石器観察表⑯	285
第29表 石器観察表①	253	第62表 石器観察表⑯	286
第30表 石器観察表②	254	第63表 石器観察表⑯	287
第31表 石器観察表③	255	第64表 石器観察表⑯	288
第32表 石器観察表④	256	第65表 石器観察表⑯	289
第33表 石器観察表⑤	257		

写真図版目次

写真図版1	空中写真	341	写真図版44	土器26 (180~182)	384
写真図版2	B区 (a~c・e堤防)	342	写真図版45	上器27 (183~185)	385
写真図版3	B区 (c・d堤防)	343	写真図版46	土器28 (186~188)	386
写真図版4	B区 (1号住居跡)	344	写真図版47	土器29 (189~197)	387
写真図版5	B区 (2号住居跡)	345	写真図版48	土器30 (198~214)	388
写真図版6	B区 (1号炉跡、1号・2号焼土)	346	写真図版49	上器31 (215~224)	389
写真図版7	B区 (3号焼土、1~3号煙設土器)	347	写真図版50	土器32 (225~234)	390
写真図版8	B区 (1~5号柱穴状土坑)	348	写真図版51	土器33 (235~242)	391
写真図版9	B区 (6~9号柱穴状土坑)	349	写真図版52	土器34 (243~249)	392
写真図版10	B区 (10号柱穴状土坑、1号配石遺構、 出土遺物)	350	写真図版53	土器35 (250~260)	393
写真図版11	B区 (遺物出土状況)	351	写真図版54	土器36 (261~269)	394
写真図版12	C区 (基本土層、遺物出土状況、 1~3号土坑)	352	写真図版55	土器37 (270~279)	395
写真図版13	C区 (1~3号トレンチ、遺物出土状況)	353	写真図版56	土器38 (280~289)	396
写真図版14	C区 (遺物川土状況)	354	写真図版57	土器39 (290~301)	397
写真図版15	D区 (調査区、基本土層、土坑)	355	写真図版58	土器40 (302~315)	398
写真図版16	E区 (1~3号トレンチ)	356	写真図版59	土器41 (316~323)	399
写真図版17	遺構内出土遺物1	357	写真図版60	土器42 (324~340)	400
写真図版18	遺構内出土遺物2	358	写真図版61	土器43 (341~350)	401
写真図版19	土器1 (1~8)	359	写真図版62	土器44 (351~358)	402
写真図版20	土器2 (1)	360	写真図版63	土器45 (359~373)	403
写真図版21	土器3 (9~16)	361	写真図版64	土器46 (374~382)	404
写真図版22	土器4 (17~26)	362	写真図版65	土器47 (383~390)	405
写真図版23	土器5 (27~34)	363	写真図版66	土器48 (391~397)	406
写真図版24	土器6 (35~46)	364	写真図版67	土器49 (398~403)	407
写真図版25	土器7 (47~51)	365	写真図版68	土器50 (404~408)	408
写真図版26	土器8 (52~58)	366	写真図版69	土器51 (409~413)	409
写真図版27	土器9 (59~65)	367	写真図版70	土器52 (414~420)	410
写真図版28	土器10 (66~82)	368	写真図版71	土器53 (421~428)	411
写真図版29	土器11 (83~91・94)	369	写真図版72	土器54 (429~438)	412
写真図版30	土器12 (92・93・95~98)	370	写真図版73	土器55 (439~448)	413
写真図版31	土器13 (99~109)	371	写真図版74	土器56 (449~456)	414
写真図版32	土器14 (110~112)	372	写真図版75	土器57 (457~464)	415
写真図版33	土器15 (113~114)	373	写真図版76	土器58 (465~476)	416
写真図版34	土器16 (115~120)	374	写真図版77	土器59 (477~485)	417
写真図版35	土器17 (121~131)	375	写真図版78	土器60 (486~496)	418
写真図版36	土器18 (132~138)	376	写真図版79	土器61 (497~505)	419
写真図版37	土器19 (139~148)	377	写真図版80	土器62 (506~512)	420
写真図版38	土器20 (149~157)	378	写真図版81	土器63 (513~518)	421
写真図版39	土器21 (158~162)	379	写真図版82	その他の土器 (ミニチュア土器・蓋形土器)	422
写真図版40	土器22 (163~166)	380	写真図版83	土製品1 土鏡・土偶(1)	423
写真図版41	土器23 (167~170)	381	写真図版84	土製品2 土偶(2)	424
写真図版42	土器24 (171~175)	382	写真図版85	土製品3 土偶(3)	425
写真図版43	土器25 (176~179)	383	写真図版86	土製品4 土偶(4)	426
			写真図版87	土製品5 土偶(5)	427
			写真図版88	土製品6 土偶(6)	428

写真図版89	土製品 7 土偶 (7)	429	写真図版108	石錐 (3)	448
写真図版90	土製品 8 土偶 (8)	430	写真図版109	石匙 (1)	449
写真図版91	土製品 9 土偶 (9)・耳飾り (1)	431	写真図版110	石匙 (2)	450
写真図版92	土製品10 耳飾り (2)	432	写真図版111	搔器	451
写真図版93	土製品11 耳飾り (3)・環状土製品・ 土製腕輪・飾り玉	433	写真図版112	削器 (1)	452
写真図版94	土製品12 鐸形土製品・スタンプ形土製 品・動物形土製品・分銅形土製品	434	写真図版113	削器 (2)	453
写真図版95	土製品13 石皿形土製品・その他土製品	435	写真図版114	楔形石器	454
写真図版96	土製品14 円盤形土製品 (1)	436	写真図版115	円盤形石器	455
写真図版97	土製品15 円盤形土製品 (2)	437	写真図版116	有孔石器	456
写真図版98	土製品16 円盤形土製品 (3)	438	写真図版117	異形石器・岩版・石錐、 鋸齒状石器・有孔石器	457
写真図版99	骨角器および未製品	439	写真図版118	磨製石斧 (1)	458
写真図版100	石錐 (1)	440	写真図版119	磨製石斧 (2)	459
写真図版101	石錐 (2)	441	写真図版120	打製石斧・台石・穢器、 磨石A・磨石B	460
写真図版102	石錐 (3)	442	写真図版121	磨石C・磨石D	461
写真図版103	石錐 (4)	443	写真図版122	凹石A・凹石B・敲石	462
写真図版104	石錐 (5)	444	写真図版123	石皿 (1)	463
写真図版105	尖頭器	445	写真図版124	石皿 (2)・石棒A	464
写真図版106	石錐 (1)	446	写真図版125	石劍・石刀・石棒B	465
写真図版107	石錐 (2)	447	写真図版126	石製品	466

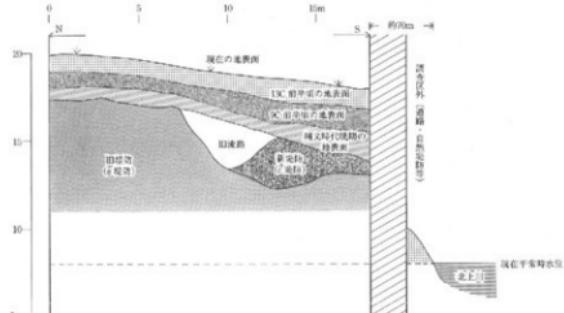
I 遺跡の立地と環境

ここでは縄文時代の遺跡の立地と環境を中心に記述する。本遺跡は東磐井郡川崎村役場から西方約500mに位置し、北上川左岸に立地する。遺跡から下流側には砂鉄川・千厩川との合流地点があり、台風による増水時には度々洪水に見まわれる。また、遺跡から上流側は古生代の岩盤がそびえ立つ狭隘地形で水深があり、洪水などの増水時にはこれらを含めた上流から大量の土砂が開析された下流左岸に流出する。このようにして形成された自然堤防上に遺跡はある。

縄文時代前期に盛期を迎えた縄文海進も時代を経るごとに海退が進んだ。海進ピーク時の縄文時代前期から縄文時代中期にかけての海岸線は不明であるが、河口部に近く、一面に水域が広がった環境であったと推察される。海退の進捗により、河口部は後退し、河川の形態が整うとともに頻繁に起ころる洪水は上流からの土砂を運び、氾濫源に微高地を形成した。微高地は自然堤防と後背湿地から成り、やがて自然堤防には人が進出できるようになる。遺跡から出土した遺物で最も古い時代のものは縄文時代中期中葉頃であるが、後期初頭までは散布的な出土傾向にあり、自然堤防の形成に伴って、徐々にこの地への進出が始まると考えられる。このような状況から河崎の櫛擬定地遺跡が確立したのは約3,800年前の縄文時代後期前葉にある頃と推測される。

現在、遺跡の側を流れる北上川の標高が約8~10mであるのに対し、遺跡の標高は最下部の堤防間流路で13.5mである。当時の北上川本流の流路・川幅・水深などの詳細は不明であるが、生活域が頻繁に洪水に見まわれる地形であったことは調査で明らかである。人々が生活を営んだ地層は粒子の細かい粘土質土であるが、これを挟むように洪水氾濫による砂層が堆積する。砂層から出土する遺物は下層にある遺物包含層と同じ時期のもので洪水によって混入したものと考えられる。砂層の粒子は下層ほど大きい傾向があり、c堤防の3m下層には小砾を含む粗砂層が堆積し、川の流速が強かったことを意味している。また、各堤防断面で地殻変動による断層の変位(揺曲変形)や液状化・噴砂が確認できる。断層間に氾濫時の砂が堆積していることから地殻変動と河道の形成には密接な関係があると考えられる。

第1図は調査によって明らかになった調査B区北端~北上川までの北~南方向の土層断面略図である。縄文時代後期前葉~晩期中葉までは新旧堤防間に流路が存在し、洪水による影響を受けやすい環境であったと考えられるが、以降、流路・小堤防は洪水によって埋まったがやや急斜な縁部として9世紀頃まで存在する。この頃の河道縁部の標高は約18mで縄文時代の縁部の標高より約1.5mほど上位で、河道縁部低位面とは約2mの比高をもつが、13世紀前葉頃までに再度大きな洪水によって縁部は砂に覆われ、緩斜面となつた。(溜)



第1図 B区土層断面模式図(e-c堤防)

II 縄文時代面の調査の経過と概要

1 調査経過

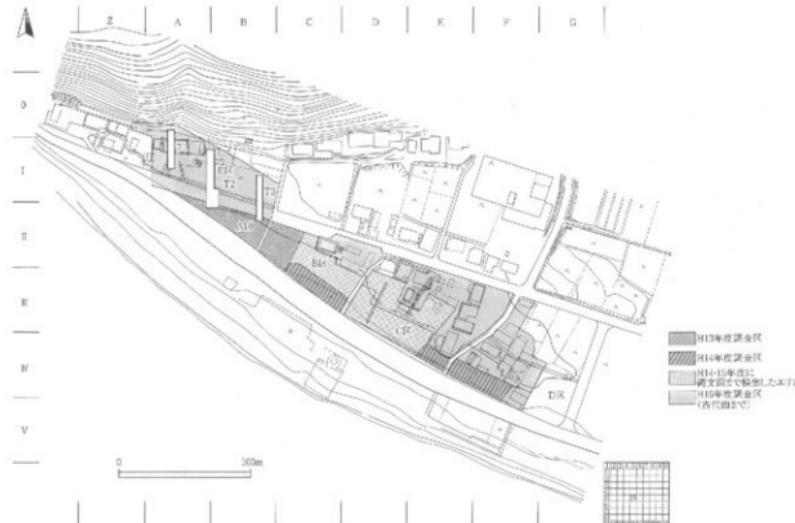
調査が行われたB～E区の調査区で縄文時代の遺物を確認した。時期は後期前葉～晩期後葉までであるが、調査区ごとに包含している遺物・遺構の時代や出土量に違いが見られる。縄文時代晩期の遺物はA区を除く、すべての調査区で確認されているが、調査区西端のE区では晩期後葉の大洞A～A'式期、B・C・D区は晩期前～中葉の遺物が出土する。

後期の遺物はB～D区で出土するが、主はB区・C区である。なお、他にも縄文時代中期や弥生時代の遺物がわずかに出土している。

平成14年度の調査ではB区で最も規模の大きい自然防河道側南縁部～小堤防後背部の調査を行い、同時に試掘によって、後期前葉以前の遺物包含層がないことを確認したが、他の調査区については縄文時代晩期および、後期の遺物包含層の有無を確認しただけで、後期以前の包含層の確認は行っていない。年度ごとの調査経過については右の表に記した。

第1表 縄文面の調査経過

調査区	調査年度	調査内容と成果
A区	H13	試掘による確認で炭化物層確認も遺物はなし。
B区	H14・H15	H14年度は南縁の小堤防群(a～b堤防、c堤防、d堤防)約1,000m ² を精査、H15年度は晩期面(第3層)を検出中、縄文面調査打ち切りの指示を受け、地形測量のみ行った。
C区	H14・H15	H14年度は晩期面検出まで、H15年度は後期面を含む包含層の広がりと深さを試掘で確認。本格的な精査は約250m ²
D区	H14・H15	H14年度に南側620m ² を調査、縄文後期の遺物包含層3面の精査と散布した縄文晚期・弥生時代の土器を採取。H15年度は調査区東端50m ² を重機で試掘も遺構・遺物はなし。
E区	H15	H15年度の調査で、南北方向に3本のトレンチを入れ、縄文・晩期の遺物包含層を確認し、遺物を取り上げた。



第2図 調査区全体図

2 各調査区の概要と基本土層

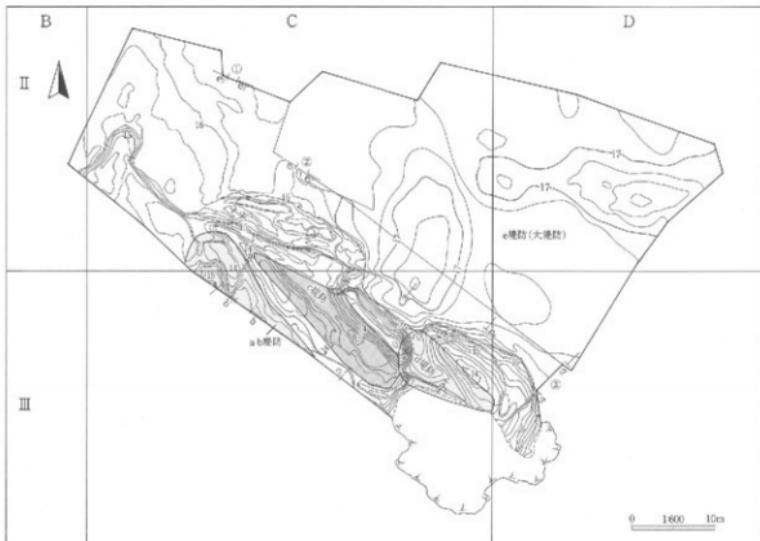
調査区により堆積状況が全く異なるため、遺物の取り上げは各調査区の基本土層に従った。以下、各調査区の調査経過・基本土層を記す。

A区 近世面の土坑精査終了後、バックホーによる試掘で約5m掘り下げ、炭化物粒が混入する粘土質のシルト層を2面確認したが遺構・遺物は見つからず調査を終了した。

B区

a 旧地形と自然堤防の構造

縄文時代の調査B区の地形は第3図のとおりで、北半の大堤防（e堤防）と南半の小規模な堤防群からなる地形で、南側は平成14年度の調査で3つの小堤防（a-b、c、d堤防）を確認した。南半の小堤防群は増水時に水を被りやすい低湿地帯であったこと、調査区が堤防の後背側であったことなどから土器や石器の他に鳥獸魚骨等の動物遺存体が多く含まれていた。堤防形成の新旧は古い順にe堤防→d堤防→c堤防→a-b堤防で縄文時代の後期には、生活に利用できる状態にあったようである。



第3図 B区旧地形図

b 各堤防詳細と遺物の取り上げ

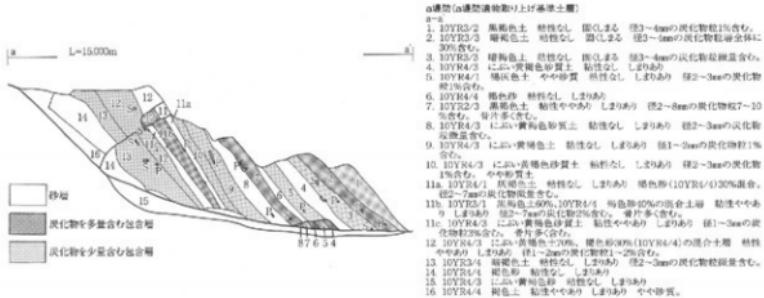
B区の調査開始後、基本となる土層断面をe堤防の西端北壁面①・中央部北壁面②・東端東壁中央部③の3箇所に設定した。堆積状況が異なり、対応させるのが困難であったが、基本は粘土質土と砂層の交互堆積で1つの層と考え、層名を付したが、東西で出現する層や片方にしか存在しない層、さらには地点によって2層以上に細分される層もあり、3地点の層名を確認・統一しながらの遺物の取り上げは困難を極めた。よって取り上げる遺物の編年をもとに新しい時期の土層から縄文の遺物包含層を第1層・第2層と命名し、最終的には縄文遺物包含層第8層まで確認したが、調査が第3層の検出途中で打ち切られ終了したため、第4層以下は面での広がりを確認できなかった。

調査の進行により、土捨て場を確保する必要から南側の調査を優先して行ったが、北側(e堤防)でみられた縄文面は南側になく、ごく僅かに黒色粘土ブロックが散布しているものの、他は一面深い砂地に覆われていた。その後北側の黒色粘土層(第3層)と砂地の境界が、自然堤防の川側縁部になることと、砂地に覆われた下に小堤防が存在することが判明した。後に任意でa堤防～e堤防と名を付したが、調査の段階でa堤防とb堤防が地震の影響によって断層が褶曲したものであり、元は同一の堤防であることが分かったため、a-b堤防と改名したが、遺物の取り上げ時および整理時の混乱を防ぐため当初a堤防として取り上げたものはa堤防○層、b堤防として取り上げたものをb堤防○層というように分けて取り上げた。各小堤防はe堤防の上に載る独立したもので、e堤防の堆積状況とは異なる。また、c堤防、d堤防についても同様であり、各堤防の遺物取り上げの指標となった土層断面の位置は第3図のB区旧地形図に記した。各堤防の規模や層位・出土遺物の時期関係の詳細は以下のとおりである。

a-b堤防

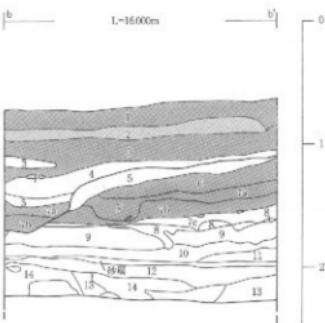
B区の最南にあり、調査した小堤防ではもっとも上流側に形成されたものである。調査区外に延びるため全体の規模は不明であるが、東西約25m、南北は調査区内の計測可能な値で最大5mある。調査途中まで同一堤防と確認できなかつたため、a・bの2つに分けたが、同一堤防であることが確認された。整理時の混乱をさけるため遺物の取り上げは各堤防の土層断面に従つた。

a堤防・・・第1層～第15層に分層した。基本堆積は砂層と粘土質シルトの交互堆積で砂層と粘土質シルトは本来同一時期に堆積したもので、本来は4～5層程度にまとめた分層が可能であると考えられるが、調査時・整理時にその根柢を遺物等から見いだせなかつたこともあり、そのままの層名で掲載した。出土遺物は縄文時代後期で晚期の遺物はこの堤防の上や堤防外縁部から出土したものである。



第4図 a堤防断面図

b 堤防・・・第1層～第7層に分層した。基本堆積は砂層と粘土質シルトの交互堆積で第1層・第3層は暗褐色土、第6層・第7層は黒色～黒褐色土を基調とした粘土質土である。第1層～第3層間には時期差があり、第3層は後期中葉頃を主体としていると考えられるが、堤防の範囲確認や層位が確定できるまで細分して取り上げることができなかつたため、b 堤防の上や堤防の外縁から出土する晩期の遺物もかなり混入してしまった。本来の層位の時期設定は第1層・第2層が後期後葉、第3層～第6層が後期中葉、第7層が後期前葉を主体とする遺物が出土している。



第5図 b 堤防土層断面図

c 堤防（第6図）

e 堤防を覆う砂層に覆われており、堤防検出面直上からは縄文晩期中葉～後葉の遺物が砂層中に点在して出土する。堤防の規模推定値は東西24m×南北6.3mで堤防頂部～後背側が主に調査対象となった。

基本土層は堤防に直交する方向に幅1m×深さ3.5mの規模でトレンチを入れ、これを遺物の取り上げの際に色調や堆積物・層の縮まりなどで17層に分割し、これを基準にした。遺物を包含する黒褐色土層の堆積は大きく2期に分かれ、第10層と第17層の褐色粘土質シルトが生活面であり、第10層より上層には晩期、第11層～第17層間にには後期の遺物が含まれている。

堤防後背面からは多量の土器や石器の他、炭化物や焼土とともに大きな獸骨片が手掘り作業で検出されるなど動物遺存体の出土が顕著であり、微細遺物が多く含まれている可能性を考え、後背面下部を中心に土糞95袋約1200kg分を水洗選別法による取り上げを行った。

d 堤防（第6図）

未調査区に延びるため全体の規模は不明であるが、調査区内の計測可能な東西幅は約7.5m、南北は約5.5mであり、堤防の後背湿地面が調査対象となった。基本土層は堤防西側に堤防に直交する方向に幅1m×深さ1.7mの規模でトレンチを入れ、黒色～黒褐色を基調とする上位の砂質シルト層を第1層～第8層に分け、下部の褐色粘土層を第9層とし、これを基準に遺物の取り上げを行った。遺構の検出は第4層と第9層でみられ、生活面であることが確認できた。出土遺物は縄文時代後期前葉を中心で、晩期の遺物は堤防上位の砂層や5号柱穴状土坑から出土している。なお、e 堤防の川側縁部とd 堤防後背面間の旧流路に洪水砂層が堆積しているが、砂層上面と底面以外に遺物の混入はみられない。

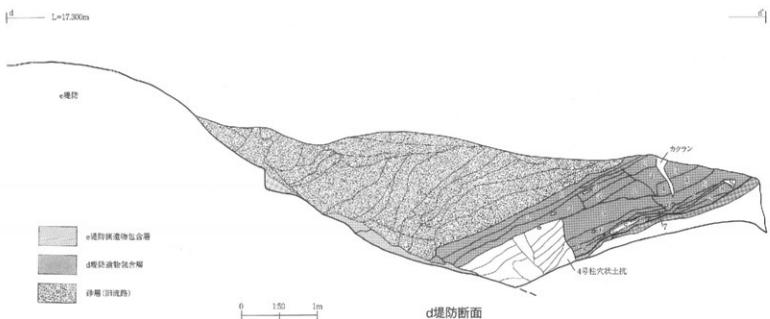
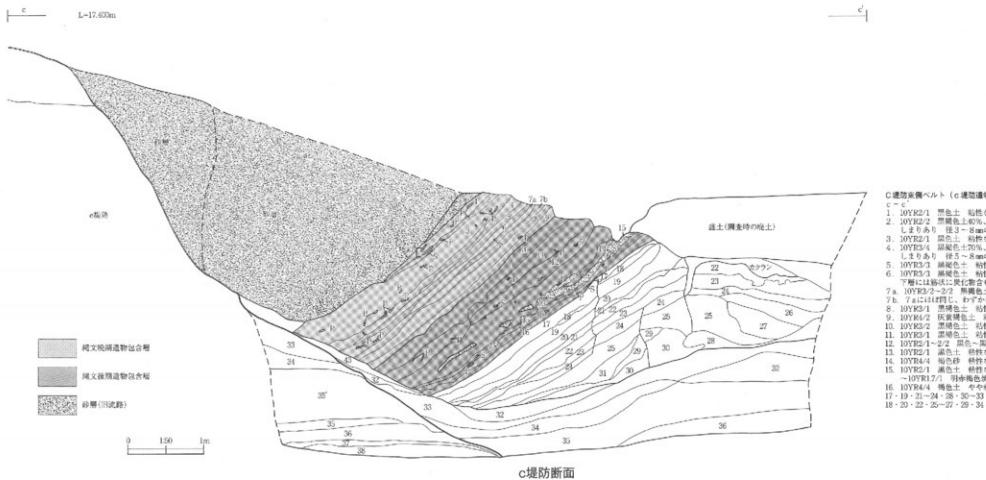
e 堤防（第7～9図）

B区北半全体の中核を成す大堤防で、縄文時代後期・晩期の土器が出土する。縄文時代の遺物包含層は堤防頂部で約2.5m下にある。基本となる土層断面は前述のとおり堤防の西端北壁面①・中央部北壁面②・東端東壁中央部③の3箇所に設定した。このうち晩期の層が4層あり、上位から第1層が晩期末葉、第2層が晩期後葉、第3層が中葉～後葉（大洞C2式期）、第4層が前葉～中葉相当の遺物が出土している。また第5層～第8層までは後期の遺物包含層であるが、調査の中心が堤防縁部であるこ

2 各調査区の概要と基本土層

と、さらには縁部は地震の際、地滑りを起こした影響により、本来上下関係にある層が混在する複雑な状況であったことから層を面的に捉えることが遅れ、層位的な時期区分を局地的にしか捉えることができなかった。また、第9図のように地点によってなくなる層や同一に見える層などがあり、点での調査では全体の層を把握するのは困難であったため、大半の遺物を第5層～第7層のように複数の広い層位で取り上げざるを得なかった。また第1層・第2層については平成15年度調査で堤防全体に層の広がりを確認し、第2層から少量の遺物と竪穴住居跡2棟を検出した。第3層は地形を確認した所で調査が中止となつたため、平成15年度の調査ではこの層での遺構検出・精査は行われていないが、遺物については地形確認作業時に多量出土した。第3層の広がりは第8図にあるように堤防の中央～東部に限られ、第4層より下層の堆積範囲は繰り返しになるが、調査途中で中止となつたため、部分的(B区西側のみ)な確認しか出来なかつた。ⅡC99グリッド第3層の土壤を土壌20袋分、約314kg相当を水洗選別作業を行い、多数の動物遺存体を検出した。



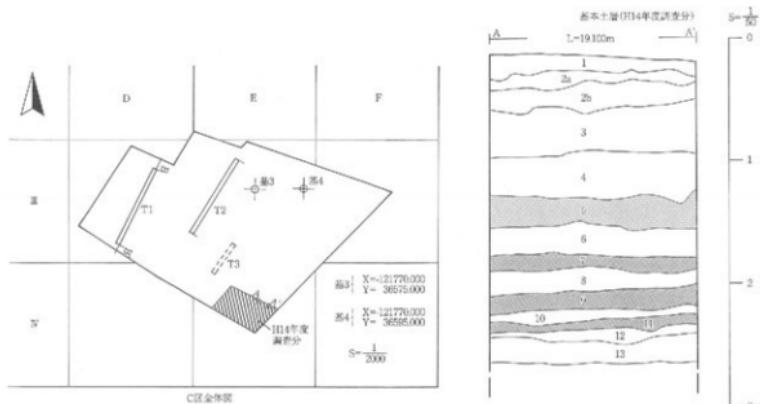


第6図 c堤防・d堤防断面図

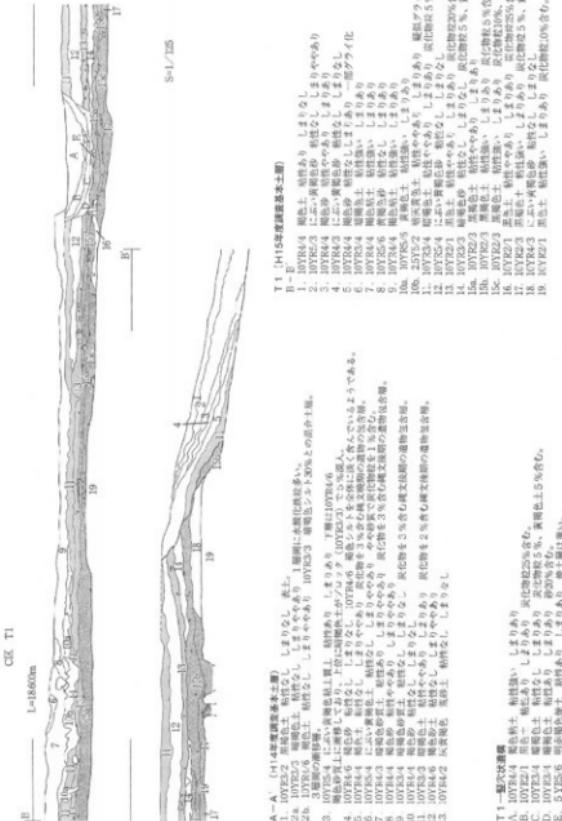
C区 調査区中央部～東側で、B区同様、調査区の南側に平安時代の北上川左岸縁部にある。調査前の状況は畠跡・宅地で標高は堤防頂部が約20m、南側の低地面までの比高は約2mである。繩文時代の検出面の比高差は堤防頂部で約5mある。他の調査区同様、地点により各自然堤防の堆積範囲が異なるため、ごく近い場所でも堆積する土層が異なる。このため完全に層位を把握するには広範囲を1層ごとに精査し、堤防の重複や堆積層の範囲を把握する必要がある。今回の調査ではそのような規模での精査を行える状況ではなかったため、各層ごとの時期的な遺物の相互性を完全に捉えることはできず、結果的には点での調査となつた。このような状況にあたり、平成14年度と平成15年度の基本土層を別個に設定したため、観察表での同一層表記は混乱防止のため層位の前に年度を加えて記載した。(例: 02-第2層、03-第3層)

平成14年度調査は廃土置き場の必要性からC区の東南端約250mを先行して行ったが、結果として精査を完了したのはこの250mのみであった。この時の調査では繩文時代土坑3基が検出され、繩文時代後期～晩期の遺物が出土した。第5層が晩期、第7層・第9層・第11層が後期の遺物包含層である。ちなみに隣接するD区にも第7層・第9層・第11層に対応する堆積層が確認できるが、第5層はない。なお、後期の土器は小片で磨滅したものが多く、川の氾濫の影響を大きく受けていると思われる。

平成15年度調査は繩文面の範囲・包含層の厚さを認識することに主眼を置いた分布・確認調査で、調査区の地形や傾斜に従い、C区の西側、中央部、東側の3箇所にトレーンチを設定した(T1～T3)。このうち1号トレーンチ(T1)の断面から堅穴状遺構(未登録)を1基確認した。またT1南端以外は同一の自然堤防の堆積層で各遺物包含層から土器や石器のほか、動物遺存体が出土するのはB区と同様であるが、T1南端部は低位堤防背側の堆積層との重複が認められ、他とは様相が異なっている。遺物包含層は暗褐色を基調とした粘土層に包含され、遺物の取り上げについては前述のとおり各トレーンチが同一堤防上に載り、層位的な関連性が遺物等から認められることから共通の層名を付すことが可能と考え、T1の東壁面の断面で観察した土層を平成15年度調査(T1～T3など)の基本土層とした。



第10図 C区(調査区・基本土層)



第11図 C区土層断面図

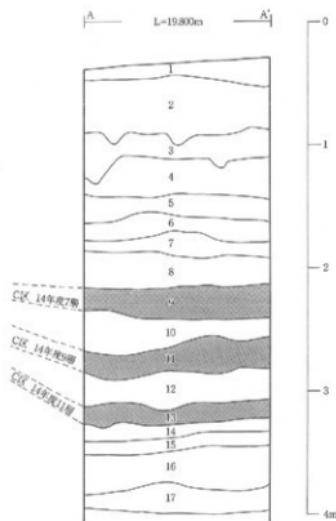
D区 道路沿いの調査区南側の670m²のみ縄文面まで調査を行った。このうち平成15年度調査の東端約50mは擾乱が激しく、遺物等はほとんど見つかなかった。第4層から近世の遺構が検出され、これより上面は擾乱を受けている。縄文面までの深さは約0.5m~2.1mと調査区の中では深いほうである。縄文の遺物包含層は3面あり、いずれも暗褐色の粘土質シルト層で、C区から続く堆積層である。微量の炭化物粒とともに縄文時代後期の遺物が出土するが、C区よりも出土量は少なく、散布状態で出土する。遺構は縄文包含層1面（第9層）から土坑が2基検出されている。

基本土層（IVE49グリッド・北壁面）

- 第1層 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし しまりやや
あり 炭化物15%含む。
- 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし しま
りややあり 炭化物10%含む。
- 第3層 10YR4/4 褐色土 粘性なし しまりあり
炭化物7%含む。
- 第4層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし しま
りあり 炭化物3%含む。
- 第5層 10YR5/6 黄褐色土 粘性ややあり しま
りあり 水酸化鉄2%含む。
- 第6層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性ややあり
しまりあり 炭化物2%含む。
- 第7層 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり
しまりややあり 炭化物3%含む。
- 第8層 10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 粘性ややあり
しまりややあり
- 第9層 10YR4/4 褐色土 粘性なし しまりややあ
り 炭化物2%含む。遺物包含層。（C区第
7層相当）
- 第10層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし しま
りややあり 炭化物1%含む。
- 第11層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり しま
りややあり 炭化物10%含む。遺物包含層。
(C区第9層相当)
- 第12層 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり
しまりややあり 炭化物3%含む。
- 第13層 10YR3/4 暗褐色砂 粘性なし しまりなし
遺物包含層。（C区第11層相当）
- 第14層 10YR4/4 褐色砂土 粘性なし しまりなし
- 第15層 10YR3/3 暗褐色土 粘性ややあり しま
りあり
- 第16層 10YR4/6 褐色砂土 粘性なし しまりやや
あり
- 第17層 10YR4/2 灰黄褐色荒砂 粘性なし しま
りややあり 炭化物15%含む。



第12図 D区全体図

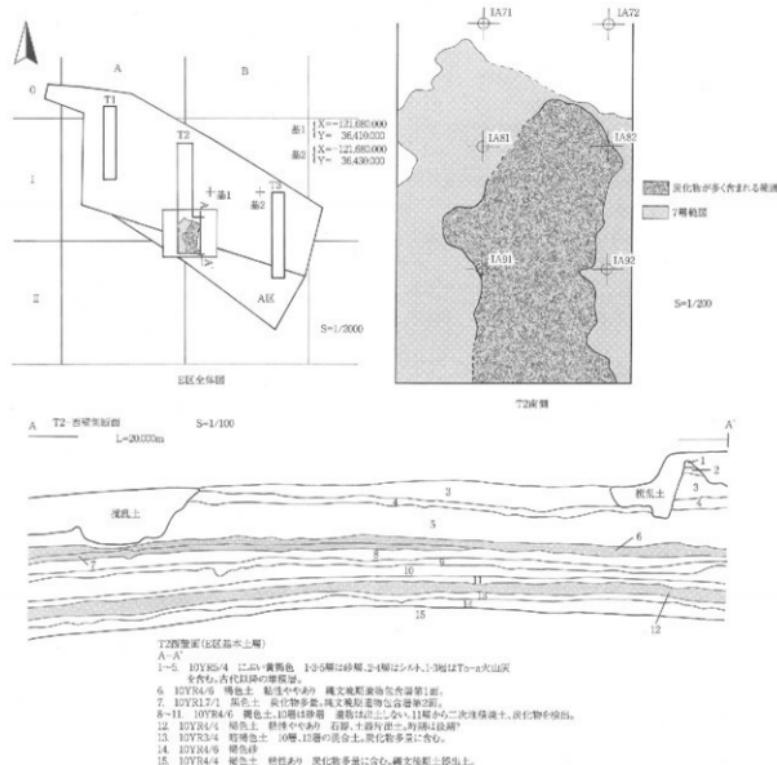


第13図 D区基本土層

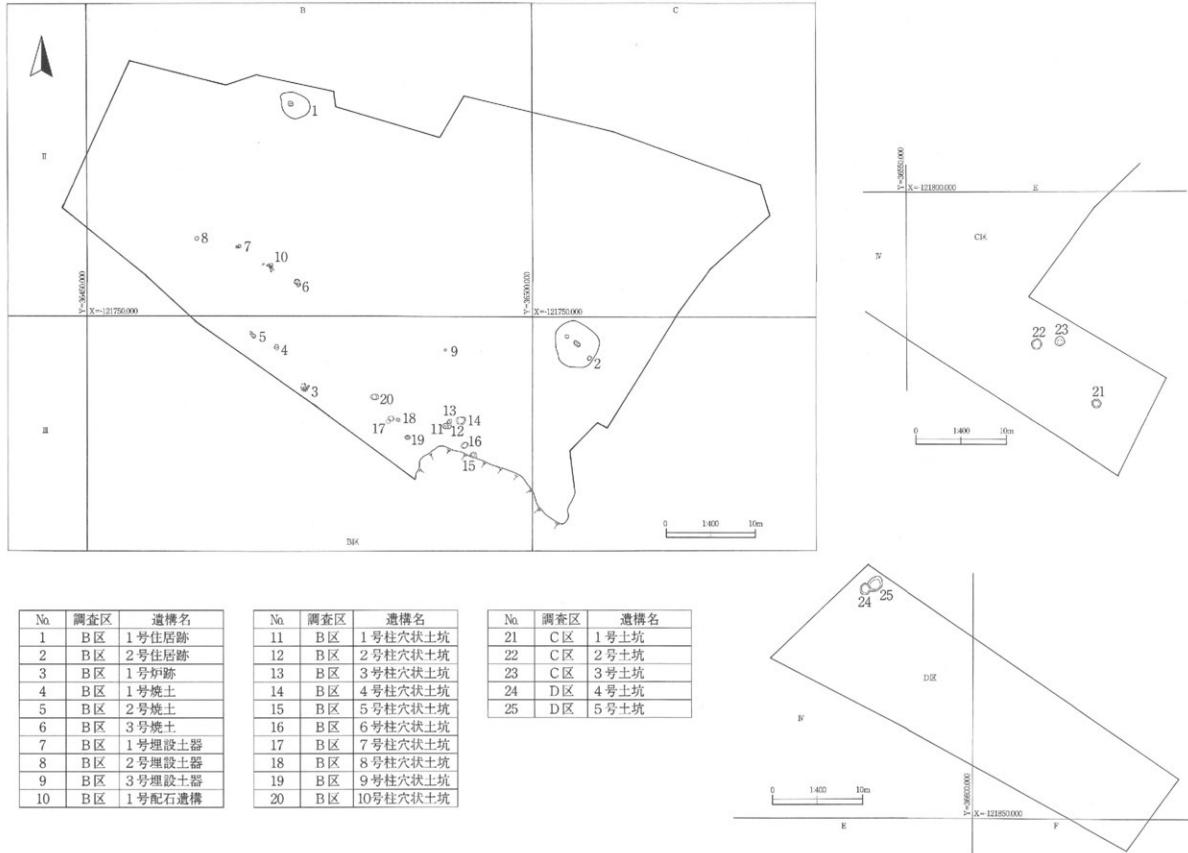
2 各調査区の概要と基本土層

E区 E区は、調査区の西端に位置する。南側には国道が走り、そこからさらに南側の北上川に向かって傾斜する。北側は針山に至る。調査前は宅地、畑地及び旧国道として利用されていた。古代(十和田起源火山降下噴)には針山から続く沢の流路が調査区北側に存在し、また、南側は北上川へ傾斜するため、南北にゆるく傾斜した地形となっている。洪水時に河川上流から運ばれた土砂が堆積する自然堤防地形で、砂層、暗褐色土層の交互堆積を繰り返す。

表土及び近世面の層を掘削後、西側(T1: 0 A94~I A44グリット)・中央(T2: I A20~II A10グリット)・東側(T3: I B68~II B28グリット)にそれぞれ10×30m~50mの3本のトレーナーを入れ、それぞれに対応する層位の確認を行った。以下はその土層断面である。T2北側では第1層よりさらに上層で十和田起源の降下火山灰が確認されている。縄文の遺物包含層は第6層からである。第6層・第7層からは縄文時代晚期後業の土器が出土している。また、第11層より下層からも後期の土器片が数点出土している。
(溜)



第14図 E区(全体図・基本土層)



第15図 遺構配置図(B区・C区・D区)

III 検出された遺構

今回の調査で検出された遺構は竪穴住居跡2棟、炉跡1基、焼土遺構3基、土器埋設遺構3基、配石遺構1基、土坑5基、柱穴状土坑10基である。土坑以外はすべてB区からの検出で、竪穴住居跡はe堤防頂部付近、土器埋設遺構・配石遺構がe堤防川側縁部、炉跡や焼土遺構、柱穴状土坑はe堤防より1段低位に立地するa～d堤防の後背面から検出され、自然堤防という限られた空間を用途に応じて使い分けている様子が表れている。また竪穴住居跡はC区トレンチの断面にもみられ、調査区全域の検出を行えば竪穴住居跡に限らず、多くの遺構が検出されることが予想される。遺構の時期は竪穴住居跡が縄文時代晚期中葉～後葉頃、その他の遺構は縄文時代後期～晚期に比定される。

1 竪 穴 住 居 跡

平成15年度調査で2棟検出した。いずれも調査B区の縄文遺物包含層第2層で下層は縄文時代晚期中葉後半(大洞C2式)の遺物包含層であることから、それ以降の時代に属するものである。住居跡がある場所は当時の地形で自然堤防の頂部付近に位置し、洪水による被害を最小に抑えることを想定した土地選定であったと考えられる。なお、B区大堤防(e堤防)の調査は縄文遺物包含層である第3層検出時に調査が中断・打ち切りとなったため、縄文時代晚期中葉以前の遺構は大半が未検出である。

1号住居跡(第16図、写真図版4)

〔検出状況〕 調査B区のII-C45グリッドに位置し、縄文第2層の暗褐色土層で検出された。プランは暗褐色土が染み状に広がり、中央からやや北西に炉と思われる焼土・炭化物の広がりを確認した。

〔形状・規模〕 形状は不整な椭円形を呈し、規模は長軸370×短軸278cmである。北西端にわずかな段差があり、張り出し状になっている。

〔埋土〕 黒褐色土を主体ににぶい黄褐色砂が混入する単層で、層厚は最大でも5cm程度と浅く、微量の炭化物粒を含む。

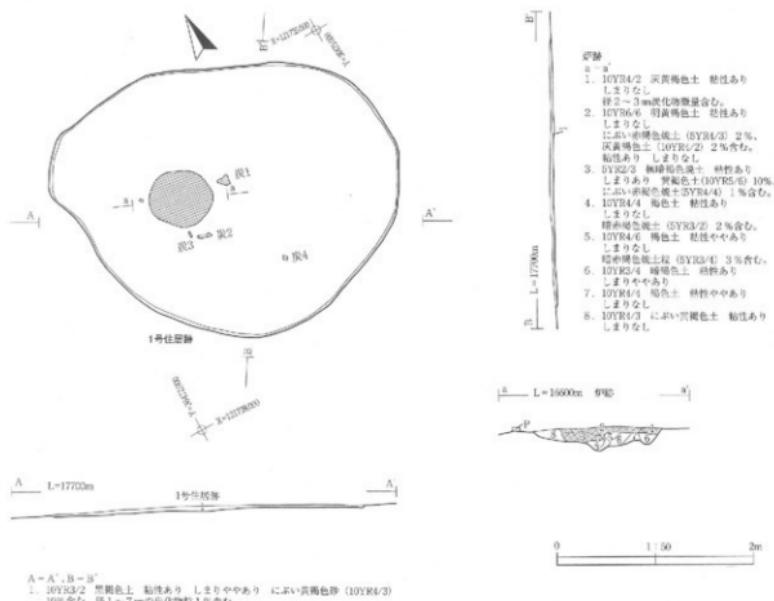
〔床面〕 床面は下層の縄文3層の検出面で埋土との識別は壁際ほど難しい。

〔炉〕 中央からやや北西の位置で69×58cmの範囲に極暗褐色土焼土が広がる。焼土の厚さは最大6cmと薄く、少量の炭化物が周辺に広がる。

〔遺物〕 土器1～3が出土した。炉跡からは獸骨小片が出土している。

〔時期〕 遺構の検出面から縄文時代晚期中葉～後葉と考えられる。

1 穴穴住居跡



第16図 1号住居跡

2号住居跡 (第17図、写真図版5)

〔検出状況〕B区のIII-C02グリッドに位置し、縄文第2層の暗褐色土層で検出された。黒色～暗褐色土が染み状に広がる、やや不明瞭なプランである。造構南端の一部は昨年度の調査区境で掘削され、消失した状況であった。

〔形状・規模〕不整な円形基調の形状で、規模は約5.0×5.0mである。

〔埋土〕褐色～暗褐色土の混合土層で、層厚は最大で6cmと浅く、3~7mm程度の炭化物を少量含む。

〔床面〕床面には明確な貼り床はされず、下層の縄文3面の検出面で炉に伴う焼土や炭化物、出土する遺物などから埋土との識別は堅実ほど難しい。

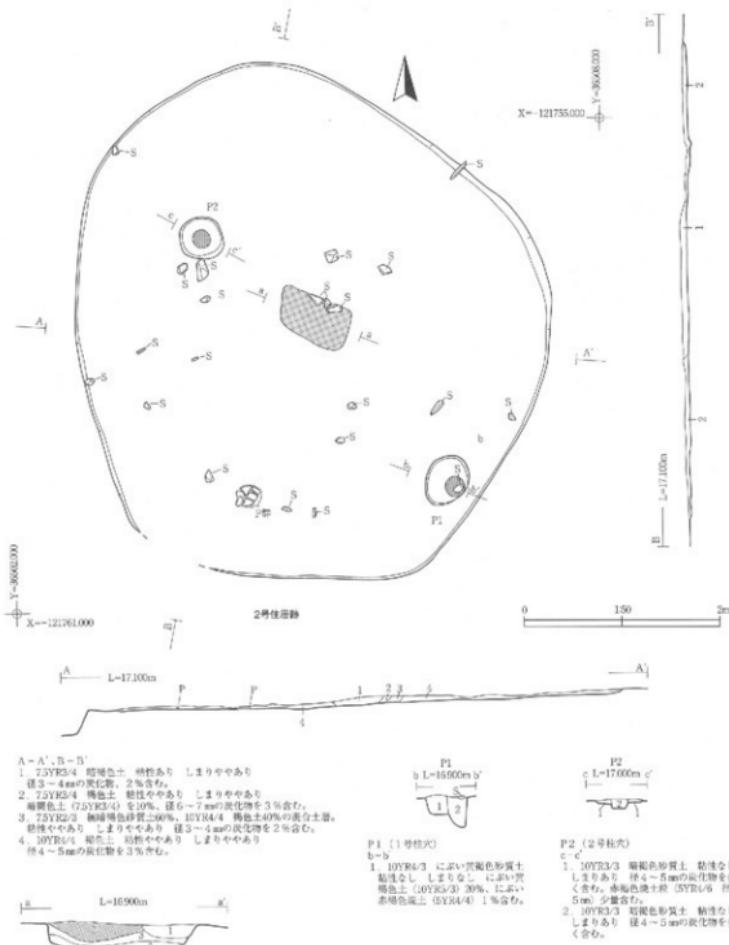
〔炉〕赤褐色焼土が台形状に80×42cmの範囲で広がり大きさ約16×8cm程度の礫が3点、炉の北側に配置(?)されている。焼土の厚さは最大10cmある。

〔柱穴〕2基検出した。規模はそれぞれP1が54×44cm、深さ30cm、P2は48×46cm、深さ10cmである。

〔遺物〕土器4が南西壁付近の床面から出土した。他に炉跡焼土内から魚骨(アユ尾椎1点他)が数点出土している。

〔時期〕造構の検出面、出土した遺物から縄文時代晚期の大洞C2～A式期に比定される時期に属すると考えられる。

(渝)



第17図 2号住居跡

炉跡1基、焼土3基を検出した。いずれも現地性のもので炉跡は調査区南端に位置することから堅穴住居跡に伴う可能性も否定できないが、少なくとも調査範囲内において他の遺構との関連は確認できなかった。焼土遺構はすべて単独の遺構で、いずれも縄文時代後期の面から検出されている。また、周辺からは炭化物と共に動物遺存体が検出されており、屋外の地床炉としての機能をもっていたものと考えられる。

1号炉跡（第18図、写真図版6）

〔検出状況〕 III C15グリッドに位置し、B区 b 提防後背面の第6層で検出した。住居跡など他の遺構との関連性は確認できなかった。

〔規模・形状〕 炉の規模は約85×80cm、大きさ約10cmほどの礫を円状に埋め込んで構築された石圓炉である。

〔焼土〕 焼土は約40×30cmの範囲で広がるが、焼成痕は中央寄りの径約20cm以内と狭い。

〔遺物〕 炉内焼土は遺物が2点出土した。1は土偶の脚の片足部分、S1は無茎の石礎である。

〔時期〕 遺構の検出面から縄文時代後期前葉～中葉と考えられる。

1号焼土（第18図、写真図版6）

〔検出状況〕 III C05グリッドに位置し、B区 b 提防後背面の第4層～第5層で検出された。

〔規模・形状〕 65×45cmの範囲に不整な形状で焼土の広がりを確認した。焼成の中心は中央寄りで表面にはぶい赤褐色をしており、焼土の厚さは最大で6cmである。

〔遺物〕 焼土に伴う遺物は出土していない。

〔時期〕 遺構の検出面から縄文時代後期前葉～中葉と考えられる。

2号焼土（第18図、写真図版6）

〔検出状況〕 II C95グリッドに位置し、B区 e 提防川側縁部で検出された。

〔規模・形状〕 70×50cmの範囲に不整な形状で焼土の広がりを確認した。焼成痕はぶい赤褐色をしており、暗褐色土が混入する。焼土の厚さは最大で8cmである。

〔遺物〕 焼土周辺からは多量の獸骨片やと少量の魚骨片が出土している。また、焼土西側脇から長さ33cm、幅5cmの炭化材が出土している。分析・鑑定の結果、湿地や河畔に生育するカエデ属の一種で遺跡周辺の落葉広葉樹を燃料として使用したと考えられる。

〔時期〕 遺構の検出面から縄文時代後期前葉～中葉と考えられる。

3号焼土（第18図、写真図版7）

〔検出状況〕 III C05グリッドに位置し、B区 b 提防後背面の第4層～第5層で検出された。

〔規模・形状〕 88×44cmの範囲に不整な形状で焼土の広がりを確認した。焼成の中心は南寄りで約47×44cmの円形を呈し、表面はやや砂質で明赤褐色の色調をなす。焼土の厚さは最大で6cmである。

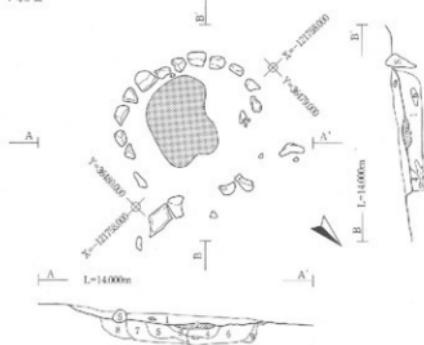
〔遺物〕 焼土周辺からは多量の土器片や石器、炭化物粒が出土しているが、遺構内からの出土遺物はない。

〔時期〕 遺構の検出面から縄文時代後期前葉～中葉と考えられる。

(済)

III 検出された遺構

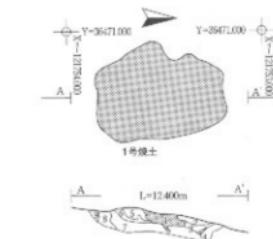
1号炉跡



1号炉跡

- A-A'
1. 10TR4/4 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり
 2. 10TR4/5 黄褐色土 粘性ややあり しまりなし
 3. SYR4/4 にぶい赤褐色地土 粘性ややあり しまりあり
 4. 10TR3/4 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり
 5. 10TR3/5 にぶい赤褐色地土 粘性ややあり しまりあり
 6. 10TR3/3 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり
 7. 10TR2/4 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり
 8. 10TR2/2 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり
 9. 10TR2/3 黄褐色土 粘性ややあり しまりあり

- B-B'
1. 10TR4/4 黄褐色土 粘性ややあり しまわる
 2. SYR4/5 にぶい赤褐色地土 粘性ややあり しまわる
 3. 10TR3/4 黄褐色土 粘性ややあり しまわる
 4. 10TR3/5 にぶい赤褐色地土 粘性ややあり しまわる
 5. 10TR2/4 黄褐色土 粘性ややあり しまわる
 6. 10TR2/5 黄褐色土 粘性ややあり しまわる



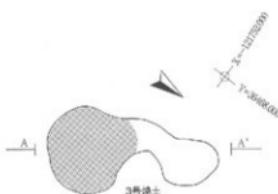
1号土

- A-A'
1. SYR4/4 にぶい赤褐色地土 粘性ややあり しまりあり
 2. 7SYR4/4 褐色土 粘性ややあり しまりあり にぶい赤褐色地土 (SYR4/4) 2%含む。
 3. 7SYR4/5 褐色土 粘性ややあり しまりなし 塵片混入。
 4. 7SYR3/4 褐色土 粘性なし しまりあり
 5. 7SYR4/6 褐色土 粘性なし しまりあり にぶい赤褐色地土 (SYR4/4) 従3~5mm 3%含む。
 6. 7SYR4/3 褐色土 粘性なし しまりあり 塵片混入。
 7. 10TR4/6 褐色土 粘性なし しまりややあり
 8. 10TR3/2 褐色土 粘性なし しまりややあり
 9. 10TR4/4 褐色土 粘性なし しまりあり



2号土

- A-A'
1. 7SYR3/4 黄褐色地土 粘性ややあり しまりあり にぶい黄褐色土 (10TR5/3) 2~3%含む。
 2. SYR4/4 にぶい赤褐色地土 粘性なし しまりあり
 3. SYR4/1 褐色土 粘性あり しまりあり
 4. 10TR4/3 にぶい黄褐色地土 粘性なし しまりあり
 5. 砂層



3号土

- A-A'
1. SYR5/6 にぶい赤褐色地土 砂質 粘性なし しまりなし
 2. 7SYR4/3 褐色土 粘性ややあり しまりなし
 3. 10TR4/4 にぶい黄褐色地土 粘性ややあり しまりなし

0 1:25 2m

第18図 1号炉跡、1~3号焼土遺構

3 埋設土器

3基検出された。いずれもe堤防の川側縁部からの検出である。時期は1号埋設土器・2号埋設土器がe堤防第5層・第7層で縄文時代後期中葉の遺物が出土する層、3号埋設土器が晩期中葉後半～後葉前半の遺物包含層であるe堤防第3層からの検出である。

1号埋設土器（第19図、写真図版7）（第25図5）

II C84グリッド、B区e堤防の第6層～第7層で検出された。検出面がB区e堤防の河道部側の縁に位置するため川の水流による開析を受けた影響で、遺構と土器の川側半分が失われ、土器の一部破片はII C64・II C74グリッドからも出土している。土器の開口部には扁平な形状をした砾が置かれ、土器は斜位に埋設されている。埋設された土器は口径が34.9cm、器高が36.4cm、底径が11.0cmを測る無文の深鉢で、土器の中に遺物はなく、土器を設置する際の掘り込みも明瞭ではない。遺構の時期は埋設された土器から縄文時代後期中葉～後葉頃と考えられる。

2号埋設土器（第19図、写真図版7）（第26図6）

II C73グリッド、B区e堤防の第6層～第7層で検出された。埋設された土器は口径が38.3cm、器高が37.5cm、底径が9.8cmを測る無文の深鉢で、口縁部の一部が欠けるものの残存状態は良好で、正位に設置されている。土器内に遺物はなく、土器を設置する際の掘り込みが確認できる。遺構の時期は、埋設された土器の形態から縄文時代後期中葉～後葉頃と考えられる。

3号埋設土器（第19図、写真図版7）（第26図7）

III C09グリッドで検出された。検出面はB区e堤防の第3層である。埋設された土器は正位に設置された深鉢で、口縁部～体部の一部が欠損している。口径は24.3cm、器高は31.0cm、底径は7.2cmを測り、口縁部には沈線文、口唇部には刻みが施されている。土器の中に遺物はなく、土器を設置する際の掘り込みは確認できない。遺構の時期は埋設された土器から縄文時代晩期中葉～後葉頃と考えられる。

(溜)

4 配石遺構

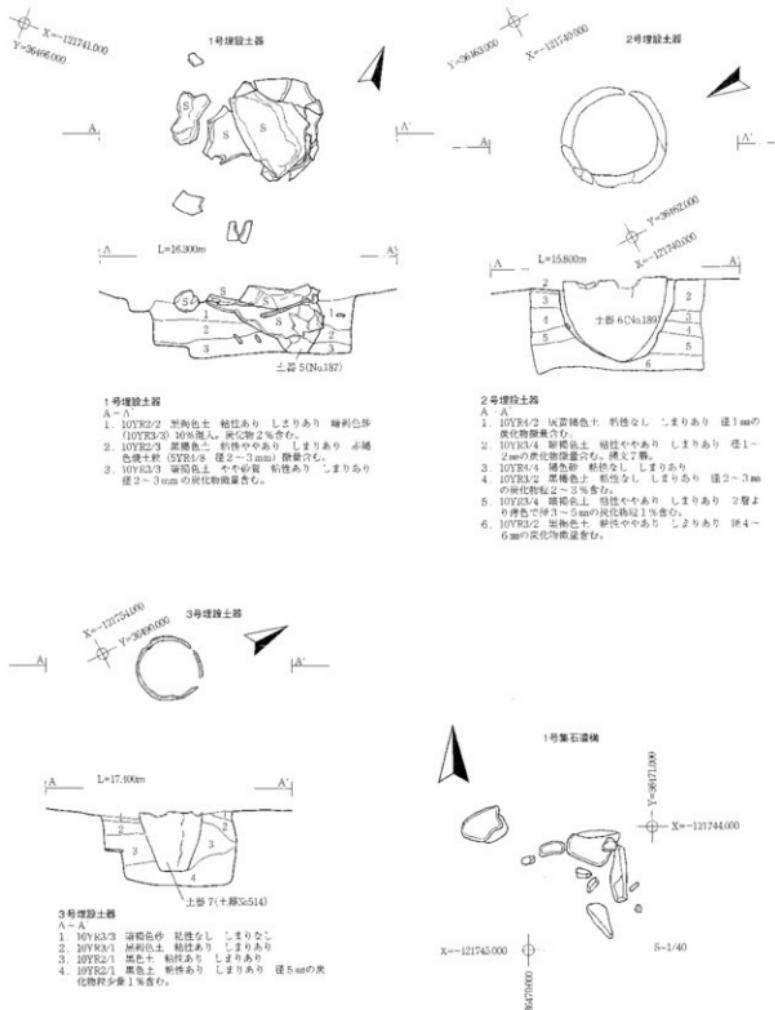
1基検出された。下位や周辺に遺構や遺物はない。検出された場所はB区e堤防の川側縁部付近で、周辺に関連する遺構はない。

1号配石遺構（第19図、写真図版10）

B区e堤防のII C84・II C85グリッドに跨り、第7層で検出された。砾群の範囲は約2mほどであるが、約100×70cmの範囲に集中する。設置されている砾は約10～40cmの大きさで扁平な形状をなす。遺構の周辺には焼土遺構や多量の炭化物が検出されているが、砾には火を受けた痕跡はなく、これらとの直接的な関連は低いと考えられる。また、掘り込みは明瞭ではなく、本遺構に伴う遺物もないことから、遺構の性格の詳細は不明である。遺構の時期については検出された包含層出土の遺物から縄文時代後期中葉頃と考えられる。

(溜)

III 検出された遺構



第19図 1～3号埋設土器、1号配石遺構

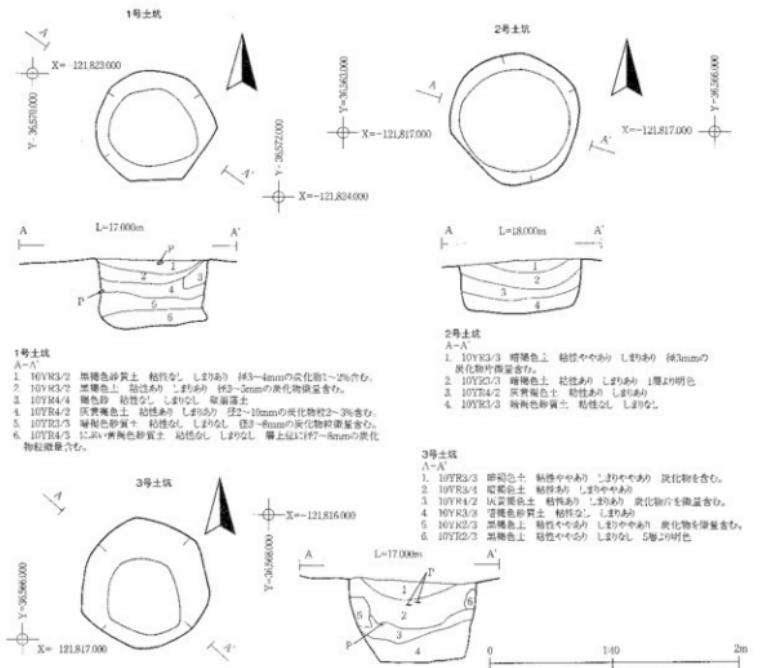
5 土 坑

C区から3基、D区から2基の計5基が検出された。検出面はいずれも縄文時代後期の包含層で、検出地点は各調査区毎にまとまっている。いずれも出土遺物はなく、遺構の詳細については観察表に記した。

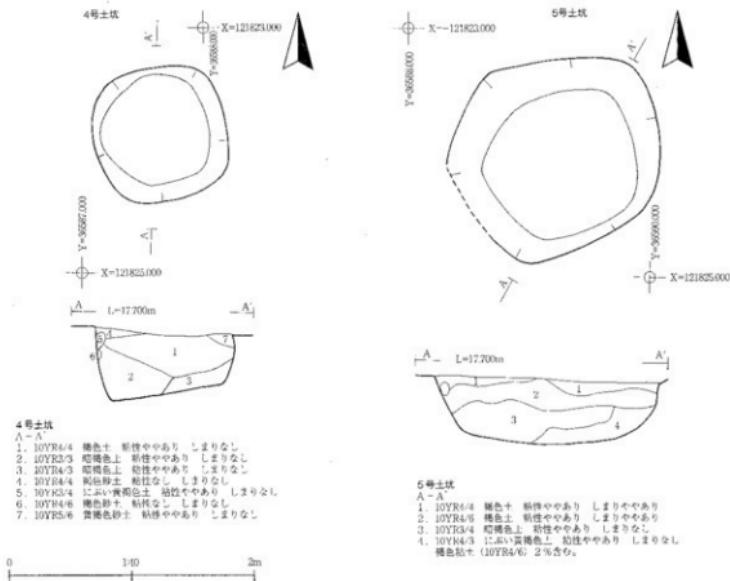
(済)

第2表 土坑観察表

遺構名	調査区	層位	グリッド	形状	開口部径	底部径	深さ	性土状況	出土遺物	備考	図版	写真
1号土坑	C区	7層	IV-E45	円形	90×90	72×63	33	自然堆積で、上位は灰化物を含む黒褐色土及び黒褐色粘土。中位は灰化物を含む灰褐色土とし、下位は灰化物を含む灰褐色土とし、下位は灰化物を含む灰褐色土。	なし	層位はH14年度のC区基本土層に対応	20	12
2号土坑	C区	7層	IV-E33	円形	105×100	88×82	47	自然堆積で、上位は灰化物を含む灰褐色土、中位は灰褐色土、下位は灰褐色土。	なし	層位はH14年度のC区基本土層に対応	20	12
3号土坑	C区	7層	IV-E31	円形	102×102	64×61	67	自然堆積で、上位は灰化物を含む灰褐色土、中位は灰褐色土とし、下位は灰褐色土。	なし	層位はH14年度のC区基本土層に対応	20	12
4号土坑	D区	9層	B'F-E48	円形	110×111	88×90	57	褐色土を主体に、下位に暗褐色土が入る所で現れしている。断面にふい窓状の土と褐色の隙間がある。	なし		21	15
5号土坑	D区	9層	B'F-E48	楕円形	183×168	136×121	52	自然堆積で、上位～中位に褐色土、下位に黒褐色土を含むふい窓状土が堆積している。	なし		21	15



第20図 1~3号土坑



第21図 4・5号土坑

6 柱穴状土坑

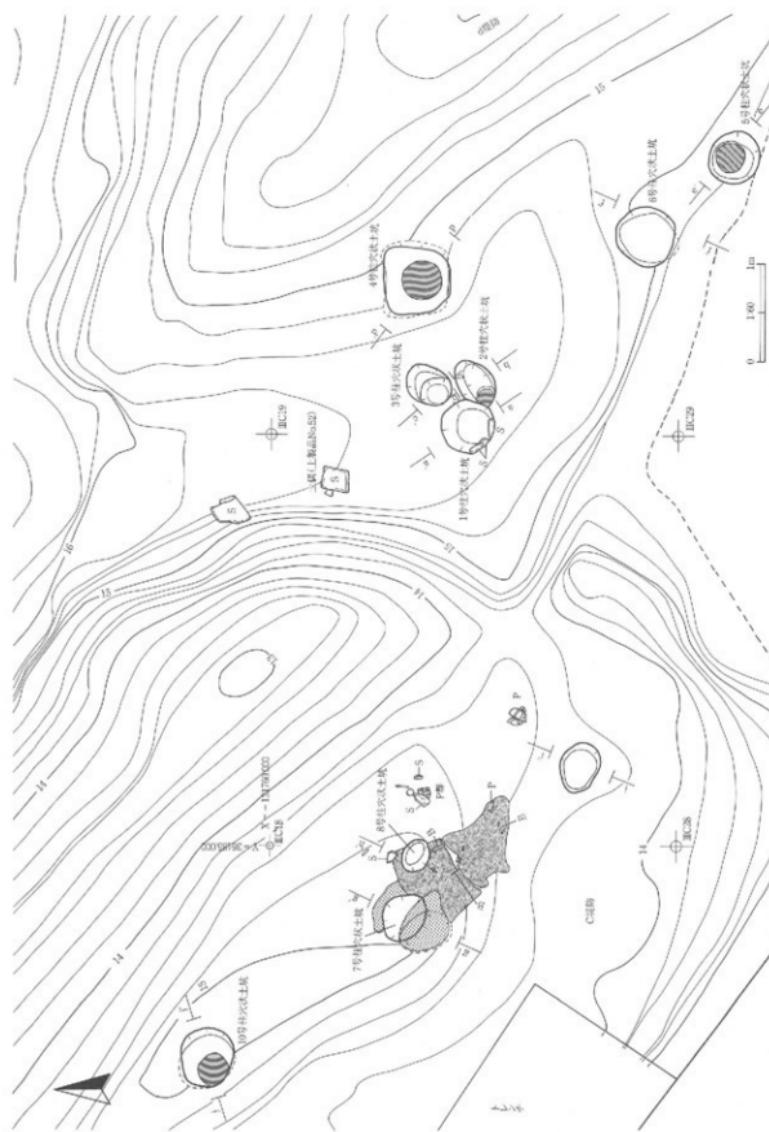
10基検出された。いずれも一段低い自然堤防の後背湿地側での検出で、地震による地層の変形で柱穴の断面は斜位に傾いたものが多く、柱穴から本来の建物跡を想定することは難しい。柱穴の規模は開口部径が60~70cmのものが多い。

(溜)

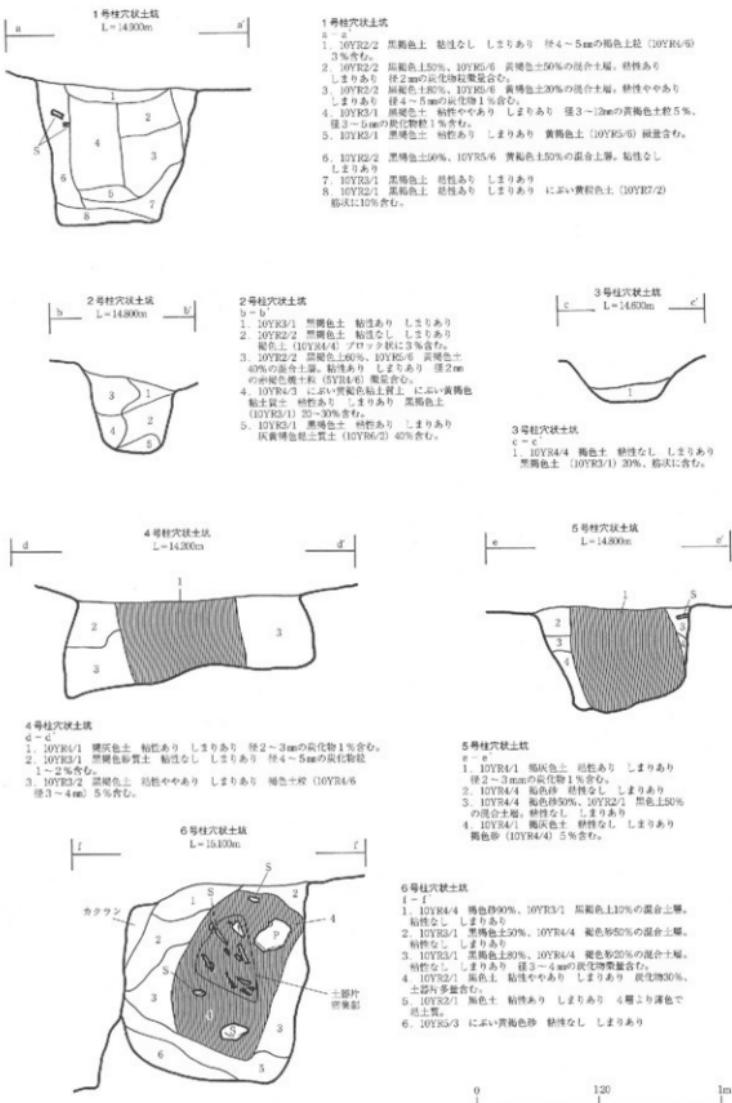
第3表 柱穴状土坑観察表

通算名	調査区	位置	平面形	基土状況		出土遺物	備考	回版	方格
				開口形状	深さ				
1号柱穴	B区	Ⅲ C29	円形	66×62	60		2号柱穴と切り合が新旧関係は不明。	22・23	8
2号柱穴	B区	Ⅲ C29	椭円形	(67)×41	35(42)		1号柱穴と切り合が新旧関係は不明。柱底あり。	22・23	8
3号柱穴	B区	Ⅲ C29	椭円形	60×46	18			22・23	8
4号柱穴	B区	Ⅲ C29	不整な円形	82×80	38		柱底あり。	22・23	8
5号柱穴	B区	Ⅲ C29	円形	60×64	42		柱底あり。	22・23	8
6号柱穴	B区	Ⅲ C29	円形	74×67	29	上器 S-9	柱底あり。	22・23	9
7号柱穴	B区	Ⅲ C27	椭円形	63×52	60			22・24	9
8号柱穴	B区	Ⅲ C27	椭円形	44×35	10			22・24	9
9号柱穴	B区	Ⅲ C28	椭円形	64×48	24			22・24	9
10号柱穴	B区	Ⅲ C17	円形～椭円形	73×64	(30)		柱底あり。	22・24	10

6 柱穴状土坑

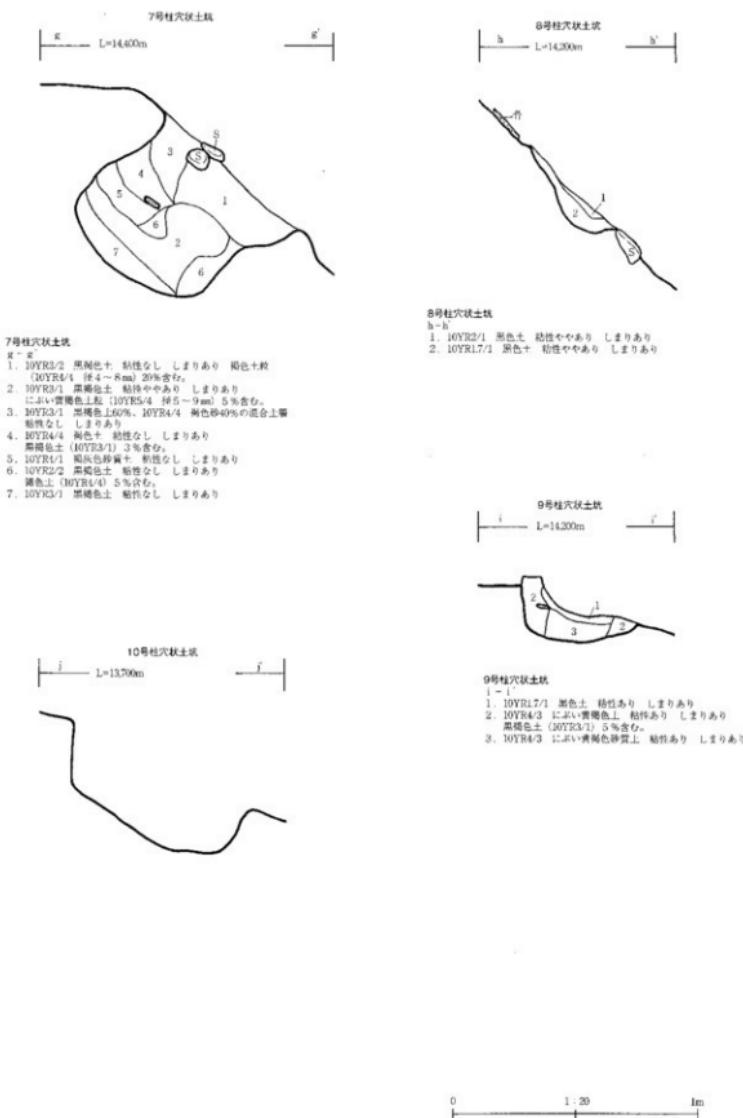


第22図 1~10号柱穴状土坑



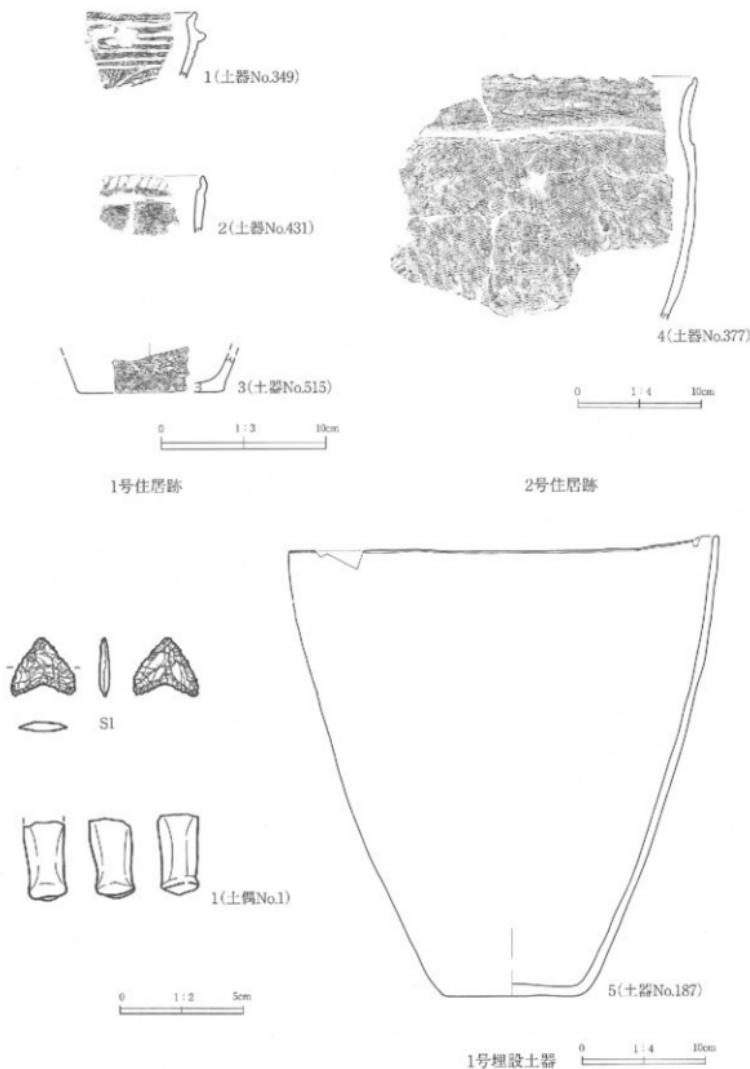
第23図 1~6号柱穴状土坑

6 柱穴状土坑

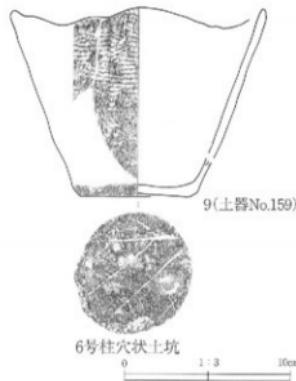
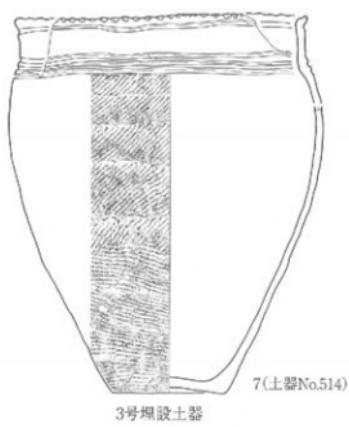
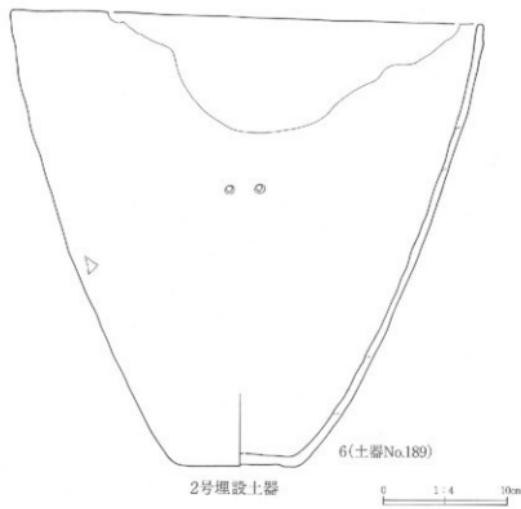


第24図 7～10号柱穴状土坑

III 検出された遺構



第25図 遺構内出土遺物 1



第26図 遺構内出土遺物2

IV 出土遺物

1 縄文・弥生土器

今回の調査で出土した縄文・弥生土器の総量は、平成13年度14ℓコンテナ1箱、平成14年度40ℓコンテナ102箱、平成15年度40ℓコンテナ18箱の合計40ℓコンテナ換算で120.3箱である。このように大部分が平成14年度調査での出土である。このうち復元できた完形及び形状を推し量ることのできる上器を中心に掲載している。また器形が復元できない個体でも出土地点の違うもの、完形品がない器形・文様のものも隨意選択し、拓本で載せることを努めた。また、器形がわかるものであっても同一器形・文様のものについては代表的なものを実測、掲載し、全品を掲載していない場合もある。

掲載記述に当たっては、縄文時代中期-I群、後期-II群、晩期-III群、弥生時代-IV群の時期区分を行い、これらの中での小分類はA類、B類・・・、①、②・・・として記載した。小分類については、最近の土器編年研究を参考にして、従来の土器型式に準拠した。以下、当該期の編年を元に時期毎、器種毎に分類を試みた。器種は深鉢・鉢・浅鉢(皿形)・壺・注口土器・その他(蓋・香炉形など)の順で台付きのものはそれぞれの器種の最後に触れている。なお、深鉢・鉢・浅鉢とした中にも、底部を欠くものは台付きの可能性のものもある。なお器形が推し量れるものについては、器形毎に分類し、それ以外のもので特徴的なものについては個別に言及している。器種区分は、土器の最大径と頸部径、器高の関係を基準とし、深鉢は最大径より器高の高いもの、鉢は、器高が最大径と同じか、2/3くらいまでのもの、浅鉢は、器高が2/3に満たないもの、また浅鉢の区分内に入れているが、およそ器高が最大径の1/4程度に満たないものについては皿とした。壺は頸部と体部との境が括れ、頸部径が最大径の2/3に満たないものとした。また、器高と口径が共に6cm程度以下のものを便宜的にミニチュア土器として扱っている。

縄文土器の出土総重量は2,129.7kgある。この内、図示した縄文土器は518点で重量は220.4kgである。重量比での掲載率は10.3%となる。時期的には中期中葉から弥生時代まで出土しているが、主体は後期と晩期の土器である。これらの時期差は出土範囲、層位で峻別できる状態ではなく、時期を示す特徴的な文様がない場合は詳細な時期区分ができなかった。また、平成14年度調査の取り上げ時の記録は不十分で曖昧なものが多く、出土層位からの時期判断が困難であった。よって文様の特徴が乏しく時期判断が難しい粗製土器等についてはV群にまとめた。弥生土器は僅かな量の出土であった。

(星・立花)

<第I群 縄文時代中期> (第27図、写真図版19)

1の深鉢の口縁部把手と2の壺の2点を掲載した。1の把手部および口唇部には深く太い曲沈線が施され、胎土にはやや粗めの疊が目立つ。弁状突起の発展形と見られ、中葉期の大木8a式に属するものと思われる。2は沈線区画部を磨り消しており、体下部は無文である。体部が「く」の字に屈曲する器形から後葉期、大木10式に属するものと思われる。

<第II群 縄文時代後期> (第27~38・68~95・100図、写真図版19~51・75~77・81)

第III群と並んで多量の土器が出土しており、初頭から末葉まで後期全般を通しての資料がそろっている。ここでは初頭から末葉までをA~E類の5段階に時期区分し、また、詳細な時期の判断に欠ける

粗製土器はF類として一括した。274点の掲載である。

A 類 後期初頭から前葉に属する、門前式、宮戸I式、綱取式、壺沢式、十腰内I式(大湯式)に比定または並行する土器群である。

器種は深鉢、鉢、壺が主体であり、他に切断土器と思われるものや、蓋も見られる。

器種別に文様施文の特徴からa~hに細分した。

- a 鎮状隆帯を持ち、隆帯で区画された部分が磨り消されているもの。類似のものは、樺山遺跡(岩手県北上市)から出土している。門前式と思われる。(深鉢)
- b 口縁部に隆帯または円形の貼付文をもつもの。類似の器形、及び文様のものが二屋敷遺跡(宮城県蔵王町)から出土している。(深鉢、鉢)
- c 弧状、S字状、鉤状の曲線的沈線文により縦位に文様が施されるもの。類似のものは貝鳥貝塚(岩手県花泉町)第II群第2類にある。官戸Ib式と思われる。(深鉢)
- d 地文上に数条の沈線で施されるもの。
 - ① 湪状文や弧状文が施されるもの。綱取II式に類似するものである。(深鉢、鉢、壺)
 - ② 長梢円文により区画されるもの。類似のものは新山椎現社(岩手県平泉町)第II群に見られる。(十腰内I式に類似するものと思われる)(深鉢)
- e 沈線のみにより文様が施されるもの。立石遺跡(岩手県大迫町)第III群5類、十腰内遺跡(青森県)第I群土器に類似するものである。(十腰内I式と思われる)(鉢、壺、切断土器)
- f 数条の平行沈線で構成された帯状文を直線的・曲線的に展開する特徴をもつもので、立石遺跡第III群5類、新山椎現社第II群に類似するものである。(深鉢、鉢、壺、蓋)
- g 頸部に平行沈線間を弧線で区画し磨り消して梢円形を成しているもの。類似のものは貝鳥貝塚第II群第3類に見られる。(壺之内I式近似土器とある)(深鉢)
- h 体部文様が地文のみのもの。(深鉢、壺、蓋)

深鉢

- a 鎮状隆帯を持ち、隆帯で区画された部分が磨り消されているもの(3)
中空把手を持つ二段口縁土器である。体部には鎮状の隆帯が貼り付けられ、隆帯で区画された部分は磨り消してある。口縁把手には沈線で逆S字状の文様が描かれている。
- b 口縁部に隆帯または円形の貼付文をもつもの(4・5・7・9・10)
9・10は口縁部に3単位の貫通孔を持つ突起を持つもので、体部に磨り消し技法が施されている。
- c 弧状、S字状、鉤状の曲線的沈線文により縦位に文様が施されるもの 深鉢(11~28)・小型深鉢(6)
器形は、体上部に膨らみを持ち、口縁が外反するもの(12・14~21)や、直立気味のもの(13・19)、内湾するもの(6・22)がある。

6は小型土器とした。口縁部には無文部を持つ。21・25を除き口縁の残るものは全て波状口縁で、波頂部を起点として文様が施されている。波頂部下に沈線による円文や梢円文、貫通孔をもつものもある。21は平口縁のものと思われる。12は表裏とも貫通孔上に梢円文が施されている。本項の土器の体部に地文のあるものは磨り消し技法が施され、地文には綱目状撚糸文、撚糸文、單節繩文がある。21は複節の撚糸文と思われる。また、11の口縁部は前項bの隆帯と類似した刻みを持つが、波状口縁の波頂部を起点として沈線により文様が構成されていることか

ら本項に入れた。また、26の底部は文様が9・10に類似することから前項bに入る可能性がある。22と28は胎土に類似性が見られ、同一地点から出土していることから同一個体の可能性がある。

d 地文上に数条の沈線で施されるもの (30~32・34)

① 湧状文や弧状文が施されるもの (30~32)

口縁部が内湾したもの (30)、口縁部が外傾したもの (31) がある。31は平行沈線間に複数の刺突を施してある。32は深鉢の体部破片と思われる。

② 長梢円文により区画されるもの (34)

小型の深鉢である。縦長、横長の長梢円文によって区画され、縦長のものには円形の刺突が施されている。体下半部は沈線で区画され無文である。

f 数条の平行沈線で構成された帯状文を直線的・曲線的に展開する特徴をもつもの (50~57)

口縁部には、波状口縁のものと平口縁のものがあり、口縁には56のように無文部を形成するものもあるが口縁に沿った縄文帯を持つものが主である。器形は体上部に膨らみを持ち、口縁が外反するものがほとんどである。帯状文の連結部に円形刺突が施されているものもある。53は台付き深鉢と思われるが台付き鉢の可能性もある。56は体部が欠損しているため器形の詳細は不明である。頸部以下の張り出し方から壺である可能性もある。

g 頸部に平行沈線間を弧線で区画し磨り消して梢円形を成しているもの (63・64)

ともに口縁が外反する、ゆるい波状口縁ものと思われる。口縁上部には帯状文が施文され、63には刻目状の短沈線と円形刺突が施されている。体部地文上には沈線が斜行し、沈線の連結部には「つ」の字状の刺突が施文されている。

h 体部文様が地文のみのもの (65)

口縁部に把手がついており、体部には撚糸文が施文されている。観音堂遺跡(岩手県大迫町)に類似のものが出土しており、門前式に比定されている。

鉢

b 口縁部に隆帯または円形の貼付文をもつもの (8)

口縁部に渦巻き状の隆帯を貼り付け、その上に斜位の刻目文様を施している。

d 地文上に数条の沈線で渦状文や弧状文、長梢円文が施されるもの (29)

① 湧状文や弧状文が施されるもの (29)

体上部で強く内湾し、口縁にかけて直立する器形を呈している。頸部文様帶には長梢円文も施されている。

e 沈線のみにより文様が施されるもの 鉢 (36・38・39) 小型鉢 (37・40)

比較的小型のものが多い。中でも37・40は特に小型で、小型鉢とした。37は赤色顔料が付着している。

f 数条の平行沈線で構成された帯状文を直線的・曲線的に展開する特徴をもつもの (47~49)

いずれも体部中央から上部にかけて膨らみを持つ器形である。体部文様は充填技法による曲線的な帯状文が施されている。体下部は無文のものがほとんどで、文様部と沈線で区画されており、口縁部には波状のものと平口縁のもの、無文のものと縄文施文のものがある。

壺

d 地文上に数条の沈線で渦状文や弧状文、長梢円文が施されるもの

① 渦状文や弧状文が施されるもの (33)

鉢の可能性もあるが、口縁の径から無頸の壺である判断し、この項に入れた。

e 沈線のみにより文様が施されるもの (41~43)

43は赤色顔料が付着している。文様は33と類似しており、同時期の物である可能性が高い。

f 数条の平行沈線で構成された帯状文を直線的・曲線的に展開する特徴をもつもの (44~46・58・61)

小型壺 (59・60)

59・60は小型の壺である。45・46・61は壺形の可能性のあるものとし、この項に入れた。58・59・60は口縁部が無文である。60は磨り消し技法を用い、他は充填技法を用いているものと思われる。器形は体下部に最大径を持つものと、体中央部に最大径を持つものがある。46のように無文部が沈線で区画されていないものもある。また、45・46のように帯状文の連結部に円形の刺突が施されているものもある。

h 体部文様が地文のみのもの (66)

66は壺形のものと思われる。頭部から口縁にかけて把手が付され、剥落部の状態から把手は6単位と推定される。

切断土器

e 沈線のみにより文様が施されるもの (35)

体～底部にかけて全面に沈線文が施されている。上部に凹凸が見られることから蟻沢式に見られる切断土器と思われる。

蓋

f 数条の平行沈線で構成された帯状文を直線的・曲線的に展開する特徴をもつもの (62)

62の1点である。充填技法による帯状文と円形刺突による文様構成である。類似のものは相ノ沢遺跡から出土している。

h 体部文様が地文のみのもの (67・68)

67・68は蓋の一部と思われ、67には撚糸側面圧痕が認められる。

B類 前葉から中葉に属する可能性の土器群である。数条の平行沈線に特徴を持つ。刺突が施されているものもある。大湯式の新段階に相当する物と思われる。器種は深鉢、鉢、壺、片口土器である。

深鉢 (69・70・74・75・77・78)

波状口縁の波頂部に並行沈線が施されているもの (69・70)、刺突が施されているもの (77・78) がある。いずれも口縁部破片で器形が定かではない。

鉢 (71・73・80)

80は沈線の始点と終点、口縁に刺突が施されている。

壺(72)

72の1点である。頸部は無文で、体部は沈線と連続刺突によって区画されている。

片口土器(76・79)

79は片口土器の注口部である。76は口縁部の残存率が低く判別し難いが、大きく反り返っている波頂部から片口土器と判断し、本項に入れた。

C類 中葉に属する可能性のある土器群である。器種は深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、注口土器、香炉型土器が見られ、また器種は不明だが、特徴的な口縁部突起も掲載した。a～fは立石遺跡第V群類似のものである。

- a 沈線で区画し、沈線に沿って連続刺突が施されているもの（深鉢）
- b 幾何学的な鋸歯状文が施されるもの（深鉢、浅鉢）
- c 平行沈線を主体とするもの
 - ① 口縁に無文部を持たないもの、または狭い無文部を持つもの（深鉢、浅鉢）
 - ② 口縁に広い無文部を持つもの（深鉢、鉢、浅鉢）
 - ③ この類に属すると思われるもので破片のため細分できないもの（深鉢）
- d 幅広の曲線的な帯状文や磨消によって特徴づけられるもの（深鉢、鉢、浅鉢、壺）
- e 平行沈線間に連続した刻み帶を持つもの（深鉢、鉢、浅鉢、壺）
- f 刻みのある隆帶を持つもの（壺、注口土器、香炉型土器）
- g 沈線のみによる文様のもの（注口土器）
- h 無文のもの（深鉢、台付鉢、浅鉢、注口土器）
- i 地文のみの浅鉢を一括した。（浅鉢）
- j この時期に該当すると思われる特徴的な口縁部の突起を集めた。（深鉢）

深鉢

- a 沈線で区画され、沈線に沿って連続刺突が施されているもの（81、82）

82は体部から口縁にかけて外に聞く朝顔形の器形で、口唇部は内側に稜を持ち肥厚する。体部は円筒状になるものと思われる。81は小破片のため器形は不明である。
- b 幾何学的な鋸歯状文を施文するもの（84～86）

口縁が外傾する器形で、波状口縁のものと平口縁のものがあり、文様は一段のものと二段のものがある。86は口縁に無文部を持ち、85は口縁部に3条の平行する沈線に区切られた帯状文を持つ。84は小破片のため器形は不明であるが、鋸歯状の斜行する平行沈線が見られることからこの項に入れた。
- c 平行沈線を主体とするもの
 - ① 口縁に無文部を持たないもの、または狭い無文部を持つもの（92～94）

深鉢形のものは口縁部に团扇形の突起を持つもの（92・94）と山形の突起を持つもの（93）がある。92は地文上に5条の平行沈線が施され、沈線の下にも地文がある。頂部下に括弧状の沈線が施され、体部中央に屈曲部を持つ器形のものと思われる。93は3単位の山形口縁で口縁部に3条の沈線が施され、体上部から口縁にかけて外に聞く器形をとる。94は4単位の山形口縁で口縁部に狭い無文帶を持つ。縦文帯には6条の平行沈線が施され、縦位S字状の連続した沈線で平行沈線間を連結している。沈線下は無文である。

② 口縁に広い無文部を持つもの (96~99)

96は体部の縄文部と口縁の無文部との境に段を持ち、縄文部には5条の横位平行沈線が施され、弧状沈線で連結している。体下部は無文で底部には網代痕が認められる。97・98・99は5単位の大波状口縁で口縁部は朝顔状に大きく開く器形である。97は継位S字状、98・99は横位S字状の沈線によってそれぞれ横位の平行沈線と連結している。97は施文が雑で、1条毎の連結を基本としているがS字状沈線が斜行し、横位沈線と一致しない部分もある。本項には無文部を低く、縄文部を高く浮かせたものが多い。

③ この類に属すると思われるもので破片のため細分できないもの (101~103)

102・103は体部破片で器形は不明であるが、口縁部が開く朝顔形の深鉢形の可能性があると思われる。地文部に施された横位平行沈線間を102は継位のS字状沈線で連結し、103は右閉じ、左閉じの互い違いの弧状沈線と2条の継位平行沈線で連結している。

d 幅広の曲線的な帯状文や磨消縄文によって特徴づけられるもの (108~115)

この項は、今回の器形分類上は鉢になる器形であるが、ここでは深鉢の範種として扱った。地文は斜縄文のものと口縁に直交する羽状縄文のものがある。また、体部文様の鉤状文が無文のものと、縄文充填のものがある。

器形は口縁部が朝顔状に開く5単位の大波状口縁のもの (109) と底部から口縁まで外傾する台形状のもの (110・111・112・113・114・115) がある。前者は口縁部に幅広の無文部を持ち、後者は口縁上部から地文が施されている。108は口縁が開く深鉢形の器形を呈するものと思われる。

e 平行沈線間に連続した刻目帯のあるもの (121・122・125・126・131)

平行沈線文のもの (122・121)、幅広の曲線的な帯状文のもの (125・126) がある。

地文には単節斜縄文と口縁に直交する羽状縄文のものがある。121・125は朝顔状に開く深鉢形になるものと思われる。また、125は無文部との境に2条の刻み帯が施されている。131は口縁部に刻みを持つもので体部には深鉢cの平行沈線文若しくは深鉢dの鉤状の文様が施文されている可能性も考えられる。

h 無文のもの (137)

137は小形深鉢とした。

j この時期に該当すると思われる特徴的な口縁部の突起を集めた。(152~154)

152と左右の巻き方は違うが類似のものは新山権現社遺跡に見られる。新山権現社例と同様に、体部には平行沈線が施されていた可能性がある。154の上部は剥落している。いずれも突起部のみで詳細は不明であるが、深鉢の口縁部突起であろうと思われる。

鉢

c 平行沈線を主体とするもの

② 口縁に広い無文部を持つもの (90・95)

90は7条の横位平行沈線で区切られた縄文帶を上から下まで一筆書き状の横位のS字状沈線によって連結されている。口唇部は肥厚し稜を持ち、内外面とも丁寧に磨かれている。95は鉢形を呈するものと思われる。口唇部は肥厚し稜を持ち、太い隆帯が貼り付けられている。口縁部は無文で、体部の地文部との境には段を持つ。地文部には数条の横位平行沈線が施され、その上に継位2条の平行沈線が施されている。

- d 幅広の曲線的な帯状文や磨消によって特徴づけられるもの 鉢 (105~107)、台付鉢 (116)
 体上部に最大径を持ち、頸部はやや括れて口縁部が直立する器形のものと、括れを持たず口縁が内湾するものがある。105の体部文様構成は3単位の鉤状文で、口縁部には平行沈線が施されている。116は台付鉢とした。
- e 平行沈線間に連続した刻目帯のあるもの (120・123・124・128)
 平行沈線文のもの (120)、幅広の曲線的な帯状文のもの (123・124)、弧状の沈線が施されるもの (128) がある。
 124は口縁部平行沈線間に3条の刺突状の刻目を持ち、123は2条の平行する刻目帯間に突起を持つ。
- h 無文のもの (141・142・145)
 全て台部のみで器形が定かではない為、便宜的に台付鉢とした。141・142は筒状、145は透かしを持つ。141は前項dの116に似た器形であり、欠損した体部には充填の繩文部を持つものかもしれない。

浅鉢

- b 幾何学的な鋸歯状文を施文するもの (83)
 83は口縁に無文部を持つ。小型浅鉢である。
- c 平行沈線を主体とするもの
- ① 口縁に無文部を持たないもの、または狭い無文部を持つもの (87~89)
 浅鉢形のものはすべて平口縁である。88は口唇部がやや肥厚し、S字状の沈線が横位に施され平行沈線間を連結し、地文の原体は全体の5/6がLR、1/6がRLである。87と89はともに繩文部に6条の平行沈線が施され、沈線間を縦位の短沈線が連結していることや出土地点、胎土から同一個体の可能性がある。体下部は無文で、体部、口縁部共に器厚はさほど変わらない。
 - ② 口縁に広い無文部を持つもの 浅鉢 (91)、台付浅鉢 (100)
 91は体部に5条の横位沈線で区切られた帯繩文帯を縦位S字状沈線が2条毎に連結し、体下部は無文である。内面には赤色顔料が付着している。100の台付浅鉢は口唇部がやや肥厚し、無文部と繩文帯との境に段を持つ。4条の平行沈線が横位S字状の沈線で連結し、内面体部中央にも段を持つ。
- d 幅広の曲線的な帯状文や磨消によって特徴づけられるもの (104)
 104の一点である。
- e 平行沈線間に連続した刻目帯のあるもの (119・130)
 体部文様は平行沈線文のもの (119)、弧状の沈線が施されるもの (130) がある。
- h 無文のもの 浅鉢 (136)、台付浅鉢 (138~140・143) 台付皿 (144・146・147)
 台付のものについては、台部が筒状のもの (138・139・140) と台部欠損の状態から透かしの台の可能性があるものの (143・144・146・147) がある。138は光沢がありg項の注口土器135に色調も類似している。また、他の筒状の台を持つものより台部が低いようである。146は口縁を外側に折り返し、口縁部に段を持つ。
- i 地文のみもの (149~151)
 149は口縁が方形で底部器形は丸形で木葉模が認められる。体部文様は撚糸文 (R) により羽状の文様を作り出し、底部は故意に打ち欠いているものと思われる。150は口縁部に無文部を持

1 縄文・弥生土器

ち、体部の縄文帯との境に段を持つ。文様は単節斜縄文である。151は口唇部がやや肥厚し、文様は同一原体による羽状縄文施文である。

壺

- d 幅広の曲線的な帯状文や磨消によって特徴づけられるもの (117・118)
- e 平行沈線間に連続した刻目帯のあるもの (127)
 - 127は幅広の曲線的な帯状文が施される。
- f 刻みのある隆沈線を持つもの (132)

注口土器

- f 刻みのある隆沈線を持つもの (133)
- g 沈線のみによる文様のもの (135)
 - 135は表面が磨かれ光沢がある。体下部に段を持ち、沈線で区画した部分をやや低く調整しているため器面に凹凸がある。
- h 無文のもの (148)
 - 148は口縁を外側に折り返し、口縁部に段を持つ。小型土器とした。

香炉型土器

- e 平行沈線間に連続した刻目帯のあるもの (129)
 - 129は幅広の曲線的な帯状文を持つ。
- f 刻みのある隆沈線を持つもの (134)
 - 隆帶の連結部に突起が施されている。

D 類 後期中葉から後葉に属するもの (155・156)

壺2点の掲載である。

共に小型壺と思われる。155は頸部、156は体部にそれぞれ沈線で区画された帯状の磨り消し部分を持つ。

E 類 後期後葉から末葉に属する、東北地方の十腰内IV、V式、瘤付土器I～IV段階に相当または類似する土器群である。当該期の土器編年を元に分類した。なお、瘤付土器様式も十腰内V～VI式に比定されるが、ここでは分離して扱った。器種は深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、注口土器、单孔土器、香炉型土器が見られる。

- a 木葉状及び入組帯状文に特徴を持ち、十腰内IV式に比定されるもの。同一原体による羽状縄文が多く見られる。（鉢、浅鉢、壺、注口土器、单孔土器）
- b 欽掛状入組文に特徴を持ち、十腰内V式に比定されるもの（深鉢）
- c 瘤付土器第I段階に比定されるもの（深鉢、壺）
- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの（深鉢、鉢、浅鉢、壺、注口土器）
- e 瘤付土器第III段階に比定されるもの（深鉢、鉢）
- f 瘤付土器第IV段階に比定されるもの（深鉢、鉢、浅鉢、壺）
- g 後期末葉から大洞B1形式に比定されるもの（深鉢、鉢、壺、注口土器、香炉型土器）

深鉢

- b 横掛状入組文に特徴を持ち、十腰内V式に比定されるもの (203)

203の1点のみの掲載である。充填繩文による横掛状文が全面に施される。

- c 瘤付土器第I段階に比定されるもの (204)

内側が大きく肥厚し、表面は丁寧に磨かれている。当該期に特徴的に見られる深鉢の口縁部突起と思われる。

- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの (206・210~212・216・218・247)

206は口縁部に三日月状の突起が対向して貼り付けられる。沈線による区画内は櫛齒状工具による条線で充填されている。212は櫛齒状工具にて全面に施した後、平行沈線区画内を「く」の字様に削って又状入組文をなす。貼瘤は隆起の小さいボタン状突起である。218は口縁付近に先鋭突起が施される。間隔が広く、繩文が充填された帯状入組文がめぐる。247は小破片であるが、深鉢の可能性がありこの項に入れた。

- e 瘤付土器第III段階に比定されるもの (220~223・226・227)

入組帶状文が施されているもの (220・222・227) と弧線連結文が施されているもの (223) がある。221は入組部が確認できないが、恐らく前者の方に含まれると思われる。前者は逆続刻目で充填され、後者は繩文が施されており、弧線区画内は磨消がなされている。226は口縁部突起である。貫通孔と三叉状彫去が認められる。

- f 瘤付土器第IV段階に比定されるもの (228~233・238)

器形は頭部と体部の間に括れをもつと思われるもの(232・233・238)と持たないもの(230・231)がある。238を除いて頭部文様帶に櫛齒状条線充填の帯状入組文が施される。232は体部に繩文充填の帯状入組文も施される。238は頭部に玉抱帯状入組文、体部に玉抱三叉文が施される。後述の項gに入る可能性もある。

- g 後期終末期、十腰内VI式から大洞B1式に比定されるもの (239・241)

口縁部から頭部にかけて三叉文が多用される。239は頭部と体部の境目でかすかに括れる器形で、前項e以前の形態を残している。頭部文様帶の入組帶状文は繩文が充填され、入組部には刺突が施されている。

鉢

- a 十腰内IV式に比定されるもの 鉢 (192) 小型鉢 (194)

192の文様帶は同一原体による羽状繩文で充填される。194は小型の台付鉢である。

- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの 鉢 (208) 小型鉢 (209)

208と209の2点である。208の体部下半は無文で、体部半ばの文様帶は繩文が施されているが、一部に櫛齒条線が認められる。貼瘤は先鋭突起である。209は小型鉢である。間隔の広い入組帶状文が施されている。

- e 瘤付土器第III段階に比定されるもの (224・225)

224は体部に貼瘤を持たず、代わりに入組帶状文の入組部に刺突が施される。225は入組部にボタン状突起が貼り付けられる。いずれも文様帶は狭く、口縁部周辺のみである。

- f 瘤付土器第IV段階に比定されるもの (237)

台部のみであるため、詳細な器形は不明である。便宜的に台付鉢とした。透かしを持つ。

g 後期末葉から大洞B1式に比定されるもの (242)

表面は丁寧に磨かれ光沢を持つ。施文は三叉文、弧状沈線であるがともに彫去的な手法で施されている。

浅鉢・皿

- a 木葉状及び入組帶状文に特徴を持ち、十腰内IV式に比定されるもの。同一原体による羽状繩文が多く見られる。(190・191)

地面上に入組弧線文が施されるもの (190)、弧線文区画内を磨り消したもの (191) がある。

- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの (207)

口縁部と体部下に鋭利な工具で切り込みが連続して施されている。口縁部の切り込みほうが深く、鋭くなっているのに対し、体部下のほうはむしろ櫛齒状条線に近い。

- f 瘤付土器第IV段階に比定されるもの (234・236)

234は台付浅鉢、236は台付皿で、ともに台部が欠損している。欠損状態から見て透かしを持つ台部がついていたと思われる。234は体部に釣手状の突起が8単位で廻っており、口縁部の突起と対応して配置されている。

壺

- a 木葉状及び入組帶状文に特徴を持ち、十腰内IV式に比定されるもの。同一原体による羽状繩文が多く見られる。壺 (193・195・200) 小型壺 (196)

196は小型壺である。沈線で区画され、無文部は磨り消されている。193は体部に剥離痕が認められる。円形貼付が施されていたと思われる。196は体部、口縁部とも欠損しているため詳細は不明であるが、壺の頸部と思われる。単孔土器の可能性もある。

- c 瘤付土器第I段階に比定されるもの (205)

205は小型の壺である。体部には貼瘤が施され、わずかではあるが底部として指頭圧痕が認められる。

- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの (217)

壺の体部と思われるが、小片のため詳細な器形は不明である。弧線連結文が認められる。

- f 瘤付土器第IV段階に比定されるもの (235)

広口壺である。頸部は丁寧なミガキで無文体をなす。体上部は沈線上に刺突を施し連弧状に区画され、区画内は磨り消されている。

- g 後期末葉から大洞B1形式に比定されるもの (240)

大型の壺である。貼り付けられた突起の形態や文様に特徴を持つ。安行2式の系統と思われる。

注口土器

- a 木葉状及び入組帶状文に特徴を持ち、十腰内IV式に比定されるもの。同一原体による羽状繩文が多く見られる。(199・201・202)

199は体部に剥離痕を持ち、貼瘤が施されていた可能性がある。201と202は胎土、焼成とともに類似しており、同一個体の可能性もある。

- d 瘤付土器第II段階に比定されるもの (213~215・219・245)

213は、櫛齒状条線が施され、連弧文区画内は磨り消されている。214は微隆線による弧線状

入組文が施され、粒状小突起が多く貼り付けられる。赤色顔料もわずかに残っている。215は体上部に肩を持ち、頸部に段を持つ器形と思われる。文様は襷掛状文が施されている。体部には大きめの叉状突起、頸部、注後部には先鋒突起が貼り付けられる。219は注口根元に隆線が廻り、注口下部には貼瘤がなされる。頸部と注口部は無文である。245は215と類似した器形と思われる。注口部の剥離痕周辺にはアスファルトが付着している。

- g 後期末葉から大洞B1式に比定されるもの (243・244)

244の表面は丁寧に磨かれている。弧線連結文が密着して三叉状彫去をなしている。

単孔土器

- a 木葉状及び入組帶状文に特徴を持ち、十腰内IV式に比定されるもの。同一原体による羽状繩文が多く見られる。(197・198)
197は体部下半が欠損しており、198との類似性から単孔土器とした。198の穿孔は焼成前に外側からなされている。

香炉型土器

- g 後期末葉から大洞B1式に比定されるもの (517・518)
いずれも破片で器形の詳細は不明である。三叉状彫去と大きめの突起の貼付がなされている。517は大型の三叉状突起等、240との類似性が認められる。

F類 地文のみ或いは無文のもの、または粗製の土器で後期に属すると思われるが詳細な時期の判別ができなかったものをまとめた。

- a 後期前葉から中葉に属すると思われるもの
 ① 地文が単節繩文のもの (深鉢、鉢、浅鉢、壺)
 ② 摽糸文施文のもの (深鉢、鉢、浅鉢)
 ③ 網目状捺糸文のもの (深鉢)
 ④ 沈綱が施されるもの (深鉢)
 ⑤ 薄目文を持つもの (深鉢)
 ⑥ 無文のもの (深鉢、浅鉢、壺)
 b 後期中葉から末葉に属すると思われるもの
 ① 繩文施文のもの (深鉢、鉢)
 ② 無文のもの (深鉢、鉢、壺)
 c 後期に属すると思われるが時期不明のもの (深鉢、鉢、浅鉢)

深鉢

- a 後期前葉から中葉に属すると思われるもの
 ① 地文が単節繩文のもの 深鉢 (157・158・161・162・164)・小型深鉢 (160)
 単節繩文のみのもの (157・158) と、さらに捺糸側面圧痕や綾縞文が施されるもの (160・161・162・164) がある。
 地文はいずれも単節の斜繩文である。深鉢は平口縁のもの (160・161・162) と緩い波状口縁のもの (157・158・164) がある。157・158は5単位の波状口縁のもので口縁部は無文である。

164は口縁に繩文が施される。

160は小型の深鉢で、口唇付近に撚糸側面圧痕が施されている。161・162・164は口縁無文部下に撚糸側面圧痕を持ち、体上部に膨らみを持つ器形である。

- ② 撥糸文施文のもの (167・169・170・463・465)

平口縁のものと波状口縁のものがある。465は底部が大きく、体下部に膨らみを持つ。

- ③ 網目状撚糸文のもの (171・172)

いずれも波状口縁のものである。体上部に膨らみを持つ。

- ④ 沈線が施されるもの 深鉢 (174・175) 小型深鉢 (173)

173は小型の深鉢でしたが、小型壺の可能性もある。175は縦位の沈線、173にはやや曲線的な沈線が多数施文されている。174は格子状に沈線が施文されたものである。深鉢形の体部破片と思われる。

- ⑤ 横目文を持つもの (466)

櫛歯状工具で曲線的に施文されている。

- ⑥ 無文のもの (462)

小型の深鉢である

b 後期中葉から末葉に属すると思われるもの

- ① 繩文施文のもの (177~186)

羽状繩文のもの (177・178・179・184・185・186)、単節繩文のもの (180・181・182・183) がある。180は口縁部に無文帶を持つ。181・182は結節痕が認められる。

- ② 無文のもの (187~189)

c 後期に属すると思われるが時期不明のもの (480~482・484・485)

482は表面に撚糸文、裏面に沈線文が施されている。484・485は底部破片のみであるが、木葉痕や網代痕に特徴があるものを掲載した。

鉢

a 後期前葉から中葉に属すると思われるもの

- ① 地文が単節繩文のもの (159・166・464)

単節繩文のみのものの (464) と、さらに撚糸側面圧痕や綾縞文が施されるもの (159・166) がある。地文はいずれも単節の斜繩文である。159はやや小型のもので口唇付近に撚糸側面圧痕が認められる。166は頭部に綾縞文を持つ。

- ④ 沈線が施されるもの (460)

曲線的に4~5条の平行沈線が施されている。

b 後期中葉から末葉に属すると思われるもの

- ① 繩文施文のもの (176・472・473)

176は非結束羽状繩文が縦位に施されている。

- ② 無文のもの (468)

小型の鉢とした。ゆるい波状口縁をもつ。

c 後期に属すると思われるが時期不明のもの (475~479・483)

全て小型鉢である。体部に繩文が施文されるもの (476・478・479・483) と無文のもの (475・477) がある。477は口縁に3条の平行沈線が廻る。483は四脚鉢である。底部に4単位の脚状突

起をもつ。

浅鉢

- a 後期前葉から中葉に属すると思われるもの
 - ① 地文が単節縄文のもの (461)
口縁部と体下部は無文である
 - ② 摽糸文施文のもの (168)
 - ⑥ 無文のもの 浅鉢 (459)・小型浅鉢 (457・458)
457・458は小型の浅鉢である。
- c 後期に属すると思われるが時期不明のもの (474)

壺

- a 後期前葉から中葉に属すると思われるもの
 - ① 地文が単節縄文のもの (163・165)
単節縄文の上に撋糸側面圧痕や綾織文が施されるもの (163・165) がある。地文はいずれも単節の斜縄文である。
 - ⑥ 無文のもの (467)
小型壺である。体部半ばで屈曲し、頭部に向かって内傾する。
- b 後期中葉から末葉に属すると思われるもの
 - ② 無文のもの (469~471)
いずれも小型壺で、体部が球状のもの (469・470) と体部半ばで屈曲するもの (471) がある。

<第Ⅲ群 縄文時代晚期> (第39~65・71・98図、写真図版51~74・78・79)

晩期に属する土器群である。出土量は最も多い。初頭期から後葉期を文様及び器形の特徴からA～E類に分け、Ⅲ群と思われるが、詳細な時期の判断に欠ける粗製土器はF類として一括した。232点の掲載である。

A類 初頭期の土器群である。主に三叉文系の沈線により施文されているもので大洞B式に比定される土器群である。器種は深鉢、浅鉢、注口土器である。出土数は他の時期に比べ非常に少ない。器種は深鉢 (250)、浅鉢 (246)、注口土器 (248・249) である。

B類 前葉期に属する土器群である。出土数は同群1類に次いで少ない。文様の主体は羊齒状文 (+連珠文)、波状入組文で、大洞BC式に比定される土器群である。器種は深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、広口壺、注口土器である。

深鉢 (260・261)

260は口縁文様帶に羊齒状文がなされ、口端にはB突起が認められる。261は口縁文様帶に玉抱三叉文が廻り、体部地文は異原体の羽状縄文が施される。

鉢 (254・255・257~259)・台付鉢 (262~266)

羊齒状文が施されるもの (254・255・258・262・263)、波状入組文が施されるもの (259)、沈線のみの施文のもの (257) がある。262・263は台付鉢である。ともに台部が欠損している。また264・265・266は台部破片である。便宜的に台付鉢とし、本項に入れた。

浅鉢 (253)・小型浅鉢 (256)・皿 (252)・小型台付皿 (251)

251は小型の台付皿である。台部は欠損している。252は外側に連珠文、内側に入組文が施されている。253は体部中央で文様帯が二分され、上半は波状入組文、下半には菱形入組文が施される。256は小型の浅鉢である。体部には雲形の入組文が施される。

壺 (267)・広口壺 (268)

267は口縁～頸部に無文体を持ち、体上部文様帶に羊齒繩文が施される。268は広口壺とし、本項に入れた。頸部無文体の上下を挟むように平行沈線間を刺突によって刻み、直線的な羊齒状文をなす。また、赤色顔料がわずかに認められる。

注口上器 (269~272)

269・272は算盤玉状の器形である。丸底で安定しない。文様は体部上半のみで体下半～底部は丁寧に磨かれ光沢を持つ。270・271は体部破片であるが、同様の器形を持つものと推測される。

C類 中葉期前半の大洞C1式に比定される土器群である。器種は深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、注口土器である。

深鉢 (311~313)・台付深鉢 (314)

口縁部に複数のB突起と連続した刻みを持ち、沈線や刺突が施文されるもので沈線により地文部と区画されている。314は台付の深鉢である。小山形口縁を持ち、2段交互の刺突や大脚骨文が施される。

鉢 (286・289~292・294・295・297~302・304・306・307・310)・小型鉢 (293・296・303・305・308・309)・台付鉢 (315~318)

口縁に最大径を持つもの (305・306・296) と体部上に最大径を持つものがある。体部上に最大径を持つものは、体部上から口縁にかけて「く」の字に湾曲するもの (291・297・299・300・307・308・309・310)、湾曲し口縁部が直立するもの (294・295)、口縁部までゆるく内湾するもの (286・290・292・293・298・301・302・303) 内湾しその後口縁部が外反するもの (289・304) がある。口縁部は、連続した刻みや複数のB突起を配する小山形口縁である。文様は口縁から肩部にかけて沈線や刺突を施し、体部以下は地文のみのものがほとんどであるが、286・289・294のように体部に浮陰状の大脚骨文や、X字状の文様が施文されているものもある。底部付近が無文のものは、沈線で地文部と区画されるもの (290・292・293・297・301・302・309) と、沈線区画がないもの (295・303・304・305・306・308) があり、体部の立ち上がりに低い段を持つもの (290・292・298・301・302・303・305・309) もある。また、体部上から口縁にかけ

て「く」の字に湾曲するものは、底部から体部上まで外傾し、逆台形状の器形を呈している。293・296・303・305・308・309は小型鉢とした。また315・316・317・318は台付鉢である。口縁に複数のB突起を施文するもの(315・316)、小山形口縁のもの(317)がある。文様については、315は直線的な羊歯状文と大脛骨文を施文するもの、316は2段交互の刺突を持つもの、317は地文のみのものである。文様を施文するものは頭部若しくは体部上半に施文され、沈線で地文部と区画されている。肩部に突起を施しているものが多く、全て肩部から口縁にかけて内湾する器形である。318は透かしの入った台部である。上部には浅鉢若しくは鉢形のものが付随していたものと考え本項に入れた。

浅鉢(276・279・283~285・287・288)・小型浅鉢(274)・皿(273・277・280~282)・小型皿(275・278)・台付皿(319・320)

口縁は平らなもの(274・281)と凹凸のものがあり、凹凸のものは浮彫状のもの(273・275・276・277・278・280・282・283・284・285・319・320)と連続した刻みのあるもの(279)がある。浮彫状のものは口縁部が肥厚し三角形状の彫り込みを持つものが多い。口唇部に沈線が施されるものは281の1点である。体部文様は繩文施文部をやや浮かせた磨り消し技法や充填技法のものが多い。体部は外反するもの(275・280・285)と内湾若しくは内湾気味のもの(273・276・277・278・279・282・283・284)がある。底部が残るものは全て体部の立ち上がりに低い段を持つ。277は口縁内部に連珠文が施されている。319・320は台付皿とした。ともに台部は欠損している。319の底部内面には χ 字状の文様が施文されている。320は台残存部に刺突的な施文が認められる。

注口土器(321~328)

全て破片で全体の器形がわかるものはない。体部中央が外に張り出し、上半が反り返した器形(323・324・327)のもの、内湾気味のもの(328)、内傾するもの(321)があり、口縁部が残るものはいずれも体部から口縁にかけて「く」の字に屈曲している。繩文施文のものは全て繩文施文部をやや浮かせた半浮彫的な沈線区画の磨り消し繩文や充填繩文である。328は頭部に、321・323・324・327は口縁部や体部中央に浮彫的な突起をもつ。328は外面及び頭部内面に赤色顔料の付着が認められる。

D類 中葉期後半の大洞C2式に比定される土器群である。器種は深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、広口壺、注口土器があり、他に蓋も見られる。

深鉢(368・374・375・377・379~382・384~388・390~392)・小型深鉢(376)

376は小型の深鉢である。379・380・381・382・386は口縁部破片である。体部上に膨らみを持つものが多いが、392は口縁部を見る限りでは筒状である。全て刻みや押圧を持つ小山形口縁である。体部文様は無文のもの(368)、無節繩文(377)、羽状繩文(384・375)、単節繩文(390・388・385・387・376・374・379・382・381)施文のもの等がある。379・381・382は羽状繩文が施されている可能性もある。頭部に無文部を持つものと持たないものがあり、前者には、沈線間を無文とするもの(390)、無文部だけのもの(375)、体部と区画する沈線のみ施されているものの(377・384・387・388)があり、後者には、数条の沈線を持つもの(381・382・385)、沈線間

に刺突を持つもの (379・380・386)、1条の沈線で体部地文と区画されるもの (376・374)、長楕円形の文様を施すもの (368) がある。377は遺構内出土のものである。内面の沈線施文後に口縁に刻みを施している。

鉢 (348~362・364~367・373・378・383・389)・小型鉢 (340・370~372)・台付き鉢 (394~397)

体部上に膨らみを持つものと底部からそのまま立ち上がり、口縁部に最大径を持つもの (370・373) がある。底部から体部にかけて膨らむ器形のものが多いが、(356・359・361・364) のように体部下が細く内側に締まつた器形のものもある。また、口縁部にはA・B突起状のものを付すもの (348・350・351・352・353・354・355・356・361・365・366・370・373・383) が多いが連続した刻みだけの小山形口縁のものもある。また、340は円形の突起を口唇に貼り付けているもの、357は平口縁のものを焼成後に打ち欠き小山形口縁にしているものである。文様は、口縁部から頸部にかけて平行沈線と刻み・刺突による施文のものが多いが、体部に磨消技法による縄文施文のもの (348・349・351) や曲沈線による矢羽根状の文様や浮彫的な文様を施しているもの (358・367) もある。底部をやや上げ、底部と体部を明確に区別しているものは383の1点であるが、沈線あるいは無文にして区画しているものに348・352・355・366がある。394・395・396・397は台付鉢である。口縁には細い連続した刻みのもの (397) や棒状工具による斜位の刻み (395)、押圧状の刻み (394・396) のものがあり、A突起やB突起を付しているものや、やや大型の突起を持つもの (397) もある。397は口縁内面に沈線が施文され、内面も丁寧に磨かれている。395・396には炭化物の付着が見られる。

浅鉢 (330・332・333・337~339・344・346・347)・小型浅鉢 (334・335)・皿 (329・331・336・341~343・345)・台付浅鉢 (393)

底部と体部の境に段を持つもの (331・332・336・341・344・343・346) と、沈線のみを持つもの (330・342) がある。体部文様は、無文のもの (330・342)、沈線のみのもの (341)、沈線区画の磨り消しまたは充填縄文のものがある。b~e項はいずれも底部から口縁まで「ノ」の字に湾曲する器形である。393は台付浅鉢である。

- a 口縁部に1条の細い刻みが連続して施されるもの (329・334・335・337・338・347)
 - 口縁部と頸部には2個1組の突起が施されている。また、口縁内側に1条の沈線が施されている。底部が残るものは全て底部がやや高く、底部と体部の区別が明瞭である。肩部に最大径を持つ。
- b 口縁部に平行する2条の大小の連続した刻みを持つもの (332・346)
 - この項に属するものは、体部内面中央部に縄文帯が廻る。
- c 口縁部に浮彫的な突起を持ち、口唇に三角形状の彫り込みを持つもの (343・344)
- d 口縁部に沈線や短沈線を持つもの (330・333・331・336・341・342・345・393)
 - 平口縁のもの、A突起を持つもの、B突起を持つもの、A・B両突起を持つもの、細い連続した刻みを持つものなど様々である。
- e 平口縁のもの (339)
 - 口縁内側に1条の沈線が施されている。

壺 (363・369・398・399・401・403~410・412・413・415~418)・小型壺 (400・402・411・419・420)・

広口壺 (414)

頸部は全て無文である。口唇部に沈線の施されたもの (363・398・399・400・401・403・405・406・414・416・417・419) は、363と401を除いて口縁部に突起を持つ。

体部文様には、磨消繩文のもの (363・400・404・406・407・408・410・411・412・413・414・415・417)、無文のもの (416・418・419・420)、地文のみ、あるいは地文と沈線施文のもの (363・400・406・407・408・409・410・411・412・413・414・415・417) があり、416を除き無文のものには赤色顔料が付着している。頸部に沈線を施し体部と区画するものが多いが、418のように頸部に隆帯状の段を持ち、区画するものもある。器形は、体部がなだらかに湾曲するものと、体部上で「く」の字に曲がるもの (363・369・405・415) がある。前者には最大径を器高のほぼ中央に持つもの (398・399・400・401・403・408・411・412・416・418)、中央より下に持つもの (419・420)、中央より上に持つもの (407・409・410・413) がある。363・400・405は無頸の壺である。

399・403・411・420の体部には焼成後に故意に打ち欠いたと思われる穿孔が見られる。

注口土器 (421~423)

口唇部には細い連続した刻みを付し、体部中央には、細い刻みやA突起、B突起が施され、423の口縁内側には1条の沈線が施してある。文様は磨り消し繩文のもの (423) と地文に沈線を施したもの (422) がある。磨消繩文のものは体部上から口縁までやや直立する器形に対し、422は丸みを帯びた器形である。421には赤色顔料が付着している。

蓋 (424)

424の1点である。縁とつまみの部分に沈線が施される。

E類 後葉期の大洞A式に比定される土器群である。器形は深鉢、鉢、浅鉢、四足皿である。

深鉢 (428~431・514・515)

428は頸部に7条の平行沈線が施され、内4条は短沈線である。430・514・429は口唇に棒状工具による斜位の押圧状の刻みを持つ。口縁上部と頸部に沈線が施され沈線間は無文である。体部には繩文が施文されている。

鉢 (426・427)

ともに口縁部内側に沈線が施される。426は頸部に6条、体下部に3条の平行沈線が施される。体部は無文である。427は、頸部に平行沈線と無文部を持つ。体部には繩文が施文されている。

浅鉢 (425)・四足皿 (432)

425は体上部に工字文が施され、体部は無文である。432は脚が1本のみの残存であるが、四足皿と思われる。口縁に張り出すB突起と横位沈線の施された突起をもつ。体部文様は沈線によるものである。

1 縄文・弥生土器

F類　末葉期の大洞A'式に比定される土器群である。変形工字文施文のものが主である。器種は鉢、浅鉢形である。

鉢 (434~437)

体部が無文のもの (435) と縄文施文のもの (434・437) がある。

浅鉢 (433)・台付浅鉢 (438)

438は体下部以下が欠損しているが、台付浅鉢と推定される。砂沢式の高壺状の器形になると思われる。

G類　地文のみ或いは無文のもの、または粗製の土器で晩期に属すると思われる土器群である。大まかに時期ごとにa~dの4つに分類した

- a 晩期中葉に属すると思われるもの (深鉢、鉢、浅鉢、壺)
- b 晩期中葉から後葉に属すると思われるもの (深鉢、小型浅鉢、壺)
- c 晩期後葉から末葉に属すると思われるもの (深鉢、鉢、壺)
- d 晩期に属すると思われるが時期不明のもの (深鉢、浅鉢、壺)

深鉢

- a 晩期中葉に属すると思われるもの (439・440・443・444・492~496)
- b 晩期中葉から後葉に属すると思われるもの (454)
- c 晩期後葉から末葉に属すると思われるもの (447~450・453)
447、448は口頭部に無文帯を持つ。体部縄文帯と頭部無文帯は沈線で区画される。449・450・453は底部破片である。鉢や壺の可能性もある。いずれも木葉痕が認められる。
- d 晩期に属すると思われるが時期不明のもの　深鉢 (501・502・504) 小型深鉢 (503)

鉢

- a 晩期中葉に属すると思われるもの　鉢 (441・442・488~491)・小型鉢 (445)
縄文施文のもの (441・442・490・491)、無文のもの (445・488・489) がある。445は小型鉢で、アスファルトが大量に残存している。
- c 晩期後葉から末葉に属すると思われるもの　小型鉢 (446)　台付鉢 (451)
446は小型の鉢で、地文のみの施文である。451は台部のみの残存である。ここでは便宜的に台付鉢とした。

浅鉢

- a 晩期中葉に属すると思われるもの (486)
小型浅鉢である。口縁部に沈線が施される。
- b 晩期中葉から後葉に属すると思われるもの (499)
小型浅鉢である。底部から渦巻状に全面に沈線が施される。
- d 晩期に属すると思われるが時期不明のもの (500)

壺

- a 晩期中葉に属すると思われるもの 壺 (497・498)・小型壺 (487)

497・498は口縁から頸部にかけて無文である。体部に緩やかな膨らみを持つ。487は器形分類の基準からは外れるが、ここでは壺の亞種として扱った。無文の小壺である。

- b 晩期中葉から後葉に属すると思われるもの (455)

- c 晩期後葉から末葉に属すると思われるもの (452)

- d 晩期に属すると思われるが時期不明のもの (505)

小型の壺である。口頸部は欠損している。前項aの498に似た器形を持つ可能性がある。

<第IV群 弥生時代> (第67・100図、写真図版76・81)

456・516の2点の掲載であるが、小片のみで器種の詳細は不明である。いずれも中葉期に属するものである。

<V群 時期不明のもの> (第73図、写真図版80)

地文または無文で、かつ出土状態から時期が判別しかねるもの(深鉢、鉢、浅鉢)

深鉢 (510・512・513)

513は体部下半が沈線で区画され、無文帯をなしている。

鉢 (509・511)・小型鉢 (507・508)

いずれも体部は無文である。511のみ頸部に沈線または刻目が施されているようである。507は輪積痕が認められる。

浅鉢 (506)

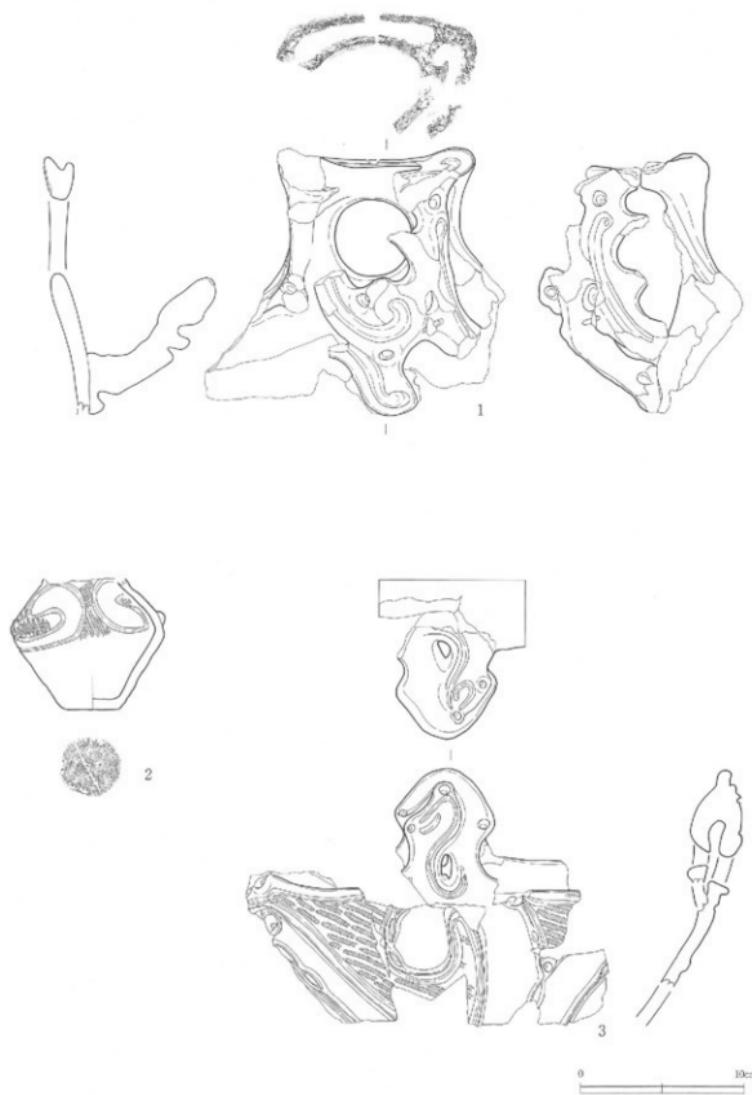
体部は無文、底部に木葉痕が認められる。

(星・立花)

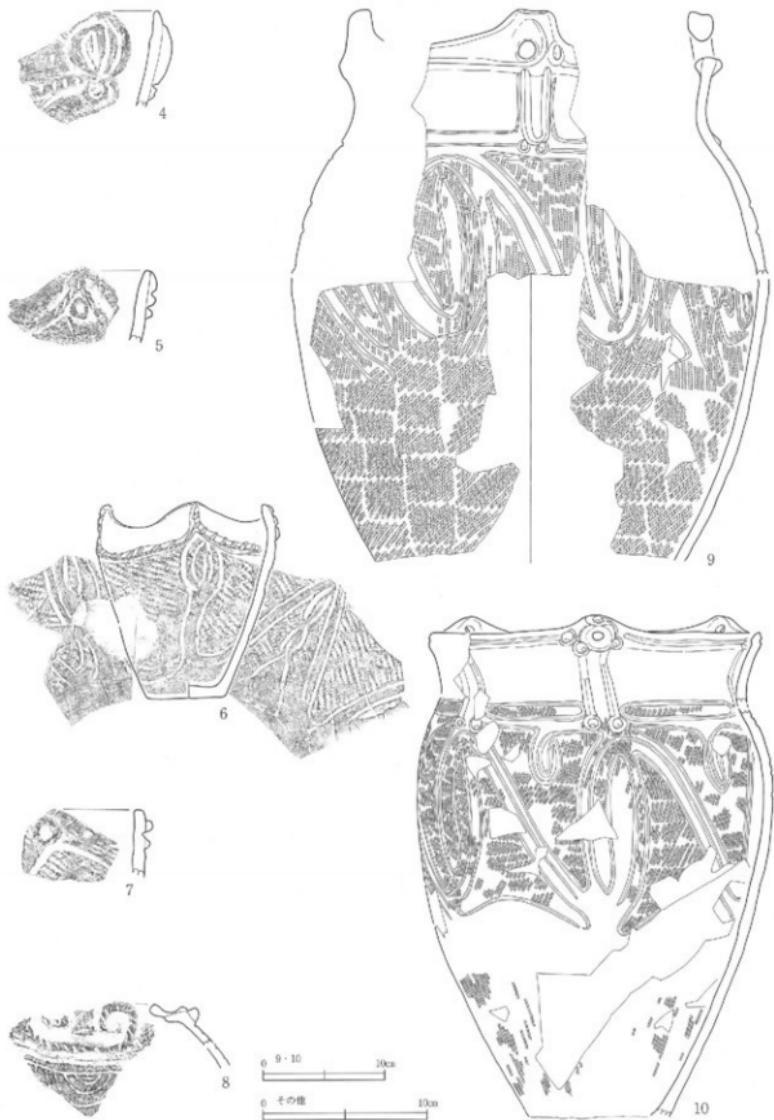
主要参考文献

- 会田容弘(1997) :「東北地方縄文時代後期から晩期の土器装飾文様に見られる 2 種のキザミ」『古代第104号』早稲田大学考古学会
- 青森県教育委員会(1981) :「馬場瀬遺跡発掘調査報告書」 青森県埋蔵文第70集
- 青森市紫沢遺跡発掘調査団(1979) :「紫沢遺跡」
- 安孫子昭二(1980) :「コブ付土器様式から亀ヶ岡土器様式への変遷過程」『考古風土記 第 5 号』
- 今井富士雄・磯崎正彦(1968) :「第16節 十腰内遺跡」『岩木山』 岩木山刊行会
- 岡田康弘(1986) :「十腰内第Ⅲ群・第Ⅳ群・第Ⅴ群土器の再検討」『弘前大学考古学研究 3 号』
- 押山雄三(2002) :「東北地方南部における縄文後期前業の土器」『第15回 縄文セミナー 後期前半の再検討』 縄文セミナーの会
- 金子昭彦(1991) :「人洞B 2 式の磨削縄文について(上) - 東北地方北部を中心として - 」
『紀要XII』 岩手県埋蔵文化財センター
- (1992) :「大洞B 2 式の磨削縄文について(中) - 東北地方北部を中心として - 」
『紀要XIII』 岩手県埋蔵文化財センター
- (1993) :「新山権現社遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第188集 岩手県埋蔵文化財センター
- (1994) :「十腰内Ⅲ式とⅣ式の境界 - 東北地方北半部における縄文時代後期中業から後業への土器変遷 - 」
『岩手考古学 第 5 号』 岩手考古学会
- (1994) :「東北地方北半部における縄文時代後期中業の上器 - 新山権現社遺跡Ⅲ群 1 ~ 3 類土器 - 」『紀要 XIV』 岩手県埋蔵文化財センター
- (1996) :「岩手県上巣古遺跡における土器口縁部の突起 - 大洞式前突起の事例研究 - 』『紀要 XV』 岩手県埋蔵文化財センター
- (1996) :「十腰内 1 式(新)に併行する東北地方中部の土器(1) - 新古の分離についての考え方 - 』『縄文時代 7』 縄文時代文化研究会
- (1997) :「十腰内 1 式(新)に併行する東北地方中部の土器(2) - 文様の系列化 - 」
『縄文時代 8』 縄文時代文化研究会
- 草間俊一・金子浩昌 編(1971) :「貞島貝塚」 花泉町教育委員会・岩手県文化財愛護協会
- 小林圭一(1999) :「東北地方 後期(縫付土器)」『縄文時代 10』 縄文時代文化研究会
- (2001) :「東北南半の縫付土器成立期の様相」『第14回 縄文セミナー 後期後半の再検討』 縄文セミナーの会
- 鈴木亮彦(1996) :「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究 - 十腰内 2 式土器の研究 - 」『考古学雑誌 第 81 卷 第 4 号』 日本考古學會
- (1998) :「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究・2 (上) - 十腰内 3, 4, 5 式土器の研究 - 」『考古学雑誌 第 83 卷 第 2 号』 日本考古學會
- (1998) :「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究・2 (下) - 十腰内 3, 4, 5 式土器の研究 - 」『考古学雑誌 第 83 卷 第 3 号』 日本考古學會
- (1998) :「東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究・4 - 十腰内 1 式と直前型式の研究 - 」
『縄文時代 9』 縄文時代文化研究会
- 須藤隆(1984) :「北上川流域における晩期前業の縄文土器」『考古學雑誌 第 69 卷 第 3 号』 日本考古學會
- 千塚均一他(1986) :「田柄貝塚 I」 宮城県文化財調査報告書第111集
- 中川重紀・早雅之・他(2000) :「長倉 I 遺跡発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第336集 岩手県埋蔵文化財センター
- 中村良幸(1979) :「立石遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告書第 3 集 大迫町教育委員会
- (1986) :「禊音堂遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告書第11集 大迫町教育委員会

- 藤村東男（1987）：「岩手県九年橋遺跡出土の深鉢形土器について」
（1987）：「岩手県九年橋遺跡出土の注口土器について」
- 宮本節子（2000）：「相ノ沢遺跡発掘調査報告書」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第332集 岩手県埋蔵文化財センター
- 早稲田大学文学部考古学研究室（1998）：「岩手県大船渡市長谷堂貝塚の研究（Ⅰ）」「早稲田大学大学院 文学研究科紀要 第44輯 第4分冊」
- 早稲田大学文学部考古学研究室（1999）：「岩手県大船渡市長谷堂貝塚の研究（Ⅱ）」「早稲田大学大学院 文学研究科紀要 第45輯 第4分冊」

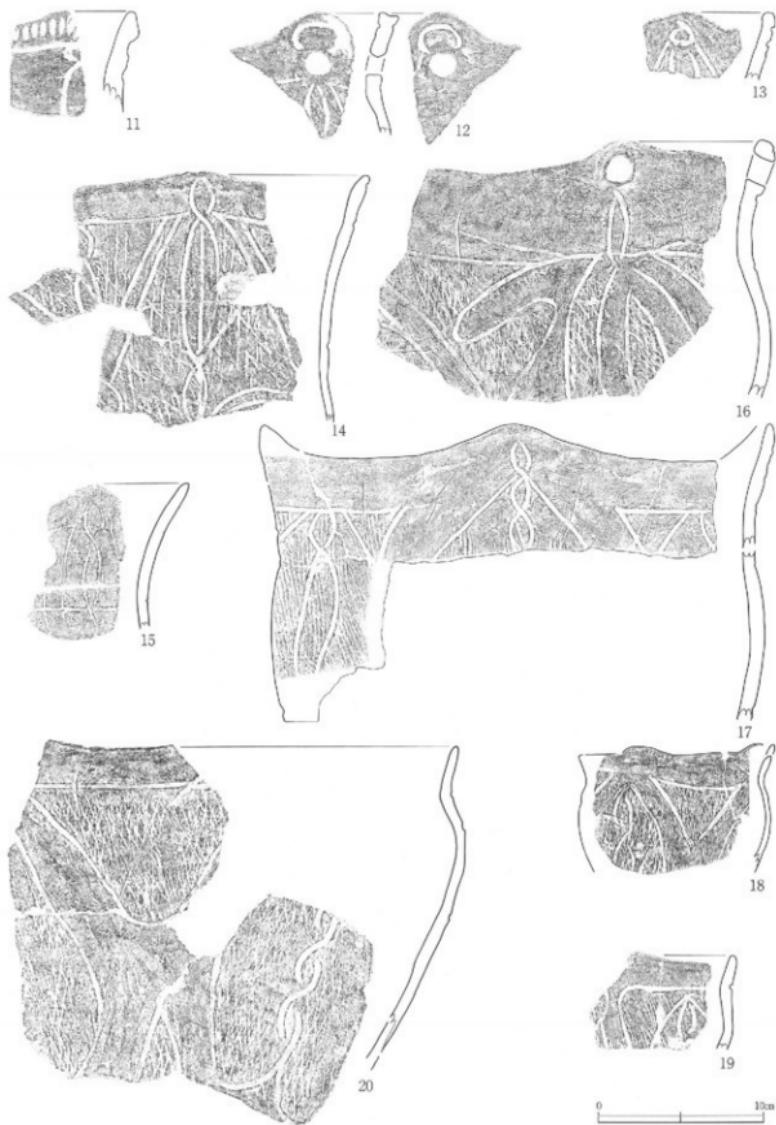


第27図 土器1(1~3)

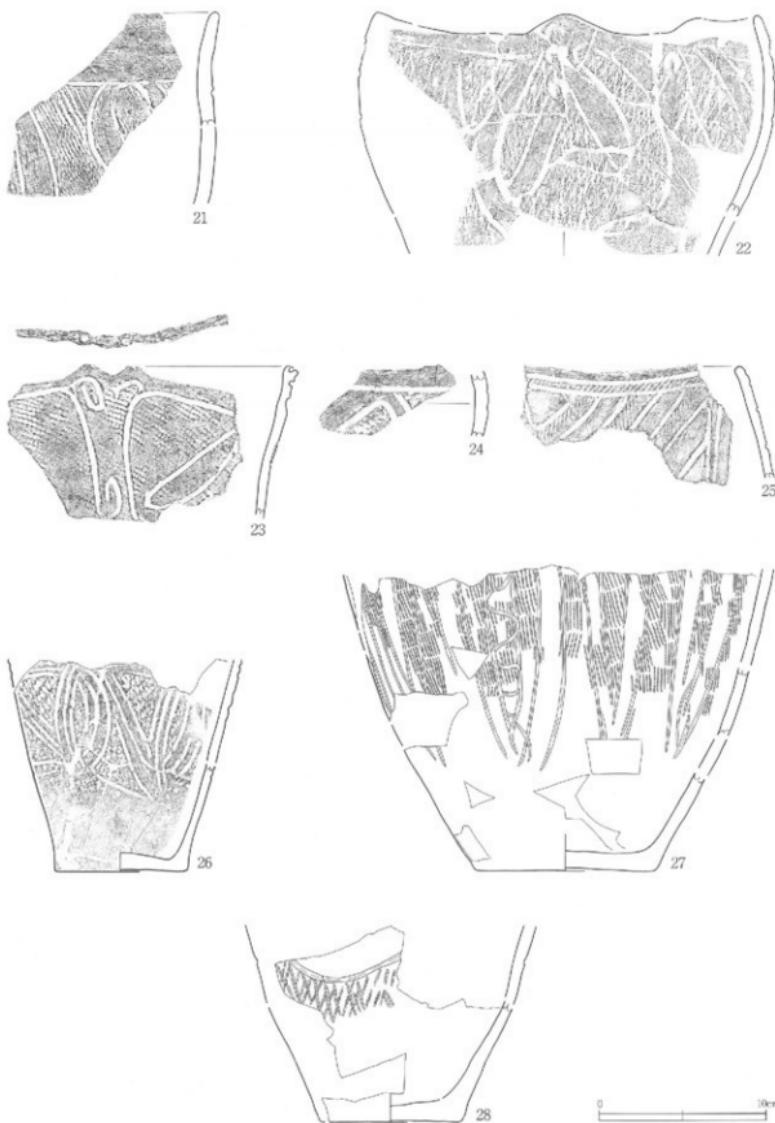


第28図 土器2(4~10)

1 繩文・弥生土器



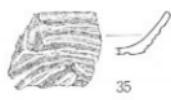
第29図 土器3 (11~20)



第30図 土器4 (21~28)



第31図 土器5 (29~34)



35



36



37



38



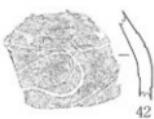
39



40



41



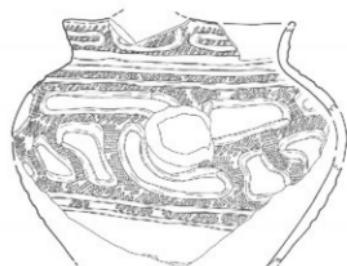
42



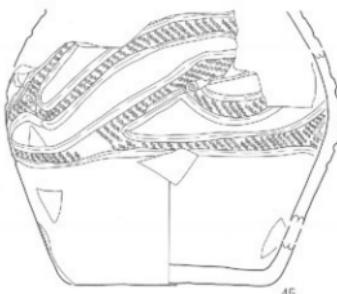
43



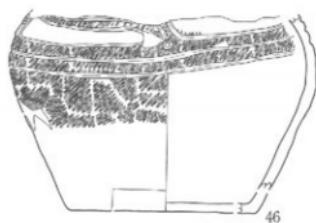
第32図 土器6 (35~43)



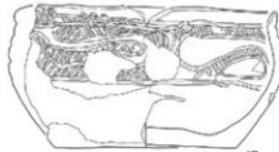
44



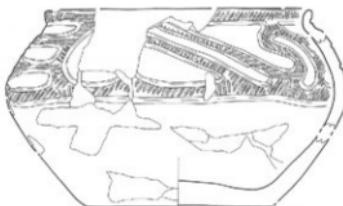
45



46



47



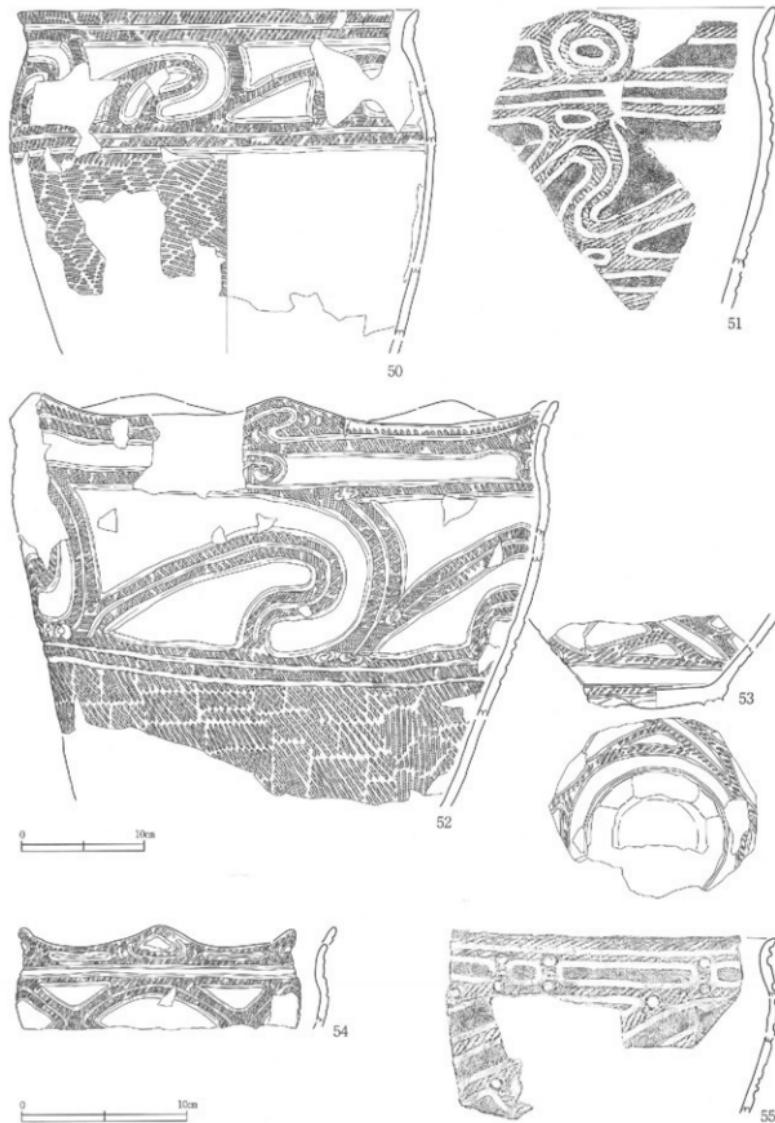
48



49

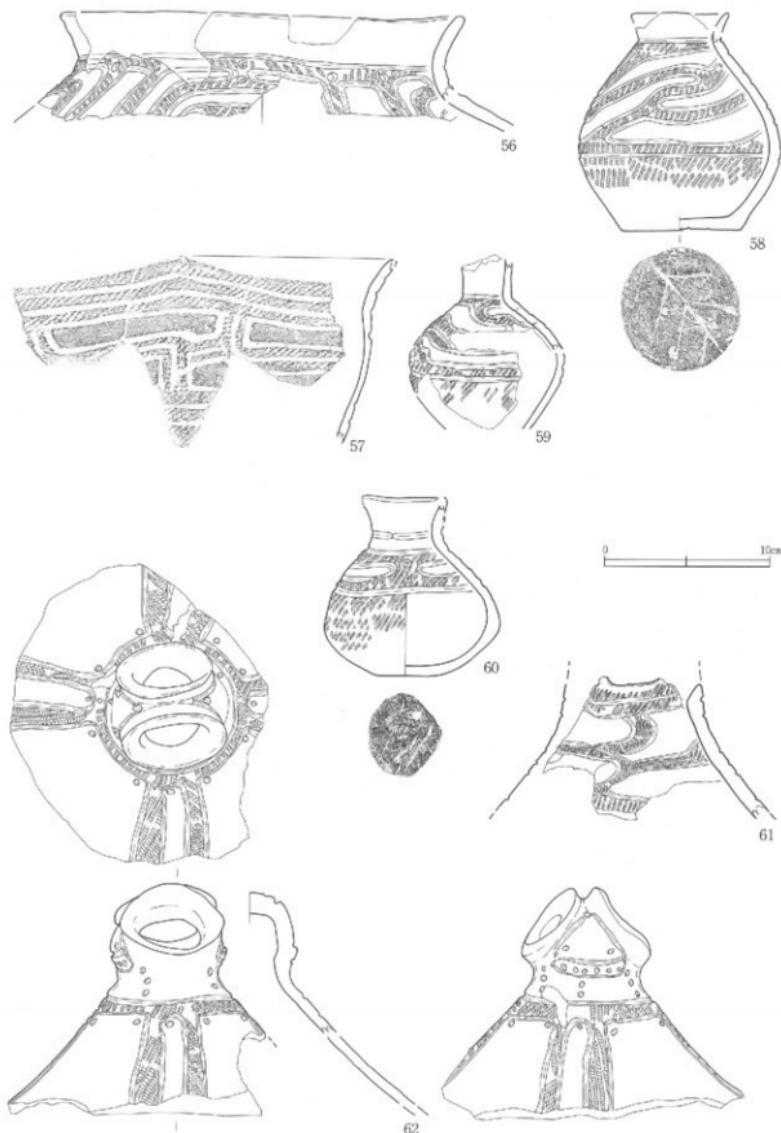


第33図 土器7 (44~49)

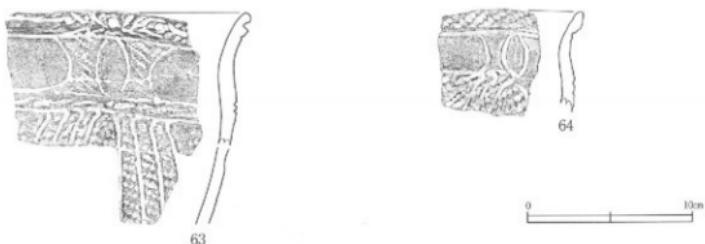


第34図 土器 8 (50~55)

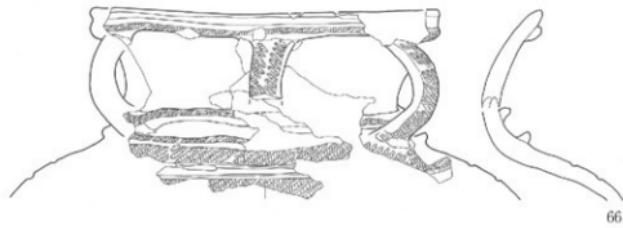
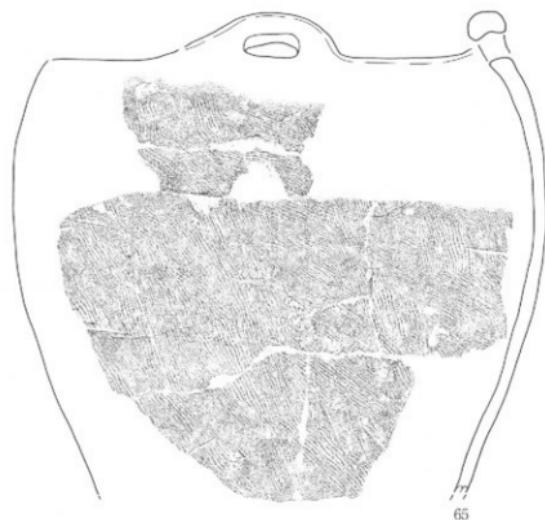
1 繩文・弥生土器



第35図 土器 9 (56~62)

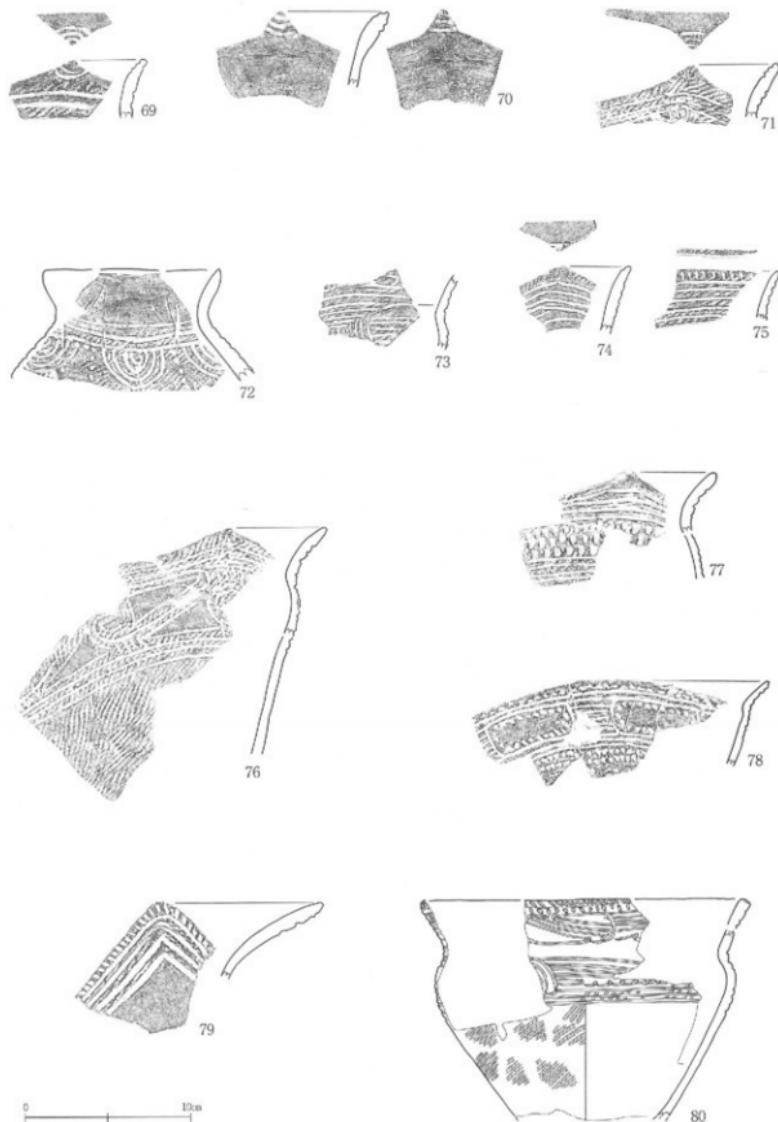


第36図 土器10 (63~64)

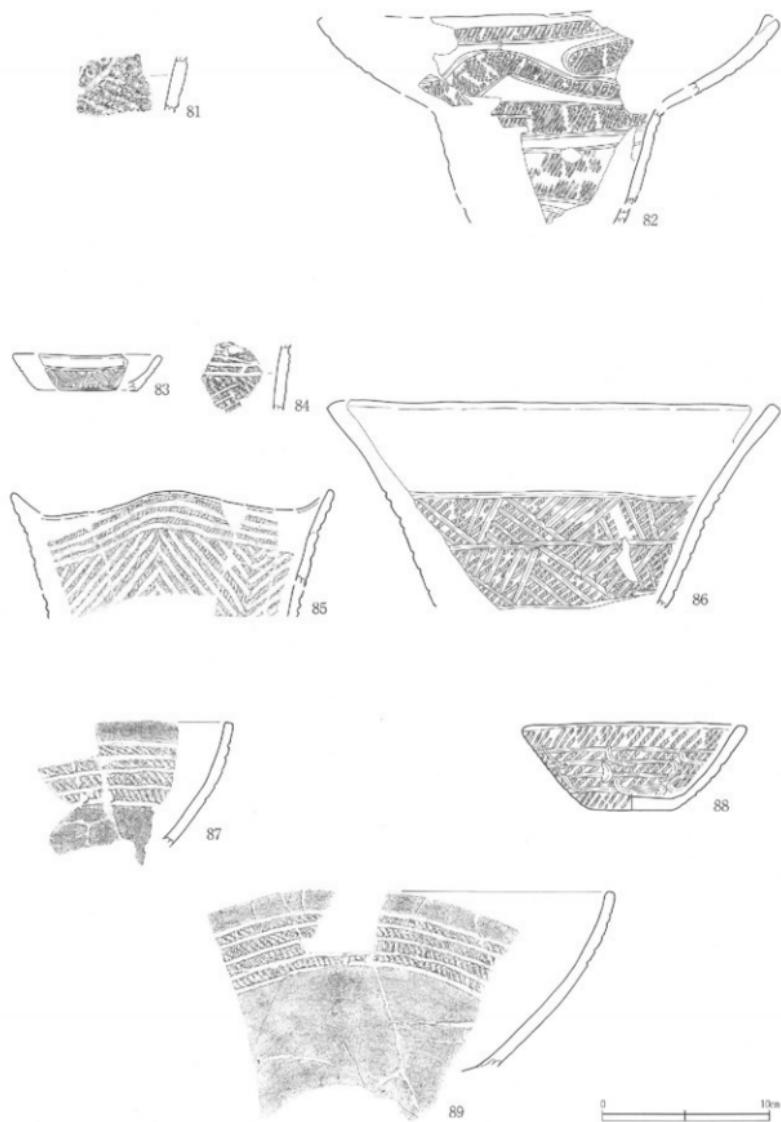


0 10cm

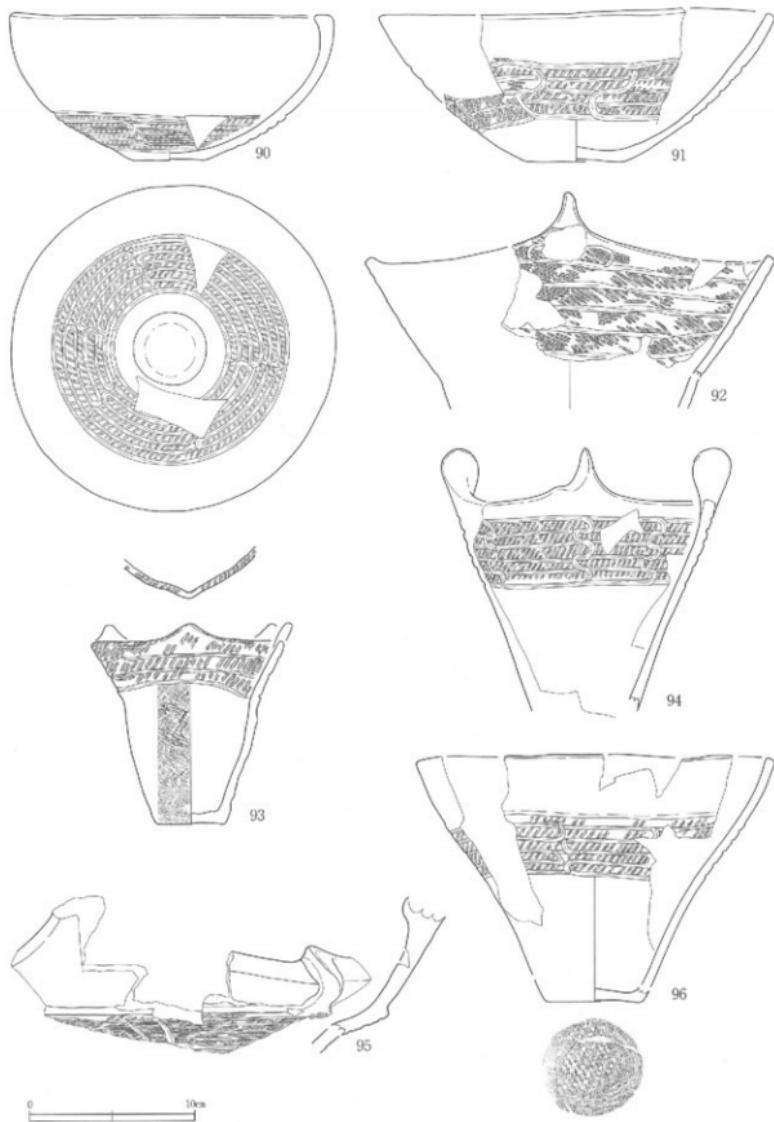
第37図 土器11 (65~68)



第38図 土器12 (69~80)

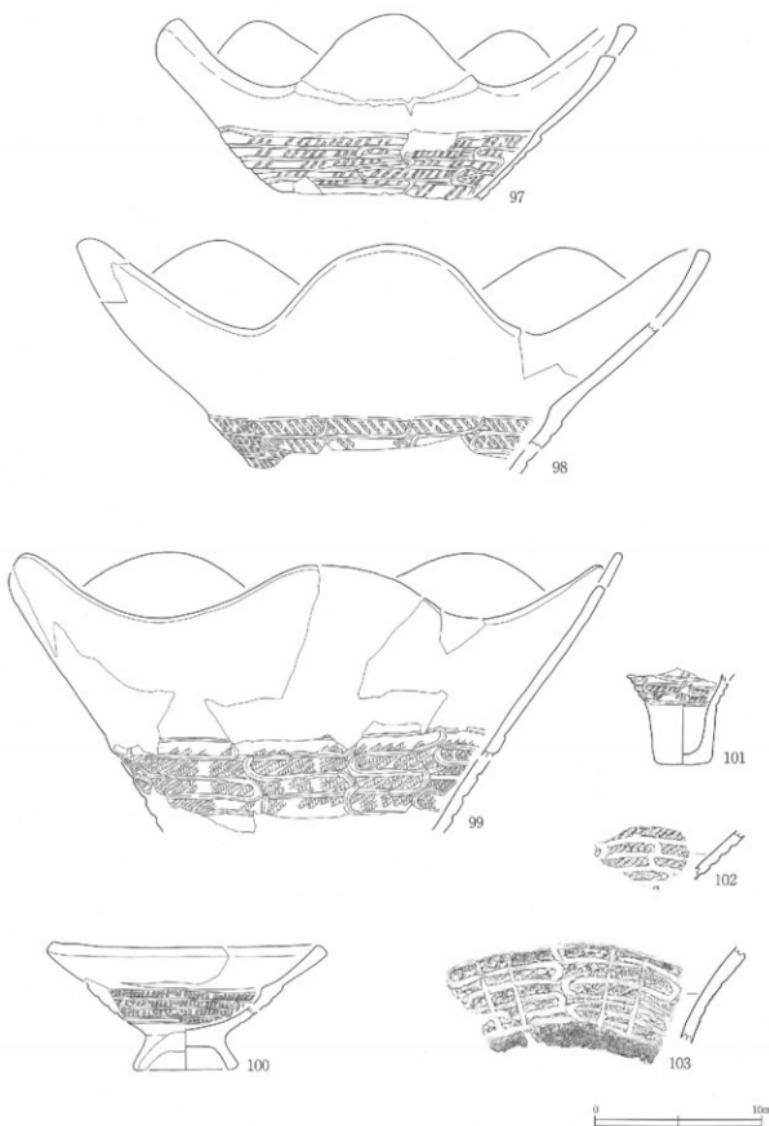


第39図 土器13 (81~89)

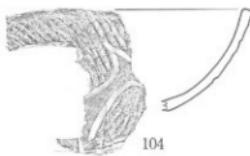


第40図 土器14 (90~96)

1 縄文・弥生土器



第41図 土器15 (97~103)



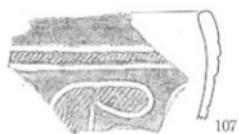
104



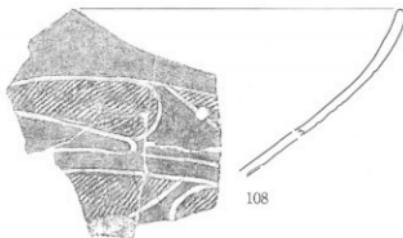
105



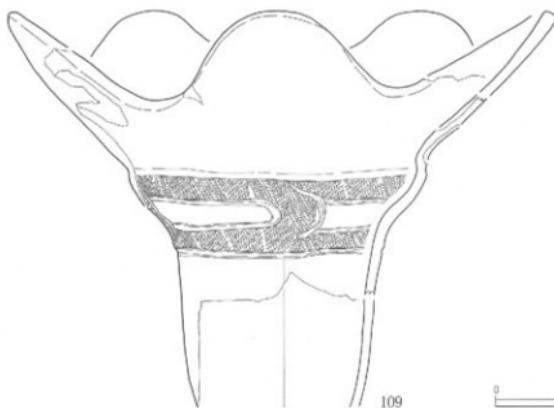
106



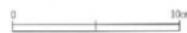
107



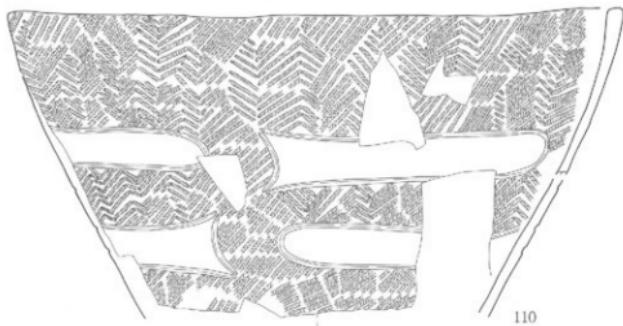
108



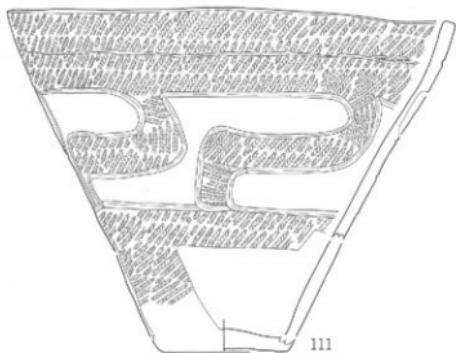
109



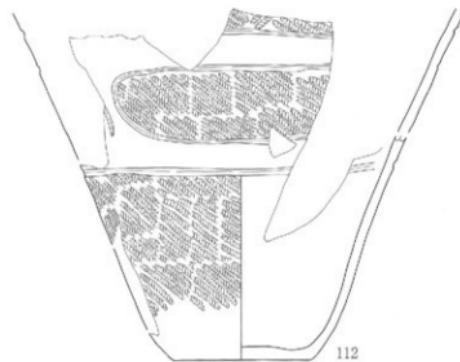
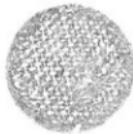
第42図 土器16 (104~109)



110



111



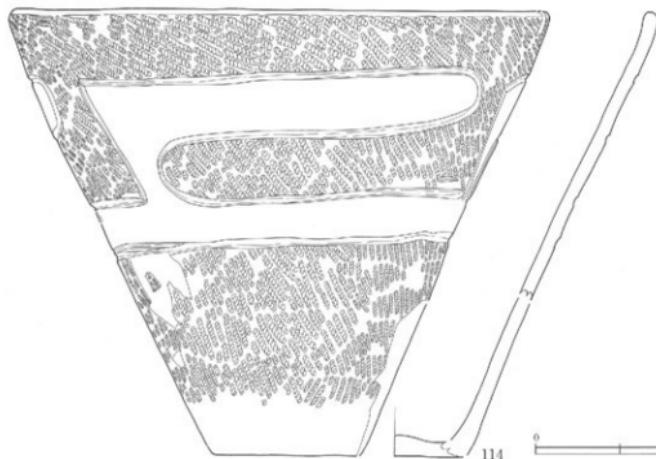
112



第43図 土器17 (110~112)

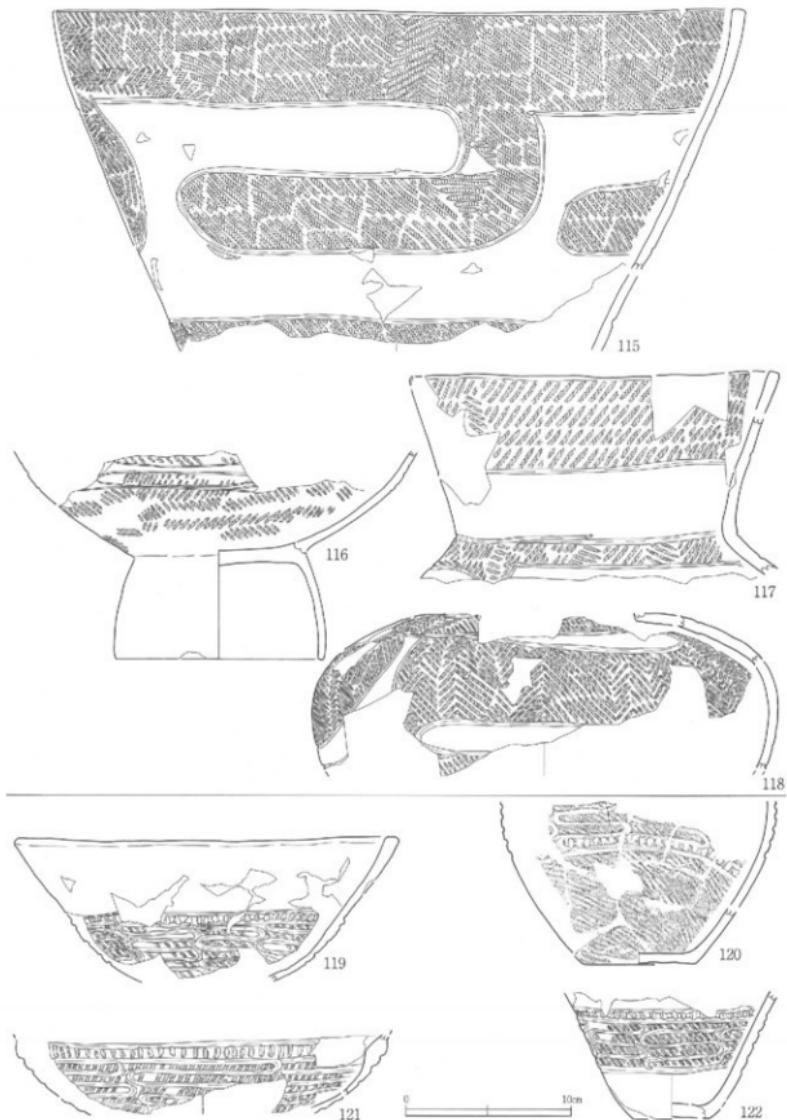


0 10cm

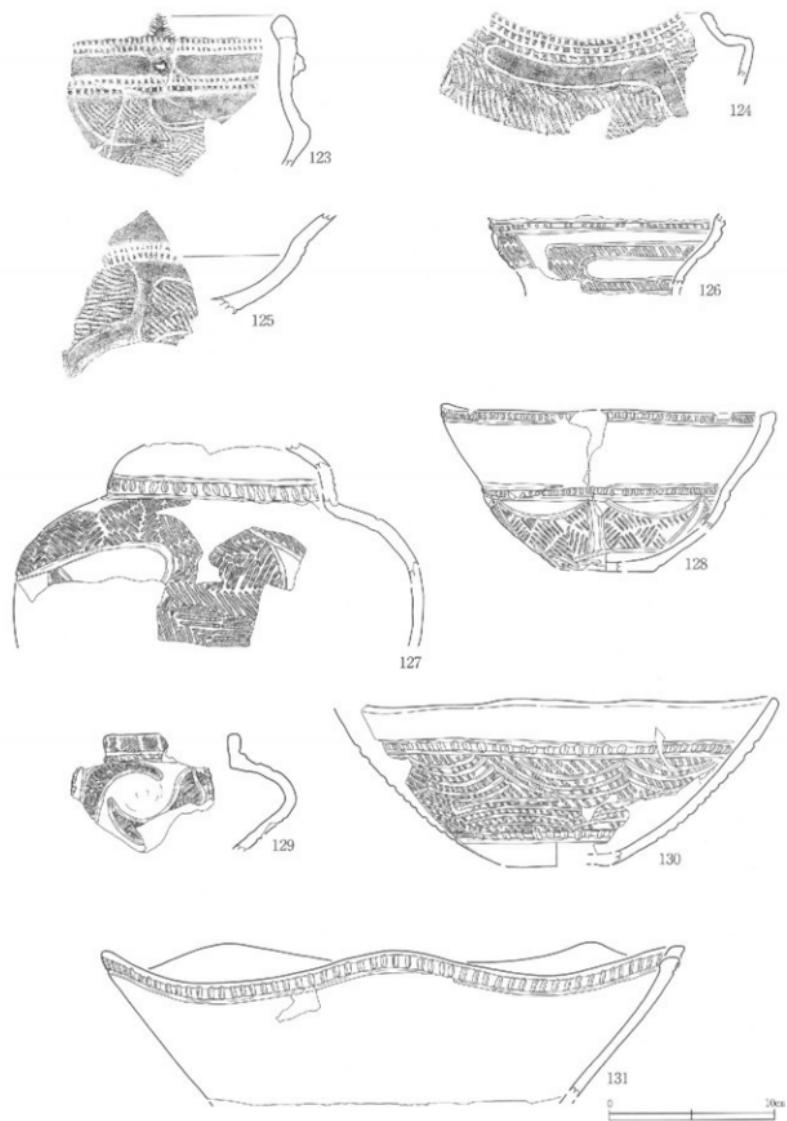


0 10cm

第44図 土器18 (113~114)

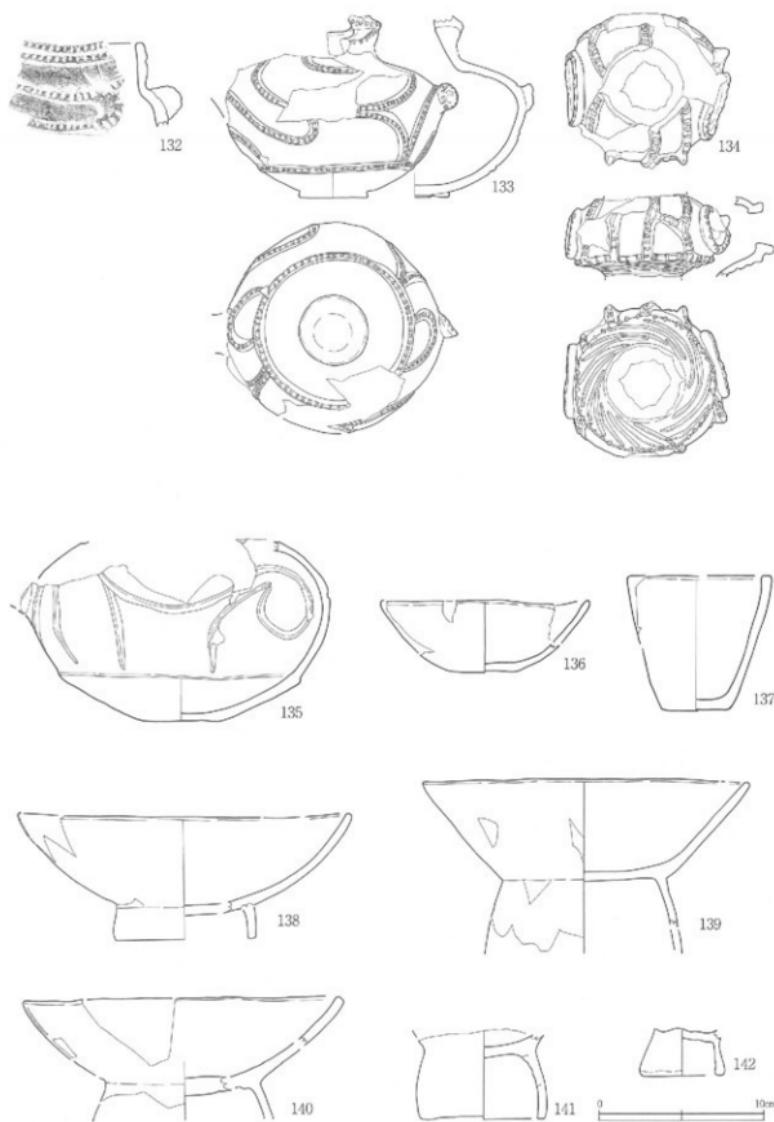


第45図 土器19 (115~122)

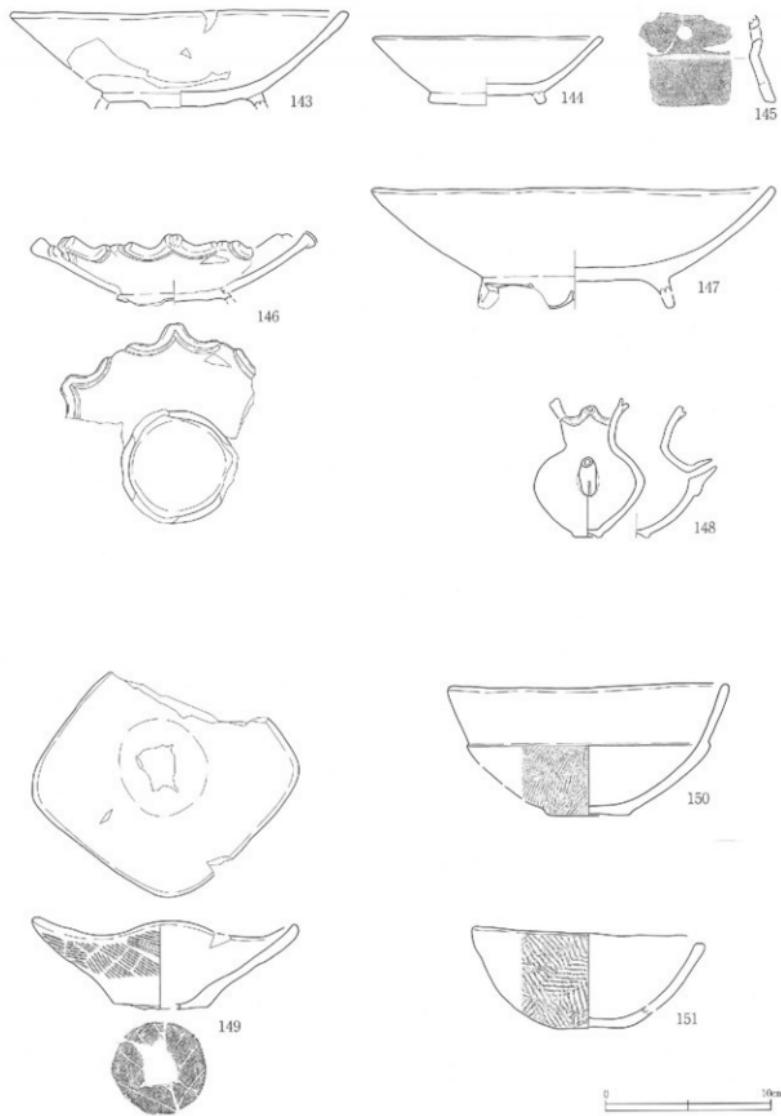


第46図 土器20 (123~131)

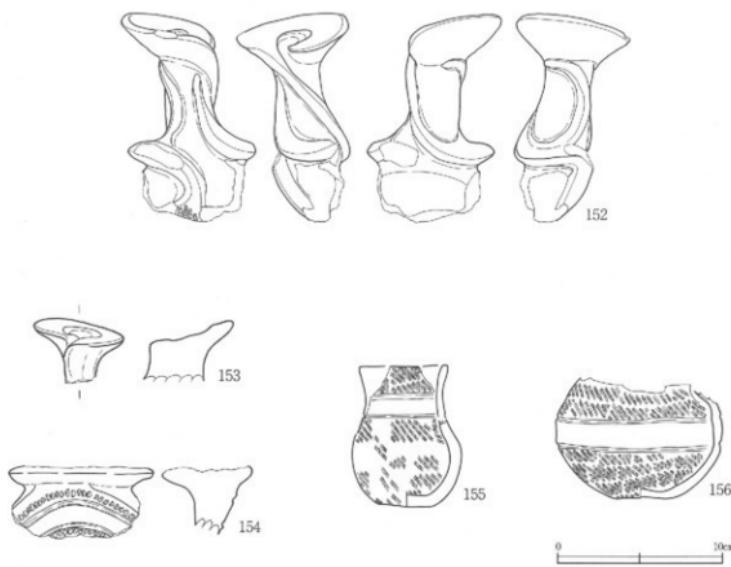
1 繩文・弥生土器



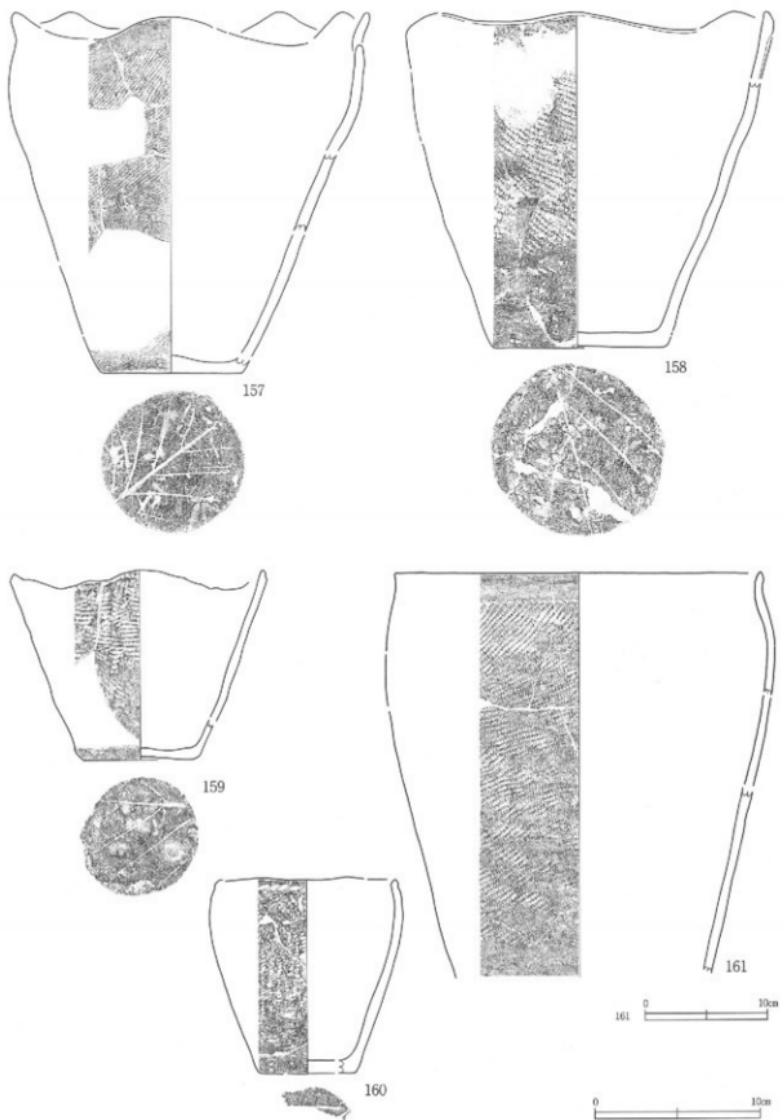
第47図 土器21 (132~142)



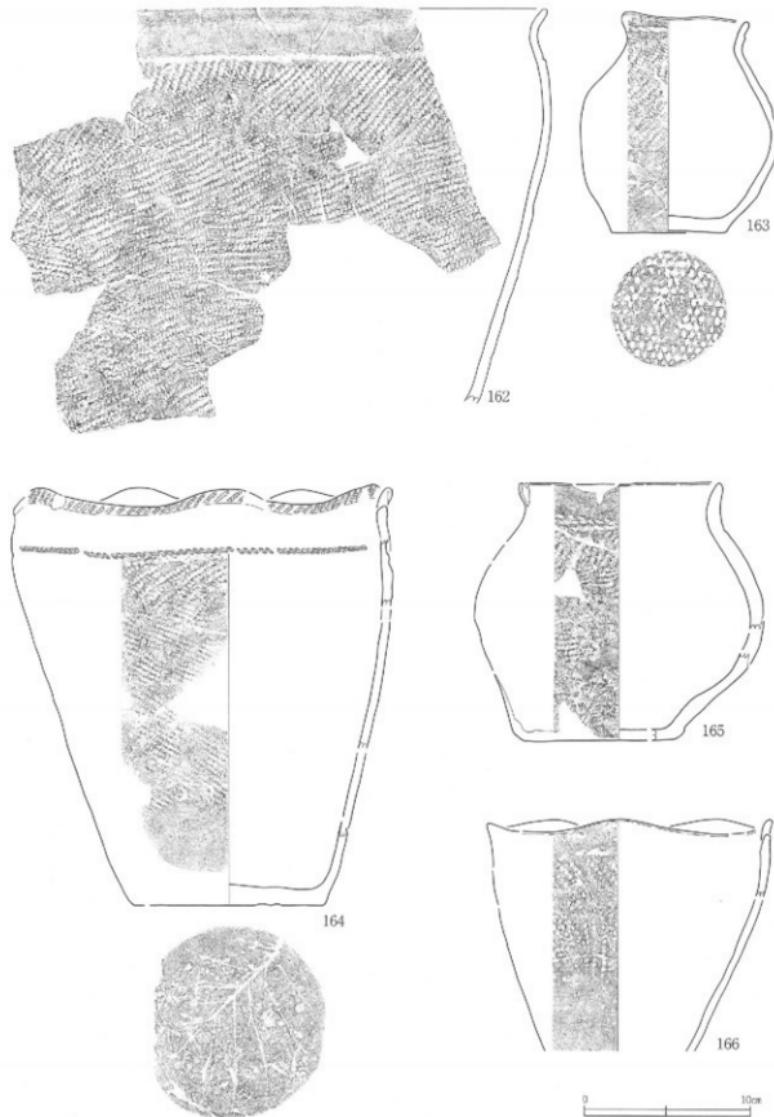
第48図 土器22 (143~151)



第49図 土器23 (152~156)



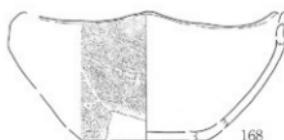
第50図 土器24 (157~161)



第51図 土器25 (162~166)



167

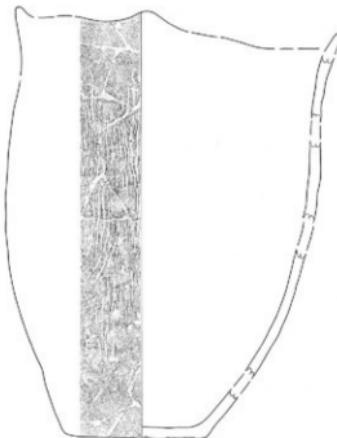


168

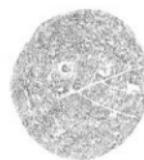
167-168
0 10cm



169



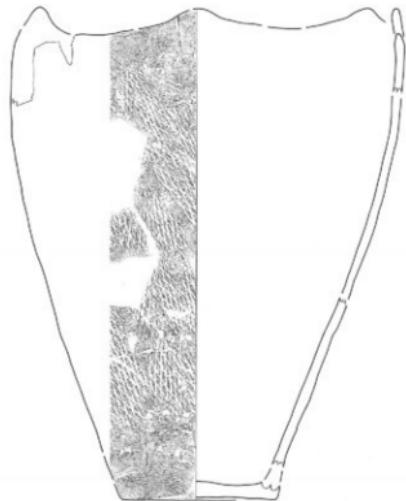
170



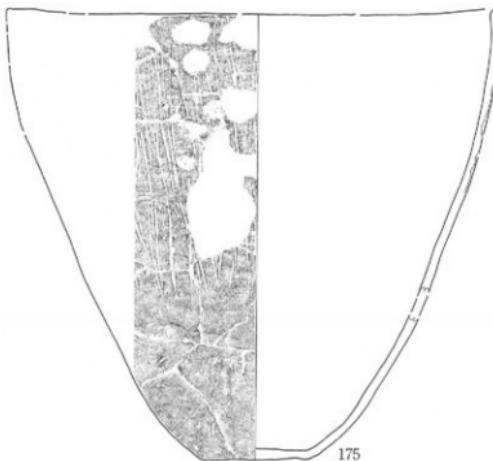
169-170
0 10cm

第52図 土器26 (167~170)

1 繩文・弥生土器

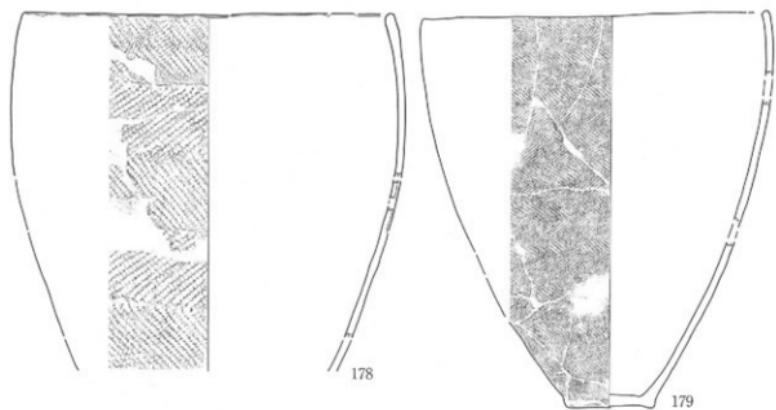
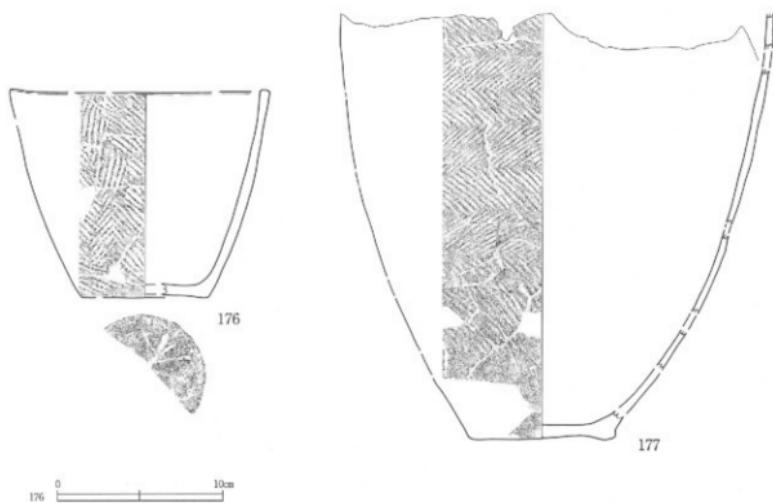


171 - 172 0 10cm



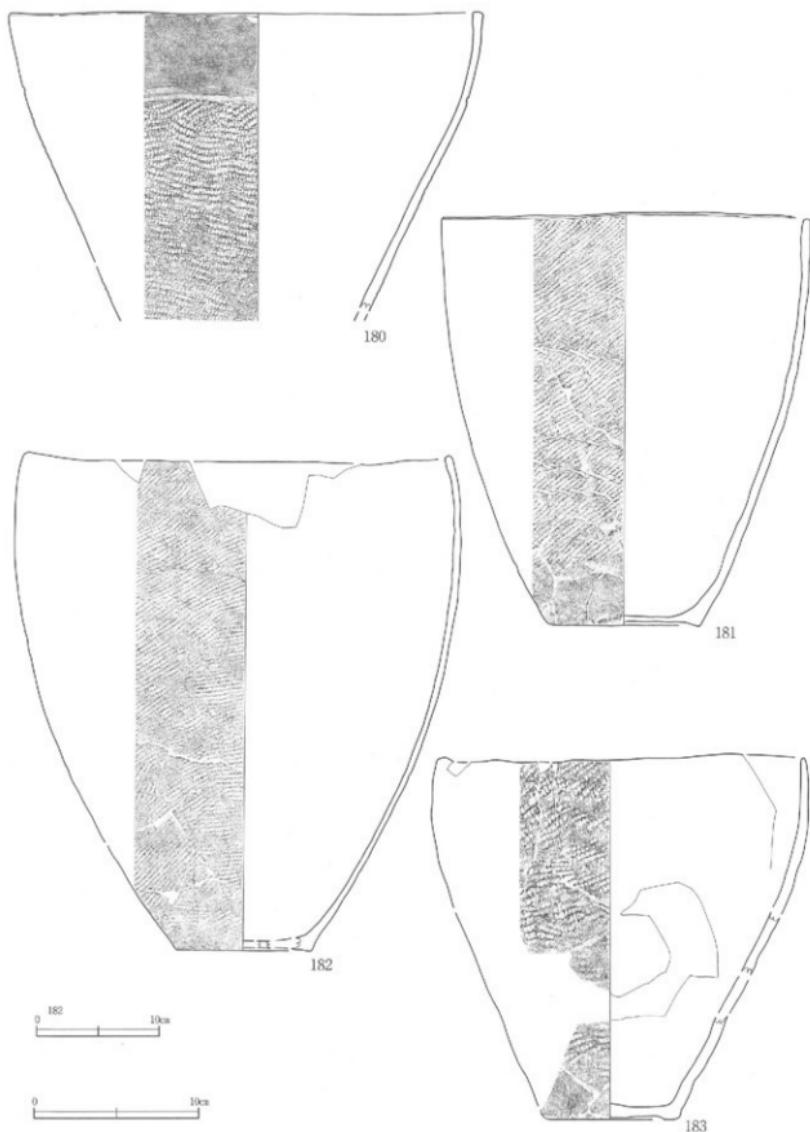
173~175 0 10cm

第53図 土器27 (171~175)

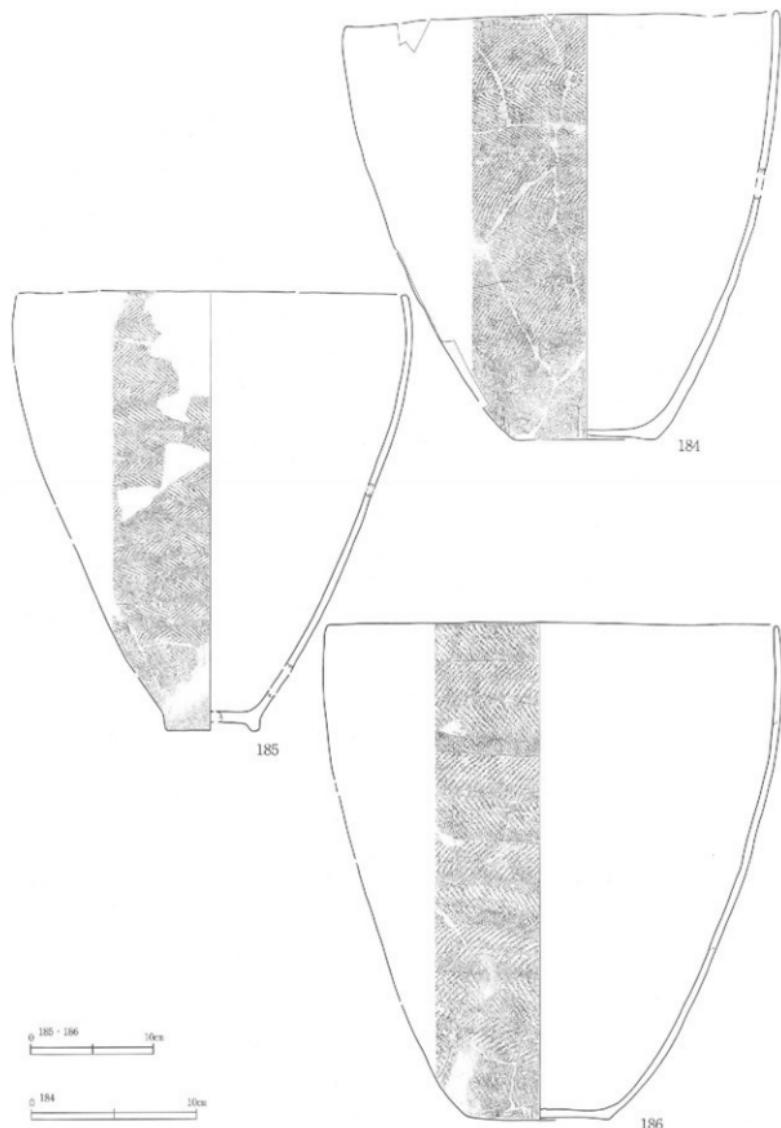


第54図 土器28 (176~179)

177 - 178 - 179 0 10cm

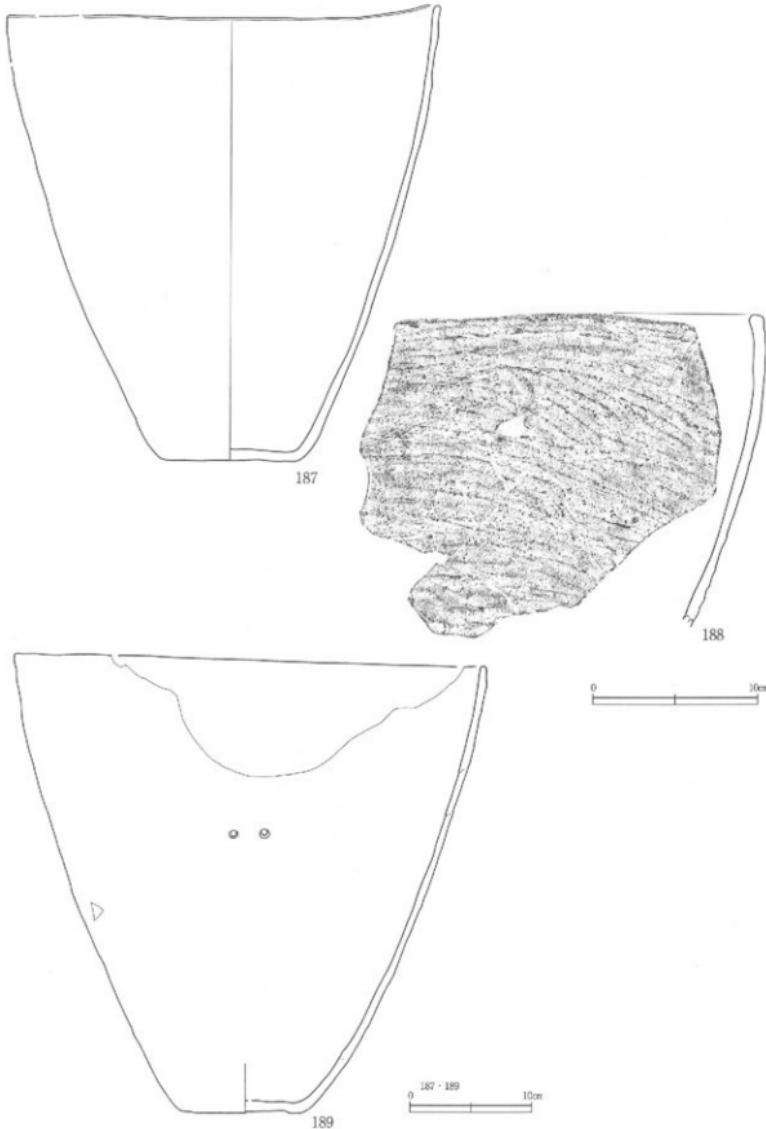


第55図 土器29 (180~183)

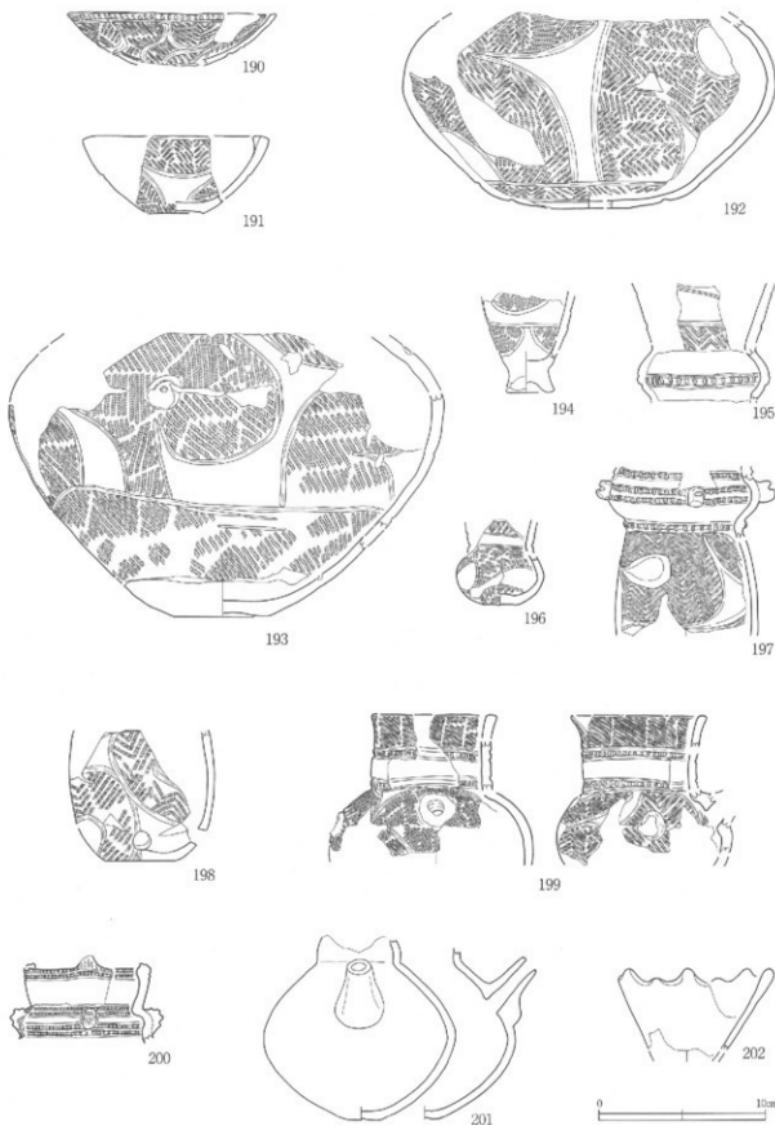


第56図 土器30 (184~186)

1 繩文・弥生土器



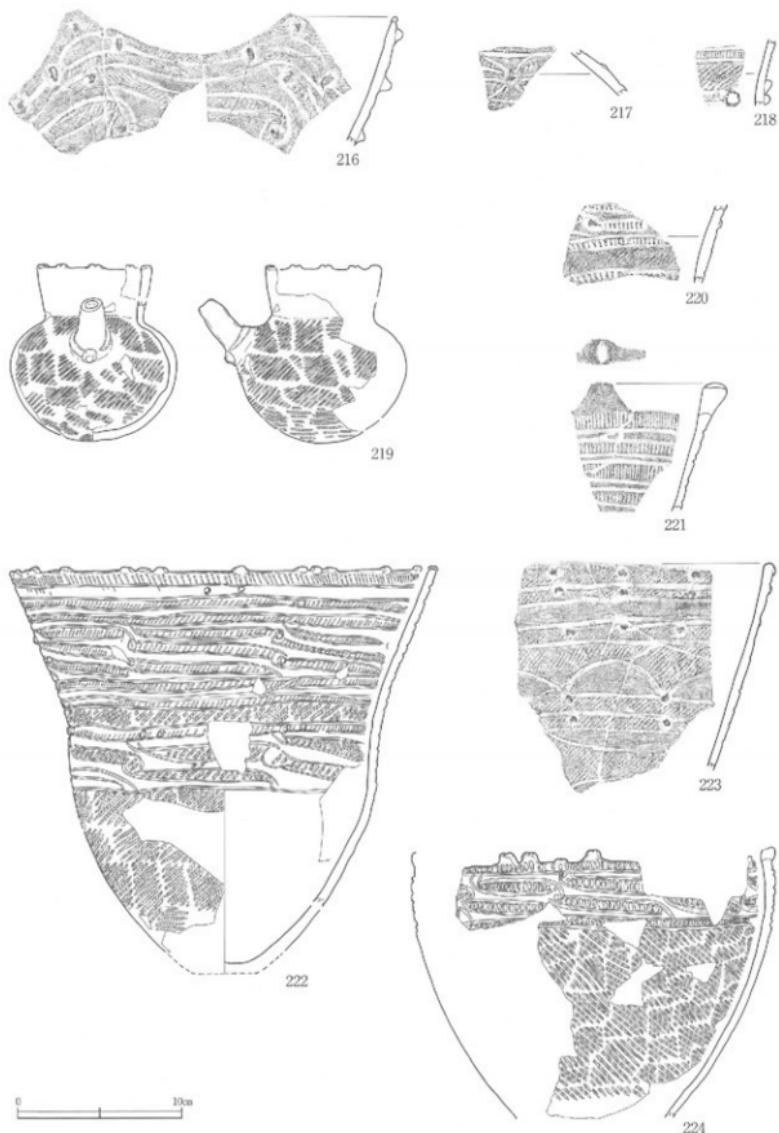
第57図 土器31 (187~189)



第58図 土器32 (190~202)

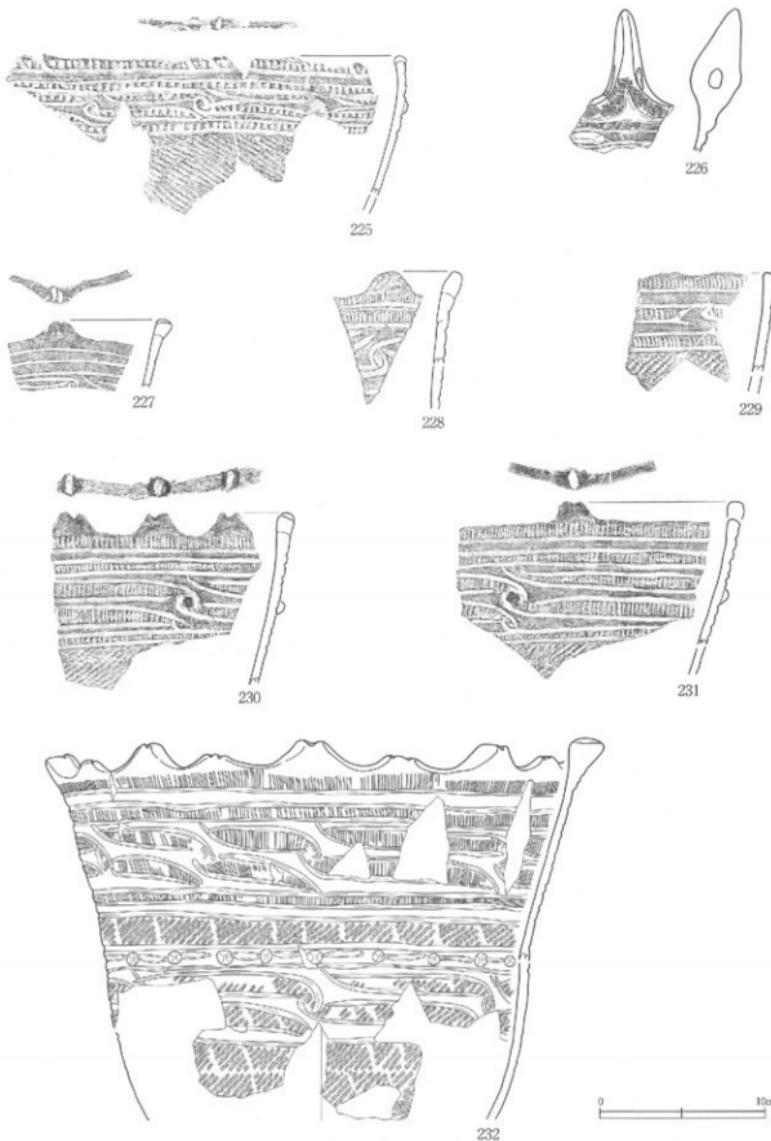


第59図 土器33 (203~215)



第60図 土器34 (216~224)

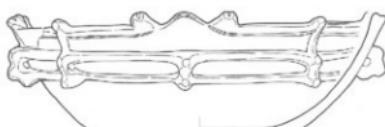
1 楩文・弥生土器



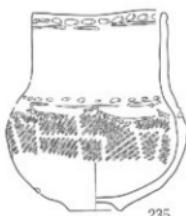
第61図 土器35 (225~232)



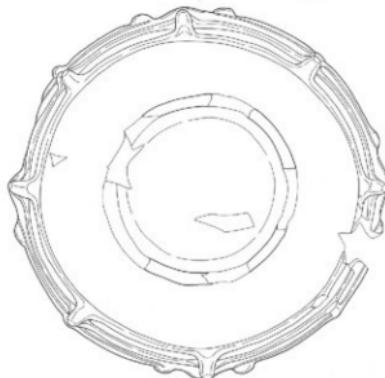
233



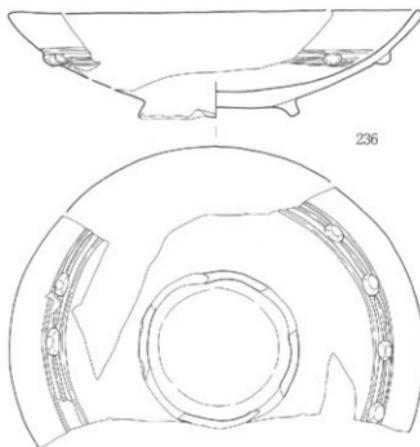
234



235



236

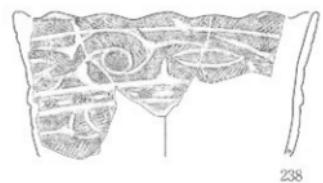


237

0 10cm

第62図 土器36 (233~237)

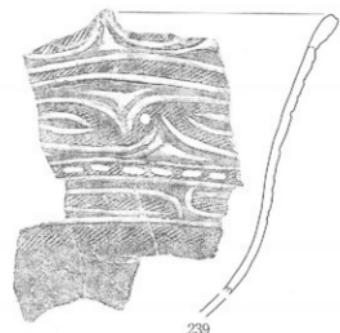
1 繩文・弥生土器



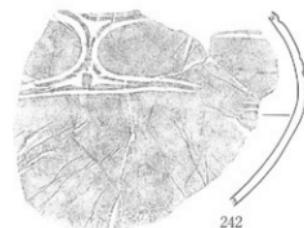
238



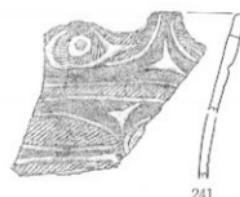
0 240 10cm



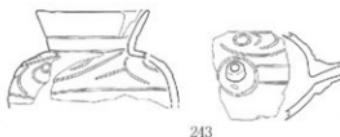
239



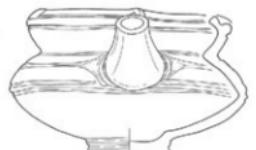
242



241



243

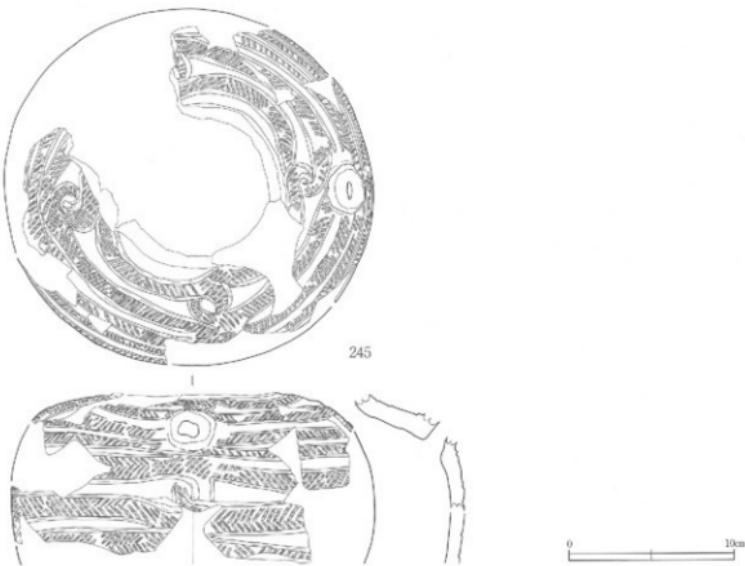


244



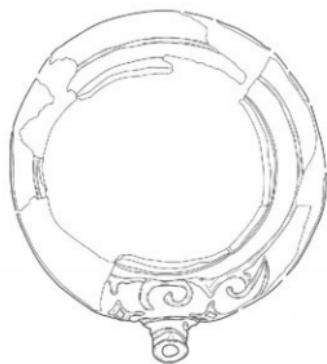
0 10cm

第63図 土器37 (238~244)



第64図 土器38 (245)

1 繩文・弥生土器



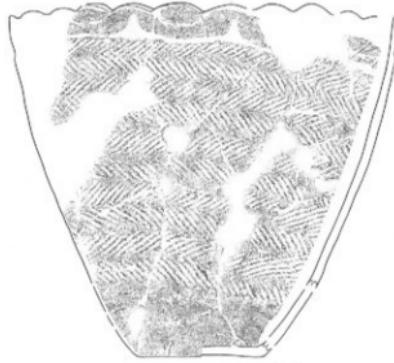
246



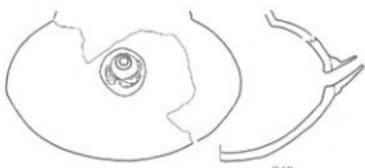
247



248



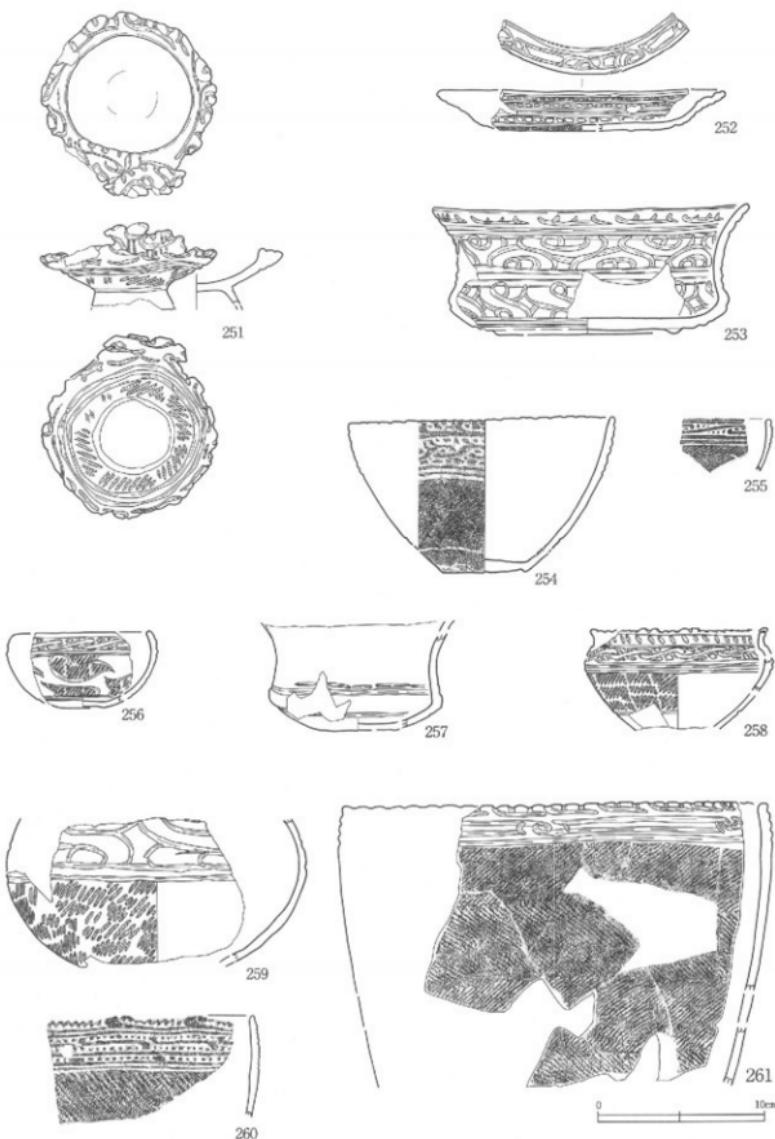
250



249

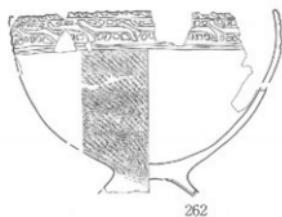


第65図 土器39 (246~250)



第66図 土器40 (251~261)

1 繩文・弥生土器



262



263



264



265



266



267



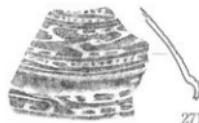
268



269



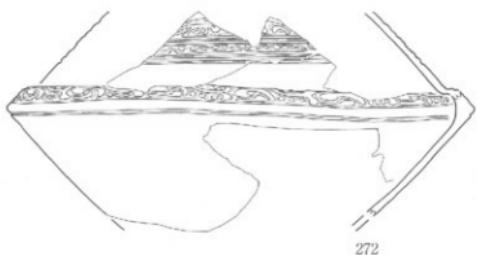
270



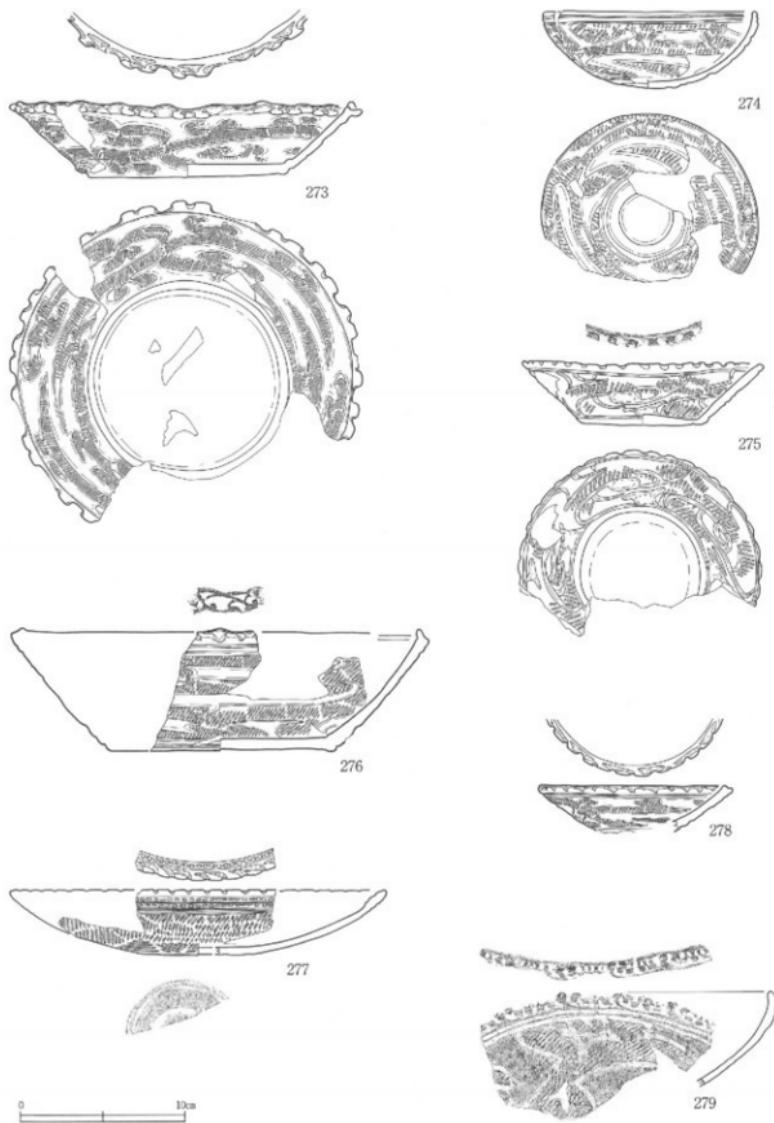
271

0 10cm

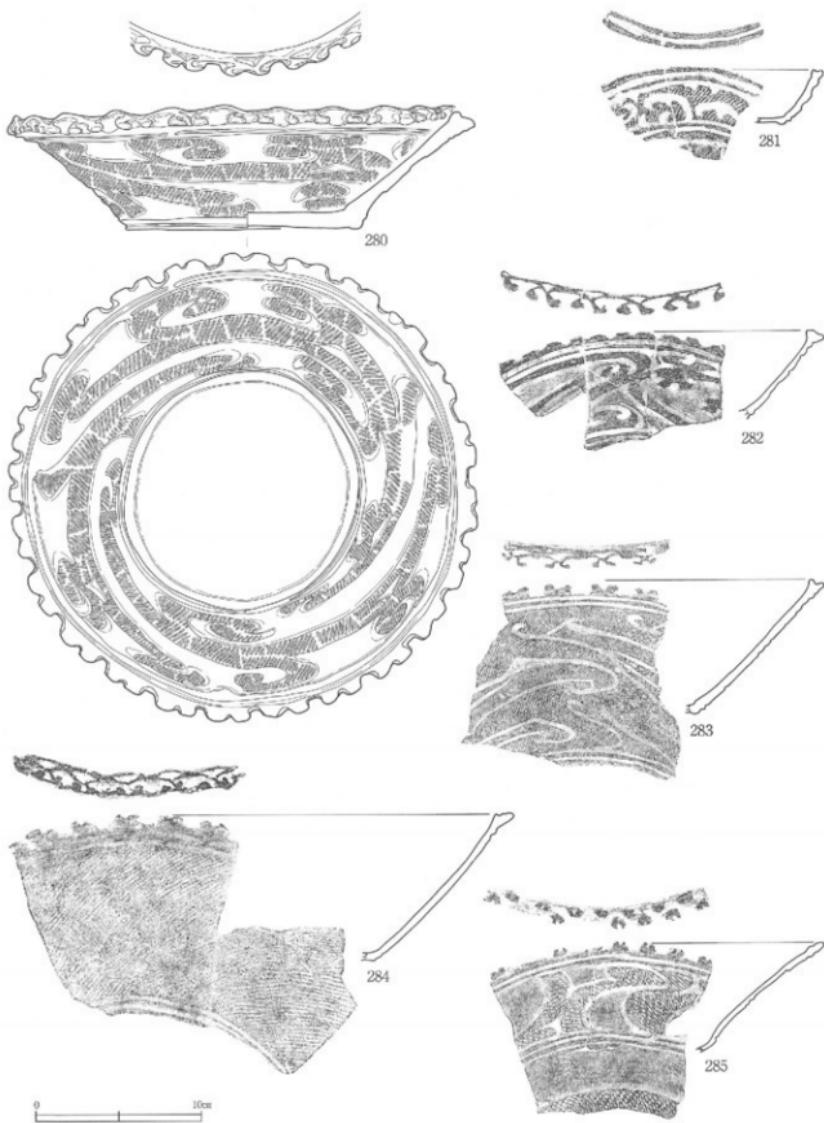
第67図 土器41 (262~271)



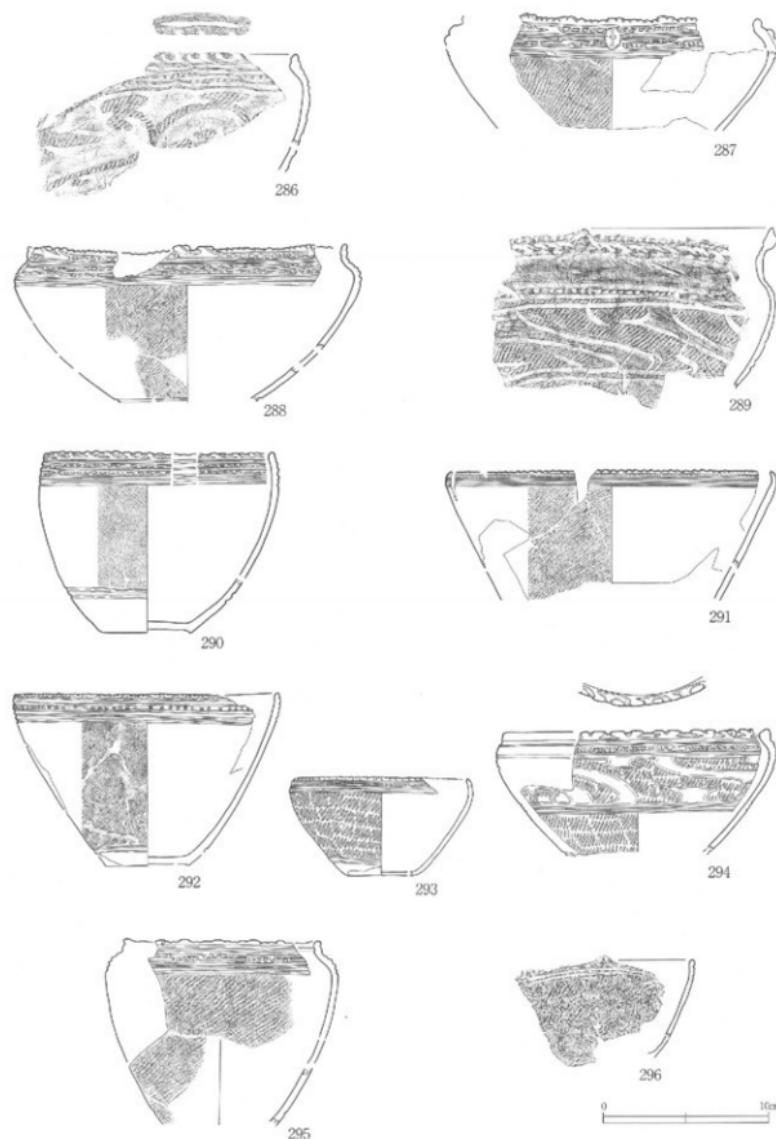
第68図 土器42 (272)



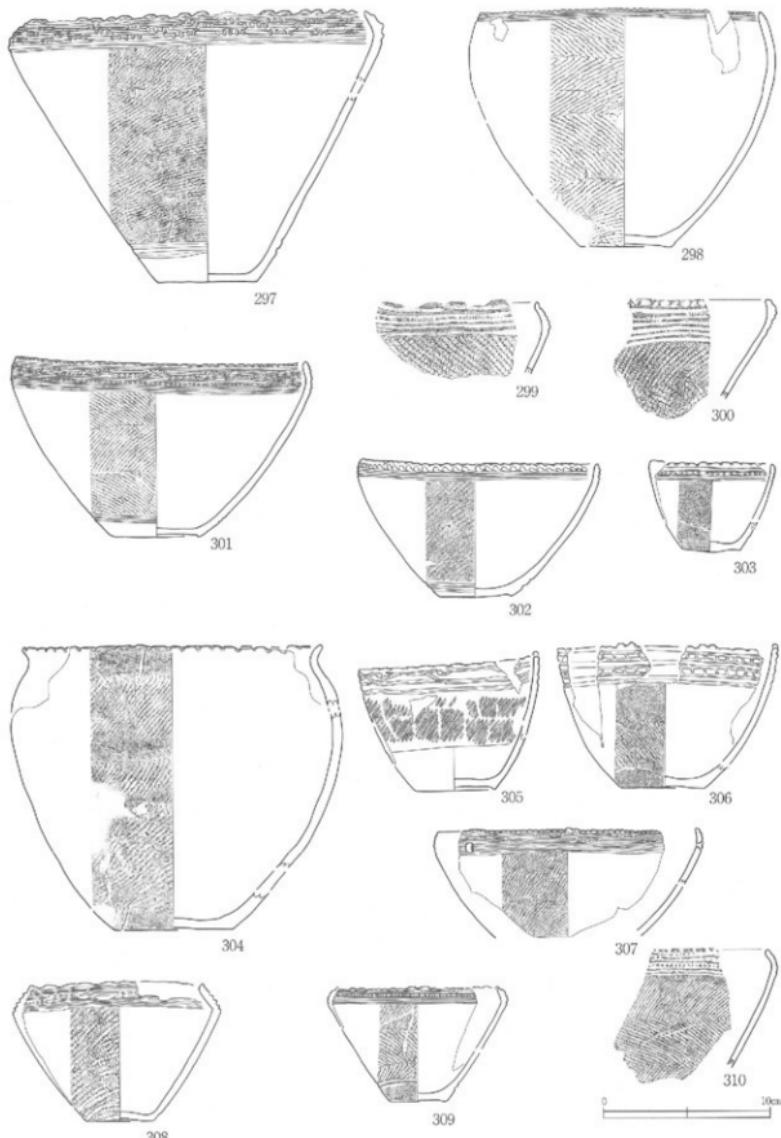
第69図 土器43 (273~279)



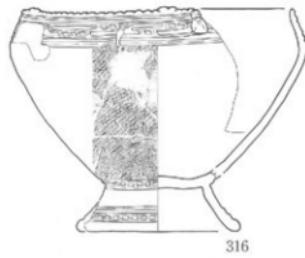
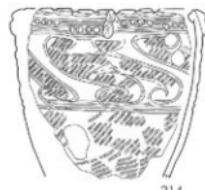
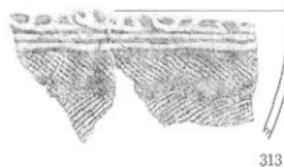
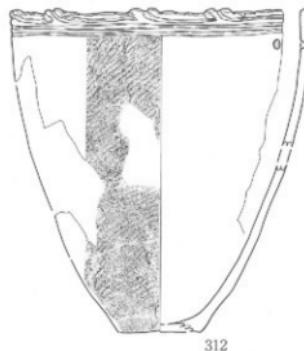
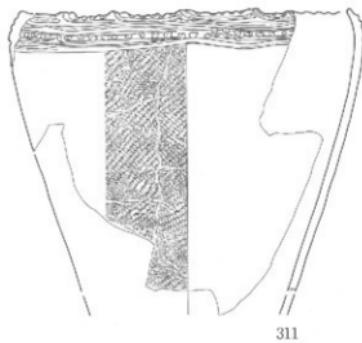
第70図 土器44 (280~285)



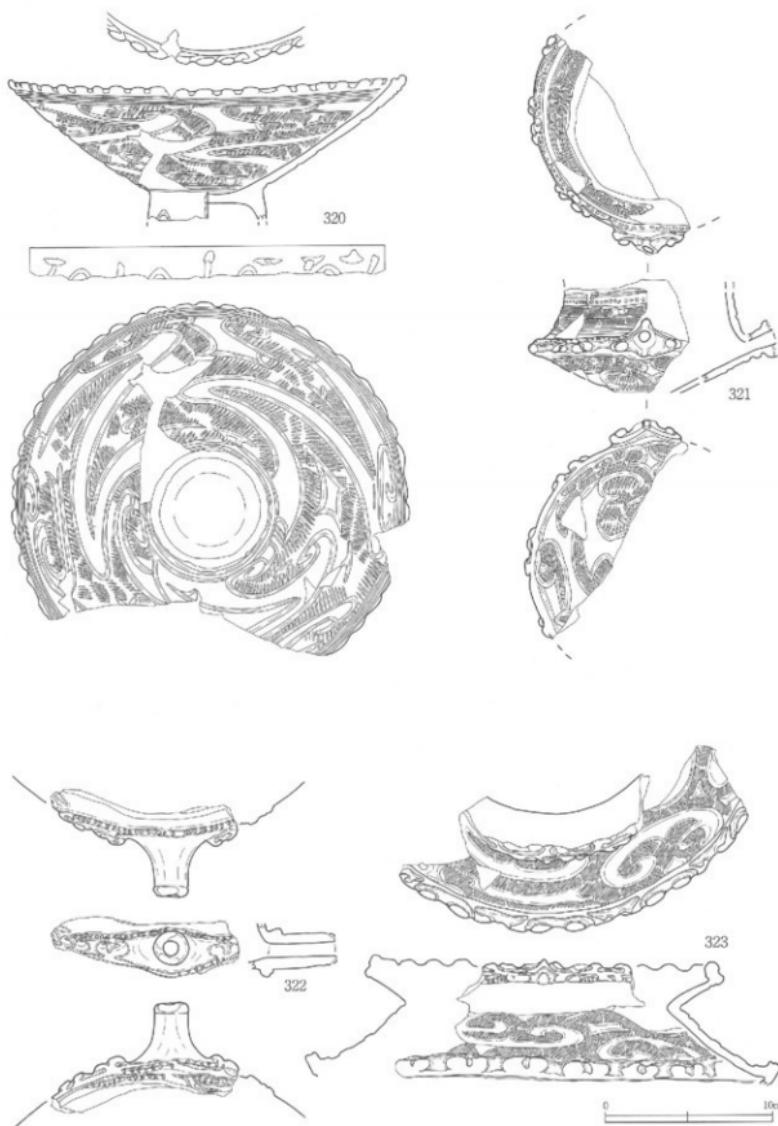
第71図 土器45 (286~296)



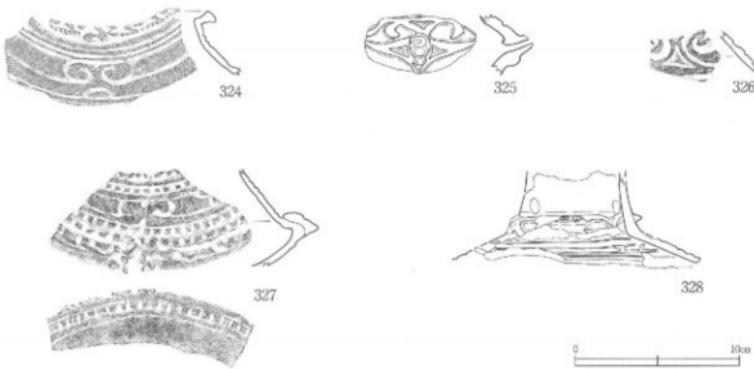
第72図 土器46 (297~310)



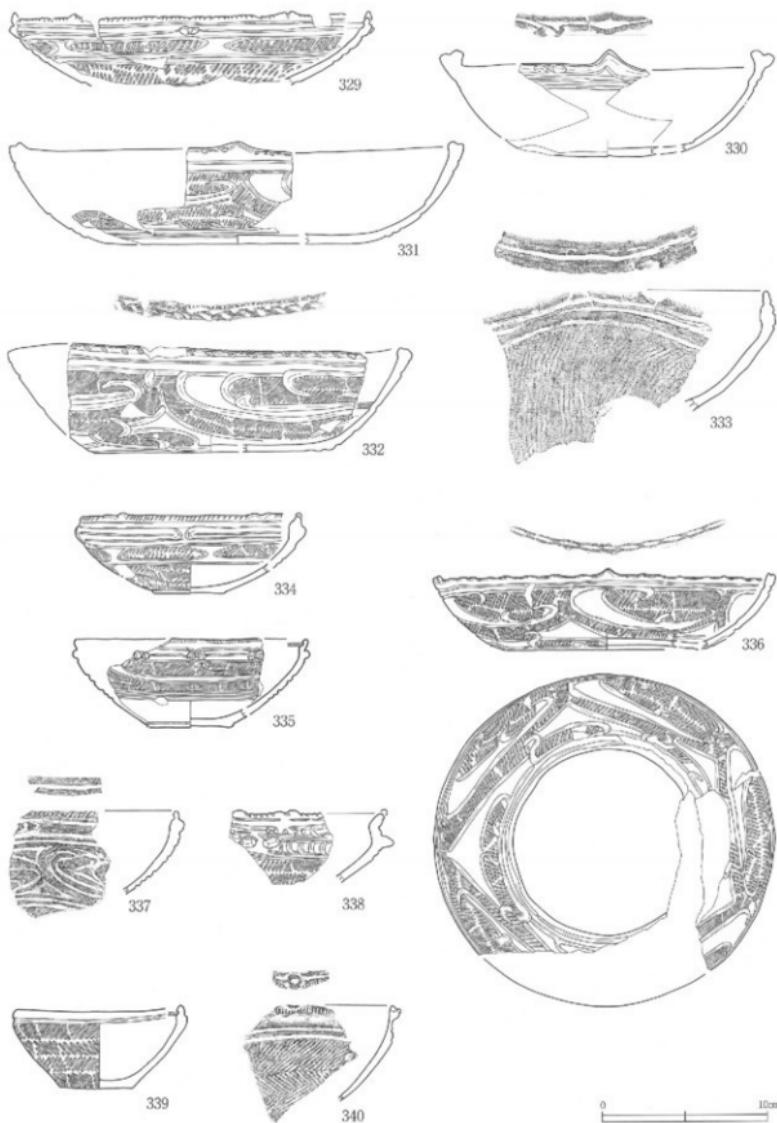
第73図 土器47 (311~319)



第74図 土器48 (320~323)

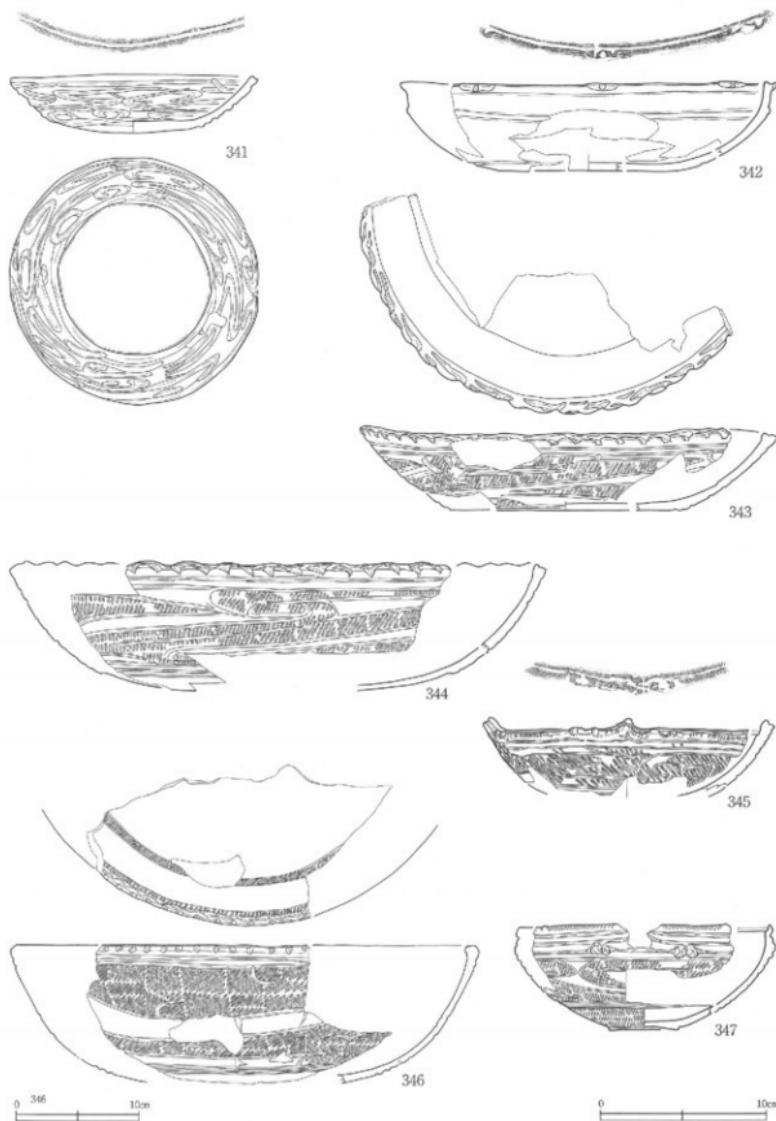


第75図 土器49 (324~328)

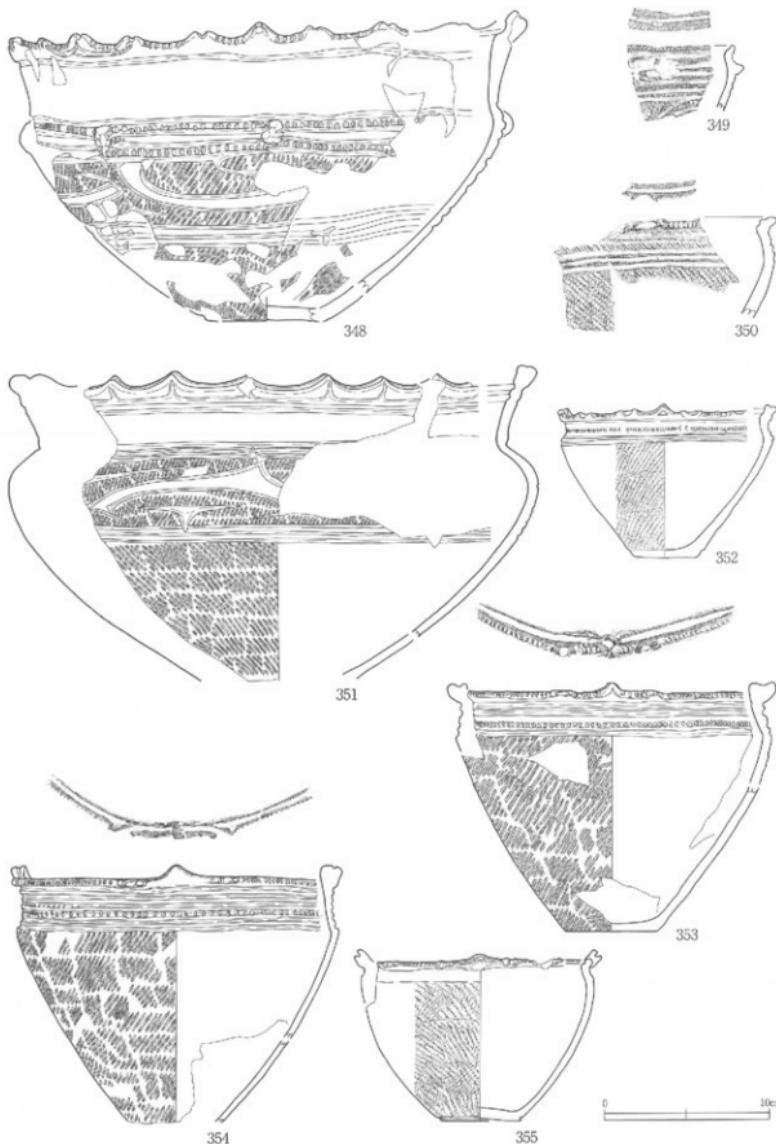


第76図 土器50 (329~340)

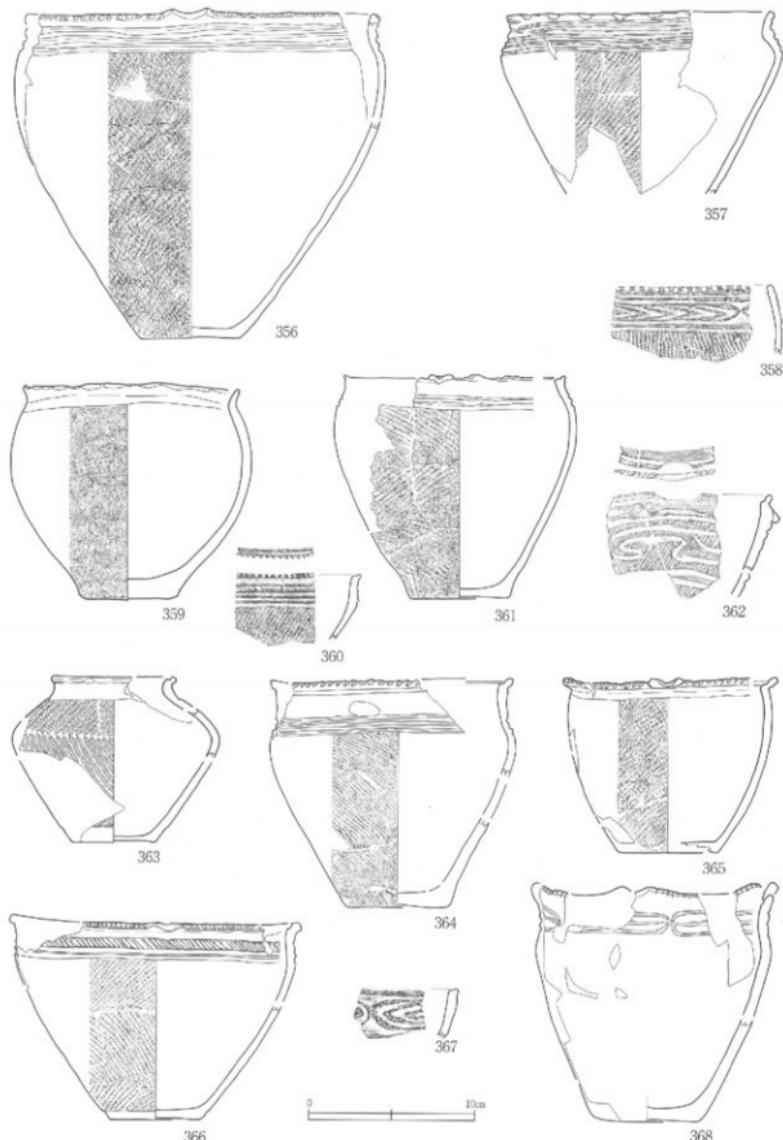
1 繩文・弥生土器



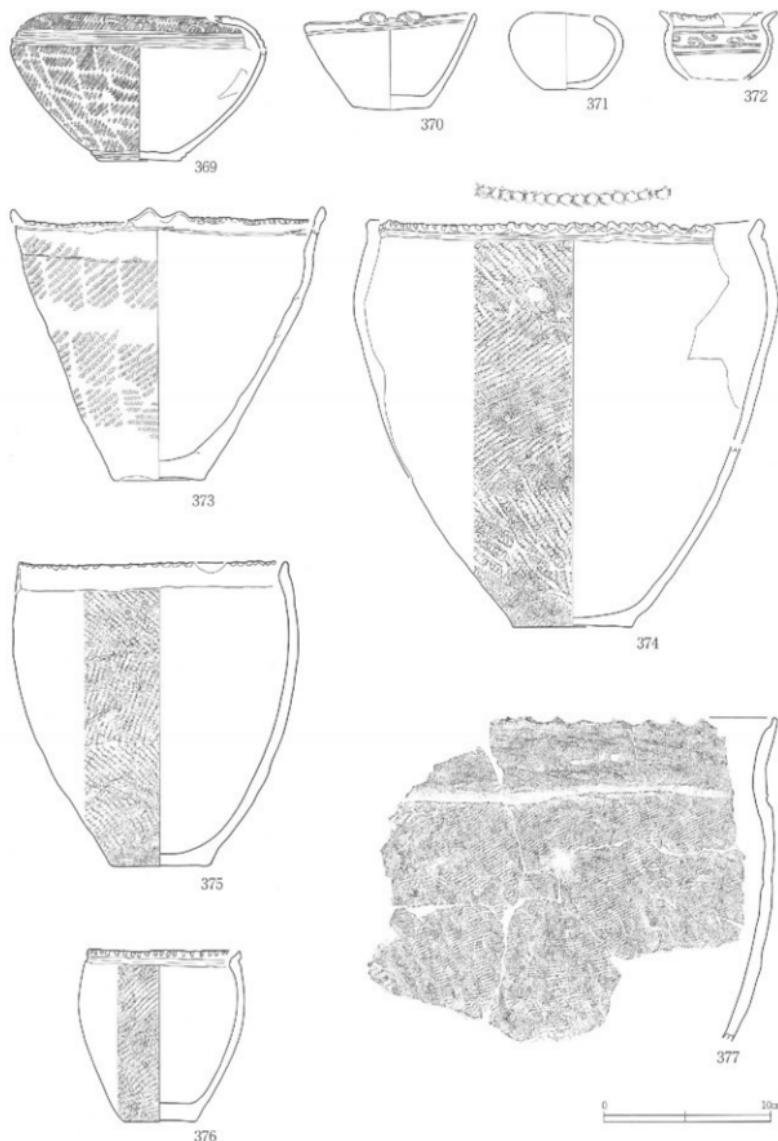
第77図 土器51 (341~347)



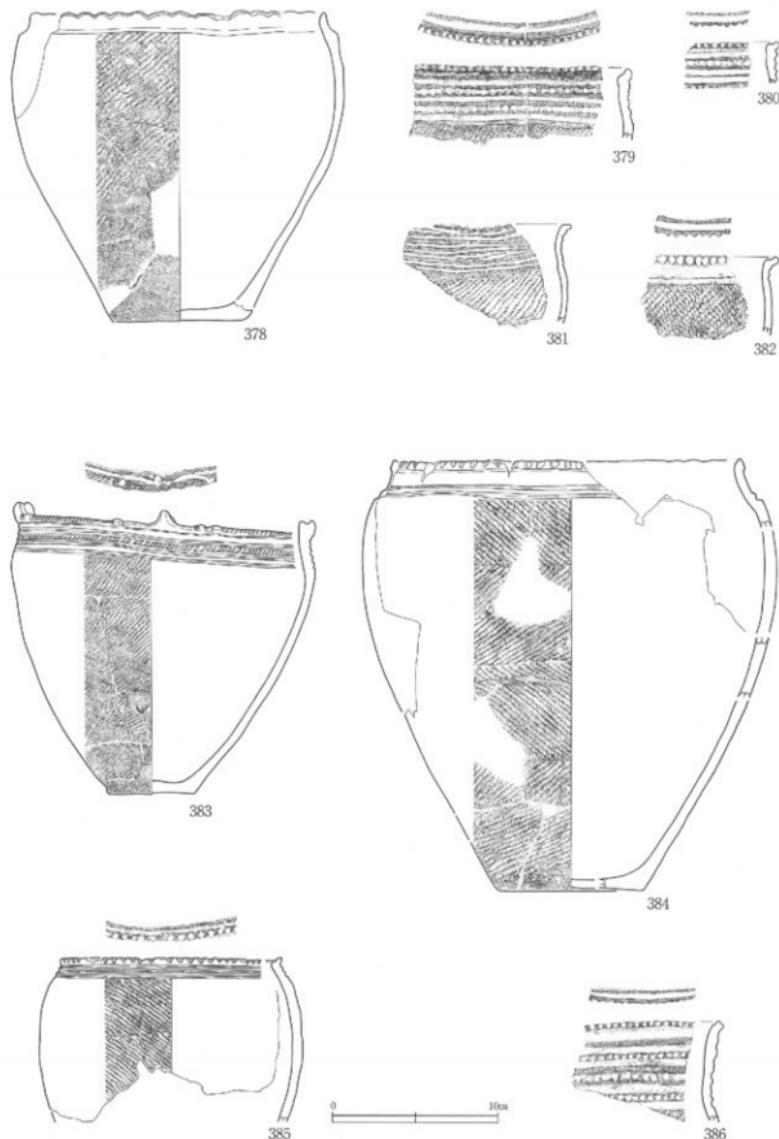
第78図 土器52 (348~355)



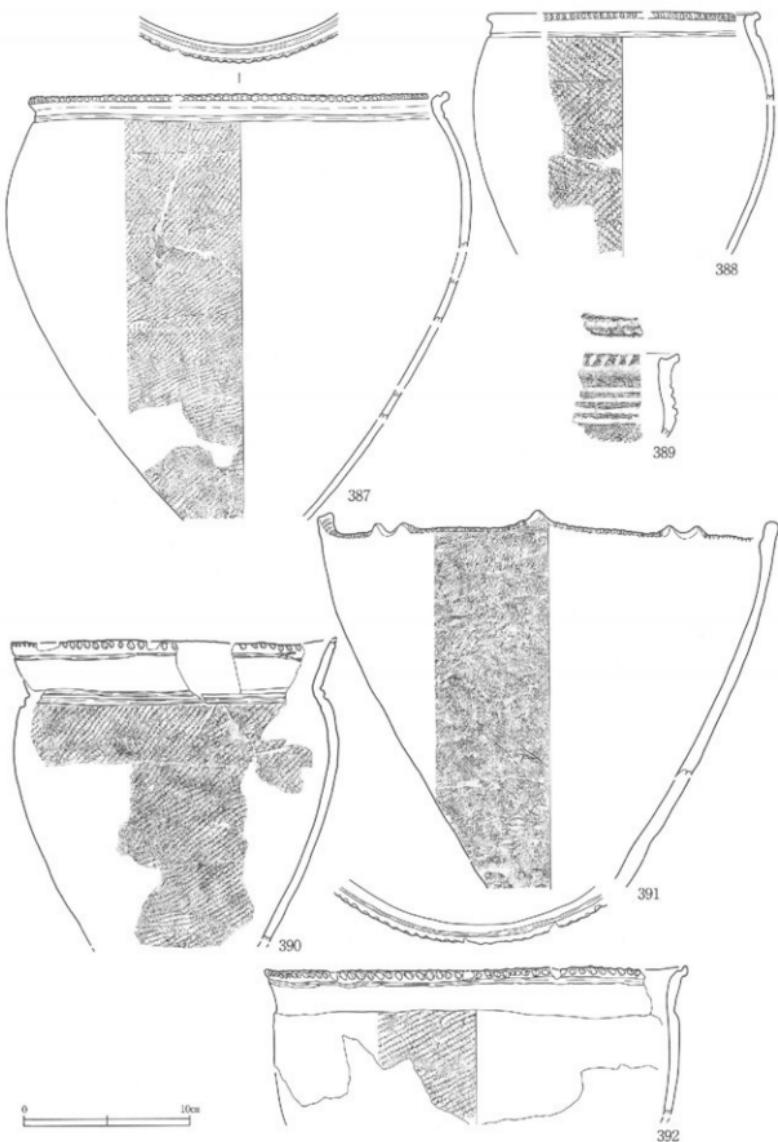
第79図 土器53 (356~368)



第80図 土器54 (369~377)

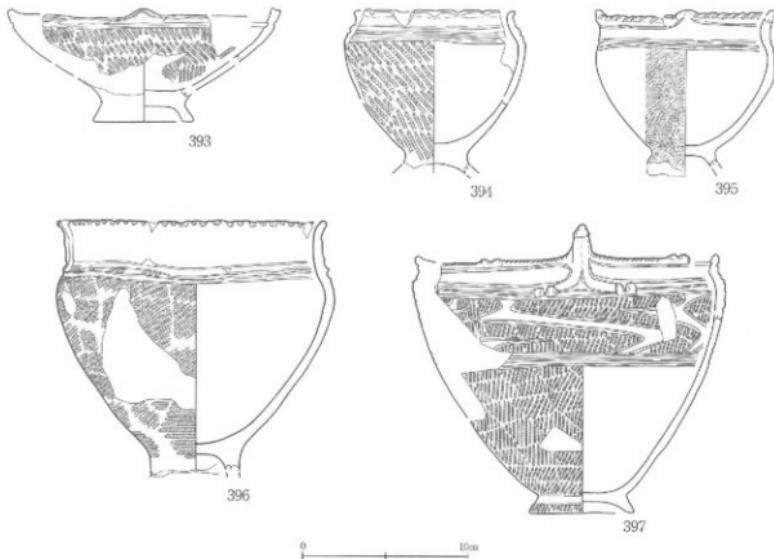


第81図 土器55 (378~386)

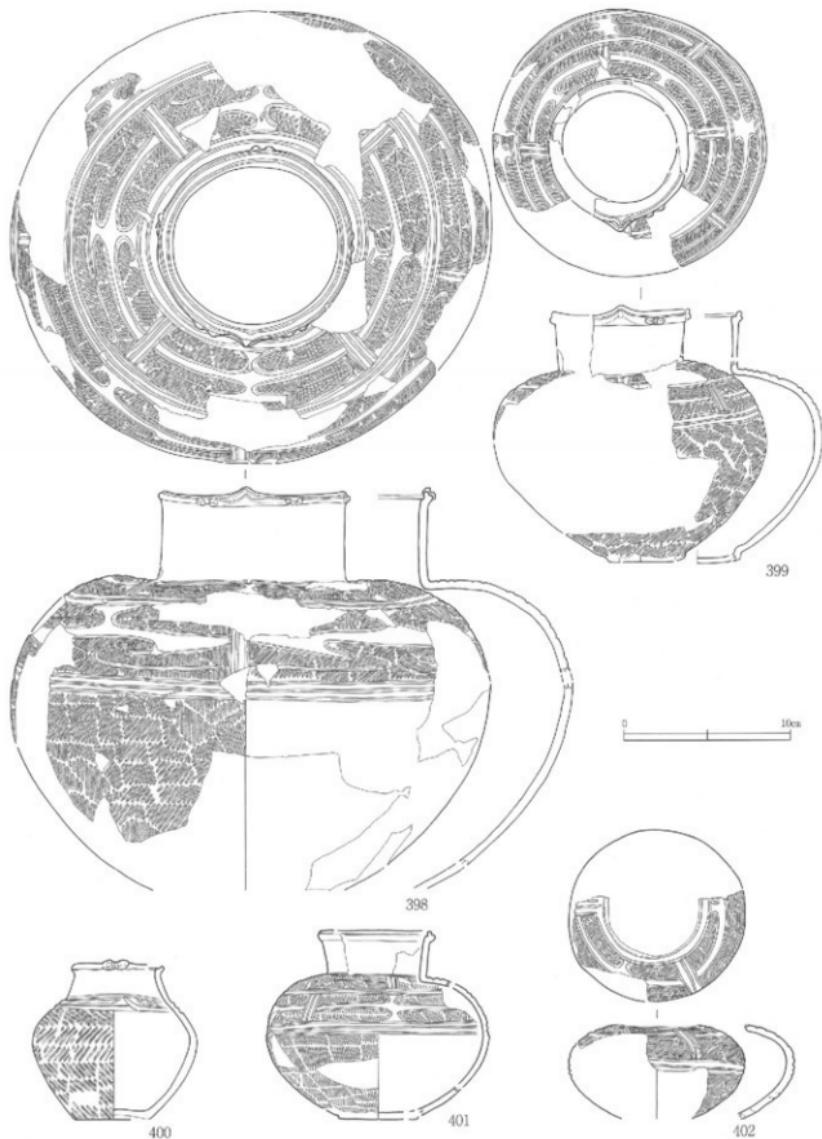


第82図 土器56 (387~392)

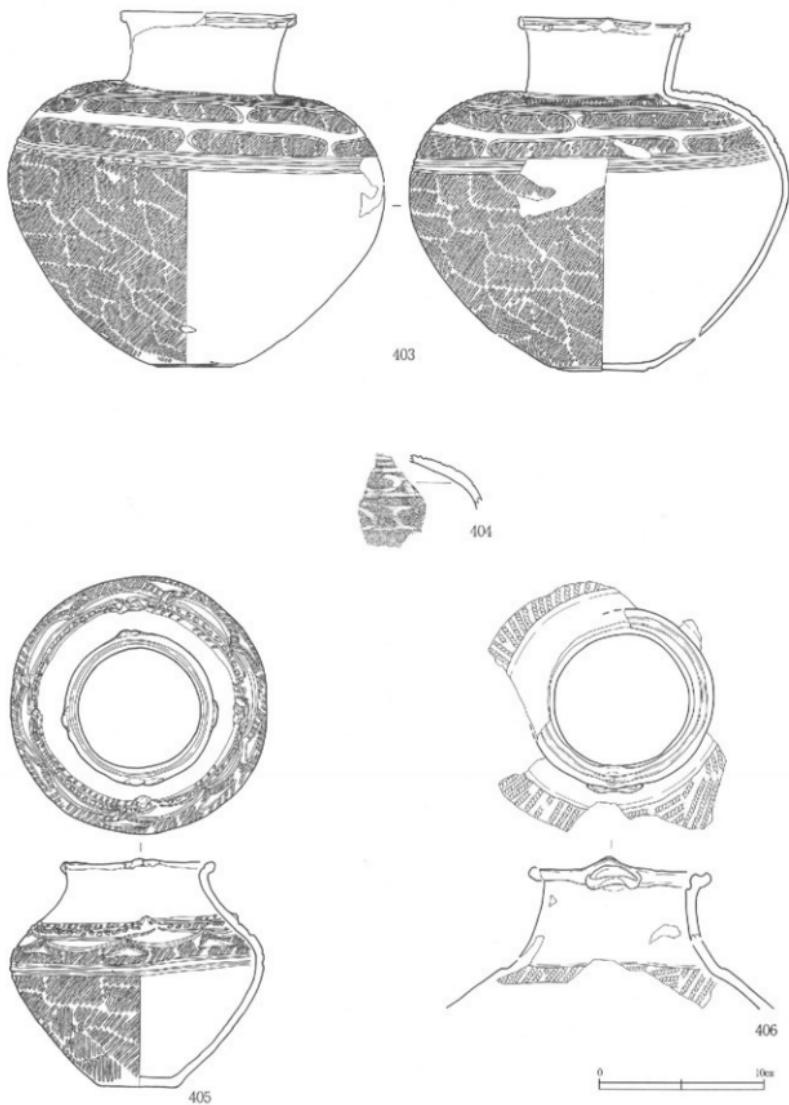
1 繩文・弥生土器



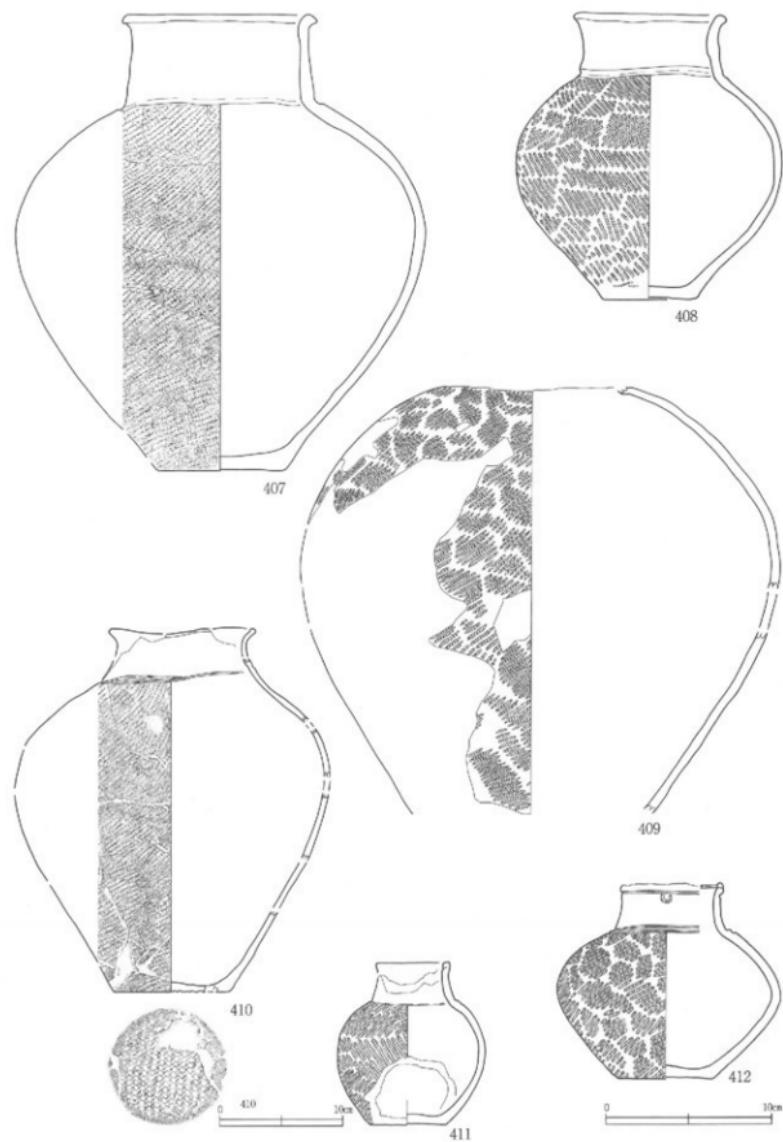
第83図 土器57 (393~397)



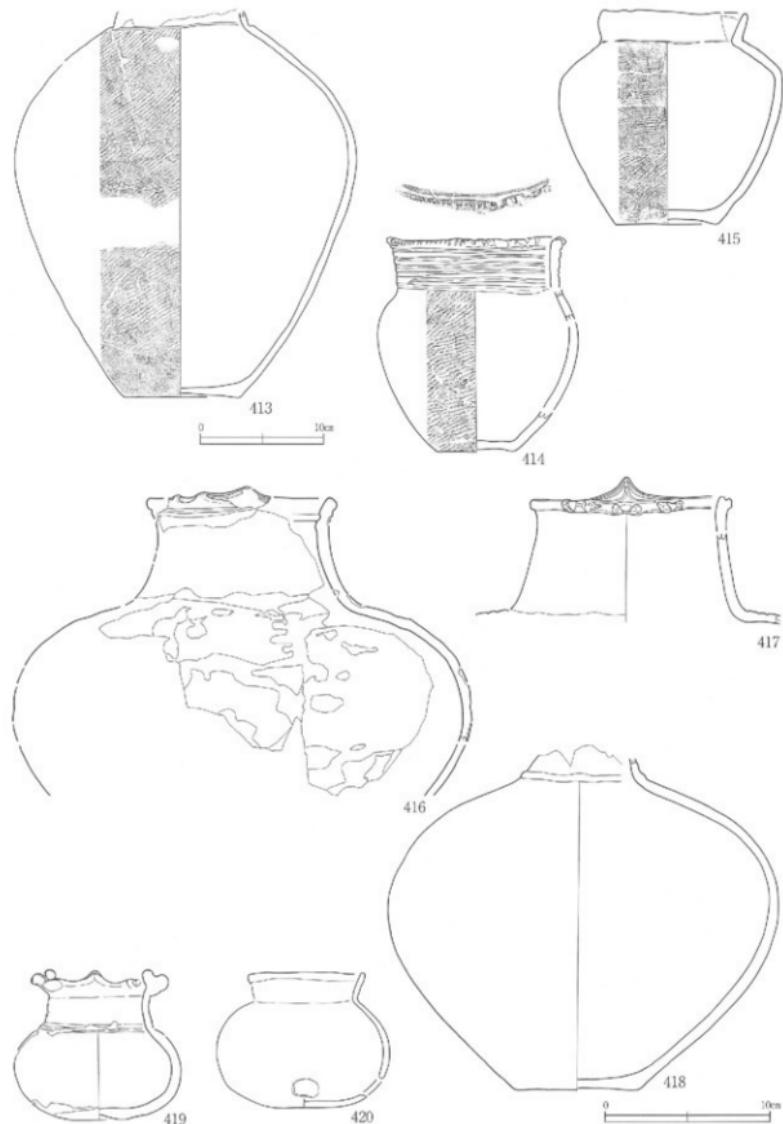
第84図 土器58 (398~402)



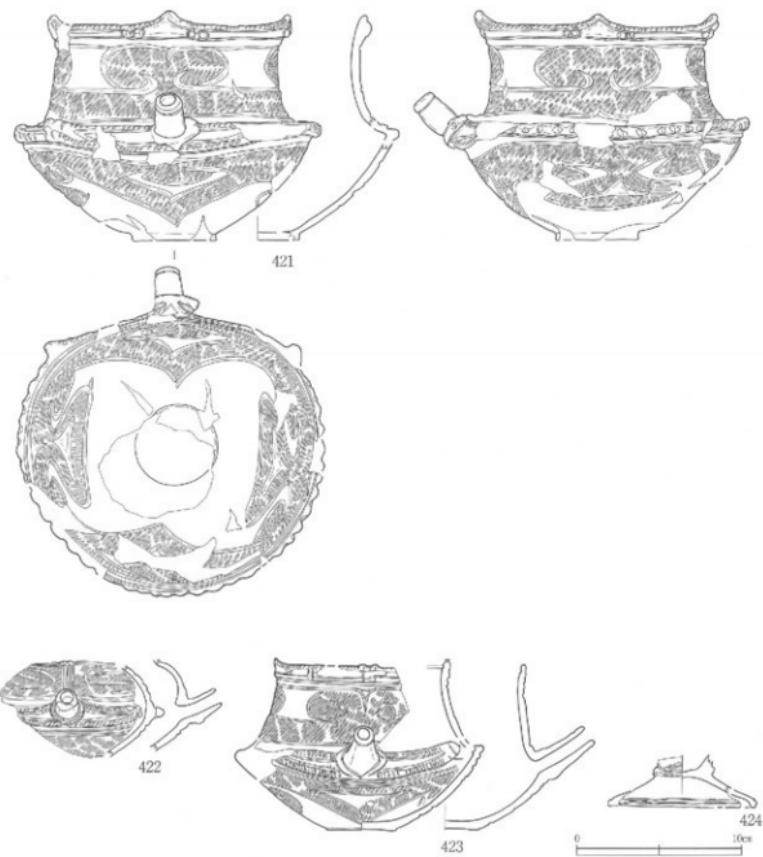
第85図 土器59 (403~406)



第86図 土器60 (407~412)

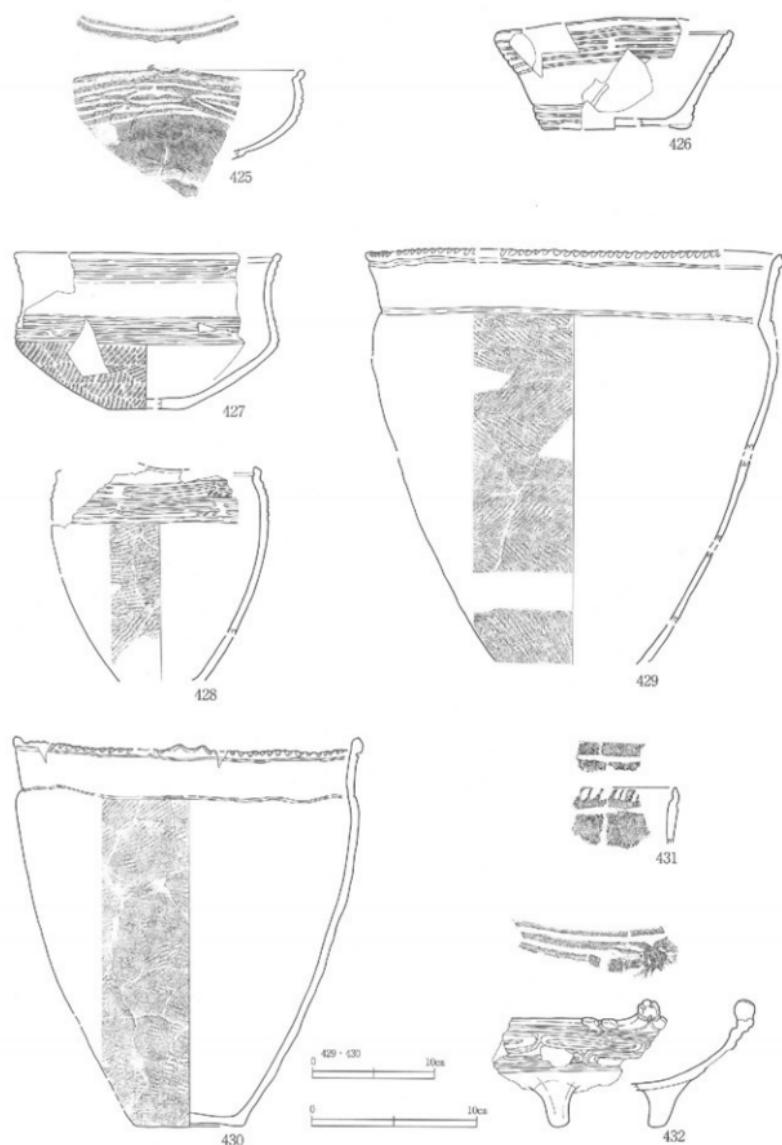


第87図 土器61 (413~420)

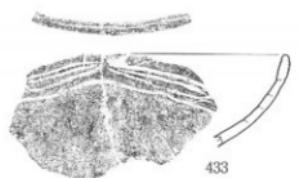


第88図 土器62 (421~424)

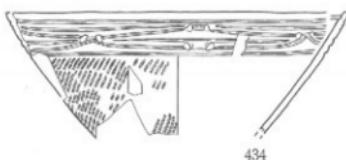
1 純文・弥生土器



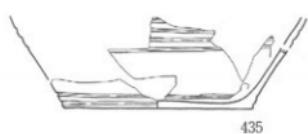
第89図 土器63 (425~432)



433



434



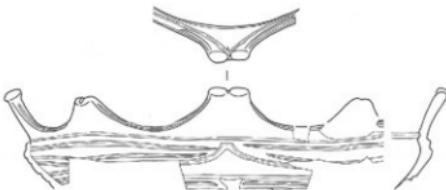
435



436



437

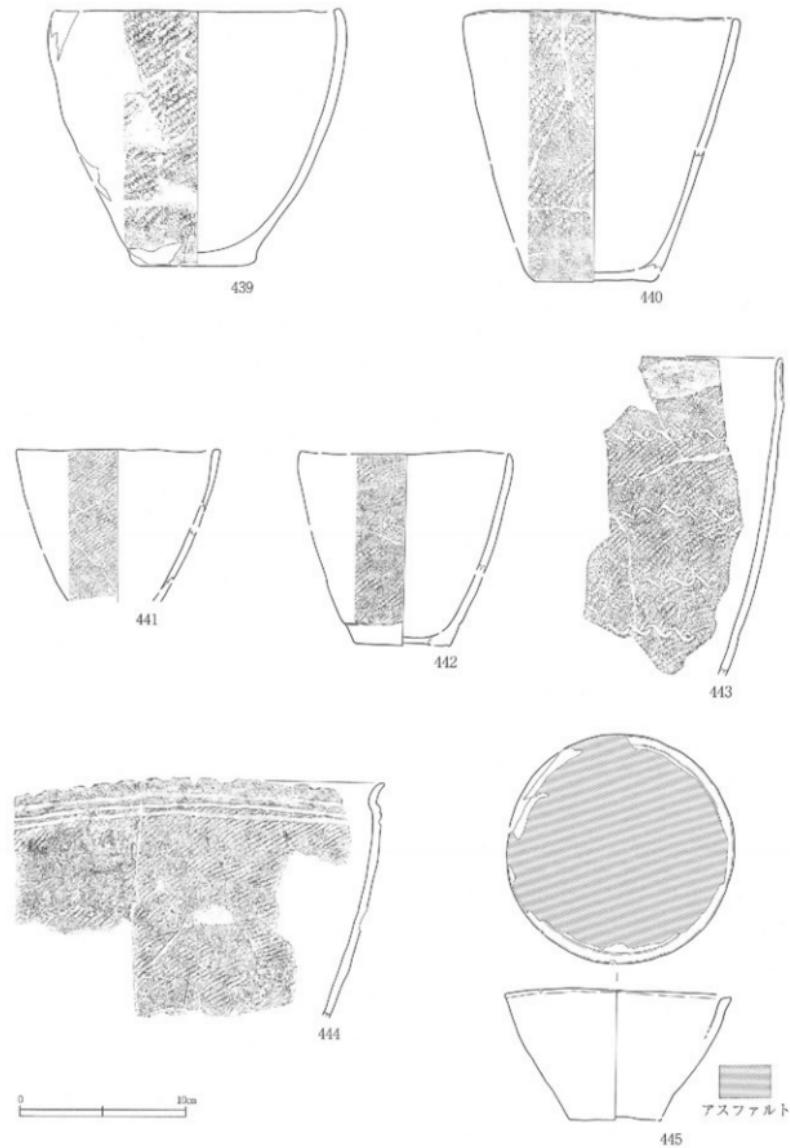


438

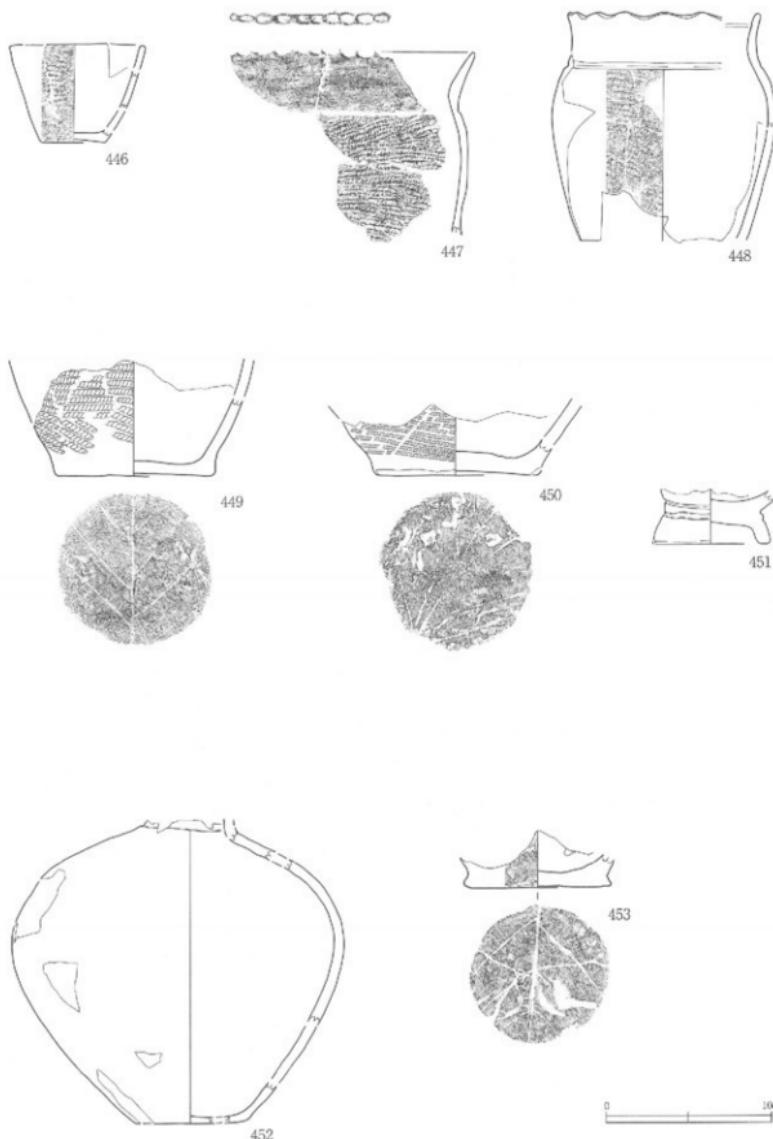


第90図 土器64 (433~438)

1 繩文・弥生土器

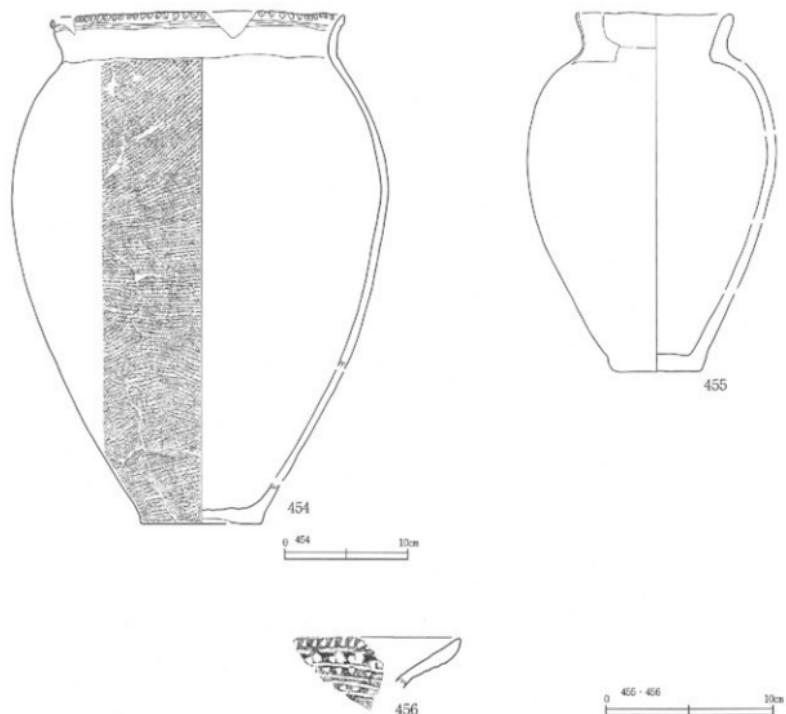


第91図 土器65 (439~445)

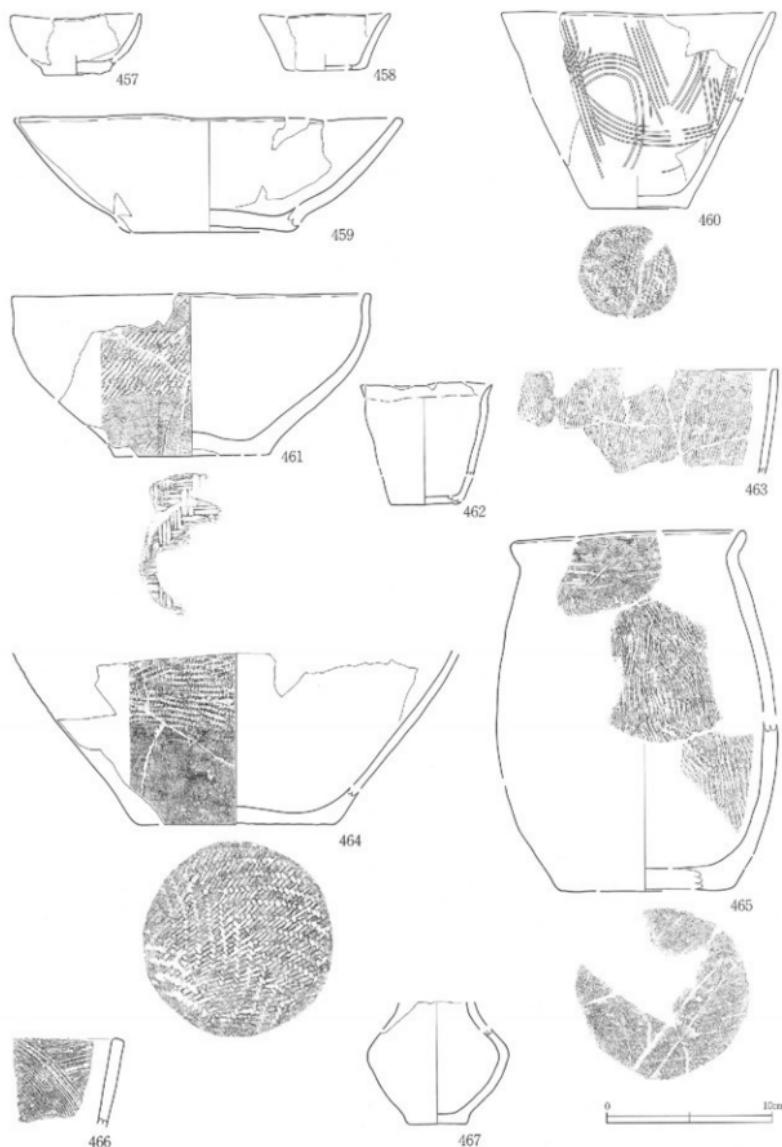


第92図 土器66 (446~453)

1 楯文・弥生土器



第93図 土器67 (454~456)

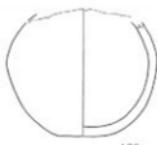


第94図 土器68 (457~467)

1 繩文・弥生土器



468



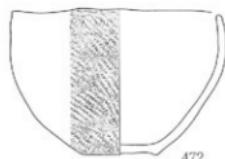
469



470



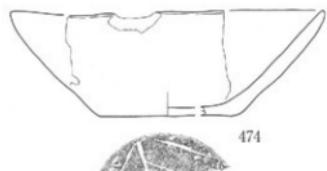
471



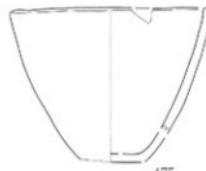
472



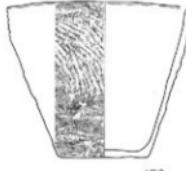
473



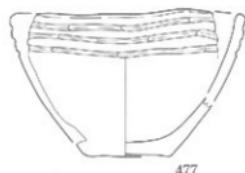
474



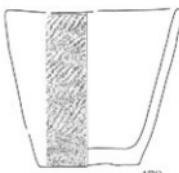
475



476



477



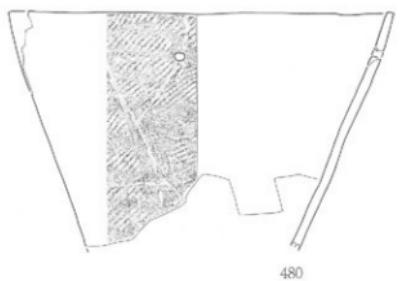
478



479



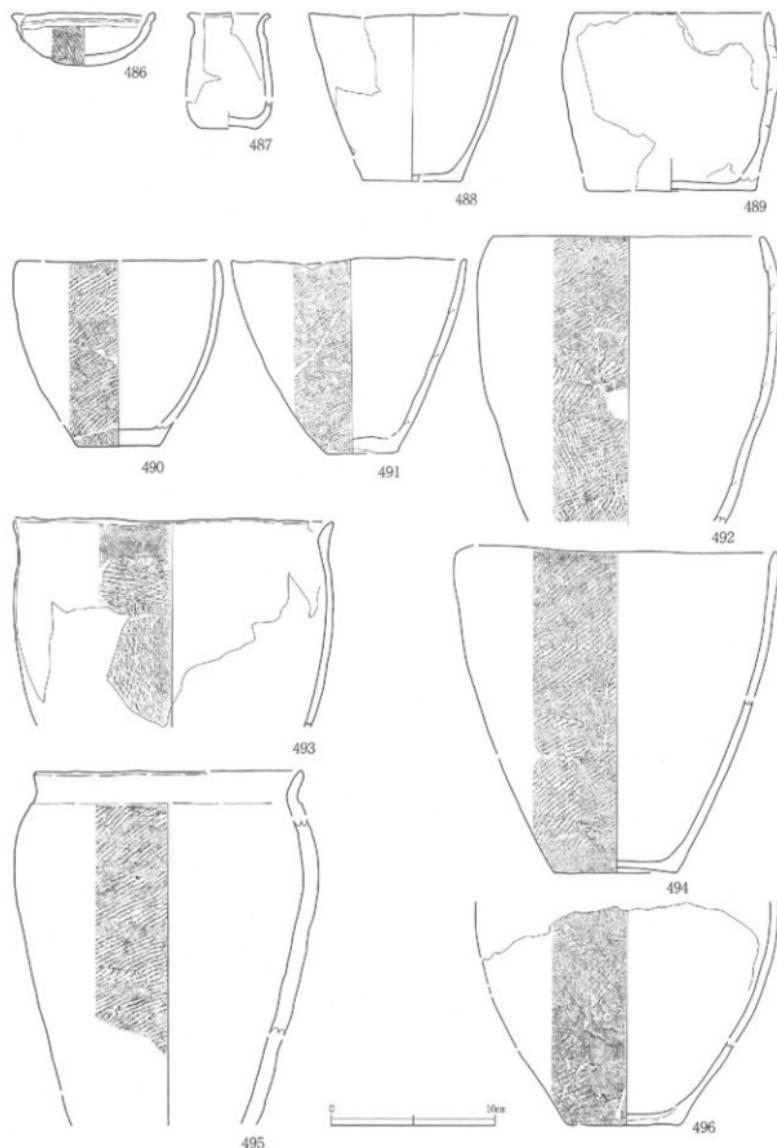
第95図 土器69 (468~479)



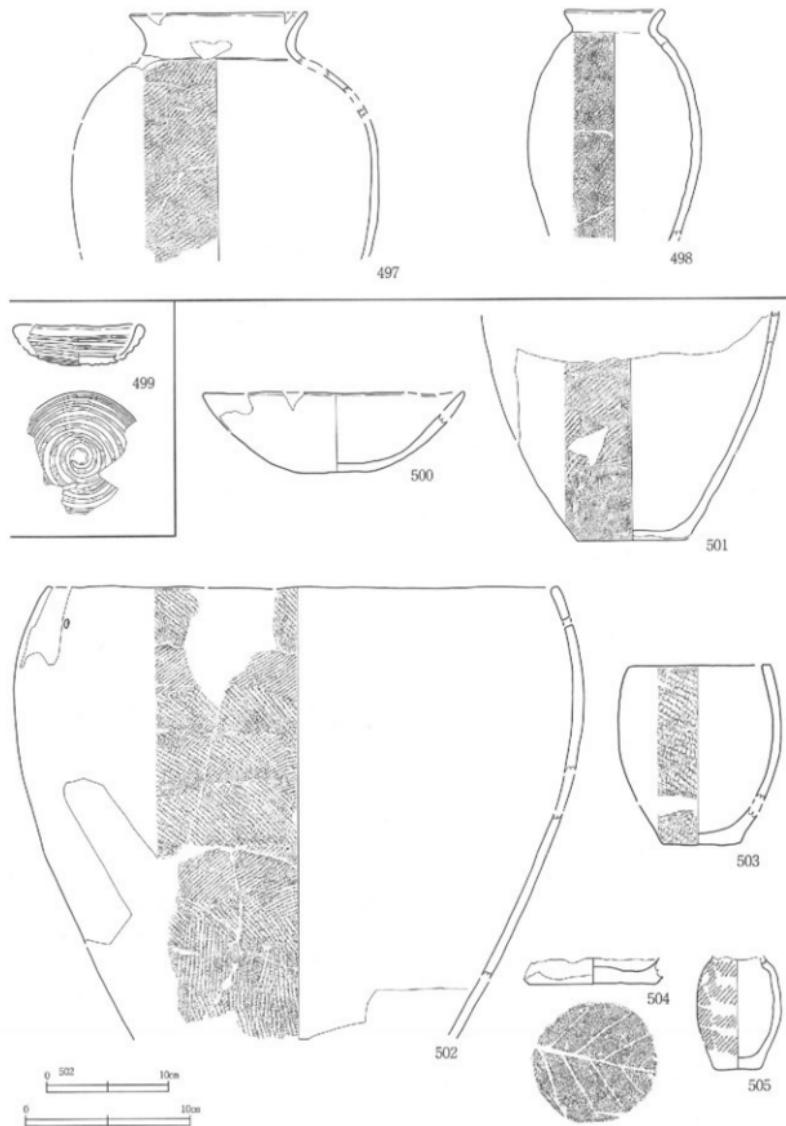
0 20cm

第96図 土器70 (480~485)

1 繩文・弥生土器

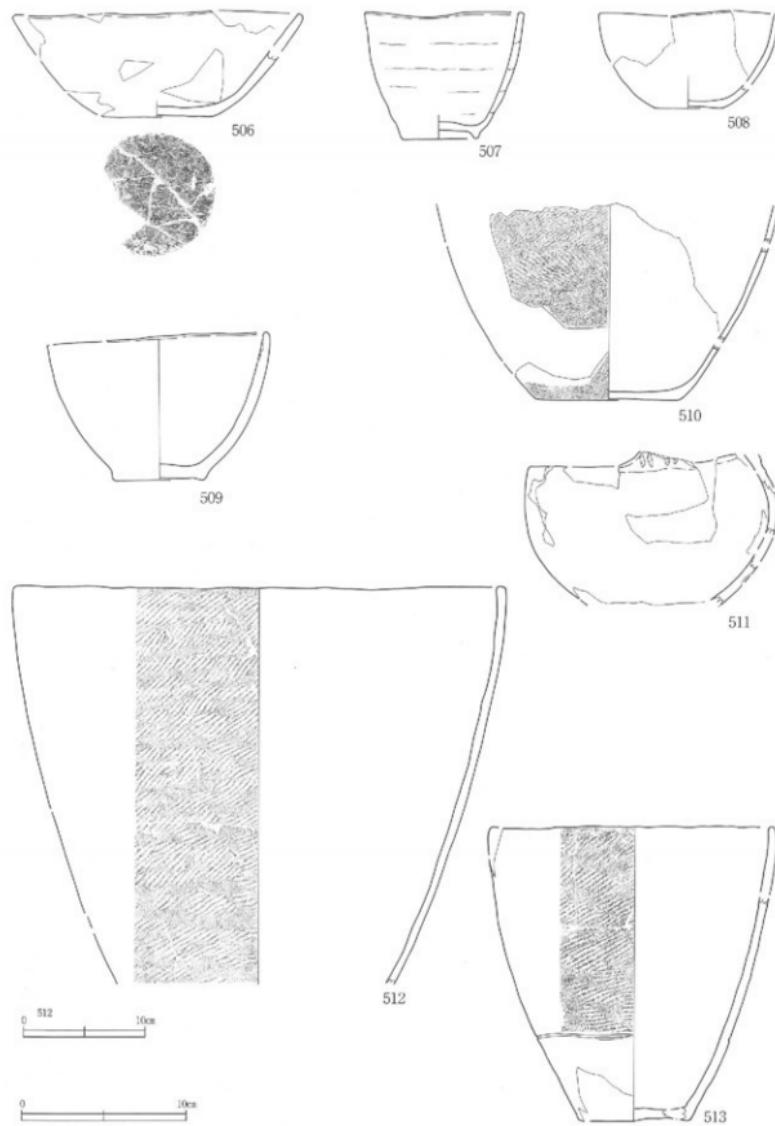


第97図 土器71 (486~496)

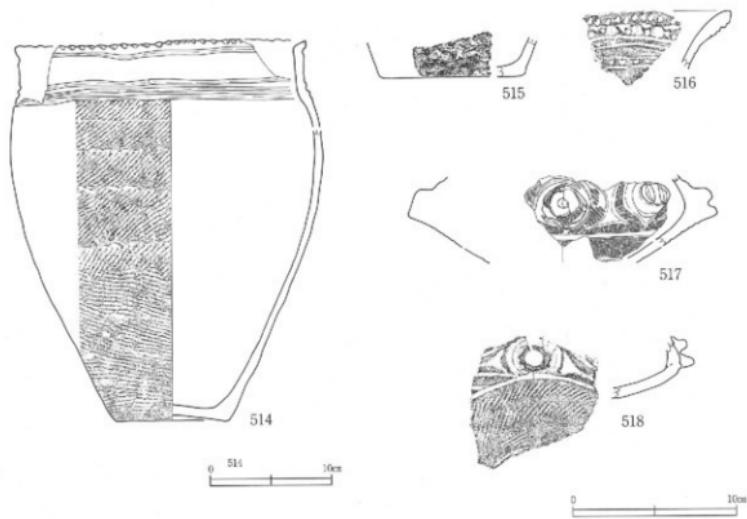


第98図 土器72 (497~505)

1 繩文・弥生土器



第99図 土器73 (506~513)



第100図 土器74 (514~518)

第4表 土器観察表①

No.	地點	出土地名	組別	形質	底質	口径	外周	内周	縁幅(底径×2)	分類	例
1	ME	ME-CM-e型切	7号	直筒 口沿部手	—	—	(69) (底面、斜面)	—	—	ナゲ	—
2	ME	ME-CG-d型切	1号↑	小底切	—	3.4	—	—	109 (底面、斜面)	ナゲ	27 (20)
3	ME	ME-SG	11号	直筒	—	—	—	—	345 (底面、斜面)	ナゲ	27 (19)
4	ME	ME-CG-b型切	7号	直筒	—	—	—	—	15.8 (底面、斜面)	ナゲ	26 (19)
5	ME	ME-CG-d型切	5～8号	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	26 (19)
6	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	26 (底面、斜面)	ナゲ	26 (19)
7	ME	ME-CG-e型切	7号↑	直筒	—	—	—	—	22 (底面、斜面)	ナゲ	26 (19)
8	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	34 (底面、斜面)	ナゲ	26 (19)
9	ME	ME-CG-d型切	9号↑	直筒	—	—	—	—	14.5 (底面、斜面)	ナゲ	26 (21)
10	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	41.0 (底面、斜面)	ナゲ	26 (21)
11	C-G	ME-CG	12号↑(15)	直筒	—	—	—	—	47 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
12	ME	ME-CG-b型切	7～8号	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
13	ME	ME-CG-b型切	13～16号	直筒	—	—	—	—	29 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
14	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	25.1 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
15	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	27 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
16	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	42.5 (底面、斜面)	ナゲ	29 (21)
17	ME	ME-CG-d型切	4～6号	直筒	—	—	—	—	86.0 (底面、斜面)	ナゲ	29 (22)
18	ME	ME-CG-b型切	2～7号	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	29 (22)
19	C-G	ME-CG	12号↑(15)	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	29 (22)
20	NW	ME-CG-e型切	7～8号	直筒	—	—	—	—	30.7 (底面、斜面)	ナゲ	29 (22)
21	ME	ME-CG-d型切	5～7号	直筒	—	—	—	—	11.4 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
22	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	38.0 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
23	ME	ME-CG-b型切	7号～8号	直筒	—	—	—	—	1.0 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
24	ME	ME-CG-e型切	7号	直筒	—	—	—	—	30 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
25	ME	ME-CG-d型切	13～14号	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
26	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	36.0 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
27	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	57.1 (底面、斜面)	ナゲ	30 (22)
28	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	34.0 (底面、斜面)	ナゲ	30 (23)
29	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	13.0 (底面、斜面)	ナゲ	30 (23)
30	ME	ME-CG-b型切	9号	直筒	—	—	—	—	30 (底面、斜面)	ナゲ	30 (23)
31	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	46 (底面、斜面)	ナゲ	30 (23)
32	ME	ME-CG-e型切	4号	直筒	—	—	—	—	29 (底面、斜面)	ナゲ	31 (23)
33	ME	ME-CG-b型切	7号	直筒	—	—	—	—	12.4 (底面、斜面)	ナゲ	31 (23)
34	ME	ME-CG-d型切	6～8号	直筒	—	—	—	—	10.0 (底面、斜面)	ナゲ	31 (23)
35	ME	ME-CG-d型切	12～16号	直筒	—	—	—	—	16 (底面、斜面)	ナゲ	32 (24)
36	ME	ME-CG-b型切	1号↑	直筒	—	—	—	—	50 (底面、斜面)	ナゲ	33 (24)
37	ME	ME-CG-d型切	6号	直筒	—	—	—	—	7.3 (底面、斜面)	ナゲ	33 (24)

第五表 土器觀察表②

編號	測量區	出土地點	層位	外觀(文様・形態・量・體合之)			內觀	性質(胎土等)		分類	出處
				長	寬	厚		胎土	燒成		
38	D区	II-C15 1號	7層	外 「口縁」外延	—	—	64	皮狀胎土	淡褐色	胎土	日式
39	D区	II-C15 1號	6~7層	外 「口縁」外延	—	—	—	—	—	胎土	日式
40	B区	II-C29 1號	5~7層	外 「口縁」外延	—	—	65	皮狀胎土	淡褐色	胎土	日式
41	D区	II-C29 1號	5~7層	外 「口縁」外延	—	—	65	皮狀胎土	淡褐色	胎土	日式
42	H区	II-C30 1號	6~7層	外 「口縁」外延	—	—	—	—	—	胎土	日式
43	B区	II-C17 1號	12~15層	外 「口縁」外延	—	—	—	—	—	胎土	日式
44	B区	II-C17 1號	12~15層	外 「口縁」外延	—	—	—	—	—	胎土	日式
45	H区	II-C16 1號	1~6層	外 「口縁」外延	—	—	111.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
46	B区	II-C16 1號	1~6層	外 「口縁」外延	—	—	111.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
47	D区	II-C28 1號	4~9層	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
48	H区	II-C15 1號	7層	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
49	D区	II-C29 1號	6~8層	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
50	C区	II-C27 1號	1層+	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
51	H区	II-C29 1號	5層	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
52	C区	II-C24 1號	7層(H14)	外 「口縁」外延	—	—	112.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
53	H区	II-C28 1號	6~8層	外 「口縁」外延	—	—	115.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
54	D区	II-C28 1號	8~10層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
55	B区	II-C17 1號	8~10層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
56	B区	II-C28 1號	11~14層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
57	H区	II-C26 1號	6~8層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
58	B区	II-C27 1號	15層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
59	B区	II-C16 1號	1~5層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
60	D区	II-C28 1號	1~8層	外 「口縁」外延	—	—	116.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
61	H区	II-C27 1號	12~13層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
62	D区	II-C15 1號	7層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
63	B区	II-C26 1號	6~8層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
64	H区	II-C17 1號	12~15層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
65	D区	II-C24 1號	3層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
66	B区	II-C28 1號	12~14層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
67	B区	II-C15 1號	7層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
68	B区	II-C16 1號	12~9層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
69	C区	II-C14 1號	1~6層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
70	B区	II-C33 1號	12層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
71	B区	II-C33 1號	11層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
72	H区	II-C33 1號	12層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
73	C区	II-C14 1號	7~10層	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式
74	B区	II-C7 1號	7層上	外 「口縁」外延	—	—	117.0	褐色胎土	淡褐色	胎土	日式

第6表 土器観察表(3)

No.	測定式	測定式	測定式	測定式	測定式											
					上部	中部	下部	上部	中部	下部	上部	中部	下部	上部	中部	下部
75	C16. C16. ハンドル (H11)	ハンドル	ハンドル	ハンドル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
76	D16. D16. ハンドル	1~3型	1~3型	1~3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
77	H16. H16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
78	H16. H16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
79	H16. H16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80	B16. B16. ハンドル	2~3型	2~3型	2~3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81	C16. C16. ハンドル	1/2型 (H13)	1/2型 (H13)	1/2型 (H13)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
82	H16. H16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
83	B16. B16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
84	D16. D16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
85	R16. R16. ハンドル	3~8型	3~8型	3~8型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
86	H16. H16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
87	B16. B16. ハンドル	1~7型	1~7型	1~7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
88	B16. B16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
89	H16. H16. ハンドル	1~7型	1~7型	1~7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
90	D16. D16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
91	H16. H16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
92	D16. D16. ハンドル	11型	11型	11型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
93	C16. C16. ハンドル	11/15	11/15	11/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
94	D16. D16. ハンドル	8~9型	8~9型	8~9型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
95	H16. H16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
96	B16. B16. ハンドル	13型	13型	13型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
97	H16. H16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
98	D16. D16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
99	H16. H16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100	B16. B16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
101	H16. H16. ハンドル	4型	4型	4型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
102	D16. D16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
103	H16. H16. ハンドル	4~5型	4~5型	4~5型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
104	B16. B16. ハンドル	2型	2型	2型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
105	D16. D16. ハンドル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
106	H16. H16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
107	D16. D16. ハンドル	7型	7型	7型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
108	C16. C16. ハンドル	(H15)	(H15)	(H15)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
109	H16. H16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
110	B16. B16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
111	H16. H16. ハンドル	3型	3型	3型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第7表 土器調査表(4)

編號	測定地名	測定地點	管柱	土層	外因(水位・地下水・雨水など)			測定(地盤上)	外因	地下水	地盤
					月分	日数	時間				
112	HIZ. HIZ04 1番地	3号	浅耕	休止・透水	-	6.4	GJ.5	100%	地下水	45	52
113	HIZ. HIZ04 1番地	3号	深耕	休止・透水	-	16.6	GJ.5	100%	地下水	44	33
114	HIZ. HIZ04 1番地	6号	深耕	休止・透水	32.8	8.7	27.4	260%	地下水	45	52
115	HIZ. HIZ04 1番地	4号	深耕	休止・透水	41.9	-	12.0	260%	地下水	45	34
116	HIZ. HIZ04 1番地	11号	深耕	休止・透水	12.4	12.6	91%	地下水	45	34	
117	HIZ. HIZ04 1番地	7号	深耕	休止・透水	22.3	-	13.0	94%	地下水	45	34
118	HIZ. HIZ04 1番地	2号	①	(休止)	-	10.0	37%	地下水	45	34	
119	HIZ. HIZ04 1番地	2号	深耕	休止・透水	1.8	1.8	100%	地下水	45	34	
120	HIZ. HIZ04 1番地	2号	深耕	休止・透水	23.2	-	1.6	100%	地下水	45	34
121	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	6.8	-	100%	地下水	45	34	
122	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	-	1.6	100%	地下水	45	34	
123	HIZ. HIZ04 1番地	7号(11号)	休止	休止	4.6	7.4	12.2	平均水頭をもつたものより低め。地下水・透水性の状況は、透水性の高い部分は、透水性の低い部分より高め。地下水・透水性の状況は、透水性の高い部分は、透水性の低い部分より高め。地下水・透水性の状況は、透水性の高い部分は、透水性の低い部分より高め。	地下水	45	35
124	HIZ. HIZ04 1番地	4号	休止	休止	-	1.0	100%	地下水	45	34	
125	HIZ. HIZ04 1番地	3号	休止	休止	-	1.0	100%	地下水	45	34	
126	HIZ. HIZ04 1番地	7号	休止	休止	-	1.0	100%	地下水	45	34	
127	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	-	1.0	100%	地下水	45	34	
128	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	20.4	5.8	100%	地下水	45	34	
129	HIZ. HIZ04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
130	HIZ. HIZ04 1番地	13号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
131	HIZ. HIZ04 1番地	6号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
132	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
133	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
134	HIZ. HIZ04 1番地	3号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
135	HIZ. HIZ04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
136	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
137	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
138	HIZ. HIZ04 1番地	2号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
139	HIZ. HIZ04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
140	HIZ. HIZ04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
141	HIZ. HIZ04 1番地	6号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
142	CIC. CIC04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
143	CIC. CIC04 1番地	11号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
144	CIC. CIC04 1番地	4号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
145	CIC. CIC04 1番地	4号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
146	CIC. CIC04 1番地	6号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
147	HIZ. HIZ04 1番地	3号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	
148	HIZ. HIZ04 1番地	3号	休止	休止	1.2	1.2	100%	地下水	45	34	

第8表 土器觀察表(5)

第9表 土器觀察表(6)

第10表 土器観察表⑦

地名 No.	測量区	測量点	測量	所含物	所含物	新石器時代		古墳時代		古墳時代		古墳時代		古墳時代	
						口付	直付	口付	直付	口付	直付	口付	直付	口付	直付
外國(大英國、英蘭地と並外な)															
223. D16. IFC04. e焼物	7号	油井	土器	—	—	119 (165)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
224. D16. IFC04. c焼物	2号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
225. B4. IFC04. c焼物	9-12号	休	土器	174-休	休	—	—	102 (165)	—	—	—	—	—	—	—
226. B4. IFC04. b焼物	15号	休	土器	—	—	—	—	57 (165)	—	—	—	—	—	—	—
227. D16. IFC04. a焼物	6号	油井	土器	—	—	—	—	20 (165)	—	—	—	—	—	—	—
228. H17. IFC17. c焼物	7-11号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
229. H17. IFC17. b焼物	3号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
230. H16. IFC16. c焼物	7-9号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
231. H16. IFC16. b焼物	1号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
232. H16. IFC16. b焼物	1号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
233. D16. IFC17. c焼物	9-11号	油井	土器	—	—	—	—	191 (165)	—	—	—	—	—	—	—
234. H16. IFC16. c焼物	11号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
235. H16. IFC16. b焼物	4-5号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
236. D16. IFC16. b焼物	1号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
237. B16. IFC16. b焼物	1-9号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
238. B16. IFC17. c焼物	16号	油井	土器	340 (165)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
239. B16. IFC17. c焼物	7号	油井	土器	—	—	—	—	191 (165)	—	—	—	—	—	—	—
240. H16. IFC16. b焼物	7-11号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
241. H16. IFC16. b焼物	1号	油井	土器	—	—	—	—	191 (休)	—	—	—	—	—	—	—
242. H16. IFC16. b焼物	2号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
243. H16. IFC16. b焼物	4-6号	油井	土器	—	—	—	—	60 (休)	—	—	—	—	—	—	—
244. D16. IFC16. c焼物	5号	油井	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
245. D16. IFC16. c焼物	13-15号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
246. H16. IFC16. b焼物	2号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
247. C16. IFC16. c焼物	12号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
248. H16. IFC16. c焼物	4-6号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
249. D16. IFC16. c焼物	7号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
250. H16. IFC16. b焼物	6号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
251. H16. IFC16. c焼物	4-7号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
252. C16. IFC16. c焼物	12号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
253. H16. IFC16. b焼物	1-9号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
254. H16. IFC16. b焼物	3号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
255. H16. IFC16. b焼物	14号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
256. H16. IFC16. c焼物	4号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
257. D16. IFC16. c焼物	1号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
258. H16. IFC16. c焼物	3号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
259. C16. IFC16. c焼物	12号	休	土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外國(大英國、英蘭地と並外な)															

第11表 土器觀察表⑧

第12表 土器觀察表⑨

表13 土器觀察表⑩

第14表 土器観察表(1)

15表 土器觀察表⑫

第16表 土器調査表⑬

地名 No.	調査区 内訳	要定	形態	計量測定(cm ²)		外因(文書・地図等文・施工作等)	内訳	備考(出土等)	参考 文献	年号
				幅	高さ					
445	山北町 山北	II-D014-1-18	3型	小短杯	浅形	118.5 (5.7)	80	22.0	無文	-
446	山北 6号	II-D014-6	7号	小短杯	口狭・底膨	82.0 (5.2)	61	40	無文	-
447	山北 II-C03-51-1-1-2	6号	S型	口狭・底膨	—	—	86	小山形山口縁、北端、底不(ER)	トガ	-
448	山北 II-B04	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	111.1 (11.6)	72	26.6	小山形山口縁、南端(ER)
449	山北 II-D014-7	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	92.0 (7.2)	69	16.0	無文
450	山北 II-D014-7	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	92.0 (7.2)	69	16.0	無文
451	山北 II-B04	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	98.0 (6.8)	70	26.0	小山形山口縁、南端(ER)
452	山北 II-B04	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	73.0 (7.1)	43	24.0	2-6の土器
453	山北 II-B04	7号	直筒	口狭・底膨	—	—	67.0 (6.7)	102	22.0	無文
454	山北 II-D014-8-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	108.0 (5.6)	15.0	16.0	無文
455	山北 II-D013-6-18	3号	直筒	口狭・底膨	92	5.4	22.0	66.0	無文	-
456	山北 II-C03-1	4号	直筒	口狭・底膨	—	—	—	—	—	-
457	山北 II-C03-4-14	14号	直筒	口狭・底膨	—	—	16.0 (16.0)	37	31	無文
458	山北 II-C17-6-18	1-2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
459	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
460	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
461	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
462	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
463	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
464	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
465	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
466	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
467	山北 II-C17-12-18	2号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
468	山北 II-C03-1-2号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
469	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
470	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
471	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
472	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
473	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
474	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
475	山北 II-C04-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
476	山北 II-C17-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
477	山北 II-C17-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
478	山北 II-C03-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
479	山北 II-C18-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
480	山北 II-CR3-1号	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文
481	山北 II-B04	1号	直筒	口狭・底膨	—	—	10.0 (7.5)	4.0	3.5	無文

第17表 土器觀察表⑭

<ミニチュア土器> (第101図、写真図版82)

13点出土した。器高6cm以下の土器をミニチュア土器として分類した。次に述べる蓋型土器とともに日常的に使用されたと思われる。器種には鉢形土器・壺形土器があり、時期は縄文時代後期～晩期に属する。

<蓋型土器> (第101図、写真図版82)

4点出土した。14以外は摘み部分が欠損している。時期は16が縄文時代晩期遺物包含層からの出土で、他は後期前葉～中葉の遺物包含層からの出土である。(溜)

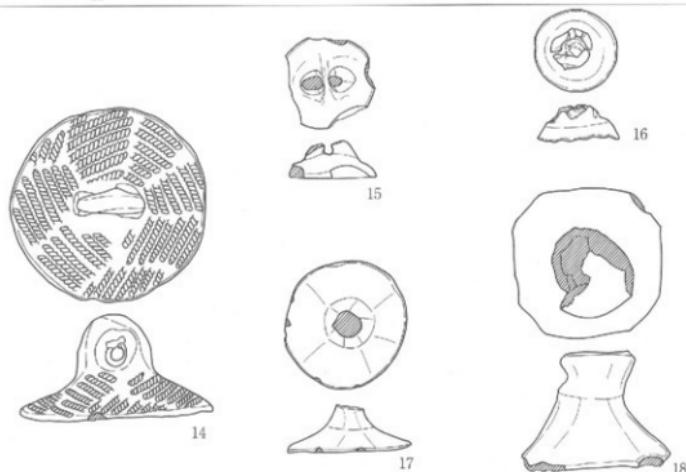
第18表 土器観察表⑯

ミニチュア土器

編號	出土区	出土地点	層位	器種	部位	口径 (cm)	直径 (cm)	器高 (cm)	外 観 (文様・装飾・地文・裏体など)	備 考	図版	写真
1	B区	III C15 b 滝防	2・3層	鉢	口縁～底部	41	17	4.0	無文、体部に穿孔あり	体部に穿孔あり	101	82
2	B区	III C28 c 滝防	12・13層	鉢	口縁～体部	(34)			沈繩文、縄文(L.R.)		101	82
3	B区	III C29 d 滝防	3～8層	鉢	体部～底部	(62)	(38)	6.0	沈繩文、上げ底	粗糸多量	101	82
4	B区	III C05 b 滝防	7b層	浅鉢	体部～底部		6.9		無文		101	82
5	B区	III C17 c 滝防	7～10層	浅鉢	口縁～底部	(59)	22	1.4	無文、上17底	粗糸多量	101	82
6	C区	III D78	5層	直口浅鉢	口縁～底部	42		1.8	無文		101	82
7	B区	III C15 b 滝防	7層	台付鉢	口縁～底部	(60)			無文	粗糸	101	82
8	B区	III C17 c 滝防	8層	台付鉢	口縁～底部	(60)	(39)	4.7	縄文(L.R?)	粗糸多量	101	82
9	B区	III C06 c 滝防	3層	壺	体部～底部		1.6		無文		101	82
10	B区	III C15 b 滝防	8層	壺	体部～底部		2.8		沈繩文(L.R)、沈繩		101	82
11	B区	III C20 d 滝防		壺	体部～底部		(1.8)		沈繩文		101	82
12	B区	III C29 d 滝防	5層	壺	口縁～底部	2.3	2.0	3.4	沈繩文		101	82
13	C区	III D10	5層	江口土器	口縁～底部	(29)	6.9		無文		101	82

蓋型土器

編號NO	出土地点	層位	高さ(cm)	径(cm)	重量(g)	時期	備 考	図版	写真
14	III C03 a 滝防	1・g層	4.9	8.0	6543	後期		101	82
15	III C27 c 滝防	13層	(15)	3.9	(1201)	後期		101	82
16	III D87	5層	(1.4)	3.4	(763)	晩期		101	82
17	IV E33	IX層	(1.9)	5.0	(2062)	後期		101	82
18	III C04 a 滝防	5層	4.8	6.6		後期		101	82



第101図 その他の土器(ミニチュア土器、蓋型土器)

2 土 製 品

本遺跡から出土し、掲載した土製品は土錘 6 点、土偶75点、土製耳飾り72点、飾り玉11点、円盤状土製品112点、鐸形土製品 5 点、スタンプ形土製品 2 点、分銅形土製品 1 点、石皿形土製品 2 点、動物形土製品 2 点他、各種不明土製品がある。各種土製品は形態による分類が可能な土錘・土製耳飾り・飾り玉は形態による分類を行った後に→グリッド順、他はグリッド順に掲載した。以下、観察表の補足を中心に詳細を述べる。

(溜)

(1) 土 錘 (第102図、写真図版83)

漁撈に使用されたと考えられる土製の錘で 6 点出土している。形状は長楕円形を呈し、外部に溝が巡る有孔土錘である。分類については詳細な分類をおこなっている花泉町の貝鳥貝塚の形態分類を参考に溝や孔の有無、面幅で分類した。土錘の重量は6.83g~31.0gで平均すると10g前後が多い。

I : 長軸に溝が巡るタイプ

- a : 溝が半周巡るもので長軸に孔を有する。(2)
- b : 溝が1周巡るもので短軸に孔を有する。(3・4)

II : 長軸・短軸に溝が巡るタイプ

- a : 短軸・長軸の溝が交差する面が短軸溝のみ巡る面よりも幅が狭いもの。(5・6)
- b : 短軸・長軸の溝が交差する面が短軸溝のみ巡る面よりも幅が広いもの。(7)

(2) 土 偶 (第102~110図、写真図版83~91)

77点出土した。これは精査を行った面積を中心としたもので遺跡全体が包含する数はかなり多く、県内でも最大規模であると推測される。各調査区の出土分布数や時期の内訳は本文中にあるが、縄文後期~晩期の範疇で、後期が64点、晩期が12点、時期不明 1 点である。後期のものが8割以上と圧倒的に多く、9割以上がB区からの出土である。他の調査区からは検出時およびトレンチからの出土であり、傾向を述べるものではない。よって一部ではあるが包含層の精査を行ったB区を対象に出土傾向を考察する。

B区から出土した土偶は全体の92%にあたる70点である。内訳は後期前葉19点、後期中葉3点、後期後葉38点、晩期前葉2点、晩期中葉6点、晩期後葉が1点で、後期87%、晩期13%である。晩期の遺物包含層の調査は第1層~第3層(大洞C2式以降)まで行った。主体は第3層で大洞C2式の遺物包含層であるが、大半が検出のみで調査が終了したのに対し、後期の遺物包含層は精査を行った調査区の南西側にあるa-b, c, dなどの各小堤防からの出土であり、結果的に多く出土したものに過ぎないと思われる。

下の図はB区の出土分布傾向を示したもので、これから以下の傾向が見える。①後期の土偶が小堤防に集中すること。②V類(晩期中葉)の分布がe堤防第3層の堆積土の外縁部に集中すること。このことから出土した土偶の大半が地形的に低い場所に廃棄されたものである可能性が考えられる。その根拠として、最も多く出土するⅢ C05・Ⅲ C15・Ⅲ C17グリッドはいずれも堤防後背面~旧流路にあたり、土偶以外にも廃棄された焼土や炭化物、動物遺存体が多く出土する捨て場であったことが上げら

れる。一方でd堤防西端部から傍せの状態で出土した妊婦土偶(52)は30×30×10cmほどの粘板岩質の角礫の下から検出され、人為的に設置されたものと考えられる。ただし、土偶との間に空間はなく、山形県杉沢遺跡や岩手県立石遺跡の埋納例にみられる掘り込みはない。また人為的に持ち込まれたと思われる角礫が1m離れた北側にも1点出土しており、長さ30cmほどの大きさであるが、関連は不明である。埋設土器や配石造構などが同じく堤防縁部で検出されていることから、土偶もこのような場所に集中して設置されたが、二次的な要因(地震や洪水などによる縁部の浸食や崩落)で散在して出土した可能性もある。

他にアスファルトによる修復痕が観察できるのが2点あり、どちらも後期のものである。

(3) 土 製 耳 飾 り

72点出土した。調査区ごとではB区が70点、C区が2点である。タイプは、I類：耳栓形、II類：白形、III類：滑車形、IV類：環状形の4つに分類した。朱塗りが施されているのはI類：5/5、II類：17/20、III類：1/42、IV類：1/5となっている。完形品で出土したものはI類：5/5、II類：12/20、III類：0/42、IV類：3/5となり、小形のものが残る確率が高くなり、薄手の構造のIII類はすべて破片で出土している。時期はI類が晚期、II類は後期、III類は後半～晚期前葉、IV類は後期を主にそれぞれ出土する。

大半が出土したB区の分布図をみると、土偶と同じくe堤防の川側縁部と小堤防後背側に集中しているが、よりその傾向が強いのが判る。特にIII類はe堤防の縁部に集中して出土する傾向にあり、残存率がすべて1/2以下のものであることから廃棄された可能性が高い。

I類：耳栓形

形状は白形であるが、両端の幅が異なる。断面は「八」の字状で広口側端部に刻みが施されている。また、すべて赤色付着物の痕跡が認められる。時期はすべて晩期前葉～中葉である。(83～87)

II類：白形

形状は白形であり、両端の幅はほぼ同じである。孔の有無で2つに分けることができる。また孔の有無に関わらず、90%の個体で赤色付着物の痕跡が確認できる。

a:中央に貫通孔がないもので4点出土した。88は沈線により花弁状の文様が施されている。時期は後期中葉である。(88～91)

b:中央に貫通孔を有するもので、断面形が三角で孔が狭いもの、断面形が「ハ」の字状で径が断面厚より大きく、小型の滑車形耳飾のような形態をなすものがある。時期は後期で前葉以降、全般にわたる。(92～107)

III類：滑車形

断面が薄く、滑車状の形態をするもので、外面側は装着の際、はめ込むための窪みがある。断面は三角形状を呈するものが多く、出現時期は後期後葉～晩期中葉の範疇である。(108～149)

IV類：環状形

形状は滑車形と同様であるが、両端に平らな面をもつもの。153は片面に文様が施されている。(150～154)

(4) 環状土製品(第114図、写真図版93)

2点出土した。両面朱塗りで、滑車形耳飾に似た形状であるが、外面の窪みは明瞭ではなく、腕輪など他の使用も考えられることから滑車状土製品として掲載した。(155・156)

(5) 土製腕輪(第114図、写真図版93)

B区a堤防11層より1点出土した。破損品であるが、本来筒状の形状を呈すると考えられる土製品で幅7.1cm、厚さ1.8cmを測る。

(6) 飾り玉(第114・115図、写真図版93)

土製の装身具で13点出土し、形状から小玉、丸玉、管玉、平玉、勾玉に分けられる。長さ0.3cm以下の小玉(158~161)については2mmメッシュ、1mmメッシュの篩を使用した水洗選別により検出されたもので、c堤防後期面からの出土である。その多くに朱塗りが施されていたが、169・170については朱塗りは施されておらず土鍾など他の用途に使われた可能性も考えられる。

(7) 鐸形土製品(第115図、写真図版94)

釣り鐘状の形状をした土製品で6点出土した。いずれも縄文後期の包含層からの出土で開口部と平行した摘みの短軸方向に穿孔されている。(171~176)

(8) 動物形土製品(第115図、写真図版94)

動物の姿を模して製作された土製品で2点出土した。177は形状からイノシシを模した土製品と考えられるが、頭部の表現は曖昧である。遺跡からは多くの獸骨が出土し、その大半がシカ・イノシシであり、生活と密接な関係があった動物である。928は亀形土製品?の一部(甲羅、右後脚)と考えられ、右後脚前方の甲羅端部にあたる箇所は刻みで表現されている。また甲羅部分には刻線による文様が表現されている。

(9) タンブ形土製品(第115図、写真図版94)

2点出土した。179は長軸方向に摘みが付き、摘み部分には短軸に穿孔がある。文様は中央の沈線を境に左右対称に矢羽根状のモチーフが描写されている。180は破損品であるがやはり、沈線によって菱形をモチーフに描写されている。

(10) 分銅形土製品(第115図、写真図版94)

1点のみ出土した。摘み部分の先端は舟形の形状で数本の沈線と刻線で先端を区切り、下端部には刺突による円文が施されている。(181)

(11) 土皿(第116図、写真図版95)

2点出土した。いずれも後期前葉~中葉の遺物包含層からの出土で破損している。182は約1/2の残存で内面が緩く窪み、底面には脚を付した痕跡が2箇所認められる。183は182と比較して小形で残存状況も1/3ほどと悪く、側面の縁部は確認できるが脚の痕跡は認められない。

(12) 円盤形土製品(第117~120図、写真図版96~98)

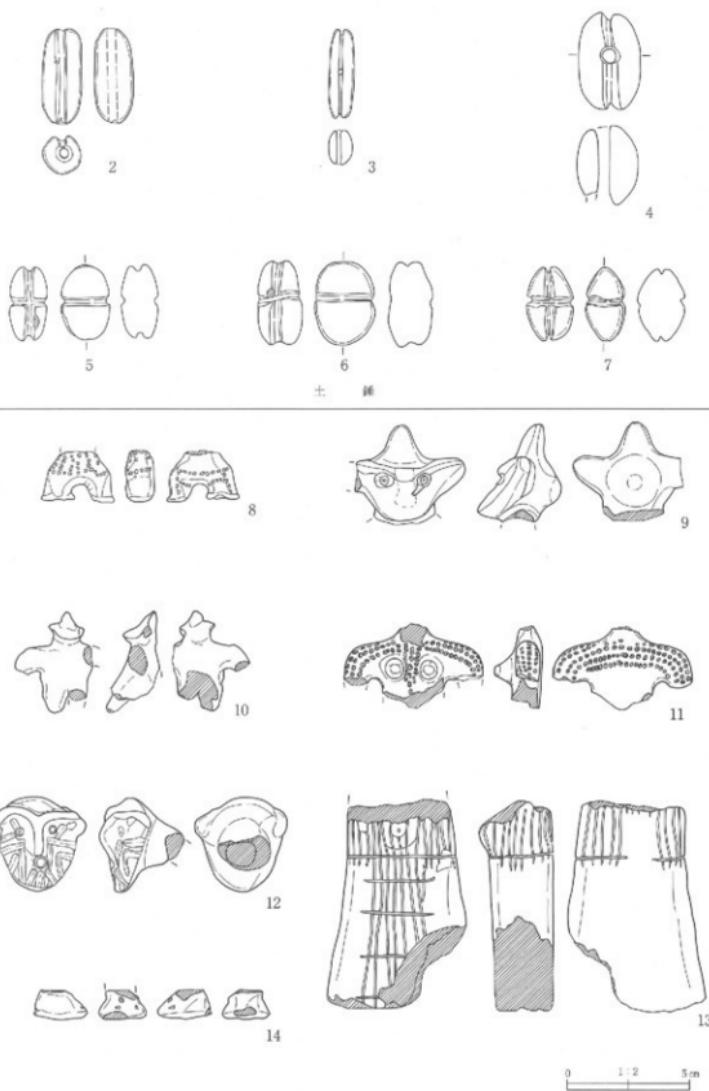
円形を基調とした形状に加工されたもので、111点出土した。形状を整えるために周間を打ち欠いたり、擦るなどの調整した痕跡がみられる。使用される土器の部位は体部→口縁部→底部の順に多い。221は口縁部を利用しているが、口唇部は未調整でそれ以外のところを加工して形を整えている。

(13) その他土製品(第116図、写真図版95)

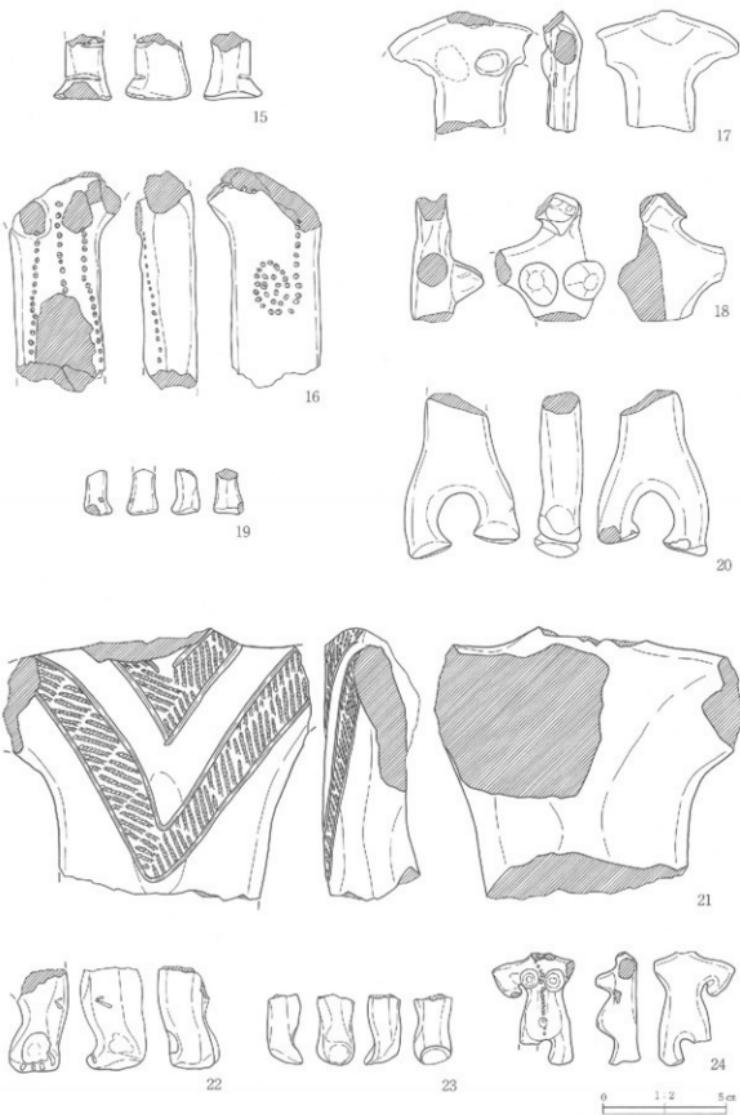
6点出土した。内訳は冠状の形状を呈するもの1点、円形の形状を呈するもの2点、土版1点、脚状の形状のもの2点である。185は円形の土製品で上面?には円形に窪みを施し、外縁部と中央部とを隔てている。186も同じく円形の土製品であるが、形状は小皿状で外縁部に厚みがあるが、それ以外の上面は平坦な作りである。

(14) 粘土塊(写真図版95)

3点出土した。成形されていない大きさ3cmほどのもので、使用目的などは不明である。実測は行わず写真のみ掲載した。



第102図 土製品1 土錐・土偶(1)

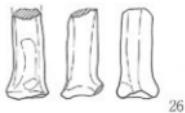


第103図 土製品2 土偶(2)

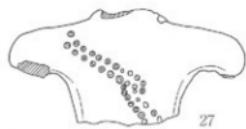
2 土製品



25



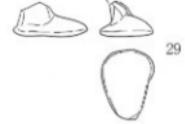
26



27



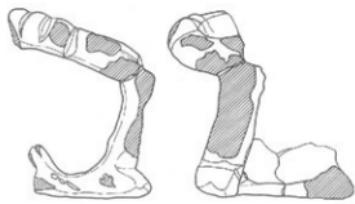
28



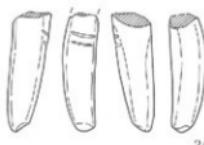
29



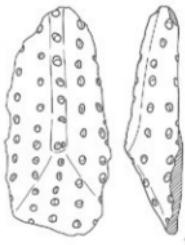
30



31



32



33

0 1 : 2 5 cm

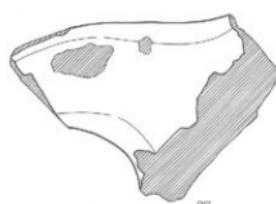
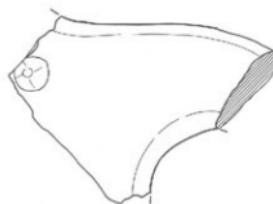
第104図 土製品3 土偶(3)



35



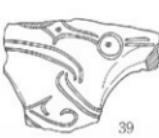
36



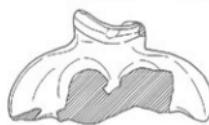
37



38



39



40



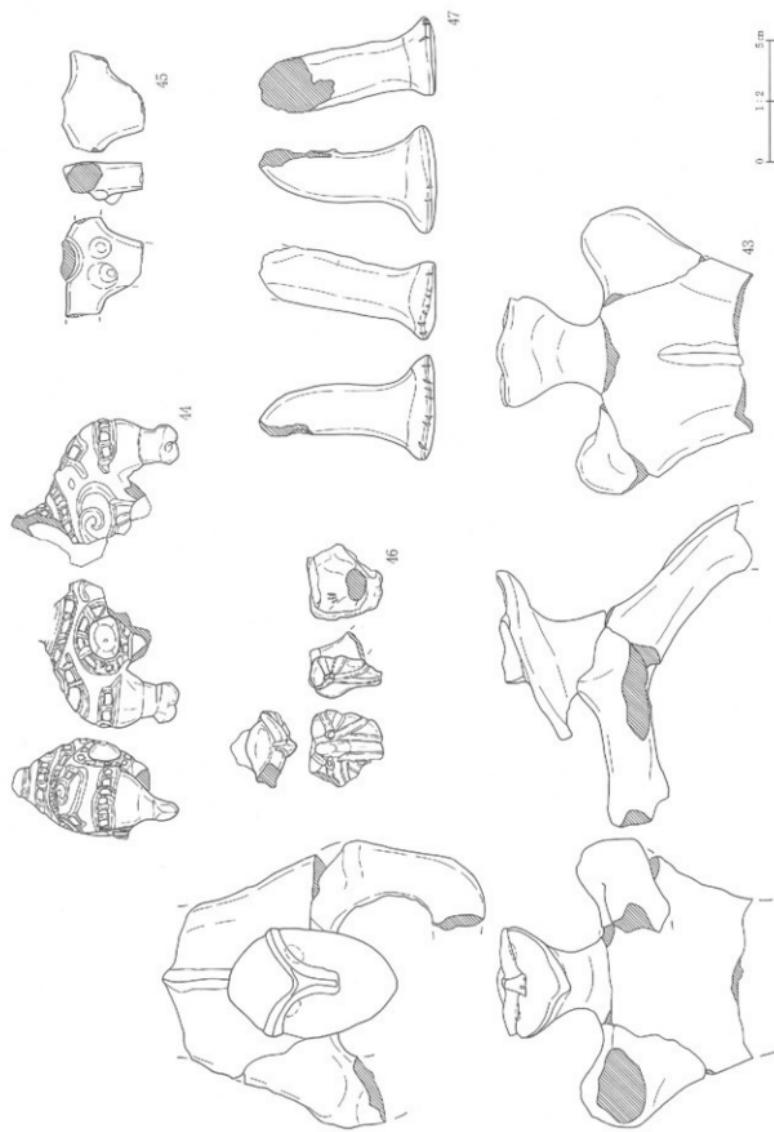
41



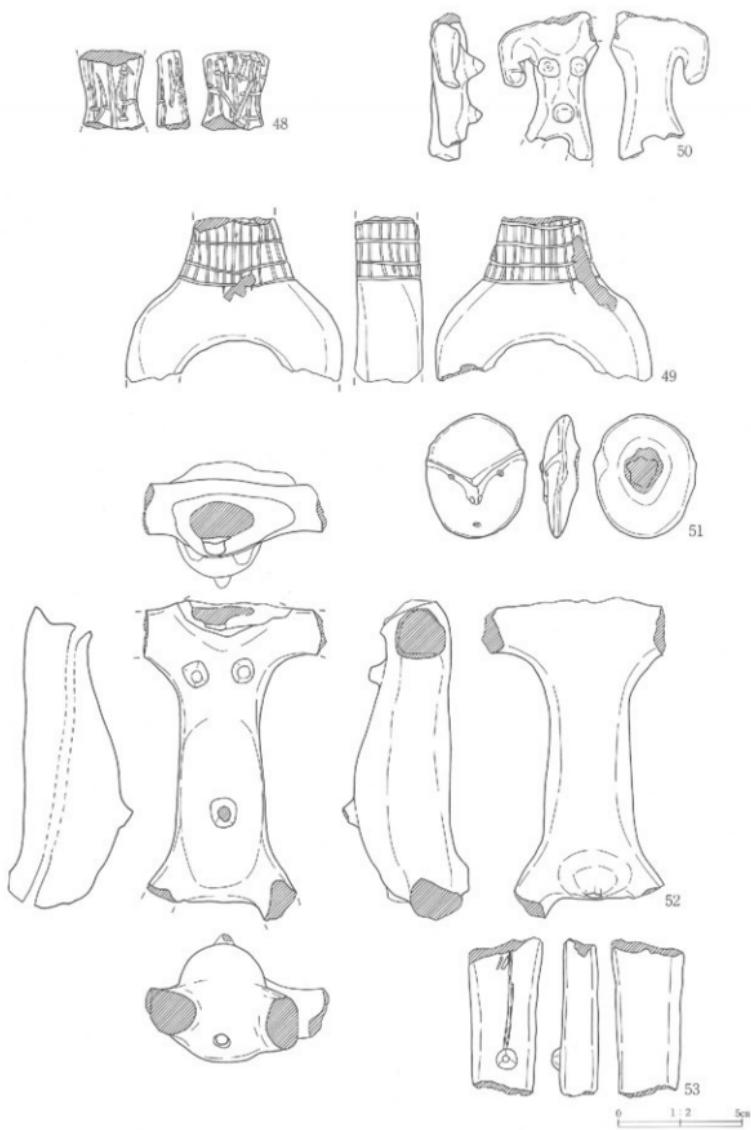
0 1:2 5cm

第105図 土製品4 土偶(4)

2 土製品



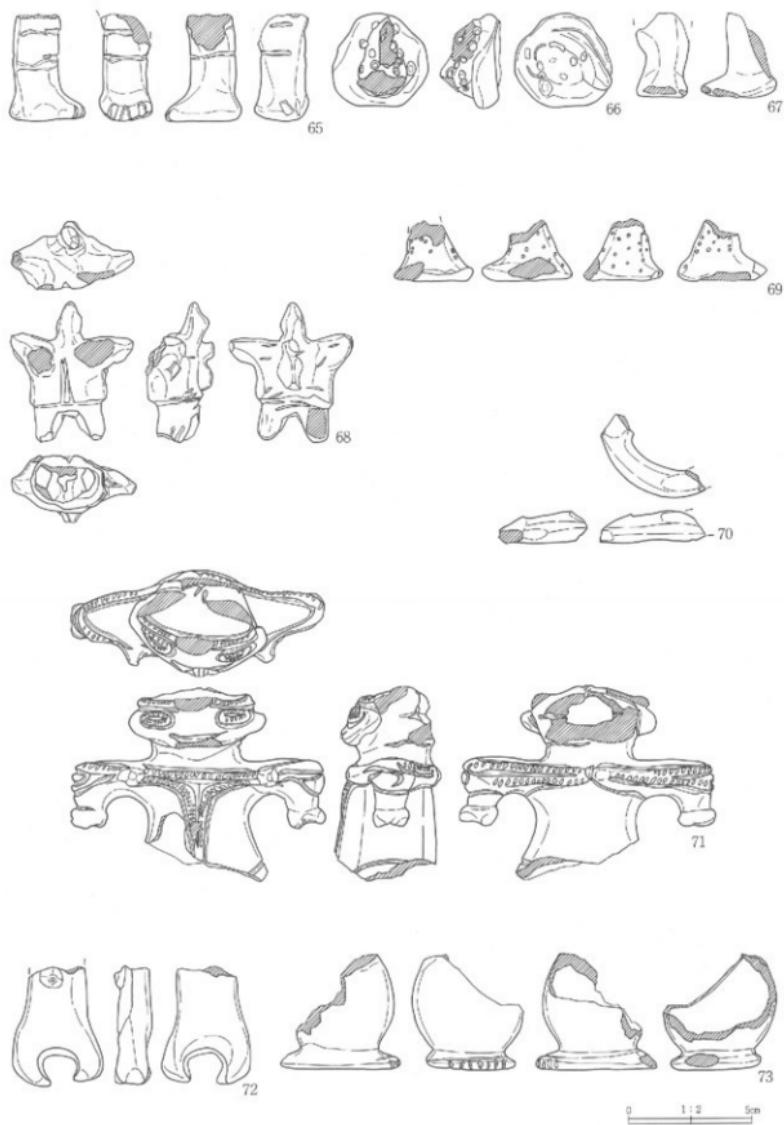
第106図 土製品5 土偶(5)



第107図 土製品6 土偶(6)

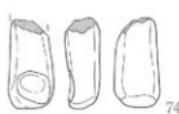


第108図 土製品7 土偶(7)



第109図 土製品8 土偶(8)

2 土製品



74



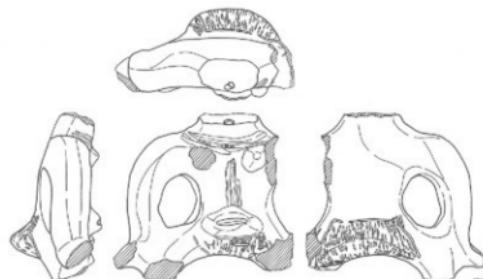
75



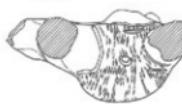
76



77



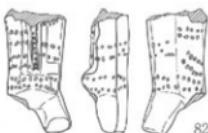
78



80



81

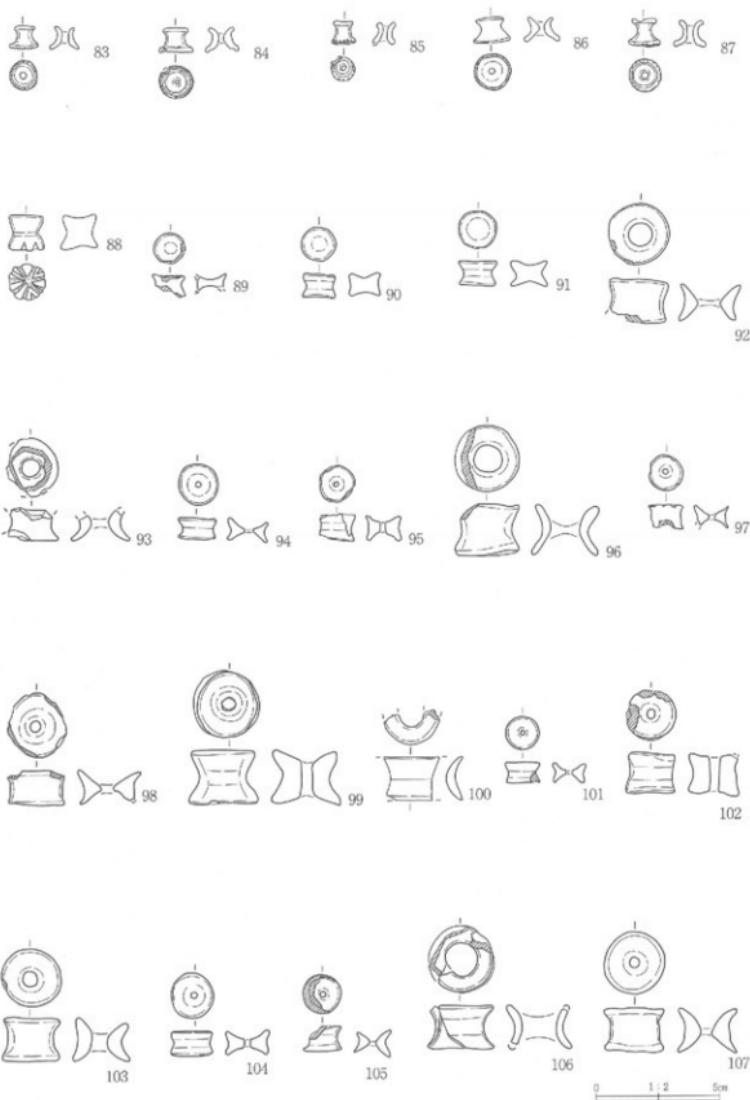


82

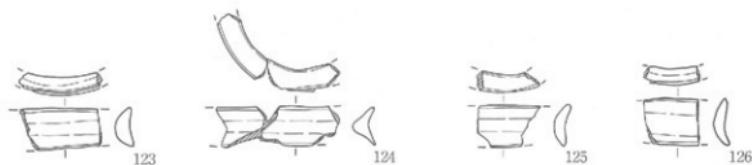
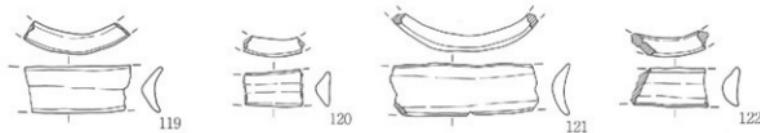
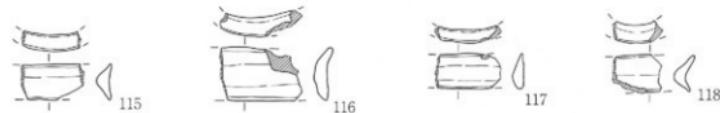
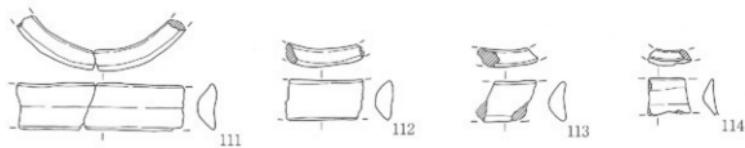
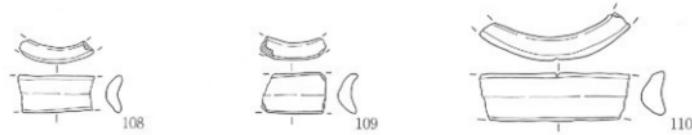
土偶

0 1:2 Box

第110図 土製品9 土偶(9)

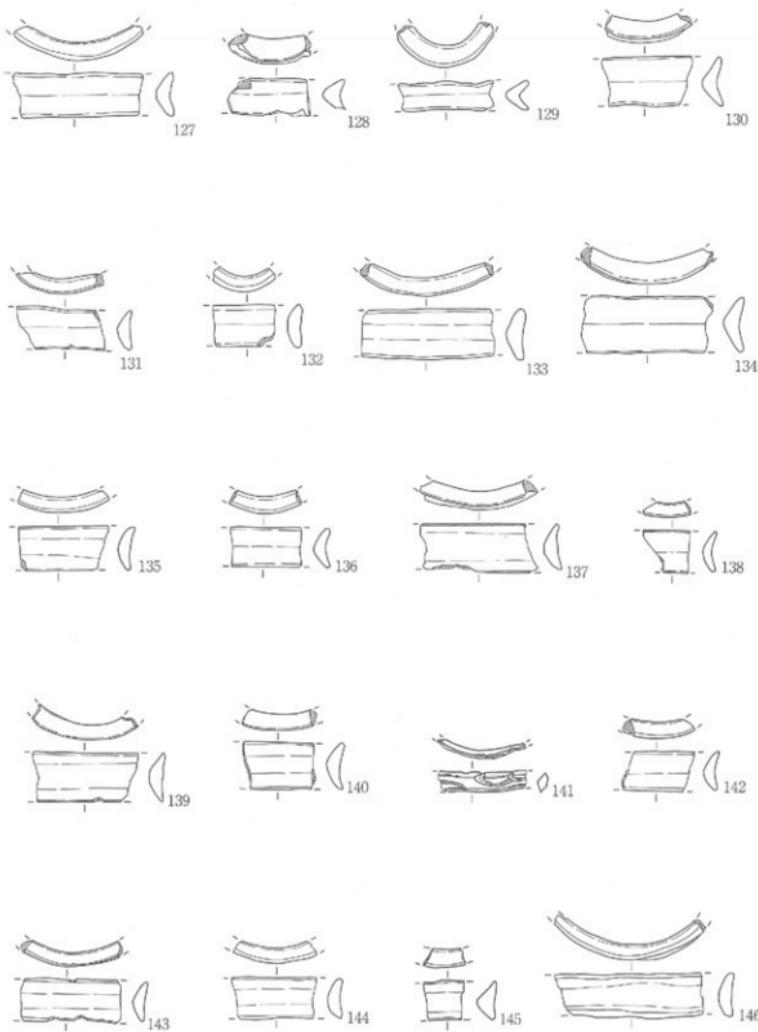


第111図 土製品10 耳飾り(1)



0 1 2 5cm

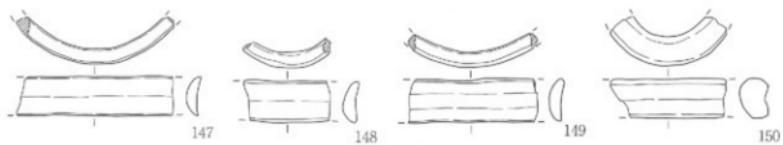
第112図 土製品11 耳飾り(2)



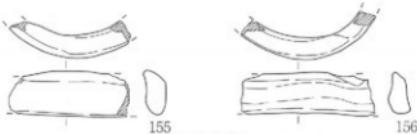
0 1:2 5mm

第113図 土製品12 耳飾り(3)

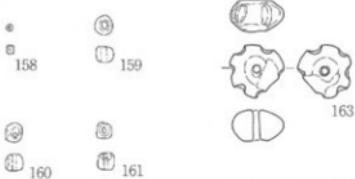
2 土製品



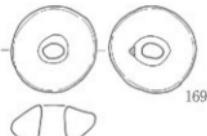
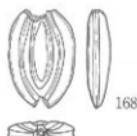
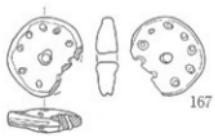
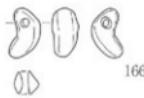
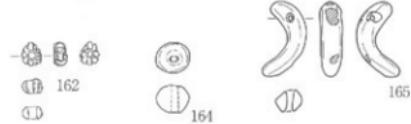
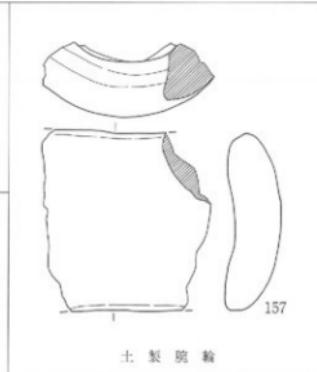
耳 飾 り



環状土製品



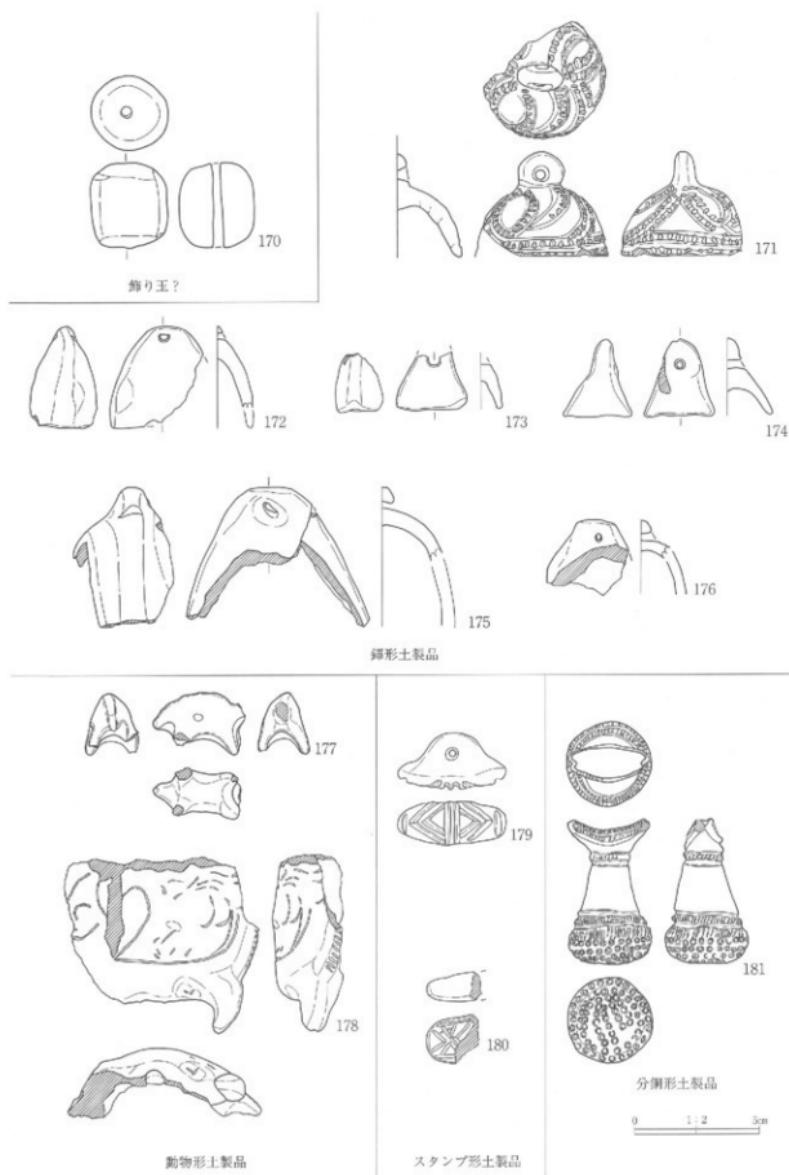
土 製 腕 輪



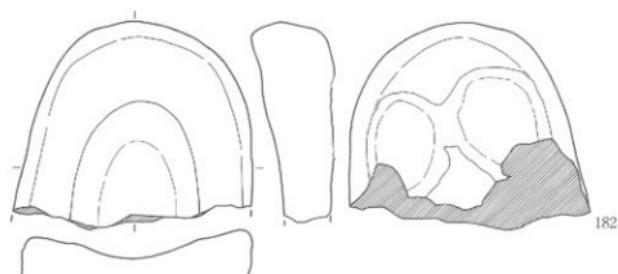
飾 り 玉

0 1 2 5m

第114図 土製品13 耳飾り(4)・環状土製品・土製腕輪・飾り玉

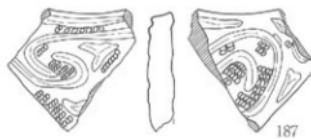
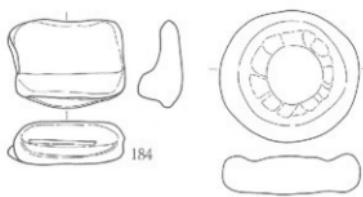
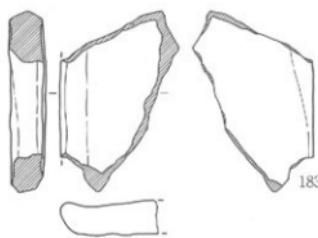


第115図 土製品14
鐸形土製品・動物形土製品・スタンプ形土製品・分側形土製品・飾り玉?



石皿形土製品

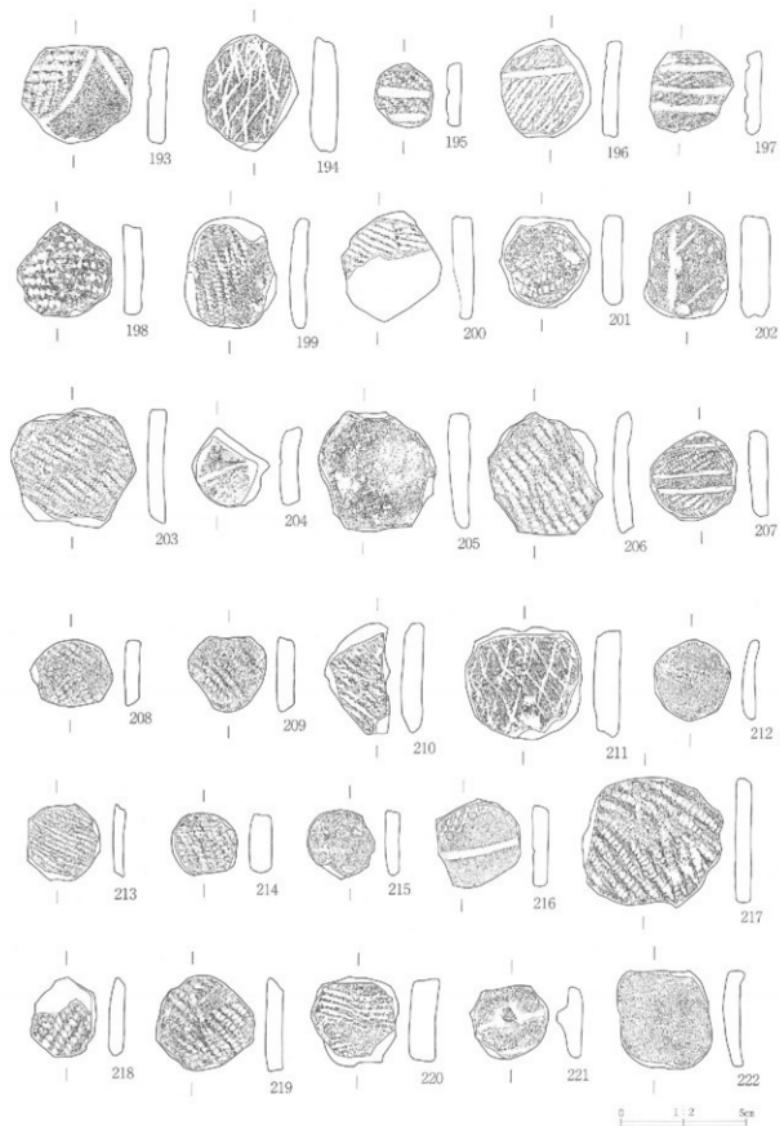
0 1 : 3 5cm



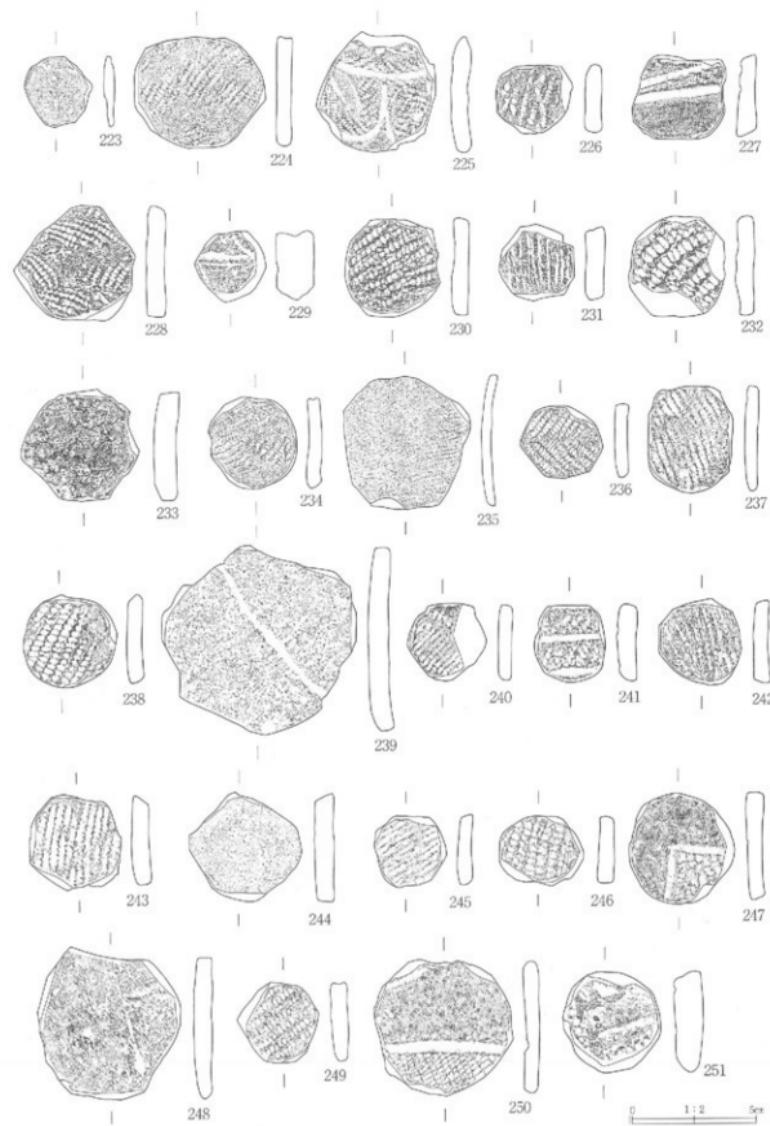
他の土製品

0 1 : 2 5cm

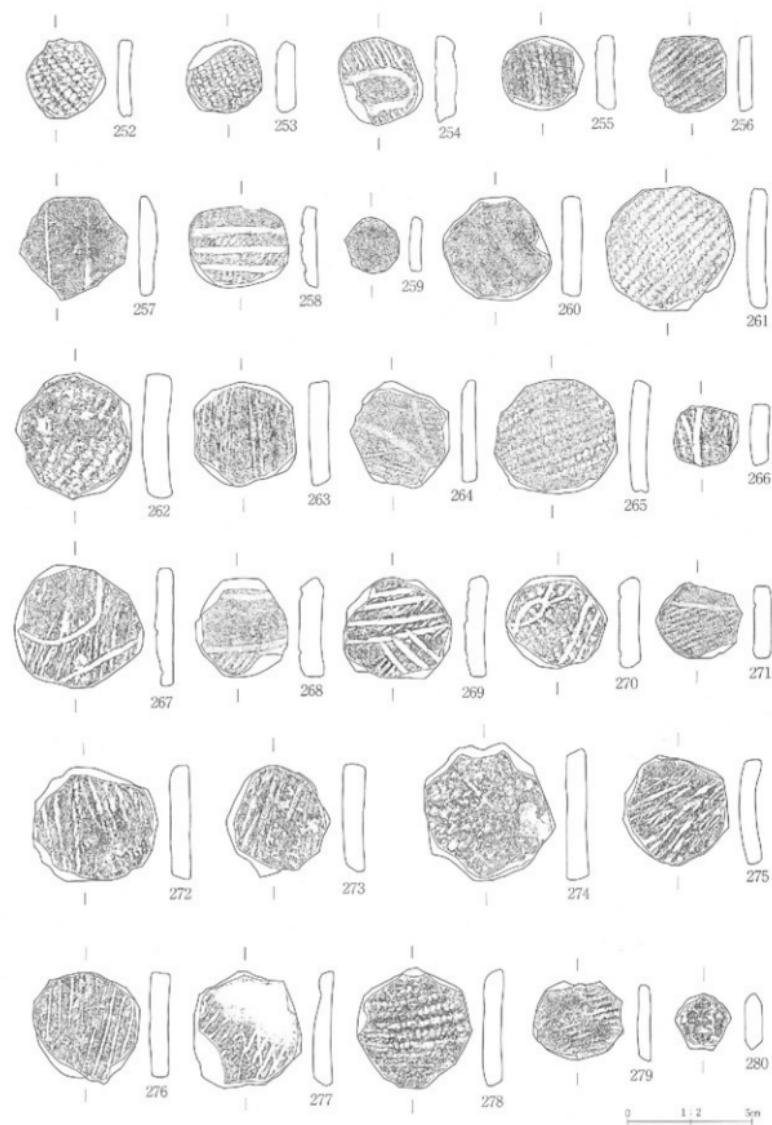
第116図 土製品15 石皿形土製品・他の土製品



第117図 土製品16 円盤形土製品(1)

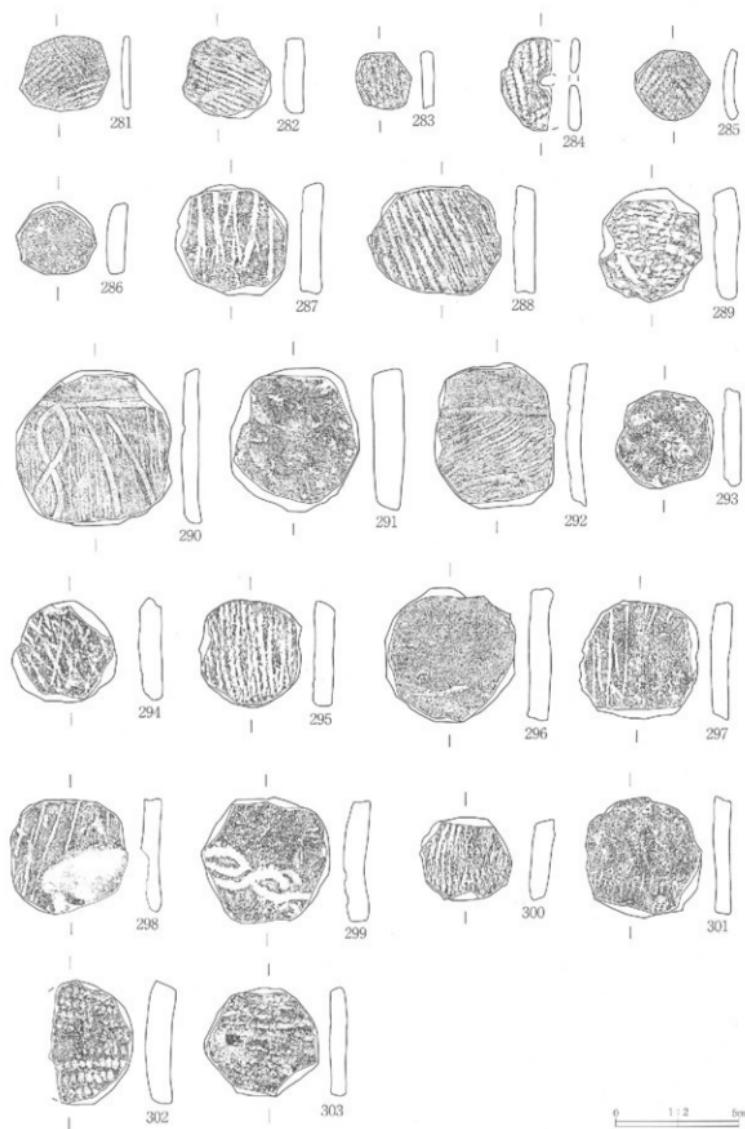


第118図 土製品17 円盤形土製品(2)



第119図 土製品18 円盤形土製品(3)

2 土製品



第120図 土製品19 円盤形土製品(4)

第19表 土製品観察表①

土器

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考	分類	団版	写真
2	C区	IV-E23	8~9層	右溝土罐	5.0	1.6	1.6	10.86		I a	102	83
3	B区	III-C04 b 堀防	6層	右溝土罐	3.7	1.4	1.0	6.83		I b	102	83
4	C区	IV-E44	7~8層	右溝土罐	4.1	3.1	2.6	31.0		I b	102	83
5	B区	II-C97 c 堀防	3層	有底土罐	3.4	2.5	1.8	16.83		II	102	83
6	B区	III-C03 b 堀防	3層	有底土罐	3.0	2.0	1.5	10.86		II	102	83
7	C区	III-D78	5層	有底土罐	3.0	2.0	1.6	7.45		II	102	83

土偶

掲載NO	調査区	出土地点	層位	部位	つくり	文様	備考	分類	時期	団版	写真
1	B区	III-C15 b 墓防 1号炉	埋土1層	片脚	中実	無文	b 墓6層検出	III	後期後業	25	17
8	B区	II-C93 a 堀防	1~5層	脚部下平・脚部	中実	刺突文		III	後期後業	102	83
9	B区	II-C93 a 堀防	1~5層	頭部	中実			III	後期後業	102	83
10	B区	II-C94 a 堀防	1~4層	左腕・左脚尖付	中実	無文		III	後期後業	102	83
11	B区	III-C03 a 墓防	9層	頭部・腕部尖付	中実	刺突		III	後期後業	102	83
12	B区	III-C03 a 墓防	11層	頭部	中実	刺突文		I	後期前業	102	83
13	B区	III-C03 a 墓防	13層	頭部	中実	格子目文		I	後期前業	102	83
14	B区	III-C04 b 墓防	1~2層	片脚	中実	刺突文		I	後期前業	102	83
15	B区	III-C04 b 墓防	1~2層	左脚	中実	沈縞文		III	後期前業	103	84
16	B区	III-C04 b 墓防	2~3層	胸部	中実	刺突文		II	後期中期	103	84
17	B区	III-C04 b 墓防	2~3層	腕部・右肩	中実	無文		III	後期後業	103	84
18	B区	III-C04 b 墓防	2~3層	頭部・頭部	中実			III	不明	103	84
19	B区	III-C04 b 墓防	6~7層	片脚	中実	無文		III	後期後業	103	84
20	B区	III-C05 b 墓防	1層	脚部下平・脚部	中実	無文		I	後期前業	103	84
21	B区	III-C05 b 墓防	2~3層	頭部	中実	沈縞文、LR		III	後期前業	103	84
22	B区	III-C05 b 墓防	3層	片胸	中実	無文		III	後期後業	103	84
23	B区	III-C05 b 墓防	3層	片胸	中実			III	後期前業	103	84
24	B区	III-C05 b 墓防	5層	脚部・右肩・左脚	中実	刺突文	赤色顔料付着?	III	後期前業	103	85
25	B区	III-C05 b 墓防	6~8層	頭部	中火	刺突文		I	後期前業	104	85
26	B区	III-C05 b 墓防	6~7層	片脚	中火	無文		III	後期後業	104	85
27	B区	III-C06 b 墓防	1層	頭部・左肩	中実	刺突文		I	後期前業	104	85
28	B区	III-C06 b 墓防	2層	左肩	中空	沈縞文、貼付文		II	後期中業	104	85
29	B区	III-C06 b 墓防	2~3層	足	中実			III	後期前業	104	85
30	B区	III-C14 b 墓防	2~3層	片腕	中実	無文		III	後期後業	104	85
31	B区	III-C15 b 墓防	2~3層	両腕・脚部・脚部	中実	沈縞		III	後期後業	104	85
32	B区	III-C15 b 墓防	7層	右脚	中実			III	後期後業	104	85
33	B区	III-C15 b 墓防	7層	頭部	中実			I	後期前業	104	85
34	B区	III-C15 b 墓防	右腕	右腕	中火	沈縞		III	後期後業	104	85
35	B区	III-C07 c 墓防	1層	脚部下平	中空	沈縞文、LR	e 墓防流れ込み	V	晚期中業	105	86
36	B区	III-C15 c 墓防	8層	脚部下平・脚部	中実	無文		III	後期前業	105	86
37	B区	III-C16 c 墓防	12層	頭部・右肩	中実	無文		III	後期後業	105	86
38	B区	III-C16 c 墓防	13層	脚部下平・脚部	中実	沈縞文		III	後期後業	105	86
39	B区	III-C17 c 墓防	1層上	頭部・肩部	中実	無文	赤色顔料付着	III	後期前業	105	86
40	B区	III-C17 c 墓防	1層上	頭部~左肩	中実	沈縞	e 墓防流れ込み 赤色顔料付着、 e 墓防からの流れ	III	後期後業	105	86
41	B区	III-C17 c 墓防	1層	頭部				V	晚期前業	105	86
42	B区	III-C17 c 墓防	9~11層		中実	無文		III	後期後業	105	86
43	B区	III-C17 c 墓防	12~13層	頭部・頸部上半・左肩	中実	無文		I	後期前業	106	87
44	B区	III-C17 c 墓防	7~9層	脚部・左肩	中空	沈縞文		IV	後期前業	106	87
45	B区	III-C17 c 墓防	11層	頭部・右肩	中火	無文		III	後期前業	106	87
46	B区	III-C17 c 墓防	12層	頭部	中火	沈縞文		IV	晚期前業	106	87
47	B区	III-C17 c 墓防	14層	片脚	中火	無文		I	後期前業	106	87
48	B区	III-C19 d 墓防	6~8層	頭部	中火	沈縞文		I	後期前業	107	88
49	B区	III-C27 c 墓防	13層	頭部下平・脚部	中実	格子目文		I	後期前業	107	88
50	B区	III-C27 c 墓防	15層	頭部・右肩・左脚	中実	無文		I	後期前業?	107	88
51	B区	III-C29 c 墓防	7層	頭部	中実	刺突文		I	後期前業	107	88
52	B区	III-C28 d 墓防	9層上	頭部	中実	無文	頭部~脇間部に 貫通孔あり	I	後期前業	107	88
53	B区	III-C28 d 墓防	6~8層	頭部	中実	沈縞文		I	後期前業	107	88
54	B区	III-C43 e 墓防	7層	肩部~頭部	中実	無文		III	後期後業	108	89

第20表 土製品觀察表②

十例

指標 NO	調査区	出土地点	層位	部 位	つくり	文 標	備 考	分類	時期	四版	写 図
55	B区	II C54 e 堤防	4~6層	左脚	中実	沈維文、劉空文		Ⅲ	後期後葉	108	89
56	B区	II C54 c 堤防	4~7層	片脚	中実			Ⅲ	後期後葉	108	89
57	B区	II C64 e 堤防	4~7層	片(右?)脚	中空			V	晚近中葉	108	89
58	B区	II C64 c 堤防	7層	脚部	中実	格子目文、刻空文	頭部アスファルト付着	I	後期前葉	108	89
59	B区	II C64 e 堤防	11層	片脚	中実	沈維文		Ⅲ	後期後葉	108	89
60	B区	II C64 c 堤防	11層	左脚	中实			Ⅲ	後期後葉	108	89
61	B区	II C74 e 堤防	7層	右腕	中空			Ⅲ	後期後葉	108	89
62	B区	II C83 e 堤防	11層	頭部・脚部・左腕	中実	沈維文、劉空文	小色釉料付着	Ⅲ	後期後葉	108	89
63	B区	II C84 e 堤防	7層	脚(右)部	中实	劉空文		I	後期前葉	108	89
64	B区	II C84 e 堤防	7層	脚部	中实	劉空文、沈維文		II	後期中葉	108	89
65	B区	II C84 e 堤防	7層	右脚	中实	沈維文		Ⅲ	後期後葉	109	90
66	B区	II C85 e 堤防	4~6層	頸部	中实	劉空文		Ⅲ	後期後葉	109	90
67	B区	II C85 c 堤防	7層	片脚	中实			Ⅲ	後期後葉	109	90
68	B区	II C88 e 堤防	3層		中实			V	晚近中葉	109	90
69	B区	II C95 e 堤防	7層	左脚	中实	劉空文		I	後期前葉	109	90
70	B区	II C96 e 堤防	3層	右脚	中实	無文		Ⅲ	後期後葉	109	90
71	B区	II C98 e 堤防	3層	頭部・脚部・左腕	中空	沈維文、劉日文	赤色釉料付着	VI	晚近後葉	109	90
72	B区	II C98 e 堤防	9層	脚部下平・脚部	中实	無文		I	後期前葉	109	90
73	B区	III C07 e 堤防	3~4層	片脚	中空	劉空文		V	晚近中葉	109	90
74	B区	III C09 e 堤防	3~6層	左脚	中实	e 堤防斜面部		Ⅲ	後期後葉	110	91
75	B区	III D22 e 堤防	7層	脚部下平・左脚	中实	沈維文	アスファルト付着	Ⅲ	後期後葉	110	91
76	B区	III D22 e 堤防	7~8層	右脚	中实	沈維文		V	晚近中葉	110	91
77	C区	III D65トレーナー		右脚				Ⅲ	後期後葉	110	91
78	C区	III D78	5層	右脚	中实			Ⅲ	後期後葉	110	91
79	C区	III D78	6層	脚部・右脚	中实			V	晚近中葉	110	91
80	C区	III E96	10層	脚部(腹側)	中实	劉空文		Ⅲ	後期中葉	110	91
81	E区	II B01	II層	腹部・腰・脚部剥落	中实	沈維文		VI	晚近後葉	110	91
82		小明		脚部・左脚	中实	劉空文		Ⅲ	後期後葉	110	91

耳飾り

指標 NO	調査区	出土地点	層位	種類	径 (cm)	最大幅 (cm)	重量 (g)	備 考	分類	四版	写 図
83	B区	III C17 c 堤防	1~3層	耳鉤形	1.25	0.95	0.2	0.51 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	I	111	91
84	B区	III C17 c 堤防	7~9層	耳鉤形	1.4	1.0	0.35	(0.92) 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	I	111	91
85	B区	III C17 c 堤防	8層	耳鉤形	0.95	0.9	0.25	0.48 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	I	111	91
86	B区	III C28 c 堤防	4~9層	耳鉤形	1.5	1.05	0.5	0.94 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	I	111	91
87	B区	II C98 e 堤防	3層	耳鉤形	1.35	1.1	0.2	0.74 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	I	111	91
88	B区	III C04 b 堤防	6~7層	口形	1.5	1.4	1.0	2.78 端部削みあり、朱漆?	II a	111	91
89	B区	III C15 b 堤防	7層	白形	1.25	0.75	1.05	(0.92) 朱漆?	II a	111	91
90	B区	III C27 c 堤防	12~13層	口形	1.4	0.95	1.1	2.10 朱漆?	III a	111	91
91	B区	III C28 c 堤防	12~13層	口形	1.5	1.0	1.0	2.13 朱漆?	III a	111	91
92	B区	II C85 e 堤防	7層	白形	2.5	1.8	0.5	(5.35) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
93	B区	II C95 e 堤防	7層	口形	2.4	(1.3)	0.5	(2.95) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
94	B区	II C95 e 堤防	7層	白形	1.7	0.9	0.55	1.75 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
95	B区	II C95 e 堤防	8層	白形	1.5	1.1	0.55	(1.80) 貫通孔あり	III b	111	91
96	B区	II C98 e 堤防	4~6層	口形	2.7	2.15	0.35	(6.41) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
97	B区	II C05 b 堤防	6~7層	白形	1.45	1.0	0.5	(1.35) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
98	B区	III C06 b 堤防	1層	口形	2.6	1.4	0.85	(5.23) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	91
99	B区	III C06 b 堤防	6~7層	口形	2.7	2.2	0.8	13.58 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
100	B区	III C06 b 堤防	6~7層	口形	(2.3)	1.8	0.4	(2.23) 朱漆?	III b	111	92
101	B区	III C27 c 堤防	12~13層	口形	1.33	0.85	0.5	1.22 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
102	B区	III C27 c 堤防	13層	白形	2.0	1.6	0.7	(7.85) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
103	B区	III C28 c 堤防	7~9層	口形	2.5	1.75	0.6	7.26 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
104	B区	III C28 c 堤防	13層	口形	1.8	1.0	0.75	2.18 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
105	B区	III C29 d 堤防	6~8層	白形	1.5	1.05	0.4	(1.36) 貫通孔・端部削みあり、朱漆?	III b	111	92
106	B区	III C40 d 堤防	6~8層	白形	2.7	1.8	0.3	(4.30) 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
107	B区	III C41 e 堤防	7層	口形	2.5	1.8	0.8	7.26 貫通孔あり、朱漆?	III b	111	92
108	B区	II C87 e 堤防	3層	透空形	(5.4)	1.5	0.45	(2.97) 朱漆?	III	112	92
109	B区	II C87 e 堤防	3層	透空形	(6.2)	1.7	0.55	(2.23) 朱漆?	III	112	92
110	B区	II C87 e 堤防	5~6層	透空形	(9.0)	1.8	0.8	(10.66) 朱漆?	III	112	92
111	D区	II C97 e 堤防	3層	透空形	(8.0)	1.9	0.7	(12.34) 朱漆?	III	112	92
112	B区	II C97 e 堤防	3~6層	透空形	(8.8)	1.6	0.7	(3.87) 朱漆?	III	112	92

第21表 土製品觀察表③

耳施り

摘要 NO.	調査区	出土地点	層位	種類	径 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考		分類	図版	写真
113	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(10.2)	1.6	0.6	(2.28)			III	112	92
114	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	—	—	0.4	(1.23)			III	112	92
115	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.6)	1.5	0.5	(1.93)			III	112	92
116	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(8.4)	2.2	0.5	(4.04)			III	112	92
117	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.0)	1.5	0.4	(1.76)			III	112	92
118	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(6.0)	1.5	0.45	(1.59)			III	112	92
119	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.6)	1.9	0.5	(5.01)			III	112	92
120	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.4)	1.5	0.55	(2.43)			III	112	92
121	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(8.2)	2.1	0.45	(8.73)			III	112	92
122	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.8)	1.6	0.55	(3.62)			III	112	92
123	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(8.6)	1.7	0.55	(4.07)			III	112	92
124	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.0)	1.7	0.6	(5.62)			III	112	92
125	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(7.3)	1.7	0.4	(1.98)			III	112	92
126	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(6.4)	1.9	0.3	(2.83)			III	112	92
127	B区	II C94 a-b 堤防	—	滑車形	(7.8)	1.8	0.35	(5.68)			III	113	92
128	B区	III C06 b 堤防	1~3層	滑車形	(6.0)	1.5	0.7	(4.09)			III	113	92
129	B区	III C06 b 堤防	1~3層	滑車形	(3.0)	1.1	0.55	(3.97)			III	113	92
130	B区	III C06 b 堤防	1~3層	滑車形	(7.2)	2.1	0.6	(5.27)			III	113	92
131	B区	III C17 c 堤防	3層	滑車形	(5.3)	1.6	0.5	(2.76)			III	113	92
132	B区	III C17 c 堤防	7層	滑車形	(3.6)	1.7	0.5	(2.81)			III	113	92
133	B区	III C17 c 堤防	9~11層	滑車形	(9.0)	2.1	0.7	(7.63)			III	113	92
134	B区	III C17 c 堤防	9~11層	滑車形	(8.6)	2.4	0.6	(9.15)			III	113	92
135	B区	III C17 c 堤防	9~11層	滑車形	(8.2)	1.8	0.5	(4.17)			III	113	92
136	B区	III C17 c 堤防	12層	滑車形	(5.2)	1.6	0.5	(2.88)			III	113	92
137	B区	III C17 c 堤防	12層	滑車形	(8.6)	2.0	0.6	(5.92)			III	113	92
138	B区	III C17 c 堤防	12層	滑車形	(8.2)	1.7	0.4	(1.41)			III	113	92
139	B区	III C18 c 堤防	1~4層	滑車形	(7.3)	2.0	0.5	(5.87)			III	113	92
140	B区	III C27 c 堤防	3層	滑車形	(9.4)	1.9	0.3	(3.53)			III	113	92
141	B区	III C27 c 堤防	3層	滑車形	(8.0)	0.9	0.4	(0.96)	朱捺		III	113	92
142	B区	III C28 c 堤防	11層	滑車形	(8.4)	1.7	0.5	(2.27)			III	113	92
143	B区	III C28 c 堤防	11層	滑車形	(7.5)	1.8	0.5	(4.15)			III	113	92
144	B区	III C28 c 堤防	12層	滑車形	(8.0)	1.7	0.5	(3.45)			III	113	92
145	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	—	1.6	0.7	(1.88)			III	113	92
146	B区	II C97 e 堤防	4~6層	滑車形	(8.2)	1.8	0.5	(8.33)			III	113	93
147	B区	II C15 c 堤防	1~2層	滑車形	(9.2)	1.6	0.4	(7.79)			III	114	93
148	B区	III C29 c 堤防	3層	滑車形	(5.6)	1.7	0.5	(3.97)	e 堤防からの流れ込み		III	114	93
149	C区	III D98	5層	滑車形	(8.0)	1.8	0.5	(7.25)			III	114	93
150	B区	III C19 d 堤防	6~8層	螺旋耳鉗	(5.4)	1.6	1.1	(10.89)	滑車形か?		IV	114	93
151	B区	II C85 c 堤防	4層	螺旋耳鉗	3.5	1.2	0.8	11.27			IV	114	93
152	B区	III C06 b 堤防	3~7層	螺旋耳鉗	4.0	1.4	0.9	19.80	朱捺、e 堤防からの流れ込み		IV	114	93
153	C区	IV E02	5層	螺旋耳鉗	(6.4)	1.4	1.2	(16.13)			IV	114	93
154	B区	III C15 b 堤防	1~3層	螺旋耳鉗	(3.2)	1.2		(10.72)			IV	114	93

環状土製品

摘要 NO.	調査区	出土地点	層位	径 (cm)	飛入幅 (cm)	最大幅 (cm)	重量 (g)	備考	図版	写真
155	B区	II C06 b 堤防	1~3層	(7.7)	1.8	0.75	(9.36)		114	93
156	B区	II C06 b 堤防	1~2層	(6.8)	1.7	0.8	(10.44)		114	93

土製筒輪

摘要 NO.	調査区	出土地点	層位	径 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考	図版	写真
157	B区	II C03 a 堤防	11層	—	7.1	1.80	(123.1)		114	93

第22表 土製品観察表④

土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
158	B区	III C27 c 堤防	12・13層	小玉	0.19	0.17	0.04	0.01	後期	1mm目跡で検出	114	93
159	B区	III C27 c 堤防	12・13層	小玉	0.32	0.36	0.13	0.03	後期	朱塗り、2mm目跡で検出	114	93
160	B区	III C28 c 堤防	11・12層	小玉	0.35	0.37	0.13	0.01	後期	朱塗り、2mm目跡で検出	114	93
161	B区	III C28 c 堤防	12・13層	小玉	0.36	0.32	0.14	0.04	後期	朱塗り、2mm目跡で検出	114	93
162	B区	II C77 e 堤防	3層	土玉	0.9	0.8	0.5	0.38	晩原中期		114	93
163	B区	II C95 e 堤防	3層	土玉	2.2	2.2	1.3	(4.39)	晩原中期		114	93
164	B区	III C17 c 堤防	7・10層	土玉	1.1	1.2	1.1	1.83	晩原中期		114	93
165	B区	II C54 e 堤防	7層	勾玉	3.1	0.8	0.9	3.02	後期中～後原		114	93
166	B区	III C17 c 堤防	8層	勾玉	2.0	1.0	1.0	2.12	晩原中期～中晩原		114	93
167	B区	III C04 b 堤防	1層	半玉	3.2	—	0.9	(7.43)	晩原中期	e 堤防からの誤入か？	114	93
168	B区	III C17 c 堤防	12・13層	半玉	4.0	2.7	0.9	9.92	後期		114	93
169	B区	III C04 b 堤防	6・7層	半玉	3.5	3.5	1.6	14.25	後期		114	93
170	B区	III C04 b 堤防	6・7層	管玉	3.5	3.0	3.0	34.94	後期		115	93

獣形土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	高さ(cm)	幅(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
171	B区	II C94 c 堤防	7層	4.2	4.8	(28.93)	後期		115	94
172	B区	II C95 e 堤防	7層	4.1	(3.6)	(15.49)	後期		115	94
173	B区	III C05 b 堤防	6～8層	(2.3)	2.8	(7.98)	後期		115	94
174	B区	III C17 c 堤防	12～16層	3.0	2.8	8.88	後期		115	94
175	B区	III C19 d 堤防	6～8層	(5.7)	(7.4)	(45.10)	後期		115	94
176	B区	III C28 c 堤防	12～13層	(3.1)	(3.3)	(12.80)	後期		115	94

動物形土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	時期	備考	図版	写図
177	D区	IV F81	11層	動物型土製品	3.7	2.1	2.5	後期	イノシシ	115	94
178	B区	III C28 c 堤防	4～10層	動物型土製品	(7.1)	7.5	2.8	後・後期	カヌ、頭部彫刻	115	94

スタンプ形土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
179	B区	III C15 b 堤防	3層	スタンプ型土製品	2.3	4.4	1.8	12.9	後期		115	94
180	不明			スタンプ型土製品	—	—	—	(4.3)			115	94

分鏡形土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
181	C区	III D46付近	不明	分鏡型土製品	5.9	34	47.8	後期			115	94

石造形土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
182	B区	III C40 d 堤防	6～8層	石造形土製品	(12.7)	(14.4)	3.2	(890.0)	後期		116	95
183	B区	II C85 e 堤防	7層	石造形土製品	—	—	2.0	(155.6)	後期		116	95

その他の土製品

掲載NO	調査区	出土地点	層位	種類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	時期	備考	図版	写図
184	B区	III C03 a 堤防	5層	冠状土製品	3.6	4.4	1.8	28.2	後期		116	95
185	B区	II C64 e 堤防	7層	円形土製品	5.6	5.3	1.5	54.9	後期		116	95
186	B区	II C85 e 堤防	7層	皿状土製品?	—	—	1.3	(15.1)	後期		116	95
187	C区	II D66		十字?	—	—	—	—			116	95
188	B区	II C65 e 堤防	7層	脚状土製品	—	—	—	(30.2)		土偶の脚?	116	95
189	B区	II D63 e 堤防	3層	脚状土製品	—	—	—	(25.2)	晩期		116	95
190	B区	III C17 c 堤防	12・13層	不明	—	—	—	—				95
191	C区	IV E32	5層	—	—	—	—	—				95
192	B区	III C17 c 堤防	12層	—	—	—	—	—	後期			95

第23表 土製品觀察表⑤

円盤形土製品

揭露 NO	南東点	層位	文様	直径 (cm)	横径 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	時期	備考	図版	写真
193	Ⅳ E.02 P.1	細土		3.9	4.3	0.8	14.49	後期	外縁打欠	117	96
194	Ⅲ C.40 e 堤防	6~8層	網目状繩文	4.8	3.9	1.1	(21.16)	後期	外縁打欠	117	96
195	Ⅲ C.40 e 堤防	3~4層	沈繩文、RL	2.5	2.2	0.6	4.74	後期	外縁研磨	117	96
196	Ⅲ C.40 d 堤防	6~8層	沈繩文	4.0	3.5	0.6	12.99	後期	外縁研磨	117	96
197	Ⅲ C.43 c 堤防	7層	沈繩文	3.2	3.2	0.6	8.39	後期	外縁打欠	117	96
198	Ⅲ C.43 c 堤防	7層	LR	3.8	3.7	0.8	12.41	後期	外縁打欠	117	96
199	Ⅲ C.43 e 堤防	7層	LR	4.4	3.7	0.7	12.15	後期	外縁研磨	117	96
200	Ⅲ C.43 e 堤防	7層	RL	4.3	4.0	0.8	(16.23)	後期	外縁打欠	117	96
201	Ⅲ C.44 e 堤防	7層		3.6	3.5	0.8	12.60	後期	外縁研磨	117	96
202	Ⅲ C.54 e 堤防	7層	木葉痕	4.1	3.2	1.2	(21.14)	後期	外縁研磨、底部	117	96
203	Ⅲ C.56 e 堤防	7層	RL	4.7	4.9	0.6	22.53	後期	外縁打欠	117	96
204	Ⅲ C.58 e 堤防	7層		3.1	3.0	0.8	(8.92)	後期	外縁研磨	117	96
205	Ⅲ C.58 e 堤防	7層		4.8	4.5	0.8	21.39	後期	外縁打欠、底部	117	96
206	Ⅲ C.61 e 堤防	7層	RL	4.9	4.2	0.6	18.66	後期	外縁打欠	117	96
207	Ⅲ C.64 e 堤防	7層	沈繩文、LR	3.5	3.5	0.8	11.48	後期	外縁研磨	117	96
208	Ⅲ C.64 e 堤防	7層	RL	2.7	3.2	0.6	7.05	後期	外縁研磨	117	96
209	Ⅲ C.64 e 堤防	7層	RL	3.0	3.1	0.7	8.32	後期	外縁研磨	117	96
210	Ⅲ C.64 e 堤防	7層		4.5	2.6	0.8	(13.53)	後期	外縁研磨、一部欠損	117	96
211	Ⅲ C.64 e 堤防	7層	網目状繩文	4.3	4.6	1.1	29.29	後期	外縁打欠	117	96
212	Ⅲ C.64 e 堤防	7層		3.2	3.0	0.6	5.80	後期	外縁研磨	117	96
213	Ⅲ C.75 e 堤防	4~6層		3.1	2.8	0.4	5.13	後期	外縁打欠	117	96
214	Ⅲ C.84 c 塵防	7層		2.4	2.7	1.0	8.37	後期	外縁研磨	117	96
215	Ⅲ C.84 e 堤防	7層		2.8	2.7	0.6	4.62	後期	外縁打欠	117	96
216	Ⅲ C.84 e 堤防	7層	沈繩文	3.5	3.3	0.7	10.7	後期	外縁研磨	117	96
217	Ⅲ C.85 c 塘防	4~6層	RL	5.1	5.5	0.7	22.75	後期	外縁打欠	117	96
218	Ⅲ C.85 e 塘防	7層	LR	2.5	3.2	0.6	6.54	後期	外縁打欠	117	96
219	Ⅲ C.85 e 塘防	7層	LR	3.7	3.9	0.7	13.60	後期	外縁研磨、底部	117	96
220	Ⅲ C.85 c 塘防	7層		3.5	3.4	1.1	19.37	後期	外縁打欠	117	96
221	Ⅲ C.86 e 堤防	4~6層	輪付	3.0	3.2	1.1	6.86	後期	外縁研磨、口部朱色調整	117	96
222	Ⅲ C.86 e 堤防	4~7層		3.9	3.5	0.7	15.11	後期	外縁研磨	117	96
223	Ⅲ C.87 o 堤防	4~6層		2.8	2.7	0.4	3.86	後期	外縁研磨	118	96
224	Ⅲ C.93 e 堤防	7~8層	LR	4.4	5.2	0.7	21.57	後期	外縁研磨	118	96
225	Ⅲ C.94 e 堤防	7~8層	RL、沈繩文	4.7	4.6	0.8	19.63	後期	外縁打欠	118	96
226	Ⅲ C.94 c 堤防	7~8層	LR	2.8	3.0	0.7	8.19	後期	外縁研磨	118	96
227	Ⅲ C.94 e 堤防	7~8層	沈繩文	3.4	3.7	0.8	12.69	後期	外縁研磨	118	96
228	Ⅲ C.94 e 堤防	7~8層		4.6	4.8	0.8	22.37	後期	外縁打欠	118	96
229	Ⅲ C.94 e 堤防	7~8層		2.8	2.9	1.6	14.95	後期	外縁打欠、底部	118	96
230	Ⅲ C.95 e 堤防	7~8層	LR	4.0	3.7	0.6	15.09	後期	外縁打欠	118	96
231	Ⅲ C.95 e 堤防	7~8層		3.1	3.0	0.8	10.13	後期	外縁打欠	118	96
232	Ⅲ C.95 e 堤防	7~8層	LR	4.1	3.9	0.8	16.30	後期	外縁打欠	118	96
233	Ⅲ C.95 e 塵防	7~8層		4.6	4.8	0.9	23.93	後期	外縁研磨、底部	118	96
234	Ⅲ C.96 e 堤防	7~8層		3.7	3.5	0.6	9.33	後期	外縁打欠	118	96
235	Ⅲ C.97 e 堤防	7~8層	LR	5.5	5.1	0.4	15.89	後期	外縁打欠	118	97
236	Ⅲ C.97 e 堤防	7~8層	網目状繩文	3.0	3.2	0.5	7.05	後期	外縁打欠	118	97
237	Ⅲ C.97 e 堤防	7~8層	RL	3.9	3.4	0.6	12.51	後期	外縁打欠	118	97
238	Ⅲ C.98 e 堤防	3~4層	RL	3.8	3.6	0.6	11.88	晚期	外縁研磨	118	97
239	Ⅲ C.98 e 堤防	3~4層		7.4	7.8	0.9	56.52	晚期	外縁打欠	118	97
240	Ⅲ C.99 c 堤防	3層	LR	3.1	3.1	0.6	6.20	晚期	外縁打欠	118	97
241	Ⅲ C.03 a 堤防	9層	沈繩文	3.1	2.9	0.8	9.80	後期	外縁研磨	118	97
242	Ⅲ C.03 a 堤防	13層		3.5	3.3	0.6	10.05	後期	外縁研磨	118	97
243	Ⅲ C.04 a 堤防	3層		3.9	3.8	0.7	15.49	後期	外縁打欠	118	97
244	Ⅲ C.04 b 堤防	3層		4.3	4.5	0.8	16.06	後期	外縁打欠	118	97
245	Ⅲ C.04 b 堤防	3層	RL	2.8	2.9	0.6	6.41	後期	外縁打欠	118	97
246	Ⅲ C.04 b 堤防	3層	LR	2.8	3.4	0.6	8.43	後期	外縁打欠	118	97
247	Ⅲ C.04 b 堤防	5層		4.5	4.1	0.7	17.15	後期	外縁打欠	118	97
248	Ⅲ C.04 b 堤防	5層		5.9	5.8	0.7	34.59	後期	外縁打欠、底部	118	97
249	Ⅲ C.04 b 堤防	1~3層	LR	3.4	3.3	0.7	8.26	後期	外縁打欠	118	97

第24表 土製品觀察表⑥

内蒙粘土製品

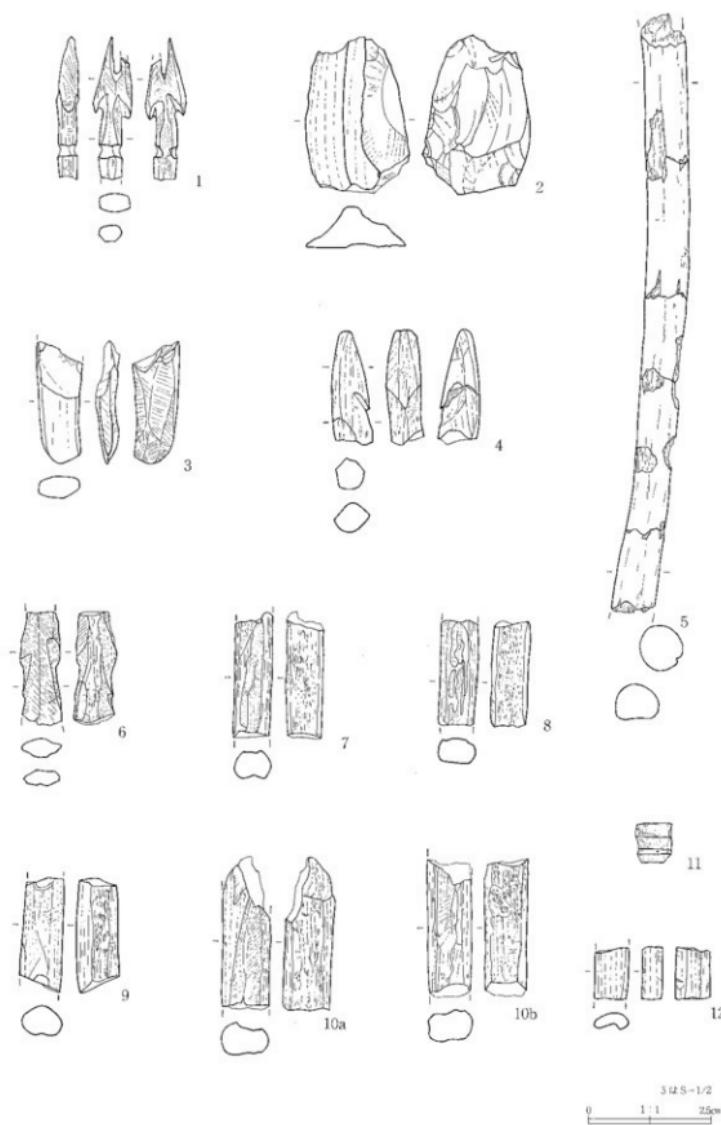
掲載 NO	出土地点	肩位	文様	幅径 (cm)	横径 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	時期	備考	回版	写図
250	III C04 b 堀防	1~3層	RL	5.2	5.5	0.7	26.48	後期	外縁打欠	118	97
251	III C04 b 堀防	1~2層		4.0	3.8	1.1	22.95	後期	外縁研磨、底部	118	97
252	III C04 b 堀防	2~3層	LR	3.1	3.2	0.5	7.12	後期	外縁打欠	119	97
253	III C04 b 堀防	6層	RL	2.9	2.9	0.8	9.03	後期	外縁打欠	119	97
254	III C04 b 堀防	6~7層	沈縞文	3.7	3.3	0.9	13.44	後期	外縁研磨	119	97
255	III C05 b 堀防	3層	LR	2.9	3.1	0.7	10.19	後期	外縁研磨	119	97
256	III C05 b 堀防	2~3層	LR	3.1	3.1	0.6	7.41	後期	外縁研磨	119	97
257	III C06 b 堀防	2~3層	木彫痕	4.2	4.2	0.7	11.21	後期	外縁打欠、底部	119	97
258	III C06 b 堀防	1~2層	沈縞文、LR	4.0	3.3	0.7	8.99		外縁研磨	119	97
259	III C14 b 堀防	2~3層		2.3	2.1	0.5	3.40	後期	外縁打欠	119	97
260	III C15 b 堀防	7層		4.1	4.0	0.8	20.63	後期	外縁研磨	119	97
261	III C16 c 堀防	12~15層	LR	4.9	5.1	0.8	29.49	後期	外縁研磨	119	97
262	III C16 c 堀防	13層	LR	5.0	4.7	1.0	35.24	後期	外縁研磨	119	97
263	III C16 c 堀防	13層		4.2	4.1	0.8	20.83	後期	外縁打欠	119	97
264	III C17 c 堀防	12層		4.1	4.0	0.6	12.76	後期	外縁打欠	119	97
265	III C27 c 堀防	15層	LR	4.6	5.0	0.7	22.20	後期	外縁研磨?	119	97
266	III C28 c 堀防	11~12層	沈縞文	2.4	2.5	0.8	7.26	後期	外縁打欠	119	97
267	III C28 c 堀防	14層	沈縞文	4.9	5.1	0.7	26.26	後期	外縁研磨	119	97
268	III C28 c 堀防	14層	沈縞文	4.0	3.8	1.0	20.09	後期	外縁打欠	119	97
269	III C28 c 堀防	9層	沈縞文	4.1	4.4	0.8	19.88	後期	外縁研磨	119	97
270	III C29 d 堀防	6~8層	沈縞文、LR	3.7	4.0	0.8	16.11	後期	外縁研磨	119	97
271	III C29 d 堀防	6~8層	RL	3.1	3.4	0.8	9.27	後期	外縁打欠	119	97
272	III C29 d 堀防	9層		4.6	5.0	0.9	23.75	後期	外縁研磨	119	98
273	III C29 d 堀防	9層		4.4	4.2	0.9	20.66	後期	外縁打欠	119	98
274	III C29 d 堀防	9層		5.4	5.2	0.9	33.54	後期	外縁打欠	119	98
275	III C40 d 堀防	6~8層		4.2	4.2	0.6	17.90	後期	外縁打欠	119	98
276	III C40 d 堀防	6~8層		4.2	4.3	0.8	18.47	後期	外縁打欠	119	98
277	III C40 d 堀防	6~8層		4.5	4.3	0.8	(19.42)	後期	外縁打欠	119	98
278	IV E33	匂屋下部	LR	4.7	4.7	0.8	19.91	後期	外縁打欠	119	98
279	III C17 c 堀防	7~9層		3.0	3.6	0.5	6.88	後期	外縁打欠	119	98
280	III C27 c 堀防	1層		2.2	2.2	0.7	3.58		外縁研磨	119	98
281	III C27 c 堀防	1~3層		3.0	3.5	0.3	5.69	後期	外縁打欠	120	98
282	III C27 c 堀防	13層		3.2	3.4	0.8	11.93	後期	外縁打欠	120	98
283	III C97 e 堀防	3層		3.3	2.2	0.5	3.32	晩期	外縁打欠	120	98
284	II C97 e 堀防	3層	羽状繩文	3.7	2.0	0.5	(4.26)	晩期	外縁研磨、有孔、一部欠損	120	98
285	III C08 e 堀防	4~7層	羽状繩文	2.8	3.1	0.4	4.55	後期	外縁研磨	120	98
286	III C15 b 堀防	3層		2.9	3.1	0.8	9.25	後期	外縁研磨	120	98
287	III C15 b 堀防	2~3層		4.5	4.4	0.9	24.37	後期	外縁研磨	120	98
288	III C19 d 堀防	3層		4.3	5.4	0.9	30.30	後期	外縁研磨	120	98
289	III C27 c 堀防	12~13層		4.5	4.1	1.1	21.21	後期	外縁研磨	120	98
290	III C28 c 堀防	14層	沈縞文	6.2	6.2	0.8	26.94	後期	外縁研磨	120	98
291	III C29 d 堀防	9層		5.7	5.2	1.3	50.59	後期	外縁研磨	120	98
292	III C29 d 堀防	9層	沈縞文	5.7	4.7	0.6	26.70	後期	外縁打欠	120	98
293	III C29 d 堀防	6~8層		3.9	3.9	0.8	17.15	後期	外縁研磨	120	98
294	III C29 e 堀防	3層		4.1	4.2	1.0	19.84	晩期	外縁研磨	120	98
295	III C29 e 堀防	3層		4.3	4.0	0.8	19.33	晩期	外縁研磨	120	98
296	III C29 d 堀防	6~8層		5.4	5.2	0.9	36.46	後期	外縁研磨	120	98
297	III C39 d 堀防	6~8層		4.7	4.6	0.9	24.84	後期	外縁研磨	120	98
298	III C39 d 堀防	6~8層		4.5	4.7	0.8	20.06	後期	外縁研磨	120	98
299	III C39 d 堀防	6~8層	沈縞文	5.0	5.1	0.9	28.08	後期	外縁打欠	120	98
300	III C40 e 堀防	3層		3.4	3.6	0.8	12.63	晩期	外縁打欠	120	98
301	III C40 e 堀防	3層		4.8	4.6	0.6	21.25	晩期	外縁打欠	120	98
302	III C40 d 堀防	6~8層	RL	4.9	3.3	1.0	(20.26)	後期	外縁研磨、一部欠損	120	98
303	III C40 e 堀防	3層		4.2	4.6	0.7	16.31	晩期	外縁打欠	120	98

3 骨 角 器 (第121・122図、写真図版99)

今回の調査で出土した骨片は大コンテナで2箱分である。このうち加工痕・擦痕が認められるのは26点である。原材料は鹿角を使用したものが半数の13点で他に鳥骨・イノシシの下顎骨・犬歯・クジラの肋骨などを原材として利用している。1はいわゆる根抜き状を呈する尖頭器で先端部の片側と接合部は欠損している。2・3はイノシシの下顎骨製で2は原料、3は同じくイノシシの下顎骨を使用して作られた装身具である。5はクジラの骨を原材に使用した棒状の骨角器で用途は祭祀に使用された指揮棒や槍先としての使用が考えられるが詳細は不明である。4・6はヤス状の形態をした鹿角製のもので4は擦痕が顕著に見られる未製品、6はヤスの先端部分であるが、かえしの部分が自然に剥落したものの可能性がある。7~10は鹿角製の棒状角器である。11~21は加工痕や擦痕などの人的要因が加わったものであるが、器種・用途を判別することが困難なものである。またサメの歯が8点出土している。いずれも歯根部を欠き、遊離歯のみであるため、骨角器として使用されたかどうかは不明であるが1点については穿孔を施したような痕跡がある。サメの種類はアオザメ7点、ホホジロザメ1点である。

4 自 然 遺 物

調査B区c堤防後背面の縄文時代晩期の遺物包含層第4層~第7層からオニグルミが121.06g、また炭化材は分析・鑑定を依頼したもの以外にもB区の自然堤防後背面を中心に多量出土した。他にB区全体から動物遺存体として鳥獸魚骨片が大コンテナで2箱分出土した。獸骨ではニホンジカ・イノシシ、魚骨では特に淡水域に生息する魚種の椎骨が多く、出土点数・出土部位の90%以上を占める。



第121図 骨角器 1



第122図 骨角器2

0 1:1 25cm

第25表 骨角器観察表

骨角器、および未製品

器種 NO	出土地点	層位	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	備考	国版	写真
1	III C28 c 堤防	6~8層	粗込み	2.9	0.8	0.4	鹿角製、新ではなく、尖頭器的な使用法か?	121	99
2	III C28 c 堤防	12~13層	—	3.1	2.1	0.8	イノシシ、下顎骨、原料として使用されたもの	121	99
3	III C28 c 堤防	12~13層	腋舟骨	2.5	0.8	0.4	イノシシ、下顎骨大洞	121	99
4	III C28 c 堤防	11~12層	ヤス?	2.4	0.7	0.6	鹿角製、頭蓋か?	121	99
5	III C28 c 堤防	14層	儀礼用道具?	24.4	1.8	1.8	クジラ、複数枚or複数か?	121	99
6	III C18 c 堤防	4~10層	ヤス?	2.3	0.8	0.4	鹿角製、擦痕あり	121	99
7	II C93 b 堤防	1~2層	棒状角器	2.5	0.8	0.5	鹿角製	121	99
8	II C95 e 堤防	7層	棒状角器	2.1	0.8	0.5	鹿角製	121	99
9	III C17 c 堤防	7~10層	棒状角器	2.4	0.8	0.6	鹿角製	121	99
10a	III C28 c 堤防	12~13層	棒状角器?	3.1	1.0	0.6	鹿角製、2点同一個体	121	99
10b	III C28 c 堤防	12~13層	棒状角器?	2.8	0.9	0.6	鹿角製、2点同一個体	121	99
11	III C20 e 堤防	3層	—	0.8	0.7	—	鹿角製	121	99
12	II C29 d 堤防	6~8層	—	1.1	0.7	0.2	種不明(四肢骨?)、骨角器?	121	99
13	II C84 e 堤防	7層	—	2.6	0.8	0.6	骨角器?	122	99
14	II C95 c 堤防	7層	—	1.5	0.6	0.4	骨角器? 刻線? カットマーク?	122	99
15	II C99 e 堤防	3層	—	2.3	1.1	0.2	鳥骨?、加工痕あり	122	99
16	II D92 e 堤防	3層	—	1.6	0.5	0.3	鹿角製? 擦痕あり	122	99
17	III C15 b 堤防	7層	—	0.9	0.6	0.4	擦痕顕著	122	99
18	III C15 b 堤防	7層	—	2.0	0.8	0.4	鹿角、加工痕あり	122	99
19	III C18 d 堤防	6~8層	—	2.8	1.5	0.5	タカ科の一種、米脂骨、石器によるキズあり	122	36
20	III C18 d 堤防	6~8層	—	3.0	1.0	0.9	鹿角、加工痕あり	122	99
21	III C28 c 堤防	—	—	4.8	0.7	0.2	加工痕の見られる原材	122	99
22	III C18 d 堤防	6~8層	—	2.8	1.5	1.0	鹿角、加工痕あり	122	99
23	III C18 d 堤防	6~8層	—	1.9	1.3	0.8	鹿角製	122	99
24	III D01 e 堤防	2層	—	1.9	0.5	0.3	鹿角製?、先端部付近に擦痕あり	122	99
25	III D01 e 堤防	2層	—	1.7	0.5	0.4	種不明、加工痕あり	122	99
26	III D82 e 堤防	2層	—	1.5	0.5	0.2	擦痕あり?	122	99

5 石器・石製品

(1) 石器・石製品の記載

本遺跡の縄文時代調査は平成13年度から平成15年度にかけて行われた。平成15年9月には縄文時代包含層の盛土保存が決定し、縄文時代調査を終了した。調査途上での計画変更となつたため、各調査区、各堤防の調査は範囲、調査面積、トレンチ幅など…様でない。遺物掲載順は区、堤防、器種、層位ごととした。

a) 図版注記 実測図上の注記を各石器について下記の記載を3段に分けて行っている。

上段：石器図版No。「Stone」略号としての「S」を付した番号。S1～S645まで付している。

中段：地区や堤防名と年度ごとの層位名。例) b 堤防4層出土→b-4層

下段：石材略号

b) 出土層位 記載は調査が広範囲に渡ったことから下記のように地区ごと、堤防ごとで基本土層を設定した。

B区：堤防別に個別に設定。(全調査年度対応)

C区：12～14年度出土遺物はIVEグリッドの14年度基本土層で記載。

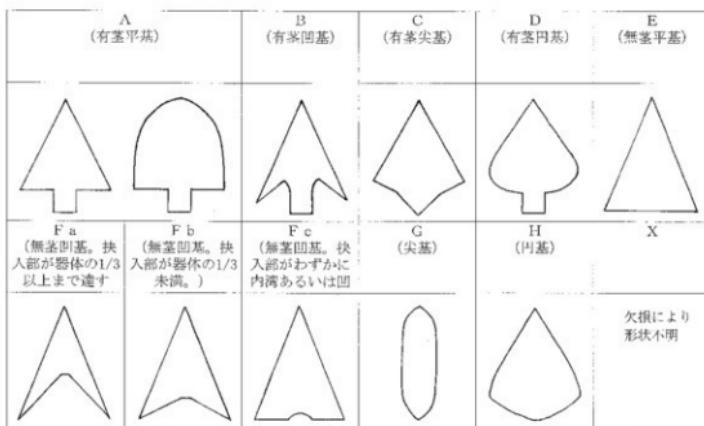
15年度出土遺物は15年度1号トレンチを基本土層として記載。

D区：14年度基本土層。

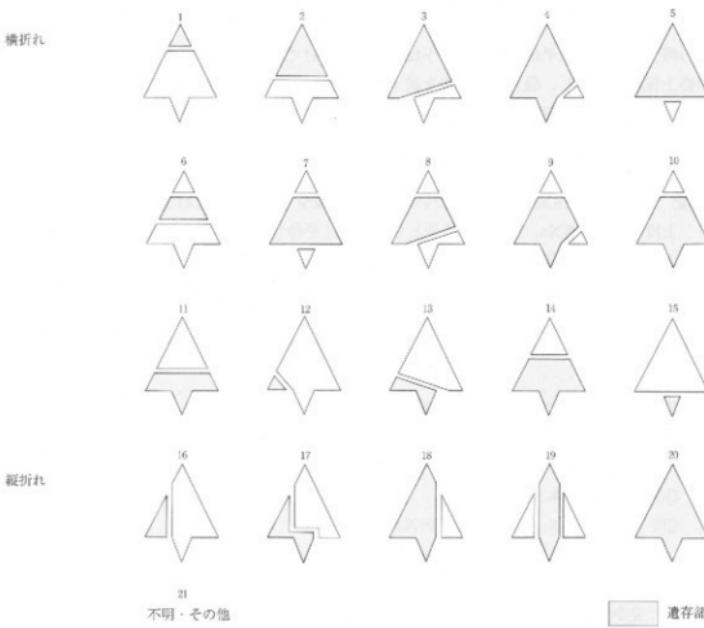
E区：15年度基本土層。(15年度のみ調査)

c) 石器・石製品の分類

石鏃 完形長(破損品は推定完形長)が4.5cm未満の尖頭状石器。平面形態により9分類、遺存形態により21分類した。



第123図 石鏃平面類型



第124図 石鏃遺存類型

尖頭器 完形長（破損品は推定完形長）が4.5cm以上の尖頭状石器。

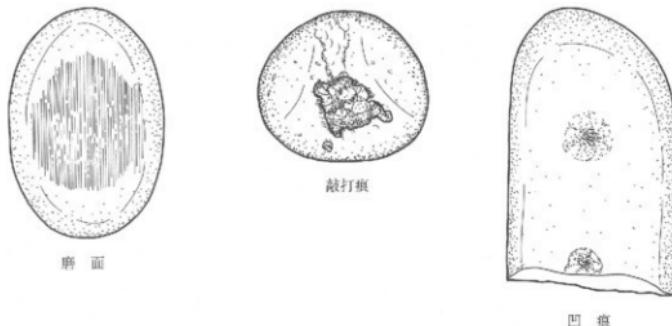
石錐 器体端部に錐部を有するもの。形態により4分類した。

1. 摘み部と長い錐部で構成。
2. 剥片の一端を加工して錐部を作り出したもの。錐部は短い。
3. 棒状で明確な摘み部のないもの。
4. 技術的な観点から錐と判断できるが、欠損により形状が不明なもの。

石匙	摘み部を持つスクレイパー。3分類している。
1.	摘み部と器体長軸が平行（横型）
2.	摘み部と器体長軸が直行（縦型）
3.	摘み部と器体長軸が斜行（斜行型）
搔器	素材端部あるいは側縁部に連続的な調整によって刃部を作出したもののうち直角に近い刃部角を有するもの。大半は素材端部に刃部をもつ。
削器	素材端部あるいは側縁部に連続的な調整によって刃部を作出したもののうち銳角な刃部角を有するもの。
楔形石器	両極剥離痕のある石器のうち剥離面がネガ面で構成されているもの。石錐製作に係わる素材供給を行った石核と捉える。ポジ面を含むものはいわゆる両極剥片と捉え、楔形石器の範疇には入れない。
磨製石斧	磨面を有する斧形石器。
打製石斧	打撃のみで加工された斧形石器。
礫器	礫の一端を打ち欠いて刃部を作出した石器。
磨石A	磨面+凹み痕+敲打痕を有する石器。
磨石B	磨面+敲打痕を有する石器。
磨石C	磨面+凹み痕を有する石器。
磨石D	磨面を有する石器。
凹石A	凹み痕+敲打痕を有する石器。
凹石B	凹み痕を有する石器。
敲石	敲打痕を有する石器。
石皿	器体中央の盛んだ皿状の石器。
台石	石器製作時に台とした石。線状の亀裂が多数見られる。
石錐	素材周縁の両端部に、対になる窪み部を有する石器。
石棒A	研磨処理がなされ、側縁が左右対称に成形されているもの。
石棒B	研磨途上、ないしは研磨される以前の粗削り段階のもので、未製品と考えられるもの。
石劍	両刃の石製品。
石刀	片刃の石製品。
円盤形石器	周縁を打撃によって加工し、円形に成形したもの。表・裏面に磨面を有するものがある。
有孔石器	サイズに関係なく貫通した穴の見られるもの。玉類もこれに含めた。
岩版	板状の素材に線刻を施し、文様を描出するもの。
その他の石製品	上記の範疇からもれる石製品。
異形石器	石製利器とは異なる特殊形態の石器。

d) 石材略号

頁岩 : Sh、メノウ : Ag、珪質頁岩 : S.Sh、黒曜石 : Ob、安山岩 : An、デイサイト : Da、
 凝灰岩 : Tuff、閃綠岩 : Dio、ひん岩 : Pro、斑レイ岩 : Gab、軽石 : Pu、砂岩 : S.S、
 砂岩 : Cong、チャート : Ch、蛇紋岩 : Serp、結晶片岩 : Sch、ホルンフェルス : Ho



第125図 磨石類の痕跡表現

第26表 石器出土数・固化数

器種	出土数	固化数	固化数比率	主要石材
石鑿	1302	221	16.97%	頁岩、黒曜石
尖頭器	39	22	56.41%	頁岩
石錐	191	95	49.74%	頁岩、黒曜石
石斧	65	18	27.69%	頁岩
錘器	37	17	45.95%	頁岩
削器	96	34	35.42%	頁岩
楔形石器	322	15	4.66%	頁岩、黒曜石
剝片・碎片	21480	0	0.00%	頁岩、メノウ、黒曜石
石核	864	0	0.00%	頁岩、メノウ、黒曜石
研磨状石器	1	1	100.00%	頁岩
磨製石斧	46	45	97.83%	因縫岩、珪レイ岩、頁岩
打製石斧	4	3	75.00%	頁岩、ホルンフェルス
刀器	4	2	50.00%	
磨石A	8	7	87.50%	安山岩
磨石B	14	9	64.29%	安山岩
磨石C	21	17	80.95%	安山岩、凝灰岩
磨石D	15	11	73.33%	安山岩、凝灰岩、砂岩
凹石A	5	4	80.00%	凝灰岩
凹石B	26	15	57.69%	安山岩、凝灰岩、砂岩
敲石	20	10	50.00%	安山岩、凝灰岩、頁岩
石鑿	15	14	93.33%	安山岩、凝灰岩、砂岩
刮石	1	1	100.00%	砂岩
石錐	1	1	100.00%	頁岩
石錐A	17	11	64.71%	頁岩、ホルンフェルス
石錐B	7	7	100.00%	頁岩、ホルンフェルス
石劍	3	3	100.00%	頁岩
石刀	8	6	75.00%	頁岩、ホルンフェルス
円盤形石器	14	13	92.86%	ダイサイト、頁岩、砂岩
有孔石器	28	25	89.29%	頁岩、蛇紋岩、凝灰岩
岩盤	4	3	75.00%	凝灰岩
圓形石器	7	6	85.71%	頁岩
その他の石製品	9	9	100.00%	凝灰岩、頁岩
合計	24674	645	2.61%	

(2) 石器群の概要

同一層位から出土した土器群との対比関係から縄文時代後・晩期が主体と考えられる。石製利器、石製品、製作残滓からなり、24674点を回収した。その大半は製作残滓の剝片類と石核である。石製利器の中では石鏃の比率が圧倒的に高い。石器・石製品の利用石材は周辺地域で採取可能で、奥羽山脈系と北上山地系石材に分けられる。なかでも本遺跡の特徴とも言うべきは大量に出土した黒曜石製石器の存在で、石鏃製作に特化している。縄文時代包含層は遺跡全域に渡ると予想されるが、遺物分布密度は北上川に近い低位面のB・C区で高い。各地区とも部分的な調査に終始したため、本報文の出土石器に関するデータ提示が石器群總体を表してはいないため、地区や堤防ごとの対比は困難である。

石器は石鏃、尖頭器、石錐、石匙、搔器、削器、楔形石器、磨製石斧、打製石斧、礫器、磨石類、円石類、敲石、石皿、台石、石棒、石劍、石刀、円盤形石器、有孔石器、岩版、異形石器、その他の石製品が出土している。遺物の大半はB・C区で出土しているが、これはB・C区の遺物包含層を中心に調査したためである。

第27表 石器組成表

器種	B区					C区	D区	E区	他	合計
	a堤防	b堤防	c堤防	d堤防	e堤防					
石鏃	91	368	229	147	377	75	1	14		1302
尖頭器	7	6	8	1	10	6	1			39
石錐	6	59	37	10	67	10		1	1	191
石匙	1	14	10	2	28	1	8			65
搔器	1	3	13	8	8	1	2	1		37
削器	3	29	17	12	27	7		1		96
楔形石器	19	80	45	26	101	7	37		1	322
圓盾状石器						1				1
剝片・鉗片	686	6373	3762	1759	6886	55	1426	242	289	21480
石核	30	159	196	85	295	76	12	11		864
磨製石斧	2	7	14	2	14	4	3			46
打製石斧				1	1	1		1		4
礫器					3	1				4
磨石A	1	2			5					8
磨石B	4		4		6					14
磨石C	1	8	2	3	3	3		1		21
磨石D	2	2	1	2	4	3		1		15
凹石A		1	1	1	1	1				5
凹石B	1	1	5	3	10	1	2		3	26
敲石	1	1	2	2	6	6		2		20
石皿	1		2	2	4	5	1			15
台石	1									1
石鍤		1								1
石棒A		3	5	1	6	1			1	17
石棒B	1	1	1	2	1	1				7
石劍			1				2			3
石刀		1	3		2		2			8
円盤形石器	1	1	1	2	8	1				14
有孔石器		2	5	1	18	2				28
岩板			3		1					4
他の石製品			4	1	1	1	1	1		9
異形石器	1	2			4					7
合計	861	7124	4371	2073	7897	67	1683	261	332	5 24674

(3) B 区

a) 概要

B区は縄文時代包含層調査の最も進展した地区で、遺物出土量も多い。自然堤防を5ヶ所確認し、それぞれa~e堤防と呼称した。捨て場としての空間利用が想定されるが、堤防内に堅穴住居跡を検出していることから、住居の建て替えを繰り返しながら生活用具を住居周辺に廃棄した結果として遺物の集中部が形成された可能性も否定できない。北上川の氾濫による地形変化によって遺物の集中部が崩れることで見かけの遺物分布範囲を次第に広げ、現在に至るのかもしれない。平成14年度調査でe堤防から他の堤防への崩落土の流入を層位的に確認した。e堤防崩落層出土資料については遺物観察表の備考欄を参照されたい。

遺物は縄文時代中期～晩期までの土器・石器・骨角器や獸魚骨が出土している。石器は石鏃・尖頭器・石錐・スクレイパー類、楔形石器、二次加工のある剥片、微細剥離痕のある剥片、両極剥片、剥片、碎片、石核、礫器、打製石斧、磨製石斧、磨石類、凹石類、敲石、石皿、台石が出土している。製作残滓である剥片類・石核の出土量が主体である。石製品では円盤形石器、石棒、石刀、石剣、岩版、有孔石器、線刻碟などが出土している。特に調査土量の多いb・e堤防から多くの遺物を回収している。また、遺跡内へ搬入された多量の碟については40箱(40ℓコンテナ)分出土している。この中に石器の素材碟も含まれると考えられる。

第28表 石器重量別組成表

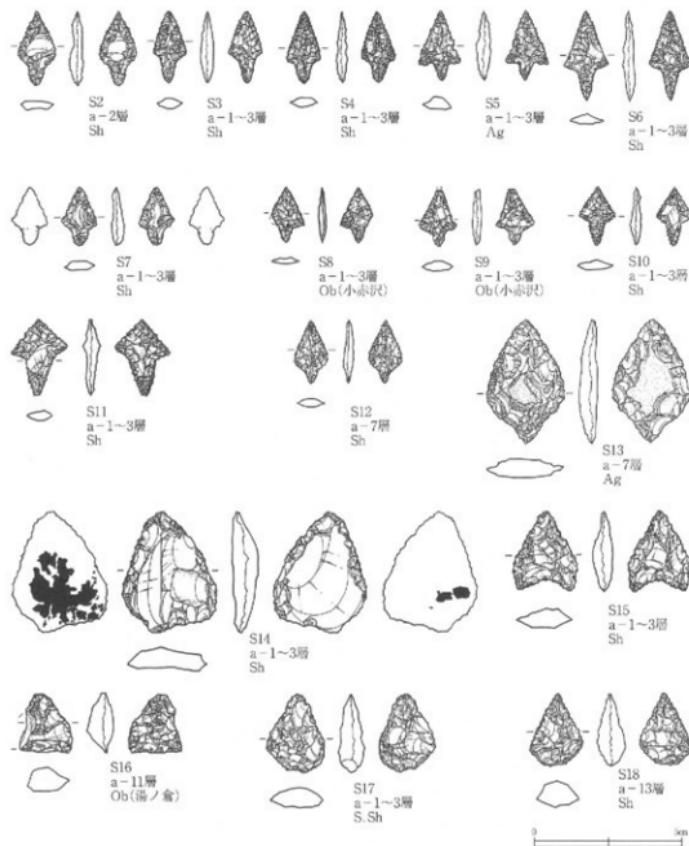
東京法(g) 少数第2位四捨五入

器種	B区						C区	D区	E区	他	合計
	a堤防	b堤防	c堤防	d堤防	e堤防	他					
石鏃	142.9	441.2	314.5	150.0	562.2		140.0	1.0	35.0		1786.7
尖頭器	73.0	49.1	51.4	94.7			92.4	57.6			418.1
石錐	17.9	122.8	112.1	27.9	154.8		34.9		3.0	0.4	473.7
石砲	8.5	148.0	99.2	10.8	446.3	45	91.2		48.0		856.5
猛器	9.1	49.7	217.7	159.0	84.4	25	29.9	17.3			569.5
削器	101.7	425.3	279.3	147.0	476.3		78.9		110.0		1618.4
楔形石器	195.4	443.2	392.8	182.4	860.5	67.6	390.9		43.9	31	2579.6
鋸齒状石器							20.9				20.9
剥片・碎片	3081.8	21020.6	17347.2	6734.5	27684.0	2640	2978.4	1716.2	1730.8	3.7	87581.2
石核	1578.0	5066.7	7964.3	2907.4	11839.8		4507.9	431.4	594.5		34890.0
磨製石斧	117.8	763.8	1414.8	520.1	1362.0		529.2	566.0			5263.7
打製石斧				475.6	372.5		947.5		160.7		1956.3
塊器					1438.0		238.9				1676.9
磨石A	287.5	1342.6			1743.4						3373.5
磨石B	1806.8		1679.6		2090.4						5576.8
磨石C	333.0	3010.6	3472.6	1184.8	1076.7		856.3		383.0		10317.0
磨石D	1199.1	1006.4	176.3	1620.3	1064.7		1916.0		59.0		7071.8
凹石A	37.0	225.0	372.0	358.0			252.0				1584.0
凹石B	43.5	239.8	1727.4	835.8	3116.6	3520	776.0		687.6		7778.7
戴石	394.5	918.9	204.6	411.3	2717.5		1865.8		173.6		6686.2
石皿	469.0		256.5	2546.8	2164.2		2779.6	6000.0			14216.1
舌石	235.8										235.8
石錐		114									114
石棒A		198.0	2290.4	9.0	6671	715.1				3530.0	7409.6
石棒B	274.3	312.0	1230.0	1620.0	1120.0		119.2				4675.4
石劍			51.0					204.2			255.2
石刀		69.3	212.4		863.5		290.8				1436.0
円盤形石器	44.6	98.9	18.7	72.2	398.2		34.9				667.4
有孔石器		7.7	153.7	19.4	360.2		20.3				561.2
岩版			27.6		7.5						35.1
他の石製品			137.4	38	9.2	16.4	7.2		2.9		176.9
異形石器	12	10			4.6						6.8
合計	10415.3	36123.7	40056.4	20124.6	63042.3	14221	21233.2	8779.4	4032.0	3537.2	211766.2

b) 出土遺物

石器 (第126~133図、写真図版100~103)

1212点出土し200点図示した。主に頁岩、黒曜石、メノウが利用されている。黒曜石は小円錐の状態で造跡内に搬入され両極打撃方式によって消費されているが、製作目的とする素材は石器製作に適した両極剥片であり、両極剥片を剥がされた残核が楔形石器や一部搔器と石錐に転用されている。した



第126図 B区石器1

がって黒曜石搬入目的は石鎚製作にあると言える。黒曜石製は総じて小形で薄く、原石や素材剥片のサイズ、製作技術の規制を受けたものと考えられる。これに対し、頁岩製は形態やサイズのバリエーションが豊富で遺跡内に搬入された頁岩原石も黒曜石に比べて大きい。破損品が大量に存在し、先端部に衝撃剝離痕を有する資料も豊富である。1212点の使用石材は頁岩783点、珪質頁岩11点、黒曜石305点、メノウ112点、凝灰岩1点で、頁岩が約65%、黒曜石が約25%を占める。

図化した200点は形状の理解できる完形・略完形の資料を主体とした。平面形態をA～H・X類に類型化し、これを観察表に記載している。B区内出土石鎚1212点はA類(有茎平基)308点、B類(有茎凹基)42点、C類(有茎尖基)237点、D類(有茎円基)108点、E類(無茎平基)82点、F類(無茎凹基)258点、G類(尖基)10点、H類(円基)89点、X類(欠損により不明)78点で構成され、類型別形態比率では有茎鎚A～Dの占める比率が約57%である。

<a堤防>（第126図、写真図版100：S2～S18）

91点出土し、17点図示した。91点は頁岩64点、珪質頁岩2点、黒曜石16点、メノウ9点で構成される。S8・S9は黒曜石産地同定で岩手県季石町の小赤沢産、S16は宮城県宮崎町の湯ノ倉産の結果を得た。S11は有茎だが茎部の幅が広い。S14はやや大形で表面にアスファルトが付着し、素材主要剥離面はバルブの高まりを残している。S17・S18は円基で基部側の厚みが顕著である。

<b堤防>（第127・128図、写真図版100・101：S1・S19～S68）

368点出土し、51点図示した。368点は頁岩227点、珪質頁岩4点、黒曜石102点、メノウ35点で構成される。3層と7層の出土量が多い。S1は1号竪穴住居跡出土遺物である。S24は円基で湯ノ倉産黒曜石を使用している。S28・S31は有茎石鎚で茎部・基部にアスファルトが付着している。S49・S50・S63など尖基や円基石鎚は厚みがある。

<c堤防>（第129・130図、写真図版101：S69～S98）

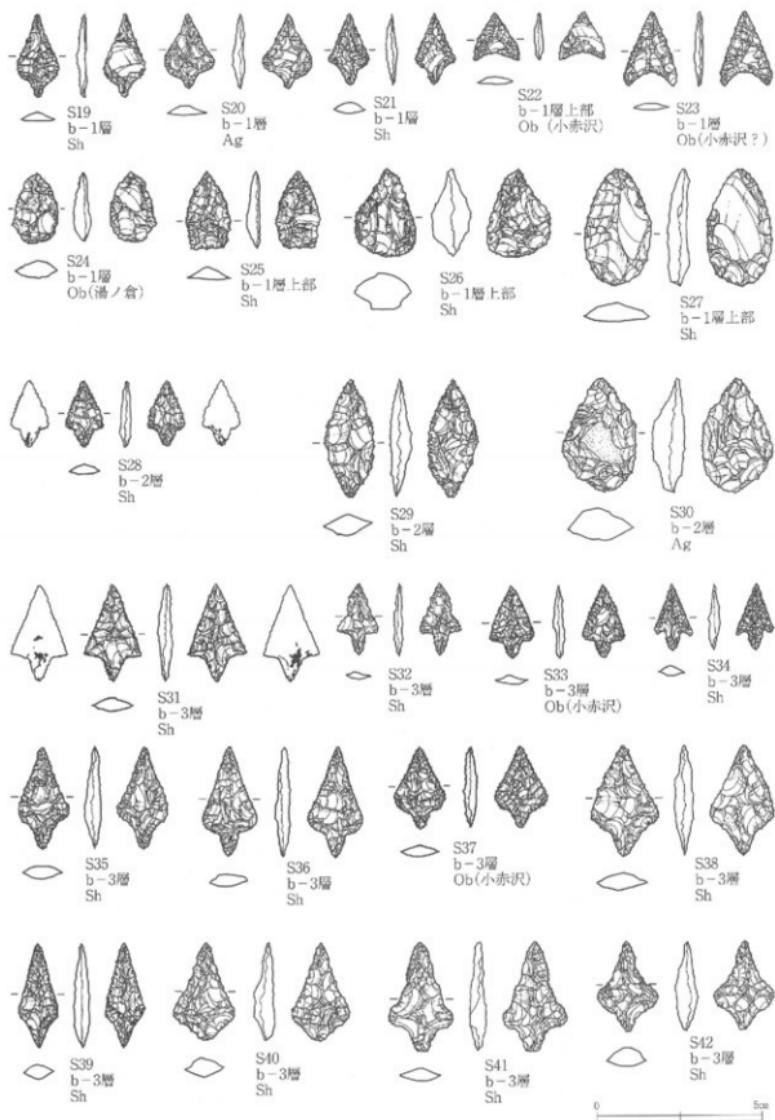
229点出土し、30点図示した。229点は頁岩163点、珪質頁岩1点、黒曜石42点、メノウ23点で構成される。形態はバリエーションが豊富で棒状(S71)、有茎尖基(S77・S93)、凹基(S94・S95)なども見られる。S78は着柄痕跡と思われるアスファルトの付着が多量に認められる。S79は凹基石鎚で基部と器体中央にアスファルトがわずかに付着している。S70・S74・S87・S88・S95は黒曜石製で产地は小赤沢である。

<d堤防>（第130・131図、写真図版102：S99～S126）

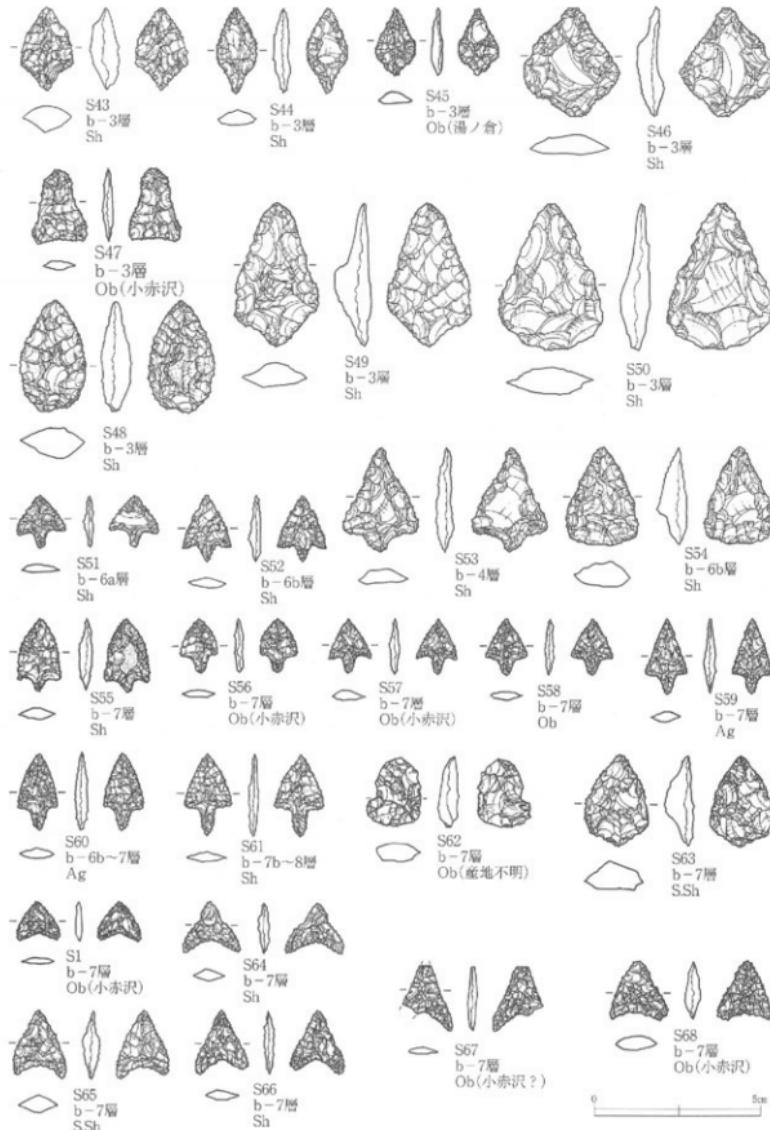
147点出土し、28点図示(S99～S126)した。147点は頁岩65点、珪質頁岩1点、黒曜石62点、メノウ19点で構成される。黒曜石製の比率が高い。产地同定された黒曜石製石鎚は小赤沢産が多い(S102・S114～S116・S119・S121～S123)。S103は頁岩製で素材の剥離面を調整によって除去していない。

<e堤防>（第131～133図、写真図版102・103：S127～S200）

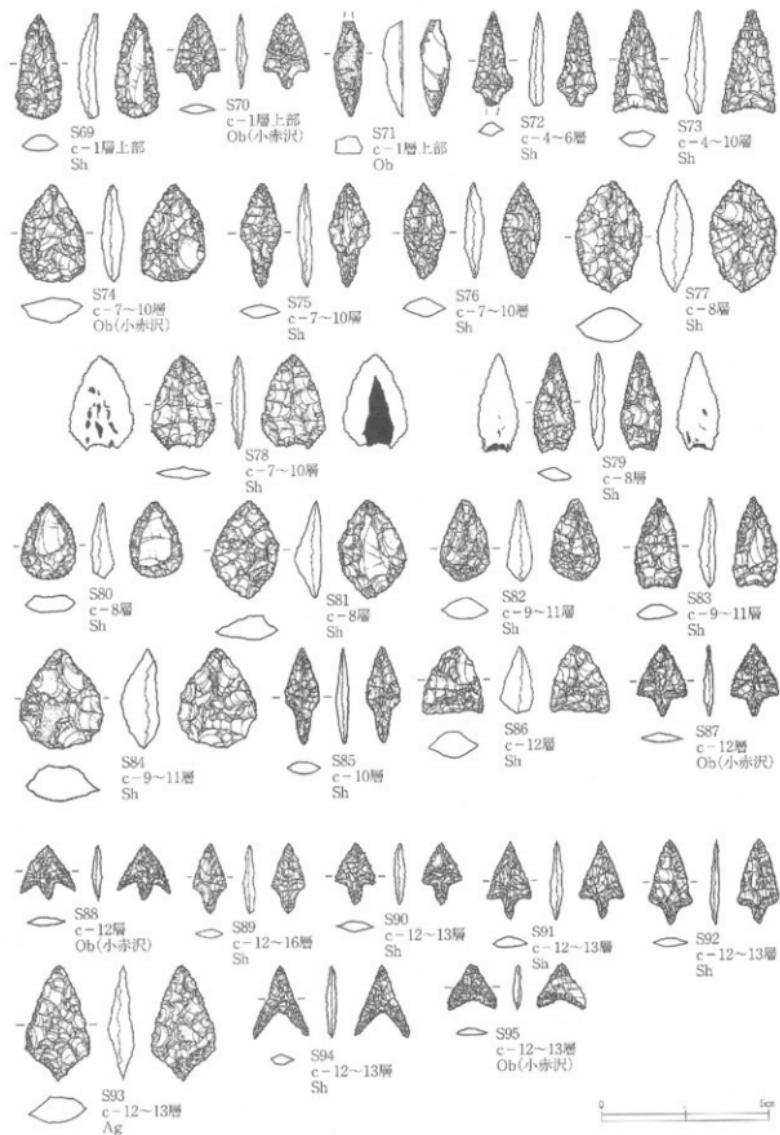
377点出土し、74点図示(S127～S200)した。377点は頁岩264点、珪質頁岩3点、黒曜石83点、メノウ26点、凝灰岩1点で構成される。1層から8層までは出土量が多い。アスファルト付着は有茎石鎚(S152・S159・S179・S181)との相関が強い。



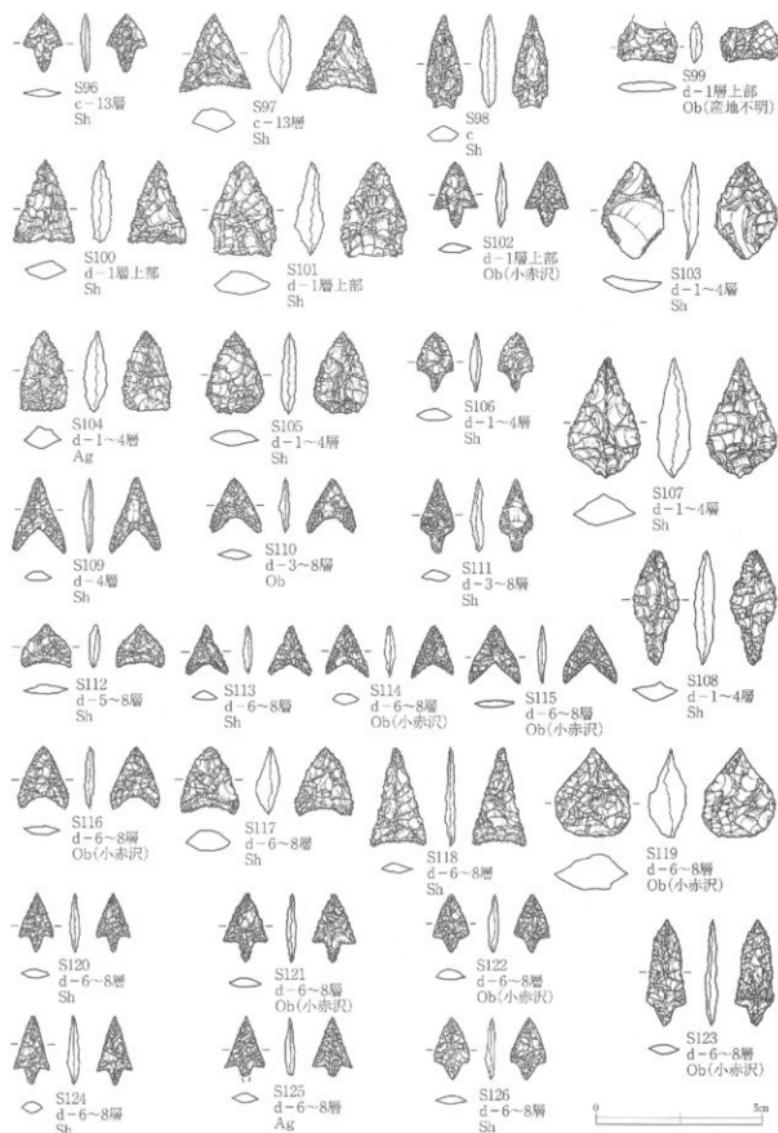
第127図 B区石器2



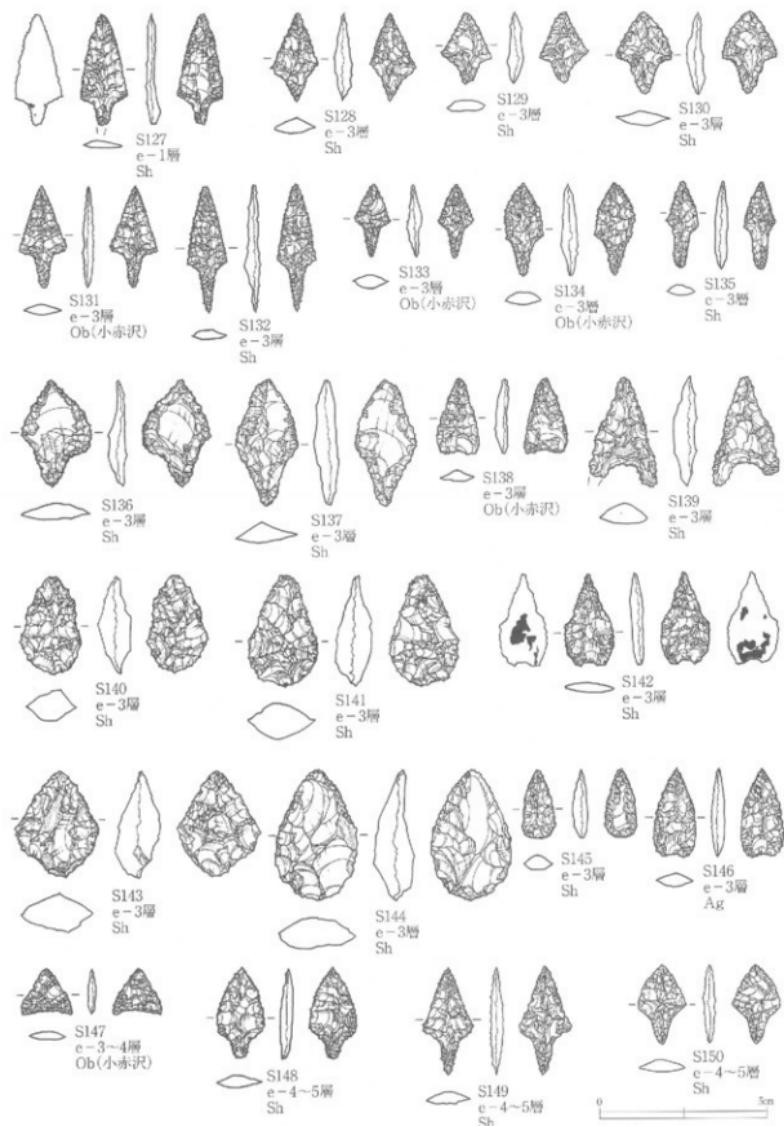
第128図 B区石器3



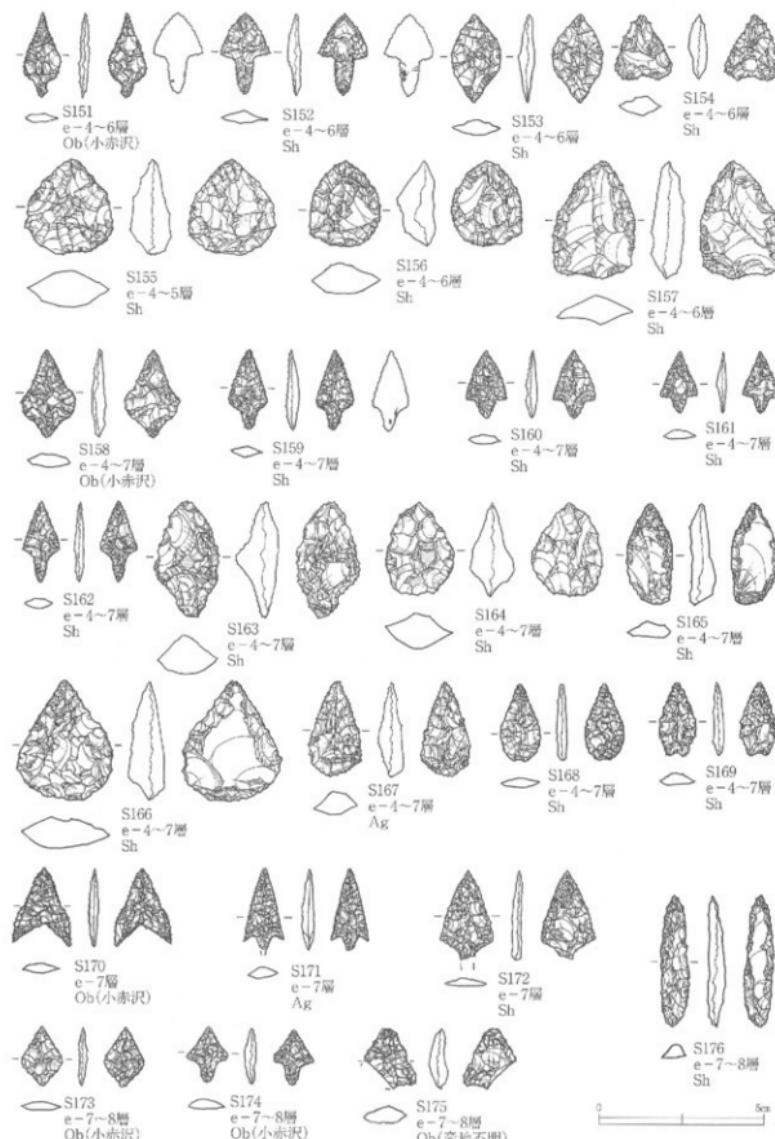
第129図 B区石器 4



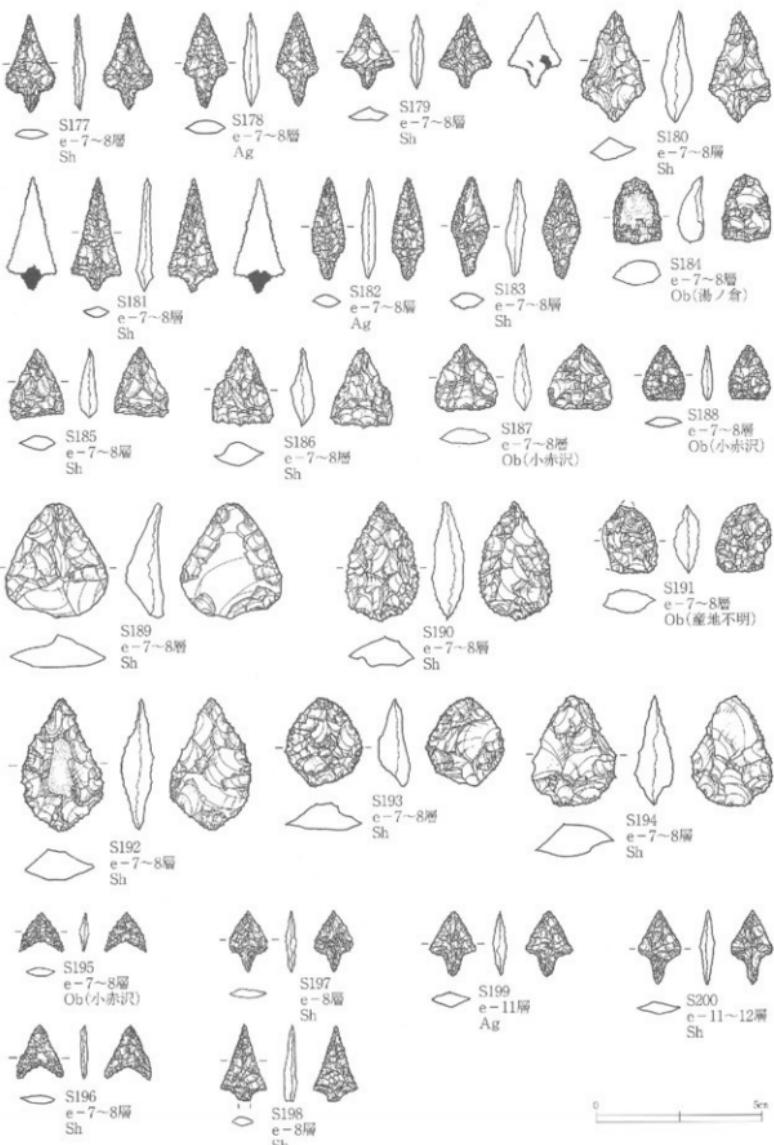
第130図 B区石器 5



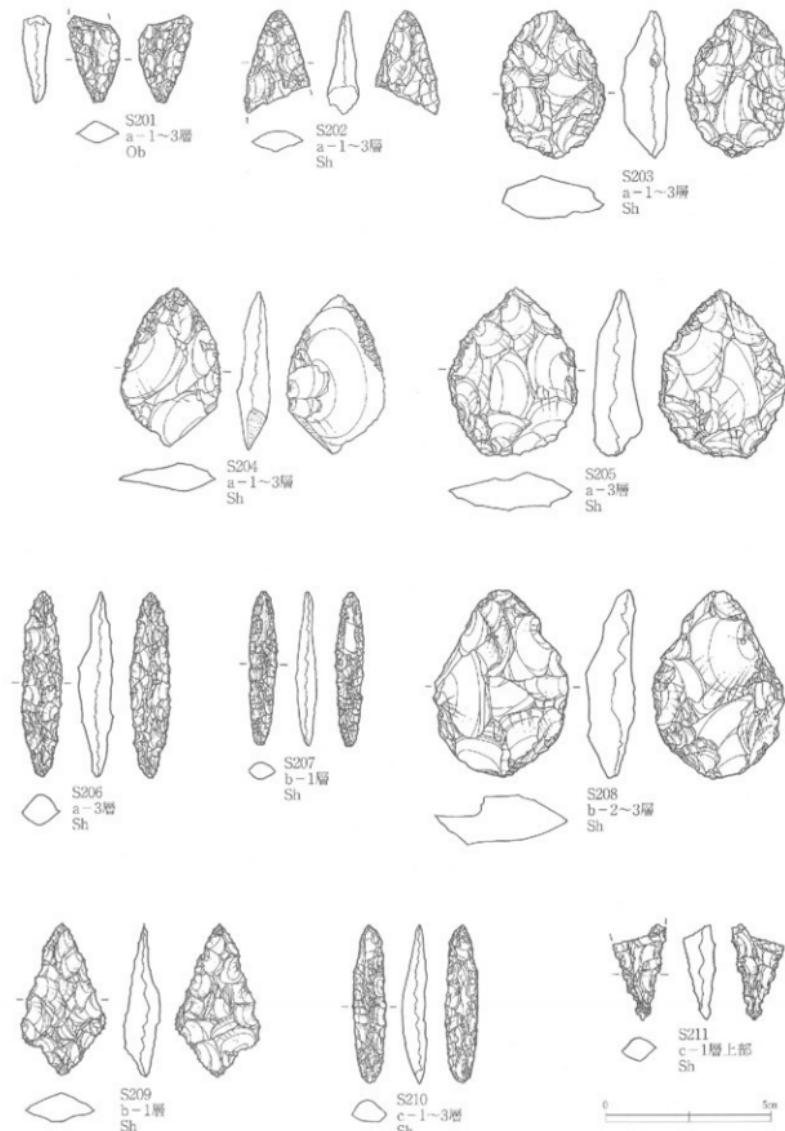
第131図 B区石器6



第132図 B区石器 7



第133図 B区石器 8



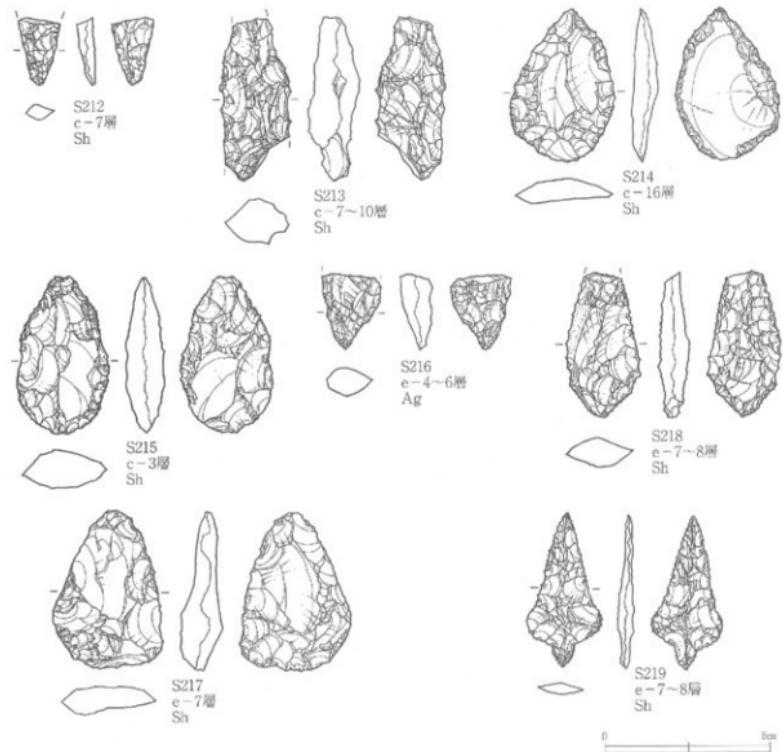
第134図 B区石器9

尖頭器（第134・135図、写真図版105：S201～S219）

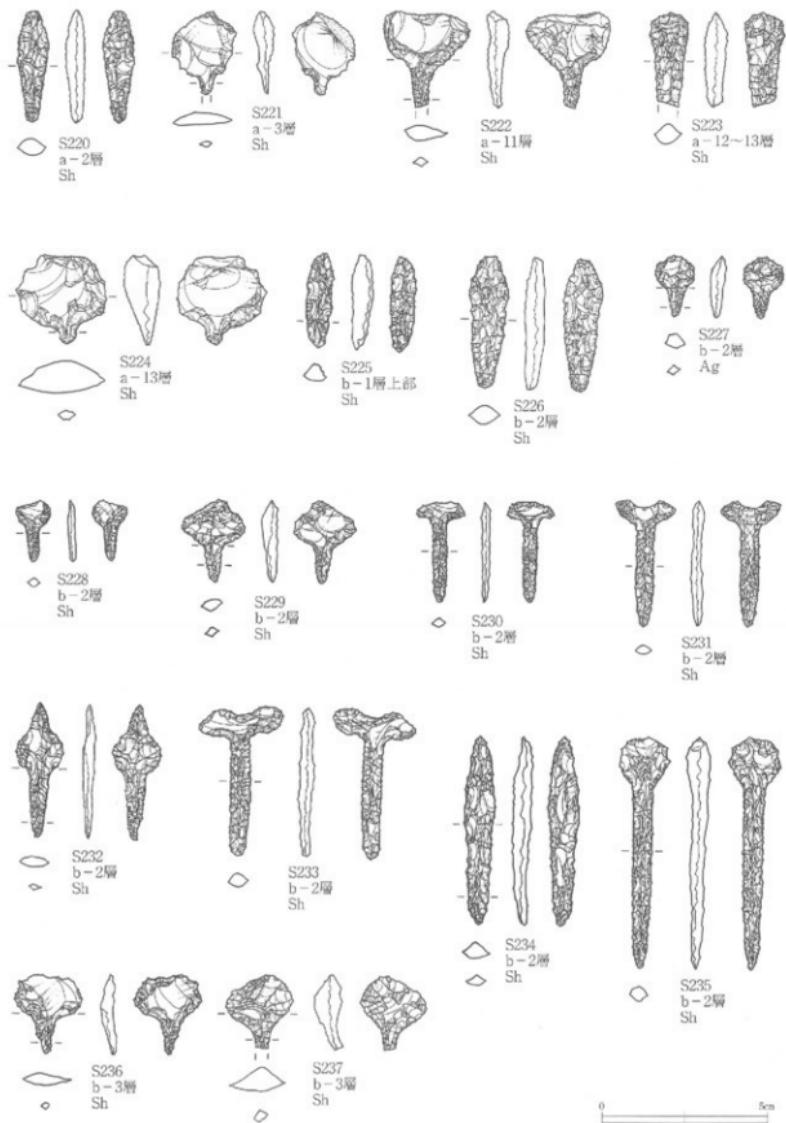
32点出土し、19点図示した。石錐との境界を便宜上長さ4.5cmに求めたが、これらの中には錐として機能した可能性を否定できないものも含まれると考えられる。主に頁岩製で厚みのある素材を嗜好しており重量感を有する。幅広の広葉形（S203～S205・S208）が多く、柳葉形（S206・S210）は少ない。広葉形は平坦剥離によって器体調整が進行している。S207は石錐と形態的親和性を有するが、錐の機能面の類似性を確認できない。S219は有茎で器体が薄く有茎石錐状である。

石錐（第136～140図、写真図版106～108：S220～S311）

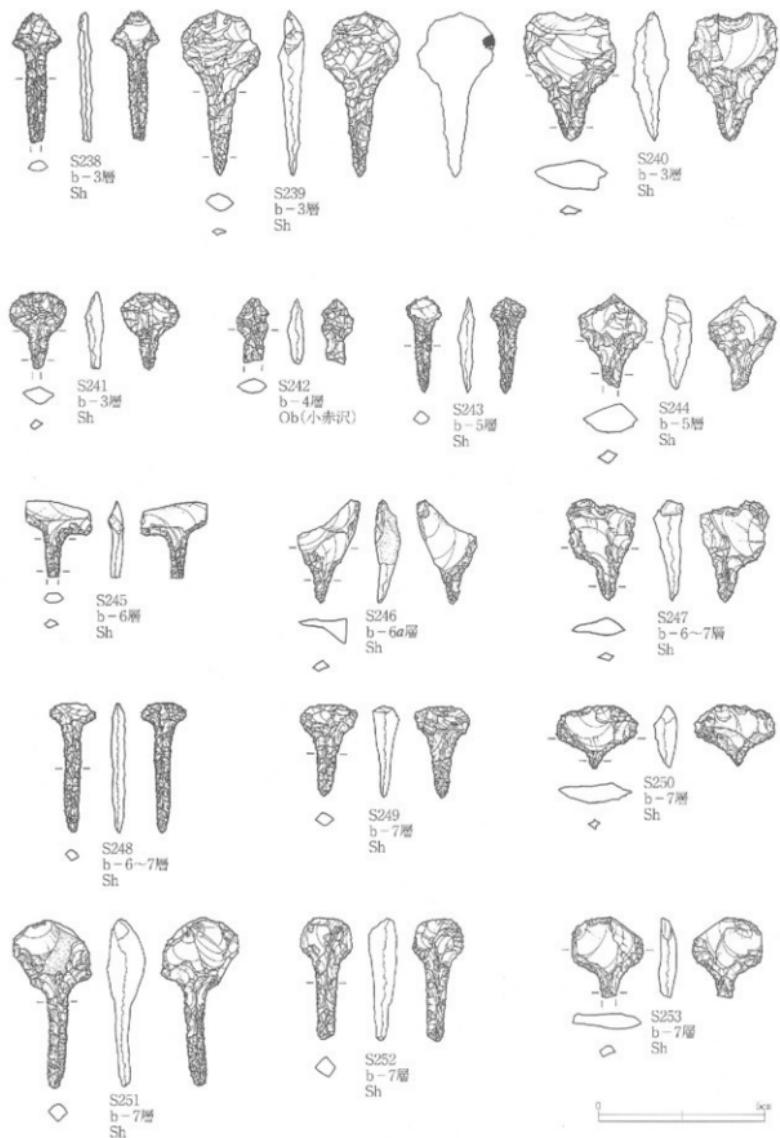
179点出土し、92点図示した。頁岩製が主体で171点出土し、メノウ製4点、黒曜石製3点、珪質頁岩製1点とわずかである。179点は1類112点、2類35点、3類22点、4類8点で構成される。1類は比較的厚みの少ない剥片を素材とし横断面が幾何学形であるのに対し、2・3類は厚みのある素材を利用



第135図 B区石器10

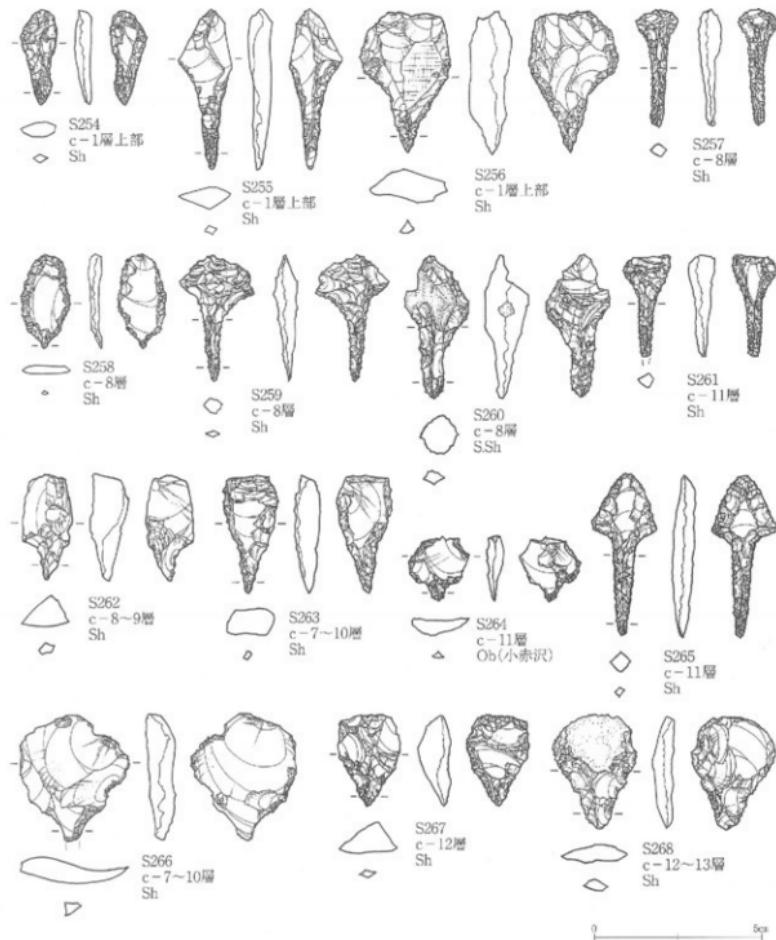


第136図 B区石器11

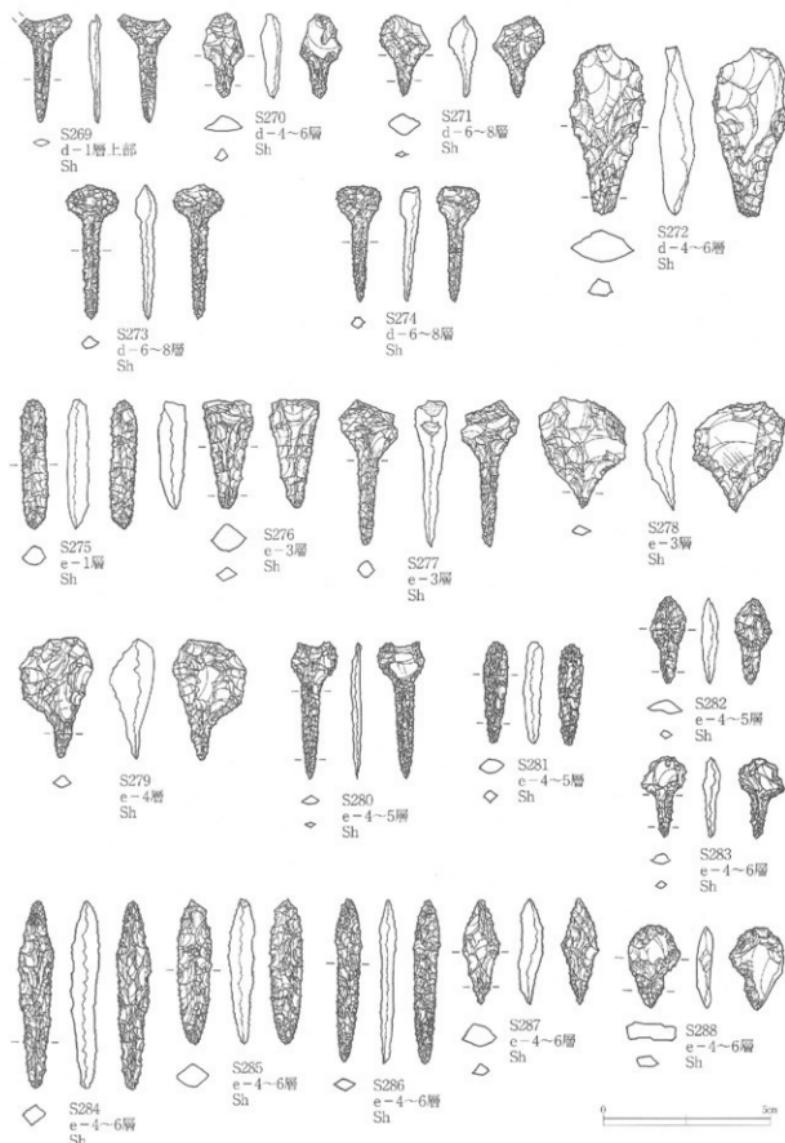


第137図 B区石器12

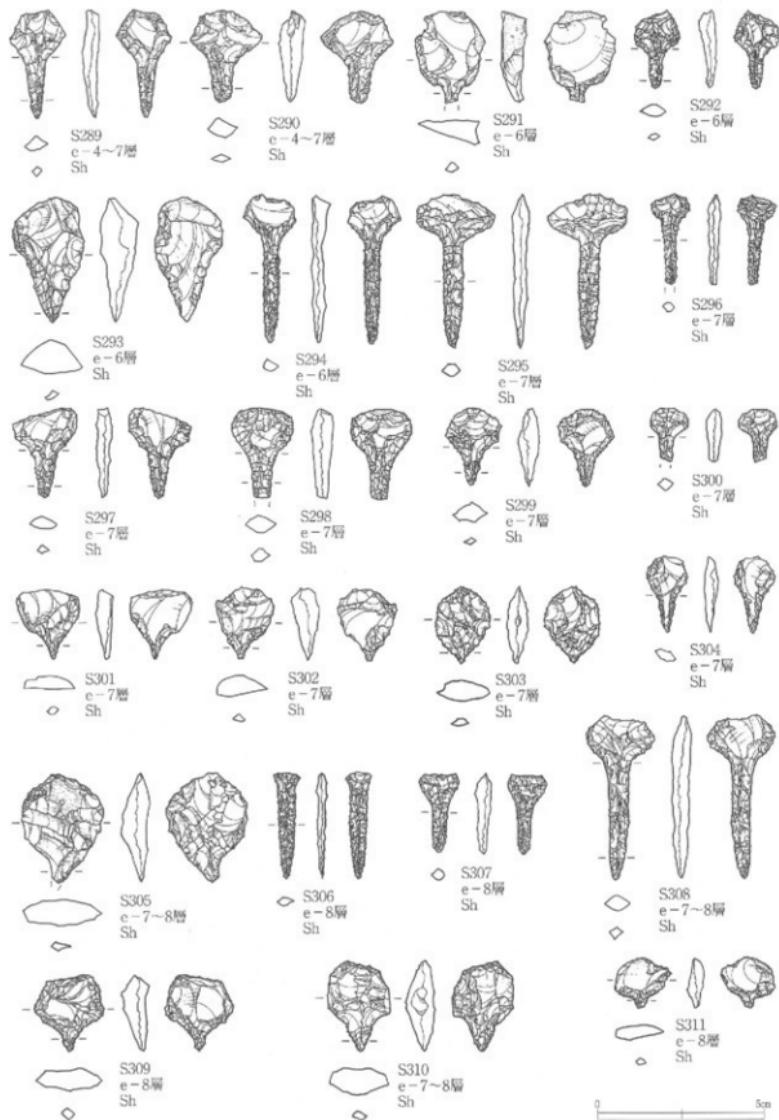
し横断面が凸レンズ状や楕円形に近い。摘み部にアスファルトが付着する資料(S239)は着柄の可能性を示す。1類のなかには摘み部が尖頭状で、平面形態が石鎚に類似する資料(S232・S238・S265)も見られる。このことは石鎚と石錐1類に製作技術上の親和性があることを示している。3類は形態上石錐にするのが難しい資料(S275・S284・S285)だが、大半の資料の先端部にBoringによる摩滅が観察されることから錐として使用されたものと捉えた。



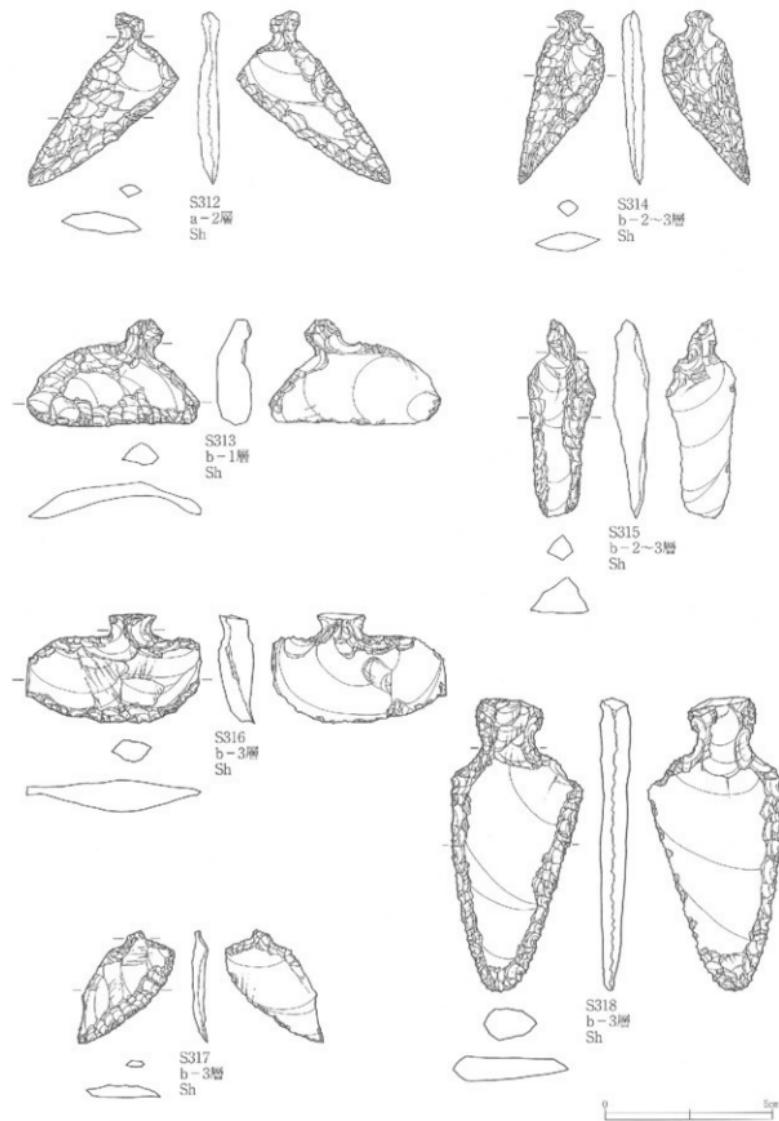
第138図 B区石器13



第139図 B区石器14

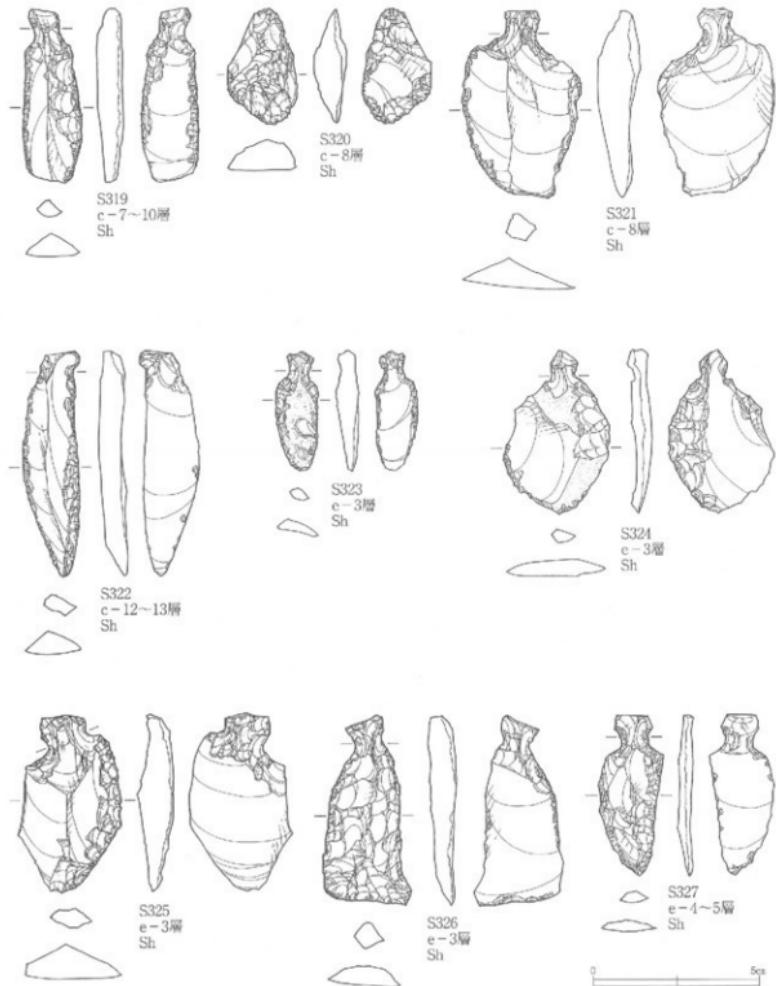


第140図 B区石器15

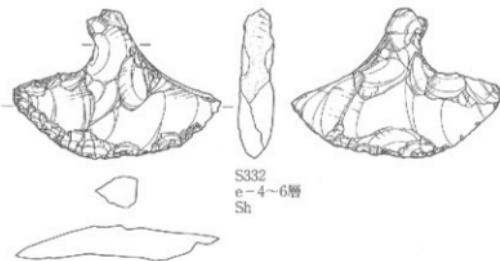
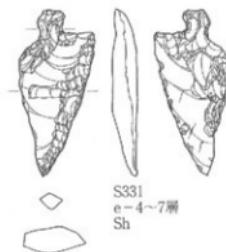
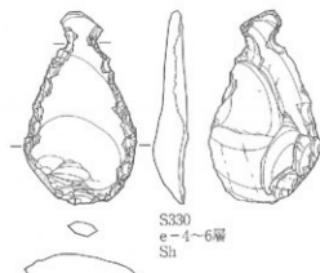
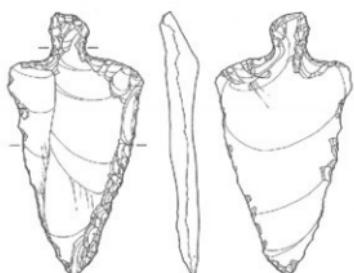
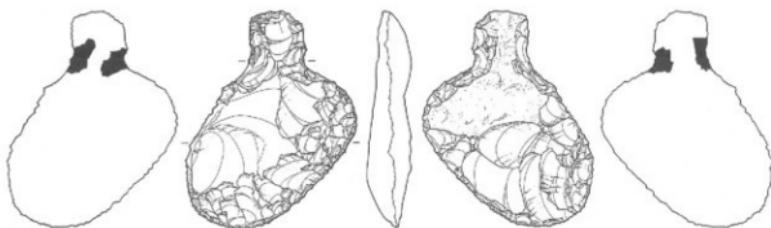


第141図 B区石器16

5 石器・石製品



第142図 B区石器17



0 5cm

第143図 B区石器18

石匙 (第141~144図、写真図版109・110 : S312~S335)

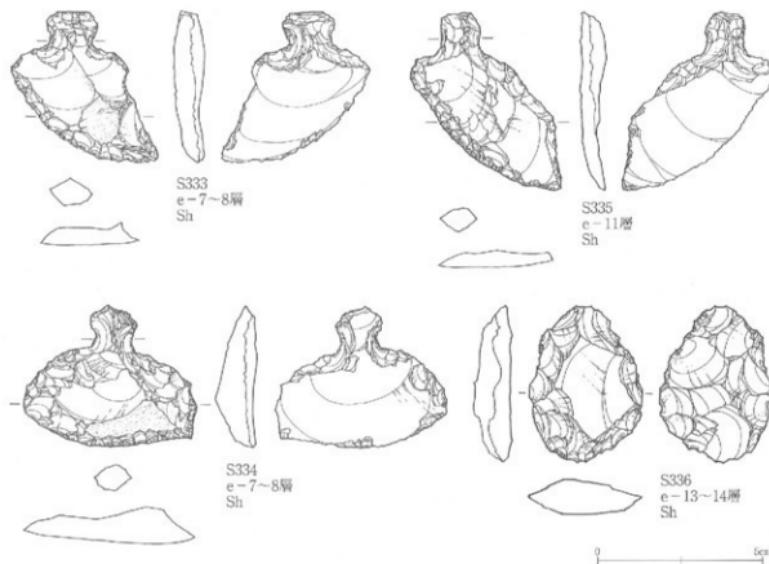
56点出土し、24点図示した。すべて頁岩製である。厚みのある素材を嗜好しており重量感のある資料が多い。56点は1類(横型)22点、2類(縱型)27点、3類(斜行型)13点で構成される。横型は刃部が湾曲するもの(S313・S316)が多く、搔器の使用方法が想定される。摘み部の相対的なサイズを示す指数である抉入部幅/重量の比率は類型間での大きな較差ではなく、それぞれの大きさに即した摘み部を作り出していると言える。S314は先端の尖る斜行型で両面加工を施す。S328は斜行型で抉入部にはアスファルトの付着が認められ、やや厚みのある剥片を素材とし先端部は尖らない。刃部には微細剥離痕が連続する。

搔器 (第144~146図、写真図版111 : S336~S351)

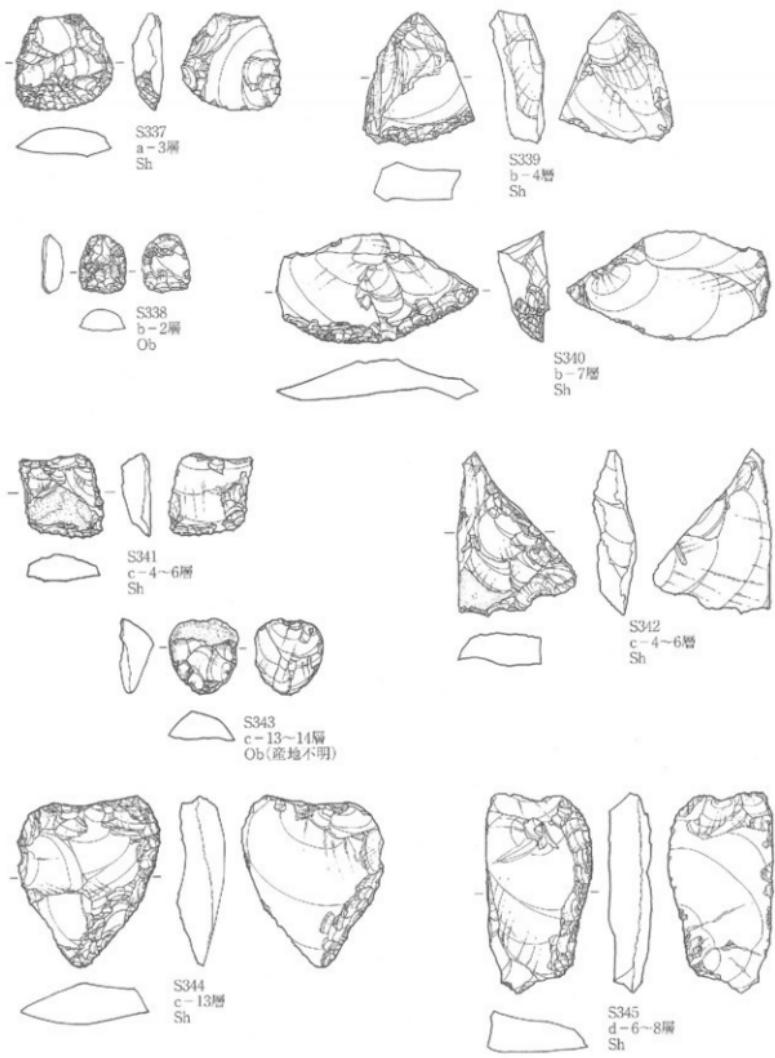
34点出土し、16点図示した。素材の端部に刃部を形成する資料(S337~S342など)が多い。大半の資料の刃部には正面側の連続した調整加工と、裏面側の製作過程・使用過程における打圧の反作用による微細剥離痕が見られる。これら微細剥離痕の分布や形態などから、本資料の多くは刃部と直行する使用方向が想定される。S338、S343は黒曜石製で指紋状を呈する。素材として両極剥片を用い、末端に急角度の調整を施し刃部形成する。肉眼レベルでは刃部の光沢や極端な摩耗は観察されない。S343の産地分析の結果は「産地不明」であった。

削器 (第146~150図、写真図版112・113 : S352~S382)

88点出土し、31点図示した。頁岩製を主体とする。刃部調整は幅の広いものから狭いものまで見ら



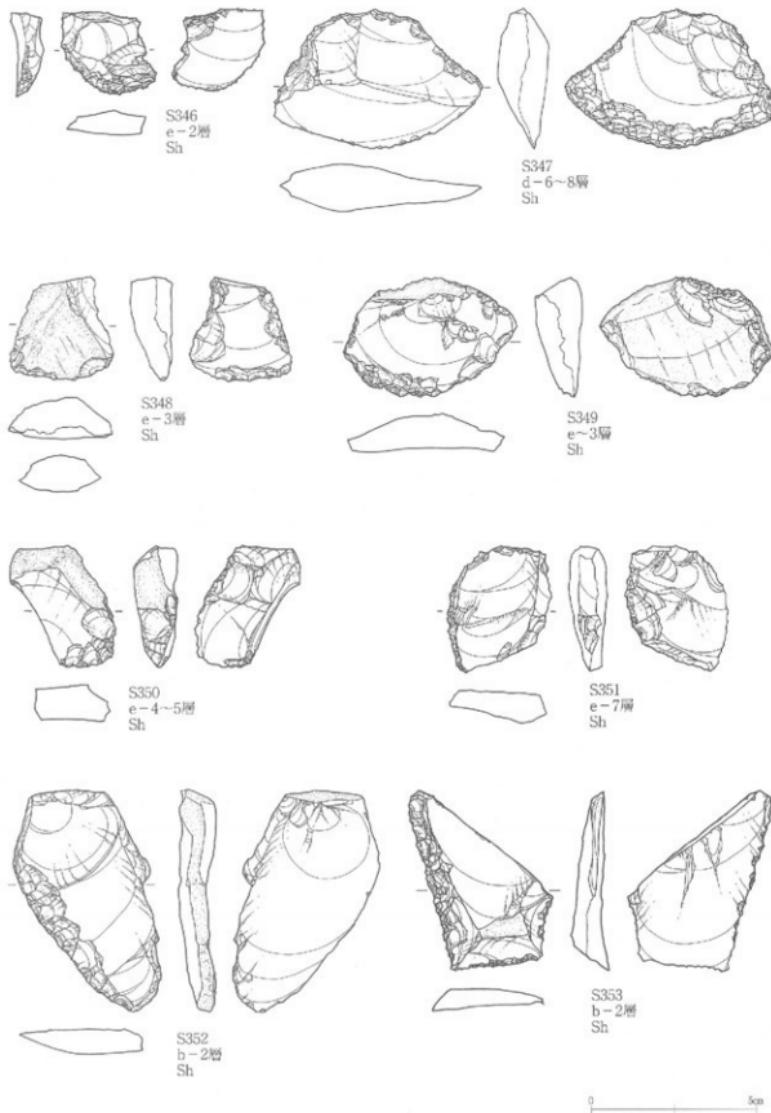
第144図 B区石器19



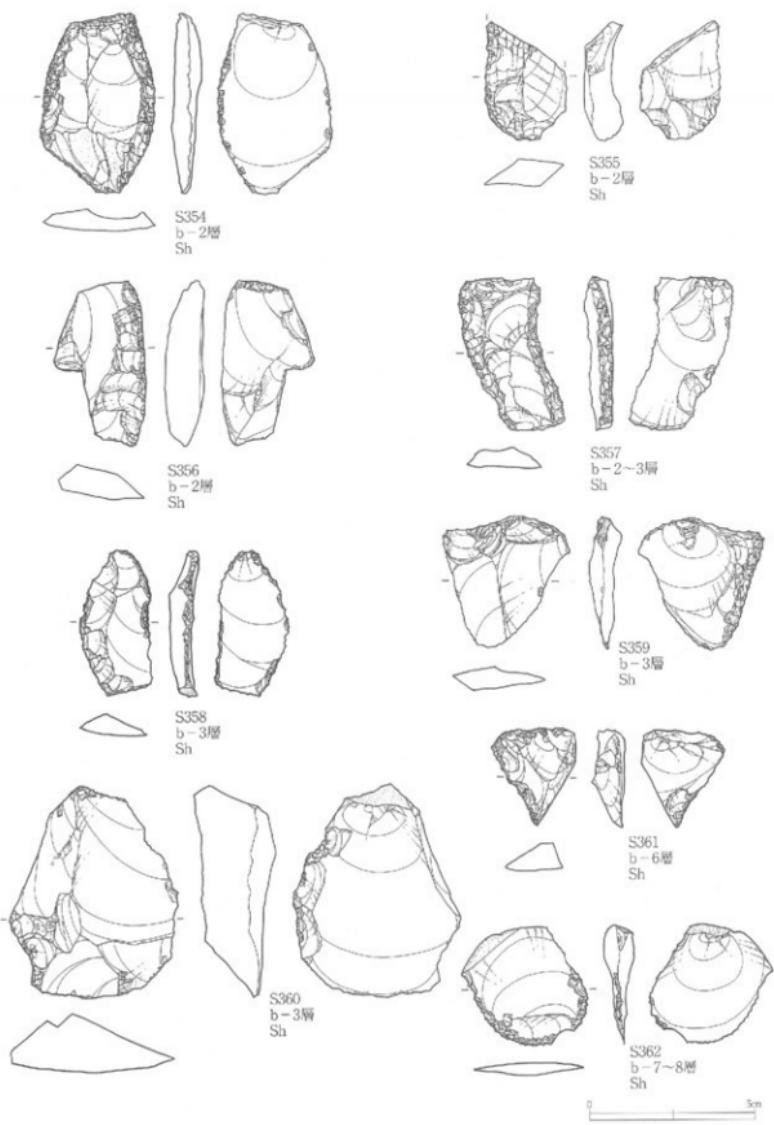
0 5cm

第145図 B区石器20

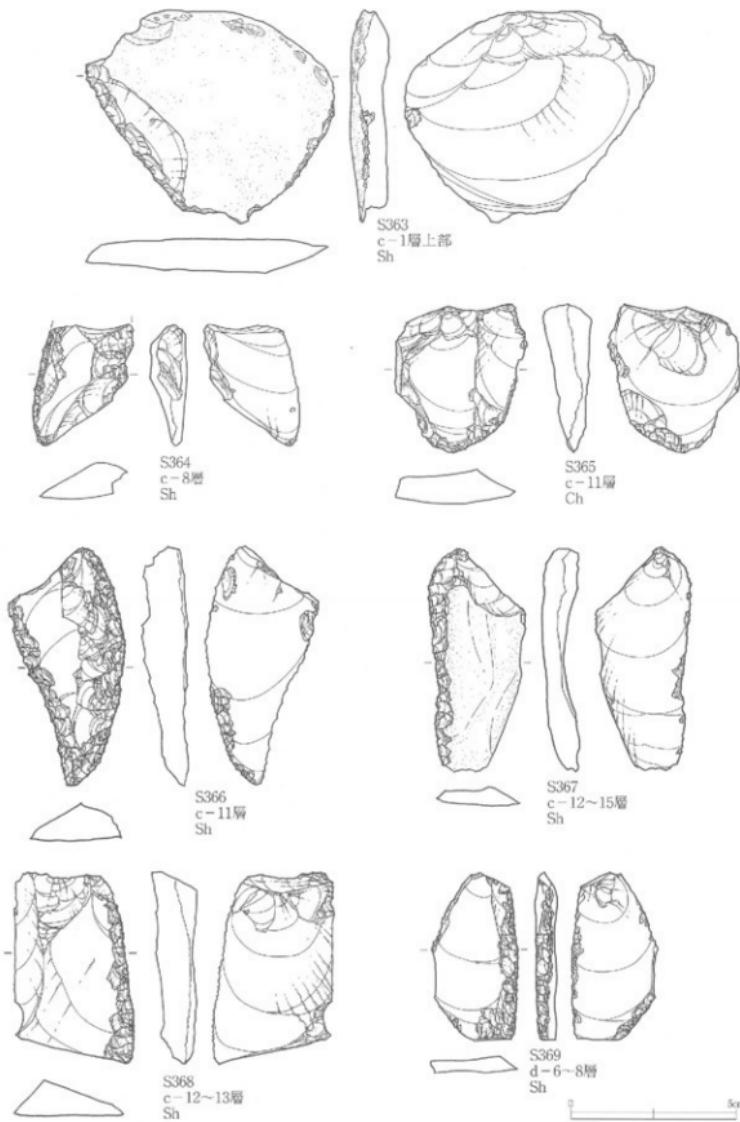
5 石器・石製品



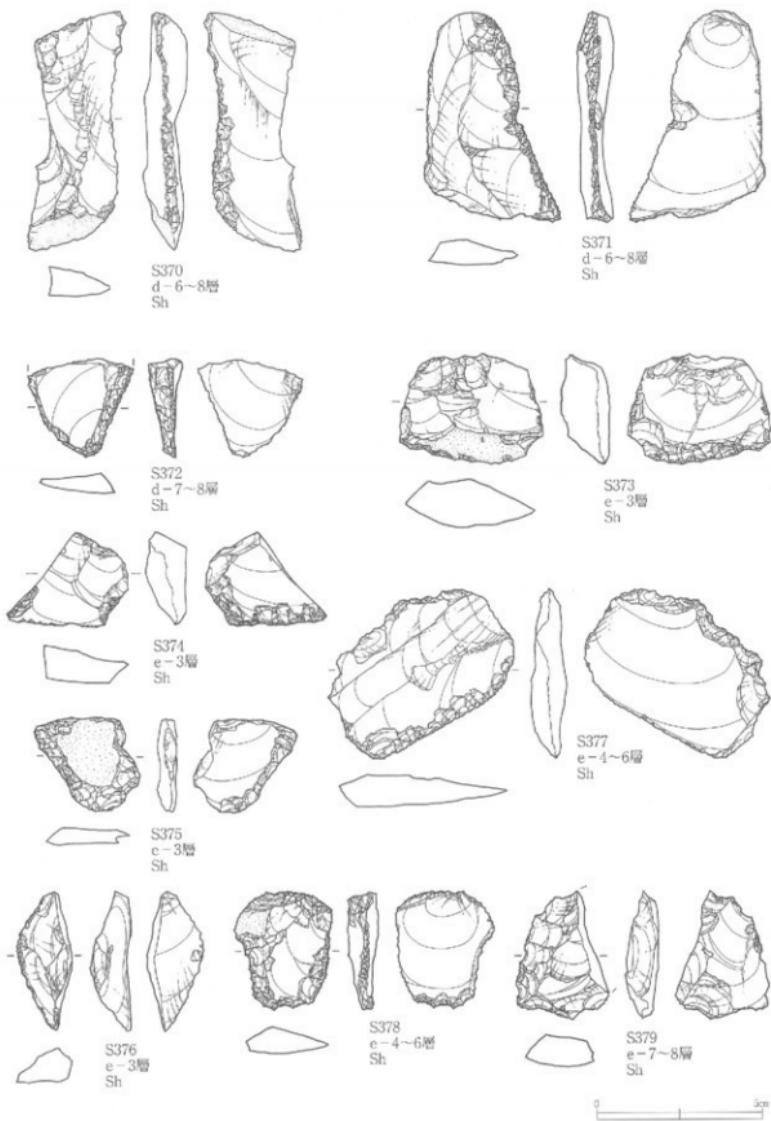
第146図 B区石器21



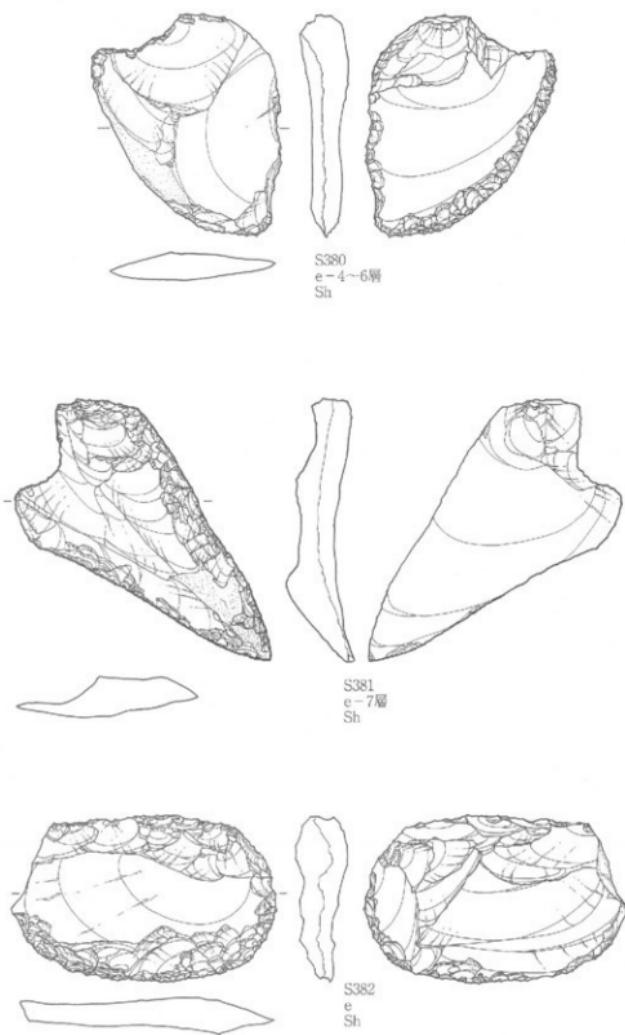
第147図 B区石器22



第148図 B区石器23



第149図 B区石器24



0 5cm

第150図 B区石器25

れ、微細剥離痕は連続するものから不連続のものまで一定しない。刃部の設定位置は縦長の素材正位利用では基本的に側線とするが、斜行刃部（S363・S377・S381）もあり、素材、刃部角度、使用対象物に応じた柔軟な設定位置を選択している。削器の点数は意外に少ないが、例えば搔器の側線部にcutting、sawingによる微細剥離痕の見られる資料が少なからず存在する。したがって、調整を行わなくとも鋭利な縁刃をそのまま使用する削器的機能も有する石器が多数存在していると考えられる。S348は頁岩製で正面右側線に刃部を作り出している。素材末端はヒンジフラクチャーを呈し、末端と裏面右側線にも調整痕が残る。S362は奥羽系頁岩製で両側線に刃部を形成するが、特に左側縁部には入念な調整が施されている。

楔形石器（第151図、写真図版114：S383～S394）

278点出土し、12点図示した。分類上は両極剥離痕を有し、ネガ面で構成されるものと捉えている。定形的な両極弱片を供給した石核と考えられる。使用石材は頁岩197点、黒曜石70点、メノウ10点で構成される。石器製作のための素材供給元となった黒曜石製楔形石器の多くが自然面を残す。これは採手された黒曜石原石が小形であるため、自然面の除去が困難であったことと関係する。黒曜石製は高い比率で小赤沢産（S384・S385・S388）を用いる。頁岩製には大形の資料（S383・S392）も散見され厚手の資料が目立つ。

磨製石斧（第152～155図、写真図版118・119：S395～S433）

39点出土し、39点図示した。破損品が多く、接合個体は見出せなかった。刃部を残存する個体は器体幅4～5cm台が多く、形態的齊一性も認められる。石材は頁岩、砂岩、安山岩、閃緑岩、ひん岩、蛇紋岩、ホルンフェルスを利用している。このうち本造跡から直線距離で70kmを越える早池峰周辺に産出する蛇紋岩を用いた資料（S406・S409・S430）は淡い緑色で小形品に限られ、サイズや重量の点で実用性に乏しい。39点のうち、器面上の擦痕は器体長軸に対し平行方向と右上から左下に向かって斜行方向が一定量見られる。基部付近や刃部では刃部に平行方向を主体としながらも直行方向がランダムに観察される。刃部はダメージを受けているもの（S399・S408・S414・S415・S417・S419・S425・S427など）が多く、逆三角形、四角形などの微細剥離痕が不連続に見られる。S426は厚みを減じるに至らなかった未製品と考えられる。

打製石斧（第155図、写真図版120：S434）

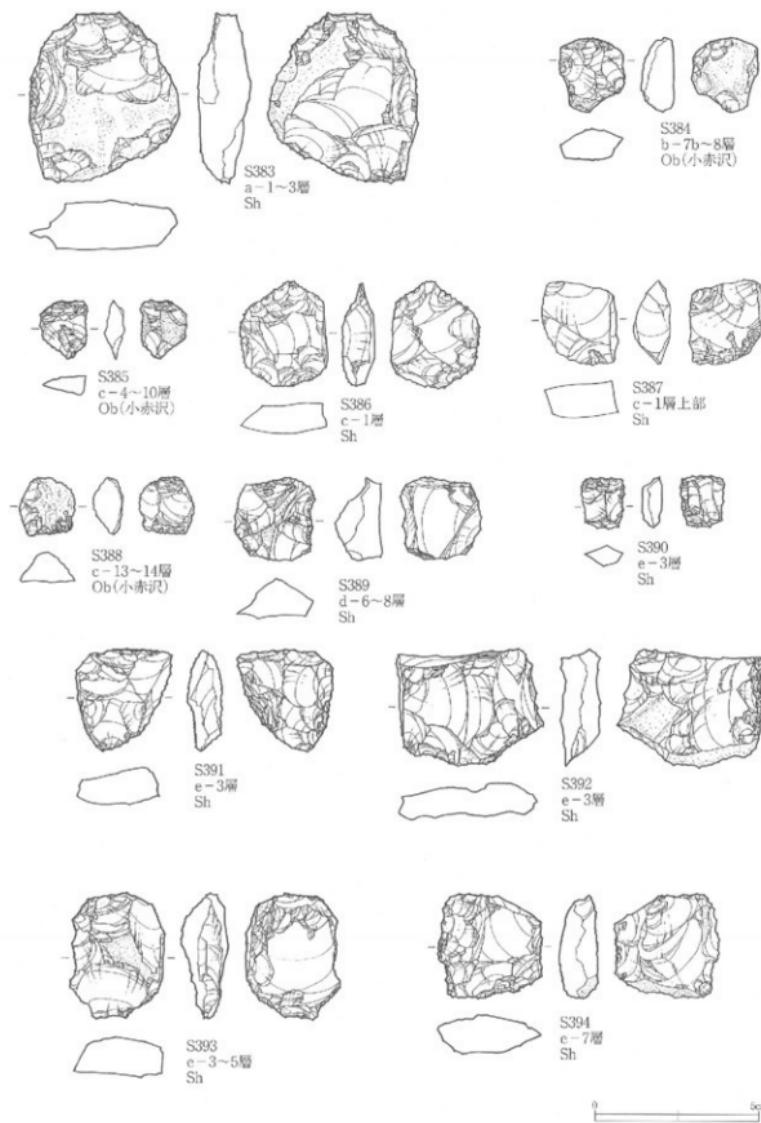
2点出土し、1点図示した。S434はホルンフェルス製で楕円形の円磨礫を素材とし、側縁部調整を敲打によって行っている。形態的には磨製石斧と類似することから、磨製石斧の未製品を打製石斧に転用したとも考えられる。刃部にダメージが見られ使用によるものと考えられる。基部側は微細剥離が連続し、着柄による衝撃剥離の可能性がある。

礫器（第155図、写真図版120：S435）

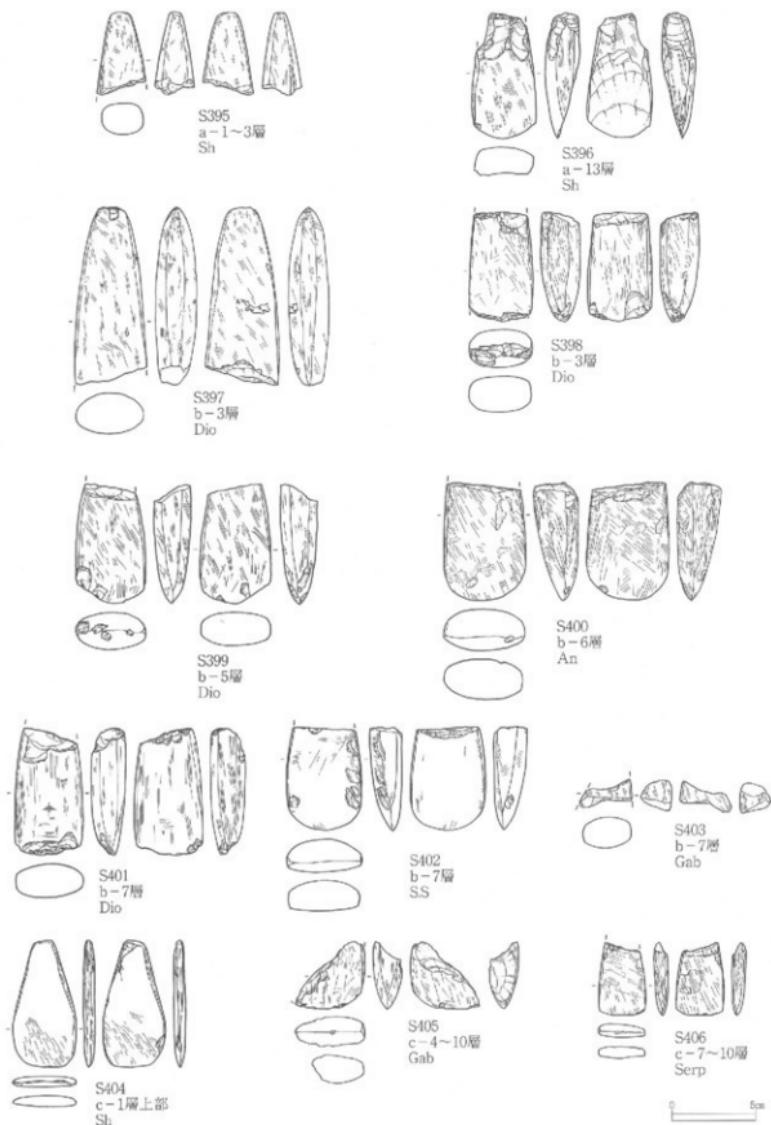
2点出土し、1点図示した。S435は方形に近い砂岩の円磨礫を素材とし、端部を打ち欠いている。裏面は扁平で刃部に微細剥離痕が連続している。

磨石A（第156図、写真図版120：S436～S442）

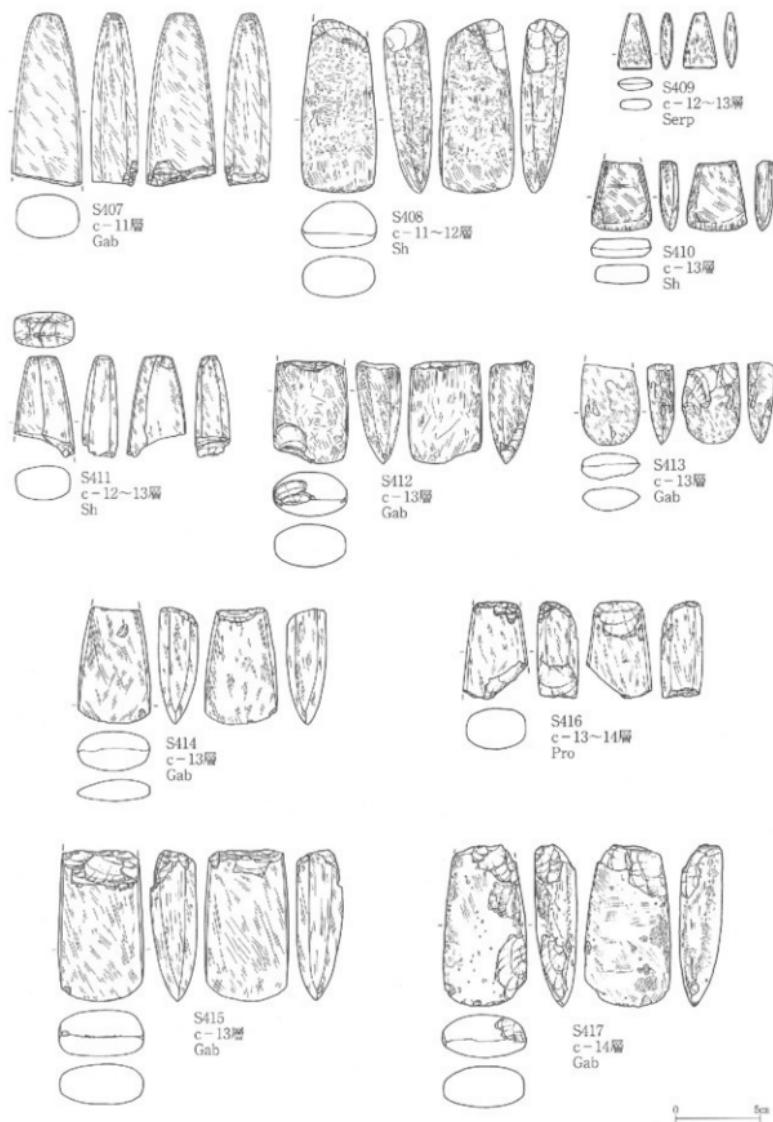
8点出土し、7点図示した。円形に近いが、他の敲磨器類に比べて扁平な素材を選択している。擦



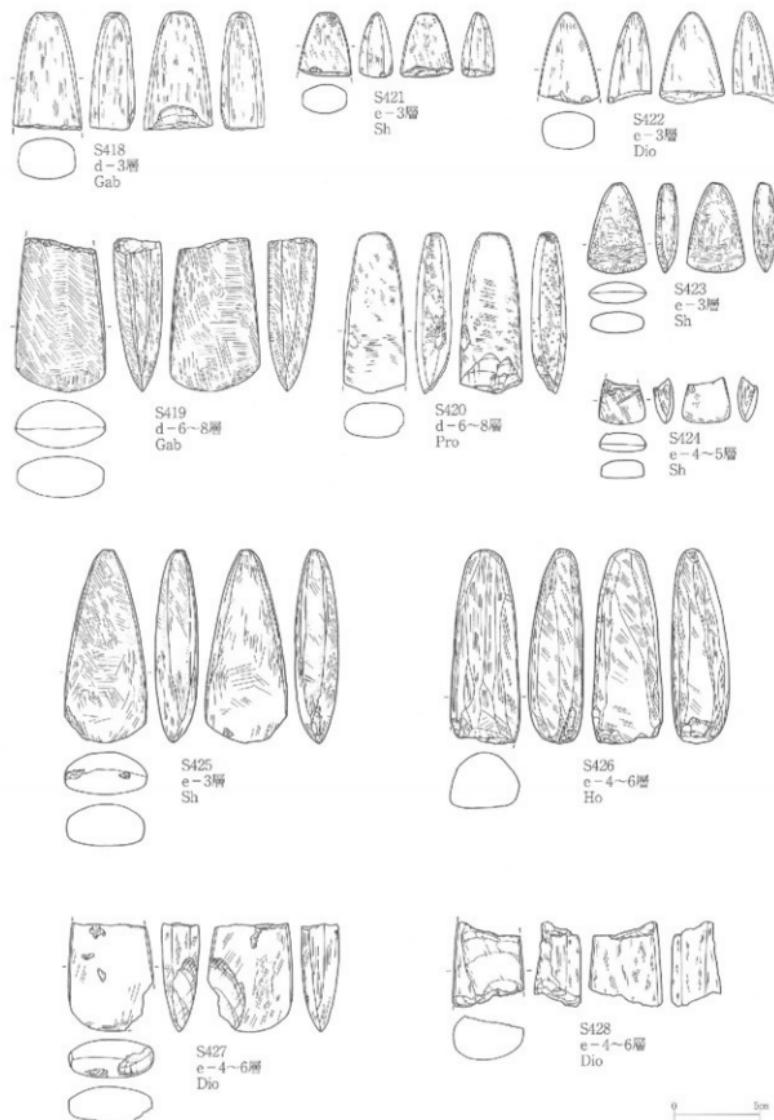
第151図 B区石器26



第152図 B区石器27

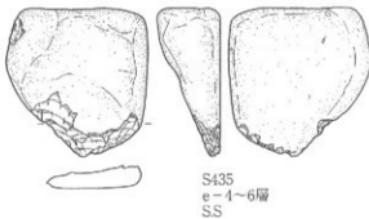
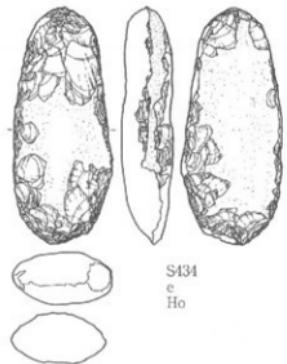
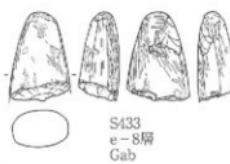
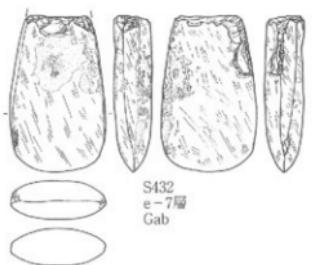
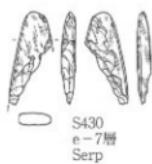
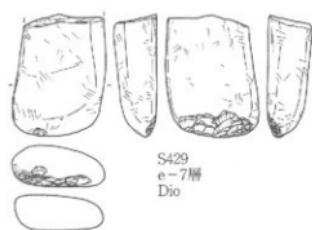


第153図 B区石器28



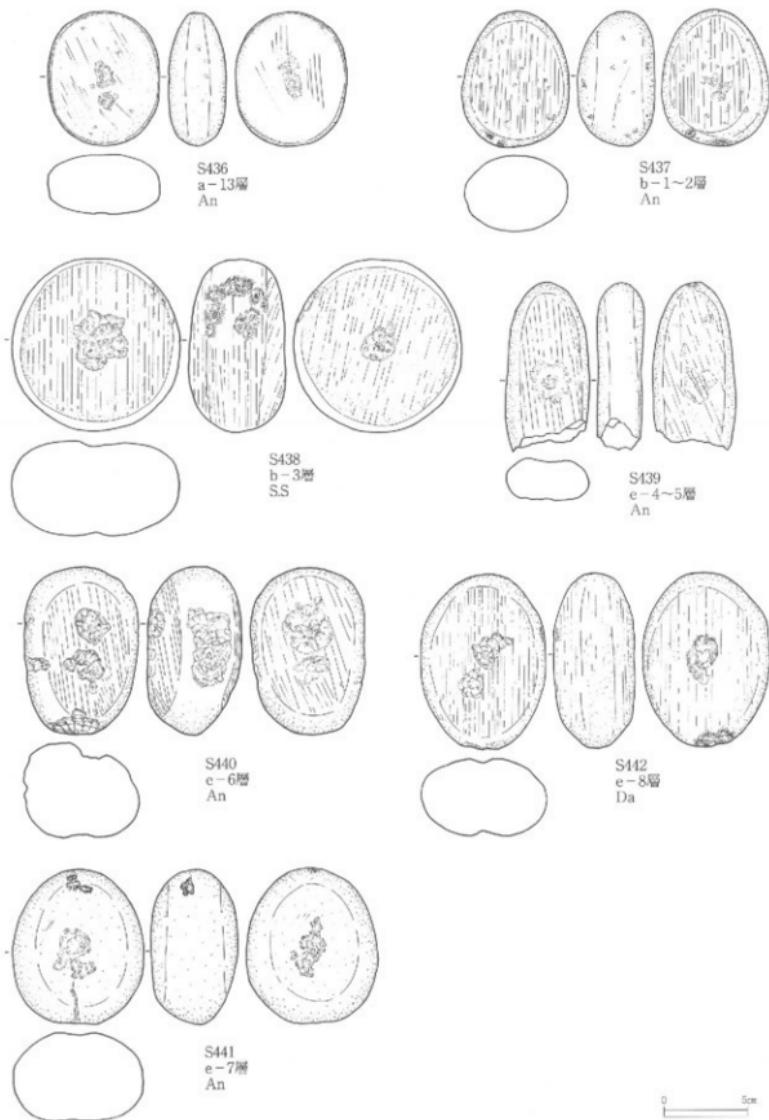
第154図 B区石器29

5 石器・石製品



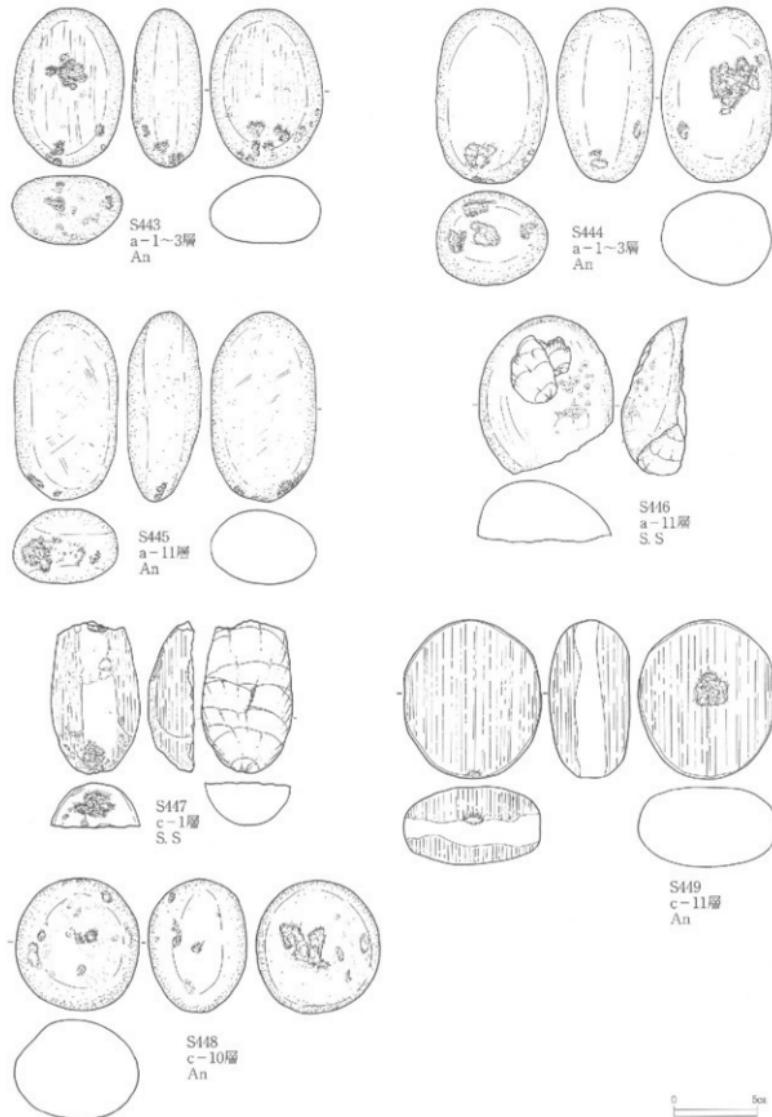
0 5cm

第155図 B区石器30



第156図 B区石器31

5 石器・石製品

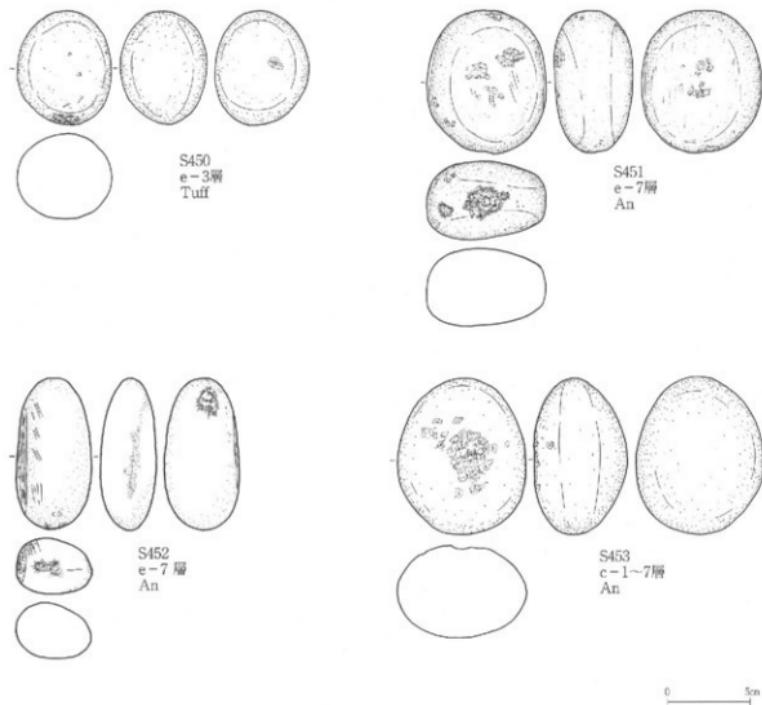


第157図 B区石器32

痕は器体長軸と平行方向が多く、敲打痕は端部に見られる。凹痕は正面・裏面のほぼ中央に主体的だが、深く凹むものは少ない。使用石材は安山岩(S436・S437・S439～S441)、デイサイト(S442)、砂岩(S438)、凝灰岩で、火成岩が多用されている。S436・S437は器体中央の凹みが浅く、敲打痕の可能性もあるが、磨面の摩滅が顕著なことから磨面の使用過程で凹痕跡の消失が進行したと考えられる。

磨石B（第156～158図、写真版120：S443～S452）

14点出土し、7点図示した。安山岩製が主体である。硬度の低い軟質な凝灰岩と比べると、やや硬度の勝る安山岩製は石器製作工程のなかで粗割り作業に適している。敲打痕の位置は端部や器体中央に多く見られる。サイズの傾向として大半が10×10cmの範囲内に収まり、器体の有効使用範囲の長さを示す「長さ／重量」の指数では0.025～0.03と低く、敲石の0.04～0.05よりも円形に近い素材選択をしていることが理解できる。b堤防では他の多くの遺物を回収したが、磨石Bは出土していない。S446・S447は砂岩製で敲打作業によって破損したものと考えられる。円形に近い形状の磨石B（S448・S449）は端部ばかりでなく表裏面に敲打痕がつく率が高い。



第158図 B区石器33

磨石C（第158～160図、写真図版121：S453～S466）

17点出土し、14点図示した。安山岩、凝灰岩、砂岩が使用され凝灰岩と安山岩を主体とするが、他の敲磨器類と比べて凝灰岩利用の比率が高い。凹痕のある敲磨器類では凝灰岩製が一定量占める。凹痕の形成過程は一様ではないが、凝灰岩が他の石材に比べて細粒で加工しやすいことと関係があるだろう。サイズの傾向として10×10cmの範囲内に集中し、「長さ／重量」の指數では0.03付近でまとまるところから磨石Bと同様に円形・楕円形の素材を選択していると理解できる。表裏面の研磨作業が進行している資料は少なく、凹痕の見られる面の大半は丸みを帯びている。S463は円形で厚みがあり器体中央に凹痕がみられるが、凹みは浅い。S462は3000gを越える大形品で器体中央に凹痕を有する。扁平な裏面に磨面が、認められるが擦痕は顕著でない。

磨石D（第161・162図、写真図版121：S467～S477）

11点出土し、11点図示した。他の磨石類と同様に扁平碟を素材としているが、一部はやや厚く球形に近い素材を選択している。磨石B・Cと同様で10×10cmの範囲内に集中し、「長さ／重量」の指數では0.03付近でまとまるところから円形・楕円形の素材を選択していると理解できる。磨面は表裏面に認められるものが大半である。砂岩製が一定の比率を占めることが特徴として挙げられ、素材碟となつた砂岩はいずれも細粒である。S474は砂岩製で表裏面に擦痕が明瞭に観察できる。S476は凝灰岩製で分割面に両側剥離痕があり、その剥離痕の稜線は分割面の磨面形成によって磨滅している。「磨る作業」のみに特化しており、器体の破損率は低い。

凹石A（第162図、写真図版122：S478～S480）

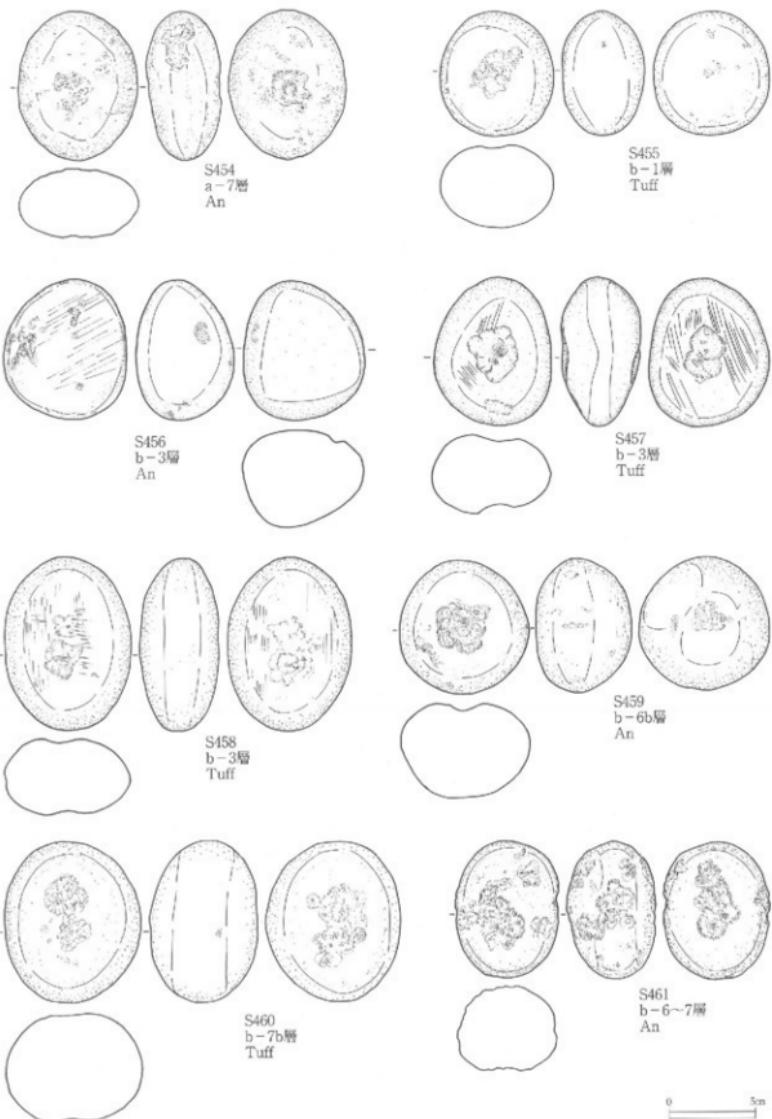
4点出土し、3点図示した。S478～S480は表裏面に凹痕を有する。S479は凝灰岩製で表裏面と両側面に凹痕と敲打痕が見られるが、敲打痕は少ない。S480は安山岩製で上下面と右側縁部に連続した敲打痕が認められる。

凹石B（第163・164図、写真図版122：S481～S493）

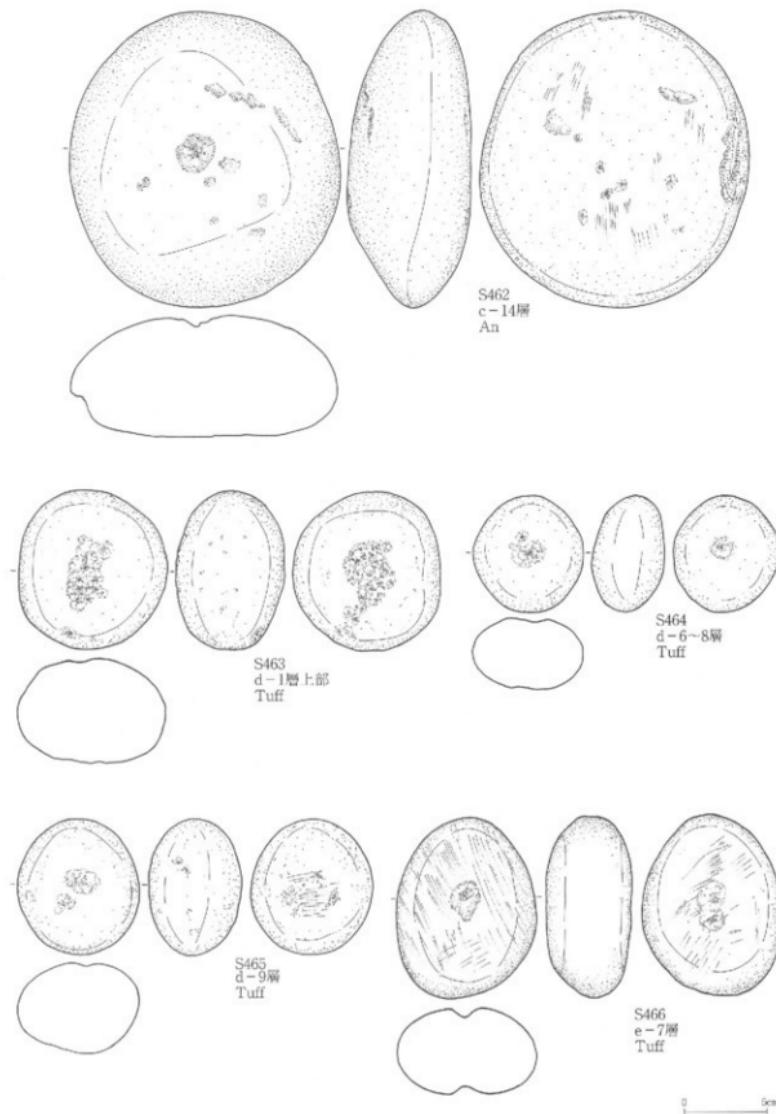
21点出土し、13点図示した。安山岩、凝灰岩、砂岩、頁岩を素材とする。相対的に綫長の素材を選択する傾向がある。素材の丸みに拘わらず凹痕が認められるものの、平坦な面のほうが形成される凹痕が深い傾向にある。安山岩製は丸みをもつ面の比率が高く、凹み度の深さにばらつきがある。他の敲磨器類と比較するとe堤防内では上部層から出土する率が高い。S485は板状の砂岩を素材として表裏面とも器体中央に凹痕がある。磨面はないが形態的な特徴から石皿片の可能性も考えられる。S489は安山岩製で裏面中央に敲打痕が見られる。

敲石（第165図、写真図版122：S494～S500）

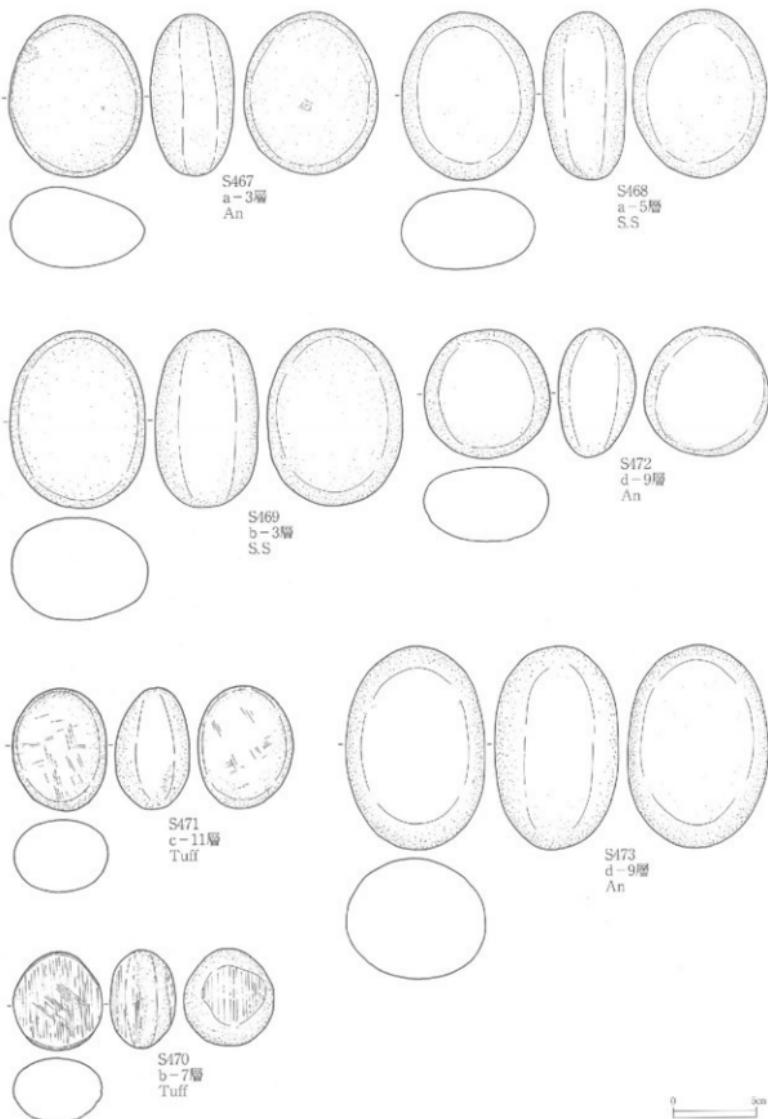
12点出土し、7点図示した。綫長素材端部に敲打痕の認められることが多いものの、S499・S500は側面や器体中央部にも見られる。S496・S498は頁岩製で端部に細かな剥離が認められるものの、敲打の痕跡が少ないと見られる。S497は白色の凝灰岩製で軟質なことから、ソフトハンマーに近い機能だった可能性がある。端部に敲打による後のつぶれが見られる。



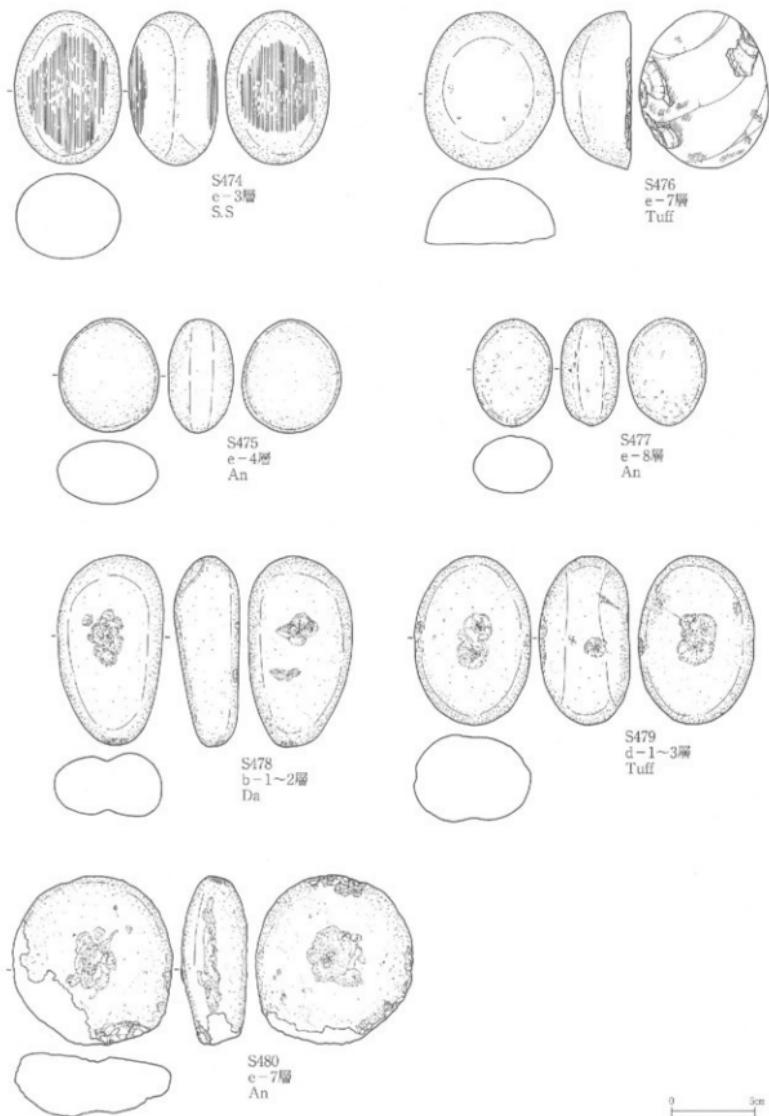
第159図 B区石器34



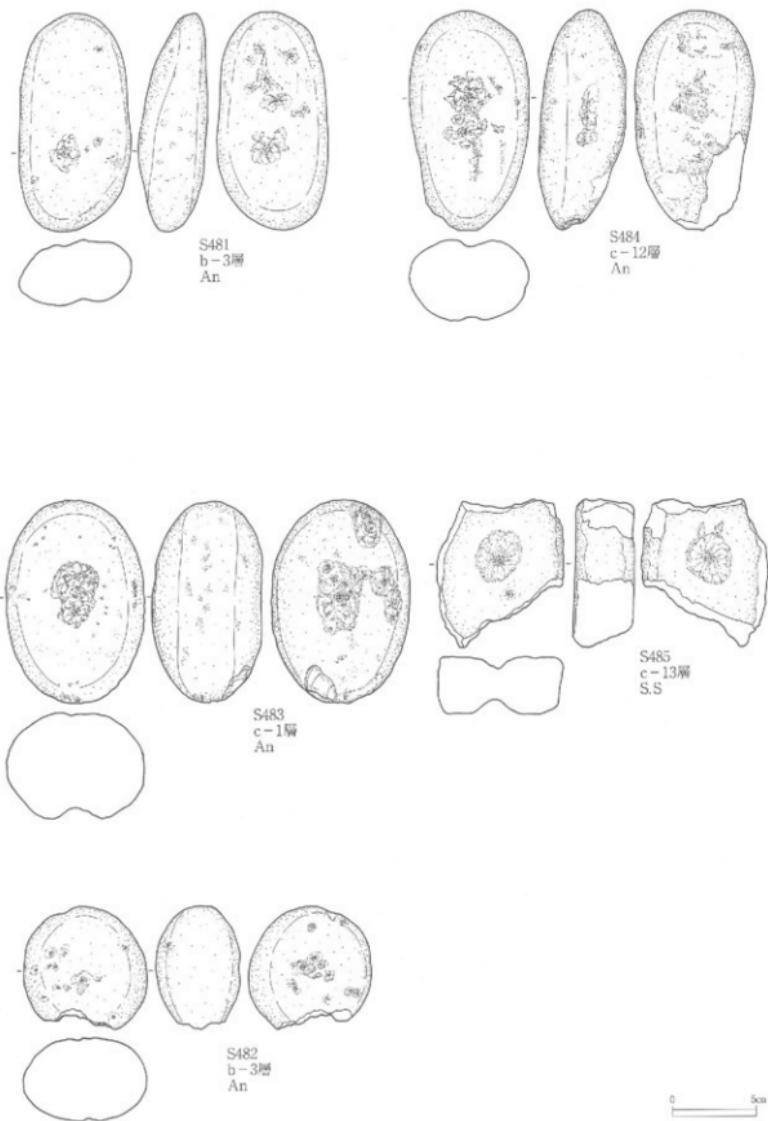
第160図 B区石器35



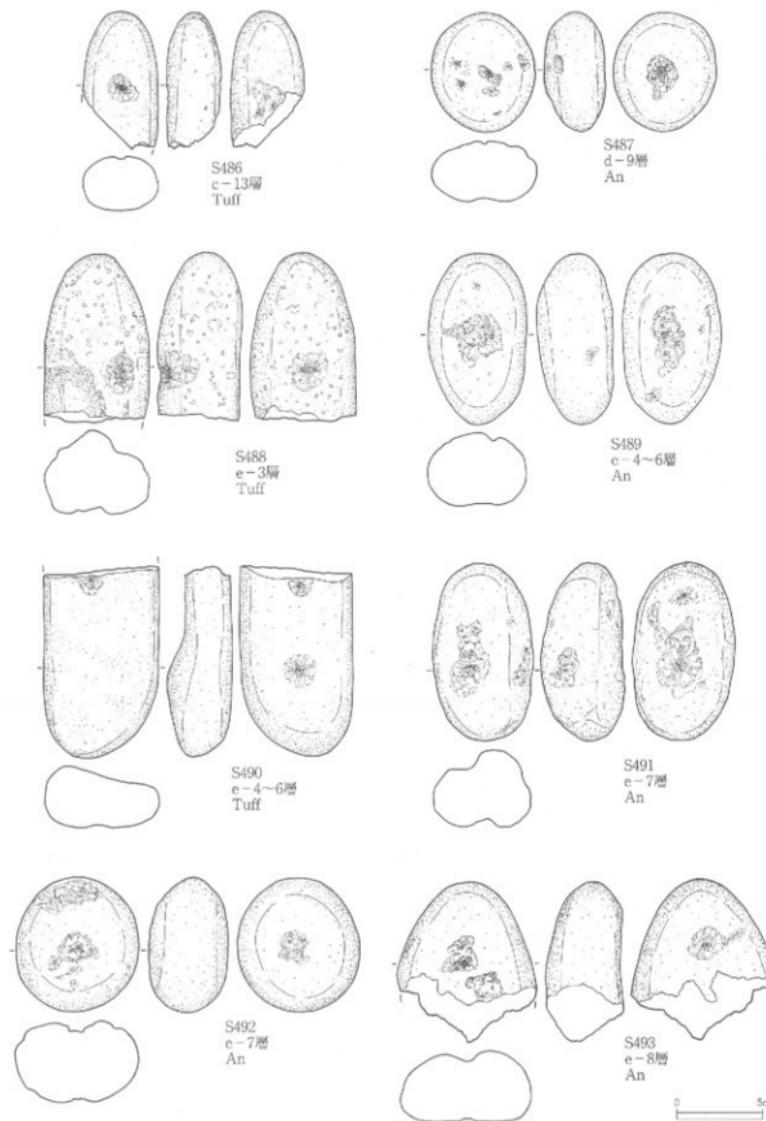
第161図 B区石器36



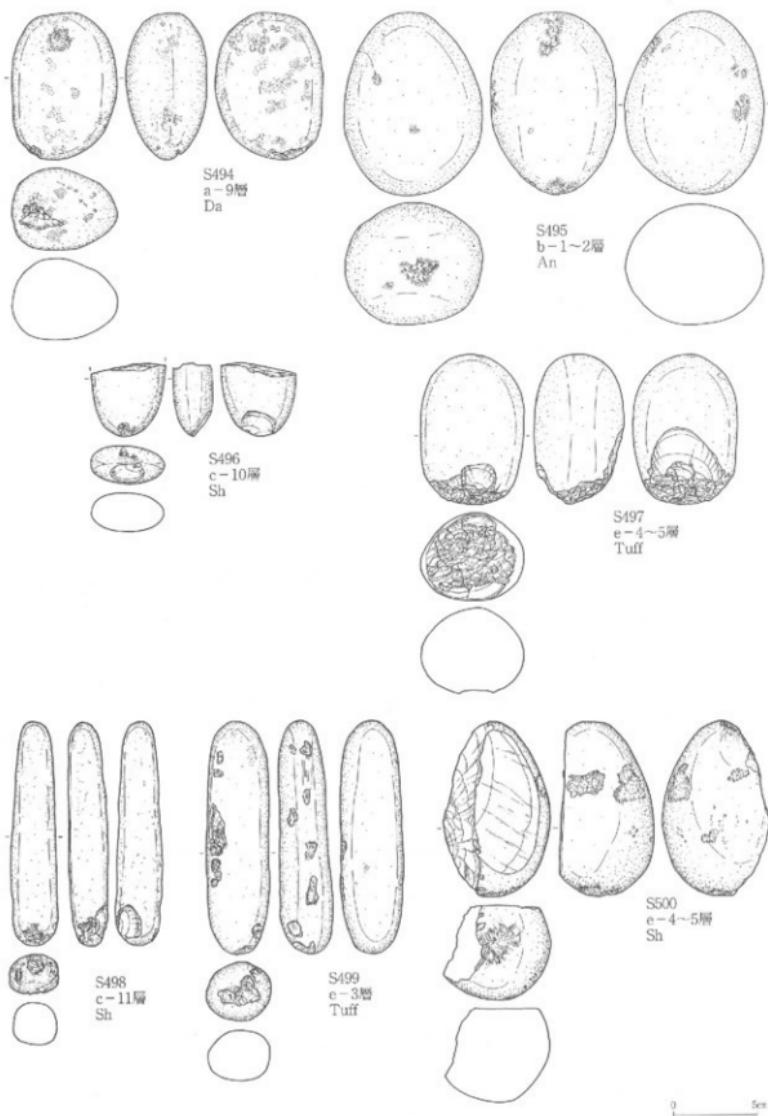
第162図 B区石器37



第163図 B区石器38



第164図 B区石器39



第165図 B区石器40

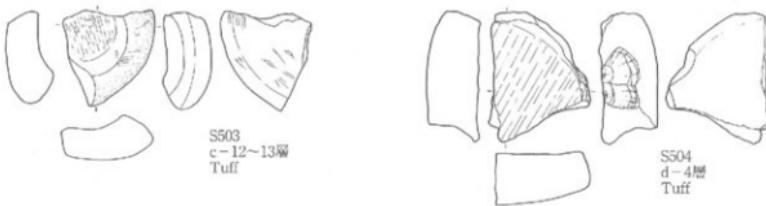
石皿（第166～169図、写真図版123・124：S501～S509）

9点出土し、9点図示した。安山岩、凝灰岩を多用している。凝灰岩製は安山岩製やデイサイト製に比べてやや小さい傾向にある。裏面に凹痕が見られることが多い。大半は破損品で、一部は凹石など他の器種へ転用している。S505はデイサイト製で、低い脚部をもち、器体中央から欠損している。S506・S507は安山岩製の有溝石皿で、裏面には擦痕が見られ、S507には凹痕が認められる。正面の凸部に入念な研磨がされているが、研磨方向は一定でない。



S501
a-1～3層
S.S

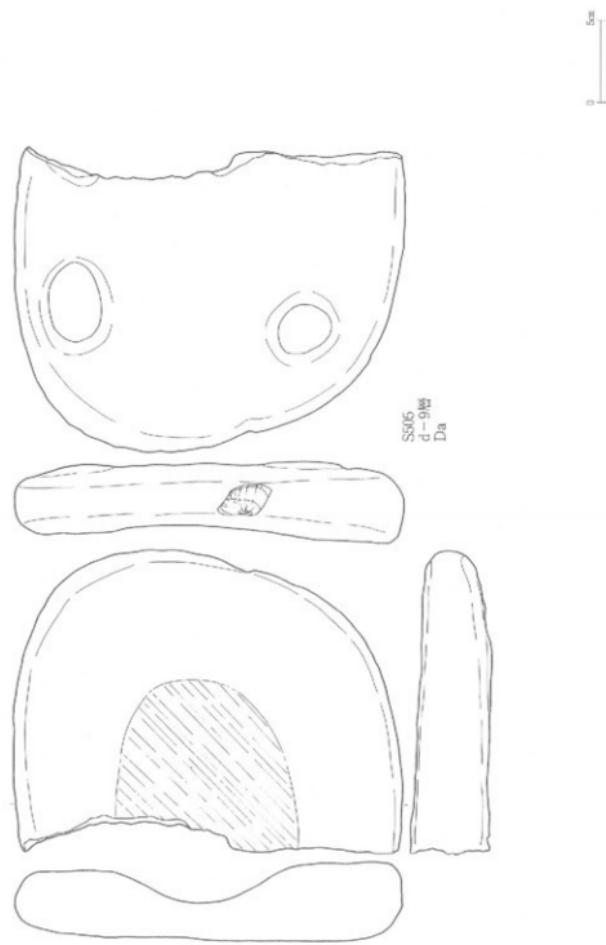
S502
c-1層上部
An



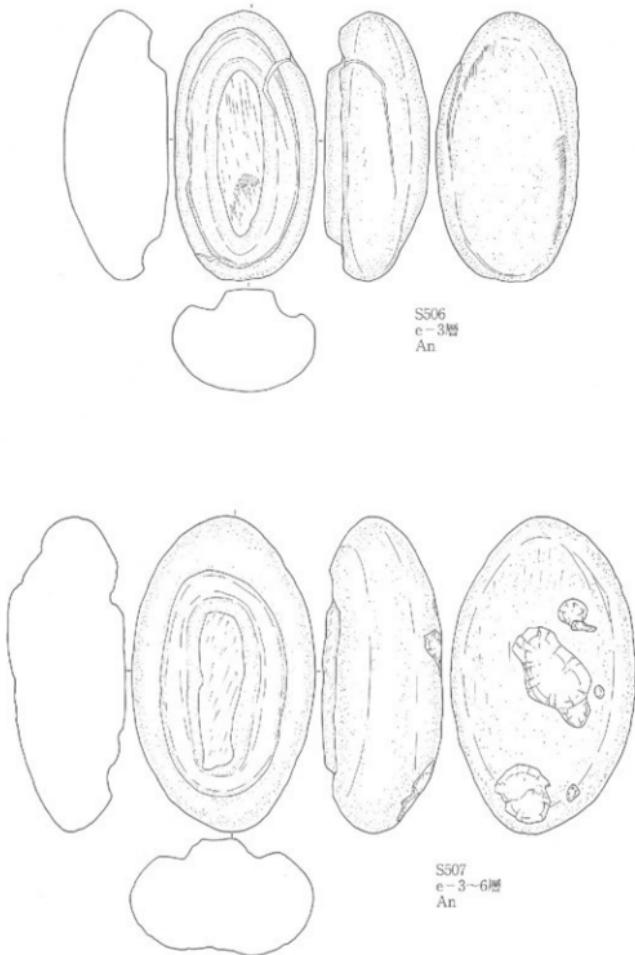
S503
c-12～13層
Tuff

S504
d-4層
Tuff



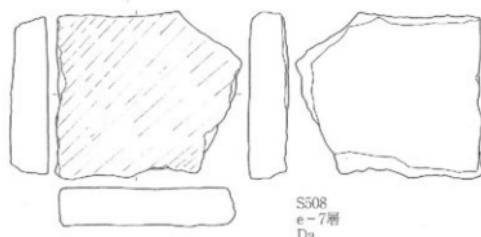


第167図 B区石器42

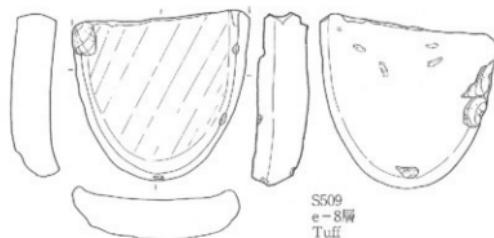


0 5cm

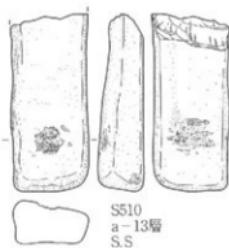
第168図 B区石器43



S508
e-7層
Da

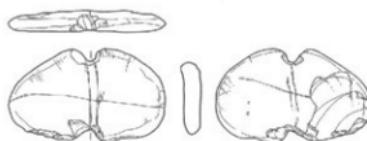


S509
e-8層
Tuff



S510
a-13層
S.S

0 1cm



S511
b-6~7層
Sh

0 1cm

第169図 B区石器44

台石（第169図、写真図版120：S510）

1点出土し、1点図示した。S510は扁平な砂岩を素材としている。使用時に形成されたと考えられる放射状列痕や線状痕が表裏面に見られ、上端を欠損する。

石錘（第169図、写真図版117：S511）

1点出土し、1点図示した。S511は頁岩製の扁平礫を素材とし明確な抉入部を持つ。抉入部は打撃によって作出されている。なお、石製品と分類した資料で凝灰岩製の円礫に溝を巡らせる資料が数点存在するが、それらは石錘未製品の可能性がある。

石棒A（第170・171図、写真図版124：S512～S522）

16点出土し、11点図示した。頁岩製が主体を占め、すべて破損品である。製作時の敲打や調整剥離が明瞭に残る資料（S517・S519）は大形品である。横断面は円形（S514・S516・S517・S519・S520・S522）が多く、梢円形は少ない。破損は割面の剥離の状況からみて意図的であり、中にはS518・S519のように割口に再調整や敲打痕が見られる資料もある。S515は頭部を線刻によって区画し、亀頭状のモチーフを描出している。S520は精巧なつくりで、形態や文様などから石剣の頭部の可能性もある。左右に突起を有し入組文を描出し、上面はよく磨かれている。S522は表面中央部が赤化し、被熱によるものと考えられる。

石棒B（第171～173図、写真図版125：S523～S528）

6点出土し、6点図示した。石材は頁岩とホルンフェルスが使用されている。石棒・石刀・石剣など棒状石器の未製品と思われるが、接合作業を進めていないため本遺跡で製作されたかは不明である。S525・S528は長さ30cmを越える大形品で、板状に近い素材の周辺を直接打撃によって粗割り後、形成された後を敲打によって漸している。石棒Bはこうした調整と敲打の繰り返しによって徐々に成形されていくと考えられる。

石剣（第173図、写真図版125：S529）

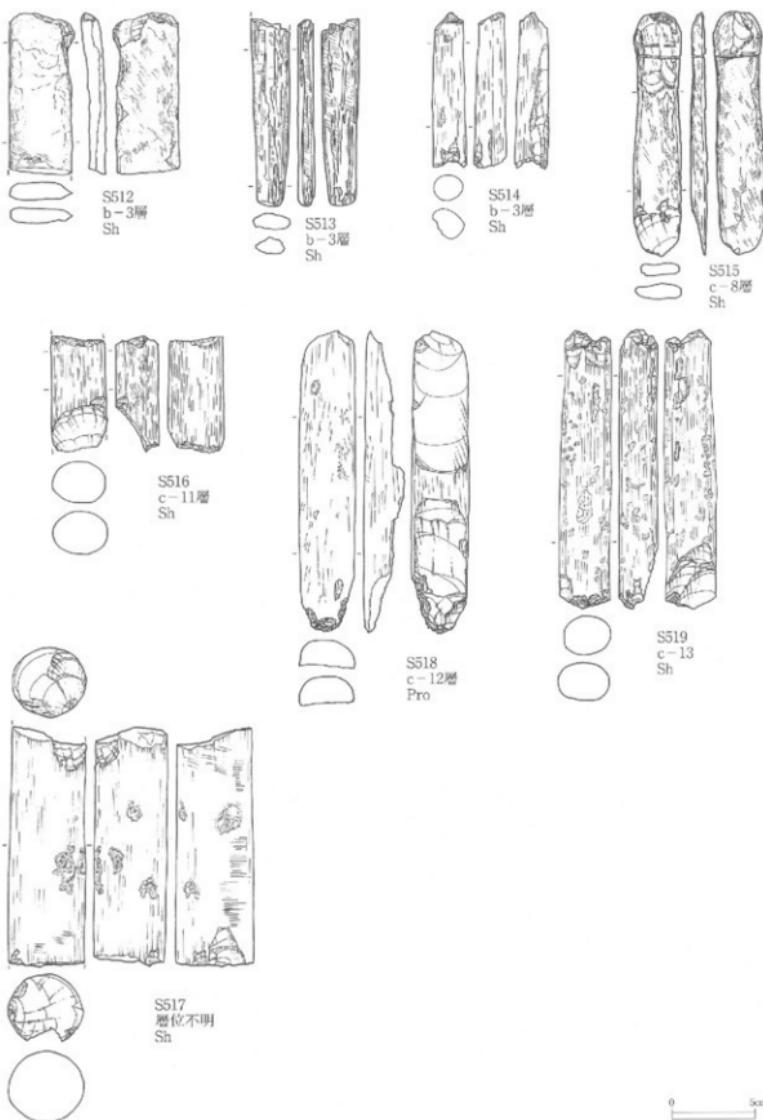
1点出土し、1点図示した。頁岩製で頭部側を欠損する。被熱によると見られる赤化が表面と削面に及んでいるが、表面の敲打痕は赤化しない。側縁の刃部作出は明瞭で、刃部角110～115°である。

石刀（第173・174図、写真図版125：S530～S533）

6点出土し、4点図示した。頁岩とホルンフェルスが使用され、頭部残存資料では緩いくびれをもつ（S530・S531）。S532は長さ46cmを計る大形品だが、調整剥離痕が残存し、研磨が行き届いていない。未製品状態で廃棄されたと考えられる。

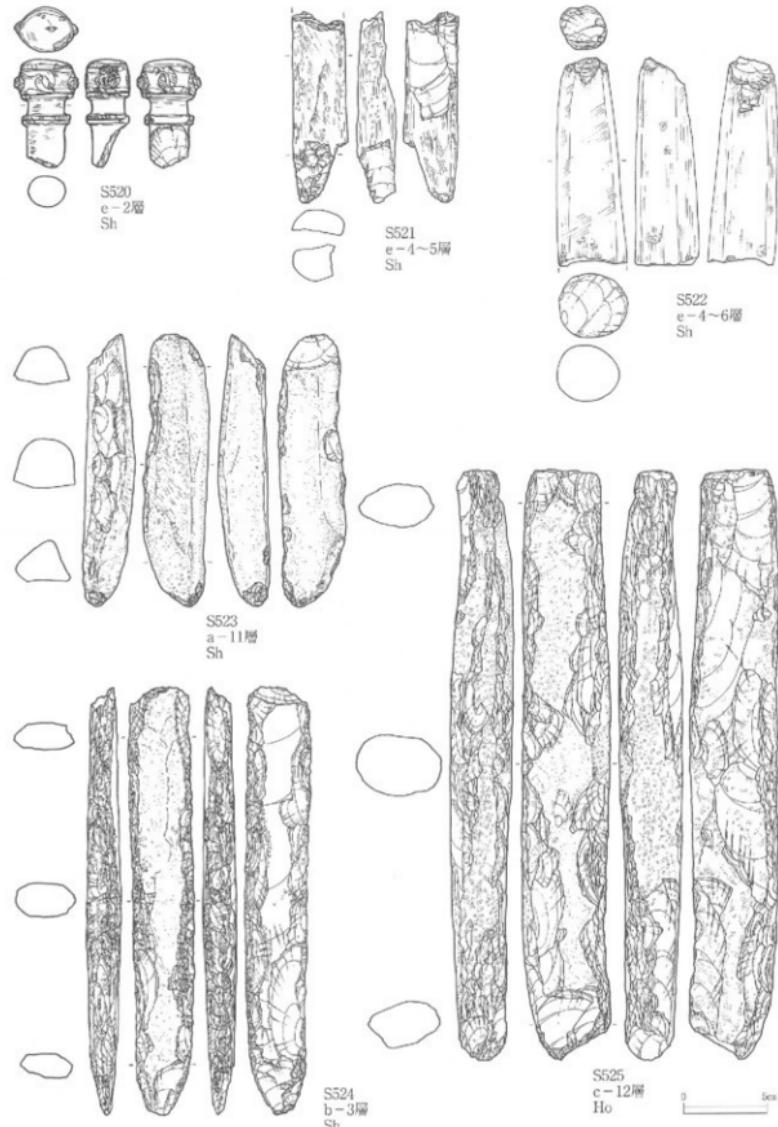
円盤形石器（第175・176図、写真図版115：S534～S545）

13点出土し、12点図示した。頁岩製、デイサイト製が多く、大半が6×6cmの範囲にまとまる。板状の素材周辺を打ち欠いただけの資料が主体だが、表裏面を磨面とするもの（S534・S535・S536・S542）も一定量みられる。

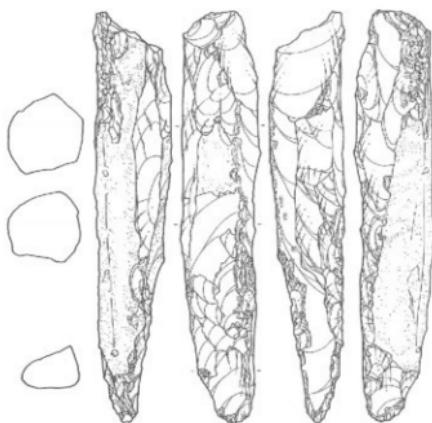


第170図 B区石器45

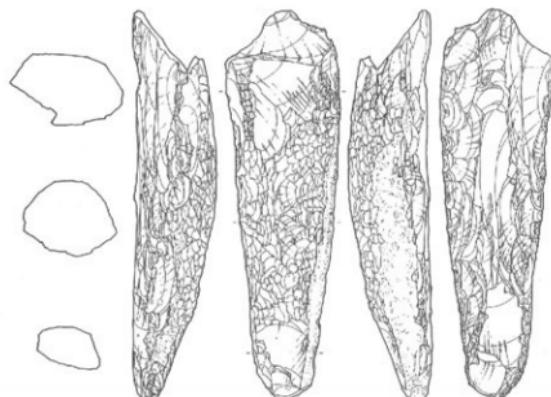
5 石器・石製品



第171図 B区石器46

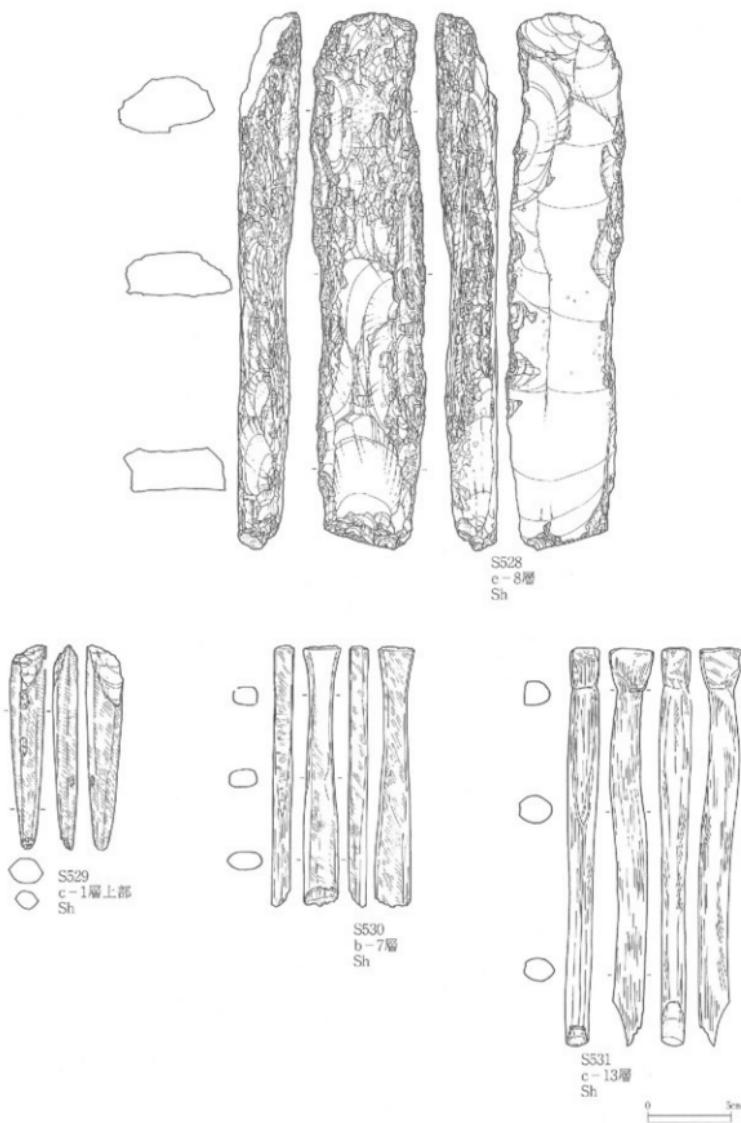


S526
d-1層上部
Sh



S527
d-6-8層
Sh

0 5cm



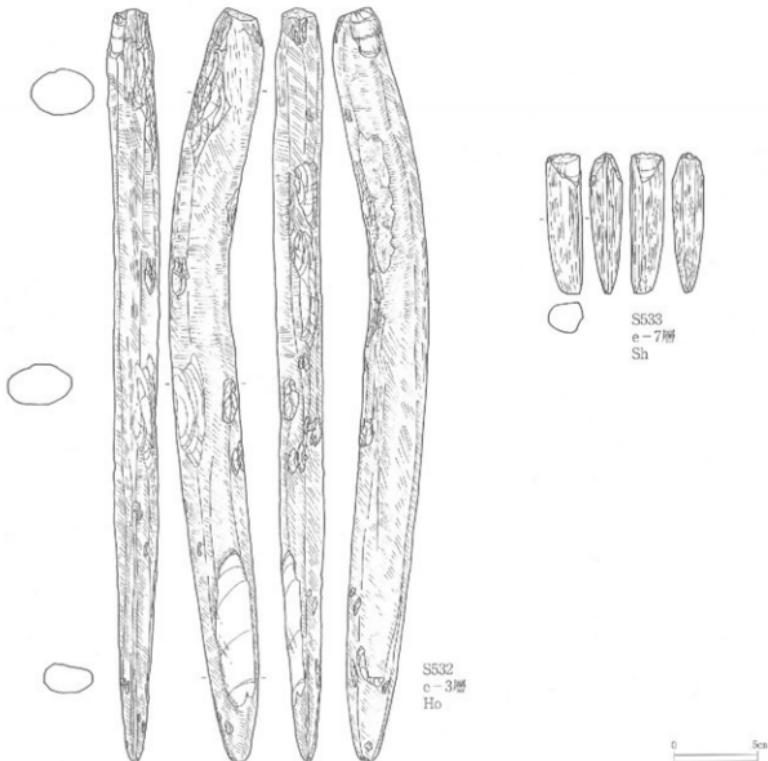
第173図 B区石器48

有孔石器 (第176・177図、写真図版116: S546～S569)

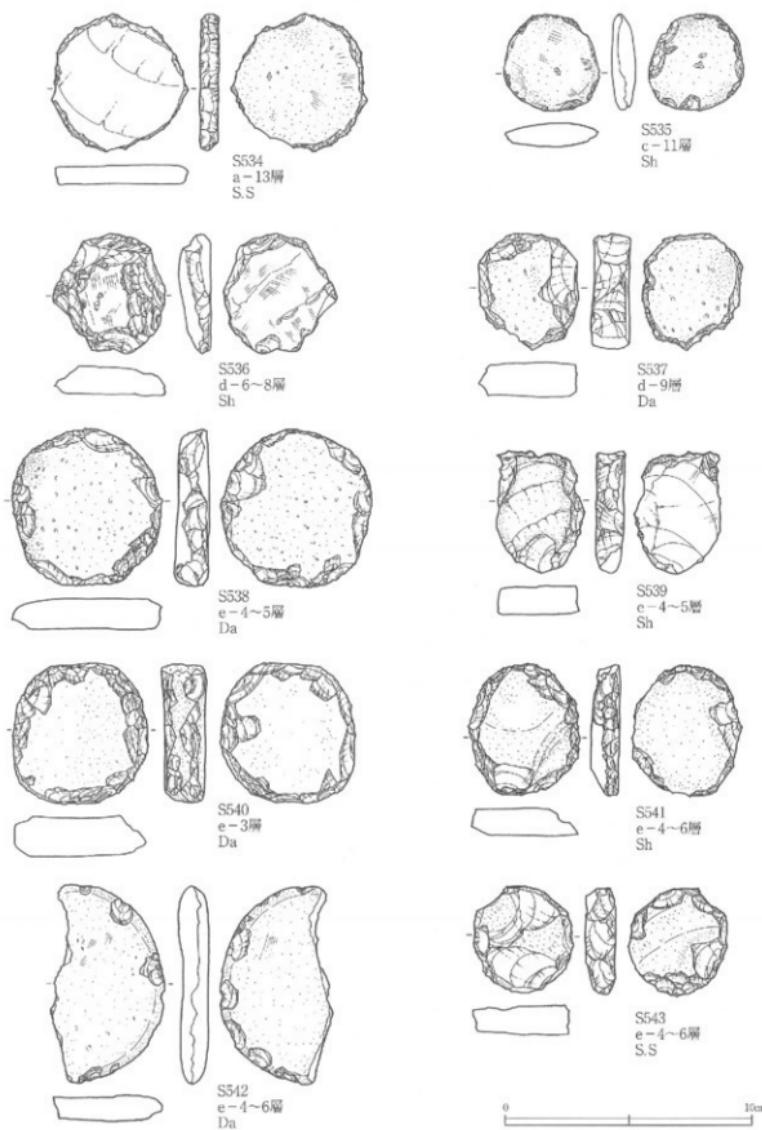
26点出土し、24点図示した。石材は頁岩、砂岩、蛇紋岩、軽石、結晶片岩、凝灰岩が使用されている。穿孔部形状は円形が多く、大形品では楕円形が主体的である。また、穿孔作業を中断している資料 (S567・S569) も見られる。有孔石器のうち白玉 (S554～S556) やベンダント (S557) がII C98グリッドからまとめて出土していることから、B区の一部に墓域の存在した可能性がある。S551は頁岩製で器体中央に2ヶ所の穿孔部をもち、上部には三叉文を描出している。S557は頁岩製で周縁に刻目が施され、被熱によると見られる赤化した器面は入念に磨かれている。

岩版 (第178図、写真図版117: S570～S572)

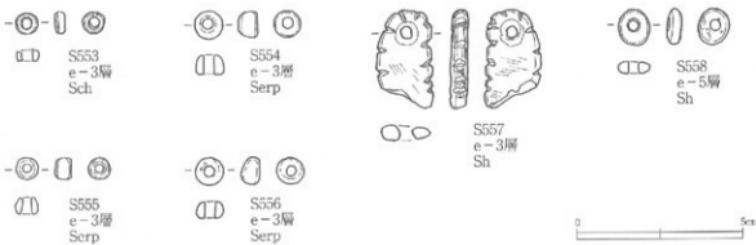
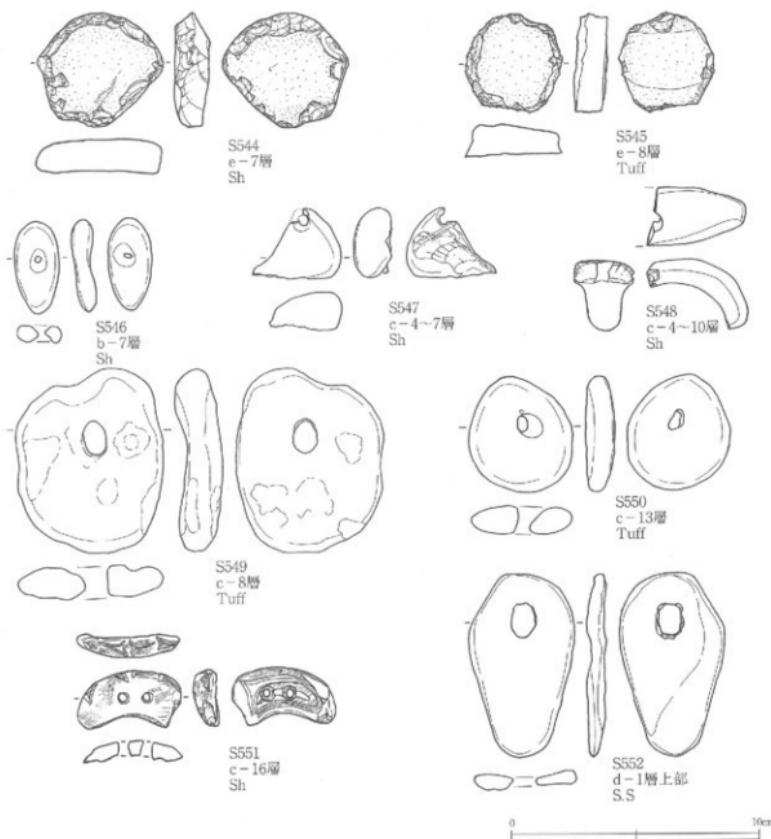
4点出土し、3点図示した。S570～S572はすべて凝灰岩製で、c堤防内のIII C17グリッドから出土している。S571とS572は同一個体と思われ、断面V字状の深い線刻が施されている。



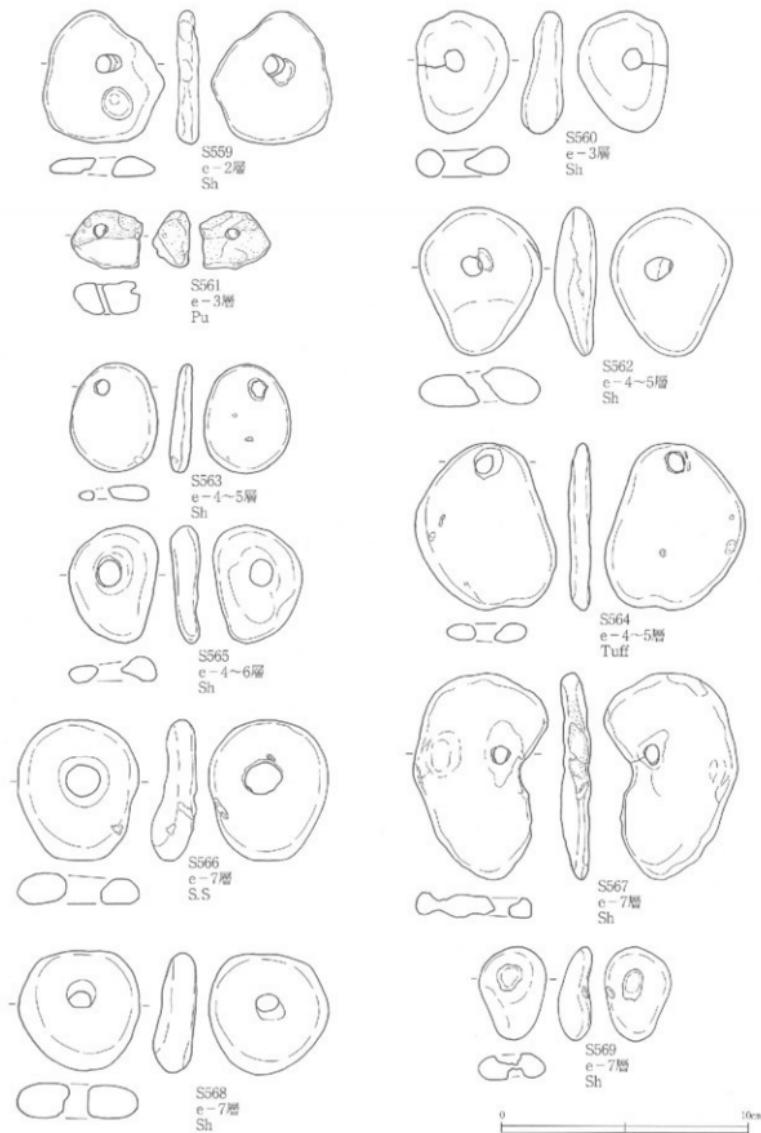
第174図 B区石器49



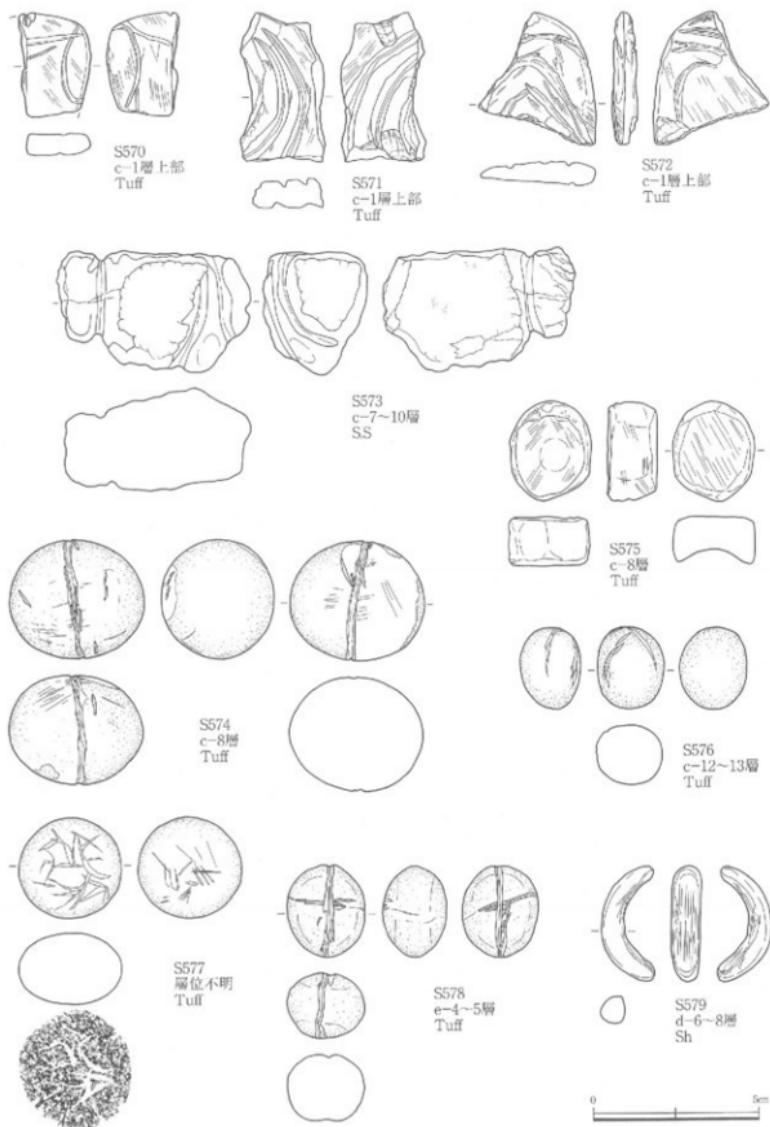
第175図 B区石器50



第176図 B区石器51



第177図 B区石器52



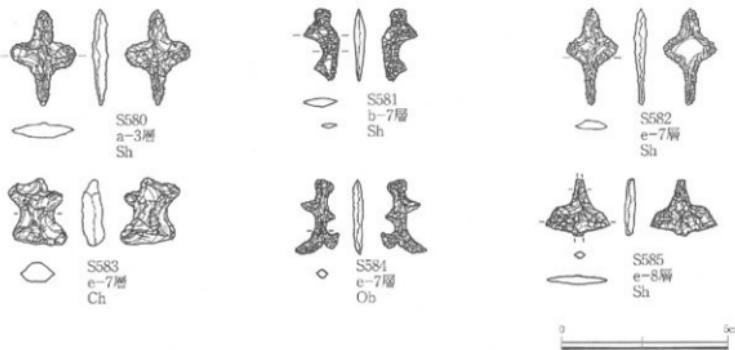
第178図 B区石器53

その他の石製品（第178図、写真図版126：S573～S579）

その他の石製品を一括した。7点出土し、7点図示した。線刻が施されているものは凝灰岩製である。S575は皿形石製品で、底面は平坦で切り取ったような外縁を呈する。S574・S576・S578は石錐の可能性がある資料である。いずれも凝灰岩製で、浅い溝が刻まれている。S577は凝灰岩製でB区出土だが、グリッド・層位は不明である。「弓を持つヒト？」の線刻画と捉えたが、線の重複が見られ明確な根拠に欠ける。S579は頁岩製で、表面は被熱により赤化し、内面側に擦痕が認められる。

異形石器（第179図、写真図版117：S580～S585）

7点出土し、6点図示した。S580・S582は頁岩製で十字形を呈する。形態は石錐あるいは石錐に類似する。S583はチャート製でヒト形を呈するが、石錐未製品の可能性も考えられる。S584は黒曜石製で微細な調整が施された釣針状を呈する。



第179図 B区石器54

(4) C 区

a) 概要

C区縄文時代調査は遺物包含層を中心に行っている。主たる出土遺物分布領域はB区e堤防の延長上にあるⅢDグリッドである。

C区出土全資料に当てはまらないが、大まかにⅣD・ⅣE区出土資料は平成14年度基本土層に、ⅢD区出土資料は平成15年度基本土層に対応する。詳細は遺物観察表を参照されたい。

遺物は縄文時代後期前葉～晚期までの土器・石器が出土している。石器は石鏃、尖頭器、石錐、スクレイパー類、楔形石器、剥片類、石核、礫器、打製石斧、磨製石斧、磨石類、凹石類、敲石、石皿、台石が出土し、製作残滓の剥片類・石核が主体である。石製品では円盤型石器、石棒、石刀、石剣、有孔石器、鑿齒状石器、その他の石製品が出土している。

b) 出土遺物

石鏃 (第180図、写真図版104 : S586～S600)

75点出土し、15点図示した。石材は頁岩を主体とし、黒曜石、メノウなどが使われている。形態のバリエーションはB区出土石鏃と変わりない。S598は頁岩製の有茎尖基石鏃で裏面にアスファルトが付着している。S588・S599は黒曜石製で小赤沢産である。S592は頁岩製の円基石鏃で器体下半部に最大厚をもつ。横断面形は菱形に近く、製作時に厚みの除去に執着していないように思われる。

尖頭器 (第180図、写真図版105 : S601・S602)

6点出土し、2点図示した。S601は大形で先端部を欠損し、削器に近い周縁調整を施している。S602は3号トレンチ出土の小赤沢産黒曜石製で先端部を欠損する。

石錐 (第181図、写真図版108 : S603～S605)

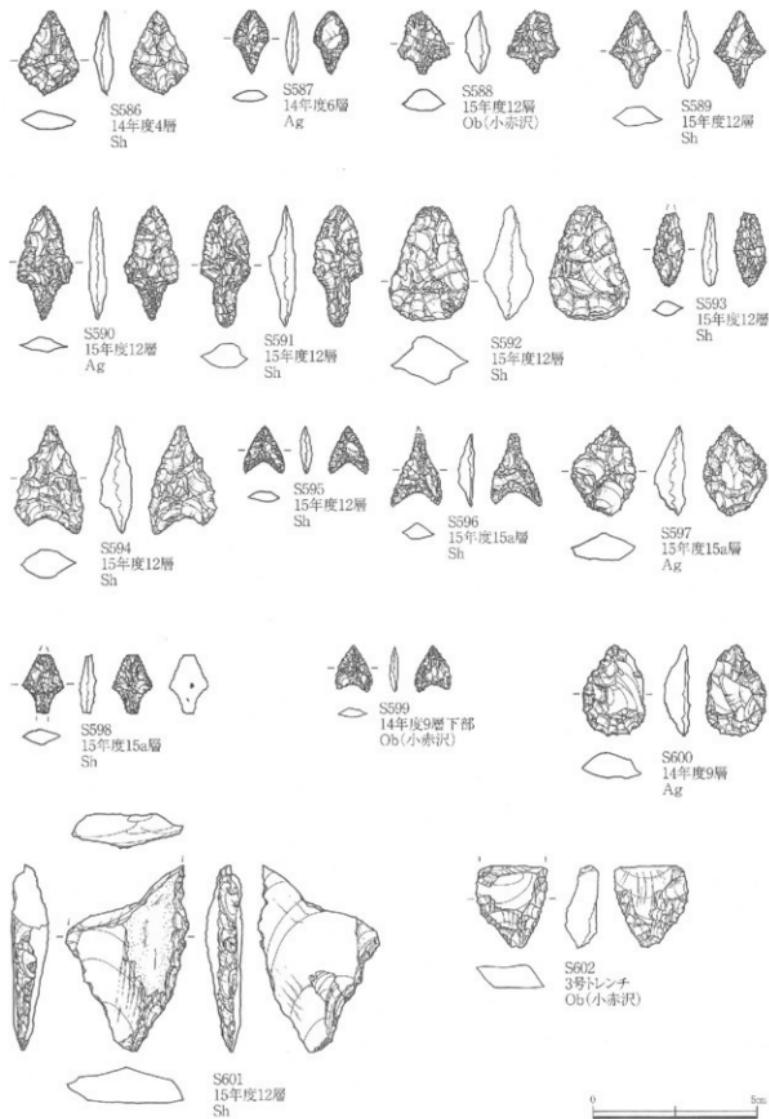
10点出土し、3点図示した。10点とも頁岩製で、1類が主体を占める。S603は頁岩製の3類で先端部に摩滅が見られる。S605は頁岩製で錐部先端を欠損している。

石匙 (第181図、写真図版110 : S606～S608)

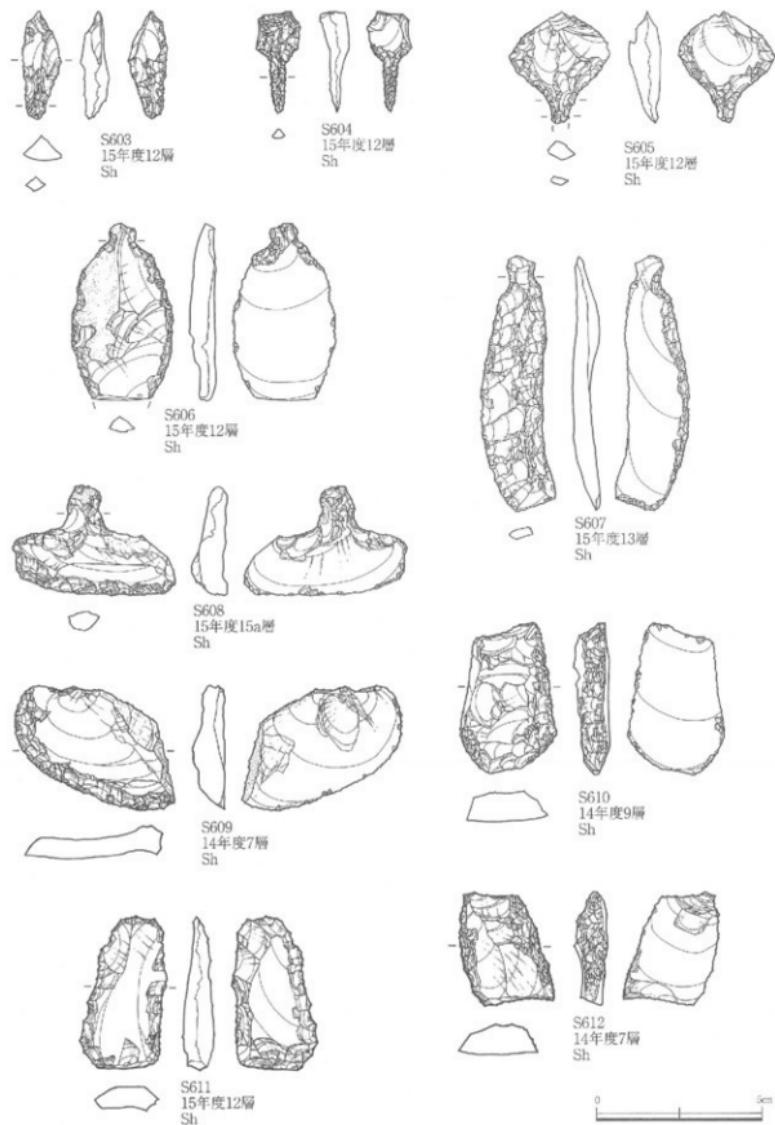
8点出土し、3点図示した。多くはⅢD区から回収した。8点の抉入部幅は類型に関係なくほぼ1cm程度である。S606は頁岩製の縱型で先端部を欠損する。素材剥片は自然面の残る石核を90度打面転移によって作出されたと理解できる。S607は赤色頁岩製の縱型で、横長素材を横位に用い、側縁部に入念な押圧剥離によって刃部を形成している。S608は頁岩製の横型で、素材バルブを除去するようにはみ部を作出している。縱型に比べて抉入部が厚く、刃部角は平均80度を計る。

搔器 (第181図、写真図版111 : S609～S610)

2点出土し、2点図示した。いずれも頁岩製で素材を正位に用いる。周縁の半分以上を刃部とし端部は急角度の刃部を作出している。

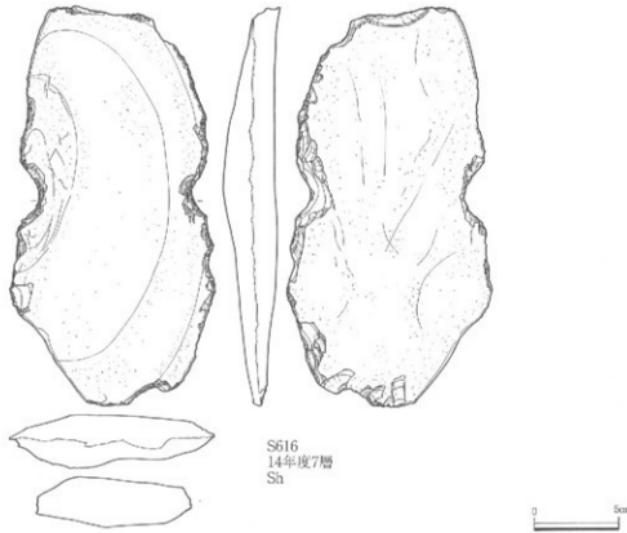
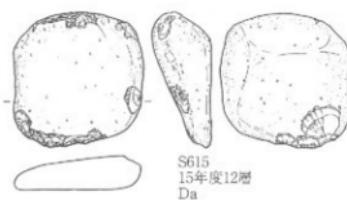
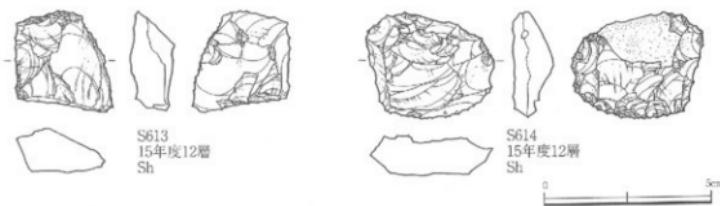


第180図 C区石器 1



第181図 C区石器2

5 石器・石製品



第182図 C区石器3

削器（第181図、写真図版113：S611・S612）

7点出土し、2点図示した。7点とも頁岩製である。S611は両側縁に刃部を設定し、表裏面に連続した調整を施している。S612は正面右側縁の刃部角が60度以上あり、搔器的な使用が想定される。

楔形石器（第182図、写真図版114：S613・S614）

37点出土し、2点図示した。石材は頁岩、黒曜石、メノウを使用している。B区出土楔形石器と同様の傾向で、頁岩製はやや大形である。

礫器（第182図、写真図版120：S615）

1点出土した。S615はディサイト製で、平面形が正方形に近い素材を用い、器体の薄い端部のみを打ち欠いている。

打製石斧（第182図、写真図版120：S616）

1点出土した。S616は頁岩製で、横断面形は凸レンズ状で器体中央に抉入部をもつ。大形で最大長24.5cm、重量947.53gを量る。端部に衝撃剥離と思われる剥離が散見されることから、下端を刃部とした打製石斧と分類したが、北上川に隣接する遺跡の地形的環境を考慮すれば、漁労具としての大形石錐と捉えても問題ない。

磨製石斧（第183図、写真図版119：S617～S620）

4点出土し、4点図示した。形態は4点とも分銅形で、刃部には使用痕と思われるダメージが見られる。S617は基部側を欠損するが、折断面を再加工していることから基部破損後も使用した可能性がある。S620は蛇紋岩製で他のC区出土資料より小さく、破損も基部にわずかに認められる程度である。

磨石C（第183図、写真図版121：S622）

3点出土し、1点図示した。S622は砂岩製で下端部を欠損し、表裏面の器体中央に凹痕を有する。

磨石D

3点出土している。図示していないが、3点とも砂岩製でⅢD区から出土した。形態的特徴はB区出土資料と同様である。

凹石A（第183図、写真図版122：S621）

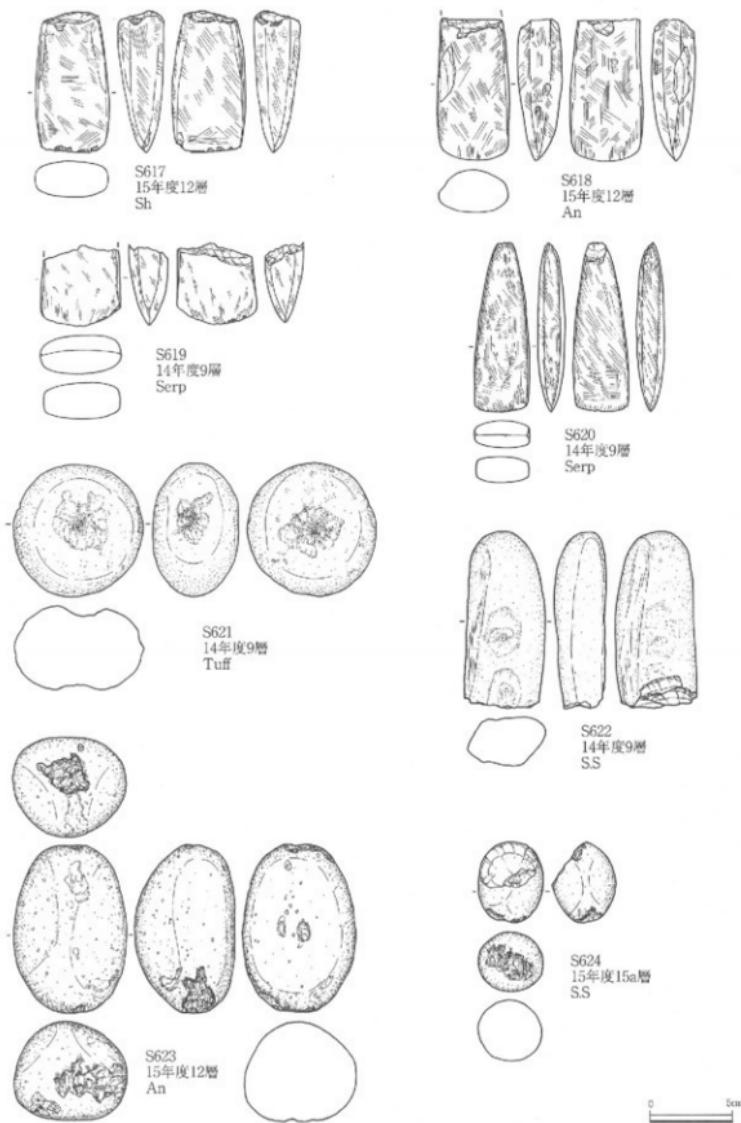
1点出土し、1点図示した。S621は凝灰岩製で表裏面および側面に凹痕がある。風化が著しく擦痕の有無は不明である。

凹石B

2点出土した。図示していないが、素材はやや綾長で、石材は砂岩と凝灰岩を使用している。

敲石（第183図、写真図版122：S623・S624）

5点出土し、2点図示した。S623は安山岩製で上下両端と裏面中央に敲打痕が見られる。S624は砂岩製で小形品である。上下両端に敲打痕が見られ、上部の一部を欠損している。



第183図 C区石器4

石皿（第184・185図、写真図版123・124：S625～S628）

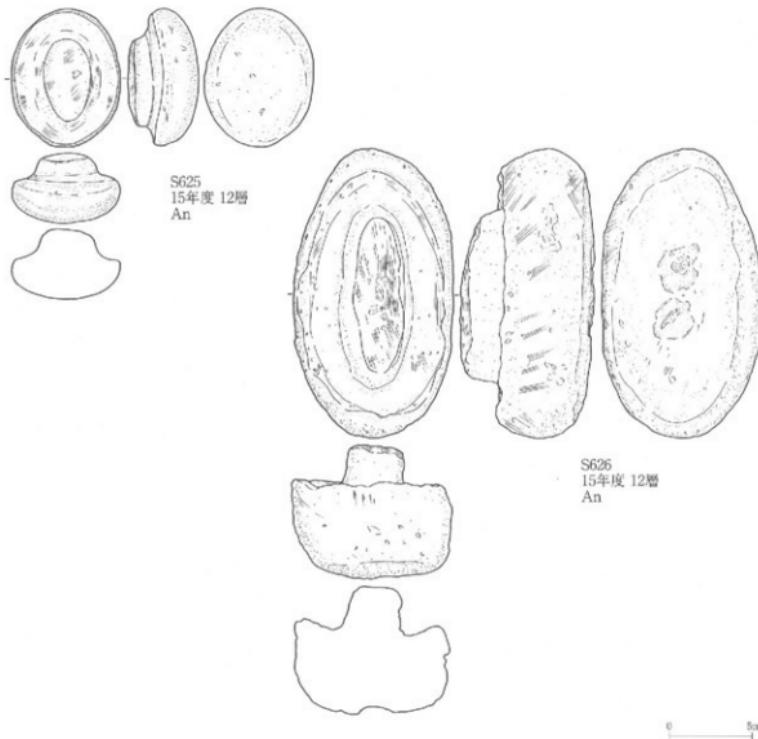
5点出土し、4点図示した。S625は小形の有溝石皿である。サイズからは石皿模倣の石製品とすることも可能である。S626は安山岩製の有溝石皿で、凸部が平坦で擦痕も明瞭である。裏面には2ヶ所凹痕がある。

石棒B（第186図、写真図版125：S629）

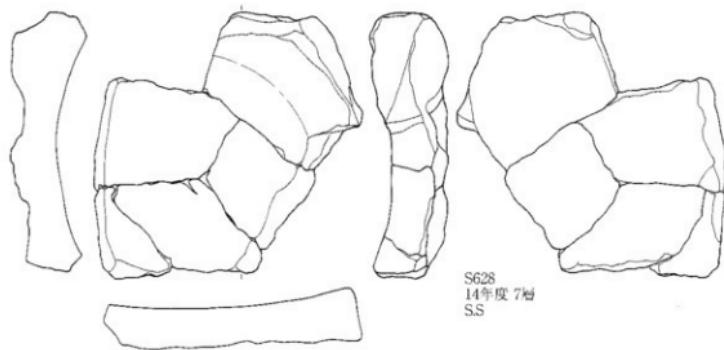
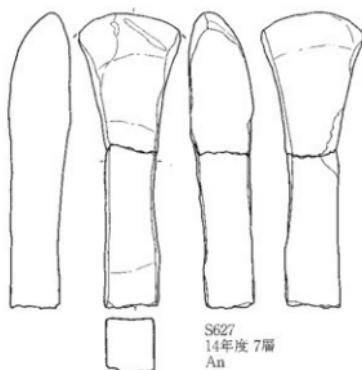
1点出土した。S629は扁平な頁岩製棒状礫を素材とし、上部を折断により欠損する。欠損後の再調整はしていない。両側面に敲打痕が著しい。

石剣・石刀（第186図、写真図版125：S630～S633）

石剣（S630・S631）、石刀（S632・S633）とも2点ずつ出土し、2点とも図示した。S631は頭部側を欠損し被熱により全面赤化している。S632はホルンフェルス製で背部は研磨されていないため未製品と考えられる。S633は基部、先端部を欠損している。

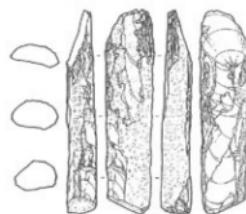


第184図 C区石器5

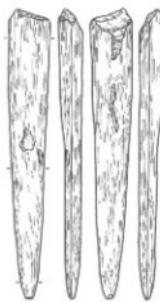


0 5cm

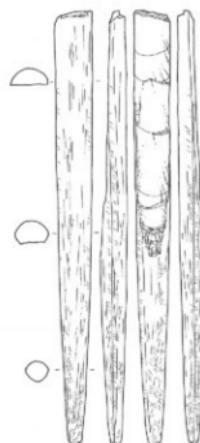
第185図 C区石器6



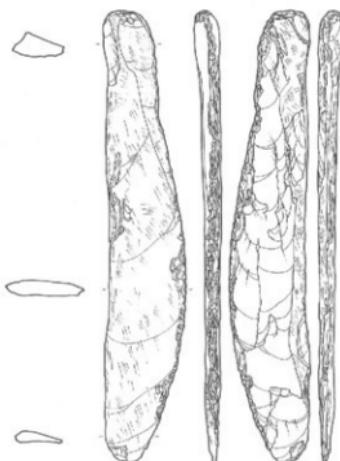
S629
14年度 4層
Sh



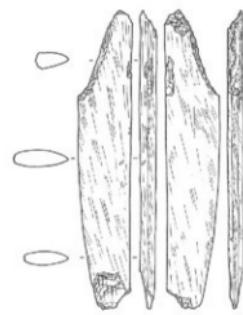
S630
15年度 15a層
Sh



S631
層位不明
Sh



S632
15年度 12層
Ho



S633
15年度 12層
Sh

0 5cm

円盤形石器（第187図、写真図版115：S634）

1点出土した。頁岩製で、板状素材の形状を大きく変えることなく周縁のみ調整している。

有孔石器（第187図、写真図版117：S635・S636）

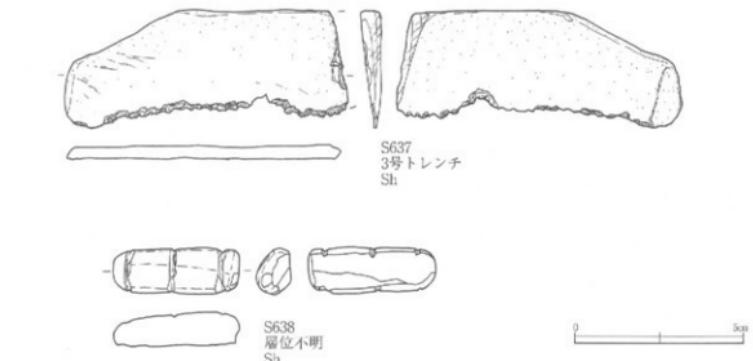
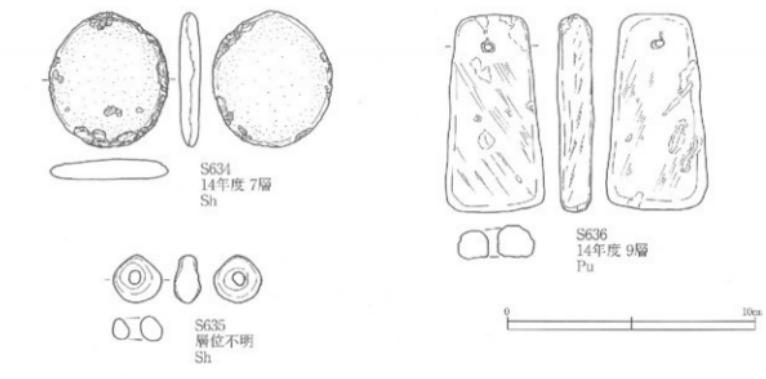
2点出土し、2点図示した。S636は扁平な軽石を素材として器体上部に穿部を1ヶ所もつ。

鋸齒状石器（第187図、写真図版117：S637）

1点出土した。頁岩の板状縞を素材とし、その縁辺に鋸齒状の刃部を作出している。刃部中央に破損痕跡と思われる挿入部が1ヶ所見られる。

その他の石製品（第187図、写真図版126：S638）

1点出土した。3ヶ所に溝が巡り、石鎚の可能性がある。



第187図 C区石器 8

(5) D 区

a) 概要

D区では造構を確認できず、縄文時代遺物包含層を中心に調査を行っている。出土数は少なく、広範囲に遺物が点在する状況で集中部を形成していない。なお、隣接する平成12年度調査区では弥生時代の遺物が出土している。

D区の縄文時代遺物は平成14年度調査出土資料が主体で、土層注記は14年度基本土層を記載している。遺物は縄文時代後期～晩期の土器と縄文時代石器が出土している。石器は石鏃、尖頭器、石錐、搔器、剥片類、石核、磨製石斧、石皿が出土し、製作残滓の剥片類・石核が主体で、トゥール類は少ない。石製品は1点出土している。単独出土品ばかりのため、明確な時期区分は難しい。特徴的な遺物として大形両面加工尖頭器と大形有脚石皿が出土している。

b) 出土遺物

尖頭器（第188図、写真図版105：S639）

1点出土している。S639は頁岩製の大形両面加工尖頭器で、バティナに覆われた後に正面右上側縁、左下側縁を調整している。時期の古い資料を再利用した可能性がある。横断面形は凸レンズ状で長軸のねじれも見られない優品である。

搔器（第188図、写真図版111：S640）

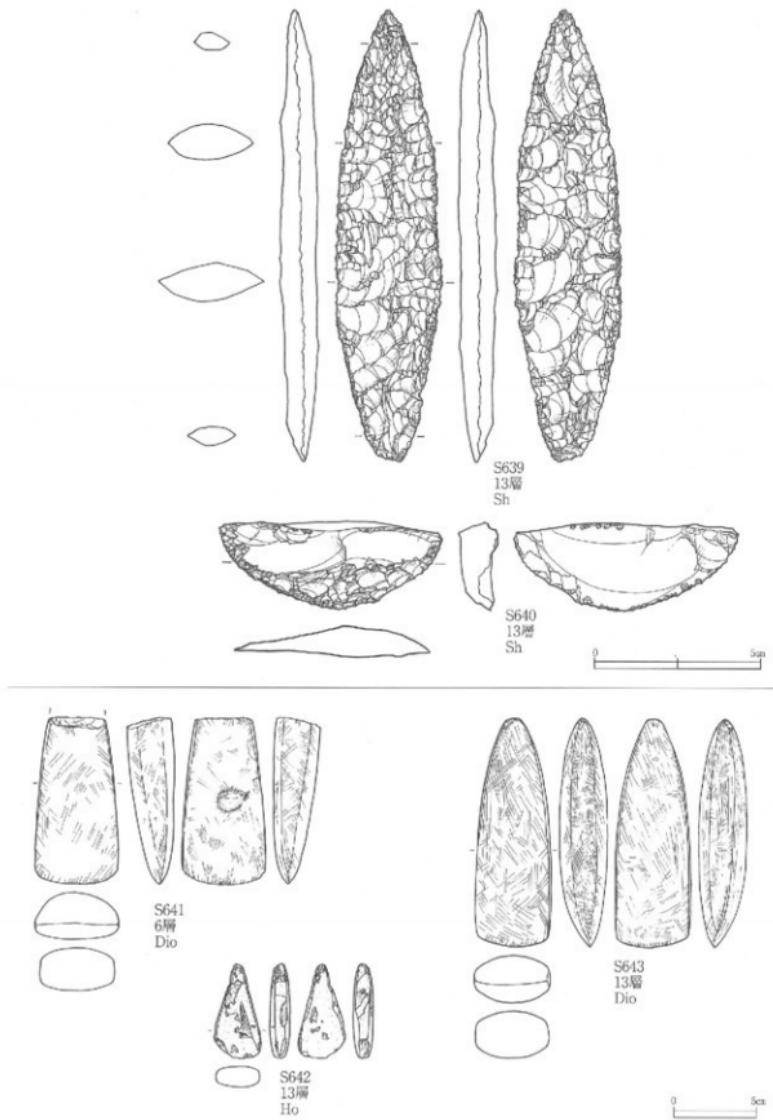
1点出土している。S640は頁岩製で横長素材を正位に用い、末端部に弧状の刃部を設定している。裏面左側縁部には後世の破損が顕著である。

磨製石斧（第188図、写真図版119：S641～S643）

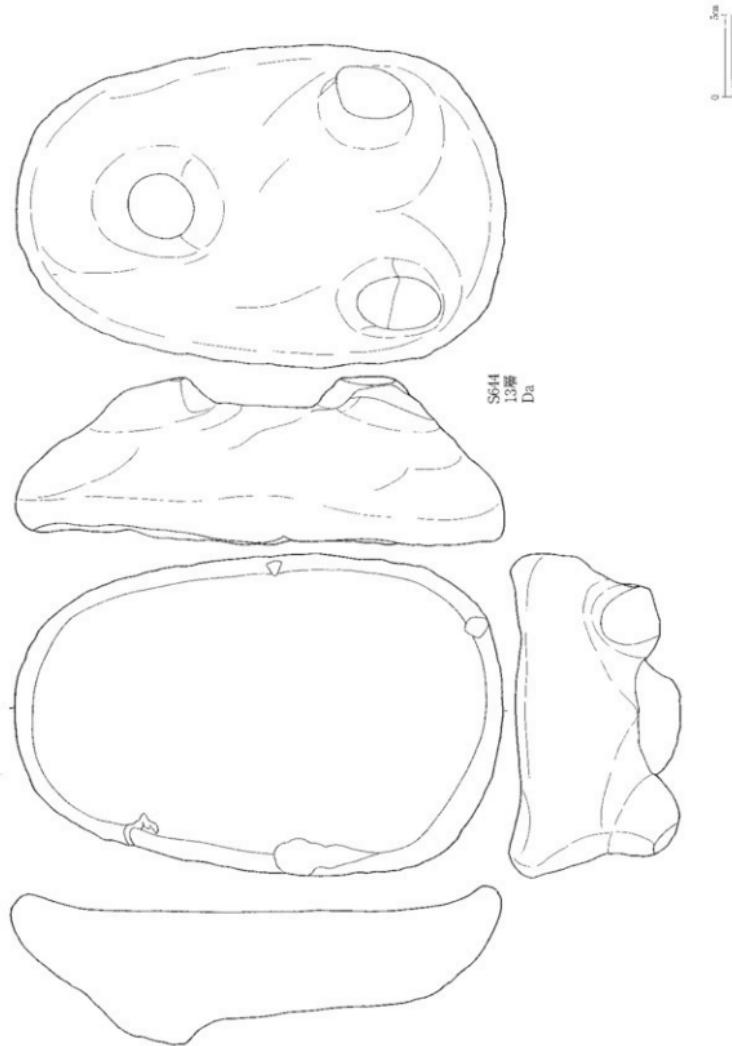
3点出土している。S641は閃緑岩製で基部側を破損し、裏面器体中央には敲打痕がある。刃部のダメージは少ない。S642はホルンフェルス製で、剥離面が残存していることから未製品の可能性がある。S643は閃緑岩製で完形品である。基部と刃部のわずかな剥離は使用によるものと考えられる。

石皿（第189図、写真図版123：S644）

1点出土した。S644は三足の有脚石皿で奥羽山脈系デイサイトを素材とする。IVF83グリッド13層から出土し、伴出土器は後期初頭から中葉を主体とする。本遺跡での石皿の使用石材は、奥羽系の安山岩、デイサイトが主体を占めている。



第188図 D区石器 1



第189図 D区石器2

(6) E 区

a) 概要

E区は平成15年度に調査を行っている。遺構を確認できず縄文時代遺物包含層を中心に調査した。遺物出土量は少ないが、I B91、II B01グリッドに遺物集中部を形成していた。

遺物は縄文時代晚期の土器・石器が出土している。石器は石鏃、石錐、石匙、削器、楔形石器、剥片類、石核、打製石斧、磨石、凹石、敲石が出土し、製作残済の剥片類・石核が主体で、トゥール類は少ない。石製品は1点出土している。

b) 出土遺物

石鏃 (第190図、写真図版104 : S645～S650)

14点出土し、6点図示した。有茎石鏃の茎部がやや厚い傾向にある。S645は小赤沢産黒曜石製で先端からの衝撃剥離で右上半部を縱折れにより欠損する。S648は頁岩製で厚みがあり、基部と茎部にアスファルトが付着している。S650は頁岩製で周縁加工を施す。

石匙 (第190図、写真図版110 : S652)

1点出土している。S652は頁岩製で厚みのある素材の先端部付近に抜み部を設定している。抉入部は1.8cmを計り厚みがある。刃部は弧状を呈するが磨耗が激しい。

削器 (第190図、写真図版113 : S653)

1点出土している。S653は頁岩製で厚みのある素材の両側縁に刃部を設定している。横断面形は三角形に近く、背面には筋理面が残り、主要剥離面は風化している。刃部角は50～60度である。

楔形石器 (第190図、写真図版114 : S651)

6点出土し、1点図示した。6点とも頁岩製である。S651は背面に自然面を残し、主要剥離面全体には両側剥離が及んでいない。

打製石斧 (第191図、写真図版120 : S654)

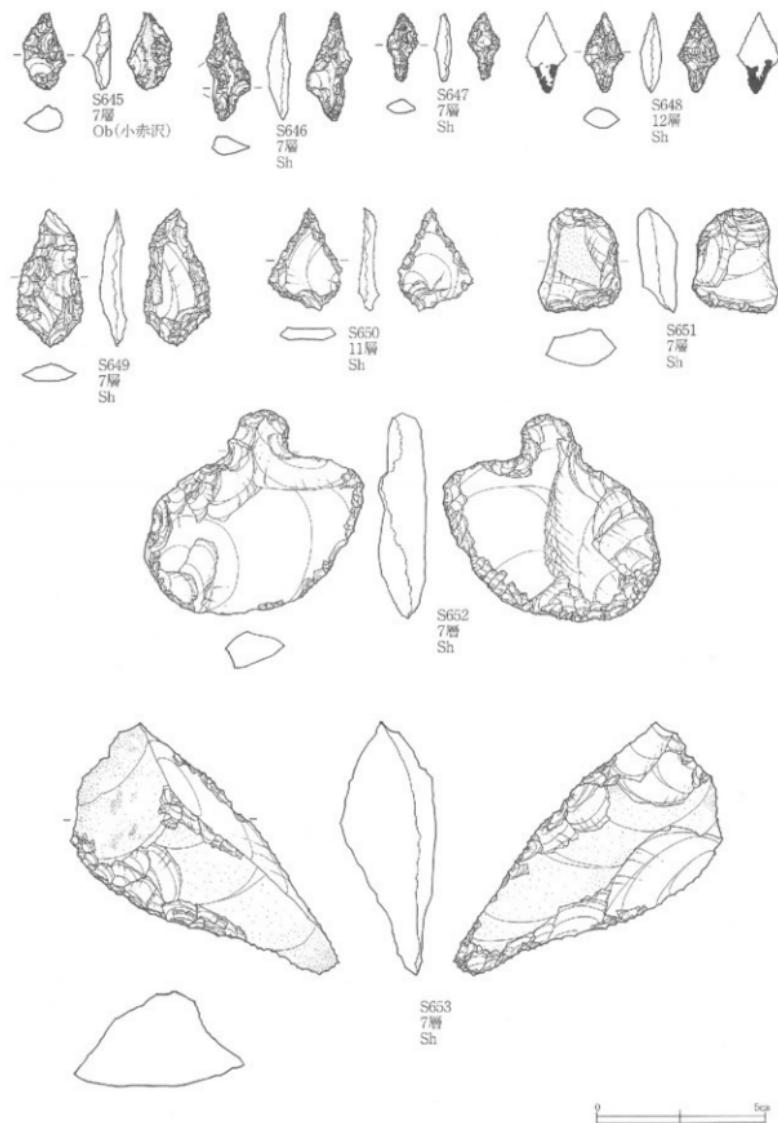
1点出土している。S654は頁岩製で分銅形である。自然面を多く残存した礫器に近い形態だが、周縁部を細かく調整している。基部には衝撃剥離痕が見られる。

磨石C (第191図、写真図版121 : S655)

1点出土している。S655は凝灰岩製で側縁部には線刻が見られる。円形に近い形状で重量383gを量る。凹痕は表面にのみ見られるが、敲打痕に近い。

凹石B (第191図、写真図版122 : S656)

3点出土し、1点図示した。S656は頁岩の板状素材を分割し、その平坦面に凹痕を残す。



第190図 E区石器 1

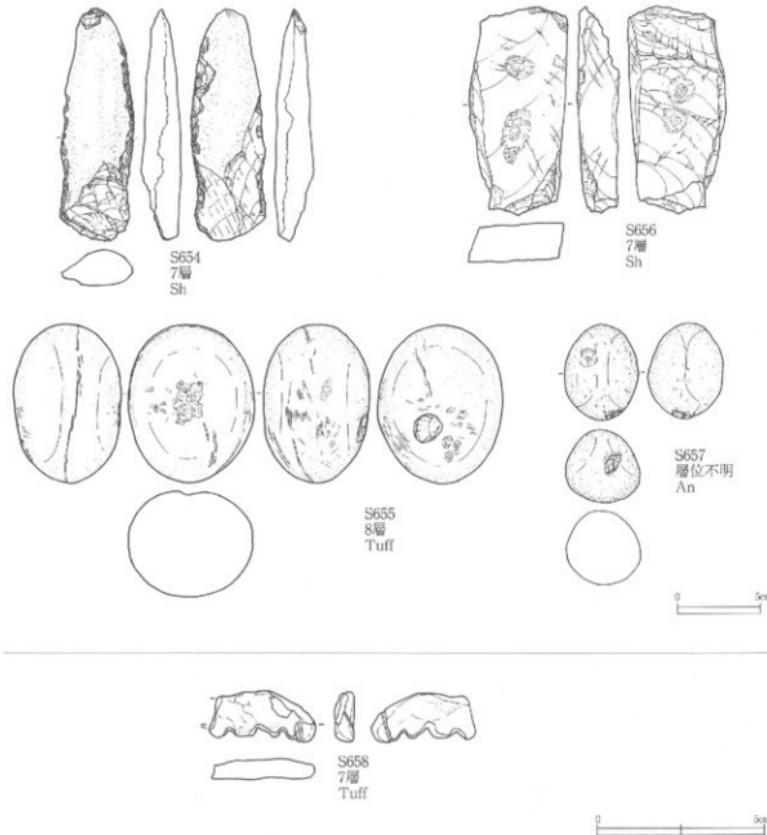
5 石器・石製品

敲石（第191図、写真図版122：S657）

2点出土し、1点図示した。S657は安山岩製の小形品で下端部に敲打痕が見られる。

その他の石製品（第191図、写真図版126：S658）

1点出土している。S658は凝灰岩製で正面右端に溝が一条巡り、下半は鋸齒状を呈する。石錘の可能性もある。



第191図 E 区石器2

第29表 石器観察表①

器種	遺物 種類	大 タ イ ア イ テ ム	小タ イ ア イ テ ム	地区	地點	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	先端 角度	部型	遺存	備考
S1	石器195	III C	15	B	b	7	1.16	1.28	0.21	0.24	Ob	79	Fb	20	1号房内出土 産地: 小赤沢
S2	石器7	II C	90	B	a	2	2.49	1.22	0.42	0.90	Sh	58	D	20	
S3	石器342	III C	4	B	a	1-3	2.41	1.12	0.44	0.75	Sh	57	A	20	
S4	石器313	III C	4	B	a	1-3	2.37	1.12	0.37	0.66	Sh	48	A	20	
S5	石器344	III C	4	B	a	1-3	2.26	1.40	0.45	0.78	Ag	50	A	20	
S6	石器245	III C	4	B	a	1-3	2.98	1.46	0.49	0.92	Sh	48	A	20	
S7	石器341	III C	4	B	a	1-3	1.91	1.13	0.39	0.59	Sh	57	A	20	アスファルト付着
S8	石器509	III C	3	B	b	1-3	1.84	1.25	0.24	0.27	Ob	55	A	20	産地: 小赤沢 先端衝撃頭部
S9	石器637	III C	4	B	a	1-3	1.85	1.28	0.32	0.54	Ob	4	A	10	
S10	石器544	III C	4	B	a	1-3	1.97	1.21	0.34	0.48	Sh	65	A	20	
S11	石器543	III C	4	B	a	1-3	2.53	1.87	0.52	1.18	Sh	91	A	20	露状
S12	石器17	II C	93	B	a	7	2.08	1.06	0.33	0.56	Sh	53	D	20	
S13	石器16	II C	93	B	a	7	4.17	2.64	0.61	5.92	Ag	89	D	20	
S14	石器540	III C	4	B	a	1-3	4.12	3.23	0.85	8.41	Sh	103	Fc	20	アスファルト付着
S15	石器542	III C	4	B	a	1-3	2.71	2.22	0.61	2.85	Sh	81	Fb	20	
S16	石器21	II C	93	B	a	11	2.07	1.81	0.91	2.37	Ob	81	E	20	産地: 濱ノ倉
S17	石器338	III C	4	B	a	1-3	2.66	1.94	0.85	3.64	S Sh	91	H	20	
S18	石器31	III C	3	B	b	13	2.45	1.76	0.96	3.15	Sh	54	H	20	
S19	石器559	III C	5	B	b	1	2.54	1.28	0.32	0.65	Sh	32	D	20	
S20	石器563	III C	5	B	b	1	2.27	1.47	0.37	0.72	Ag	47	D	20	
S21	石器564	III C	5	B	b	1	2.14	1.20	0.35	0.59	Sh	41	D	20	
S22	石器361	III C	5	B	b	11	1.42	1.34	0.24	0.31	Ob	55	Fb	20	e壁防崩落層 産地: 小赤沢
S23	石器565	III C	5	B	b	1	2.28	1.56	0.27	0.52	Ob	47	Fb	20	産地: 小赤沢
S24	石器553	III C	5	B	b	1	2.12	1.44	0.35	1.34	Ob	102	H	20	産地: 濱ノ倉
S25	石器738	III C	5	B	b	11	2.31	1.29	0.29	1.04	Sh	62	E	20	
S26	石器601	III C	15	B	b	11	2.74	1.91	1.17	4.82	Sh	47	H	20	e壁防崩落層
S27	石器632	III C	14	B	b	11	3.61	2.00	0.68	4.62	Sh	84	H	20	e壁防崩落層
S28	石器633	III C	4	B	b	2	2.04	1.14	0.34	0.59	Sh	49	A	20	アスファルト付着
S29	石器632	III C	4	B	b	2	3.58	1.56	0.67	2.60	Sh	60	G	20	
S30	石器634	III C	4	B	b	2	3.43	2.22	0.99	5.84	Ag	70	H	20	
S31	石器667	III C	15	B	b	3	2.94	1.69	0.42	1.19	Sh	42	A	20	
S32	石器13	III C	4	B	b	3	2.16	1.25	0.29	0.42	Sh	58	A	20	
S33	石器714	III C	5	B	b	3	2.14	1.26	0.28	0.52	Ob	54	A	20	産地: 小赤沢
S34	石器671	III C	16	B	b	3	1.95	1.12	0.35	0.36	Sh	43	B	20	
S35	石器78	III C	5	B	b	3	3.05	1.50	0.50	1.48	Sh	44	D	20	
S36	石器44	III C	4	B	b	3	3.30	1.63	0.43	1.34	Sh	42	D	20	
S37	石器45	III C	4	B	b	3	2.45	1.54	0.39	1.00	Ob	49	D	20	産地: 小赤沢
S38	石器77	III C	5	B	b	3	3.33	1.93	0.58	2.39	Sh	54	C	20	
S39	石器656	III C	4	B	b	3	3.14	1.18	0.49	1.14	Sh	33	C	20	
S40	石器42	III C	4	B	b	3	2.93	1.79	0.64	1.97	Sh	43	D	20	
S41	石器40	III C	4	B	b	3	3.28	1.86	0.48	1.73	Sh	68	A	20	
S42	石器41	III C	4	B	b	3	2.68	1.81	0.63	1.71	Sh	51	D	20	
S43	石器713	III C	5	B	b	3	2.51	1.58	0.83	2.48	Sh	65	C	20	
S44	石器331	III C	5	B	b	3	2.60	1.22	0.56	1.29	Sh	61	D	20	
S45	石器80	III C	4	B	b	3	2.07	1.18	0.36	0.53	Ob	46	D	20	産地: 濱ノ倉
S46	石器38	III C	4	B	b	3	3.30	2.78	0.71	4.76	Sh	72	D	20	
S47	石器728	III C	16	B	b	3	2.22	1.55	0.32	0.76	Ob	102	E	20	産地: 小赤沢
S48	石器724	III C	14	B	b	3	3.40	2.00	0.96	5.29	Sh	70	Fc	20	
S49	石器36	III C	4	B	b	3	4.38	2.57	1.05	6.79	Sh	103	D	20	
S50	石器37	III C	4	B	b	3	4.46	3.20	0.94	9.44	Sh	88	H	20	
S51	石器103	III C	5	B	b	6a	1.57	1.42	0.26	0.34	Sh	85	A	20	
S52	石器116	III C	4	B	b	6b	1.94	1.41	0.28	0.44	Sh	57	B	20	
S53	石器90	III C	4	B	b	4	3.15	2.25	0.57	2.80	Sh	32	A	20	
S54	石器118	III C	5	B	b	6b	2.94	2.08	0.88	4.24	Sh	65	E	20	
S55	石器173	III C	15	B	b	7	2.14	1.29	0.37	0.77	Sh	77	A	20	
S56	石器223	III C	4	B	b	7	1.60	1.11	0.26	0.32	Ob	80	A	20	産地: 小赤沢
S57	石器223	III C	15	B	b	7	1.63	1.24	0.32	0.38	Ob	65	B	20	産地: 小赤沢
S58	石器198	III C	15	B	b	7	1.68	1.22	0.29	0.34	Ob	67	A	20	
S59	石器75	III C	15	B	b	7	2.24	1.21	0.36	0.37	Ag	44	A	20	
S60	石器145	III C	15	B	b	6b-7	2.30	1.18	0.34	0.68	Ag	62	A	20	
S61	石器240	III C	15	B	b	7b-8	2.40	1.45	0.30	0.55	Sh	70	A	20	
S62	石器234	III C	15	B	b	7	2.13	1.61	0.63	1.87	Ob	113	H	3	産地: 不明
S63	石器172	III C	15	B	b	7	2.26	1.92	0.90	3.36	S Sh	61	C	20	
S64	石器215	III C	4	B	b	7	1.50 [†]	1.75	0.29	0.37 [†]	Sh	72	Fb	20	
S65	石器159	III C	5	B	b	7	2.07 [†]	1.59	0.53	1.05	S Sh	73	Fb	20	

第30表 石器觀察表②

指 標 No.	通 物 名 Na.	大 小 分 類 Na.	種 名 Na.	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	半 径 角 度	曲 率	透 視	備 考
S66	石頭160	III C	5 B	b	7	1.84	1.58	0.29	0.44	Sh	55	Fb	20	
S67	石頭199	III C	15 B	b	7	1.95	1.53	0.26	0.42	Ob	48	Fa	8	産地: 小赤沢?
S68	石頭191	III C	5 B	b	7	1.77	1.68	0.46	0.57	Ob	66	Fu	20	産地: 小赤沢
S69	石頭594	III C	6 B	c	1.1	3.21	1.32	0.59	2.27	Sh	55	II	20	e 塩防崩落層
S70	石頭369	III C	6 B	c	1上	2.28	1.35	0.34	0.56	Ob	72	A	20	e 塩防崩落層
S71	石頭120	III C	17 B	c	1上	2.98	0.98	0.61	1.53	Ob	6	G	10	
S72	石頭450	III C	17 B	c	4-6	2.87	1.17	0.43	1.03	Sh	40	C	5	
S73	石頭461	III C	18 B	c	4-10	3.16	1.62	0.60	2.33	Sh	31	Fe	20	
S74	石頭475	III C	17 B	c	7-10	3.09	1.95	0.80	3.69	Ob	74	E	20	産地: 小赤沢
S75	石頭470	III C	17 B	c	7-10	3.18	1.24	0.44	1.11	Sh	66	C	20	
S76	石頭469	III C	17 B	c	7-10	2.88	1.20	0.57	1.66	Sh	62	C	20	
S77	石頭753	III C	17 B	c	8	3.30	1.97	1.06	6.60	Sh	89	C	20	
S78	石頭465	III C	17 B	c	7-10	2.82	1.93	0.40	1.89	Sh	90	Fc	20	アスマルト付層
S79	石頭754	III C	17 B	c	8	3.03	1.17	0.42	0.93	Sh	36	Fb	20	
S80	石頭753	III C	17 B	c	8	2.32	1.58	0.70	2.40	Sh	84	H	20	
S81	石頭752	III C	17 B	c	8	2.98	2.03	0.80	3.39	Sh	84	C	20	
S82	石頭760	III C	17 B	c	9-11	2.48	1.50	0.79	2.43	Sh	48	H	20	
S83	石頭485	III C	6 B	c	9-11	2.77	1.39	0.48	1.59	Sh	57	Fc	20	
S84	石頭486	III C	6 B	c	9-11	3.04	2.48	1.18	7.56	Sh	71	II	20	
S85	石頭767	III C	17 B	c	10	2.94	1.04	0.39	0.79	Sh	45	C	20	
S86	小赤沢790	III C	7 B	c	12	2.06	1.80	1.00	2.77	Sh	95	E	20	
S87	石頭792	III C	16 B	c	12	2.16	1.45	0.29	0.59	Os	63	A	20	开始: 小赤沢
S88	石頭795	III C	27 B	c	12	1.62	1.58	0.27	0.37	Ob	76	B	30	産地: 小赤沢
S89	石頭868	III C	17 B	c	12-16	2.11	1.05	0.36	0.48	Sh	47	C	20	
S90	石頭829	III C	27 B	c	12-13	1.83	1.18	0.34	0.48	Sh	60	A	20	
S91	石頭801	III C	17 B	c	12-13	2.32	1.32	0.37	0.71	Sh	45	A	20	
S92	小赤沢863	III C	28 B	c	12-13	2.55	1.28	0.30	0.64	Sh	52	A	20	
S93	石頭803	III C	17 B	c	12-13	3.45	1.91	0.82	3.63	Ag	68	C	20	
S94	石頭828	III C	27 B	c	12-13	2.13	1.65	0.30	0.45	Sh	51	Fa	20	
S95	石頭822	III C	27 B	c	12-13	1.37	1.47	0.20	0.27	Ob	72	Fb	20	産地: 小赤沢
S96	石頭880	III C	28 B	c	13	1.73	1.11	0.26	0.33	Sh	81	A	20	
S97	石頭879	III C	28 B	c	13	2.33	2.09	0.69	2.10	Sh	62	Fb	20	
S98	石頭884	III C	15 B	c	13	2.83	1.09	0.47	1.34	Sh	37	Fc	20	土被較密ベルト根植上
S99	石頭625	III C	19 B	d	1上	1.17	1.74	0.33	0.73	Ob	5	Fc	10	产地: 小赤沢
S100	石頭480	III C	29 B	d	1上	2.54	1.81	0.52	1.79	St	50	E	20	
S101	石頭620	III C	19 B	d	1上	2.92	1.96	0.83	3.69	Sh	82	E	20	e 塩防崩落層
S102	石頭735	III C	29 B	d	1上	1.98	1.32	0.31	0.43	Ob	55	A	20	产地: 小赤沢
S103	石頭400	III C	19 B	d	1-4	2.99	1.90	0.56	2.04	Sh	69	C	20	e 塩防崩落層
S104	石頭415	III C	28 B	d	1-4	2.40	1.48	0.67	2.05	Ag	60	E	20	e 塩防崩落層
S105	石頭411	III C	28 B	d	1-4	2.48	1.67	0.47	1.50	Sh	77	E	20	e 塩防崩落層
S106	石頭422	III C	29 B	d	1-4	1.82	1.06	0.37	0.52	Sh	85	A	20	e 塩防崩落層
S107	石頭414	III C	28 B	d	1-4	3.71	2.13	0.98	5.17	Sh	47	D	20	e 塩防崩落層
S108	石頭416	III C	28 B	d	1-4	3.48	1.39	0.64	1.94	Sh	48	D	20	e 塩防崩落層
S109	石頭892	III C	29 B	d	4	2.33	1.66	0.32	0.56	Sh	45	Fa	20	
S110	石頭888	III C	40 B	d	3-8	1.71	1.47	0.30	0.34	Ob	69	Fb	20	
S111	石頭882	III C	40 B	d	3-8	2.24	0.99	0.35	0.54	Sh	39	D	20	
S112	石頭904	III C	29 B	d	5-8	1.32	1.48	0.34	0.52	Sh	62	Fb	20	
S113	石頭944	III C	29 B	d	6-8	1.49	1.25	0.32	0.31	Sh	39	Fb	20	
S114	石頭947	III C	29 B	d	6-8	1.53	1.30	0.35	0.37	Ob	52	Fb	20	产地: 小赤沢
S115	石頭962	III C	40 B	d	6-8	1.73	1.54	0.20	0.35	Ob	67	Fa	20	产地: 小赤沢
S116	石頭956	III C	40 B	d	6-8	1.86	1.49	0.27	0.51	Ob	69	Fb	20	产地: 小赤沢
S117	石頭964	III C	40 B	d	6-8	2.03	1.70	0.69	1.86	Sh	76	Fb	20	产地: 小赤沢
S118	石頭945	III C	29 B	d	6-8	2.95	1.63	0.32	1.00	Sh	35	Fc	20	
S119	石頭968	III C	40 B	d	6-8	2.69	2.15	1.12	4.71	Ob	70	H	20	产地: 小赤沢
S120	石頭948	III C	29 B	d	6-8	1.74	1.07	0.29	0.32	Sh	35	B	20	
S121	石頭950	III C	29 B	d	6-8	2.07	1.30	0.27	0.42	Ob	61	A	20	产地: 小赤沢
S122	石頭951	III C	29 B	d	6-8	1.74	1.07	0.33	0.41	Ob	60	A	20	产地: 小赤沢
S123	石頭924	III C	19 B	d	6-8	3.21	1.15	0.35	0.85	Ob	59	A	20	产地: 小赤沢
S124	石頭949	III C	29 B	d	6-8	2.10	1.12	0.41	0.46	Sh	37	B	20	
S125	石頭965	III C	40 B	d	6-8	1.80	1.20	0.33	0.42	Ag	45	A	5	
S126	石頭946	III C	29 B	d	6-8	1.86	1.07	0.29	0.38	Sh	67	A	20	
S127	石頭1307	III C	65 B	e	1	3.28	1.40	0.43	1.55	Sh	49	A	5	アスマルト付層
S128	石頭1304	III C	9 B	e	3	2.67	1.35	0.31	1.15	Sh	49	C	20	
S129	石頭310	III C	9 B	e	3	2.14	1.45	0.41	0.85	Sh	51	C	20	
S130	石頭373	III C	8 B	e	3	2.44	1.61	0.47	1.08	Sh	83	A	20	
S131	石頭28	III C	9 B	e	3	3.08	1.44	0.34	0.76	Ob	44	A	20	产地: 小赤沢

第31表 石器観察表③

編 號 No.	遺 物 名 稱 Name	地 點 Locality	性 質 Nature	長 度 Length (cm)	精 度 Accuracy (cm)	厚 度 Thickness (cm)	重 量 Weight (g)	材 料 Material	尖 端 角度 Angle of Point	亞 種 Subtype	種 類 Type	備 考 Remarks
S128 石鏃1305 II C 9 B e 3 3.84 1.18 0.46 1.15 Sh 33 A 20												
S129 石鏃1301 II C 8 B e 3 2.25 1.08 0.41 0.59 Ob 57 C 20												
S130 石鏃1310 II C 9 B e 3 2.82 1.19 0.52 1.21 Ob 76 A 20												
S135 石鏃283 II C 9 B e 3 2.68 0.95 0.39 0.63 Sh 48 C 20												
S136 石鏃1308 II C 90 B e 3 3.21 2.13 0.64 2.80 Sh 87 C 20												
S137 石鏃312 II C 98 B e 3 3.87 1.87 0.69 3.50 Sh 82 C 20												
S138 石鏃327 II C 98 B c 3 2.30 1.39 0.39 0.82 Ob 60 Fe 20												
S139 石鏃1302 II C 99 B e 3 3.41 2.02 0.69 3.11 Sh 75 Fe 3												
S140 石鏃306 II C 98 B e 3 2.94 1.83 1.03 3.84 Sh 74 H 20												
S141 石鏃389 II C 10 B e 3 3.39 2.14 1.13 6.43 Sh 52 H 20												
S142 石鏃1303 II C 99 B e 3 2.80 1.45 0.57 1.29 Sh 40 Pb 20												
S143 石鏃291 II C 9 B e 3 3.18 2.52 1.26 7.23 Sh 89 C 20												
S144 石鏃485 III C 8 B c 3 4.03 2.52 1.33 9.68 Sh 95 II 20												
S145 石鏃309 II C 98 B e 3 2.09 0.97 0.45 0.88 Sh 48 H 20												
S146 石鏃372 III C 8 B e 3 2.70 1.27 0.43 1.29 Ag 50 Fe 20												
S147 G鏃971 II C 97 B e 3~4 1.32 1.47 0.25 0.35 Ob 74 Fe 20												
S148 石鏃1168 II C 98 B e 4~5 2.76 1.41 0.38 1.18 Sh 70 D 20												
S149 石鏃253 II C 87 B e 4~5 3.24 1.54 0.39 1.08 Sh 53 C 20												
S150 石鏃251 II C 87 B e 4~5 2.39 1.40 0.38 0.79 Sh 80 C 20												
S151 石鏃629 II C 54 B e 4~6 2.55 1.14 0.27 0.59 Ob 35 D 20												
S152 石鏃292 II C 55 B e 4~6 2.43 1.39 0.37 0.76 Sh 85 A 20												
S153 石鏃993 II C 55 B e 4~6 2.67 1.54 0.47 1.30 Sh 77 G 20												
S154 石鏃242 II C 86 B e 4~6 1.96 1.68 0.59 1.68 Sh 72 Fe 20												
S155 石鏃250 II C 87 B e 4~5 2.95 2.62 1.28 8.16 Sh 89 H 20												
S156 石鏃251 II C 77 B e 4~6 2.60 2.14 1.12 5.77 Sh 116 II 20												
S157 石鏃721 III C 8 B e 4~6 3.58 2.45 1.03 7.45 Sh 90 Fe 20												
S158 石鏃1084 II C 86 B e 4~7 2.66 1.63 0.42 1.15 Ob 56 D 20												
S159 石鏃302 II C 96 B e 4~7 2.44 1.13 0.34 0.67 Sh 48 D 20												
S160 石鏃305 II C 96 B e 4~7 2.07 1.21 0.34 0.58 Sh 65 A 20												
S161 石鏃999 II C 64 B e 4~7 1.87 1.09 0.29 0.35 Sh 46 A 20												
S162 石鏃271 II C 97 B e 4~7 2.46 1.08 0.35 0.52 Sh 47 C 20												
S163 石鏃274 II C 97 B e 4~7 3.52 1.90 1.21 5.97 Sh 80 C 20												
S164 石鏃1082 II C 86 B e 4~7 2.85 2.07 1.31 4.93 Sh 107 H 20												
S165 石鏃276 II C 97 B e 4~7 3.12 1.37 0.73 2.74 Sh 56 H 20												
S166 石鏃301 II C 96 B e 4~7 3.68 2.96 1.13 9.72 Sh 67 H 20												
S167 石鏃266 II C 97 B e 4~7 2.86 1.60 0.73 2.58 Ag 50 H 20												
S168 石鏃1083 II C 86 B e 4~7 2.33 1.21 0.33 0.80 Sh 42 Fe 20												
S169 (石鏃267 II C 97 B e 4~7 2.26 1.12 0.36 0.81 Sh 48 Fe 20												
S170 石鏃689 II C 95 B e 7 2.37 1.75 0.31 0.73 Ob 63 Pb 20												
S171 石鏃982 II C 84 B e 7 2.49 1.14 0.39 0.69 Ag 36 B 5												
S172 石鏃1296 II C 87 B e 7 2.73 1.66 0.35 1.30 Sh 67 C 5												
S173 石鏃1021 II C 84 B e 7~8 1.79 1.20 0.36 0.43 Ob 66 D 20												
S174 G鏃1056 II C 85 B e 7~8 1.67 1.21 0.33 0.40 Ob 68 A 20												
S175 石鏃1127 II C 85 B c 7~8 1.21 1.84 0.51 1.01 Ob E 11												
S176 石鏃1319 II C 94 B e 7~8 4.00 0.89 0.55 1.89 Sh 59 G 20												
S177 石鏃1016 II C 84 B e 7~8 2.96 1.50 0.33 0.83 Sh 31 A 20												
S178 石鏃1019 II C 84 B e 7~8 2.83 1.26 0.42 0.97 Ag 50 D 20												
S179 石鏃1065 II C 85 B e 7~8 2.16 1.57 0.39 0.80 Sh 51 A 20												
S180 石鏃1054 II C 85 B e 7~8 3.33 1.80 0.86 3.48 Sh 49 D 20												
S181 石鏃1017 II C 84 B e 7~8 3.48 1.49 0.45 1.22 Sh 29 C 20												
S182 石鏃1020 II C 84 B e 7~8 2.09 0.98 0.40 0.97 Ag 34 D 20												
S183 石鏃1129 II C 95 B e 7~8 3.63 1.10 0.60 1.26 Sh 39 C 20												
S184 石鏃1058 II C 85 B e 7~8 2.10 1.48 0.81 2.27 Ob 111 E 20												
S185 石鏃1131 II C 85 B e 7~8 2.17 1.63 0.56 1.45 Sh 58 Fe 20												
S186 石鏃1022 II C 84 B e 7~8 2.34 1.82 0.74 2.48 Sh 57 E 20												
S187 石鏃1033 II C 85 B e 7~8 2.03 1.89 0.55 1.62 Ob 82 E 20												
S188 G鏃1138 II C 95 B e 7~8 1.70 1.26 0.37 0.59 Ob 75 E 20												
S189 石鏃1324 II C 94 B e 7~8 3.30 3.05 1.18 0.59 Sh 55 H 20												
S190 石鏃1023 II C 84 B e 7~8 2.32 2.18 0.94 5.39 Sh 69 H 20												
S191 石鏃1132 II C 95 B e 7~8 1.53 2.25 0.78 2.23 Ob H 10												

第32表 石器観察表④

後者 No.	遺物 整理 No.	大 ダ リ フ ラ ン ク	小 タ ブ リ ン ク	地 区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	先 端 角 度	器 形	通 合	備 考
S192	石鋸1015	II C	84	B	e	7-8	4.03	2.48	0.95	6.42	Sh	66	D	20	c型防磨面端
S193	石鋸1018	II C	84	B	e	7-8	2.68	2.30	1.06	4.45	Sh	113	D	20	e型防磨面端
S194	石鋸1167	II C	8	B	e	7-8	3.31	2.47	1.23	6.44	Sh	66	H	20	
S195	石鋸1069	II C	95	B	e	7-8	1.20	1.28	0.24	0.20	Ob	78	Fa	20	極地 小赤沢
S196	石鋸1140	II C	95	B	c	7-8	1.62	1.40	0.27	0.35	Sh	65	Fb	20	e型崩落端
S197	石鋸1300	II C	74	B	e	8	1.86	1.21	0.34	0.45	Sh	74	A	20	
S198	石鋸1299	II C	74	B	e	8	2.33	1.35	0.40	0.77	Sh	36	A	5	
S199	石鋸490	II C	86	B	e	11	2.00	1.38	0.44	0.66	Ag	63	A	20	
S200	石鋸1119	II C	94	B	e	11-12	2.25	1.26	0.40	0.64	Sh	60	D	20	
S206	石鋸1173	IV E	35	C		14年度9	2.58	1.79	0.60	1.74	Sh	72	C	20	
S587	石鋸1203	III E	95	C		14年度6	1.87	1.08	0.49	0.61	Ag	80	C	20	
S588	石鋸1309	III D	65	C		15年度12	1.94	1.58	0.78	1.49	Ob		A	10	準地: 小赤沢 丸端切妻端
S589	石鋸1288	III D	67	C		15年度12	2.30	1.52	0.62	1.29	Sh	58	C	20	
S590	石鋸1294	III D	88	C		15年度12	3.43	1.72	0.55	2.12	Ag	82	A	4	
S591	石鋸1291	II D	77	C		15年度12	3.65	1.49	0.83	2.84	Sh	91	C	20	
S592	石鋸1253	III D	78	C		15年度12	3.50	2.43	1.53	7.98	Sh	60	H	20	
S593	石鋸1286	III D	57	C		15年度12	2.20	0.92	0.51	0.86	Sh		G	10	
S594	石鋸1287	III D	67	C		15年度12	3.33	2.09	0.95	4.58	Sh	38	Fb	20	
S595	石鋸1290	III D	75	C		15年度12	1.43	1.24	0.35	0.44	Sh	65	Fb	20	
S596	石鋸1297	II D	55	C		15年度15a	2.23	1.59	0.52	1.00	Sh	20	Fb	10	
S597	石鋸1295	III D	46	C		15年度15a	2.74	2.00	0.91	3.93	Ag	90	II	20	
S598	石鋸1296	III D	56	C		15年度15a	1.79	1.26	0.48	0.77	Sh		C	7	アスファルト付着
S599	石鋸1192	IV E	33	C		14年度9	1.19	1.10	0.28	0.31	Ob	71	Fb	20	極地: 小赤沢
S600	石鋸1184	IV E	33	C		14年度9	2.74	1.85	0.79	3.63	Ag	88	II	20	
S645	石鋸1311	II B	1	E		7	2.31	1.26	0.81	1.48	Ob		C	18	準地: 小赤沢
S646	石鋸1312	II B	1	E		7	3.28	1.35	0.67	1.90	Sh	25	D	4	
S647	石鋸1314	II B	1	E		7	2.07	0.95	0.48	0.48	Sh	57	C	20	
S648	石鋸1315	II B	1	E		12	2.45	1.22	0.62	1.17	Sh	45	C	20	アスファルト付着
S649	石鋸1313	II B	1	E		7	4.24	2.00	0.77	5.43	Sh	70	C	20	
S650	石鋸1317	II B	1	E		11	3.20	2.28	0.66	3.61	Sh	55	C	20	
S651	石鋸339	III C	4	B	a	1-3	1.83	1.00	0.50	0.65	Ag	100	C	20	アスファルト付着
S652	石鋸340	III C	4	B	a	1-3	1.89	1.36	0.39	0.47	Ob	58	A	20	
S653	石鋸346	III C	4	B	a	1-3	1.37	1.22	0.35	0.47	Sh		C	10	
S654	石鋸347	III C	4	B	a	1-3	1.92	1.69	0.38	0.95	Sh		A	10	
S655	石鋸348	III C	4	B	a	1-3	2.40	1.32	0.42	1.14	Sh		D	7	先端曲率剥離
S656	石鋸349	III C	4	B	a	1-3	2.08	1.82	0.66	1.50	Sh	66	A	20	
S657	石鋸350	III C	4	B	a	1-3	2.60	1.84	0.51	1.61	Sh	67	C	10	
S658	石鋸351	III C	4	B	a	1-3	2.82	1.93	0.72	2.53	Sh	97	C	20	
S659	石鋸352	III C	4	B	a	1-3	1.87	1.36	0.62	1.28	Sh	95	C	20	
S660	石鋸353	III C	4	B	a	1-3	3.75	1.45	0.66	3.79	Sh	50	C	10	
S661	石鋸354	III C	4	B	a	1-3	1.58	2.28	0.54	1.52	Sh	95	E	10	
S662	石鋸355	III C	4	B	a	1-3	1.20	0.29	0.56	0.58	Sh	33	X	2	
S663	石鋸357	III C	4	B	a	1-3	2.13	1.69	0.33	1.01	Ob	79	X	2	
S664	石鋸491	II C	93	B	a	1-3	1.91	1.42	0.36	0.60	Sh	83	Fc	20	
S665	石鋸492	II C	93	B	a	1-3	2.56	1.86	0.54	1.63	Sh		D	10	先端曲率剥離
S666	石鋸506	II C	3	B	a	1-3	2.91	1.92	0.57	2.03	Sh	46	X	2	
S667	石鋸507	II C	3	B	a	1-3	2.65	2.03	0.47	1.80	Sh	38	D	10	
S668	石鋸508	III C	3	B	a	1-3	1.92	1.31	0.36	0.59	Sh	65	D	10	アスファルト付着
S669	石鋸510	III C	4	B	a	1-3	2.20	2.02	0.68	2.25	Sh	74	Fb	3	
S670	石鋸512	III C	4	B	a	1-3	2.90	1.49	0.44	0.96	Sh	40	C	20	
S671	石鋸513	III C	4	B	a	1-3	1.90	1.74	0.26	0.58	Ag	77	C	20	
S672	石鋸514	III C	4	B	a	1-3	2.53	2.03	0.46	1.59	Sh	72	D	10	
S673	石鋸515	III C	4	B	a	1-3	1.57	1.35	0.44	0.74	Ag	53	A	7	
S674	石鋸516	III C	4	B	a	1-3	2.17	1.38	0.45	1.10	Sh	46	A	10	アスファルト付着
S675	石鋸517	III C	4	B	a	1-3	1.35	1.01	0.26	0.22	Ob	53	C	20	
S676	石鋸518	III C	4	B	a	1-3	2.79	1.61	0.42	1.20	Sh	48	D	5	アスファルト付着
S677	石鋸519	III C	4	B	a	1-3	1.80	1.33	0.41	0.90	Sh	38	D	7	
S678	石鋸520	III C	4	B	a	1-3	2.95	2.07	0.61	2.11	Sh	49	D	10	
S679	石鋸521	II C	6	B	a	1-3	2.76	1.60	0.39	1.31	Sh	32	D	7	アスファルト付着
S680	石鋸522	II C	6	B	a	1-3	2.28	2.19	0.51	2.31	Sh		D	10	
S681	石鋸523	II C	4	B	a	1-3	2.10	1.66	0.49	1.46	Sh		Fb	10	
S682	石鋸524	II C	4	B	a	1-3	2.74	1.86	0.67	2.77	Sh	83	A	20	
S683	石鋸525	III C	4	B	a	1-3	1.93	1.51	0.43	1.09	Sh	107	C	20	
S684	石鋸526	III C	4	B	a	1-3	2.79	2.16	0.62	3.12	Sh	82	C	20	
S685	石鋸527	III C	4	B	a	1-3	2.37	1.50	0.45	1.04	Sh	56	C	4	
S686	石鋸528	III C	4	B	a	1-3	2.31	1.46	0.51	1.53	Sh		D	10	

第33表 石器観察表⑤

番号	基盤	小グリップ	地区	地質	種類	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	表面加工	縫合	通存	備考
石頭529	III C	4	B	a	1-3	3.81	2.39	1.12	7.45	Sh	C	10		
石頭530	III C	4	B	a	1-3	2.56	2.22	0.82	3.59	Sh	H	10		
石頭531	III C	4	B	a	1-3	2.99	1.20	0.50	1.32	Sh	S	18		
石頭532	III C	4	B	a	1-3	1.49	1.62	0.39	0.95	Sh	H	29		
石頭533	III C	4	B	a	1-3	2.41	1.57	0.40	1.00	Sh	S	20		
石頭534	III C	4	B	a	1-3	2.39	1.59	0.64	1.79	Sh	S	18		
石頭535	III C	4	B	a	1-3	3.86	2.42	1.59	10.14	Sh	H	20		
石頭536	III C	4	B	a	1-3	1.08	1.09	0.34	0.18	Sh	S	20		
石頭538	III C	4	B	a	1-3	1.36	1.14	0.35	0.26	Ob	X	2		
石頭539	III C	4	B	a	1-3	1.76	1.49	0.33	0.63	Ob	A	7	产地：小赤沢	
石頭545	III C	4	B	a	1-3	2.05	1.39	0.51	1.00	Ag	S	20		
石頭546	III C	4	B	a	1-3	2.25	0.96	0.23	0.39	Ob	Fb	16		
石頭1	II C	93	B	a	2	1.84	1.33	0.35	0.69	Ob	Fc	3		
石頭2	II C	93	B	a	2	1.88	1.33	0.37	0.66	Sh	D	5	アスファルト付	
石頭3	II C	93	B	a	2	2.81	1.26	0.41	1.23	Sh	D	1	先端角掣剝離	
石頭4	II C	93	B	a	2	2.51	1.27	0.36	0.78	Sh	S	5		
石頭5	II C	93	B	n	2	1.96	1.27	0.42	0.82	Sh	X	2		
石頭6	II C	93	B	a	2	1.99	1.06	0.45	0.62	S, Sh	D	20		
石頭8	III C	3	B	a	2	1.66	0.92	0.42	0.51	Sh	X	16		
石頭9	III C	3	B	a	2	1.08	1.00	0.21	0.15	Ob	Fb	20		
石頭11	III C	4	B	a	3	1.82	1.36	0.28	0.55	Sh	D	20		
石頭12	III C	4	B	a	3	3.15	2.03	0.55	2.67	Sh	S	20		
石頭13	II C	94	B	s	4	1.40	1.12	0.22	0.27	Sh	Fb	20		
石頭14	III C	4	B	a	5	3.27	1.98	0.80	4.99	Sh	H	20	未製品？	
石頭15	II C	93	B	a	7	1.52	1.06	0.34	0.45	Sh	D	20		
石頭16	II C	94	B	a	7	1.91	1.48	0.49	0.95	Sh	X	2		
石頭19	II C	93	B	a	11	2.06	1.45	0.55	1.04	Ob	S	4	产地：小赤沢	
石頭20	II C	93	B	a	11	2.22	1.89	0.38	2.06	Sh	H	20	未製品？	
石頭22	II C	93	B	a	11	1.62	1.57	0.25	0.71	Sh	Fc	20		
石頭23	III C	4	B	a	11	1.22	2.18	0.30	1.30	Ag	E	11		
石頭24	II C	4	B	a	11	1.45	0.94	0.27	0.26	Ob	A	20		
石頭25	III C	4	B	a	11	1.73	1.15	0.29	0.29	Ob	Fb	3		
石頭26	III C	4	B	a	11	2.29	0.90	0.24	0.35	Ob	Fb	16		
石頭27	III C	3	B	a	12	1.85	1.52	0.27	0.41	Ob	Fb	3		
石頭29	III C	3	B	a	12-13	2.39	1.38	0.69	1.73	Sh	S	7	アスファルト付	
石頭28	III C	3	B	a	12-13	1.55	2.33	0.80	2.18	Ag	H	11		
石頭30	III C	3	B	a	13	2.07	1.12	0.24	0.48	Sh	X	2		
石頭32	III C	4	B	a	13	2.81	1.77	0.94	3.87	Ag	H	20		
石頭347	III C	5	B	b	1	2.37	1.33	0.43	0.85	Ag	D	20		
石頭348	III C	5	B	b	1	1.69	1.62	0.75	1.66	Ob	E	10		
石頭349	III C	5	B	b	1	1.82	0.96	0.34	0.37	Ob	A	20		
石頭350	III C	5	B	b	1	1.94	1.20	0.46	0.76	Ob	D	5		
石頭351	III C	5	B	b	1	1.59	1.28	0.26	0.36	Ob	Fb	3		
石頭352	III C	5	B	b	1	0.98	1.22	0.36	0.36	Ob	E	10		
石頭354	III C	5	B	b	1	2.73	1.82	0.38	1.27	Ob	C	21		
石頭355	III C	5	B	b	1	1.90	1.66	0.41	0.56	Ob	Fa	20		
石頭356	III C	5	B	b	1	2.25	1.92	0.32	1.12	Sh	H	20	未製品？	
石頭357	III C	5	B	b	1	2.85	1.92	0.69	3.56	Sh	C	10	先端角掣剝離	
石頭358	III C	5	B	b	1	3.60	2.20	0.95	5.50	Sh	H	20		
石頭361	III C	5	B	b	1	1.79	1.72	0.77	1.54	Ob	E	20	产地：小赤沢	
石頭363	III C	5	B	b	1	1.50	1.52	0.27	0.44	Sh	S	5		
石頭367	III C	5	B	b	1	1.36	1.09	0.24	0.35	Sh	D	5		
石頭368	III C	5	B	b	1	1.76	1.51	0.36	0.71	Sh	C	11		
石頭369	III C	5	B	b	1	1.12	1.44	0.22	0.22	Ob	C	11		
石頭370	III C	5	B	b	1	1.60	1.41	0.37	0.51	Sh	Fb	20		
石頭371	III C	5	B	b	1	1.97	1.55	0.45	0.75	Ag	Fb	20		
石頭372	III C	5	B	b	1	1.99	1.41	0.36	0.85	Sh	S	20		
石頭373	III C	5	B	b	1	2.12	1.54	0.40	0.94	Sh	A	20	アスファルト付	
石頭374	III C	5	B	b	1	1.52	1.19	0.34	0.52	Sh	C	10		
石頭375	III C	5	B	b	1	1.71	1.46	0.38	0.80	Sh	C	10		
石頭376	III C	5	B	b	1	2.44	1.25	0.35	0.70	Sh	D	20		
石頭377	III C	5	B	b	1	2.61	1.65	0.42	1.53	Sh	D	7		
石頭378	III C	5	B	b	1	2.71	1.69	0.43	1.35	Sh	D	10		
石頭379	III C	5	B	b	1	2.20	1.54	0.49	1.26	Sh	S	20		
石頭380	III C	5	B	b	1	2.30	1.64	0.39	1.12	Sh	D	7	先端角掣剝離	
石頭381	III C	5	B	b	1	2.57	1.51	0.38	0.98	Ag	D	10		
石頭382	III C	5	B	b	1	1.73	1.76	0.23	0.45	Sh	Fb	10		

第34表 石器観察表⑥

復元形 態	遺物 整理 No.	人 小 大 グ リ ッ フ F	地 火 F	着 点	顕 化	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	材 料	先端 角度	標 記	遺 行	備 考
長 さ	幅 さ	厚 さ												
石頭583	III C	5	B	b	1	2.14	1.34	0.21	0.48	Sa	55	X	2	
石頭584	III C	5	B	b	1	1.72	1.71	0.24	0.53	Sa		Fb	8	
石頭585	III C	5	B	b	1	2.46	1.50	0.43	1.06	Sh	23	Fb	3	
石頭586	III C	5	B	b	1	2.23	1.96	0.65	2.14	Sh	56	Fe	3	
石頭587	III C	5	B	b	1	3.04	1.71	0.57	2.10	Sh	68	C	20	
石頭588	III C	5	B	b	1	2.56	1.42	0.42	0.92	Sh		C	7	
石頭589	III C	5	B	b	1	1.83	1.84	0.42	1.29	Sh		C	10	
石頭590	III C	5	B	b	1	1.42	1.86	0.55	0.85	Sh		C	13	
石頭591	III C	5	B	b	1	1.18	1.20	0.42	0.41	Sh		C	11	
石頭592	III C	5	B	b	1	1.22	1.17	0.29	0.33	Sh	65	Fe	3	
石頭280	III C	4	B	b	1上	2.70	1.39	0.34	0.98	Ag	47	C	8	先端鋸歯形
石頭286	III C	15	B	b	1上	1.74	1.57	0.39	0.85	Ob	95	Fe	20	
石頭287	III C	15	B	b	1上	1.94	1.60	0.41	0.98	Ob	75	E	3	底丸 小赤沢
石頭290	III C	15	B	b	1上	2.65	1.82	0.66	2.72	Ob		A	10	e 側面崩落層?
石頭358	III C	5	B	b	1上	1.47	1.03	0.26	0.33	Sh	32	A	10	e 側面崩落層?
石頭359	III C	5	B	b	1上	1.66	1.95	0.46	1.08	Sh		A	10	e 側面崩落層?
石頭360	III C	5	B	b	1ト	2.40	1.04	0.46	0.94	Sh	50	C	5	e 側面崩落層?
石頭359	III C	14	B	b	1上	1.61	1.01	0.30	0.23	Sh	26	C	20	e 側面崩落層?
石頭600	III C	14	B	b	1上	3.09	1.15	0.66	2.11	Sh	42	Fb	20	e 側面崩落層?
石頭602	III C	15	B	b	1ト	2.62	1.57	0.44	1.27	Sh	32	C	10	e 側面崩落層?
石頭603	III C	15	B	b	1上	2.76	1.50	0.33	1.00	Sh	73	A	18	e 側面崩落層?
石頭604	III C	15	B	b	1上	1.82	1.22	0.44	0.74	Sh	69	C	5	e 側面崩落層?
石頭605	III C	15	B	b	1ト	2.38	1.44	0.46	1.26	Sh	89	H	20	e 側面崩落層?
石頭606	III C	15	B	b	1上	1.70	1.51	0.37	0.88	Sh	48	D	7	e 側面崩落層?
石頭607	III C	15	B	b	1上	3.04	2.36	1.00	4.66	Sh	90	C	20	e 側面崩落層?
石頭608	III C	15	B	b	1上	1.93	1.39	0.72	2.07	Ob	60	H	10	底丸 小赤沢?
石頭609	III C	15	B	b	1上	1.54	1.34	0.30	0.57	Ob	61	E	20	e 側面崩落層?
石頭610	III C	15	B	b	1上	2.02	1.33	0.28	0.48	Ob	87	Fb	3	e 側面崩落層?
石頭611	III C	15	B	b	1上	2.22	1.81	0.40	1.25	Ob	59	A	4	e 側面崩落層?
石頭612	III C	15	B	b	1ト	1.41	1.03	0.37	0.45	Ob	105	A	20	e 側面崩落層?
石頭613	III C	15	B	b	1上	1.84	1.21	0.43	0.95	Sh	56	C	20	e 側面崩落層?
石頭614	III C	15	B	b	1ト	2.06	1.01	0.30	0.44	Ob	53	A	20	e 側面崩落層?
石頭615	III C	15	B	b	1上	2.24	1.33	0.39	0.72	Sh	31	A	20	e 側面崩落層?
石頭737	III C	15	B	b	1上	1.74	1.65	0.62	1.43	Ob	83	E	20	
石頭673	III C	4	B	b	1-2	1.46	1.41	0.44	0.78	Ag	89	E	20	
石頭674	III C	4	B	b	1-2	1.83	1.51	0.31	0.85	Sh	35	D	7	
石頭676	III C	4	B	b	2	2.63	1.70	0.96	3.54	Ob	82	C	20	底丸 小赤沢
石頭677	III C	4	B	b	2	2.39	1.77	0.96	3.56	Sh	99	H	20	木製品?
石頭638	III C	4	B	b	2	2.05	2.37	0.69	2.98	Sh		B	20	未製品?
石頭639	III C	4	B	b	2	2.05	1.33	4.14	0.69	Sh	37	E	3	
石頭640	III C	4	B	b	2	1.35	1.64	0.38	0.62	Sh		C	10	
石頭641	III C	4	B	b	2	2.49	1.50	0.35	0.78	Sh		A	10	アヌアルト付番
石頭642	III C	4	B	b	2	1.98	1.48	0.44	0.82	Sh	64	C	5	
石頭643	III C	4	B	b	2	1.73	1.45	0.37	0.69	Ag		A	10	
石頭644	III C	4	B	b	2	2.33	1.63	0.43	1.03	Sh	47	A	20	
石頭645	III C	4	B	b	2	2.64	1.22	0.34	0.61	Sh	44	C	20	
石頭646	III C	4	B	b	2	2.29	1.25	0.49	1.16	Ag	63	II	20	
石頭647	III C	5	B	b	2	2.01	1.13	0.29	0.51	Sh	50	D	20	
石頭648	III C	5	B	b	2	1.95	1.13	0.46	0.57	Sh	43	C	20	
石頭649	III C	5	B	b	2	2.70	1.64	0.73	2.17	Ag		A	10	先端鋸歯形
石頭650	III C	5	B	b	2	2.12	1.05	0.23	0.43	Sh		Fb	8	
石頭651	III C	15	B	b	2	2.04	1.18	0.32	0.74	Sh		C	10	
石頭652	III C	15	B	b	2	1.71	1.08	0.37	0.52	Ob	61	A	5	
石頭653	III C	15	B	b	2	1.34	1.13	0.37	0.37	Ob	90	Fb	20	底丸 小赤沢
石頭654	III C	15	B	b	2	1.57	1.87	0.59	1.25	Sh		A	11	
石頭655	III C	16	B	b	2	1.94	1.92	0.32	1.13	Sh		A	10	
石頭665	III C	5	B	b	2	3.12	1.71	0.65	3.01	Ob	38	C	5	
石頭1225	III C	5	B	b	2	3.68	1.96	1.08	4.63	Ag	41	D	20	
石頭675	III C	15	B	b	2-3	2.55	2.01	0.71	2.73	Sh	90	C	4	
石頭676	III C	15	B	b	2-3	1.53	1.22	0.29	0.35	Sh	65	X	1	
石頭677	III C	16	B	b	2-3	2.99	2.29	0.71	3.84	Sh		A	7	
石頭33	III C	94	B	b	3	2.54	2.47	0.75	3.60	Sh		D	10	
石頭34	III C	94	B	b	3	2.37	1.45	0.58	1.67	Sh	75	D	4	
石頭35	III C	94	B	b	3	2.11	1.09	0.28	0.56	Ob	88	A	18	

第35表 石器観察表⑦

番号	遺物 種類	大 ダ リ ア イ ド	小 ダ リ ア イ ド	地区	地点	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	古 事 跡 考 究	型 別	通 考	備 考
石頭39	III C	4	B	b	3		1.95	1.80	0.66	1.54	Sh	79	D	20	未製品?
石頭46	III C	4	B	b	3		2.15	1.20	0.50	0.89	Sh	48	D	20	
石頭47	III C	4	B	b	3		2.35	1.56	0.38	1.00	Sh	52	A	20	
石頭48	III C	4	B	b	3		1.87	1.11	0.28	0.40	Ob	70	A	20	
石頭49	III C	4	B	b	3		1.21	1.36	0.25	0.41	Ob	—	E	10	
石頭50	III C	4	B	b	3		2.02	1.28	0.26	0.95	Sh	102	A	4	
石頭51	III C	4	B	b	3		1.84	1.53	0.33	0.83	Sh	—	A	1	アスファルト付素 先端磨擦刃部
石頭52	III C	4	B	b	3		2.90	1.29	0.49	1.51	Sh	—	A	9	アスファルト付素
石頭53	III C	4	B	b	3		2.39	1.56	0.59	1.37	Sh	—	D	1	先端磨擦刃部
石頭54	III C	4	B	b	3		1.64	1.29	0.28	0.45	Sh	—	D	9	
石頭55	III C	4	B	b	3		2.13	1.69	0.43	1.45	Sh	—	D	7	先端磨擦刃部
石頭56	III C	4	B	b	3		1.65	1.10	0.40	0.62	Sh	64	C	1	
石頭57	III C	4	B	b	3		2.21	1.91	0.49	1.52	Sh	—	A	1	
石頭58	III C	4	B	b	3		1.46	1.61	0.22	0.46	Sh	—	B	7	
石頭59	III C	4	B	b	3		1.97	1.60	0.38	0.90	Ag	—	A	1	
石頭60	III C	4	B	b	3		1.76	1.47	0.21	0.43	Sh	48	Fb	20	
石頭61	III C	4	B	b	3		1.58	1.84	0.20	0.35	Sh	132	Fa	3	
石頭62	III C	4	B	b	3		2.55	1.76	0.69	2.63	Sh	62	H	20	
石頭63	III C	4	B	b	3		2.69	1.64	0.73	2.36	Sh	71	C	20	
石頭64	III C	4	B	b	3		1.91	1.64	0.32	1.49	Sh	89	E	20	
石頭65	III C	4	B	b	3		2.69	1.08	0.43	1.17	Sh	—	Fe	20	
石頭66	III C	4	B	b	3		2.29	2.09	0.38	1.50	Sh	—	D	20	未製品?
石頭67	III C	4	B	b	3		2.30	1.07	0.38	0.58	Ob	73	D	20	
石頭68	III C	4	B	b	3		1.53	1.33	0.22	0.34	Ob	73	Fb	3	
石頭69	III C	4	B	b	3		1.64	1.66	0.35	0.78	Ob	—	D	7	先端磨擦刃部
石頭70	III C	4	B	b	3		1.71	1.54	0.22	0.30	Ob	—	Fa	10	
石頭71	III C	4	B	b	3		1.91	1.65	0.51	1.27	Ob	—	H	10	先端磨擦刃部
石頭72	III C	4	B	b	3		1.54	0.93	0.29	0.39	Ob	48	X	10	
石頭73	III C	4	B	b	3		4.16	2.72	1.15	11.66	Sh	71	D	20	
石頭74	III C	4	B	b	3		1.06	2.21	1.09	7.13	Sh	46	H	20	
石頭75	III C	5	B	b	3		1.95	1.79	0.28	0.58	Sh	92	A	20	
石頭79	III C	5	B	b	3		1.59	1.27	0.26	0.42	Sh	76	A	5	
石頭81	III C	5	B	b	3		1.34	1.34	0.25	0.28	Ob	—	Fb	10	產地: 湖ノ瀬
石頭83	III C	4	B	b	3		2.39	1.44	0.64	1.78	Ob	59	Fe	20	產地: 小糸沢
石頭332	III C	4	B	b	3		2.36	1.48	0.47	1.73	Sh	—	C	7	
石頭333	III C	4	B	b	3		2.09	1.05	0.49	0.97	Sh	69	Fb	3	
石頭334	III C	4	B	b	3		2.78	1.71	0.73	2.44	Sh	86	H	20	
石頭335	III C	4	B	b	3		2.54	1.92	0.38	2.49	Ag	113	Fe	20	
石頭336	III C	4	B	b	3		1.63	1.30	0.32	0.43	Ag	57	X	2	
石頭337	III C	4	B	b	3		1.62	1.27	0.28	0.49	Sh	54	X	2	
石頭657	III C	4	B	b	3		2.79	1.44	0.44	1.04	Sh	44	A	20	
石頭658	III C	4	B	b	3		2.22	1.29	0.37	0.77	Sh	72	A	20	
石頭659	III C	5	B	b	3		3.91	2.19	1.07	5.52	Ag	72	H	3	
石頭660	III C	5	B	b	3		1.36	0.89	0.27	0.19	Sh	—	Fb	14	
石頭661	III C	5	B	b	3		2.47	1.65	0.32	0.87	Sh	57	D	20	アスファルト付素
石頭662	III C	5	B	b	3		1.71	1.73	0.32	0.71	Ag	49	Fb	20	
石頭663	III C	5	B	b	3		1.29	1.13	0.32	0.46	Sh	72	E	20	
石頭664	III C	5	B	b	3		1.92	1.82	0.24	0.51	Sh	—	A	10	
石頭668	III C	15	B	b	3		2.68	2.48	0.80	5.11	Sh	—	E	8	未製品?
石頭669	III C	15	B	b	3		2.11	1.08	0.32	0.57	Sh	31	C	5	
石頭670	III C	15	B	b	3		1.10	1.13	0.26	0.19	Sh	76	Fb	20	
石頭672	III C	16	B	b	3		2.41	1.55	0.56	1.79	Sh	85	E	3	
石頭690	III C	4	B	b	3		2.46	1.75	0.34	1.50	Ob	68	E	3	
石頭691	III C	4	B	b	3		1.36	0.92	0.31	0.33	Sh	68	C	20	
石頭692	III C	4	B	b	3		2.33	1.33	0.46	0.79	Sh	54	C	20	
石頭693	III C	4	B	b	3		2.35	1.26	0.37	0.83	Sh	74	C	5	
石頭694	III C	4	B	b	3		2.84	1.36	0.39	1.43	Sh	50	X	5	先端磨擦刃部
石頭695	III C	5	B	b	3		1.84	1.53	0.25	0.58	Sh	—	A	10	
石頭697	III C	5	B	b	3		2.66	1.63	0.44	1.22	Sh	—	C	9	
石頭698	III C	5	B	b	3		2.00	1.83	0.31	0.76	Sh	—	A	10	
石頭699	III C	5	B	b	3		1.60	1.21	0.31	0.58	Ag	—	A	7	
石頭700	III C	5	B	b	3		2.35	1.71	0.44	1.34	Ag	58	C	5	
石頭701	III C	5	B	b	3		2.37	1.51	0.57	1.32	Ag	77	A	20	
石頭702	III C	5	B	b	3		1.82	1.26	0.25	0.30	Ag	52	Fb	3	
石頭703	III C	5	B	b	3		1.58	1.43	0.26	0.32	Sh	60	Fb	20	
石頭704	III C	5	B	b	3		2.67	1.84	0.62	2.54	Sh	89	E	3	
石頭705	III C	5	B	b	3		2.57	1.29	0.31	1.11	Sh	76	A	4	

第36表 石器観察表⑧

標致番 号	物種 名	大 分 類	小 分 類	地 区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	Zi 材	先 史 角 度	類 型	遺 存	考 査	
石鏡706	石鏡	III C	5	B	b	3	1.57	1.63	0.34	0.67	Ag	92	X	2		
石鏡707	石鏡	III C	5	B	b	3	1.16	1.68	0.25	0.38	Sh	C	11			
石鏡708	石鏡	III C	5	B	b	3	1.39	1.43	0.29	0.34	Ob	X	6			
石鏡709	石鏡	III C	5	B	b	3	1.82	1.25	0.13	0.67	Ob	61	C	20	产地: 小赤沢	
石鏡710	石鏡	III C	5	B	b	3	1.94	1.55	0.38	0.85	Ob	70	Fb	3		
石鏡711	石鏡	III C	5	B	b	3	1.95	1.82	0.64	1.69	Ob	73	E	20	产地: 小赤沢?	
石鏡712	石鏡	III C	5	B	b	3	1.90	1.07	0.53	0.97	Sh	57	C	20		
石鏡722	石鏡	III C	14	B	b	3	2.66	1.32	0.42	0.99	Sh	54	C	5		
石鏡723	石鏡	III C	14	B	b	3	1.68	1.24	0.56	0.90	Sh	66	A	20		
石鏡725	石鏡	III C	16	B	b	3	2.24	1.36	0.25	0.52	Sa	59	A	5		
石鏡726	石鏡	III C	16	B	b	3	2.36	1.74	0.68	1.90	S.Sh	67	C	20		
石鏡727	石鏡	III C	16	B	b	3	1.63	1.81	0.41	1.09	Sh	C	10			
石鏡1323	石鏡	III C	14	B	b	3	2.10	0.90	0.49	0.72	Sh	32	C	20		
石鏡82	石鏡	III C	5	B	b	3b	1.54	1.21	0.34	0.39	Ob	89	A	20	产地: 小赤沢	
石鏡84	石鏡	III C	5	B	b	3b	1.71	1.27	0.34	0.42	Sh	67	A	20		
石鏡85	石鏡	III C	5	B	b	3b	2.01	1.31	0.26	0.40	Sh	70	C	20		
石鏡86	石鏡	III C	5	B	b	3b	1.74	1.29	0.49	0.58	Sh	65	B	20		
石鏡87	石鏡	III C	5	B	b	3b	2.22	1.52	0.38	0.88	Sh	C	18			
石鏡88	石鏡	III C	3	B	b	3b	1.94	1.14	0.28	0.37	Ag	A	1			
石鏡89	石鏡	III C	5	B	b	3-5	2.37	1.50	0.44	1.79	Sh	E	18			
石鏡91	石鏡	III C	4	B	b	4	2.08	1.64	0.55	1.46	Ob	99	H	3		
石鏡96	石鏡	III C	5	B	b	5	1.58	1.18	0.38	0.40	Sh	61	A	20		
石鏡92	石鏡	III C	4	B	b	5	2.49	1.69	0.82	2.11	Ob	108	H	20		
石鏡93	石鏡	III C	4	B	b	5	2.13	1.26	0.26	0.44	Sh	59	A	4		
石鏡94	石鏡	III C	5	B	b	5	1.83	1.37	0.41	0.73	Sh	37	A	7	先端衝撃痕	
石鏡95	石鏡	III C	5	B	b	5	1.60	1.20	0.31	0.50	Sh	100	B	20		
石鏡96	石鏡	III C	5	B	b	5	1.61	1.08	0.27	0.29	Ob	52	B	20		
石鏡97	石鏡	III C	4	B	b	6	2.01	1.41	0.45	1.02	Sh	101	Fb	4		
石鏡98	石鏡	III C	15	B	b	6	1.76	1.35	0.23	0.42	Sh	59	A	5		
石鏡99	石鏡	III C	5	B	b	6	1.29	1.32	0.29	0.37	Sh	79	C	5		
石鏡121	石鏡	III C	15	B	b	6	1.58	1.31	0.51	0.76	Sb	60	X	2		
石鏡122	石鏡	III C	15	B	b	6	1.61	1.27	0.33	0.51	Ob	89	A	20		
石鏡100	石鏡	III C	5	B	b	6a	1.24	1.49	0.21	0.31	Sb	B	10			
石鏡101	石鏡	III C	4	B	b	6a	2.37	1.26	0.30	0.69	Ag	63	A	4		
石鏡102	石鏡	III C	4	B	b	6a	2.00	1.25	0.35	0.65	Sh	85	Fc	18		
石鏡104	石鏡	III C	5	B	b	6a	1.71	1.06	0.32	0.48	Sh	46	D	5	アスファルト付着	
石鏡105	石鏡	III C	5	B	b	6a	0.82	1.24	0.24	0.29	Ob	A	7			
石鏡106	石鏡	III C	15	B	b	6a	1.92	1.53	0.34	0.63	Ob	A	10	先端衝撃剝離		
石鏡107	石鏡	III C	4	B	b	6a上	3.26	1.25	0.40	1.30	Sb	39	A	8		
石鏡108	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.92	1.71	0.41	0.94	Sh	67	A	20		
石鏡109	石鏡	III C	4	B	b	6a上	2.39	2.05	0.61	2.21	Ag	D	10			
石鏡110	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.79	1.36	0.29	0.52	Sh	67	A	3		
石鏡111	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.39	1.83	0.37	0.88	Sh	Fb	10			
石鏡112	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.39	1.45	0.39	0.54	Ob	A	10			
石鏡113	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.71	1.76	0.27	0.60	Ob	A	10			
石鏡114	石鏡	III C	4	B	b	6a上	1.84	1.74	0.33	0.72	Ob	A	10	产地: 小赤沢		
石鏡115	石鏡	III C	5	B	b	6a-6b	1.77	1.26	0.23	0.39	Ob	74	A	4		
石鏡117	石鏡	III C	4	B	b	6b	1.83	1.26	0.43	0.91	Sh	70	Fb	20	未製品?	
石鏡119	石鏡	III C	5	B	b	6b	1.98	1.12	0.35	0.46	Sh	51	A	20		
石鏡120	石鏡	III C	5	B	b	6b	2.17	1.56	0.48	1.24	Sh	83	A	20		
石鏡121	石鏡	III C	5	B	b	6b	1.96	1.44	0.33	0.61	Sh	51	A	5		
石鏡122	石鏡	III C	5	B	b	6b	2.34	1.31	0.32	0.49	Sh	39	Fb	4		
石鏡123	石鏡	III C	5	B	b	6b	1.82	2.26	0.53	2.02	Sh	Fb	10			
石鏡124	石鏡	III C	5	B	b	6b	1.92	1.67	0.28	0.73	Sh	A	7			
石鏡125	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.37	1.49	0.18	0.26	Sh	70	Fb	10		
石鏡126	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.78	1.52	0.42	1.07	Sh	92	H	20		
石鏡127	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.63	1.40	0.27	0.48	Ob	89	A	20		
石鏡128	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.69	1.56	0.20	0.43	Sh	A	10			
石鏡129	石鏡	III C	4	B	b	6-7	2.13	1.12	0.32	0.46	Sh	41	A	20		
石鏡130	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.87	1.60	0.35	0.84	Sh	42	A	7		
石鏡131	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.66	1.31	0.32	0.55	Sh	A	10			
石鏡132	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.56	1.71	0.23	0.58	Sh	A	10			
石鏡133	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.39	1.44	0.23	0.34	Ag	A	10			
石鏡134	石鏡	III C	4	B	b	6-7	2.36	1.37	0.37	0.89	Ag	A	10	先端衝撃剝離		
石鏡135	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.79	1.47	0.30	0.54	Ag	59	Fb	3		
石鏡136	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.68	1.88	0.29	0.77	Sh	100	A	20		
石鏡137	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.88	1.65	0.69	2.16	Ag	106	Fc	20	先端部加工	
石鏡138	石鏡	III C	4	B	b	6-7	1.30	1.42	0.32	0.40	Ob	Fc	10			

第37表 石器観察表⑨

器種 番号	遺物 名	大 小 分 類	基 地 区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	材 料	先 史 学 的 意 義	類 型	兼 用 石	備 考	
石刀129	三C	4	B	b	6-7	1.60	1.42	0.32	0.45	Ob	60	Na	3	磨溝: 小字記	
石刀140	三C	4	B	b	6-7	1.64	1.47	0.23	0.45	Ob		B	9		
石刀141	三C	4	B	b	6-7	1.83	1.23	0.32	0.52	Ob		A	9		
石刀142	三C	4	B	b	6-7	1.69	1.13	0.34	0.51	Ob		Fb	10		
石刀143	三C	4	B	b	6-7	1.96	1.32	0.34	0.54	Ob	70	A	4		
石刀144	三C	4	B	b	6-7	2.05	1.05	0.35	0.51	Ob	59	B	20		
石刀145	三C	5	B	b	6-7	2.14	1.36	0.29	0.45	Sb	65	Fb	3		
石刀147	三C	4	B	b	6-7	2.47	2.62	0.87	4.58	Sh		Fc	10		
石刀148	三C	4	B	b	7	2.06	1.30	0.46	0.83	Sh	56	A	20		
石刀149	三C	4	B	b	7	2.33	1.33	0.57	1.27	Sh	59	C	20		
石刀150	三C	4	B	b	7	2.15	1.24	0.25	0.40	St	63	A	4		
石刀151	三C	4	B	b	7	1.83	1.61	0.27	0.76	St		A	7	先端衝擊刃	
石刀152	三C	4	B	b	7	2.50	1.41	0.60	1.26	Sh	57	D	3		
石刀153	三C	4	B	b	7	2.04	1.78	0.31	0.80	Sh		Fb	8		
石刀154	三C	4	B	b	7	1.40	1.04	0.31	0.28	Ob	55	A	4		
石刀155	三C	4	B	b	7	2.04	1.52	0.22	0.39	Ob		Fa	10		
石刀156	三C	4	B	b	7	2.32	1.63	0.36	0.81	Ob	55	Fb	3		
石刀157	三C	4	B	b	7	1.33	1.37	0.31	0.41	Ob	63	Fb	3		
石刀158	三C	4	B	b	7	1.59	1.29	0.42	0.87	Ob	95	Fb	20		
石刀159	三C	5	B	b	7	1.71	1.44	0.41	0.81	Sh	97	Fc	3		
石刀160	三C	5	B	b	7	1.89	1.17	0.38	0.74	Sa		A	7		
石刀161	三C	5	B	b	7	0.99	0.71	0.23	0.15	Ob		A	10		
石刀162	三C	5	B	b	7	1.68	1.71	0.57	1.55	Ob		C	19		
石刀163	三C	5	B	b	7	1.33	0.94	0.34	0.31	Ob	72	X	2		
石刀164	三C	5	B	b	7	2.97	2.28	1.18	5.10	Sh	82	H	20		
石刀165	三C	5	B	b	7	2.80	1.70	0.90	3.56	Sh		H	3		
石刀166	三C	14	B	b	7	1.43	1.18	0.27	0.34	Ag	32	Fb	20		
石刀170	三C	14	B	b	7	2.07	1.88	0.32	0.84	Sh		A	11	矢根後に再加工	
石刀171	三C	15	B	b	7	1.59	1.34	0.33	0.49	Ob		A	9		
石刀174	三C	15	B	b	7	1.69	1.01	0.27	0.31	Sh	62	A	20		
石刀176	三C	15	B	b	7	2.22	1.33	0.33	0.77	Sh	61	C	5		
石刀177	三C	15	B	b	7	1.77	1.33	0.36	0.62	Sh		A	10		
石刀178	三C	15	B	b	7	2.30	1.47	0.46	0.82	Sh		A	10		
石刀179	三C	15	B	b	7	1.80	1.53	0.42	1.16	Ag		A	10		
石刀180	三C	15	B	b	7	2.46	1.67	0.43	0.89	Sh	48	A	20		
石刀181	三C	15	B	b	7	1.32	1.41	0.30	0.88	Sh		A	11		
石刀182	三C	15	B	b	7	2.19	1.58	0.43	0.86	Sb	52	A	5		
石刀183	三C	15	B	b	7	1.50	0.95	0.23	0.26	Sb	40	A	7		
石刀184	三C	15	B	b	7	2.69	1.20	0.25	0.55	Sb	51	C	20		
石刀185	三C	15	B	b	7	1.95	1.92	0.40	1.06	Sb		C	10		
石刀186	三C	15	B	b	7	1.92	1.27	0.26	0.45	Sb	48	B	5		
石刀187	三C	15	B	b	7	1.42	1.34	0.41	0.49	Sb	71	Fb	3		
石刀188	三C	15	B	b	7	2.26	1.89	0.45	1.70	Sh	79	H	20		
石刀189	三C	15	B	b	7	2.11	1.74	0.53	1.83	Ss	97	H	20		
石刀190	三C	15	B	b	7	2.24	1.78	0.42	1.03	Sb	67	Fb	11		
石刀191	三C	15	B	b	7	2.61	1.43	0.51	1.18	Ss	100	D	4		
石刀192	三C	15	B	b	7	2.68	1.98	0.89	3.49	Ss		C	20		
石刀193	三C	15	B	b	7	2.03	1.78	0.71	1.99	Ss	76	D	20		
石刀194	三C	15	B	b	7	2.91	2.15	0.90	4.19	Ss	59	Fc	20	未製品?	
石刀195	三C	15	B	b	7	1.68	1.10	0.36	0.35	Ob	25	A	20		
石刀197	三C	15	B	b	7	1.41	1.28	0.33	0.42	Ob	55	A	10		
石刀198	三C	15	B	b	7	1.92	1.56	0.29	0.56	Ob	68	Fb	2		
石刀199	三C	15	B	b	7	1.51	1.27	0.31	0.41	Ob	62	Fb	3		
石刀200	三C	15	B	b	7	1.41	1.18	0.38	0.40	Ob	28	Fb	3		
石刀201	三C	15	B	b	7	1.92	1.30	0.27	0.39	Ob	73	Fa	3		
石刀201	三C	15	B	b	7	1.88	1.69	0.35	0.70	Ob	80	Fb	3		
石刀205	三C	15	B	b	7	1.78	1.42	0.56	1.22	Ob		A	10	補缺 先端再加工	
石刀206	三C	15	B	b	7	2.83	2.29	0.79	3.52	Sh	65	H	20	未製品?	
石刀207	三C	15	B	b	7	1.53	1.31	0.47	0.71	Ob	74	C	8		
石刀208	三C	16	B	b	7	2.21	2.02	0.44	1.80	Sh		A	10		
石刀209	三C	16	B	b	7	1.84	1.24	0.28	0.56	Sh		A	7	同側鋸齒状	
石刀210	三C	16	B	b	7	2.38	1.21	0.35	0.82	Sl	65	A	4		
石刀211	三C	16	B	b	7	1.51	0.95	0.39	0.43	Sh	35	A	20		
石刀212	三C	16	B	b	7	1.25	1.22	0.40	0.50	Ob		C	20	先端再加工	
石刀213	三C	16	B	b	7	2.13	1.64	0.55	1.38	Ob	88	Fb	3		
石刀214	三C	16	B	b	7	1.76	1.46	0.26	0.39	Ob	61	X	1		
石刀215	三C	4	B	b	7	1.76	1.18	0.21	0.32	Sh	50	Fb	20		
石刀217	三C	4	B	b	7	1.66	1.11	0.26	0.40	Sh	64	A	5	アスファルト付蓋	
石刀218	三C	4	B	b	7	2.22	1.23	0.41	0.98	Ag	56	C	20	アスファルト付蓋	

第38表 石器観察表⑩

編號	種類	大 き さ	小 タ ク リ ア ン ド	地 区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	尖 鋒 角度	鋒 利	重 存	参考
石刀219	III C	4	B	b	7	1.49	1.46	0.25	0.29	Sb	Fa	8			
石刀220	III C	4	B	b	7	2.57	2.08	0.67	2.08	Sb	Fc	20			
石刀221	III C	4	B	b	7	2.37	1.86	0.85	3.04	Sb	H	20			
石刀222	III C	4	B	b	7	1.22	1.47	0.23	0.35	Ag	Fc	10	アスファルト付		
石刀224	III C	4	B	b	7	1.21	1.29	0.26	0.24	Ob	Fa	20			
石刀225	III C	4	B	b	7	1.44	1.24	0.35	0.39	Ob	Fb	20			
石刀226	III C	4	B	b	7	1.06	1.06	0.27	0.39	Ob	Fb	4			
石刀227	III C	4	B	b	7	2.13	1.79	0.67	1.47	Ob	Fb	3			
石刀228	III C	4	B	b	7	1.33	1.15	0.32	0.34	Ob	E	3			
石刀229	III C	4	B	b	7	1.95	1.53	0.31	0.59	Ob	X	2	産地: 小水沢		
石刀230	III C	4	B	b	7	1.34	1.54	0.40	0.70	Ob	Fb	20	产地: 小赤沢		
石刀231	III C	15	B	b	7	1.71	1.43	0.47	1.02	Ag	80	E	20		
石刀232	III C	15	B	b	7	3.31	1.58	0.40	1.62	Sb	C	10			
石刀233	III C	5	B	b	7b	1.88	1.51	0.47	1.07	Sb	Fc	10	先端鋒利部		
石刀236	III C	16	B	b	7-8	2.85	1.36	0.30	0.57	Sb	A	20			
石刀237	III C	16	B	b	7-8	1.19	1.26	0.33	0.41	Sb	H	10			
石刀238	III C	4	B	b	7b-8	1.72	1.40	0.36	0.59	Ob	Fa	3			
石刀239	III C	4	B	b	7b-8	1.53	1.53	0.29	0.54	Ob	Fb	10			
石刀241	III C	16	B	b		2.47	1.95	0.66	2.00	S.Sb	X	6			
石刀241	III C	16	B	b		3.02	1.93	0.79	3.08	Sb	C	20			
石刀362	III C	6	B	c	1上	3.04	1.11	0.72	1.18	Sb	C	20	e 場防崩落壁		
石刀363	III C	6	B	c	1上	1.84	1.40	0.32	0.61	Sb	A	5	e 場防崩落壁		
石刀364	III C	6	B	c	1上	2.30	1.79	0.40	1.35	Sb	A	20	e 場防崩落壁		
石刀365	III C	6	B	c	1上	1.92	1.12	0.52	0.80	Sb	C	10	e 場防崩落壁		
石刀366	III C	6	B	c	1上	1.95	1.15	0.38	0.85	Sb	Fb	20	e 場防崩落壁		
石刀367	III C	6	B	c	1上	1.27	1.41	0.35	0.58	Sb	X	2	e 場防崩落壁		
石刀368	III C	6	B	c	1上	2.82	2.20	0.59	2.64	Sb	X	2	e 場防崩落壁		
石刀370	III C	6	B	c	1上	2.30	1.76	0.27	0.83	Ob	A	3	e 場防崩落壁		
石刀392	III C	17	B	c	1上	2.89	1.58	0.60	1.27	Sb	A	20	e 場防崩落壁		
石刀394	III C	17	B	c	1上	1.98	1.41	0.31	0.86	Sb	Fb	20	e 場防崩落壁		
石刀395	III C	17	B	c	1上	2.13	1.61	0.52	1.73	Sb	H	20	e 場防崩落壁		
石刀396	III C	17	B	c	1上	1.82	1.52	0.36	0.96	Sb	Fc	10	e 場防崩落壁		
石刀397	III C	17	B	c	1上	2.86	1.85	0.87	3.20	Sb	C	4	e 場防崩落壁		
石刀398	III C	17	B	c	1上	2.76	1.32	0.64	1.76	Ob	C	20	e 場防崩落壁 等熱: 小赤沢		
石刀399	III C	17	B	c	1上	2.92	1.97	5.37	2.73	Sb	Fb	20	e 場防崩落壁		
石刀400	III C	18	B	c	1上	1.81	1.60	0.38	1.13	Sb	Fc	10	e 場防崩落壁		
石刀401	III C	18	B	c	1上	2.30	2.13	0.84	3.84	Sb	K	20	e 場防崩落壁		
石刀402	III C	18	B	c	1上	2.24	0.88	0.36	0.60	Ag	Fc	20	e 場防崩落壁		
石刀403	III C	18	B	c	1上	2.68	1.76	0.67	2.95	Sb	X	2	e 場防崩落壁		
石刀595	III C	6	B	c	1上	1.90	1.69	0.65	1.75	Sb	Fc	10	e 場防崩落壁		
石刀596	III C	6	B	c	1上	2.11	1.79	0.65	2.11	Sb	H	20	e 場防崩落壁		
石刀597	III C	6	B	c	1上	2.29	1.47	0.49	1.08	Sb	A	10	e 場防崩落壁		
石刀616	III C	28	B	c	1上	2.25	1.09	0.39	0.76	Sb	C	10	e 場防崩落壁		
石刀617	III C	28	B	c	1上	2.62	1.16	0.42	0.98	Sb	X	2	e 場防崩落壁		
石刀729	III C	27	B	c	1上	1.43	0.93	0.29	0.22	Ob	A	20			
石刀730	III C	27	B	c	1上	2.13	1.73	0.32	0.87	Sb	A	5			
石刀731	III C	27	B	c	1上	2.58	1.34	0.68	2.11	Sb	Fc	5			
石刀732	III C	27	B	c	1上	2.37	1.38	0.56	1.19	Ag	A	20			
石刀733	III C	27	B	c	1上	1.62	1.41	0.31	0.53	Ob	F	5			
石刀734	III C	27	B	c	1上	1.49	1.46	0.38	0.62	Ob	A	10			
石刀1196	III C	17	B	c	1上	1.39	1.61	0.32	0.56	Sb	A	7	新所		
石刀1197	III C	27	B	c	1上	2.81	2.10	0.50	4.69	Sb	Fc	20	新所		
石刀1198	III C	17	B	c	1上	1.58	1.02	0.35	0.53	Sb	C	20			
石刀1213	III C	17	B	c	1上	1.83	1.45	0.60	1.34	Ob	E	30			
石刀740	III C	7	B	c	2	2.09	1.00	0.29	0.45	Sb	Fb	20			
石刀741	III C	17	B	c	3	2.24	1.59	0.34	1.35	Sb	Pb	8			
石刀742	III C	17	B	c	3	1.81	1.48	0.36	0.75	Sb	X	2			
石刀449	III C	17	B	c	4-6	3.16	2.03	0.56	2.42	Sb	A	20			
石刀451	III C	17	B	c	4-6	2.21	1.10	0.54	1.09	Sb	A	7	アスファルト付 等熱: 斧頭削剥		
石刀452	III C	17	B	c	4-6	3.00	1.97	0.32	2.32	Sb	C	10			
石刀453	III C	17	B	c	4-6	2.22	1.60	0.45	1.08	Sb	A	5			
石刀454	III C	17	B	c	4-6	2.58	1.55	0.60	2.19	Sb	Fc	10	先端鋒利削剥		
石刀455	III C	17	B	c	4-6	1.97	0.90	4.53	Sh	C	11				
石刀456	III C	17	B	c	4-6	3.13	1.97	0.90	4.53	Sh	C	10			
石刀457	III C	17	B	c	4-6	2.18	1.24	0.56	1.09	Ob	C	20			

第39表 石器観察表①

器種 名	器物 種類 名	大 タ イ ク リ ア ド	小 タ イ ク リ ア ド	地区	地 点	器 形	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	材 料	尖 端 角度	鑿 跡	通 孔	備 考
石刀458	石刀	Ⅲ C	28	B	c	4-6	2.44	1.67	0.53	1.19	Sh	60	A	5	
石刀459	石刀	Ⅲ C	17	B	c	4-10	1.96	1.52	0.41	1.01	Sh	54	Fc	18	
石刀460	石刀	Ⅲ C	18	B	c	4-10	3.48	2.68	1.02	9.92	Sh	86	II	20	アスファルト付石 木製品?
石刀462	石刀	Ⅲ C	28	B	c	4-10	2.38	1.94	0.72	3.02	Sh	74	E	20	
石刀463	石刀	Ⅲ C	28	B	c	4-10	2.61	1.96	0.76	4.26	Ob	79	E	11	
石刀464	石刀	Ⅲ C	28	B	c	4-10	1.53	1.32	0.36	0.91	Sh	53	E	10	
石刀465	石刀	Ⅲ C	17	B	c	4-10	2.35	1.17	0.51	1.12	Sh	47	C	20	
石刀466	石刀	Ⅲ C	7	B	c	7-10	2.16	1.53	0.47	0.85	Sh	51	A	18	
石刀467	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	3.57	1.29	0.41	1.71	Ag	30	Fb	20	
石刀471	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	2.31	0.90	0.44	0.65	Sh	55	C	20	
石刀472	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	3.19	1.85	0.68	2.39	Sh	54	D	20	アスファルト付石
石刀473	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	2.56	1.02	0.44	1.13	Sh	61	C	20	
石刀474	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	2.12	1.86	0.66	2.16	Sh	52	H	11	
石刀476	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	1.96	2.29	0.89	3.37	Ob	47	C	20	
石刀477	石刀	Ⅲ C	17	B	c	7-10	3.03	1.70	0.69	2.82	Sh	41	A	20	
石刀478	石刀	Ⅲ C	18	B	c	7-10	3.06	1.75	0.79	3.62	Sh	61	X	2	
石刀479	石刀	Ⅲ C	28	B	c	7-10	1.82	1.41	0.46	0.86	Sh	57	X	2	
石刀480	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	1.82	1.67	0.76	1.66	Ag	42	G	11	
石刀484	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	2.58	1.11	0.42	0.99	Sh	53	Fb	20	
石刀485	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	2.34	1.05	0.58	1.26	Ag	53	C	20	
石刀486	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	2.55	1.57	0.38	1.32	Sh	59	E	20	
石刀487	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	1.96	1.45	0.43	0.99	Ag	68	H	20	
石刀489	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	1.90	1.01	0.36	0.51	Sh	40	E	20	
石刀491	石刀	Ⅲ C	17	B	c	8	2.56	1.84	0.86	3.49	Sh	61	E	20	
石刀495	石刀	Ⅲ C	28	B	c	8-13	2.15	1.10	0.38	0.63	Sh	68	A	20	
石刀496	石刀	Ⅲ C	28	B	c	8-13	2.03	1.51	0.50	0.68	Sh	62	Fb	3	
石刀497	石刀	Ⅲ C	28	B	c	8-13	1.55	0.80	0.30	0.27	Ob	41	A	18	
石刀498	石刀	Ⅲ C	17	B	c	9-12	2.41	1.40	0.40	1.27	Sh	79	Fc	20	アスファルト付石
石刀499	石刀	Ⅲ C	17	B	c	9-12	2.71	1.67	0.45	1.66	Sh	52	H	10	
石刀501	石刀	Ⅲ C	17	B	c	10	2.53	1.53	0.71	1.80	Sh	58	C	20	
石刀502	石刀	Ⅲ C	28	B	c	10	2.17	1.58	0.48	1.38	Ag	74	E	3	
石刀503	石刀	Ⅲ C	28	B	c	10	1.62	1.14	0.27	0.47	Sh	109	Fb	20	
石刀506	石刀	Ⅲ C	17	B	c	10	2.22	1.06	0.40	0.63	Sh	69	D	20	アスファルト付石
石刀507	石刀	Ⅲ C	17	B	c	10	2.13	1.91	0.50	1.38	Sh	111	Fb	3	
石刀509	石刀	Ⅲ C	6	B	c	10	2.66	1.84	0.84	3.53	Sh	106	H	20	未製品?
石刀510	石刀	Ⅲ C	6	B	c	10	4.07	2.83	1.96	11.14	Sh	57	H	20	未製品?
石刀511	石刀	Ⅲ C	17	B	c	10-12	2.00	1.13	0.38	0.85	Sh	62	Fb	10	
石刀512	石刀	Ⅲ C	17	B	c	10-12	2.66	1.96	0.72	2.76	Sh	62	E	3	
石刀513	石刀	Ⅲ C	17	B	c	11	2.05	1.97	0.49	1.11	Sh	52	A	10	
石刀514	石刀	Ⅲ C	17	B	c	11	1.80	1.35	0.32	0.54	Ag	51	A	10	先端衝撃剝離
石刀515	石刀	Ⅲ C	17	B	c	11	2.46	2.31	0.63	2.73	Sh	52	E	10	
石刀516	石刀	Ⅲ C	17	B	c	11	1.90	0.95	0.28	0.34	Sh	52	Fb	10	
石刀517	石刀	Ⅲ C	17	B	c	11	2.11	1.95	0.53	1.67	Ag	57	X	1	
石刀518	石刀	Ⅲ C	28	B	c	11	1.40	1.02	0.32	0.53	Sh	58	A	5	
石刀519	石刀	Ⅲ C	28	B	c	11	3.00	1.11	0.49	1.31	Sh	47	C	5	アスファルト付石
石刀520	石刀	Ⅲ C	28	B	c	11	1.46	1.23	0.19	0.24	Sh	75	X	1	
石刀521	石刀	Ⅲ C	28	B	c	11	2.10	1.93	0.84	2.47	Sh	72	C	20	
石刀522	石刀	Ⅲ C	28	B	c	11-12	1.45	1.00	0.20	0.15	Sh	52	A	10	
石刀523	石刀	Ⅲ C	11-12	2.11	1.48	0.29	0.38	Sh	53	A	20				
石刀524	石刀	Ⅲ C	11-12	2.28	2.07	0.93	2.35	Ob	94	X	2				
石刀525	石刀	Ⅲ C	7	B	c	12	1.35	1.30	0.24	0.25	Sh	60	X	1	
石刀526	石刀	Ⅲ C	7	B	c	12	1.46	1.46	0.29	0.35	Sh	52	Fa	20	
石刀527	石刀	Ⅲ C	7	B	c	12	1.57	1.46	0.49	0.74	Ob	81	Fb	2	
石刀528	石刀	Ⅲ C	7	B	c	12	2.39	2.17	1.04	3.98	Ag	52	C	9	
石刀529	石刀	Ⅲ C	16	B	c	12	2.40	1.43	0.34	0.65	Sh	71	A	20	
石刀530	石刀	Ⅲ C	17	B	c	12	2.61	1.63	0.31	0.96	Sh	62	A	5	アスファルト付石
石刀531	石刀	Ⅲ C	17	B	c	12	1.72	1.89	0.27	0.74	Ob	105	Fa	3	产地: 小糸沢
石刀532	石刀	Ⅲ C	17	B	c	12	2.75	1.87	0.29	0.90	Sh	67	X	16	
石刀533	石刀	Ⅲ C	17	B	c	12	2.41	1.29	0.37	0.74	Sh	50	D	4	
石刀534	石刀	Ⅲ C	17	B	c	12	2.04	1.05	0.36	0.62	Sh	51	A	5	
石刀535	石刀	Ⅲ C	28	B	c	12	2.38	1.29	0.37	0.82	Sh	52	C	9	
石刀536	石刀	Ⅲ C	28	B	c	12	2.38	1.49	0.44	1.02	Sh	60	A	20	

第40表 石器観察表⑫

編 號 No.	遺 物 名 稱 Na.	人 小 大 グ リ リ ア ド Na.	地 点 Loc.	層 位 Lay.	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材 Mat.	尖 先 角 度 Ang.	類 型 Typ.	遺 存 存 在 Loc.	備 考 Re-	
石頭800	III C	28	B	c	12	1.43	1.43	0.40	0.45	Ob	A	10		
石頭1222	III C	28	B	c	12	1.43	0.95	0.30	0.25	Sh	45	A	5	アスファルト付着
石頭802	III C	17	B	c	12~13	2.14	1.25	0.37	0.66	Sh	55	Fb	3	
石頭804	III C	27	B	c	12~13	1.79	1.48	0.26	0.51	Sh	A	10		
石頭805	III C	27	B	c	12~13	1.76	0.98	0.34	0.47	Sh	59	A	20	
石頭806	III C	27	B	c	12~13	2.17	1.32	0.34	0.90	Ag	A	7		
石頭807	III C	27	B	c	12~13	2.74	1.75	0.61	2.51	Sh	C	10		
石頭808	III C	27	B	c	12~13	2.13	1.43	0.79	1.38	Sh	79	C	20	
石頭809	III C	27	B	c	12~13	2.24	1.80	0.96	3.43	Sh	81	E	20	
石頭810	III C	27	B	c	12~13	2.00	1.54	0.65	1.94	Sh	117	II	18	
石頭811	III C	27	B	c	12~13	1.70	1.62	0.27	0.58	Ag	62	X	2	アスファルト付着
石頭812	III C	27	B	c	12~13	2.07	1.70	0.65	1.57	Sh	C	10		
石頭813	III C	27	B	c	12~13	1.63	1.44	0.25	0.37	Ob	64	Fb	3	
石頭814	III C	27	B	c	12~13	0.99	1.50	0.29	0.32	Ob	Fb	10		
石頭815	III C	27	B	c	12~13	0.66	0.41	0.28	0.06	Ob	28	X	21	
石頭816	III C	27	B	c	12~13	0.42	0.35	0.17	0.02	Ag	37	X	12	
石頭817	III C	27	B	c	12~13	1.46	1.01	0.18	0.22	Sh	32	C	15	
石頭818	III C	27	B	c	12~13	1.55	1.11	0.29	0.35	Ob	61	C	20	
石頭819	III C	27	B	c	12~13	1.10	0.78	0.20	0.12	Sh	49	X	21	
石頭820	III C	27	B	c	12~13	0.99	0.86	0.22	0.13	Ob	A	10		
石頭821	III C	27	B	c	12~13	2.59	1.61	0.54	1.80	Sh	67	Fb	20	
石頭822	III C	27	B	c	12~13	2.92	1.68	0.56	1.37	Ob	66	G	20	先端衝撃剝離
石頭823	III C	27	B	c	12~13	1.32	0.73	0.30	0.21	Ob	55	Fb	12	
石頭824	III C	27	B	c	12~13	0.90	1.10	0.29	0.25	Sh	A	7		
石頭825	III C	27	B	c	12~13	0.98	1.52	0.32	0.49	Ob	A	7		
石頭826	III C	27	B	c	12~13	1.33	1.16	0.32	0.19	Ag	77	II	20	
石頭827	III C	27	B	c	12~13	2.23	1.07	0.27	0.48	Sh	47	A	3	
石頭828	III C	27	B	c	12~13	2.44	1.85	0.92	3.06	Ob	121	C	20	原地: 小湊沢
石頭829	III C	27	B	c	12~13	2.56	1.13	0.49	0.97	Ob	65	A	18	
石頭830	III C	27	B	c	12~13	1.39	1.35	0.38	0.45	Sh	58	X	1	
石頭831	III C	27	B	c	12~13	1.33	1.16	0.32	0.19	Ag	77	II	20	
石頭832	III C	27	B	c	12~13	3.25	1.69	1.09	4.28	Sh	109	C	20	
石頭833	III C	27	B	c	12~13	2.08	1.79	0.76	2.16	Sh	87	Fe	20	
石頭834	III C	27	B	c	12~13	2.38	1.65	0.68	1.97	Sh	86	C	20	
石頭835	III C	27	B	c	12~13	1.84	1.37	0.25	0.44	Ob	59	A	5	
石頭836	III C	27	B	c	12~13	0.88	1.03	0.23	0.11	Ob	A	11		
石頭837	III C	27	B	c	12~13	1.30	1.03	0.33	0.38	Sh	A	16		
石頭838	III C	27	B	c	12~13	1.16	1.06	0.36	0.36	Sh	C	7		
石頭839	III C	27	B	c	12~13	1.59	1.15	0.25	0.29	Sh	77	A	20	
石頭840	III C	27	B	c	12~13	1.44	1.06	0.32	0.38	Sh	A	10	先端衝撃剝離	
石頭841	III C	27	B	c	12~13	1.98	0.94	0.28	0.26	Sh	43	A	20	
石頭842	III C	27	B	c	12~13	1.61	0.82	0.26	0.21	Ob	55	C	20	
石頭843	III C	27	B	c	12~13	1.79	1.32	0.27	0.39	Sh	73	A	20	
石頭844	III C	27	B	c	12~13	1.89	1.21	0.61	1.06	Sh	A	7	先端衝撃剝離	
石頭845	III C	27	B	c	12~13	1.43	1.08	0.49	0.64	Ob	78	C	5	
石頭846	III C	28	B	c	12~13	1.70	1.19	0.32	0.41	Ob	40	Fb	3	
石頭847	III C	28	B	c	12~13	1.95	1.33	0.26	0.35	Sh	23	Fb	20	
石頭848	III C	28	B	c	12~13	2.40	1.38	0.94	2.41	Sh	82	G	20	
石頭849	III C	28	B	c	12~13	1.65	1.56	0.25	0.51	Sh	A	10		
石頭850	III C	28	B	c	12~13	2.98	1.74	0.51	1.93	Sh	81	C	18	
石頭851	III C	28	B	c	12~13	1.03	1.37	0.33	1.14	Sh	38	Fe	3	
石頭852	III C	28	B	c	12~13	1.61	1.22	0.36	0.48	Ag	58	C	20	
石頭853	III C	28	B	c	12~13	2.23	0.90	0.29	0.52	Sh	C	10		
石頭854	III C	28	B	c	12~13	1.67	1.22	0.36	0.57	Ag	79	C	20	
石頭855	III C	28	B	c	12~13	2.20	1.15	0.30	0.48	Ag	58	C	20	
石頭856	III C	28	B	c	12~13	1.82	1.13	0.39	0.68	Sh	Fb	10		
石頭857	III C	28	B	c	12~13	3.40	1.19	0.33	1.14	Sh	38	Fe	3	
石頭858	III C	28	B	c	12~13	2.23	0.90	0.29	0.52	Sh	C	10		
石頭859	III C	28	B	c	12~13	2.21	1.77	0.63	1.53	Ag	93	X	2	
石頭860	III C	28	B	c	12~13	1.90	1.73	0.52	1.04	Ag	78	E	3	
石頭861	III C	28	B	c	12~13	1.22	1.20	0.39	0.27	Ag	79	X	1	
石頭862	III C	28	B	c	12~13	1.94	1.24	0.30	0.54	Ob	68	E	20	
石頭864	III C	28	B	c	12~13	1.54	1.71	0.29	0.57	Sh	Fa	10		
石頭865	III C	28	B	c	12~13	1.03	1.37	0.32	0.47	Ob	Fc	10		
石頭866	III C	27	B	c	12~13	1.15	1.38	0.33	0.33	Sh	Fb	16		
石頭867	III C	27	B	c	12~13	1.44	1.12	0.35	0.35	Sh	59	Fb	2	
石頭868	III C	27	B	c	12~13	1.61	1.60	0.21	0.32	Sh	A	11		
石頭869	III C	28	B	c	12~13	1.55	1.19	0.35	0.33	Sh	67	A	20	
石頭870	III C	28	B	c	12~13	1.13	1.21	0.20	0.26	Sh	X	6		
石頭871	III C	28	B	c	12~13	1.39	0.86	0.27	0.21	Ob	58	C	20	
石頭872	III C	16	B	c	12~15	2.49	1.71	0.38	1.48	S Sh	103	C	20	
石頭873	III C	16	B	c	12~15	2.28	1.60	0.27	0.51	Sh	60	E	20	

第41表 石器観察表⑩

器種	遺物 番号	大 タ グリ ッ ド 名	小 タ グリ ッ ド 名	地 区	地 点	厚 度	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	先 端 部 形 状	断 面 形 状	遺 存	備 考
石鋸	69	III C	17	B	c	12-16	1.53	1.23	0.36	0.61	Ob	X	6	逐地: 小字沢	
石鋸	70	III C	17	B	c	12-16	1.70	2.72	0.69	3.22	Sb	Fc	18		
石鋸	71	III C	17	B	c	12-16	2.06	1.12	0.27	0.48	Sb	A	10	丸頭衝撃頭	
石鋸	72	III C	16	B	c	13	1.45	1.61	0.33	0.62	Sb	A	10		
石鋸	73	III C	16	B	c	13	1.91	1.42	0.27	0.67	Sb	E	18		
石鋸	74	III C	17	B	c	13	2.64	1.56	0.27	0.89	Sb	52	A	5	
石鋸	75	III C	27	B	c	13	3.29	2.58	0.16	6.29	Sb	59	E	20	
石鋸	76	III C	28	B	c	13	2.64	1.55	0.67	1.87	Ag	63	C	20	
石鋸	77	III C	28	B	c	13	2.32	1.12	0.35	1.07	Sb	48	Fb	20	
石鋸	78	III C	28	B	c	13	2.21	1.65	0.36	0.89	Sb	65	Fb	3	
石鋸	88	III C	28	B	c	13-14	2.06	1.56	0.36	1.02	Sb	95	E	18	
石鋸	718	III C	6	B	c		1.62	1.75	0.36	0.68	Ob	82	X	2	
石鋸	716	III C	6	B	c		1.88	1.41	0.27	0.35	Sh	54	Fb	3	
石鋸	719	III C	6	B	c		1.65	1.50	0.27	0.58	Ob	86	E	3	
石鋸	715	III C	6	B	c		2.16	1.26	0.47	1.13	Sh	88	A	20	
石鋸	717	III C	6	B	c		1.78	1.24	0.31	0.48	Sh	57	A	20	
石鋸	883	III C	18	B	c		2.22	1.64	0.68	1.82	Sh	79	Fc	20	
石鋸	885	III C	18	B	c		2.49	1.34	0.37	0.62	Sh	53	A	20	
石鋸	720	III C	6	B	c		1.87	1.44	0.32	0.64	Sh	69	A	4	
石鋸	481	III C	29	B	d	1上	2.63	1.48	0.19	1.14	Sh	62	A	20	
石鋸	482	III C	29	B	d	1上	2.84	1.91	0.59	2.42	Sh	71	X	2	
石鋸	618	III C	29	B	d	1上	1.49	1.48	0.30	0.41	Ag	A	11		
石鋸	619	III C	29	B	d	1上	2.41	1.25	0.54	0.98	Ob	62	C	20	
石鋸	621	III C	29	B	d	1上	2.34	1.53	0.37	1.30	Sh	33	Fc	20	
石鋸	622	III C	29	B	d	1上	1.78	1.35	0.31	0.64	Sh	50	E	20	
石鋸	623	III C	29	B	d	1上	2.29	1.73	0.29	0.84	Sh	51	F	3	
石鋸	624	III C	29	B	d	1上	1.83	1.19	0.47	0.70	Sh	67	X	2	
石鋸	625	III C	29	B	d	1上	2.02	1.60	0.45	1.11	Ob	44	Fc	20	
石鋸	627	III C	29	B	d	1上	1.36	1.13	0.33	0.34	Ob	38	E	3	
石鋸	628	III C	29	B	d	1上	2.03	1.06	0.48	0.63	Sh	70	C	20	
石鋸	1214	III C	29	B	d	1上	2.52	0.93	0.48	0.89	Sh	C	18		
石鋸	305	III C	19	B	d	1-4	2.14	1.21	0.46	0.81	Sh	61	A	20	
石鋸	306	III C	19	B	d	1-4	2.01	1.02	0.33	0.53	Sh	44	C	7	
石鋸	308	III C	19	B	d	1-4	2.36	1.77	0.50	1.33	Sh	89	C	5	
石鋸	409	III C	19	B	d	1-4	1.62	1.29	0.71	1.28	Sh	D	7		
石鋸	410	III C	19	B	d	1-4	2.06	1.56	0.57	1.19	Sh	58	C	5	
石鋸	412	III C	19	B	d	1-4	3.77	1.60	0.57	2.84	Sh	49	C	5	
石鋸	413	III C	19	B	d	1-4	2.11	1.14	0.41	0.71	Ob	C	10		
石鋸	417	III C	28	B	d	1-4	2.03	1.32	0.39	0.80	Sh	67	A	10	
石鋸	418	III C	28	B	d	1-4	1.52	1.68	0.28	0.64	Ag	A	10	丸頭衝撃頭	
石鋸	419	III C	28	B	d	1-4	2.23	1.37	0.52	1.44	Ag	61	C	20	
石鋸	420	III C	28	B	d	1-4	1.83	1.84	0.45	1.20	Sh	C	10	丸頭衝撃頭	
石鋸	421	III C	28	B	d	1-4	2.71	1.71	0.57	1.82	Ag	54	X	2	
石鋸	423	III C	29	B	d	1-4	3.03	1.30	0.44	1.28	Sh	65	A	5	
石鋸	424	III C	29	B	d	1-4	2.19	1.20	0.27	0.44	Ob	53	Fb	8	
石鋸	425	III C	29	B	d	1-4	2.07	1.23	0.34	0.66	Sh	40	C	5	
石鋸	426	III C	29	B	d	1-4	1.98	1.35	0.24	0.47	Sh	46	B	3	
石鋸	427	III C	29	B	d	1-4	1.71	1.26	0.27	0.34	Sh	55	C	20	
石鋸	428	III C	29	B	d	1-4	2.20	1.65	0.45	1.18	Sh	63	B	4	
石鋸	429	III C	29	B	d	1-4	1.82	1.84	0.33	0.63	Ob	B	11	丸頭衝撃頭	
石鋸	430	III C	29	B	d	1-4	1.61	1.43	0.42	0.76	Ob	101	C	5	
石鋸	431	III C	29	B	d	1-4	2.48	1.81	0.67	2.65	Sh	100	H	19	
石鋸	432	III C	29	B	d	1-4	3.49	1.76	0.56	1.90	Ag	80	C	4	
石鋸	433	III C	29	B	d	1-4	2.12	1.29	0.34	0.53	Ag	49	B	20	
石鋸	434	III C	29	B	d	1-4	1.98	1.23	0.52	0.68	S Sh	63	E	3	
石鋸	435	III C	29	B	d	1-4	1.04	1.38	0.41	1.46	Sh	H	10	丸頭衝撃頭	
石鋸	436	III C	29	B	d	1-4	2.02	1.36	0.41	1.46	Sh	57	X	2	
石鋸	437	III C	29	B	d	1-4	1.76	1.34	0.57	1.27	Ag	39	X	10	
石鋸	438	III C	29	B	d	1-4	2.93	2.29	0.53	1.89	Sh	61	Fb	3	
石鋸	439	III C	30	B	d	1-4	1.76	1.49	0.52	1.04	Ob	79	X	2	

第42表 石器觀察表¹⁴⁾

標 識 號 No.	遺 傳 物 質 型 類 別	小 大 分 類 別	地 區	產 地	高 度	風 速 (cm)	幅 帶 (cm)	厚 度 (cm)	重 量 (g)	石 材	先 端 角 度	類 別	產 地	備 考	
石碑440	III C	30	B	d	1~4	1.39	1.41	0.35	0.58	Sh	Fb	10	e 滯流防護壁		
石碑441	III C	30	B	d	1~4	2.63	1.83	0.83	3.36	Sh	II	3	e 滞流防護牆		
石碑442	III C	40	B	d	1~4	2.46	2.03	0.79	2.15	Sh	X	2	e 滞流防護牆	△新竹落葉木：小赤崁	
石碑443	III C	40	B	d	1~4	2.22	1.75	0.92	2.10	Ob	97	D	5	e 滞流防護牆	△新竹落葉木：小赤崁
石碑445	III C	29	B	d	1~4	2.27	1.08	0.48	0.93	Ag	C	1	e 島嶼落葉		
石碑446	III C	29	B	d	1~4	1.33	1.14	0.30	0.36	Ob	A	10	e 滞流防護牆		
石碑447	III C	40	B	d	1~4	2.17	1.45	0.63	1.69	Ag	73	Fe	20	e 滞流防護牆	
石碑448	III C	40	B	d	1~4	2.69	1.11	0.41	1.00	Ob	66	C	20	e 滞流防護牆	
石碑886	III C	29	B	d	3~8	1.41	1.16	0.32	0.38	Ob	Fb	10			
石碑889	III C	40	B	d	3~8	2.09	1.34	0.30	0.57	Sb	D	20			
石碑890	III C	40	B	d	3~8	1.64	1.09	0.28	0.40	Ob	76	D	10		
石碑891	III C	40	B	d	3~8	1.53	1.10	0.66	0.57	Ob	47	A	10		
石碑893	III C	29	B	d	4	1.88	0.84	0.28	0.21	Ag	X	2			
石碑894	III C	29	B	d	4	1.41	1.39	0.26	0.36	Sh	Fb	10	光面防衝刺牆		
石碑895	III C	29	B	d	4	1.45	1.71	0.36	0.78	Sb	E	18			
石碑896	III C	29	B	d	4	1.53	1.13	0.29	0.44	Ob	57	A	5		
石碑897	III C	29	B	d	4	2.41	1.18	0.58	1.21	Ob	52	A	10	半圓彎曲牆	
石碑898	III C	29	B	d	4	1.54	1.48	0.63	0.92	Ob	96	Fb	18		
石碑899	III C	30	B	e	4~5	1.21	1.39	0.21	0.30	Ob	54	Fb	10		
石碑900	III C	29	B	e	5	1.52	1.43	0.31	0.32	Ag	E	20			
石碑901	III C	29	B	e	5	1.49	1.09	0.37	0.38	Ob	71	A	20		
石碑902	III C	29	B	e	5	1.45	1.63	0.32	0.54	Ob	A	8			
石碑903	III C	29	B	e	5	1.81	1.44	0.78	1.22	Sh	C	11			
石碑905	III C	29	B	e	5~8	2.71	2.02	0.80	2.97	Sh	A	20			
石碑906	III C	29	B	e	5~8	2.37	1.37	0.44	0.91	Ob	78	C	3		
石碑907	III C	29	B	e	5~8	1.78	1.26	0.31	0.63	Ob	59	A	10		
石碑908	III C	18	B	e	6~8	2.62	1.44	0.32	0.84	Sb	A	20			
石碑909	III C	18	B	e	6~8	2.14	1.17	0.36	0.61	Sh	64	A	20		
石碑910	III C	18	B	e	6~8	1.22	1.01	0.36	0.33	Ob	72	A	20		
石碑911	III C	18	B	e	6~8	1.20	1.01	0.25	0.23	Ob	53	B	20		
石碑912	III C	18	B	e	6~8	1.02	0.96	0.29	0.19	Ob	67	Fb	20		
石碑913	III C	19	B	e	6~8	2.19	1.21	0.51	0.94	Ag	39	A	10		
石碑914	III C	19	B	e	6~8	1.73	2.22	0.56	1.74	Ob	Fb	10	彌敦-小赤崁		
石碑915	III C	19	B	e	6~8	1.38	1.34	0.47	0.79	Ob	Fb	20			
石碑916	III C	19	B	e	6~8	1.82	1.27	0.42	0.60	Ob	83	A	20		
石碑917	III C	19	B	e	6~8	1.88	1.30	0.34	0.61	Ob	A	7			
石碑918	III C	19	B	e	6~8	2.04	1.28	0.63	0.99	Ob	68	A	20		
石碑919	III C	19	B	e	6~8	1.88	1.09	0.40	0.61	Ob	47	C	20		
石碑920	III C	19	B	e	6~8	1.85	1.12	0.43	0.71	Ob	59	C	20		
石碑921	III C	19	B	e	6~8	1.93	1.45	0.44	0.82	Ob	83	B	20		
石碑922	III C	19	B	e	6~8	2.82	1.92	0.52	1.78	Ob	63	C	20		
石碑923	III C	19	B	e	6~8	1.53	1.10	0.35	0.40	Ob	52	B	20		
石碑925	III C	28	B	e	6~8	2.32	2.11	0.86	3.55	Sh	34	B	20		
石碑926	III C	28	B	e	6~8	3.17	2.56	1.29	7.33	Ag	105	C	20	米製品？	
石碑927	III C	28	B	e	6~8	1.82	1.76	0.51	1.40	Sh	H	18			
石碑928	III C	29	B	e	6~8	2.10	1.13	0.42	0.66	Ag	56	A	4		
石碑929	III C	29	B	e	6~8	2.05	1.62	0.64	1.53	Sh	70	H	20		
石碑930	III C	29	B	e	6~8	1.19	1.38	0.35	0.41	Sh	Fb	10			
石碑931	III C	29	B	e	6~8	0.81	1.22	0.26	0.15	Ag	Fb	14			
石碑932	III C	29	B	e	6~8	1.54	0.92	0.21	0.24	Ob	X	21			
石碑933	III C	29	B	e	6~8	2.14	1.13	0.44	0.36	Sb	B	4			
石碑934	III C	29	B	e	6~8	2.19	1.23	0.46	0.60	Sh	43	B	4		
石碑935	III C	29	B	e	6~8	2.00	1.00	0.32	0.42	Sh	36	B	4		
石碑936	III C	29	B	e	6~8	1.86	1.19	0.32	0.42	Sh	46	B	20		
石碑937	III C	29	B	e	6~8	2.18	1.02	0.43	0.55	Sh	29	A	19		
石碑938	III C	29	B	e	6~8	2.40	1.28	0.53	0.85	Ob	59	B	4	▲造：小赤崁	
石碑939	III C	29	B	e	6~8	2.29	1.09	0.28	0.49	Ob	59	A	4		
石碑940	III C	29	B	e	6~8	1.44	1.16	0.21	0.27	Ob	69	Fb	10		
石碑941	III C	29	B	e	6~8	1.37	0.88	0.29	0.29	Sh	62	Fb	20		
石碑942	III C	29	B	e	6~8	1.59	1.13	0.35	0.57	Ob	81	A	4	▲造：小赤崁	
石碑943	III C	29	B	e	6~8	1.94	1.07	0.33	0.53	Ob	50	Fb	18		
石碑945	III C	40	B	d	6~8	2.15	1.76	0.64	1.39	Ag	64	Fb	3		
石碑946	III C	40	B	d	6~8	1.63	1.59	0.64	1.65	Sh	Fb	10	光面彎曲牆		
石碑947	III C	40	B	d	6~8	1.36	1.51	0.30	0.52	Ob	35	E	10		
石碑955	III C	40	B	d	6~8	1.63	1.31	0.38	0.65	Ob	74	Fc	3		
石碑956	III C	40	B	d	6~8	1.36	1.36	0.28	0.31	Ob	75	B	20		

第43表 石器観察表⑮

遺物 名 称	遺 跡 名 称	地 区	地 点	形 状	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石 材	先 史 時代	類 型	現 存	備 考	
石器937	III C	40	B d	6~8	1.73	1.19	0.26	0.32	Ob	43	Fb	2		
石器938	III C	40	B d	6~8	1.59	1.32	0.25	0.30	Ob	36	Fb	10		
石器959	III C	40	B d	6~8	1.42	1.29	0.28	0.35	Ob	83	Fb	20		
石器960	III C	40	B d	6~8	1.62	1.33	0.30	0.53	Ob	A	10		先史衝撃剝離	
石器961	III C	40	B d	6~8	1.65	1.38	0.39	0.66	Ob	49	E	3		
石器962	III C	40	B d	6~8	2.12	1.63	0.28	0.68	Ob	69	Fb	2	遺迹: 小字沢	
石器963	III C	40	B d	6~8	1.64	1.34	0.52	1.03	Sb	58	E	20		
石器969	III C	40	B a	6~8	2.20	2.11	0.82	2.50	Sb	88	Fb	20		
石器1206	III C	29	B d	9	1.95	1.48	0.29	0.78	Sb	A	10			
石器1209	III C	29	B d	9	1.60	1.17	0.44	0.52	Ob	61	C	20		
石器1210	III C	29	B d	9	1.71	1.34	0.49	0.66	Ob	60	B	5		
石器1205	III C	39	B d	9	1.59	1.08	0.26	0.23	Ag	51	Fb	3		
石器1237	II D	83	B e	2	1.89	2.13	0.66	2.39	Sh	X	6			
石器278	II C	98	B a	3	1.66	0.94	0.31	0.42	Sh	D	7		先史衝撃剝離	
石器279	II C	98	B a	3	1.83	1.48	0.38	1.04	Sh	Fb	8		アスファルト付石	
石器284	II C	9	B e	3	3.00	1.26	0.33	0.73	Sh	39	C	5	アスファルト付石	
石器307	II C	98	B e	3	2.29	1.24	0.49	1.12	Sh	63	Fb	20		
石器308	II C	98	B e	3	2.99	1.28	0.45	1.80	Sh	63	E	18		
石器311	II C	98	B e	3	2.85	1.39	0.61	1.40	Sh	36	C	20		
石器313	II C	98	B e	3	2.14	1.09	0.30	0.43	Sh	30	A	20		
石器314	II C	98	B e	3	2.26	1.67	0.65	1.91	Sh	C	10			
石器315	II C	98	B e	3	2.72	1.64	0.83	2.50	Sh	43	C	7		
石器316	II C	98	B c	3	2.00	1.27	0.43	0.53	Sh	C	9			
石器317	II C	98	B e	3	2.20	1.59	0.48	1.19	Sh	A	10			
石器318	II C	98	B e	3	2.39	2.28	0.74	2.90	Ag	89	Fb	20		
石器319	II C	98	B e	3	2.62	1.47	0.57	1.89	Sh	40	H	10		
石器320	II C	98	B e	3	1.96	1.26	0.40	0.77	St	43	K	20		
石器321	II C	98	B e	3	2.21	1.25	0.26	0.45	Sh	50	Fb	3		
石器322	II C	98	B e	3	2.05	1.71	0.39	1.36	Sh	Fb	10			
石器323	II C	98	B e	3	3.05	1.86	0.66	2.17	Sh	76	C	20		
石器324	II C	98	B e	3	2.24	1.70	0.50	1.54	T1	76	K	20		
石器325	II C	98	B e	3	2.02	1.35	0.12	0.91	Sh	75	X	2		
石器326	II C	98	B e	3	1.88	1.36	0.39	0.81	Sh	68	X	2		
石器328	II C	98	B e	3	1.85	1.44	0.45	0.64	Ob	66	C	20		
石器329	II C	98	B e	3	1.87	1.25	0.35	0.55	Ob	42	C	4		
石器330	II C	98	B e	3	3.63	2.60	0.90	7.88	Sb	80	H	20	未型品?	
石器371	III C	8	B e	3	2.98	1.24	0.39	1.22	Ag	65	Fc	20		
石器374	III C	8	B e	3	1.75	1.35	0.40	0.74	Sh	A	11	アスファルト付石		
石器375	III C	8	B e	3	2.55	1.13	0.43	0.87	Sh	33	C	5		
石器376	III C	8	B e	3	2.44	1.47	0.63	1.64	Ag	69	X	2		
石器377	III C	8	B e	3	1.79	1.41	0.29	0.48	Sh	B	4			
石器378	III C	8	B e	3	1.13	1.22	0.28	0.23	Ag	C	11			
石器379	III C	8	B e	3	2.29	1.13	0.48	1.17	Sh	44	C	20		
石器380	III C	8	B e	3	2.45	1.74	0.51	1.50	Sh	63	Fe	20		
石器381	III C	8	B e	3	2.13	1.31	0.50	0.96	Sh	53	X	2		
石器382	III C	8	B e	3	2.24	1.52	0.56	1.30	Sh	41	X	2		
石器383	III C	8	B e	3	1.76	1.37	0.45	0.81	Ob	75	C	5		
石器384	III C	8	B e	3	3.06	1.79	0.92	3.79	Sh	40	H	20		
石器385	III C	9	B e	3	2.53	1.34	0.65	1.23	Sh	39	A	10	アスファルト付石	
石器386	III C	9	B e	3	2.73	1.21	0.60	1.27	Sh	40	C	7	先史衝撃剝離	
石器387	III C	9	B e	3	2.28	1.32	0.52	1.02	Ob	61	A	20	产地: 小字沢	
石器388	III C	9	B e	3	1.60	0.97	0.25	0.25	Ob	39	Fb	20		
石器390	III C	10	B e	3	2.23	1.81	0.57	1.42	Sh	C	10			
石器391	III C	10	B e	3	3.30	1.67	0.61	2.13	Sh	78	C	5		
石器414	III D	11	B e	3	2.64	1.42	0.48	1.25	Sh	38	A	5		
石器1225	II C	68	B e	3	3.04	1.67	0.75	2.61	Sh	69	C	20		
石器1232	II C	90	B e	3	1.88	2.16	0.62	1.96	Ag	C	10			
石器1234	II D	61	B e	3	2.27	1.35	0.43	0.87	Sh	67	C	20		
石器1235	II D	71	B e	3	2.88	1.34	0.71	2.43	Sh	G	6			
石器1236	II D	73	B e	3	2.68	1.81	0.89	3.88	Sh	98	H	20		
石器1238	II D	83	B e	3	3.36	2.18	0.88	5.69	Sh	62	C	20		
石器1239	II D	83	B e	3	2.11	1.00	0.32	0.54	Sh	D	18			
石器1240	II D	92	B e	3	2.34	1.68	0.45	1.27	Ob	50	C	20		
石器1306	II C	98	B e	3	3.36	1.37	0.34	1.42	Sh	43	Fb	20		
石器1321	II C	98	B e	3	3.09	1.67	0.79	2.91	Sh	52	C	20		
石器281	III C	7	B e	3?	2.23	3.64	0.80	7.76	Sh	Fb	11	アスファルト付石		
石器282	III C	7	B e	3?	3.22	2.12	0.99	5.59	Sh	76	H	20		
石器1322	III C	8	B e	3?	3.23	1.42	0.76	2.87	Sh	53	C	20	e 硬防落崩	

第44表 石器観察表⑩

指 標 名	遺 物 種 類	大 グ リ ッ ト	小 ク リ ッ ト	地 区	岩 丘	層 位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 量 (g)	材 料	先 史 的 性 質	遺 存 状 況	遺 存 地 点	備 考
石頭972	II C	97	B	e	3-4	2.50	1.38	0.37	0.81	Sh	52	C	20		
石頭973	II C	97	B	e	3-4	2.75	1.47	0.45	1.35	Sh	62	A	5		
石頭974	II C	97	B	e	3-4	2.67	1.66	0.41	1.21	St	51	A	5		
石頭975	II C	97	B	e	3-4	1.26	1.49	0.43	0.79	Sh	—	E	10		
石頭976	II C	97	B	e	3-4	1.49	1.53	0.39	0.86	Sh	—	X	6		
石頭1171	II C	97	B	e	3-4	2.26	1.15	0.36	0.80	Sh	54	D	5		
石頭1172	II C	97	B	e	3-4	3.00	1.73	0.44	1.70	Sh	51	C	5		
石頭264	II C	88	B	e	3-5	1.95	1.84	0.54	2.00	Sh	—	Fe	11		
石頭1229	II C	87	B	e	4	3.77	2.88	1.33	10.02	Sh	68	H	20		
石頭1088	II C	87	B	e	4-5	2.28	1.09	0.44	0.80	Sh	62	C	20		
石頭252	II C	87	B	e	4-5	3.77	1.23	0.43	1.42	Sh	42	A	20		
石頭254	II C	87	B	e	4-5	2.73	0.84	0.33	0.65	Sh	—	C	16		
石頭255	II C	87	B	e	4-5	1.55	1.10	0.43	0.49	Sh	—	A	10		
石頭256	II C	87	B	e	4-5	2.01	1.53	0.42	1.03	Sh	—	C	7		
石頭257	II C	87	B	e	4-5	2.50	1.80	0.37	1.16	Sh	56	A	7	先歴曲頭器	
石頭258	II C	87	B	e	4-5	1.74	1.15	0.23	0.28	Sh	81	A	20		
石頭259	II C	87	B	e	4-5	2.17	1.86	0.53	1.86	Sh	89	Fe	20		
石頭260	II C	87	B	e	4-5	1.84	1.92	0.52	1.27	S.Sh	—	Fb	10		
石頭261	II C	87	B	e	4-5	2.48	1.79	0.66	2.26	S.Sh	90	H	20	未製品?	
石頭262	II C	87	B	e	4-5	3.08	1.71	0.87	3.68	Ag	63	H	20		
石頭263	II C	87	B	e	4-5	2.90	2.19	0.93	4.46	Sh	—	H	20	未製品?	
石頭268	II C	87	B	e	4-5	1.80	1.27	0.42	0.82	Sh	—	C	7		
石頭269	II C	87	B	e	4-5	1.58	1.25	0.23	0.90	Sh	92	H	20		
石頭270	II C	87	B	e	4-5	2.98	1.32	0.35	1.07	Sh	83	A	20		
石頭276	II C	87	B	e	4-5	2.18	1.24	0.37	0.69	Sh	—	C	10		
石頭299	II C	87	B	e	4-5	1.81	1.63	0.28	0.49	Sh	—	Fb	6		
石頭505	II C	98	B	e	4-5	2.58	1.17	0.37	0.94	Sh	61	Fb	3	アスファルト付着	
石頭578	II C	86	B	e	4-5	1.74	1.51	0.36	0.69	Ob	—	Fb	8		
石頭1169	II C	98	B	e	4-5	2.72	1.28	0.37	0.85	Sh	—	C	10	アスファルト付着 毛兩面針列離	
石頭1170	II C	98	B	e	4-5	2.74	1.33	0.49	1.15	Sh	89	Fb	20		
石頭243	II C	86	B	e	4-6	2.07	1.08	0.35	0.52	Sh	75	A	20		
石頭244	II C	86	B	e	4-6	2.24	1.51	0.31	0.80	Ob	84	D	3		
石頭245	II C	86	B	e	4-6	1.75	1.24	0.29	0.51	Sh	65	D	10	アスファルト付着	
石頭246	II C	86	B	e	4-6	3.47	1.65	0.81	2.67	Sh	51	A	20		
石頭247	II C	86	B	e	4-6	1.22	1.29	0.50	0.58	Sh	77	X	1		
石頭249	II C	86	B	e	4-6	1.94	1.23	0.32	0.42	Ob	62	A	4		
石頭253	II C	86	B	e	4-6	1.40	1.23	0.27	0.40	Ob	77	D	20		
石頭253	II C	65	B	e	4-6	1.35	1.20	0.28	0.37	Ob	60	A	10		
石頭294	II C	74	B	e	4-6	1.92	0.97	0.24	0.24	Sh	—	Fb	16		
石頭295	II C	77	B	e	4-6	1.66	1.04	0.37	0.46	Sh	80	C	20		
石頭301	II C	97	B	e	4-6	2.79	2.14	1.03	4.60	Sh	76	C	20		
石頭305	II C	97	B	e	4-6	2.04	0.90	0.48	0.80	St	95	C	20		
石頭630	II C	54	B	e	4-6	1.96	1.15	0.39	0.55	Sh	51	A	4		
石頭631	II C	54	B	e	4-6	1.86	1.72	0.38	0.87	Sh	—	C	10		
石頭984	II C	53	B	e	4-6	3.23	2.51	1.31	7.05	Ag	84	C	20		
石頭985	II C	54	B	e	4-6	1.92	1.88	0.81	2.49	Ob	—	E	10	未製品?	
石頭986	II C	54	B	e	4-6	2.13	2.14	0.48	1.35	Sh	—	A	11		
石頭987	II C	54	B	e	4-6	2.18	1.18	0.33	0.60	Sh	55	A	20	アスファルト付着	
石頭988	II C	54	B	e	4-6	2.45	1.75	0.46	2.01	Sh	87	C	4		
石頭989	II C	54	B	e	4-6	2.50	1.23	0.37	0.94	Sh	—	C	7		
石頭990	II C	54	B	e	4-6	3.59	1.78	0.77	3.24	Sh	47	C	20		
石頭991	II C	54	B	e	4-6	2.76	1.84	0.54	2.16	Sh	—	D	10		
石頭992	II C	54	B	e	4-6	1.96	0.72	0.35	0.40	Sh	48	G	20		
石頭994	II C	55	B	e	4-6	2.35	1.32	0.44	1.02	Sh	—	A	9		
石頭995	II C	55	B	e	4-6	1.49	0.95	0.41	0.54	Sh	85	C	5		
石頭996	II C	55	B	e	4-6	2.51	1.81	0.32	0.70	Sh	58	Fb	3		
石頭997	II C	55	B	e	4-6	2.27	1.92	0.99	2.89	Ag	70	E	20		
石頭998	II C	55	B	e	4-6	2.20	1.46	0.32	0.76	Ob	41	C	3		
石頭1008	II C	65	B	e	4-6	1.64	1.47	0.34	0.74	Sh	69	Fb	20		
石頭1009	II C	65	B	e	4-6	1.38	1.07	0.28	0.27	Sh	38	Fb	10		
石頭1010	II C	65	B	e	4-6	2.50	1.70	0.31	1.02	Sh	66	X	2		
石頭1118	II C	66	B	e	4-6	1.46	1.38	0.33	0.59	Sh	94	A	5		
石頭341	II C	74	B	e	4-7	2.40	1.20	0.26	0.35	Sh	39	Fa	3		
石頭268	II C	97	B	e	4-7	2.80	1.14	0.46	0.98	Sh	40	C	20		
石頭269	II C	97	B	e	4-7	3.03	1.26	0.35	0.90	Sh	38	D	10		
石頭270	II C	97	B	e	4-7	1.72	0.98	0.29	0.43	Sh	59	Fb	20		
石頭272	II C	97	B	e	4-7	2.36	1.68	0.36	0.89	Sh	77	C	5		

第45表 石器観察表⑩

編號	遺物 名	大 小 グ リ ッ ド	地区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	材 料	先 史 學 的 的 度	類 別	著 者	備 考
石頭273	II C	97	B	e	4-7	2.04	1.23	0.30	0.78	Sh	70	Fc	20	
石頭275	II C	97	B	e	4-7	4.15	2.69	1.03	10.87	Sh	82	H	20	未製品?
石頭277	II C	97	B	e	4-7	3.08	1.64	0.60	2.91	Sh	66	H	20	
石頭300	II C	94	B	e	4-7	2.36	2.02	0.93	3.97	Sh	106	X	2	
石頭303	II C	96	B	e	4-7	1.22	1.39	0.33	0.34	Ob	64	E	20	
石頭978	II C	97	B	e	4-7	2.02	1.52	0.65	1.27	Sh	41	Fb	20	
石頭979	II C	97	B	e	4-7	1.36	1.38	0.24	0.27	Sh	51	Fa	3	
石頭1000	II C	64	B	e	4-7	3.13	1.92	0.71	3.45	Sh	106	C	20	
石頭1001	II C	64	B	e	4-7	3.26	1.66	0.58	2.46	Sh	41	C	20	
石頭1002	II C	64	B	e	4-7	1.50	1.43	0.41	0.62	Sh	11			
石頭1003	II C	64	B	e	4-7	1.95	1.27	0.38	0.85	Sh	D	7		
石頭1004	II C	64	B	e	4-7	3.08	2.32	0.71	4.66	Sh	10	元始形穿孔器		
石頭1005	II C	64	B	e	4-7	2.64	2.21	0.98	5.41	Ag	79	H	10	先始形穿孔器
石頭1006	II C	64	B	e	4-7	2.22	1.43	0.45	1.40	Sh	X	6		
石頭1007	II C	64	B	e	4-7	1.81	1.44	0.28	0.42	Ob	A	10	麥地: 小赤泥	
石頭1011	II C	73	B	e	4-7	2.78	2.52	0.82	3.85	Sh	58	D	10	
石頭1012	II C	74	B	e	4-7	2.22	1.67	0.34	0.90	Sh	49	C	5	
石頭1013	II C	74	B	e	4-7	1.83	1.11	0.36	0.44	Ob	58	C	20	
石頭1014	II C	83	B	e	4-7	2.57	1.24	0.35	0.77	Sh	59	D	20	
石頭1085	II C	86	B	e	4-7	2.30	1.36	0.41	1.12	Sh	X	6		
石頭1086	II C	86	B	e	4-7	2.01	1.53	0.72	1.63	Ob	68	H	20	
石頭1087	II C	86	B	e	4-7	1.80	1.17	0.37	0.54	Sh	55	C	20	
石頭1116	II C	97	B	e	4-7	1.81	1.18	0.37	0.65	Sh	64	C	20	
石頭1117	II C	97	B	e	4-7	1.52	1.15	0.32	0.42	Ob	74	A	5	
石頭1166	II C	97	B	e	4-7	1.38	1.44	0.24	0.36	Sh	A	11		
石頭1200	II C	64	B	e	4-7	2.28	1.61	0.57	1.65	Ag	31	A	5	
石頭1233	II C	99	B	e	6	1.25	1.75	0.46	0.72	Ag	E	11		
石頭666	II C	6	B	e	6-7	1.79	1.07	0.35	0.44	Ob	36	A	20	
石頭493	II C	94	B	e	7	1.83	0.95	0.31	0.35	Sh	48	C	20	崩落層
石頭495	II C	94	B	e	7	1.90	1.29	0.33	0.63	Sh	59	C	10	崩落層
石頭496	II C	94	B	e	7	2.28	1.76	0.45	1.41	Sh	D	9	崩落層	
石頭497	II C	94	B	e	7	2.29	2.40	0.81	4.11	Sh	95	E	20	崩落層
石頭498	II C	91	B	e	7	2.29	1.56	0.64	2.41	Ob	110	H	20	崩落層
石頭499	II C	94	B	e	7	1.81	1.37	0.26	0.38	Sh	41	B	5	崩落層
石頭500	II C	94	B	e	7	1.55	1.40	0.31	0.35	Sh	A	10	崩落層	
石頭502	II C	95	B	e	7	1.69	1.05	0.28	0.30	Ob	63	A	20	崩落層
石頭503	II C	95	B	e	7	2.14	1.27	0.39	0.62	Ob	64	D	20	崩落層: 小赤泥
石頭504	II C	95	B	e	7	1.72	1.26	0.27	0.44	Ag	40	Fb	3	崩落層
石頭679	II C	95	B	e	7	1.99	0.98	0.37	0.43	Sh	45	A	20	
石頭680	II C	95	B	e	7	2.18	1.76	0.61	1.61	Sh	77	A	20	
石頭681	II C	95	B	e	7	1.56	1.38	0.21	0.34	Sh	Fb	10		
石頭682	II C	95	B	e	7	2.15	1.37	0.26	0.37	Sh	50	Fb	8	
石頭683	II C	95	B	e	7	1.58	1.57	0.36	0.53	Sh	Fb	10		
石頭684	II C	95	B	e	7	1.81	1.02	0.34	0.44	Sh	61	C	20	
石頭685	II C	95	B	e	7	1.44	1.26	0.22	0.28	Sh	62	X	1	
石頭686	II C	95	B	e	7	1.42	1.79	0.53	1.28	Sh	Fb	10		
石頭687	II C	95	B	e	7	1.95	1.19	0.30	0.67	Ob	69	A	10	
石頭688	II C	95	B	e	7	2.19	1.74	0.51	1.38	Sh	Fc	16		
石頭980	II C	84	B	e	7	1.68	1.45	0.45	0.87	Sh	48	D	7	
石頭981	II C	84	B	e	7	2.19	1.30	0.32	0.72	Sh	A	10	先始形穿孔器	
石頭983	II C	84	B	e	7	2.25	1.87	0.77	2.51	Sh	99	A	20	
石頭1129	II C	83	B	e	7	1.97	1.49	0.41	1.08	Ag	41	D	5	
石頭1224	II C	64	B	e	7	1.40	1.16	0.30	0.34	Sh	54	X	2	
石頭1226	II C	74	B	e	7	3.12	1.89	0.52	2.07	Sh	51	X	3	
石頭1228	II C	86	B	e	7	1.71	1.36	0.32	0.66	Sh	59	X	7	
石頭1230	II C	87	B	e	7	2.09	1.96	0.27	0.45	Sh	59	C	5	
石頭1231	II C	87	B	e	7	3.37	2.90	1.46	11.24	Sh	112	H	20	
石頭1285	II C	84	B	e	7	2.30	1.31	0.45	0.98	Ob	63	C	20	
石頭739	III D	22	B	e	7?	2.23	1.53	0.27	0.67	Sh	A	10		
石頭1024	II C	84	B	e	7-8	2.30	1.77	0.41	1.23	Ob	71	Fc	3	e 墓防崩落層
石頭1025	II C	84	B	e	7-8	1.66	1.03	0.23	0.28	Ob	Fb	3	e 墓防崩落層	
石頭1026	II C	84	B	e	7-8	1.47	1.24	0.28	0.40	Ob	74	Fb	20	e 墓防崩落層
石頭1027	II C	84	B	e	7-8	1.96	1.49	0.40	0.94	Ob	56	C	20	e 墓防崩落層
石頭1028	II C	84	B	e	7-8	2.08	1.58	0.37	1.07	Sh	46	C	10	e 墓防崩落層
石頭1029	II C	84	B	e	7-8	1.40	1.45	0.24	0.45	Sh	B	10	e 墓防崩落層	
石頭1030	II C	84	B	e	7-8	1.72	1.19	0.21	0.32	Sh	69	A	20	e 墓防崩落層
石頭1031	II C	84	B	e	7-8	2.24	1.66	0.43	1.21	Sh	58	A	18	e 墓防崩落層

第46表 石器観察表(1)

器種	遺物 整理 No.	大 グ リ ッ ド	小 ダ リ ッ ド	地 区	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	先 端 角度	標 記	備 考
石鏃1032	II C	84	B	e	7-8	2.51	1.45	0.48	0.97	Sh	66	A	4	e 防禦崩落層 アスマルト付垂
石鏃1033	II C	84	B	e	7-8	1.93	1.53	0.41	0.99	Sh	41	D	7	e 防禦崩落層
石鏃1034	II C	84	B	e	7-8	2.14	1.44	0.26	0.62	Sh	63	H	3	e 防禦崩落層
石鏃1035	II C	84	B	e	7-8	2.96	1.75	0.52	1.74	Sh	72	C	20	e 防禦崩落層
石鏃1036	II C	84	B	e	7-8	1.41	1.13	0.33	0.33	Ag	-	A	10	e 防禦崩落層
石鏃1037	II C	84	B	e	7-8	2.14	1.59	0.43	0.87	Sh	-	D	10	e 防禦崩落層
石鏃1038	II C	84	B	e	7-8	1.62	1.00	0.28	0.25	Sh	-	C	16	e 防禦崩落層
石鏃1039	II C	84	B	e	7-8	2.40	1.67	0.36	1.04	Sh	47	D	5	e 防禦崩落層
石鏃1040	II C	84	B	e	7-8	3.00	1.59	0.49	1.20	Sh	34	A	4	e 防禦崩落層
石鏃1041	II C	84	B	e	7-8	1.77	1.62	0.28	0.50	Sh	-	Fb	10	e 防禦崩落層
石鏃1042	II C	84	B	e	7-8	1.94	0.96	0.32	0.37	Sh	87	X	5	e 防禦崩落層
石鏃1043	II C	84	B	e	7-8	2.29	2.58	0.45	2.60	Sh	165	X	2	e 防禦崩落層
石鏃1044	II C	84	B	e	7-8	3.38	1.83	1.02	4.43	Sh	61	D	20	e 防禦崩落層
石鏃1045	II C	84	B	e	7-8	2.15	1.11	0.31	0.67	Sh	58	C	4	e 防禦崩落層
石鏃1046	II C	81	B	e	7-8	3.77	1.52	0.51	2.28	Sh	69	A	20	e 防禦崩落層
石鏃1047	II C	84	B	e	7-8	1.86	1.01	0.35	0.37	Sh	63	B	4	e 防禦崩落層
石鏃1048	II C	84	B	e	7-8	1.42	1.51	0.22	0.46	Ob	-	A	10	e 防禦崩落層
石鏃1049	II C	84	B	e	7-8	1.64	1.21	0.23	0.35	Ob	-	A	18	e 防禦崩落層
石鏃1050	II C	84	B	e	7-8	1.65	0.96	0.29	0.41	Ob	65	H	20	e 防禦崩落層 虎子・小尖鉗
石鏃1051	II C	84	B	e	7-8	1.93	1.64	0.57	1.16	Ob	85	C	20	e 防禦崩落層
石鏃1052	II C	84	B	e	7-8	1.43	1.03	0.31	0.33	Ob	-	X	6	e 防禦崩落層
石鏃1057	II C	85	B	e	7-8	1.66	1.35	0.35	0.44	Ob	66	X	2	e 防禦崩落層
石鏃1059	II C	85	B	e	7-8	2.08	1.62	0.54	0.90	S, Sh	87	Fb	20	e 防禦崩落層
石鏃1060	II C	85	B	e	7-8	1.95	1.33	0.41	0.81	Ob	86	A	20	e 防禦崩落層 斧鎚柄打工
石鏃1061	II C	85	B	e	7-8	1.88	1.42	0.34	0.64	Ob	69	C	20	e 防禦崩落層
石鏃1062	II C	85	B	e	7-8	1.28	1.06	0.22	0.21	Ob	56	Fb	20	e 防禦崩落層 虎子・小尖鉗
石鏃1063	II C	85	B	e	7-8	1.77	1.26	0.34	0.50	Ob	52	A	4	e 防禦崩落層 先端斜削剥離
石鏃1064	II C	85	B	e	7-8	2.29	1.57	0.30	0.73	Ob	57	D	20	e 防禦崩落層
石鏃1065	II C	85	B	e	7-8	2.44	0.89	0.59	0.93	Sh	25	C	10	e 防禦崩落層
石鏃1066	II C	85	B	e	7-8	1.94	1.14	0.38	0.58	Sh	54	A	7	e 防禦崩落層 先端斜削剥離
石鏃1067	II C	85	B	e	7-8	2.44	1.46	0.38	0.96	Sh	36	C	7	e 防禦崩落層 アスマルト付垂
石鏃1068	II C	85	B	e	7-8	2.89	1.36	0.35	0.82	Sh	27	A	3	e 防禦崩落層
石鏃1069	II C	85	B	e	7-8	1.88	1.44	0.36	0.70	Sh	-	C	10	e 防禦崩落層
石鏃1070	II C	85	B	e	7-8	1.89	1.43	0.36	0.60	Sh	85	D	20	e 防禦崩落層 アスマルト付垂
石鏃1071	II C	85	B	e	7-8	2.89	1.56	0.48	1.59	Sh	-	D	10	e 防禦崩落層 先端斜削剥離
石鏃1072	II C	85	B	e	7-8	2.41	1.07	0.34	0.72	Ag	38	A	5	e 防禦崩落層 アスマルト付垂
石鏃1073	II C	85	B	e	7-8	1.65	1.21	0.27	0.32	Sh	67	Fb	3	e 防禦崩落層
石鏃1074	II C	85	B	e	7-8	1.97	1.39	0.32	0.43	Sh	53	Fb	3	e 防禦崩落層
石鏃1075	II C	85	B	e	7-8	1.01	1.28	0.26	0.29	Sh	-	E	10	e 防禦崩落層
石鏃1076	II C	85	B	e	7-8	2.95	1.81	0.58	2.05	Sh	74	X	2	e 防禦崩落層
石鏃1077	II C	85	B	e	7-8	1.84	1.04	0.41	0.32	Sh	57	X	2	e 防禦崩落層
石鏃1078	II C	85	B	e	7-8	3.65	2.79	1.44	10.39	Sh	71	H	20	e 防禦崩落層
石鏃1079	II C	85	B	e	7-8	3.31	1.47	0.54	2.28	Sh	64	C	18	e 防禦崩落層
石鏃1080	II C	85	B	e	7-8	1.25	1.60	0.28	0.58	Sh	-	A	10	e 防禦崩落層 アスマルト付垂
石鏃1081	II C	85	B	e	7-8	1.26	1.21	0.36	0.51	Sh	95	H	11	e 防禦崩落層
石鏃1090	II C	95	B	c	7-8	1.94	1.53	0.35	0.71	Sh	39	A	5	
石鏃1091	II C	95	B	e	7-8	2.53	1.76	0.66	2.34	Ag	-	C	10	
石鏃1092	II C	95	B	e	7-8	2.16	1.54	0.29	0.68	Sh	-	A	10	
石鏃1093	II C	95	B	e	7-8	1.64	1.36	0.30	0.56	Sh	66	A	5	
石鏃1094	II C	95	B	e	7-8	2.22	1.38	0.35	0.72	Sh	-	A	10	先端衝擊鉗
石鏃1095	II C	95	B	e	7-8	2.79	1.38	0.42	0.91	Sh	27	A	4	
石鏃1096	II C	95	B	e	7-8	1.73	1.13	0.30	0.40	Sh	89	A	4	
石鏃1097	II C	95	B	e	7-8	1.83	1.03	0.44	0.70	Sh	62	A	7	
石鏃1098	II C	95	B	e	7-8	1.34	1.22	0.41	0.38	Sh	-	B	10	
石鏃1099	II C	95	B	e	7-8	1.72	1.09	0.27	0.37	Sh	37	Fb	20	
石鏃1100	II C	95	B	e	7-8	1.61	1.35	0.28	0.44	Sh	67	Fb	2	
石鏃1101	II C	95	B	c	7-8	1.70	1.08	0.24	0.37	Sh	41	Fc	20	
石鏃1102	II C	95	B	e	7-8	1.55	1.08	0.18	0.18	Sh	65	Fa	3	
石鏃1103	II C	95	B	e	7-8	1.99	1.54	0.61	1.34	Sh	85	C	20	

第47表 石器観察表⑯

地點 No.	遺物 大 分 類 別	小 分 類 別	地 區	地 点	形 状	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	尖 端 角度	標 記	遺 物	備 考
石鏡1104	II C	95	B	e	7~8	2.15	1.55	0.63	1.87	Ag	80	X	2	
石鏡1105	II C	95	B	e	7~8	1.64	1.51	0.50	0.79	Sh	67	X	2	
石鏡1106	II C	95	B	e	7~8	1.30	0.98	0.46	0.35	Ag		X	1	
石鏡1107	II C	95	B	e	7~8	2.05	1.47	0.25	0.76	Ob	81	E	18	产地: 小赤沢
石鏡1108	II C	95	B	e	7~8	2.19	1.94	0.48	1.29	Sh	62	E	20	
石鏡1109	II C	95	B	e	7~8	1.85	1.43	0.61	1.28	Sh	80	C	20	
石鏡1110	II C	95	B	e	7~8	3.21	1.76	0.55	1.84	Sh	44	D	20	
石鏡1111	II C	95	B	e	7~8	1.86	1.15	0.36	0.35	Ob	44	A	20	
石鏡1112	II C	95	B	e	7~8	1.51	1.55	0.29	0.44	Ob	69	Fb	3	
石鏡1113	II C	95	B	e	7~8	1.56	1.33	0.31	0.42	Ob	51	A	10	
石鏡1114	II C	95	B	e	7~8	1.56	1.50	0.43	0.64	Ob	70	A	5	产地: 小赤沢
石鏡1115	II C	96	B	e	7~8	1.67	1.32	0.17	0.25	Ob	40	Fb	20	
石鏡1122	II C	85	B	e	7~8	1.81	1.56	0.32	0.72	Sh	70	A	5	e 堤防崩落層
石鏡1123	II C	85	B	e	7~8	2.04	1.91	0.41	1.09	Sh	74	A	20	e 堤防崩落層
石鏡1124	II C	85	B	e	7~8	1.91	1.67	0.40	1.02	Ag	93	Fb	3	堤防崩落層
石鏡1125	II C	85	B	e	7~8	1.61	1.65	0.29	0.48	Sh	Fb	10	堤防崩落層	
石鏡1126	II C	85	B	e	7~8	1.80	1.54	0.52	1.08	Sh	E	10	堤防崩落層	
石鏡1128	II C	85	B	e	7~8	2.01	1.73	0.71	2.01	Ob	72	A	20	堤防崩落層
石鏡1129	II C	85	B	e	7~8	1.36	1.33	0.26	0.44	Ob	62	B	5	堤防崩落層
石鏡1130	II C	85	B	e	7~8	1.70	1.24	0.36	0.53	Ob	91	C	5	堤防崩落層
石鏡1133	II C	85	B	e	7~8	1.53	1.25	0.31	0.43	Ob	72	D	20	堤防崩落層
石鏡1134	II C	85	B	e	7~8	2.13	1.59	0.44	0.96	Ob	58	X	20	堤防崩落層
石鏡1135	II C	85	B	e	7~8	1.73	1.65	0.30	0.61	Ob	63	Fc	20	堤防崩落層
石鏡1136	II C	85	B	e	7~8	1.48	1.35	0.32	0.56	Ob	95	Fb	20	堤防崩落層
石鏡1137	II C	95	B	e	7~8	1.40	1.28	0.45	0.57	Ob	82	E	20	堤防崩落層
石鏡1141	II C	95	B	e	7~8	1.98	1.07	0.30	0.23	Ob	53	Fc	20	堤防崩落層
石鏡1142	II C	95	B	c	7~8	1.21	1.40	0.28	0.32	Ob	67	Fb	20	堤防崩落層
石鏡1143	II C	95	B	c	7~8	2.02	1.49	0.30	0.33	Ob	54	Fb	20	堤防崩落層
石鏡1144	II C	95	B	e	7~8	1.20	0.80	0.23	0.16	Ob	73	Fb	20	堤防崩落層
石鏡1145	II C	95	B	e	7~8	1.63	1.37	0.33	0.48	Ob	80	A	4	堤防崩落層
石鏡1146	II C	95	B	e	7~8	1.60	1.33	0.22	0.30	Ob	Fb	6	堤防崩落層	
石鏡1147	II C	95	B	e	7~8	1.68	1.37	0.31	0.45	Ob	68	Fb	3	堤防崩落層
石鏡1148	II C	95	B	e	7~8	1.72	1.45	0.44	0.79	Ob	Fb	10	堤防崩落層	
石鏡1149	II C	95	B	e	7~8	1.71	0.83	0.27	0.28	Ob	Fb	12	堤防崩落層	
石鏡1150	II C	95	B	e	7~8	1.50	1.56	0.35	0.72	Ob	Fc	10	受防削削層 先端捲曲部	
石鏡1151	II C	95	B	e	7~8	1.97	1.44	0.55	1.12	Ob	82	C	20	堤防崩落層
石鏡1153	II C	95	B	e	7~8	1.80	1.16	0.34	0.46	Ob	57	A	3	受防削削層
石鏡1154	II C	95	B	e	7~8	1.40	1.71	0.43	0.72	Ob	A	11	堤防崩落層	
石鏡1155	II C	95	B	e	7~8	1.66	1.15	0.31	0.51	Sh	64	A	5	堤防崩落層
石鏡1156	II C	95	B	e	7~8	1.55	1.11	0.34	0.35	Sh	45	B	5	堤防崩落層
石鏡1157	II C	95	B	e	7~8	2.31	1.68	0.36	0.79	Sh	59	B	4	堤防崩落層
石鏡1158	II C	95	B	e	7~8	2.75	1.05	0.35	0.61	Sh	33	C	20	堤防崩落層
石鏡1159	II C	95	B	e	7~8	1.15	0.90	0.23	0.16	Sh	C	11	堤防崩落層 擦狀	
石鏡1160	II C	95	B	e	7~8	2.04	1.25	0.37	0.62	Ag	46	A	4	堤防崩落層
石鏡1161	II C	95	B	e	7~8	1.62	1.09	0.31	0.39	Sh	35	B	8	堤防崩落層
石鏡1162	II C	95	B	e	7~8	2.29	1.69	0.52	1.68	Sh	80	H	20	堤防崩落層
石鏡1163	II C	95	B	c	7~8	2.14	1.33	0.33	0.51	Sh	52	Fa	3	堤防崩落層
石鏡1164	II C	95	B	e	7~8	1.65	1.09	0.33	0.49	Sh	66	E	20	堤防崩落層
石鏡1165	II C	95	B	e	7~8	1.50	1.12	0.33	0.29	Sh	55	Fa	3	堤防崩落層
石鏡1223	III C	84	B	e	7~8	1.98	1.49	0.79	1.10	Sh	47	A	2	
石鏡501	II C	94	B	c	8	1.93	1.04	0.40	0.59	Sh	46	D	20	
石鏡1227	II C	74	B	e	8	2.17	1.17	0.46	0.75	Sh	61	D	20	
石鏡488	III C	29	B	e	8	2.19	1.55	0.93	2.39	Ob	88	C	20	崩落層
石鏡1318	II C	64	B	e	11	2.08	1.64	0.38	1.18	Sh	70	Fb	18	
石鏡1202	IV E	59	C		14年度3	2.37	1.22	0.44	0.85	Ob	54	C	20	
石鏡1174	IV E	44	C		14年度5	2.60	1.15	0.31	0.70	Ob	37	C	5	
石鏡1175	III E	92	C		14年度5	2.07	1.12	0.41	0.57	Sh	D	10		
石鏡1241	III D	56	C		15年度12	2.40	1.66	0.80	3.23	Sh	75	G	11	
石鏡1242	III D	57	C		15年度12	1.79	1.18	0.32	0.38	Ag	77	A	20	
石鏡1243	III D	46	C		15年度12	2.76	1.43	0.67	2.07	Sh	49	C	5	太陽炎列織
石鏡1244	III D	46	C		15年度12	2.15	0.91	0.55	1.16	Sh	75	C	20	アスファルト付岩
石鏡1245	III D	66	C		15年度12	2.71	0.79	0.62	1.27	Sh	71	G	20	
石鏡1246	III D	77	C		15年度12	2.46	1.42	0.44	1.44	Sh	56	C	5	
石鏡1247	III D	77	C		15年度12	2.18	1.20	0.48	0.99	Sh	79	C	20	

第43表 石器観察表②

標識番	遺物 名	大 分 類	小 分 類	集 區	地 点	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	形 状	性質	通 考	備 考
石鏡1248	III D	77	C			15年度12	3.29	1.44	1.01	3.12	Sb	66	C	20	
石鏡1249	III D	77	C			15年度12	3.23	1.37	0.39	1.12	Sb	48	Fb	21	
石鏡1250	III D	77	C			15年度12	2.19	1.38	0.59	1.33	Ob	55	D	20	
石鏡1251	III D	78	C			15年度12	1.71	1.32	0.44	0.68	Sb	6	C	6	
石鏡1252	III D	78	C			15年度12	3.26	1.41	0.71	2.59	Sb	74	C	20	
石鏡1253	III D	87	C			15年度12	3.66	1.48	0.44	1.89	Sb	86	C	18	
石鏡1254	III D	36	C			15年度12	3.08	2.15	1.28	5.25	Sb	65	C	20	
石鏡1255	III D	35	C			15年度12	2.98	1.87	0.81	3.62	Sb	69	H	20	
石鑿1257	III D	46	C			15年度12	1.91	1.38	0.30	0.48	Ob	70	Fb	3	
石鏡1258	III I	46	C			15年度12	2.87	1.93	1.09	3.88	Sb	66	C	20	
石鏡1259	III C	37	C			15年度12	1.48	1.29	0.32	0.73	Sb	7	Fb	10	
石鏡1277	III D	37	C			15年度12	2.18	1.80	0.56	1.86	Sb	72	A	20	
石鏡1278	III D	46	C			15年度12	2.15	1.53	0.33	6.90	Sb	75	X	2	
石鏡1279	III D	37	C			15年度12	1.96	1.79	0.46	1.19	Sb	6	C	10	
石鏡1280	III D	65	C			15年度12	3.32	1.56	0.41	1.66	Sb	66	Fb	20	
石鏡1281	III D	65	C			15年度12	2.34	1.85	0.53	1.79	Sb	58	E	8	
石鏡1292	III D	77	C			15年度12	3.29	1.72	0.79	3.71	Ag	88	H	20	
石鏡1296	III D	46	C			15年度12	4.16	2.78	1.30	11.33	Sb	125	C	20	
石鏡1176	IV K	53	C			14年度7	2.04	1.22	0.34	0.50	Ob	72	A	20	
石鏡1177	IV E	44	C			14年度7	2.03	2.21	0.33	1.18	Sb	44	A	11	
石鏡1178	IV K	44	C			14年度7	1.57	1.80	0.46	1.17	Ob	100	Fc	20	
石鏡1289	III D	68	C			15年度13	2.73	1.74	0.67	2.25	Sb	55	C	20	
石鏡1179	IV E	44	C			14年度8	2.78	1.23	0.43	0.98	Sb	44	A	20	
石鏡1259	III D	36	C			15年度13	2.55	1.77	0.56	1.91	Sb	6	A	10	
石鏡1260	III D	46	C			15年度13	2.71	1.01	0.39	1.08	Sb	6	A	10	
石鏡1261	III D	46	C			15年度15	3.01	1.16	0.43	0.96	Sb	51	A	5	
石鏡1282	III D	46	C			15年度15	3.44	2.35	1.03	8.29	Sb	102	H	20	
石鏡1283	III D	46	C			15年度15	3.67	2.27	1.16	6.84	Sb	6	H	20	未製品?
石鏡1180	IV B	23	C			14年度8~9上	1.27	1.21	0.35	0.52	Sb	6	A	7	
石鏡1181	IV K	23	C			14年度8~9上	1.90	1.26	0.38	0.59	Sb	40	E	20	
石鏡1182	IV K	23	C			14年度8~9上	2.22	1.35	0.32	0.65	Sb	6	A	10	
石鏡1183	IV K	23	C			14年度9	2.29	1.91	0.65	2.28	Sb	77	X	2	
石鏡1185	IV E	43	C			14年度9	1.53	1.17	0.33	0.36	Sb	51	C	5	
石鏡1186	IV E	34	C			14年度9	1.76	1.23	0.48	0.51	Ob	58	A	20	
石鏡1187	IV E	41	C			14年度9	2.12	1.62	0.33	0.92	Ob	84	C	3	
石鏡1188	IV E	44	C			14年度9	1.61	1.79	0.40	0.75	Ob	10	Fb	10	
石鏡1189	IV K	45	C			14年度9	2.13	1.38	0.28	0.72	Sb	76	A	5	
石鏡1190	IV E	45	C			14年度9	2.03	1.02	0.36	0.55	Sb	6	C	9	
石鏡1206	IV E	33	C			14年度9	2.57	0.92	0.72	1.07	Sb	55	G	20	
石鏡1207	IV E	34	C			14年度9	1.67	1.36	0.43	0.81	Sb	50	Fe	3	
石鏡1191	IV E	33	C			14年度9下	1.73	1.45	0.29	0.45	Ob	10	Fb	10	
石鏡1193	IV E	33	C			14年度9下	1.44	1.46	0.29	0.32	Sb	70	Fb	20	
石鏡1202	III D	77	C			表録	3.72	2.27	1.05	5.57	Sb	85	D	20	
石鏡1203	III D	77	C			表録	1.90	1.01	0.38	0.49	Ob	50	C	3	
石鏡1204	IV E	44	C			2.02	1.14	0.32	0.48	Sb	54	A	10		
石鏡1205	C					1.54	1.42	0.27	0.47	Ob	76	C	7		
石鏡1264	III E	94	C			1.66	1.41	0.46	0.68	Sb	6	C	11	3/3トレンチ出土	
石鏡1265	III E	94	C			2.10	1.69	0.76	1.65	Ag	6	C	10	3/3トレンチ出土	
石鏡1266	III F	71	C			1.85	1.24	0.41	0.68	Sb	70	A	20		
石鏡1316	IV E	1	C			1.47	1.57	0.49	0.85	Sb	63	C	20		
石鏡1267	IV E	69	D			2.48	1.24	0.51	0.95	Sb	60	A	20		
石鏡1274	III B	1	E			6	3.10	2.31	0.65	2.56	Sb	69	X	2	
石鏡1268	III B	1	E			7	3.66	2.07	0.96	5.29	Sb	6	G	10	
石鏡1269	III B	1	E			7	3.23	2.30	0.78	5.80	Sb	109	E	20	未製品?
石鏡1270	III B	1	E			7	1.11	1.39	0.60	0.78	Ag	6	C	11	
石鏡1271	III B	1	E			7	2.48	1.42	0.57	1.62	Sb	92	C	20	
石鏡1272	III B	1	E			7	2.14	1.31	0.47	1.00	Sb	61	Fc	20	
石鏡1273	III B	1	E			7	3.67	2.21	0.60	3.78	Sb	54	H	18	
石鏡1275	III B	94	E			7	1.79	1.09	0.33	0.48	Sb	58	Fb	3	
S201	尖頭器14	III C	3	B	a	1~3	2.60	1.64	0.89	2.51	Ob	6	C	7	
S202	尖頭器13	III C	3	B	a	1~3	3.15	1.97	0.98	3.42	Sb	64			
S203	尖頭器36	III C	4	B	a	1~3	4.50	3.13	1.41	17.38	Sb	102			
S204	尖頭器37	III C	4	B	a	1~3	4.87	2.96	0.98	10.27	Sb	94			
S205	尖頭器1	III C	4	B	a	3	5.14	3.94	1.52	26.48	Sb	91			
S206	尖頭器22	III C	4	B	a	3	5.62	1.21	1.15	5.93	Sb	42			
S207	尖頭器33	III C	4	B	b	1	4.70	0.85	0.63	2.23	Sb	47			
S208	尖頭器16	III C	4	B	b	2~3	5.75	4.05	1.02	27.74	Sb	77			

第49表 石器観察表②

器種 No.	遺物 整理 No.	大 小 グリ ット	地区	地 点	場 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	研 磨 角度	類 別	備 考
S209	尖頭器98	Ⅲ C	5	B	b	1	4.56	2.57	1.10	6.89	Sh	70	
S210	尖頭器25	Ⅲ C	16	B	c	1-3	4.76	1.05	0.74	3.30	Sh	73	
S211	尖頭器10	Ⅲ C	17	B	c	1上	2.89	1.60	0.99	2.51	Sh		
S212	尖頭器15	Ⅲ C	6	B	c	7	2.03	1.28	0.49	1.19	Sh		
S213	尖頭器9	Ⅲ C	17	B	c	7-10	4.97	2.19	1.61	13.39	Sh		
S214	尖頭器40	Ⅲ C	28	B	c	16	4.60	3.13	0.83	10.60	Sh	80	
S215	尖頭器1	Ⅲ C	98	B	e	3	4.76	2.76	1.20	14.51	Sh	64	
S216	尖頭器20	Ⅲ C	54	B	c	4-6	2.29	1.81	0.96	3.36	Ag		
S217	尖頭器42	Ⅲ C	83	B	e	7	4.86	3.45	1.30	17.07	Sh	96	
S218	尖頭器3	Ⅲ C	94	B	e	7-8	4.40	2.19	1.00	8.51	Sh		c 備防崩落器
S219	尖頭器43	Ⅲ C	85	B	e	7-8	4.66	2.19	0.50	2.81	Sh	53	c 備防崩落器
S601	尖頭器31	Ⅲ D	68	C		15年度12	5.66	3.78	1.12	19.90	Sh		
S602	尖頭器22	Ⅲ B	85	C			2.52	2.21	0.95	4.15	Ob		産地: 小赤沢 3号トレンチ
S639	尖頭器19	Ⅳ E	60	D		13	13.81	3.27	1.19	57.63	Sh	54	
S640	尖頭器6	Ⅲ C	4	B	a	1-3	2.64	3.01	1.01	6.99	Sh		
S641	尖頭器34	Ⅲ C	4	B	b	1	2.59	1.48	0.98	2.69	Sh		
S642	尖頭器35	Ⅲ C	4	B	b	2	3.19	1.73	1.40	4.40	Sh		
S643	尖頭器45	Ⅲ C	15	B	b	8	2.98	1.66	1.09	5.11	Sh		
S644	尖頭器7	Ⅲ C	7	B	c		2.97	3.19	1.14	9.93	Sh		
S645	尖頭器24	Ⅲ C	7	B	c	1上	3.12	2.02	0.94	5.97	Sh		
S646	尖頭器29	Ⅲ C	6	B	c	1上	2.78	2.29	0.78	4.50	Sh		c 備防崩落器
S647	尖頭器41	Ⅲ C	40	B	d	6-8	4.54	3.11	1.11	11.68	Sh	90	
S648	尖頭器23	Ⅲ D	66	B	e	1	3.31	2.41	0.82	4.63	Sh		
S649	尖頭器5	Ⅲ C	98	B	e	3	2.65	3.00	1.97	12.95	Sh		
S650	尖頭器21	Ⅲ C	98	B	e	3-4	2.06	2.08	0.66	2.47	Sh		
S651	尖頭器26	Ⅲ C	64	B	e	4-7	4.79	2.23	1.16	10.47	Sh	61	
S652	尖頭器12	Ⅲ C	6	B	e	7	4.20	2.91	1.68	17.90	Sh		
S653	尖頭器27	Ⅲ D	66	C		15年度12	6.29	4.00	1.58	31.11	Sh	82	
S654	尖頭器29	Ⅲ D	88	C		15年度12	3.63	3.37	1.37	14.22	Sh		
S655	尖頭器44	Ⅲ D	46	C		15年度12	5.29	3.44	1.37	17.50	Sh	54	
S656	尖頭器28	Ⅲ D	98	C		表掲	3.44	2.51	0.99	5.49	Sh		

器種 No.	遺物 整理 No.	大 小 グリ ット	小 グリ ット	西 査 地区	場 防 名	場 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	研 磨 角度 (D)	類 別	備 考
S220	石錐1	Ⅲ C	93	B	a	2	3.39	0.97	0.57	1.63	Sh	0.61	3	
S221	石錐2	Ⅲ C	94	B	a	3	2.50	1.92	0.65	1.75	Sh	0.34	2	
S222	石錐3	Ⅲ C	3	B	a	11	2.95	2.55	0.70	3.20	Sh	0.44	1	
S223	石錐4	Ⅲ C	3	B	a	12-13	2.88	1.18	0.68	1.98	Sh	0.78	3	
S224	石錐5	Ⅲ C	3	B	a	13	2.73	2.71	1.06	6.38	Sh	0.46	2	
S225	石錐73	Ⅲ C	5	B	b	1上	2.90	0.80	0.67	1.62	Sh	0.60	3	
S226	石錐65	Ⅲ C	5	B	b	2	4.08	1.16	0.66	3.06	Sh	0.87	3	
S227	石錐67	Ⅲ C	5	B	b	2	1.89	1.20	0.50	0.79	Ag	0.38	1	
S228	石錐95	Ⅲ C	15	B	b	2	1.87	1.05	0.26	0.31	Sh	0.31	1	
S229	石錐52	Ⅲ C	4	B	b	2	2.51	1.90	0.50	1.41	Sh	0.42	1	
S230	石錐51	Ⅲ C	4	B	b	2	3.01	1.40	0.29	0.53	Sh	0.38	1	
S231	石錐59	Ⅲ C	15	B	b	2	3.81	1.78	0.40	1.16	Sh	0.53	1	
S232	石錐96	Ⅲ C	15	B	b	2	4.10	1.46	0.38	1.42	Sh	0.50	1	石錐状
S233	石錐94	Ⅲ C	15	B	b	2	4.58	2.54	0.48	2.03	Sh	0.59	1	
S234	石錐66	Ⅲ C	5	B	b	2	5.75	0.98	0.60	2.76	Sh	0.65	3	
S235	石錐50	Ⅲ C	4	B	b	2	7.08	1.50	0.75	3.51	Sh	0.56	1	
S236	石錐34	Ⅲ C	4	B	b	3	2.40	2.00	0.48	1.43	Sh	0.35	1	
S237	石錐35	Ⅲ C	4	B	b	3	2.22	2.05	0.60	2.81	Sh	0.41	1	
S238	石錐100	Ⅲ C	15	B	b	3	3.92	1.49	0.39	1.48	Sh	0.56	1	
S239	石錐36	Ⅲ C	4	B	b	3	5.03	2.37	0.78	5.28	Sh	0.71	1	石錐状付着
S240	石錐70	Ⅲ C	5	B	b	3	3.98	2.73	1.17	8.29	Sh	0.82	1	
S241	石錐101	Ⅲ C	15	B	b	3	2.31	1.73	0.58	1.58	Sh	0.47	1	
S242	石錐49	Ⅲ C	4	B	b	4	1.98	0.93	0.48	0.71	Ob	0.47	1	産地: 小赤沢
S243	石錐58	Ⅲ C	5	B	b	5	2.92	1.05	0.50	0.81	Sh	0.43	1	
S244	石錐59	Ⅲ C	5	B	b	5	2.90	2.04	0.89	3.73	Sh	0.55	1	

第50表 石器観察表②

番號	遺物 種類	大 小 分 類	調 査 地 區	防 護 名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	鉄 新 舊 (cm)	想 定	備 考
S245	石器41	III C	4	B b	6	2.36	2.00	0.50	1.29	Sh	0.44	1	
S246	石器83	III C	14	B b	6a	3.15	1.87	0.83	1.86	Sh	0.37	1	
S247	石器126	III C	4	B b	6-7	3.06	2.03	0.88	3.55	Sh	0.49	2	
S248	石器61	III C	5	B b	6-7	3.95	1.32	0.43	1.13	Sh	0.43	1	
S249	石器89	III C	15	B b	7	2.79	1.69	0.78	1.86	Sh	0.53	1	
S250	石器62	III C	5	B b	7	1.90	2.45	0.67	2.20	Sh	0.30	2	
S251	石器57	III C	15	B b	7	5.13	2.32	1.16	7.10	Sh	0.50	1	
S252	石器84	III C	14	B b	7	3.69	1.53	0.89	3.01	Sh	0.55	1	
S253	石器98	III C	15	B b	7	2.5	2.07	0.57	2.46	Sh	0.50	1	
S254	石器111	III C	18	B c	1上	2.28	1.11	0.52	1.43	Sh	0.55	1	
S255	石器113	III C	22	B c	1上	4.86	1.62	0.74	3.07	Sh	0.52	1	
S256	石器104	III C	17	B c	1上	4.30	2.66	1.28	11.59	Sh	0.93	1	
S257	石器130	III C	17	B c	8	3.57	1.24	0.68	1.45	Sh	0.41	1	
S258	石器131	III C	17	B c	8	2.88	1.50	0.41	1.66	Sh	0.17	2	
S259	石器133	III C	17	B c	8	3.92	2.22	0.74	2.84	Sh	0.40	1	
S260	石器136	III C	17	B c	8	4.35	1.95	1.32	6.38	SSh	0.64	1	
S261	石器135	III C	17	B c	11	3.11	1.41	0.75	1.73	Sh	0.42	1	
S262	石器178	III C	27	B c	8-9	3.23	1.48	1.12	3.73	Sh	0.50	1	張添層
S263	石器106	III C	17	B c	7-10	2.60	1.67	0.79	3.93	Sh	0.59	1	
S264	石器142	III C	28	B c	11	1.83	1.85	0.65	1.08	Ob	0.32	2	产地: 小赤沢
S265	石器141	III C	28	B c	11	4.94	1.91	0.66	3.30	Sh	0.55	1	石藏狀
S266	石器107	III C	17	B c	7-10	3.83	3.19	0.86	8.00	Sh	0.58	2	
S267	石器136	III C	17	B c	12	2.90	1.88	1.01	3.94	Sh	0.51	2	
S268	石器138	III C	27	B c	12-13	3.43	2.51	0.68	4.59	Sh	0.81	2	
S269	石器119	III C	30	B d	1上	3.27	1.56	0.35	0.66	Sh	0.45	1	
S270	石器121	III C	18	B d	4-6	2.25	1.24	0.65	1.46	Sh	0.54	1	
S271	石器148	III C	18	B d	6-8	2.43	1.51	0.88	1.59	Sh	0.45	1	
S272	石器122	III C	18	B d	4-6	5.15	2.23	1.07	9.13	Sh	1.08	1	
S273	石器146	III C	18	B d	6-8	4.08	1.52	0.59	1.55	Sh	0.42	1	
S274	石器147	III C	29	B d	6-8	3.51	1.30	0.58	1.31	Sh	0.39	1	
S275	石器187	II D	65	B e	1	4.00	0.81	0.67	2.67	Sh	0.75	3	
S276	石器124	III D	12	B c	3	3.31	1.50	0.89	3.72	Sh	0.90	3	
S277	石器31	I C	99	B e	3	4.48	1.68	0.95	3.33	Sh	1.43	1	
S278	石器188	I C	8	B c	3	3.57	2.68	1.00	7.26	Sh	0.57	2	
S279	石器189	I C	77	B e	4	3.71	2.15	1.34	7.65	Sh	0.47	1	
S280	石器11	I C	87	B e	4-5	4.18	1.38	0.31	1.01	Sh	0.44	1	
S281	石器13	I C	87	B e	4-5	3.68	0.74	0.52	1.19	Sh	0.30	3	
S282	石器10	I C	87	B e	4-5	2.60	1.01	0.48	0.87	Sh	0.45	1	
S283	石器171	I C	97	B e	4-6	2.56	1.35	0.50	0.92	Sh	0.38	1	
S284	石器195	I C	97	B e	4-6	5.67	1.05	0.66	4.43	Sh			
S285	石器150	I C	64	B e	4-6	4.41	1.03	0.82	3.45	Sh	0.96	3	先端摩滅
S286	石器20	I C	96	B e	4-6	4.96	0.75	0.50	1.11	Sh	0.54	1	e 側防崩落層
S287	石器169	I C	97	B e	4-6	3.20	1.13	0.73	1.96	Sh	0.48	3	
S288	石器151	I C	65	B e	4-6	2.48	0.58	0.18	0.51	Sh	0.73	2	
S289	石器7	I C	74	B e	4-7	5.29	1.64	0.52	1.82	Sh	0.45	1	
S290	石器8	I C	74	B e	4-7	2.79	2.14	0.84	2.86	Sh	0.54	1	
S291	石器190	I C	87	B e	6	2.78	2.16	0.80	3.90	Sh	0.45	1	
S292	石器175	I C	97	B e	6	2.40	1.35	0.54	1.12	Sh	0.36	1	
S293	石器176	I C	97	B e	6	3.81	2.16	1.35	6.62	Sh	1.17	2	
S294	石器174	I C	97	B e	6	4.51	1.61	0.61	1.74	Sh	0.45	1	
S295	石器22	I C	96	B e	7	4.70	2.35	0.57	2.62	Sh	0.54	1	e 側防崩落層
S296	石器159	I C	85	B e	7	2.75	1.20	0.39	0.69	Sh	0.35	1	e 側防崩落層
S297	石器157	I C	84	B e	7	2.71	1.90	0.56	1.87	Sh	0.51	1	c 側防崩落層
S298	石器162	I C	85	B e	7	2.75	1.87	0.67	2.51	Sh	0.55	1	e 側防崩落層
S299	石器156	I C	84	B e	7	2.37	1.72	0.67	1.66	Ag	0.51	1	e 側防崩落層
S300	石器164	I C	85	B e	7	1.63	1.12	0.48	0.58	Sh	0.38	1	e 側防崩落層
S301	石器161	I C	85	B e	7	2.09	1.92	0.51	1.60	Sh	0.24	2	e 側防崩落層
S302	石器160	I C	85	B e	7	2.29	1.78	0.87	2.51	Sh	0.35	2	c 側防崩落層
S303	石器163	I C	95	B e	7	2.23	1.65	0.67	2.15	Sh	0.16	2	e 側防崩落層
S304	石器158	I C	84	B e	7	2.32	1.23	0.41	0.73	Sh	0.37	1	c 側防崩落層
S305	石器15	I C	91	B e	7-8	3.34	2.48	0.90	5.40	Sh	0.51	2	
S306	石器19	I C	95	B e	8	3.24	0.79	0.34	0.55	Sh	0.49	1	
S307	石器78	I C	6	B e	8	2.40	1.18	0.48	0.63	Sh	0.40	1	e 側防崩落層
S308	石器75	I C	6	B e	7-8	4.94	2.02	0.69	2.92	Sh	0.53	1	e 側防崩落層
S309	石器167	I C	95	B e	8	2.27	2.10	0.88	2.88	Sh	0.33	2	c 側防崩落層
S310	石器177	I C	73	B e	7-8	2.69	1.86	0.91	4.12	Sh	0.59	1	
S311	石器168	I C	95	B e	8	1.51	1.80	0.50	0.82	Sh	0.23	2	e 側防崩落層
S603	石器191	III D	47	C	15年1月12	3.26	1.22	0.87	4.35	Sh	0.67	3	

第51表 石器観察表②

編 號	重 量 克	人 格 小 字 グリ ード	小 字 ク リ ー ド	實 驗 部 落 區	地 質 防 護 者	地 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	形 狀	標 記	備 考
S604	石頭193	Ⅲ D	27	C			3.07	1.30	0.85	2.09	Sb	0.42	1	
S605	石頭192	Ⅲ D	77	C			3.42	2.97	0.99	7.27	Sb	0.71	1	
	石頭33	Ⅲ C	3	B	a	1~2	4.26	0.88	0.63	2.94	Sb	0.27	3	
	石頭45	Ⅲ C	4	B	b	1	2.30	1.41	0.28	0.79	Sb	0.43	1	
	石頭46	Ⅲ C	4	B	b	1	1.53	0.86	0.49	0.70	Sb	0.53	4	
	石頭48	Ⅲ C	4	B	b	1	2.80	1.71	0.73	3.13	Sb	0.46	2	
	石頭64	Ⅲ C	5	B	b	1	3.49	2.00	0.80	3.59	Sb	0.31	2	
	石頭198	Ⅲ C	5	B	b	1	1.61	1.02	0.50	0.28	Sb	0.31	1	
	石頭74	Ⅲ C	5	B	b	1.5	5.03	1.51	1.04	5.61	Sb	0.53	1	
	石頭54	Ⅲ C	4	B	b	2	2.72	2.14	0.91	4.71	Sb	0.65	1	
	石頭55	Ⅲ C	4	B	b	2	2.86	1.66	0.70	2.81	Sb	0.27	1	7374付着
	石頭66	Ⅲ C	5	B	b	2	3.79	1.28	0.47	2.40	Sb	1.04	1	
	石頭85	Ⅲ C	14	B	b	2	3.62	0.57	0.37	0.85	Sb	0.54	3	
	石頭97	Ⅲ C	15	B	b	2	3.17	3.08	0.52	2.68	Sb	0.42	1	7374付着
	石頭98	Ⅲ C	15	B	b	2	1.75	0.88	0.40	0.52	Sb	0.41	4	
	石頭199	Ⅲ C	4	B	b	2	2.48	1.30	0.75	1.69	Ob			
	石頭37	Ⅲ C	4	B	b	3	4.36	1.89	0.93	3.48	Sb	0.68	1	
	石頭38	Ⅲ C	4	B	b	3	2.93	1.01	0.70	2.08	Sb	0.74	3	
	石頭39	Ⅲ C	4	B	b	3	1.47	1.59	0.55	0.85	Sb	0.32	2	
	石頭56	Ⅲ C	5	B	b	3	2.28	2.44	0.87	3.45	Sb	0.50	1	
	石頭57	Ⅲ C	5	B	b	3	2.39	1.06	0.51	1.02	Sb	0.58	1	
	石頭71	Ⅲ C	5	B	b	3	2.68	0.65	0.57	1.19	Sb	0.58	3	
	石頭72	Ⅲ C	5	B	b	3	2.02	0.47	0.27	0.25	Sb	0.40	4	
	石頭102	Ⅲ C	15	B	b	3	3.20	1.29	0.67	1.69	Sb	0.83	1	
	石頭103	Ⅲ C	16	B	b	3	1.62	1.79	0.79	1.15	Sb	0.57	2	
	石頭123	Ⅲ C	5	B	b	4~5	1.54	1.88	0.46	1.08	Sb	0.44	1	
	石頭42	Ⅲ C	4	B	b	6a	1.57	0.90	0.46	0.58	Sb	0.32	2	
	石頭60	Ⅲ C	5	B	b	6a	1.45	0.86	0.30	0.45	Sb	0.75	4	
	石頭127	Ⅲ C	4	B	b	6~7	1.94	1.34	0.43	0.94	Sb	0.69	2	
	石頭43	Ⅲ C	4	B	b	7	2.46	1.14	0.52	1.26	Sb	0.61	1	
	石頭63	Ⅲ C	5	B	b	7	2.33	1.88	0.64	2.04	Sb	0.26	2	
	石頭91	Ⅲ C	15	B	b	7	2.40	1.58	0.33	0.97	Sb	0.57	1	
	石頭92	Ⅲ C	15	B	b	7b~8	1.96	1.96	0.49	1.05	Sb	0.32	1	
	石頭105	Ⅲ C	17	B	c	1上	3.28	2.12	0.90	3.80	Sb	0.52	1	
	石頭114	Ⅲ C	27	B	c	1上	2.55	0.96	0.68	1.70	Sb	0.47	3	
	石頭115	Ⅲ C	28	B	c	1上	2.67	0.91	0.46	1.10	Sb	0.56	3	
	石頭128	Ⅲ C	6	B	c	7	3.43	1.96	1.02	5.00	Sb	0.57	1	
	石頭79	Ⅲ C	7	B	c	7~10	2.78	1.35	0.82	3.01	Sb	0.62	1	
	石頭108	Ⅲ C	17	B	c	7~10	3.35	1.05	0.60	2.02	Sb	0.91	3	
	石頭109	Ⅲ C	17	B	c	7~10	2.32	1.66	0.67	2.69	Sb	1.07	4	
	石頭110	Ⅲ C	17	B	c	7~10	3.38	1.58	0.81	3.27	Sb	0.72	1	
	石頭194	Ⅲ C	17	B	c	8	4.46	1.83	1.29	9.81	Sb	0.81	1	
	石頭200	Ⅲ C	28	B	c	8~13	2.83	2.01	0.79	3.25	Sb	0.35	1	
	石頭201	Ⅲ C	17	B	e	9~11	2.64	1.62	0.31	1.02	Sb	0.29	2	
	石頭129	Ⅲ C	16	B	c	10	1.82	1.82	0.98	3.31	Sb	0.47	1	
	石頭134	Ⅲ C	17	B	c	10	2.67	1.63	1.03	2.61	Sb	0.63	1	
	石頭112	Ⅲ C	18	B	c	10~11	2.23	1.25	0.59	0.96	Sb	0.27	1	
	石頭16	Ⅲ C	28	B	c	11a	2.89	1.24	0.38	1.14	Sb	0.65	1	
	石頭137	Ⅲ C	17	B	c	12	2.92	1.47	0.56	2.59	Sb	0.70	1	
	石頭139	Ⅲ C	27	B	c	12~13	4.04	1.21	0.40	0.98	Sb	0.47	1	
	石頭140	Ⅲ C	27	B	c	12~13	2.45	1.86	0.76	2.14	Sb	0.61	2	
	石頭143	Ⅲ C	28	B	c	12~13	3.05	1.30	0.43	0.80	Sb	0.40	1	
	石頭144	Ⅲ C	28	B	c	12~13	2.65	0.70	0.39	0.84	Sb	0.63	3	
	石頭202	Ⅲ C	27	B	c	12~13	2.50	1.28	0.42	1.21	Sb	0.47	1	
	石頭145	Ⅲ C	28	B	c	13	1.98	0.42	0.25	0.28	Sb	0.37	4	
	石頭117	Ⅲ C	29	B	d	1上	2.61	0.77	0.58	0.99	Sb	0.41	1	
	石頭118	Ⅲ C	29	B	d	1上	2.67	1.75	0.85	3.61	Sb	0.80	1	
	石頭120	Ⅲ C	29	B	d	1上	2.99	2.08	0.73	3.04	Sb	0.48	1	
	石頭125	Ⅲ C	29	B	d	1上	2.50	2.60	1.05	4.52	Sb	1.58	4	7374付着
	石頭24	Ⅲ C	98	B	e	3	3.55	1.18	0.74	2.52	Sb	0.44	3	
	石頭25	Ⅲ C	98	B	e	3	2.86	2.32	0.71	3.33	Sb	0.89	2	
	石頭26	Ⅲ C	98	B	e	3	3.71	2.55	0.80	7.72	Ag	0.23	2	
	石頭28	Ⅲ C	98	B	e	3	3.29	1.81	1.09	4.20	Sb	0.71	1	
	石頭29	Ⅲ C	98	B	e	3	2.27	1.46	0.71	2.18	Sb	0.38	2	
	石頭30	Ⅲ C	98	B	e	3	3.40	1.35	0.90	2.89	Sb	0.74	2	
	石頭32	Ⅲ C	99	B	e	3	0.71	0.63	0.47	0.51	Sb	0.33	4	
	石頭32	Ⅲ C	9	B	e	3	2.45	1.66	0.77	2.63	Sb	0.35	1	

第52表 石器観察表④

器種名	遺物整理No	大グリフ	小グリフ	調査地名	登場名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	石材	接頭部 (cm)	備考
石鏃81	III C	8	B	e	3?		2.67	1.77	0.95	2.44	Sh	0.31	1 e堤防崩落層
石鏃203	III C	97	B	e	4		1.84	1.40	0.54	1.21	Sh	0.30	1
石鏃12	II C	87	B	e	4-5		2.67	1.19	0.77	1.22	Sh	0.28	1
石鏃173	II C	97	B	e	4-5		1.52	1.18	0.49	0.89	Sh	0.31	2
石鏃6	II C	55	B	e	1-6		1.61	1.01	0.38	0.91	Sh	0.25	1
石鏃9	II C	77	B	e	4-6		1.81	1.25	0.85	1.33	Sh	0.49	1
石鏃21	II C	96	B	e	4-6		2.88	1.30	0.54	1.55	Sh	0.42	1 e堤防崩落層
石鏃19	II C	43	B	c	4-6		2.53	0.86	0.38	0.72	Sh	0.34	2
石鏃152	II C	64	B	e	4-6		2.60	1.68	0.73	2.35	Sh	0.59	1
石鏃153	II C	64	B	e	4-6		1.67	1.53	0.55	0.93	Sh	0.63	1
石鏃170	II C	97	B	e	4-6		3.30	1.80	0.54	2.69	Sh	0.57	2
石鏃172	II C	97	B	e	1-6		2.97	1.29	0.75	2.23	Sh	0.81	3
石鏃18	II C	95	B	e	7		1.90	1.80	0.66	1.81	Sh	0.58	1
石鏃23	II C	96	B	e	7		2.78	0.72	0.64	0.98	Sh	0.48	3 e堤防崩落層
石鏃158	II C	84	B	e	7		1.79	1.67	0.35	1.15	Sh	0.41	1 e堤防崩落層
石鏃163	II C	85	B	e	7		2.62	2.38	1.10	3.64	Sh	0.61	1 e堤防崩落層
石鏃166	II C	95	B	c	7		1.52	1.58	0.40	0.56	Sh	0.39	1 e堤防崩落層
石鏃197	II C	94	B	e	7		1.73	0.90	0.41	0.44	Sh	0.37	1 崩落層
石鏃77	II C	6	B	c	7		2.07	1.47	0.42	0.96	Sh	0.39	2 e堤防崩落層
石鏃14	II C	91	B	e	7-8		2.44	1.66	0.55	1.95	Sh	0.55	1 e堤防崩落層
石鏃16	II C	94	B	e	7-8		3.79	1.49	0.79	4.19	Ag	0.94	3
石鏃76	II C	6	B	e	7-8		3.70	1.05	0.85	2.33	Sh	0.38	1 e堤防崩落層
石鏃182	II D	65	C			15年度12	3.02	1.17	0.42	1.61	Sh	0.45	1
石鏃180	II D	36	C			15年度15a	1.98	2.25	0.69	2.64	Sh	0.51	1
石鏃181	II D	36	C			15年度15a	2.11	1.38	0.41	0.87	Sh	0.49	1
石鏃184	II E	24	C			14年度9	1.99	1.29	0.53	1.21	Sh	0.52	1
石鏃196	II E	43	C			14年度9	4.46	2.67	1.26	7.84	Sh	0.65	1
石鏃185	II E	33	C			14年度9下	2.79	2.46	1.12	4.94	Sh	0.60	2
石鏃183	II D	78	C			表採	1.91	0.84	0.63	2.05	Sh	0.59	1
石鏃179	II B	1	E			7	2.60	1.25	0.91	3.01	Sh	0.75	4
石鏃186	I						1.56	0.74	0.48	0.43	Sh	0.64	4

器種名	遺物整理No	大グリフ	小グリフ	調査地名	登場名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	石材	接頭部 (cm)	備考
S312 石鏃1	III C	3	B	a	2		5.30	4.61	0.71	8.51	Sh	0.65	3
S313 石鏃16	III C	14	B	b	1		4.19	4.96	1.11	11.58	Sh	0.90	1
S314 石鏃27	III C	5	B	b	2-3		5.30	2.31	0.69	5.73	Sh	0.65	3
S315 石鏃28	III C	5	B	b	2-3		6.03	2.03	1.06	8.58	Sh	0.80	2
S316 石鏃21	III C	4	B	b	3		3.46	3.31	1.17	15.73	Sh	1.19	2
S317 石鏃31	III C	15	B	b	3		3.67	3.26	0.54	3.07	Sh	0.51	3
S318 石鏃29	III C	4	B	b	3		8.98	4.01	0.38	31.12	Sh	1.45	2
S319 石鏃20	III C	37	B	e	7-10		5.31	1.80	0.79	7.32	Sh	0.75	2
S320 石鏃39	III C	17	B	c	8		3.50	2.09	1.01	6.39	Sh	1.04	2
S321 石鏃40	III C	17	B	c	8		5.67	3.60	1.33	19.10	Sh	0.85	2
S322 石鏃41	III C	27	B	c	12-13		6.89	1.81	0.84	7.61	Sh	1.00	2
S323 石鏃10	III C	19	B	e	3		3.66	1.30	0.65	1.97	Sh	0.60	2
S324 石鏃29	III C	98	B	e	3		1.98	3.20	0.73	7.92	Sh	0.70	2
S325 石鏃12	III C	98	B	e	3		5.00	3.51	1.13	14.55	Sh	1.25	2
S326 石鏃21	III C	19	B	c	3		5.76	2.66	0.90	10.53	Sh	0.80	2
S327 石鏃56	III C	98	B	e	4-5		4.90	1.91	0.47	3.44	Sh	0.80	2
S328 石鏃15	III C	8	B	e	3		6.60	5.20	1.39	37.57	Sh	1.48	3
S329 石鏃3	III C	85	B	e	4		8.98	4.13	1.19	18.69	Sh	1.00	2
S330 石鏃49	III C	54	B	e	1-6		5.89	3.42	1.06	15.85	Sh	0.85	2
S331 石鏃9	III C	96	B	e	4-7		5.96	2.22	0.79	8.14	Sh	0.65	2
S332 石鏃47	III C	98	B	e	4-6		4.52	6.30	1.15	20.95	Sh	1.10	1
S333 石鏃58	III C	95	B	e	7-8		4.29	4.15	0.95	13.24	Sh	1.30	3 e堤防崩落層
S334 石鏃52	III C	84	B	e	7-8		4.30	5.31	1.20	22.30	Sh	1.05	1
S335 石鏃54	III C	97	B	e	11		5.50	4.61	0.96	12.98	Sh	1.20	3
S605 石鏃73	III D	65	C		15年度12		5.37	3.10	0.84	11.98	Sh	0.75	2
S607 石鏃74	III D	56	C		15年度13		7.83	2.22	0.79	9.39	Sh	0.80	2

第53表 石器観察表

番号	重物 部材 N	大 ダ リ ア イ ド	小 タ ク リ ア イ ド	調査 施設 名	施 設 名	施 設 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 刃	接 合 部 幅 (cm)	類 型	備 考
S608	石器75	III D	36	C		15年度15a	3.35	4.95	1.09	10.39	Sh	0.95	1	
S652	石器72	II B	1	E		7	6.25	6.65	1.49	47.99	Sh	1.80	3	
	石器13	III C	4	B	b	1	5.51	5.68	0.91	15.35	Sh	1.20	3	
	石器26	III C	4	B	b	2	2.95	2.85	0.64	4.72	Sh	0.53	1	
	石器23	III C	4	B	b	2-3	3.60	1.83	0.74	4.08	Sh	0.73	2	
	石器29	III C	15	B	b	2-3	3.11	2.96	0.76	4.40	Sh	0.80	3	
	石器30	III C	15	B	b	2-3	3.95	3.13	0.62	6.04	Sh	1.10	2	
	石器33	III C	4	B	b	2-3	1.80	2.01	0.50	1.87	Sh	0.35	1	
	石器2	III C	4	B	b	3	5.98	5.82	1.16	32.56	Sh	1.85	1	
	石器76	III C	15	B	b	7	1.73	3.23	1.00	3.18	Sh	0.94	1	
	石器19	III C	17	B	c	4-6	3.95	5.50	0.92	13.36	Sh	1.15	3	
	石器36	III C	17	B	c	8	2.57	4.33	0.61	3.72	Sh	0.70	1	
	石器37	III C	17	B	c	8	2.65	4.77	1.29	11.81	Sh	2.20	1	
	石器38	III C	17	B	c	8	3.42	2.50	0.92	4.99	Sh	1.20	1	
	石器42	III C	27	B	c	12-13	5.43	1.73	0.58	2.56	Sh	0.50	2	
	石器43	III C	28	B	c	13-14	4.55	4.59	1.24	22.27	Sh	2.31	1	
	石器22	III C	29	B	d	1-2	4.09	2.65	0.68	5.34	Sh	1.75	2	
	石器44	III C	29	B	d	5	2.40	2.66	0.95	5.47	Sh	1.30	1	
	石器52	II C	100	B	e	1	7.68	4.86	1.14	27.39	Sh	1.00	2	
	石器63	III D	4	B	e	2	3.62	2.45	1.13	6.56	Sh	1.00	1	
	石器11	III C	19	B	e	3	4.43	4.50	1.12	17.18	Sh	0.80	1	
	石器14	III C	8	B	c	3	3.83	2.80	0.99	8.34	Sh	0.75	2	
	石器18	III C	9	B	e	3	3.44	3.38	0.65	6.94	Sh	0.90	1	
	石器60	II C	98	B	e	3	5.99	5.76	1.22	22.46	Sh	1.50	3	
	石器64	II D	71	B	c	3	3.21	2.42	0.90	3.36	Sh	1.15	2	
	石器65	II C	88	B	e	3	3.91	4.43	1.02	17.14	Sh	1.11	2	
	石器4	II C	85	B	e	4	3.62	5.35	1.30	16.39	Sh	1.50	1	
	石器5	II C	87	B	e	4	4.18	5.32	1.46	21.15	Sh	1.90	1	
	石器6	II C	87	B	c	4	4.95	3.15	0.71	10.79	Sh	1.65	2	
	石器7	II C	87	B	e	4	2.97	2.18	0.68	3.16	Sh	0.55	3	
	石器17	III C	8	B	e	4	2.34	2.54	0.56	3.01	Sh	0.38	1	
	石器35	II C	96	B	e	4-5	3.33	3.78	0.82	4.88	Sh	0.50	3	
	石器45	II C	97	B	c	4-6	5.02	2.11	0.91	6.84	Sh	0.90	2	
	石器46	II C	97	B	e	4-6	3.01	3.03	0.84	4.81	Sh	0.95	1	
	石器48	II C	34	B	e	4-6	4.31	3.41	0.71	7.76	Sh	0.90	1	
	石器50	II C	35	B	e	4-6	4.96	3.05	0.53	5.41	Sh	0.60	3	
	石器57	II C	97	B	c	4-6	4.65	2.18	0.73	4.83	Sh	0.65	2	
	石器58	II C	95	B	e	4-7	3.18	3.89	0.83	6.53	Sh	0.90	1	
	石器66	II C	74	B	e	7	3.81	1.91	0.95	5.51	Sh	1.89	2	
	石器67	II C	86	B	e	7	7.67	3.25	1.44	23.95	Sh	1.25	1	
	石器34	II C	94	B	c	7-8	5.88	3.18	1.34	13.02	Sh	0.74	2	c 塔防崩落層
	石器35	II C	86	B	e	7-8	2.62	1.77	0.79	2.86	Sh	0.85	2	
	石器53	II C	95	B	e	11	6.14	1.42	0.85	5.56	Sh	0.95	2	
	石器32	III C	28	B	c-d		2.67	3.20	0.79	4.45	Sh	0.90	1	e 塔防崩落層
	石器68	III D	56	C		15年度12	2.93	2.26	0.62	1.97	Sh	0.75	1	
	石器69	III D	78	C		15年度12	4.31	1.42	0.90	4.76	Sh	0.60	2	
	石器70	III D	88	C		15年度12	5.15	3.84	0.71	10.13	Sh	1.25	3	
	石器71	III D	46	C		15年度15a	3.38	2.92	0.81	6.87	Sh	0.85	2	
	石器61	N E	24	C		14年度9	5.63	6.46	1.25	35.73	Sh	2.30	1	

第54表 石器鍛察表②

通 数 No.	通 物 名 N.	大 小 グ リ ッ ク ル ド	調 査 地 区	逐 跡 名	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	考 査
S336	器器39	Ⅲ C	26	B	c	13-14	4.76	3.41	1.17	17.26	Sh
S337	器器1	Ⅲ C	4	B	a	3	2.96	3.02	0.92	9.11	Sh
S338	器器38	Ⅲ C	4	B	b	2	1.76	1.40	0.60	1.80	Ob
S339	器器17	Ⅲ C	16	B	b	4	4.05	3.39	1.65	17.43	Sh
S340	器器2	Ⅲ C	15	B	b	7	3.39	6.17	1.61	23.20	Sh
S341	器器12	Ⅲ C	17	B	c	4-6	2.59	2.60	0.91	6.88	Sh
S342	器器13	Ⅲ C	17	B	c	4-6	5.10	3.59	1.34	16.18	Sh
S343	器器25	Ⅲ C	17	B	c	13-14	2.23	2.02	0.96	3.82	Ob
S344	器器22	Ⅲ C	16	B	c	13	5.21	4.29	1.50	30.18	Sh
S345	器器27	Ⅲ C	19	B	d	6-8	6.10	3.20	1.29	31.24	Sh
S346	器器26	Ⅲ D	84	B	e	2	2.48	2.75	0.98	5.97	Sh
S347	器器29	Ⅲ C	30	B	d	6-8	4.30	6.29	1.50	31.34	Sh
S348	器器6	Ⅲ C	99	B	e	3	3.17	3.10	1.27	10.84	Sh
S349	器器5	Ⅲ C	98	B	e	3	3.78	5.25	1.45	25.04	Sh
S350	器器49	Ⅲ C	78	B	e	4-5	3.67	3.19	1.37	13.87	Sh
S351	器器37	Ⅲ C	83	B	e	7	3.83	3.13	1.21	14.52	Sh
S609	器器34	Ⅳ E	44	C		14年庚7	3.80	4.81	1.00	13.47	Sh
S610	器器25	Ⅳ E	43	C		14年庚9	4.61	2.90	1.08	16.40	Sh
S640	器器30	Ⅳ E	59	D		14年庚13	2.70	6.88	1.18	17.27	Sh
器器14	Ⅲ C	5	B	b	2	2.66	2.43	0.77	4.02	Sh	
器器40	Ⅲ C	4	B	b	3	1.96	1.85	0.93	3.22	Sh	
器器18	Ⅲ C	17	B	c	8	4.20	3.66	1.75	21.61	Sh	
器器19	Ⅲ C	17	B	c	10-12	2.05	1.75	0.45	1.83	Sh	
器器41	Ⅲ C	7	B	c	12	2.11	1.50	0.75	2.27	Ob	
器器20	Ⅲ C	27	B	c	12-13	2.98	4.34	1.31	16.82	Sh	
器器21	Ⅲ C	28	B	c	12-13	8.09	5.17	2.05	71.38	Sh	
器器23	Ⅲ C	17	B	c	13	3.32	2.86	0.90	6.11	Sh	
器器24	Ⅲ C	28	B	c	13	4.10	2.98	1.32	12.60	Sh	
器器25	Ⅲ C	28	B	c	13-14	2.97	3.62	1.09	10.72	Sh	
器器15	Ⅲ C	28	B	c-d		1.42	2.25	0.81	2.49	Sh	
器器8	Ⅲ C	29	B	d	1上	3.79	3.48	1.31	17.24	Sh	
器器9	Ⅲ C	29	B	d	1上	3.78	2.94	1.27	12.17	Sh	
器器10	Ⅲ C	30	B	d	1上	5.84	2.35	1.19	14.61	Sh	
器器28	Ⅲ C	29	B	d	6-8	2.98	2.28	1.31	10.03	Sh	
器器16	Ⅲ C	40	B	d		6.64	3.80	1.34	40.65	Sh	
器器31	Ⅲ C	18	B	d		1.78	1.54	0.65	1.72	Ob	
器器3	Ⅲ C	87	B	e	4-5	2.78	1.98	1.65	7.19	Sh	
器器11	Ⅲ C	94	B	e	7-8	1.71	1.53	0.52	1.68	Sh	
器器32	Ⅲ C	86	B	e	7-8	2.34	2.83	0.92	5.31	Sh	
e 避防崩落層											
S352	削器25	Ⅲ C	4	B	b	2	6.80	4.51	1.13	24.31	Sh
S353	削器36	Ⅲ C	5	B	b	2	3.50	4.43	1.19	17.07	Sh
S354	削器39	Ⅲ C	5	B	b	2	5.52	3.50	0.90	15.33	Sh
S355	削器22	Ⅲ C	4	B	b	2	3.65	2.49	1.17	7.46	Sh
S356	削器20	Ⅲ C	5	B	b	2	5.10	2.84	1.21	12.25	Sh
S357	削器44	Ⅲ C	15	B	b	2-3	4.70	3.25	0.90	10.93	Sh
S358	削器4	Ⅲ C	5	B	b	3	4.41	2.24	0.90	6.35	Sh
S359	削器46	Ⅲ C	5	B	b	3	4.02	3.82	1.01	9.44	Sh
S360	削器43	Ⅲ C	15	B	b	3	6.54	5.10	2.50	60.39	Sh
S361	削器6	Ⅲ C	5	B	b	6	2.99	2.51	1.00	5.57	Sh
S362	削器9	Ⅲ C	16	B	b	7-8	3.63	3.75	0.92	7.20	Sh
S363	削器63	Ⅲ C	28	B	c	1上	6.61	7.60	1.21	65.74	Sh
S364	削器51	Ⅲ C	17	B	c	8	3.71	3.00	1.11	10.14	Sh
S365	削器53	Ⅲ C	17	B	c	11	4.51	3.98	1.47	20.58	Ch
S366	削器52	Ⅲ C	17	B	c	11	6.50	3.50	1.89	25.05	Sh
S367	削器59	Ⅲ C	16	B	c	12-15	6.80	2.95	1.12	15.74	Sh
S368	削器56	Ⅲ C	17	B	c	12-13	5.87	3.70	1.39	24.94	Sh
S369	削器62	Ⅲ C	19	B	d	6-8	5.10	2.61	0.65	8.08	Sh
S370	削器64	Ⅲ C	29	B	d	6-8	7.40	2.90	1.31	24.35	Sh
S371	削器66	Ⅲ C	30	B	d	6-8	6.49	4.08	1.11	22.29	Sh
S372	削器84	Ⅲ D	31	B	d	7-8	3.00	3.21	1.02	6.71	Sh
S373	削器17	Ⅲ C	98	B	c	3	3.42	4.36	1.52	23.07	Sh
S374	削器16	Ⅲ C	96	B	c	3	2.93	3.71	1.24	10.04	Sh
S375	削器19	Ⅲ C	8	B	e	3	2.89	3.21	0.60	5.82	Sh
S376	削器18	Ⅲ C	98	B	e	3	4.24	1.73	1.22	5.83	Sh
S377	削器71	Ⅲ C	97	B	e	4-6	5.21	5.65	1.10	24.51	Sh
S378	削器11	Ⅲ C	97	B	e	4-6	3.57	2.95	0.96	9.39	Sh
S379	削器74	Ⅲ C	84	B	e	7-8	3.89	2.79	1.05	9.90	Sh

第55表 石器観察表②

編號 No.	遺物 種類	大 小 グリ ップ	調査 地区	埋 蔵 地 名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備 考	
S380	刮削器	72	II C	64	B	e	4-6	6.40	5.81	1.48	45.90	Sh
S381	刮削器	94	II C	6	B	e	7	8.00	7.71	1.97	47.90	Sh
S382	刮削器	48	III C	19	B	e		5.14	8.13	1.60	67.48	Sh
S611	刮削器	93	III D	66	C		15年度12	4.68	2.69	0.98	11.12	Sh
S612	刮削器	95	IV E	44	C		14年度7	3.47	2.94	1.00	10.33	Sh
S633	刮削器	92	II B	1	E		7	7.79	8.25	2.99	109.96	Sh
網状45	網状	3	III C	3	B	a	1-2	2.53	2.56	0.66	3.85	Sh
網状1	網状	5	III C	3	B	a	1-3	8.46	2.57	0.68	46.59	Sh
網状2	網状	2	II C	3	B	a	1-3	6.70	6.93	1.61	51.22	Sh
網状29	網状	5	III C	5	B	b	2	2.93	3.68	1.05	9.68	Sh
網状30	網状	3	III C	5	B	b	2	5.34	5.30	1.87	33.38	Sh
網状31	網状	5	III C	5	B	b	2	4.58	5.07	1.45	23.60	Sh
網状32	網状	3	III C	5	B	b	2	1.70	5.75	0.74	4.89	Sh
網状33	網状	5	III C	5	B	b	2	2.27	1.81	0.74	2.64	Sh
網状34	網状	15	III C	15	B	b	2	6.39	2.89	1.58	21.41	Sh
網状35	網状	15	III C	15	B	b	2	5.75	5.28	0.99	23.18	Sh
網状37	網状	26	III C	26	B	b	2	3.39	2.88	1.05	11.61	Sh
網状38	網状	26	III C	26	B	b	2	3.98	3.30	1.83	15.03	Sh
網状83	網状	15	III C	15	B	b	2	2.63	2.29	0.57	3.85	Sh
網状41	網状	4	III C	4	B	b	2-3	4.63	3.11	0.86	13.55	Sh
網状23	網状	4	III C	4	B	b	3	3.69	3.82	0.83	13.74	Sh
網状42	網状	4	III C	4	B	b	3	3.78	6.59	1.16	21.38	Sh
網状47	網状	5	III C	5	B	b	3	3.60	2.38	0.87	5.78	Sh
網状95	網状	5	III C	5	B	b	3-5	6.02	5.10	1.89	32.64	Sh
網状26	網状	5	III C	5	B	b	4-6	4.00	2.33	0.67	5.26	Sh
網状7	網状	15	III C	15	B	b	7	2.32	1.73	0.75	4.02	Sh
網状88	網状	15	III C	15	B	b	7	1.90	2.37	1.30	3.34	Sh
網状49	網状	27	III C	27	B	c	1上	4.02	4.15	0.93	14.75	Sh
網状20	網状	17	III C	17	B	c	4-6	2.67	4.05	0.81	7.46	Sh
網状21	網状	17	III C	17	B	c	4-6	2.99	4.05	0.90	6.50	Sh
網状22	網状	18	III C	18	H	c	4-10	4.63	4.04	1.19	15.81	Sh
網状23	網状	17	III C	17	B	c	7-10	2.47	1.96	0.77	2.93	Sh
網状50	網状	17	III C	17	B	c	8	2.08	3.64	1.02	7.08	Sh
網状96	網状	17	III C	17	B	c	8	2.47	1.73	0.45	2.02	Sh
網状64	網状	17	III C	17	B	c	11	4.24	6.82	1.39	35.79	Sh
網状55	網状	28	III C	28	B	c	12	2.72	5.13	0.96	5.74	Sh
網状57	網状	17	III C	17	B	c	12-13	2.62	4.32	1.36	10.10	Sh
網状58	網状	16	III C	16	H	c	13	3.77	2.80	1.05	8.88	Sh
網状24	網状	29	III C	29	B	d	1上	3.05	1.91	0.75	5.12	Sh
網状60	網状	40	III C	40	B	d	4-8	5.56	3.76	1.33	28.88	Sh
網状61	網状	19	III C	19	B	d	6-8	2.84	3.70	0.87	7.47	Sh
網状65	網状	29	III C	29	B	d	6-8	3.37	2.22	0.95	6.10	Sh
網状67	網状	39	III C	39	B	d	6-8	6.36	2.64	0.64	11.91	Sh
網状68	網状	40	III C	40	B	d	6-8	3.42	3.22	1.27	9.58	Sh
網状69	網状	40	III C	40	H	d	6-8	4.40	2.33	0.81	5.19	Sh
網状85	網状	29	III C	29	B	d	4-13	4.43	2.68	1.22	11.33	Sh
網状78	網状	7	III C	7	B	c	3	3.02	2.26	1.09	6.27	Sh
網状79	網状	7	III C	7	B	e	3	3.55	3.53	1.71	17.07	Sh
網状86	網状	68	III C	68	B	e	3	6.64	2.74	1.29	26.26	Sh
網状10	網状	87	II C	87	B	e	4-5	4.43	3.67	0.95	9.12	Sh
網状76	網状	87	II C	87	B	e	4-5	3.07	3.63	1.33	12.12	Sh
網状12	網状	97	II C	97	B	e	4-6	2.32	2.16	0.87	4.09	Sh
網状13	網状	74	II C	74	B	e	4-6	4.34	4.29	1.37	25.51	Sh
網状14	網状	77	II C	77	B	e	4-6	3.12	3.47	1.39	15.90	Ag
網状20	網状	97	II C	97	B	e	4-6	4.50	4.25	1.40	23.35	Sh
網状23	網状	65	II C	65	B	e	4-6	4.88	4.10	1.26	21.82	Sh
網状87	網状	99	II C	99	B	e	6	3.23	3.77	1.38	13.76	Sh
網状88	網状	74	II C	74	B	e	7	2.45	2.08	0.55	2.78	Sh
網状89	網状	74	II C	74	B	e	7	2.86	4.74	1.07	13.23	Sh
網状15	網状	95	II C	95	B	e	7-8	2.79	3.16	0.91	7.74	Sh
網状27	網状	95	II C	95	B	e	7-8	3.33	2.24	1.06	9.24	Sh
網状75	網状	85	II C	85	B	e	7-8	7.41	2.47	1.04	11.26	Sh
網状27	網状	95	II C	95	B	e	8	4.33	2.45	0.81	9.93	Sh
網状80	網状	23	II C	14年度8-9上	C		3.36	2.43	0.70	4.58	Sh	
網状81	網状	35	II C	14年度9下	C		7.16	3.78	1.08	26.62	Sh	
網状82	網状	34	II C	14年度9下	C		3.46	2.95	0.90	7.15	Sh	
網状90	網状	68	II C	15年度12	C		3.69	2.74	0.81	9.06	Sh	
網状91	網状	46	II C	15年度15a	C		3.87	2.70	1.10	10.06	Sh	

第56表 石器観察表②

記載番号	遺物類型	大分類	小分類	調査地区	堆積名	層位	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	備考
S383	櫛313	Ⅲ C	93	B	a	1-3	5.28	4.70	1.61	41.30	Sh	
S384	櫛307	Ⅲ C	4	B	b	7b-8	2.25	2.08	0.97	4.52	Ob	产地: 小赤沢
S385	櫛310	Ⅲ C	17	B	c	4-10	1.79	1.44	0.52	1.34	Ob	产地: 小赤沢
S386	櫛314	Ⅲ C	28	B	c	11	3.16	2.67	0.96	9.34	Sh	
S387	櫛313	Ⅲ C	28	B	c	1上	2.45	2.26	1.18	7.40	Sh	
S388	櫛315	Ⅲ C	28	B	c	13-14	1.77	1.64	0.89	2.47	Ob	产地: 小赤沢
S389	櫛316	Ⅲ C	40	B	d	6-8	2.55	2.55	1.46	7.68	Sh	
S390	櫛320	Ⅲ D	13	B	e	3	1.55	1.35	0.66	1.35	Sh	
S391	櫛309	Ⅲ C	98	B	e	3	2.96	2.96	1.16	9.05	Sh	
S392	櫛318	Ⅲ C	19	B	e	3	3.60	4.51	1.33	22.68	Sh	
S393	櫛308	Ⅲ C	97	B	e	3-5	3.80	2.96	1.46	14.30	Sh	
S394	櫛312	Ⅲ C	83	B	e	7	3.23	3.20	1.20	12.66	Sh	
S613	櫛321	Ⅲ D	77	C		15年度12	3.12	2.98	1.37	14.39	Sh	
S614	櫛322	Ⅲ D	86	C		15年度12	3.26	3.96	1.35	17.33	Sh	
S651	櫛317	Ⅲ B	1	E		7	3.19	2.55	1.25	9.56	Sh	
櫛323	Ⅲ C	4	B	a	1-3	2.41	1.90	0.95	3.77	Sh		
櫛1	Ⅲ C	93	B	a	2	2.62	2.24	0.92	4.43	Sh		
櫛2	Ⅲ C	93	B	a	2	3.09	3.44	1.25	13.53	Sh		
櫛3	Ⅲ C	4	B	a	3	2.13	1.34	0.43	1.15	Sh		
櫛4	Ⅲ C	4	B	a	3	1.36	1.72	0.51	1.28	Sh		
櫛5	Ⅲ C	4	B	a	3	3.00	4.47	1.24	14.64	Sh		
櫛24	Ⅲ C	3	B	a	5-6	2.18	2.57	1.04	4.64	Ob		
櫛60	Ⅲ C	93	B	a	8-11	3.83	2.57	1.09	11.32	Sh		
櫛6	Ⅲ C	4	B	a	10-11	4.38	3.10	0.97	12.71	Sh		
櫛7	Ⅲ C	4	B	a	11	2.44	1.87	0.58	3.64	Sh		
櫛191	Ⅲ C	3	B	a	11	2.02	2.61	1.00	4.24	Ob		
櫛192	Ⅲ C	4	B	a	11	1.78	2.41	1.14	4.36	Ob		
櫛8	Ⅲ C	3	B	a	12	2.08	2.37	0.93	3.94	Sh		
櫛9	Ⅲ C	3	B	a	13	2.83	2.00	1.06	6.39	Sh		
櫛10	Ⅲ C	3	B	a	13	3.33	3.30	1.49	14.15	Sh		
櫛11	Ⅲ C	3	B	a	13	6.60	4.95	1.25	40.50	Sh		
櫛12	Ⅲ C	4	B	a	13	2.60	2.73	1.09	7.04	Sh		
櫛193	Ⅲ C	3	B	a	13	2.10	1.83	0.67	2.32	Ob		
櫛19	Ⅲ C	5	B	b	1上	2.28	1.89	1.01	4.00	Sh	e 横防崩落層	
櫛90	Ⅲ C	5	B	b	1上	2.11	1.72	0.72	1.54	Sh	e 横防崩落層	
櫛81	Ⅲ C	5	B	b	1上	2.50	1.50	0.71	2.09	Ag	e 横防崩落層	
櫛82	Ⅲ C	5	B	b	1上	2.85	2.21	1.65	11.67	Sh	e 横防崩落層	
櫛122	Ⅲ C	4	B	b	1-2	2.59	2.35	0.98	5.62	Sh		
櫛123	Ⅲ C	4	B	b	1-2	4.26	3.37	1.50	18.35	Sh		
櫛124	Ⅲ C	4	B	b	1-2	2.84	2.73	1.10	9.01	Sh		
櫛125	Ⅲ C	5	B	b	1-2	2.37	2.35	0.92	3.57	Sh		
櫛126	Ⅲ C	5	B	b	1-2	2.33	3.58	1.23	7.71	Sh		
櫛127	Ⅲ C	5	B	b	1-2	1.61	1.80	0.50	1.45	Sh		
櫛128	Ⅲ C	5	B	b	1-2	2.69	3.03	1.18	16.03	Sh		
櫛131	Ⅲ C	15	B	b	1-2	1.51	2.25	1.07	3.72	Sh		
櫛217	Ⅲ C	4	B	b	1-2	1.92	2.02	0.79	2.26	Ob		
櫛218	Ⅲ C	4	B	b	1-2	2.08	1.78	1.19	3.17	Ob		
櫛219	Ⅲ C	4	B	b	1-2	2.62	2.48	1.21	7.33	Ob		
櫛220	Ⅲ C	5	B	b	1-2	1.58	1.15	0.26	0.54	Ob		
櫛221	Ⅲ C	5	B	b	1-2	2.21	1.91	1.09	4.24	Ob		
櫛222	Ⅲ C	5	B	b	1-2	2.77	1.89	1.27	5.37	Ob		
櫛223	Ⅲ C	5	B	b	1-2	1.59	1.53	0.40	0.76	Ob		
櫛226	Ⅲ C	15	B	b	1-2	1.81	1.69	0.47	1.20	Ob		
櫛233	Ⅲ C	15	B	b	1-2	2.44	1.29	0.86	2.92	Ob		
櫛139	Ⅲ C	15	B	b	1-3	2.33	2.14	0.76	4.25	Sh		
櫛235	Ⅲ C	15	B	b	1-3	1.83	1.67	0.55	1.67	Ob		
櫛111	Ⅲ C	4	B	b	2	2.75	3.12	1.44	9.12	Sh		
櫛137	Ⅲ C	4	B	b	2	3.15	1.76	0.80	4.87	Sh		
櫛21	Ⅲ C	4	B	b	2	3.48	2.74	1.06	9.09	Sh		
櫛22	Ⅲ C	4	B	b	2	2.55	2.88	0.94	7.17	Sh		
櫛23	Ⅲ C	4	B	b	3	1.54	3.31	0.83	3.97	Sh		
櫛24	Ⅲ C	4	B	b	3	1.85	2.04	0.47	1.33	Sh		
櫛25	Ⅲ C	5	B	b	3	1.76	1.70	0.66	1.71	Sh		
櫛138	Ⅲ C	15	B	b	3	1.91	2.46	0.77	3.31	Sh		
櫛194	Ⅲ C	5	B	b	3	1.61	2.48	0.82	2.72	Ob		
櫛195	Ⅲ C	4	B	b	3	2.63	2.00	0.94	4.19	Ob		
櫛196	Ⅲ C	4	B	b	3	2.25	2.31	0.99	4.52	Ob		

第57表 石器観察表◎

標號 No.	遺物 名	大 タ イ リ ー ド	小 タ グ リ ー ド	発 見 地 区	地 方 名	形 状	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	備 考
櫻197	III C	4	B	b	3	2.62	1.59	0.96	3.25	Ob		
櫻240	III C	16	B	b	3	2.09	1.58	0.97	2.66	Ob		
櫻26	III C	5	B	b	3b	2.12	1.76	0.88	2.93	Sh		
櫻27	III C	5	B	b	3-5	3.78	4.29	1.20	19.05	Sh		
櫻28	III C	5	B	b	3-5	3.66	3.50	1.35	13.01	Sh		
櫻29	III C	5	B	b	3-5	2.51	2.23	0.96	4.65	Sh		
櫻30	III C	5	B	b	3-5	2.35	3.11	1.18	6.07	Ag		
櫻198	III C	5	B	b	3-5	1.44	1.93	1.03	2.95	Ob		
櫻199	III C	5	B	b	3-5	1.90	1.62	0.73	1.93	Ob		
櫻100	III C	16	B	b	4-10	3.82	4.84	1.66	29.54	Sh		
櫻101	III C	26	B	b	4-10	2.26	2.88	1.05	6.12	Sh		
櫻31	III C	4	B	b	6	2.48	1.56	1.00	4.08	Sh		
櫻32	III C	14	B	b	6a	1.86	1.83	0.58	2.00	Sh		
櫻33	III C	25	B	b	6a	2.49	1.55	0.51	1.75	Ag		
櫻34	III C	4	B	b	6b	2.13	2.89	1.22	7.56	Sh		
櫻35	III C	4	B	b	6b	3.81	2.49	1.43	12.13	Sh		
櫻36	III C	5	B	b	6b	3.73	3.00	0.98	11.36	Sh		
櫻37	III C	5	B	b	6b	1.98	1.47	0.49	1.44	Sh		
櫻38	III C	4	B	b	6-7	2.16	2.03	1.06	3.72	Sh		
櫻200	III C	4	B	b	6-7	1.44	2.13	0.83	2.19	Ob		
櫻201	III C	4	B	b	6-7	1.99	2.31	0.65	2.33	Ob		
櫻39	III C	4	B	b	7	2.36	2.44	0.79	4.43	Ag		
櫻40	III C	3	B	b	7	1.97	2.46	1.22	5.22	Sh		
櫻41	III C	15	B	b	7	1.96	2.05	0.89	3.61	Sh		
櫻42	III C	15	B	b	7	1.88	2.44	1.08	3.94	Sh		
櫻43	III C	15	B	b	7	2.67	2.15	1.15	6.48	Sh		
櫻44	III C	15	B	b	7	1.66	1.84	0.68	1.93	Sh		
櫻45	III C	15	B	b	7	2.71	1.65	1.12	5.21	Sh		
櫻46	III C	15	B	b	7	2.81	2.30	1.28	7.01	Sh		
櫻202	III C	4	B	b	7	2.13	1.63	0.82	2.06	Ob		
櫻203	III C	4	B	b	7	1.69	1.46	0.52	1.01	Ob		
櫻204	III C	5	B	b	7	1.96	1.75	0.94	3.07	Ob		
櫻205	III C	15	B	b	7	2.21	2.01	0.74	2.48	Ob		
櫻47	III C	4	B	b	7b	1.59	1.25	0.56	1.17	Sh		
櫻48	III C	4	B	b	7b	2.56	1.49	0.71	2.41	Sh		
櫻49	III C	4	B	b	7b	2.98	2.04	0.79	3.12	Sh		
櫻206	III C	4	B	b	7b-8	2.52	1.55	0.92	3.04	Ob		
櫻102	III C	16	B	b	7-10	2.44	1.90	0.95	4.22	Sh		
櫻103	III C	16	B	b	7-10	3.27	3.23	1.34	12.30	Sh		
櫻104	III C	16	B	b	7-10	3.10	4.03	1.49	14.15	Sh		
櫻105	III C	16	B	b	7-10	2.92	3.05	0.97	7.25	Sh		
櫻106	III C	16	B	b	7-10	4.26	2.86	1.11	12.82	Sh		
櫻107	III C	16	B	b	7-10	3.70	2.85	1.80	18.41	Sh		
櫻108	III C	16	B	b	7-10	2.66	2.51	0.99	5.53	Sh		
櫻227	III C	16	B	b	11	2.04	1.88	0.62	2.57	Ob		
櫻88	III C	17	B	e	11	3.31	4.71	1.47	28.92	Sh		
櫻132	III C	28	B	e	11	2.20	3.69	1.10	8.71	Sh		
櫻145	III C	27	B	e	11	3.39	4.71	1.26	14.81	Sh		
櫻146	III C	27	B	e	11	3.04	5.40	1.03	16.32	Sh		
櫻147	III C	28	B	e	11	2.86	3.22	1.78	15.23	Sh		
櫻148	III C	28	B	e	11	2.86	3.22	1.78	15.23	Sh		
櫻150	III C	7	B	e	11	2.10	3.57	0.90	6.63	Sh		
櫻151	III C	7	B	e	11	2.60	3.09	1.05	7.75	Sh		
櫻59	III C	7	B	e	8	3.18	2.79	1.31	8.43	Sh		
櫻152	III C	16	B	e	10	2.99	3.35	0.93	8.33	Sh		
櫻153	III C	17	B	e	11	5.59	4.63	1.67	43.36	Sh		
櫻154	III C	28	B	e	11	3.80	2.76	1.59	18.95	Sh		
櫻243	III C	28	B	e	11	3.25	1.96	1.40	5.83	Ob		
櫻155	III C	28	B	e	11-12	3.06	2.41	0.78	5.63	Sh		
櫻156	III C	16	B	e	12	3.96	3.14	1.51	14.27	Sh		
櫻157	III C	17	B	e	12	3.22	3.90	1.07	12.45	Sh		
櫻158	III C	6	B	e	12	3.86	2.90	1.21	12.48	Sh		
櫻244	III C	6	B	e	12	2.11	2.22	1.53	5.07	Ob		
櫻245	III C	6	B	e	12	2.12	1.54	1.09	3.17	Ob		

第58表 石器観察表⑩

編號	遺物 種類 No.	大タリ ック	小タリ ック	調査 地区	地名	部位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備考
櫛246	III C	17	B	c	12	1.73	1.75	0.90	1.97	Ob		
櫛247	III C	17	B	c	12	2.09	1.83	1.12	2.74	Ob		
櫛248	III C	28	B	c	12	1.83	1.74	0.58	1.59	Ob		
櫛159	III C	27	B	c	12-13	2.13	1.31	0.98	2.75	Sh		
櫛160	III C	27	B	c	12-13	2.18	2.01	0.78	3.59	Sh		
櫛161	III C	27	B	c	12-13	2.06	1.84	0.46	1.91	Sh		
櫛249	III C	17	B	c	12-13	1.51	1.90	0.61	1.14	Ob		
櫛250	III C	28	B	c	12-13	1.79	1.42	0.80	1.58	Ob		
櫛251	III C	17	B	c	12-16	2.35	1.95	0.91	3.60	Ob		
櫛162	III C	16	B	c	13	3.60	2.51	1.08	9.28	Sh		
櫛252	III C	28	B	c	13	2.59	1.80	1.34	3.69	Ob		
櫛163	III C	28	B	c	13-14	2.46	2.80	1.12	7.13	Sh		
櫛164	III C	28	B	c	13-14	2.82	2.75	0.74	4.80	Sh		
櫛165	III C	28	B	c	13-14	3.25	2.12	1.02	6.05	Sh		
櫛166	III C	28	B	c	13-14	4.77	2.28	0.90	11.18	Sh		
櫛167	III C	28	B	c	13-14	2.56	1.29	0.70	2.25	Sh		
櫛168	III C	28	B	c	14	2.45	2.30	0.92	4.77	Sh		
櫛169	III C	17	B	c		4.18	3.30	1.16	16.56	Sh		
櫛90	III C	28	B	c-d	1上	2.79	3.26	1.22	9.83	Ag		
櫛91	III C	28	B	c-d	1上	2.71	3.22	1.21	8.42	Sh		
櫛92	III C	28	B	c-d	1上	4.87	3.68	1.73	32.09	Sh		
櫛93	III C	28	B	c-d	1上	2.23	2.98	0.84	5.14	Sh		
櫛234	III C	6	B	c-e		1.75	1.71	0.51	1.51	Ob		
櫛225	III C	6	B	c-e		1.64	1.56	0.66	1.50	Ob		
櫛89	III C	19	B	d	1上	2.30	1.78	0.84	3.00	Sh		
櫛94	III C	29	B	d	1上	2.58	3.89	1.27	14.73	Sh		
櫛95	III C	29	B	d	1上	1.71	1.99	0.46	1.80	Sh		
櫛96	III C	30	B	d	1上	2.61	2.51	1.07	4.77	Sh		
櫛97	III C	40	B	d	1上	2.39	1.85	0.66	3.25	Sh		
櫛98	III C	40	B	d	1上	4.92	3.55	1.58	22.33	Sh		
櫛134	III C	29	B	d	1上	4.66	4.38	2.04	35.94	Sh		
櫛135	III C	40	B	d	1上	1.74	1.70	0.79	2.48	Sh		
櫛136	III C	40	B	d	1上	1.95	1.36	0.33	0.96	Sh		
櫛174	III C	40	B	d	1上	3.29	2.75	0.96	7.60	Sh		
櫛175	III C	40	B	d	1上	3.85	2.67	0.72	8.19	Sh		
櫛211	III C	29	B	d	1上	1.50	1.30	0.29	0.57	Ob		
櫛212	III C	29	B	d	1上	3.09	2.42	0.91	5.43	Ob		
櫛213	III C	29	B	d	1上	3.23	1.63	0.96	4.80	Ob		
櫛170	III C	19	B	d	3	3.82	3.80	1.13	16.13	Sh		
櫛171	III C	19	B	d	6-8	3.04	3.00	1.05	7.67	Sh		
櫛172	III C	40	B	d	6-8	3.84	2.46	1.52	13.21	Sh		
櫛173	III C	40	B	d	6-8	2.20	1.85	0.94	3.31	Ag		
櫛242	III C	18	B	d	6-8	2.13	1.87	0.77	2.41	Ob		
櫛253	III C	19	B	d	6-8	2.30	1.40	0.54	1.48	Ob		
櫛214	III C	40	B	d	9	1.75	1.50	0.54	1.28	Ob		
櫛241	III C	19	B	d	9	1.83	1.41	0.71	1.46	Ob		
櫛176	III C	18	B	d		3.78	2.12	1.25	8.70	Sh	磨溝土	
櫛177	III C	18	B	d		1.78	1.78	0.58	1.14	Sh	磨溝土	
櫛263	II D	65	B	e	1	2.38	2.94	1.26	6.46	Sh		
櫛264	II D	82	B	e	1	2.74	1.99	0.80	2.55	Sh		
櫛265	II D	12	B	e	2	2.48	1.59	0.75	2.78	Sh		
櫛13	II C	99	B	e	3	2.48	3.10	1.30	8.94	Sh		
櫛14	II C	99	B	e	3	3.49	1.98	0.82	6.24	Sh		
櫛15	II C	99	B	e	3	2.67	1.37	0.74	2.48	Sh		
櫛16	II C	99	B	e	3	3.24	2.46	1.39	10.18	Sh		
櫛17	II C	99	B	e	3	2.38	2.70	0.93	6.58	Sh		
櫛18	II C	99	B	e	3	3.05	3.03	1.42	6.85	Sh		
櫛19	II C	99	B	e	3	2.32	1.59	0.94	3.61	Sh		
櫛20	II C	99	B	e	3	2.06	2.49	1.01	4.31	Sh		
櫛62	II C	9	B	e	3	3.02	2.41	1.36	8.84	Ag		
櫛68	II C	98	B	e	3	3.11	2.09	1.24	9.19	Sh		
櫛69	II C	98	B	e	3	2.18	2.80	0.89	4.28	Sh		
櫛70	II C	98	B	e	3	2.50	2.70	0.93	9.48	Sh		
櫛71	II C	98	B	e	3	3.05	1.91	1.43	7.30	Sh		
櫛72	II C	98	B	e	3	3.55	3.59	1.27	15.04	Ag		
櫛73	II C	98	B	e	3	3.71	2.72	1.20	19.67	Sh		
櫛74	II C	98	B	e	3	1.93	2.91	1.22	6.04	Ag		
櫛75	II C	98	B	e	3	2.71	3.38	1.28	11.67	Sh		

第59表 石器観察表③

場所 場所 名	遺物 名	人 小 ア グリ ード	講 義 事 業 地 区	運 送 防 止 名	置 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	考 査
櫻76	II C	98	B	e	3	3.76	4.35	1.28	20.78	Sh	
櫻77	II C	98	B	e	3	2.72	3.18	1.14	9.59	Sh	
櫻78	II C	99	B	e	3	2.50	3.63	1.19	10.05	Sh	
櫻121	II C	98	B	e	3	3.33	2.89	1.07	9.27	Sh	
櫻178	II C	97	B	e	3	3.23	2.78	1.06	10.47	Sh	
櫻183	II C	97	B	e	3	3.04	2.26	1.22	7.35	Sh	
櫻265	II C	84	B	c	3	3.89	3.02	1.56	20.10	Sh	
櫻267	II D	64	B	e	3	2.90	1.90	0.84	4.11	Sh	
櫻268	II D	71	B	e	3	2.20	3.06	1.04	7.43	Sh	
櫻269	II C	78	B	e	3	4.83	3.50	1.57	30.35	Sh	
櫻270	II C	89	B	e	3	4.37	1.69	1.08	8.15	Sh	
櫻271	II C	89	B	e	3	3.32	1.51	1.32	8.57	Sh	
櫻272	II C	90	B	e	3	2.60	2.66	1.41	8.82	Sh	
櫻273	II C	95	B	e	3	2.79	4.49	1.29	12.60	Sh	
櫻274	III C	8	B	e	3	2.52	3.59	1.04	6.60	Sh	
櫻275	III C	8	B	e	3	2.37	2.15	1.27	4.08	Sh	
櫻319	III C	88	B	e	3	2.04	2.64	1.25	8.72	Ob	
櫻84	III C	8	B	e	3F	3.07	2.18	1.15	8.06	Sh	e 滑防崩落層
櫻85	III C	8	B	e	3F	3.56	3.51	1.21	16.15	Sh	e 防止崩落層
櫻86	III C	8	B	e	3F	3.00	3.46	1.32	12.46	Sh	e 防止崩落層
櫻209	III C	8	B	e	3?	2.32	1.28	0.90	2.34	Ob	
櫻64	III C	58	B	e	3-4	2.54	3.33	0.80	6.75	Sh	
櫻65	III C	88	B	e	3-4	3.53	4.14	1.21	13.42	Sh	
櫻179	II C	97	B	e	4	3.84	3.69	1.51	22.23	Sh	
櫻53	II C	87	B	e	4-5	3.58	4.75	1.87	21.85	Sh	
櫻61	II C	87	B	e	4-5	2.58	2.02	0.92	2.60	Sh	
櫻109	III C	8	B	e	4-5	2.60	2.71	0.77	4.58	Sh	
櫻208	II C	87	B	e	4-5	1.51	2.00	0.76	2.01	Ob	
櫻210	II C	88	B	e	4-5	1.75	2.97	1.31	5.20	Ob	
櫻51	II C	97	B	e	4-6	4.58	4.09	1.91	31.20	Sh	
櫻55	II C	97	B	e	4-6	2.94	2.48	1.26	8.07	Sh	
櫻56	II C	97	B	e	4-6	2.75	1.67	1.03	4.21	Sh	
櫻57	II C	97	B	e	4-6	1.83	2.34	0.89	3.12	Sh	
櫻63	II C	54	B	e	4-6	3.92	3.78	1.49	18.36	Sh	
櫻180	II C	54	B	e	4-6	2.57	2.81	1.13	8.30	Sh	
櫻181	II C	65	B	c	4-6	2.78	2.30	1.19	8.44	Sh	
櫻207	II C	96	B	e	4-6	3.25	2.70	0.78	5.94	Ob	
櫻228	II C	41	B	e	4-6	1.50	1.99	0.60	1.34	Ob	
櫻229	II C	41	B	e	4-6	2.44	3.03	1.14	6.62	Ob	
櫻230	II C	41	B	e	4-6	2.65	1.84	1.09	3.66	Ob	
櫻306	II C	75	B	e	4-6	2.62	1.90	0.83	3.59	Ob	
櫻83	III C	6	B	e	4-7	2.59	2.11	1.23	6.35	Sh	
櫻110	III C	6	B	e	4-7	2.56	3.05	1.33	7.39	Sh	
櫻112	III C	61	B	e	4-7	3.84	3.12	0.96	10.97	Sh	
櫻113	II C	83	B	e	4-7	2.29	2.35	0.73	4.43	Sh	
櫻187	II C	74	B	e	4-7	4.15	4.48	1.28	17.45	Sh	
櫻114	II C	86	B	e	6-7	3.36	2.27	0.88	6.74	Sh	
櫻115	II C	86	B	e	6-7	3.97	2.35	1.20	8.93	Sh	
櫻116	II C	86	B	e	6-7	3.16	3.25	1.49	14.15	Sh	
櫻117	II C	86	B	e	6-7	2.95	2.02	1.13	6.31	Sh	
櫻50	II C	74	B	e	7	3.65	2.55	1.56	12.93	Sh	
櫻51	II C	84	B	e	7	2.43	2.60	1.06	7.06	Ag	
櫻118	II C	94	B	e	7	1.93	2.52	0.85	4.15	Sh	
櫻119	II C	94	B	e	7	1.93	3.03	1.17	8.16	Sh	
櫻120	II C	94	B	e	7	3.79	5.84	1.98	46.22	Sh	
櫻129	II C	6	B	e	7	2.67	1.41	0.82	3.29	Sh	e 滑防崩落層
櫻130	III C	6	B	e	7	2.66	2.66	0.79	4.70	Sh	e 滑防崩落層
櫻231	II C	94	B	e	7	1.88	3.00	1.07	4.71	Ob	
櫻232	III C	6	B	e	7	2.21	2.77	1.35	4.45	Ob	
櫻261	II C	86	B	c	7	3.16	1.85	0.97	4.78	Ob	
櫻276	II C	83	B	e	7	3.76	2.40	1.15	8.87	Sh	
櫻52	II C	86	B	e	7-8	2.58	3.29	0.82	6.54	Sh	
櫻66	II C	84	B	e	7-8	3.07	3.00	1.13	9.96	Sh	
櫻67	II C	94	B	e	7-8	2.61	1.39	0.62	2.27	Sh	
櫻236	II C	86	B	c	7-8	1.65	1.45	0.76	1.63	Ob	
櫻237	II C	95	B	e	7-8	2.23	1.74	1.06	4.17	Ob	
櫻238	III C	6	B	e	7-8	2.47	1.66	0.96	2.64	Ob	
櫻239	III C	6	B	e	7-8	1.52	1.85	0.42	1.04	Ob	

第60表 石器観察表

測定 番号	遺物 整連 No.	大 ダ リ ン ガ ル ト ?	小 グ リ ッ ト ?	調査 地区	場所 名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備考
	櫻140	II C	95	B	e	8	2.21	1.74	1.02	2.49	Sh	
	櫻141	III C	5	B	e	8	1.69	2.05	0.95	2.71	Sh	
	櫻142	III C	5	B	e	8	3.18	2.05	0.83	4.45	Sh	
	櫻143	III C	5	B	e	8	2.02	1.76	0.57	2.14	Sh	
	櫻144	III C	6	B	e	8	2.42	1.76	0.58	1.71	Sh	
	櫻182	II C	85	B	e	8	2.67	2.06	0.93	3.74	Sh	
	櫻251	II C	95	B	e	5	1.85	1.63	0.62	1.49	Ob	
	櫻277	II C	73	H	e	8	3.54	2.71	1.11	10.36	Sh	
	櫻188	II C	75	B	e		2.91	3.63	0.96	9.12	Sh	
	櫻184	III D	90	C		14年度1	2.70	2.71	1.02	6.66	Sh	
	櫻255	IV E	33	C		14年度5	1.68	2.07	0.92	3.10	Ob	
	櫻304	IV D	8	C		14年度5	3.35	3.13	1.51	13.82	Sh	
	櫻256	II E	91	C		14年度5b	2.64	2.28	1.05	5.11	Ob	
	櫻257	III E	91	C		14年度5b	2.32	2.74	1.09	5.05	Ob	
	櫻262	III D	27	C		15年度12	2.03	1.50	0.78	2.07	Ob	
	櫻278	III D	57	C		15年度12	3.44	3.29	1.01	12.77	Sh	
	櫻279	III D	57	C		15年度12	3.06	2.57	1.17	9.51	Sh	
	櫻280	III D	57	C		15年度12	4.39	3.62	1.29	21.98	Sh	
	櫻281	III D	67	C		15年度12	3.32	2.40	1.22	7.81	Sh	
	櫻282	III D	67	C		15年度12	2.51	2.75	0.93	6.46	Sh	
	櫻283	III D	67	C		15年度12	3.35	3.37	1.30	14.01	Sh	
	櫻284	III D	67	C		15年度12	3.35	3.76	2.00	22.45	Sh	
	櫻285	III D	67	C		15年度12	1.99	2.40	1.06	4.57	Sh	
	櫻286	III D	67	C		15年度12	4.22	3.47	1.73	25.49	Sh	
	櫻287	III D	77	C		15年度12	2.94	1.92	0.90	6.49	Sh	
	櫻288	III D	77	C		15年度12	4.46	3.94	1.31	24.69	Sh	
	櫻289	III D	78	C		15年度12	2.21	2.08	0.69	2.80	Sh	
	櫻290	III D	78	C		15年度12	2.17	2.06	1.09	5.42	Sh	
	櫻291	III D	78	C		15年度12	2.57	2.04	0.83	3.52	Ag	
	櫻292	III D	78	C		15年度12	3.14	3.68	1.97	19.39	Sh	
	櫻293	III D	87	C		15年度12	1.92	3.39	0.76	4.42	Sh	
	櫻258	IV E	44	C		14年度7	1.84	1.87	0.89	3.01	Ob	
	櫻185	IV E	44	C		14年度8	3.38	2.49	1.10	8.42	Sh	
	櫻259	IV E	44	C		14年度8	2.34	1.71	1.01	3.96	Ob	
	櫻294	III D	36	C		15年度15a	3.43	3.32	1.54	15.33	Sh	
	櫻295	III D	36	C		15年度15a	4.59	3.56	1.99	31.40	Sh	
	櫻296	III D	46	C		15年度15a	3.38	2.01	1.33	7.01	Sh	
	櫻297	III D	46	C		15年度15a	2.72	2.02	0.76	3.96	Sh	
	櫻298	III D	56	C		15年度15a	4.72	4.26	1.63	28.30	Sh	
	櫻186	IV E	44	C		14年度9	2.55	1.94	1.02	4.86	Sh	
	櫻260	IV E	44	C		14年度9	2.22	2.07	0.94	4.09	Ob	
	櫻149	IV D	22	C		14年度12	2.60	2.60	0.84	4.25	Sh	
	櫻189	III E	91	C			3.79	3.21	1.38	12.33	Sh	
	櫻305	III D	96	C			1.82	1.77	1.20	2.67	Ob	
	櫻299	I B	91	E		7	2.72	4.00	0.83	9.75	Sh	
	櫻300	I B	91	E		7	3.56	1.88	1.25	9.13	Sh	
	櫻301	I B	91	E		7	2.94	2.06	0.84	4.85	Sh	
	櫻302	I B	91	E		7	3.44	2.01	1.02	5.91	Sh	
	櫻303	II B	1	E		7	2.75	1.58	1.09	4.69	Sh	
	櫻190					表採	2.27	1.98	0.70	3.09	Sh	
S435	櫻器1	II C	75	B	e	4-6	9.10	8.71	3.81	328.00	S.S	
	櫻器2	II C	87	B	e	7	10.97	8.10	2.59	330.00	Ho	
	櫻器3	II D	71	B	e	2	18.10	7.21	3.84	790.00	Tuff	
S615	櫻254	III D	56	C		15年度12	8.35	8.07	3.56	238.93	Da	
	打斧2	III C	29	B	d	1上	13.61	7.42	3.30	475.59	Sh	
S434	打斧3	III C	6	B	e		14.42	6.01	3.25	372.49	Ho	
S616	打斧4	IV E	43	C		14年度7	24.50	12.48	3.22	947.53	Sh	
S654	打斧5	I B	91	E		7	14.25	4.44	2.45	160.70	Sh	
S395	磨斧1	III C	3	B	a	1-3	5.07	3.08	2.32	46.47	Sh	
S396	磨斧1	III C	3	B	a	13	7.72	3.85	2.00	71.32	Sh	
S397	磨斧2	III C	15	B	b	3	10.86	4.44	2.58	175.78	Dis	
S398	磨斧2	III C	94	B	b	3	6.64	3.89	2.34	113.87	Dis	
S399	磨斧3	III C	4	B	b	5	7.21	4.27	2.26	112.74	Dis	
S400	磨斧4	III C	4	B	b	6	7.22	4.91	2.53	144.81	An	
S401	磨斧5	III C	3	B	b	7	7.70	3.17	2.10	119.13	Dis	

第61表 石器觀察表③

器種 No.	遺物 No.	大 タ リ ア ド	小 タ リ ア ド	測量地 区	堆 積 層	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備考
S402	磨斧6	III C	15	B	b	7	6.23	4.70	1.96	87.46	S.S
S403	磨斧7	III C	4	B	b	7	1.90	3.15	1.95	9.99	Gab
S404	磨斧16	III C	18	B	c	1上	7.73	3.85	0.64	29.17	Sh
S405	磨斧15	III C	28	B	c	4-10	4.09	4.31	1.79	29.32	Gab
S406	磨斧17	III C	17	B	c	7-10	4.44	2.86	0.83	17.86	Serp
S407	磨斧23	III C	17	B	c	11	10.55	4.27	2.73	205.78	Gab
S408	磨斧21	III C	17	B	c	11-12	10.58	4.57	2.86	197.63	Sh
S409	磨斧26	III C	28	B	c	12-13	3.35	2.05	0.73	7.95	Serp
S410	磨斧27	III C	28	B	c	13	4.22	3.67	1.10	32.39	Sh
S411	磨斧25	III C	27	B	c	12-13	6.12	3.55	2.13	64.50	Sh
S412	磨斧28	III C	16	B	c	13	6.25	4.42	2.69	124.13	Gab
S413	磨斧30	III C	28	B	c	13	4.91	3.45	1.53	46.11	Gab
S414	磨斧29	III C	27	B	c	13	7.08	4.41	2.35	122.95	Gab
S415	磨斧31	III C	16	B	c	13	9.24	5.11	2.74	237.90	Gab
S416	磨斧32	III C	28	H	c	13-14	5.87	3.97	2.48	98.51	Pro
S417	磨斧33	III C	26	B	c	14	9.89	5.15	2.54	206.57	Gab
S418	磨斧34	III C	19	B	d	3	7.17	4.19	2.69	137.33	Gab
S419	磨斧36	III C	28	B	d	6-8	9.32	5.49	2.95	236.46	Gab
S420	磨斧37	III C	40	B	d	6-8	9.82	3.72	2.15	143.32	Pro
S421	磨斧43	III C	20	B	e	3	3.87	3.19	2.00	38.18	Sh
S422	磨斧10	II C	95	B	e	3	5.64	3.84	2.64	64.20	Dio
S423	磨斧11	III C	19	B	e	3	5.50	3.47	1.34	36.70	Sh
S424	磨斧9	II C	87	B	e	4	7.74	2.55	1.47	24.58	Serp
S425	磨斧13	II C	67	B	e	4-5	2.76	2.80	1.29	8.74	Sh
S426	磨斧12	III D	11	B	e	3	11.82	4.97	2.60	210.45	Sh
S426	磨斧20	II C	41	B	e	4-6	11.81	4.21	3.46	257.93	Ho
S427	磨斧14	II C	96	B	e	4-6	6.62	5.15	2.20	111.91	Dio
S428	磨斧19	II C	44	B	e	4-6	5.11	4.32	2.86	85.08	Dio
S429	磨斧8	II C	73	B	e	7	7.45	5.56	2.52	182.46	Dio
S430	磨斧40	II C	95	B	e	7	5.70	2.58	0.81	11.75	Serp
S431	磨斧41	II C	95	B	e	7	5.03	2.81	1.87	41.25	Sh
S432	磨斧42	II C	84	B	e	7	9.60	5.75	2.37	222.09	Gab
S433	磨斧22	II C	86	B	e	8	5.44	3.75	2.33	65.69	Gab
S467	磨斧47	III D	66	C		15年度12	8.70	4.48	2.75	165.67	Sh
S618	磨斧46	III D	46	C		15年度12	8.69	4.47	2.77	184.37	An
S619	磨斧44	IV E	23	C		14年度9	4.98	4.87	2.42	81.30	Serp
S620	磨斧45	IV E	24	C		14年度9	10.30	3.38	1.65	97.88	Serp
S641	磨斧35			D		14年度6	10.08	5.12	2.76	228.28	Dio
S642	磨斧38	IV E	60	D		14年度13	5.70	2.86	1.22	27.30	Ho
S643	磨斧39	IV E	60	D		14年度13	14.10	4.64	2.92	300.46	Dio
S436	磨石A1	III C	3	H	a	13	8.13	6.72	3.60	287.45	An
S437	磨石A5	III C	5	B	b	1-2	8.28	6.52	4.73	342.62	An
S438	磨石A2	III C	4	B	b	3	10.59	10.18	5.88	1000.99	S.S
S439	磨石A8	III C	8	B	e	4	10.74	6.12	3.60	188.28	Tuff
S440	磨石A3	II C	87	B	e	4-5	10.26	5.06	2.81	102.10	An
S440	磨石A4	II C	87	B	e	6	10.29	6.99	5.82	500.00	An
S441	磨石A9	II C	86	B	e	7	9.49	7.91	5.44	453.00	An
S442	磨石A7	II C	95	B	e	8	10.79	7.60	4.76	500.00	Da
S443	磨石B11	II C	93	B	a	1-3	9.77	6.71	4.28	389.23	An
S444	磨石B6	II C	93	B	a	1-3	10.71	6.73	5.83	580.64	An
S445	磨石B1	III C	3	B	a	11	11.65	6.26	4.61	489.06	An
S446	磨石B12	III C	3	B	a	11	9.75	8.12	3.86	347.90	S.S
S447	磨石B4	III C	17	B	e	1上	9.23	5.33	2.75	172.34	S.S
S448	磨石B8	III C	6	B	c	10	8.18	7.61	6.02	499.62	An
S449	磨石B9	III C	6	B	c	11	9.64	8.41	4.82	637.61	An
S450	磨石B15	III C	27	B	e	12-13	9.58	6.25	5.28	370.06	An
S450	磨石B3	II C	98	B	e	3	6.97	5.68	5.33	181.25	Tuff
S451	磨石B13	III C	6	B	e	7	8.78	7.35	4.75	481.89	An
S452	磨石B14	II C	84	B	e	7	9.27	4.59	3.42	192.57	An
S453	磨石B16	II C	95	B	e	7	8.96	8.53	3.11	300.75	S.S
S454	磨石B2	II C	97	B	e	4-5	4.84	7.34	4.48	235.87	An
S454	磨石B10	II C	97	B	e	4-5	9.47	7.91	6.38	698.05	An
S454	磨石G1	II C	93	B	a	7	9.10	7.16	4.45	333.00	An
S455	磨石C7	III C	4	B	b	1	7.60	6.88	5.12	228.25	Tuff
S456	磨石C17	III C	15	B	b	3	8.65	7.46	6.10	498.80	An

第62表 石器観察表④

掲載 No.	遺物 整理 No.	遺物 整理 名	大 グリ ット 下	小 グリ ット 下	測定 地区	採取 名	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備考
S457	磨石C19	Ⅲ C	4	B	b	3		9.11	7.18	4.96	330.00	Tuff	
	磨石C2	Ⅲ C	4	B	b	3		8.86	7.09	4.37	323.00	An	
S458	磨石C3	Ⅲ C	5	B	b	3		10.64	7.52	4.75	325.00	Tuff	
S459	磨石C4	Ⅲ C	5	B	b	6b		8.18	7.92	5.75	500.00	An	
S460	磨石C5	Ⅲ C	4	B	b	7b		9.85	8.23	6.65	578.00	Tuff	
S461	磨石C5	Ⅲ C	4	B	b	6-7		8.42	6.28	5.50	217.57	An	
S453	磨石C9	Ⅲ C	17	B	c	1-7		9.56	7.90	5.70	322.62	An	
S462	磨石C11	Ⅲ C	7	B	c	14		18.30	16.30	7.45	315.00	An	
S463	磨石C10	Ⅲ C	30	B	d	11		9.78	8.98	6.51	635.00	Tuff	
S464	磨石C12	Ⅲ C	28	B	d	6-8		7.14	6.60	4.35	168.88	Tuff	
S465	磨石C13	Ⅲ C	29	B	d	9		8.26	7.49	5.86	380.88	Tuff	
S466	磨石C18	Ⅲ C	6	B	e	7		11.23	8.52	5.25	475.00	Tuff	
	磨石C14	Ⅱ C	85	B	e	7		10.16	6.62	5.73	551.00	An	
	磨石C20	Ⅱ C	86	B	e	7		6.98	3.90	2.58	56.69	Tuff	
	磨石C15	Ⅲ D	46	C			15年度10	5.95	5.58	4.51	219.74	An	
	磨石C16	Ⅲ D	67	C			15年度12	10.29	8.08	4.86	368.00	Tuff	
S622	磨石C21	N E	43	C			14年度9	10.85	4.96	3.24	248.53	S.S	
S655	磨石C22	H D	93	E			8	9.65	7.61	6.48	383.00	Tuff	
S467	磨石D1	Ⅲ C	4	B	a	3		9.89	8.16	5.03	584.37	An	
S468	磨石D2	Ⅲ C	3	B	a	5		10.30	8.08	4.87	614.75	S.S	
S469	磨石D11	Ⅲ C	14	B	b	3		10.89	8.26	6.35	876.84	S.S	
S470	磨石D5	Ⅲ C	15	B	b	7		5.92	5.36	4.04	135.52	Tuff	
S471	磨石D10	Ⅲ C	28	B	c	11		7.54	5.73	4.60	176.31	Tuff	
S472	磨石D13	Ⅲ C	29	B	d	9		7.94	7.59	4.69	385.15	An	
S473	磨石D7	Ⅲ C	29	B	d	9		12.47	8.52	7.53	1235.29	An	
S474	磨石D17	Ⅱ D	94	B	e	3		9.35	6.37	5.31	465.00	S.S	
S475	磨石D6	Ⅱ C	87	B	e	4		6.95	6.91	4.05	246.76	An	
S476	磨石D9	Ⅲ C	6	B	e	7		9.61	7.80	4.11	261.85	Tuff	
S477	磨石D15	Ⅱ C	85	B	e	8		6.55	4.78	3.03	97.12	An	
	磨石D18	Ⅲ D	57	C			15年度12	10.43	9.52	6.69	919.00	S.S	
	磨石D19	Ⅲ D	57	C			15年度12	11.39	7.47	6.96	855.00	S.S	
	磨石D20	Ⅲ D	78	C			15年度12	7.55	6.03	4.23	172.00	S.S	
	磨石D6	H B	1	E			7	5.29	4.71	1.52	58.99	Sh	
S478	凹石A3	Ⅲ C	5	B	b	1-2		11.67	6.43	4.03	377.00	Da	
	凹石A1	Ⅲ C	17	B	c	1上		8.87	5.59	5.27	225.00	S.S	
S479	凹石A4	Ⅲ C	29	B	d	1-3		10.35	6.98	5.41	372.00	Tuff	
S480	凹石A2	Ⅱ C	86	B	e	7		10.42	9.61	3.91	358.00	An	
S621	凹石A5	N E	33	C			14年度9	8.15	7.96	5.26	252.00	Tuff	
S481	凹石B1	Ⅲ C	3	B	a	3		5.15	5.52	2.72	43.51	An	
	凹石B2	Ⅲ C	16	B	b	3		13.43	6.80	4.12	448.00	An	
S482	凹石B11	Ⅲ C	15	B	b	3		7.57	7.51	5.10	239.81	An	
	凹石B14	Ⅲ C	16	B	b-c			15.90	5.10	2.83	352.00	Sh	
S483	凹石B15	Ⅲ C	16	B	c	1		12.50	8.41	6.62	482.00	An	
S484	凹石B16	Ⅲ C	16	B	c	12		13.55	7.27	5.27	647.00	An	
S485	凹石B17	Ⅲ C	16	B	c	13		9.02	7.58	3.69	361.00	S.S	
S486	凹石B18	Ⅲ C	16	B	c	13		8.42	4.51	3.30	86.51	Tuff	
S487	凹石B19	Ⅲ C	28	B	c	14		11.67	5.43	2.10	166.92	S.S	
	凹石B20	Ⅲ C	29	B	d	9		7.26	6.32	3.71	143.46	An	
	凹石B21	Ⅲ C	18	B	d			11.31	5.70	5.98	405.00	S.S	崩土
	凹石B7	Ⅲ C	29	B	d	9		14.32	4.87	2.17	287.30	Sh	
S488	凹石B6	Ⅲ C	9	B	e	3		10.49	6.36	5.20	300.00	Tuff	
S489	凹石B8	Ⅱ C	55	B	e	4-6		10.45	6.00	4.65	333.00	An	
	凹石B3	Ⅱ C	95	B	e	4-6		8.38	5.96	5.04	247.22	An	
S490	凹石B4	Ⅱ C	97	B	e	4-6		11.71	6.87	3.87	319.00	Tuff	
	凹石B5	Ⅲ C	6	B	e	4-6		4.57	4.51	2.00	74.13	An	
S491	凹石B10	Ⅲ C	6	B	e	7		10.89	6.05	5.07	379.00	An	
	凹石B22	Ⅱ C	84	B	e	7		13.67	5.80	3.59	338.00	S.S	
S492	凹石B23	Ⅱ C	95	B	e	7		8.26	7.46	4.87	198.60	An	
	凹石B24	Ⅱ C	94	B	e	7-8		12.16	8.15	5.67	645.00	An	
S493	凹石B13	Ⅱ C	86	B	e	8		9.83	8.41	4.71	261.60	An	
	凹石B25	N E	44	C			14年度7	16.50	6.70	5.08	433.00	Tuff	3号トレンチ
S656	凹石B27	Ⅱ B	1	E		7		12.75	6.01	2.56	264.01	Sh	
	凹石B28	Ⅱ B	1	E		8		10.03	5.48	3.68	166.06	An	

第63表 石器観察表④

器種 No.	遺物 No.	大 ク リ ッ ド	小 ク リ ッ ド	基 盤 材 質	基 盤 名	層 位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石 材	備 考
S491	敲石1	III C	3	B	a	9	9.02	6.46	5.03	364.45	Da	
S495	敲石5	III C	5	B	b	1-2	11.28	8.47	7.55	918.89	An	
S496	敲石6	III C	17	B	c	10	4.53	4.45	2.40	66.74	Sh	原石試し削?
S498	敲石7	III C	16	B	c	11	13.62	2.91	2.47	137.89	Sh	原石試し削?
S499	敲石8	III C	19	B	d	3	7.02	5.42	5.17	161.76	An	
S500	敲石3	III C	29	B	d	9	6.75	5.20	4.68	249.53	S.S.	
S501	敲石13	III C	69	B	e	3	14.14	3.95	3.26	186.50	Tuff	
S502	敲石14	III C	70	B	e	3	7.96	6.10	3.70	209.58	S.S.	
S507	敲石19	III C	97	B	e	4-5	9.21	6.36	5.41	606.39	Tuff	
S500	敲石2	III C	87	B	e	4-5	10.66	6.57	5.72	532.49	Sh	
S502	敲石4	III C	75	B	e	4-6	7.51	2.81	2.35	94.49	Sh	
S503	敲石15	III C	64	B	e	7	15.10	8.00	6.32	1195.00	An	
S504	敲石16	III D	37	C		15年度12	11.36	5.80	5.38	968.00	An	
S505	敲石17	III D	56	C		15年度12	8.42	5.97	3.06	148.45	Tuff	
S503	敲石18	III D	65	C		15年度12	10.26	6.86	6.12	568.00	An	
S504	敲石19	III D	36	C		15年度15m	4.88	3.90	-	73.33	S.S.	
S505	敲石20	III D	37	C		15年度15m	3.38	5.54	3.14	44.06	Tuff	
S506	敲石21	III D	65	C		15年度15m	10.28	7.10	5.33	564.00	An	
S507	敲石21	I A	3	B	e		5.83	4.48	-	127.69	An	
S508	敲石22	II B	1	B	e	6	5.22	3.23	2.09	45.93	Sh	原石試し削?
S509	石皿4	III C	3	B	a	1-3	13.00	9.85	3.65	499.00	S.S.	
S500	石皿3	III C	28	B	c	1-1	8.80	9.50	3.60	229.30	An	
S503	石皿6	III C	17	B	c	12-13	5.60	5.96	3.10	34.21	Tuff	
S504	石皿7	III C	40	B	d	4	8.00	6.20	3.59	134.77	Tuff	
S505	石皿8	III C	40	B	d	9	23.70	18.50	4.90	2412.00	Da	
S506	石皿9	III D	11	B	e	3	16.50	8.60	6.30	696.00	An	
S507	石皿1	III C	8	B	e	3-6	19.45	11.00	7.50	828.00	An	e 動物骨落層
S508	石皿10	III C	84	B	e	7	11.50	10.15	2.45	373.00	Da	
S509	石皿11	III C	6	B	e	8	10.60	10.80	3.20	268.18	Tuff	
S510	石皿11	IV E	35	C		14年度5	10.00	7.55	6.60	257.61	An	
S505	石皿14	III D	99	C		15年度12	8.35	6.65	4.30	172.31	An	
S506	石皿15	III D	68	C		15年度12	17.75	9.90	8.30	1200.00	An	
S507	石皿13	IV E	44	C		14年度7	18.00	6.25	4.00	272.75	An	
S508	石皿12	IV E	44	C		14年度7	16.40	16.40	4.80	897.00	S.S.	
S509	石皿9	IV F	83	D		14年度13	30.00	19.80	10.40	6000.00	Da	
S510	石斧1	III C	3	B	a	13	10.90	4.75	2.83	233.80	S.S.	
S511	石斧1	III C	4	B	b	6-7	2.90	4.80	0.70	11.35	Sh	
S512	石棒A1	III C	4	B	b	3	10.50	4.30	1.60	85.32	Sh	
S513	石棒A2	III C	5	B	b	3	12.30	2.55	1.10	54.92	Sh	
S514	石棒A9	III C	3	B	b	3	10.27	2.20	2.05	57.74	Sh	
S515	石棒A7	III C	18	B	c	8	16.00	3.30	1.10	82.27	Sh	
S516	石棒A11	III C	17	B	c	11	7.58	3.60	2.82	110.13	St	
S518	石棒A12	III C	17	B	c	12	19.80	3.70	2.65	226.21	Pro	
S519	石棒A13	III C	16	B	c	13	18.45	3.40	2.50	271.76	St	
S520	石棒A14	III C	18	B	c	13	17.20	10.60	8.30	1600.00	An	
S521	石棒A10	III C	19	B	d		3.78	1.37	1.29	9.01	St	
S520	石棒A4	III C	98	B	e	2	7.10	4.15	2.88	85.47	Sh	
S521	石棒A5	III C	85	B	e	4-5	12.51	3.55	2.62	136.92	Sh	
S522	石棒A6	III C	87	B	e	4-5	4.50	2.78	2.36	56.53	Ho	
S523	石棒A3	III C	64	B	e	4-5	8.19	3.04	1.23	47.09	Sh	
S522	石棒A16	III C	97	B	e	4-6	13.80	4.50	4.20	375.00	Sh	
S523	石棒A8	III C	95	B	e	7	4.65	1.97	1.59	15.21	Sh	
S517	石棒A17	III C	74	B	e		15.90	3.00	4.80	668.00	Sh	
S523	石棒A18					表記	28.30	11.20	11.30	3530.00	An	
S523	石棒B1	III C	3	B	a	11	16.70	4.10	3.10	274.25	Sa	
S524	石棒B2	III C	94	B	b	3	26.20	3.95	2.10	312.00	Sa	
S525	石棒B4	III C	7	B	c	12	36.20	5.40	3.90	1230.00	Ho	
S526	石棒B3	III C	40	B	d	1-1	25.20	5.00	4.69	733.00	Sh	
S527	石棒B5	III C	40	B	d	6-8	23.90	7.05	5.10	887.00	Sh	
S528	石棒B6	III C	95	B	e	8	33.15	7.25	3.80	1120.00	Sh	
S529	石棒B7	III D	100	C		14年度4	13.35	3.20	1.97	119.16	Sh	

第64表 石器観察表⑤

通数 No.	遺物 整理 名	大 ダ ラ リ ツ ト	小 ダ ラ リ ツ ト	調 査 地 区	防 名	高 度 (cm)	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石 材	備 考
							標 立 B	標 立 B	標 立 B	標 立 B		
S529	石刀1	III C	17	B	c	1	12.35	2.20	1.49	51.01	Sh	
S531	石刀2	IV E	3	C			28.70	2.90	1.75	73.35	Sh	
S530	石刀3	III D	47	C		154度15e	17.75	2.51	1.49	130.84	Sh	
S530	石刀1	II C	15	B	b	7	15.90	2.35	1.15	69.31	Sh	
S530	石刀2	III C	17	B	c	13	24.35	2.65	1.90	148.67	Sh	
石刀3	III C	18	B	c	10-11	8.70	3.31	1.07	35.79	Sh		
石刀4	III C	18	B	c	10-11	7.95	2.13	1.18	27.93	Sh		
S531	石刀2	III D	11	B	e	3	46.15	5.80	3.15	818.77	Ho	
S533	石刀8	II C	74	B	e	7	5.52	2.05	1.99	44.73	Sh	
S532	石刀7	III D	56	C		15年度12	27.60	4.95	1.55	202.96	Ho	
S533	石刀6	III D	67	C		15年度12	18.15	3.35	1.00	87.81	Sh	
S534	刀2	II C	3	B	a	13	5.35	5.45	0.85	44.64	S.S	
刀2	II C	5	B	a	1-2	6.43	6.35	2.43	98.85	Tuff		
S535	刀2	II C	17	B	c	11	3.89	3.77	0.99	18.66	Sh	
S536	刀2	II C	29	B	d	6-8	4.90	4.55	1.29	28.25	Sh	
S537	刀2	III C	29	B	d	9	4.68	4.02	1.37	43.94	Da	
S538	刀2	II C	87	B	c	4-5	6.38	6.10	1.37	82.40	Da	
S539	刀2	II C	86	B	e	4-5	4.98	3.50	1.79	27.30	Sh	
S540	刀2	II C	70	B	c	3	5.70	5.50	1.85	94.35	Da	
S541	馬2	II C	55	B	e	4-6	5.31	4.45	1.12	39.83	Sh	
S542	馬2	II C	97	B	e	4-6	8.02	4.57	1.20	59.83	Da	
S543	馬2	I C	74	B	e	4-6	4.28	4.01	1.25	29.56	S.S	
S544	刀2	III C	6	B	e	7	4.60	5.06	1.39	42.16	Sh	
S545	刀2	II C	94	B	c	8	3.96	3.85	1.30	26.74	Tuff	
S546	刀2	II E	44	C		144度7	5.45	4.80	0.87	34.88	Sh	
S546	有孔3	II C	15	B	b	7	3.79	1.80	1.00	6.57	Sh	
有孔2	II C	5	B	b	7	4.02	3.98	3.00	1.10	Sh		
有孔4	III C	17	B	c	4-7	2.85	3.63	1.69	14.83	Sh		
S548	有孔16	III C	28	B	c	4-10	4.65	2.55	2.00	14.02	Sh	
S549	有孔18	III C	17	B	c	8	7.50	6.10	1.86	89.83	Tuff	
S550	有孔20	III C	28	B	c	13	4.71	4.17	1.18	25.21	Da	
S551	有孔19	III C	16	B	c	16	4.22	2.35	0.99	6.87	Sh	
有孔15	III C	18	B	c	1-5	4.69	3.97	1.46	21.75	Tuff		
S552	有孔3	III C	29	B	d	1-5	7.50	4.26	0.78	19.35	S.S	
S553	有孔1	III D	11	B	e	2	5.58	4.89	0.99	28.35	Sh	
S553	有孔28	III C	9	B	c	3	0.63	0.70	0.33	0.12	Sch	
S554	有孔9	II C	96	B	e	3	0.82	0.82	0.60	0.59	Serp	
S555	有孔10	II C	98	B	e	3	0.65	0.70	0.35	0.30	Serp	
S556	有孔7	II C	96	B	e	3	0.85	0.85	0.60	0.36	Serp	
S557	有孔11	II C	96	B	e	3	3.03	1.75	0.50	3.18	Sh	
S559	有孔12	III C	8	B	c	3	5.05	3.73	1.73	25.15	Sh	○ 防腐崩落層
S556	有孔8	II C	98	B	e	3	2.36	2.89	1.54	1.88	Tz	
S558	有孔21	II C	97	B	c	5	1.12	1.00	0.44	0.54	Sh	
S552	有孔4	II C	75	B	e	4-5	6.10	4.92	1.73	52.41	Sh	
S563	有孔6	II C	97	B	e	4-5	4.45	3.54	0.87	15.19	Sh	
S564	有孔5	II C	87	B	e	4-5	6.78	5.76	0.87	59.43	Tuff	
S565	有孔22	II C	56	B	e	4-6	4.80	3.57	1.20	16.00	Sh	
S566	有孔17	II C	94	B	c	7	5.70	4.97	1.80	38.03	S.S	
S567	有孔24	II C	84	B	e	7	8.43	5.53	1.25	54.81	Sh	
S568	有孔25	II C	95	B	c	7	4.93	4.92	1.65	39.24	Sh	
S569	有孔23	II C	81	B	e	7	3.80	2.71	1.31	13.01	Sh	
S570	有孔27	II D	74	B	e	3	3.65	3.63	1.10	11.23	Tuff	
S565	有孔26	IV D	8	C			1.98	1.99	1.09	4.46	Sh	
S566	有孔29	IV E	33	C		14年度9	8.06	4.05	1.40	15.84	Tu	
S570	刮削1	III C	17	B	c	11	3.09	2.20	0.78	6.03	Tuff	
S571	刮削2	III C	17	B	c	11	4.50	2.60	0.81	13.13	Tuff	
S572	刮削3	III C	17	B	c	11	4.05	3.55	0.75	8.45	Tuff	
S573	刮削4	III C	9	B	e	3	2.33	2.03	1.03	7.50	Tuff	
S573	石製品8	III C	17	B	c	7-10	5.96	3.83	3.16	87.40	S.S	
S574	石製品4	III C	17	B	c	8	3.60	4.10	3.41	34.07	Tuff	
S575	石製品5	III C	17	B	c	8	3.02	2.48	1.50	9.64	Tuff	
S576	石製品3	III C	27	B	c	12-13	2.50	2.05	1.85	6.31	Tuff	
S579	石製品2	III C	29	B	d	6-8	3.52	1.60	0.90	3.81	Sa	

第65表 石器觀察表⑩

編號 No.	遺物 名稱	人 小 大 グリ リード	小 グリ リード	圓 形 石 器	地 質 名	層位	長 (cm)	寬 (cm)	厚 (cm)	重 量 (g)	石材	備 考
S578	石製品6	II C	87	B	e	4-5	2.78	2.30	1.96	9.16	Tuff	
S577	石製品7			B			3.15	3.10	2.22	16.40	Tuff	縫隙面?
S638	石製品1	IV D	8	C			3.84	1.35	1.33	7.24	Sh	
S658	石製品9	II A	10	E		7	3.08	1.59	0.65	2.85	Tuff	
S637	圓盤1	III E	85	C			8.50	3.60	0.63	20.92	Sh	3号 sondage
S580	圓形1	III C	4	H	a	3	2.90	2.09	0.45	1.21	Sh	
圓形7		III C	4	B	b	2	2.20	1.15	0.33	0.61	Sh	
S581	圓形3	III C	4	H	b	7	2.12	0.99	0.30	0.41	Sh	
S582	圓形4	II C	95	B	e	7	2.86	1.53	0.32	0.88	Sh	
S583	圓形5	II C	74	B	e	7	2.01	1.85	0.06	2.53	Ch	
S584	圓形2	II C	95	B	e	7	2.31	1.25	0.31	0.46	Ob	
S585	圓形6	II C	74	B	e	8	1.74	1.95	0.33	0.74	Sh	

V 付 編

1 河崎の柵擬定地出土遺物の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

河崎の柵擬定地は、標高約14~18mの北上川左岸の自然堤防上に立地する。本遺跡は、11世紀の前九年の役の際に、安倍貞任の家臣である金為行が守る「河崎の柵」が存在した場所と云われている。発掘調査では縄文時代~近世までの遺構・遺物が確認されている。

今回の分析調査では、各遺構から出土した植物質遺物の同定を行い、その種類を明らかにする。

(1) 試 料

試料は、縄文時代後期・晩期の堆積層や遺構から出土した5点(試料番号1・3~6)と平安時代の住居跡から出土した1点(試料番号2)の合計6点である。このうち、試料番号1・5は炭化材、試料番号3は種実遺体であった。試料番号4には種実遺体と炭化材が認められたが、種実遺体はほとんどがオニグルミの核であったことから、炭化材を試料とした。また試料番号6は木製品?とされているが、遺物を観察した限りでは軽石の可能性が考えられた。そのため、炭化材については樹種同定、種実遺体については種実同定を行い、種類を明らかにする。試料番号6については、実体顕微鏡による観察から材質の同定を試みる。

(2) 方 法

(a) 樹種同定

木口(横断面)・極目(放射断面)・板目(接続断面)の3断面の割断面を作成し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

(b) 種実同定

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、植物遺体の形態的特徴と当社所有の現生標本との比較から種類を同定し、計数、写真撮影を行う。同定後の種実遺体は、種類別に乾燥剤とともにビンに入れて保存する。

(c) 実体顕微鏡観察

実体顕微鏡で試料を観察し、その特徴から材質等を同定する。

(3) 結 果

同定結果を表1に示す。以下、各分析別に結果を記す。

(a) 樹種同定

炭化材は、落葉広葉樹3種類(クリ・カエデ属・トネリコ属)に同定された。主な解剖学的特徴を以下に記す。

表1 河崎の柵擬定地の同定結果

番号	遺構	時期	質	同定結果
1	2号塹上内	縄文時代後期	炭化材	カエデ属
2	C区2号住居カマド燃焼部	平安時代	種実遺体	モモ
3	B区c堤防14~17層	縄文時代後期前葉	種実遺体	オニグルミ
4	B区c堤防14~17層	縄文時代後期前葉	炭化材	クリ
5	B区c堤防14~17層	縄文時代後期前葉	炭化材	トネリコ属
6	縄文後期面	縄文時代後期	木製品?	軽石

・クリ (*Castanea crenata Sieb et Zucc.*) ブナ科クリ属

環孔材で、孔圈部は1～3列、孔圈外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

・カエデ属 (*Acer*) カエデ科

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独および2～3個が複合して散在し、晚材部へ向かって管径を漸減させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は対列～交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1～3細胞幅、1～40細胞高。細胞壁の厚さが異なる2種類の木繊維が木口面において不規則な紋様をなす。

・トネリコ属 (*Fraxinus*) モクセイ科

環孔材であるが、試料は年輪界付近で割れており、孔圈部は1列のみ観察できる。道管壁は厚く、横断面では円形～楕円形、単独または2個が複合、複合部はさらに厚くなる。道管は單穿孔を有し、壁孔は小型で密に交互状に配列する。放射組織は同性、1～3細胞幅、1～40細胞高。

(b) 種実同定

種実遺体は本木2種類(オニグルミ、モモ)が同定された。以下に同定された種実遺体の形態的特徴などを記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica Maxim subsp. Sieboldiana (Maxim) Kitamura*) クルミ科クルミ属
未炭化の核が、破片の状態で検出された。灰褐色。完形ならば広卵形で、先端部分がやや劣る。長さ33mm、径27mm程度。核には1本の明瞭な縫合線線上には歯類(ネズミなど)によると考えられる円形の食害痕がみられる。表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には隔壁と子葉が入る2つの大きな窪みがある。

・モモ (*Prunus persica Batsch*) パラ科サクラ属

炭化した核(内果皮)が完形の状態で検出された。黒色、広楕円形でやや偏平。長さ19mm、幅16.5mm、厚さ14mm程度。基部は丸く大きな臍点があり、先端部はやや劣る。一方の側面にのみ縫合線が顕著に見られる。内果皮は厚く硬く、外側表面は縦に流れる不規則な線状のくぼみがあり、全体として粗いしわ状に見える。

(c) 実体顕微鏡観察

試料は、灰白色を帶び、長さ約6cm、幅約3cm、厚さ最大約1cmほどの板状の外形を呈する。表面には、長さ方向に伸びる微細な孔隙が多数認められる。

実体顕微鏡による観察では、発泡したガラス繊維が微細な多数の孔隙を構成している状況が認められ、また、斜長石と考えられる鈣物粒が包有されていることが確認できた。これらの特徴から、本試料は火山噴火により放出された発砲した岩片、いわゆる「軽石」であると判断される。

(4) 考察

(a) 縄文時代の木材利用・植物利用

炭化材は、燃料材等に利用された一部が炭化・残存したことが推定される。樹種は、後期の炭化物がカエデ属、晩期の炭化材がクリとトリネコ属であった。一方、縄文時代後期の種実遺体はオニグルミであった。縄文時代晩期前葉の堆積層中からは、大量の炭化種実遺体が出土しているが、確認したところほとんどがオニグルミで、他にトチノキの可能性がある果皮が数片認められた。これらの結果から、縄文時代後期～晩期にかけてこれらの木本類が利用されていたことが推定されるが、各試料数が少ないため時期による種類の違い等については不明である。

炭化材に認められたクリと種実遺体に認められたオニグルミは、ともに子葉が生食可能であり、縄文時代の最も重要な食料とされる(粉川, 1983)。縄文時代晩期前葉の堆積土中から大量にオニグルミが出土していることから、これらの種類が食料として利用されていたことが推定される。

オニグルミやトネリコ属は、河畔等の湿った場所に生息し、カエデ属の中にも湿地や河畔等に生息しており、その木材や種実を利用していたことが推測される。

(b) 平安時代の植物利用

住居跡から出土した種実遺体はモモであった。モモは中国からの渡来した栽培植物とされ、観賞用のほか、果実や核の中にある仁(種子)などが食用、薬用等に広く利用される。カマド内から出土していることから、利用後の種子を残渣としてカマド内に廻棄したことが推定される。また、本遺跡周辺でのモモ栽培示唆されるが、現時点では詳細は不明である。

今後、さらに調査を行い、モモを含めた栽培等に関する資料を蓄積したい。

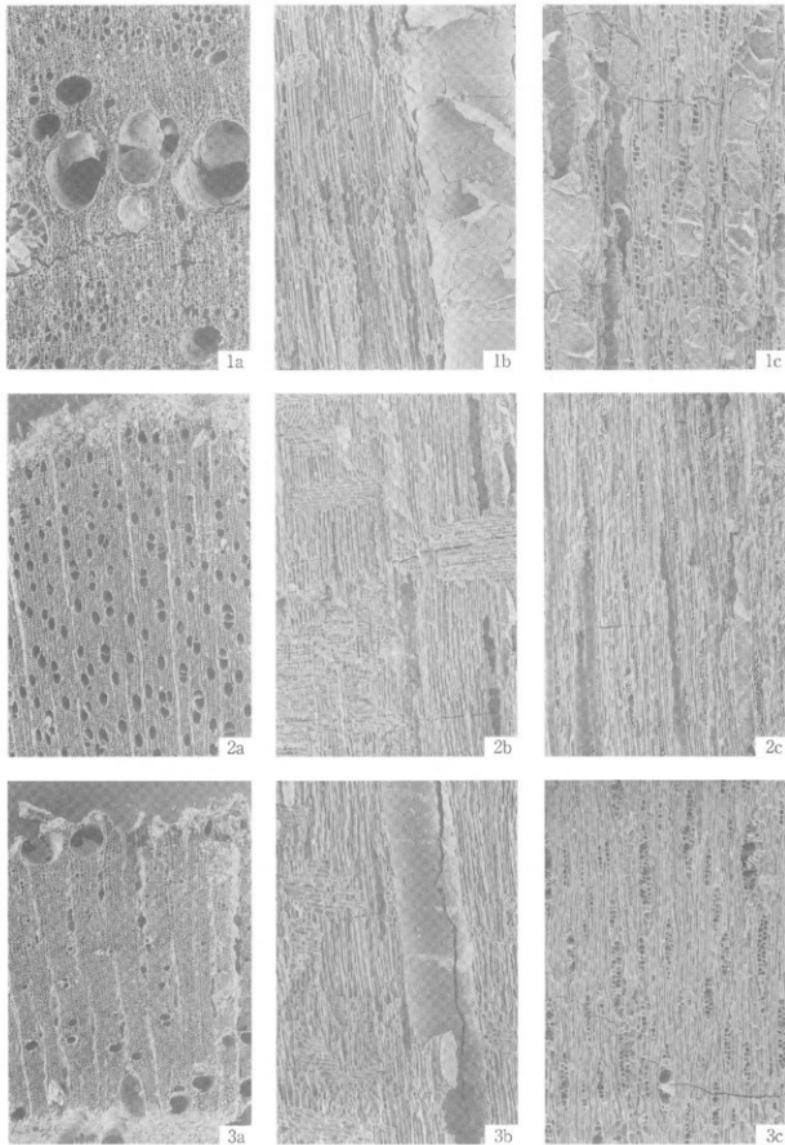
(c) 木製品?について

木製品?は、木材ではなく軽石であった。しかし、軽石の起源等についての詳細は不明である。木製品?は、板状を呈しており、軽石を加工した製品と考えられる。現段階では用途の詳細は不明であり、今後さらに同様の製品に関する資料を蓄積したい。

引用文献

粉川昭平 (1983) 縄文人の主な植物食料. 加藤晋平・小林達雄・藤本 強編「縄文文化の研究2 生業」. p. 42-49.
雄山閣

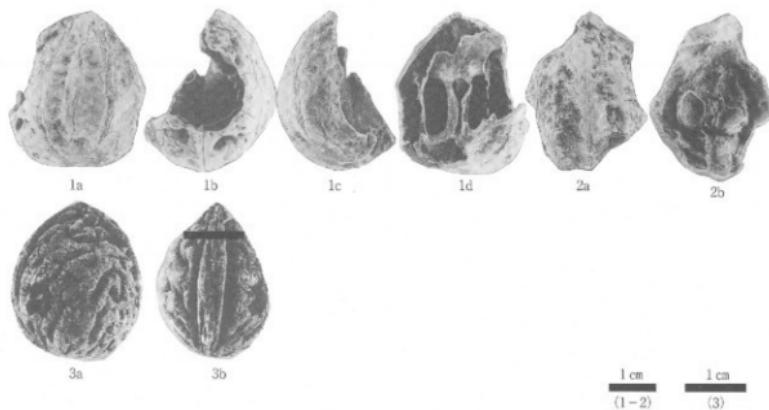
図版1 河崎の柵擬定地遺跡の炭化材



1. クリ（試料番号4）
 2. カエデ属（試料番号1）
 3. トネリコ属（試料番号5）
- a: 木口, b: 杠目, c: 板目

— 200 μm: a
— 200 μm: b, c

図版2 河崎の柵擬定地出土の種実遺体



1. オニグルミ 核（試料番号 3）

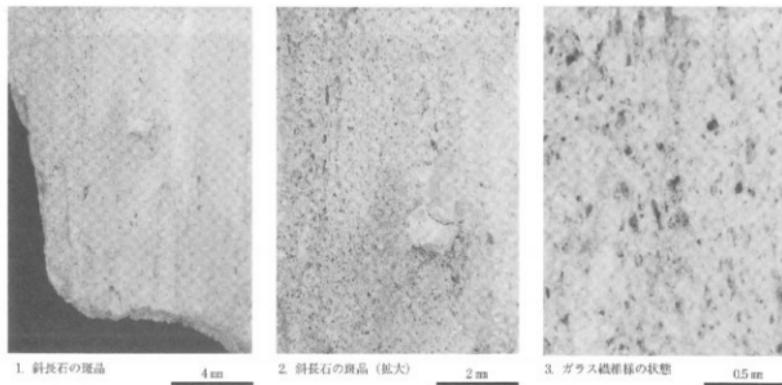
3. モモ 核（試料番号 2）

2. オニグルミ 核（試料番号 3）

(1-2)

(3)

図版3 河崎の柵擬定地出土の軽石



1. 斜長石の覆晶

4 cm

2. 斜長石の質品（拡大）

2 mm

3. ガラス模様の状態

0.5 mm

2 河崎の柵擬定地出土天然アスファルトの有機化学分析

小笠原正明・原奈々絵（北海道大学）

(1) はじめに

膠状ものが付着した鐵や土器は、北海道や東日本の縄文遺跡から数多く出土する。付着した有機物の多くは、天然アスファルトであることが知られている。一般にアスファルトと呼ばれているのは、石油精製時の蒸留残渣である。一方、天然アスファルトは、地表付近に漏れ出した原油の揮発成分が失われ、不揮発成分が濃縮して固体状になったものである。

ここでは、岩手県川崎村所在の河崎の柵擬定地で出土した縄文時代後期前葉から晩期後葉の土器に付着したアスファルトを分析した。

(2) 天然アスファルトの分析法

試料は黒色、粉末状で、一見炭のようである。しかし、クロロホルムに浸漬すると褐色のオイル分が抽出され、抽出液は原油のような匂いがした。このことから、土器には天然アスファルトが付着していると考えられる。試料からパラフィン成分を抽出し¹⁾、FI-MS測定とGC-MS測定を行い、天然アスファルトの産地とされる秋田県昭和町と新潟県新津市の天然アスファルトのデータと比較した。

ベンゼン：メタノール=1:1混合溶液とn-ヘキサンでの2回の溶媒分割により、天然アスファルトからオイル分を抽出した。その中のパラフィン成分（Fr-P）をHPLCで分取し、クロロホルムで約200倍に希釈したのち、FI-MS及びGC-MSにより分析を行った。FI-MS測定の結果はZ数解析によって処理した²⁾。得られたFI-MSスペクトルは質量と荷電数の比m/z=400付近にピークを持つ。Z数（パラフィンの一般式を C_nH_{2n+2} とした時のZ）毎に分割し、主成分であるZ=-6と、Z=-8のスペクトル強度の比をR値とし、産地のR値との相対偏差を求めて推定の指標とした。GC-MS分析法では測定器はJEOL JMS AX-500を、カラムはDB-1HTを使用した。Fr-PはEI法により70eVでイオン化し、昇温条件は5°C/min、100~350°Cとした。ジテルパン類（Z=-4）とホパン類（Z=-8）に起因するm/z=191と、ステラン類（Z=-6）に起因するm/z=217のフラグメントイオンのMSクロマトグラムを得た。

(3) 結 果

(3)-1. FI-MS測定とZ数解析

図1に本遺跡から出土した天然アスファルトのZ数毎に分割したFI-MSスペクトルを示した。m/z=400付近にピークを持ち、全体のスペクトルの形状をZ=-6とZ=-8が特徴付けているのは、他の遺跡出土天然アスファルトと同様である。しかし、本遺跡の試料はZ=-4の信号が強く出るという点が特異である。

表1に、本遺跡の天然アスファルト試料のR値を、産地の試料、他の遺跡から得られた試料のデータと共に示した。また、図2に産地と各地遺跡の地図上の位置を示した。産地である秋田県昭和町と新潟県新津市の試料のR値からの相対偏差も併せて示している。相対偏差は産地試料のR値と各遺跡出土試料のR値との差を産地試料の標準偏差で割ったもので、それぞれの試料と産地の試料との隔たりを表す。

本遺跡の試料は、新津市の試料との相対偏差の絶対値が3を越えており、新潟系の天然アスファルトである可能性は低い。一方、昭和町産の天然アスファルトとの相対偏差の絶対値は0.633と小さく、秋田系であると思われたが、次の測定によりこの推測は否定された。

(3)-2. GC-MS分析

図3に本試料から得られたMSクロマトグラムを示した。

$m/z=217$ に着目すると、新潟系ではこの保持時間でなだらかな山形を形成し、秋田系では29.0分、30.4分、31.8分付近のみに3対のピークが現れ、30.4分付近のピーク対が最大となる。本遺跡のMSクロマトグラフは秋田系と新潟系の両方のMSクロマトグラムを合成したようなパターンを示している。保持時間26~32分のピークが全体的に高く、その中にも8個の大きなピーク群が見られる。 $m/z=191$ に着目すると、 $t=31.2$ 、 $t=32.6$ 付近に強いピークが現れ、 $t=32.6$ 付近が最大となっている。これは東日本・北日本で出土する天然アスファルトに共通する特徴である。

GC-MS測定の結果からは、既知の秋田系、新潟系の天然アスファルトのパターンには当てはまらず、本遺跡の試料がどの産地に属するのか判定することは出来なかった。

(4) 考 察

$Fr-P$ の[1]で、 $Z=-4$ 、 $Z=-6$ 、 $Z=-8$ は、それぞれバイオマーカーである3環のジテルパン類、4環のステラン類、5環のホパン類を含んでいる。原油や天然アスファルトは地中で地熱、地圧、堆積地の無機物の影響など、堆積環境に起因する様々な変成作用を受けるが、強固な構造を持つバイオマーカーは最小の構造変化を伴うのみで骨格構造は保存される³⁾。天然アスファルトにはステラン類($Z=-6$)と、ホパン類($Z=-8$)が多く含まれ、その含有割合によって天然アスファルト間の相異を調べることが出来る。 $Z=-6$ と、 $Z=-8$ のスペクトル強度の比であるR値が0.619と昭和町産のR値0.648より小さいことから、秋田系の天然アスファルトよりステラン類の含有量が多いことが分かる。また、FI-MSスペクトル図から $Z=-4$ の信号が大きく、ジテルパン類が比較的多く含まれていることも本遺跡の特徴である。

FI-MS測定とGC-MS測定のクロスチェックの結果、河崎の櫛掘定地出土の試料は秋田系、新潟系のどちらにも分類できないことがわかった。産地から離れた遺跡から出土した天然アスファルトにはこのような結果が見られることがある。青森県三内丸山遺跡と岩手県上杉沢遺跡から出土した試料がその例である。図4に三内丸山遺跡(6)No.1、上杉沢遺跡、河崎の櫛掘定地、秋田県昭和町、新潟県新津市の $m/z=217$ のGC-MSクロマトグラフを示した。三内丸山遺跡(6)No.1と上杉沢遺跡のR値は秋田寄りを示しているが、GC-MSクロマトグラフでは秋田系とも新潟系とも判定できないパターンを示している。現在確認されている天然アスファルトの産地は秋田県昭和町と新潟県新津市だが、この2地区以外の未知の産地から持ち込まれた可能性が考えられる。

参考文献

- 1) 横山晋、1995、石油液化油の質量分析－液化オイル成分のドウタMSスペクトル－、6-10
- 2) 小笠原正明、1999、「縄文時代のハイテク材料アスファルトがたどった道」化学vol.54 No.9、28-30
- 3) 横山晋、1995、石油液化油の質量分析－液化オイル成分のドウタMSスペクトル－、52-61

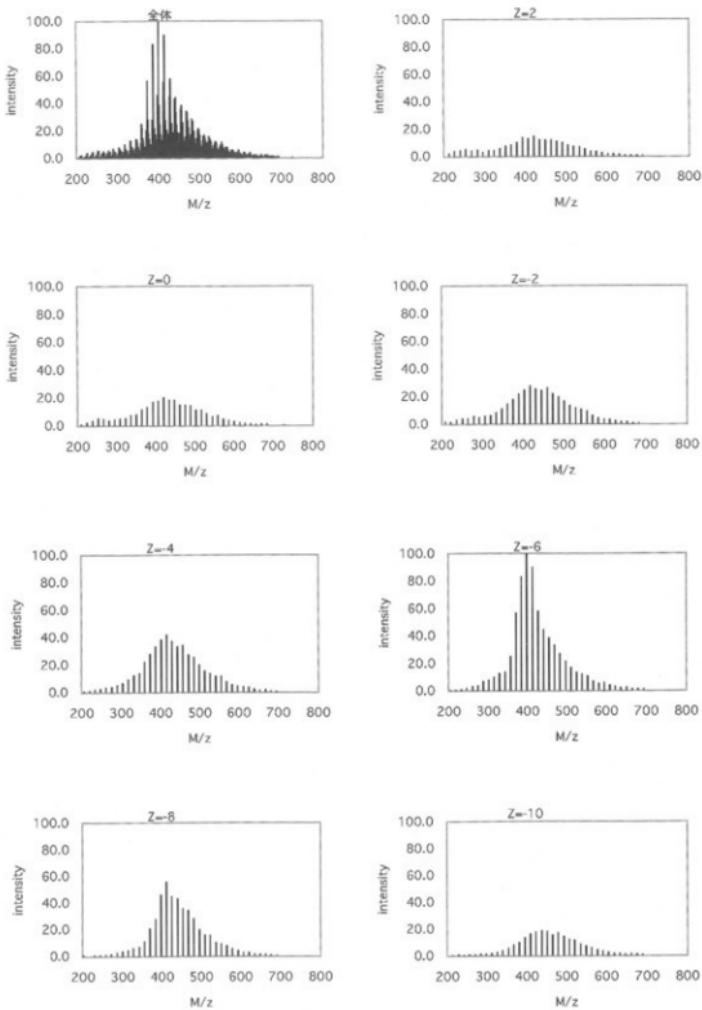


図1 河崎の柵撮定地のFI-MSスペクトル図



図2 天然アスファルトの原産地及び出土遺跡の位置

表1 天然アスファルトのR値及び相対偏差

	遺跡及び原産地名	R値	新潟県新津市産試料に対する相対偏差	秋田県昭和町産試料に対する相対偏差
産地	秋田県昭和町	0.648 ± 0.046	-3.276	—
	新潟県新津市	0.837 ± 0.058	—	4.127
青森県	三内丸山遺跡(6) №1	0.623	-3.702	-0.537
	三内丸山遺跡(6) №2	0.576	-4.523	-1.572
	二枚橋遺跡(2) №1	0.639	-3.424	-0.187
秋田県	北遺跡№2	0.687	-2.600	0.852
	二ツ井跡形地区	0.632	-3.553	-0.349
岩手県	長谷堂貝塚	0.708	-2.231	1.316
	河崎の櫛擬定地	0.619	-3.778	-0.633
	上杉沢	0.563	-4.749	-1.856
新潟県	村尻遺跡包含層下部	0.859	0.381	4.606
	村尻遺跡DK2-5	0.769	-1.179	2.641
	村尻遺跡土坑	0.796	-0.706	3.237
	元屋敷遺跡№1	0.729	-1.872	1.769
	元屋敷遺跡№2	0.746	-1.577	2.140
	元屋敷遺跡№3	0.814	-0.399	3.624
	元屋敷遺跡№4	0.779	-1.005	2.860

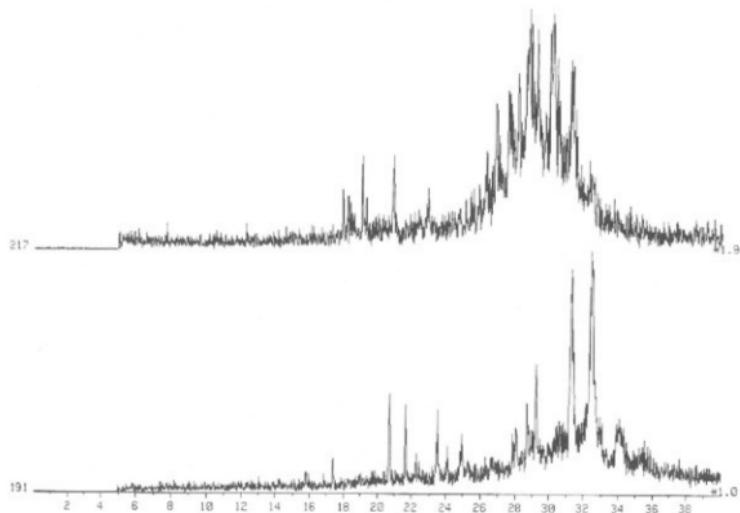
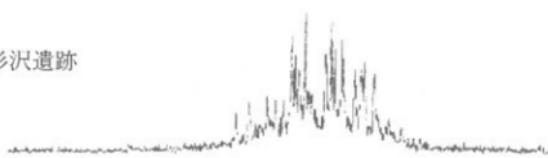


図3 河崎の櫛擬定地のGC-MSスペクトル図

三内丸山遺跡 (6) No. 1



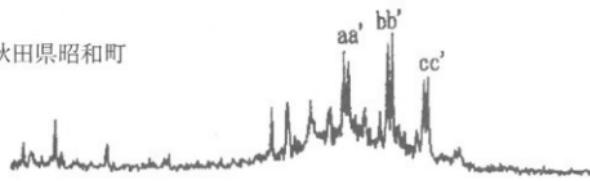
上杉沢遺跡



河崎の柵擬定地



秋田県昭和町



新潟県新津市



図4 ステラン類のGC-MSクロマトグラムの比較

3 黒曜石産地同定

(1) 黒曜石産地同定業務委託に関する所見

河崎の査定地では黒曜石が3000点近く出土し、このうち石礫92点、尖頭器1点、搔器2点、石錐2点、楔形石器3点の計100点を産地同定資料とした。第四紀地質研究所に委託した産地同定の結果は各資料の写真・分析値を記録した詳細な報告書にまとめられている。この報告書は150ページ以上に及ぶことから紙面の都合上分析結果を中心には掲載し、各資料の生データは削除することとした。また、報告文についても「はじめに」、「1. 研究史」、「2. 研究方法」、「3. 分析試料」、「謝辞」を削除し、「4. 分析試料の調整と実験条件」、「5. 分析結果」「引用文献」のみ掲載した。これら削除したデータについては産地同定業務委託報告書を岩手県立埋蔵文化財センターで保管しているので閲覧されたい。

第四紀地質研究所の分析は「化学分野の分析と地質学分野の分析は各々その対象とするものに対する考え方方が異なることから、元素を中心とする化学分野での分析と酸化物濃度による岩石学的な分類をする地質学分野とでは基本的な考え方方に違いがある」(井上2004)ことを報告書内で示している。そして「地質学分野の岩石学的な分析法と分類法で黒曜石とガラス質安山岩を分類し、本手法が安山岩から流紋岩に至るSiO₂量の広い領域でも、流紋岩領域のうち黒曜石が対象となるSiO₂量の狭い領域でも適応できることを示し、各原石の酸化物濃度での標準化を行い、組成領域を確定した。この標準化により、遺跡出土黒曜石遺物と原産地黒曜石の同定が容易となり、考古学分野の研究者に共有できるデータとして寄与できることを示した。」(井上2004)ことに特徴がある。

(米田)

引用文献 井上巖 2004 「河崎の査定地出土黒曜石産地同定業務委託報告書」第四紀地質研究所

(2) 河崎の査定地出土黒曜石産地同定業務委託報告書

株第四紀 地質研究所

a 分析試料の調整と実験条件

a-1 分析試料の調整

分析試料は黒曜石の岩体では岩体のなかで5個所程度選択し、1個所で5~10試料を採取した。分析結果は岩体の中で選択した各箇所について1分析値で代表させた。例えば、西餅屋の岩体では孔道内の4箇所を4分析値で表示した。岩体が貧弱である場合には1岩体の中で10個以上を採取し、試料数分の分析結果を表示した。岩体が消滅しているものや、明確な岩体としての露頭が認められないものや河床の中の転石あるいは斜面に露出する堆積した黒曜石は10個以上採取し、試料数分の分析結果を表示した。

分析にあたっては、露頭より採取した黒曜石を打ちかき、比較的平滑な面を分析面とする未整形試料を作成した。

ガラス質安山岩は表面が風化しており、表面には鉄分が付着して、岩石本来の分析値を反映することが出来ないので、ダイヤモンドカッターで切断し、剥片を作成し、新鮮な面を分析した。分析した結果は黒曜石と同様に酸化物濃度で表示した。

a-2 実験条件

分析はエネルギー分散型蛍光X線分析装置（日本電子製JSX-3200）で行なった。

この分析装置は標準試料を必要としないファンデメンタルパラメータ法(FP法)による自動定量計算システムが採用されており、6C～92Uまでの元素分析ができる。ハイパワーX線源（最大30kV、4mA）の採用で微量試料～最大290mmφ×80mmHまでの大型試料の測定が可能である。小形試料では16試料自動交換機構により連続して分析できる。分析はバルクFP法でおこなった。FP法とは試料を構成する全元素の種類と濃度、X線源のスペクトル分布、装置の光学系、各元素の質量吸収係数など装置定数や物性値を用いて、試料から発生する各元素の理論強度を計算する方法である。

分析にあたっては、霧頭より採取した黒曜石を打ちかき、比較的平滑な面を分析面とする未整形試料をX線照射範囲が約15mmφの試料台に直接のせ分析した。実験条件はバルクFP法（スタンダードレス方式）、分析雰囲気＝真空、X線管ターゲット素材＝Rh、加速電圧＝30kV、管電流＝自動制御、分析時間＝200秒（有効分析時間）である。また、分析にあたっては標準サンプルを分析し、キャリブレーションを行い、装置の正常さを保って行った。

この分析装置で分析した標準試料の分析値と標準試料の公開された分析値との間には附表-1に示すようにほぼ等しい分析値が認められた。

分析対象元素はSi, Ti, Al, Fe, Mn, Mg, Ca, Na, K, P, Rb, Sr, Y, Zrの14元素、分析値は黒曜石の含水量＝0と仮定し、酸化物の重量%を100%にノーマライズし、表示した。

地質学的には分析値の重量%は小数点以下2桁で表示することになっているが、微量元素のRb, Sr, Y, Zrは重量%では小数点以下3～4桁の微量となり、小数点以下2桁では0と表示される。ここでは分析装置のソフトにより計算された小数点以下4桁を用いて化学分析結果を表示した。

岩石の化学組成を構成する主要元素と微量元素の中から、岩石の骨格となるSiとAl、有色鉱物の主要元素であるFe, Ca, 无色鉱物の主要元素であるNaとKの関連からK、副成分鉱物のイルメナイトからFeとTi、微量元素ではRbとSrの各元素組み合わせにより黒曜石を分類する図を作製した（周藤他、2002）。基本的には主要元素の各元素が重複しない組み合わせとしたが、Fe, Mn, Tiは鉱質関連として相関性の高い元素であり、TiはFeとMnの2元素との対比となっている。主要元素と微量元素の酸化物濃度（重量%）でSiO₂-Al₂O₃, Fe₂O₃-TiO₂, K₂O-CaO, TiO₂-MnOの各相関図、Rb-Srは積分強度の相関図の5組の組み合わせで図を作成した。

表1 標準試料分析値対比表

地質調査所 岩石標準試料の測定結果						
JSX-3200型 エレメントアナライザ(EDXRF法)						
	青文字：標準試料の推奨値(%)			黒文字：EDXRF法による分析結果		
(Element)	JIS-1a	(EDXRF)	JIS-2	(EDXRF)	JIS-3	(EDXRF)
SiO ₂	73.9	72.10	76.83	76.13	67.29	67.63
TiO ₂	0.25	0.28	0.094	0.025	0.08	0.50
Al ₂ O ₃	14.3	14.27	12.07	11.90	15.48	15.53
T-Fe ₂ O ₃	2	2.14	0.97	1.06	3.69	3.69
MnO	0.057	0.06	0.016	0.02	0.071	0.07
MgO	0.69	0.94	0.037	0.08	1.79	2.49
CaO	2.13	2.15	0.7	0.73	3.69	3.69
Na ₂ O	3.39	3.86	3.54	4.01	3.96	4.21
K ₂ O	3.96	4.15	4.71	4.96	2.64	2.68
P ₂ O ₅	0.031	0.002		0.022		
(Element)	JIS-1	(EDXRF)	JIS-2	(EDXRF)		
SiO ₂	66.69	67.27	65.3	65.60		
TiO ₂	0.005		0.005			
Al ₂ O ₃	18.08	17.27	18.52	17.79		
T-Fe ₂ O ₃	0.03	0.09	0.06	0.05		
MnO	0.001		0.001			
MgO	0.006		0.001*			
CaO	0.93	1.01	0.69			
Na ₂ O	3.37	3.56	2.39	2.71		
K ₂ O	9.99	10.82	12.94	13.79		
P ₂ O ₅	0.01		0.003*			
(Element)	JIS-1	(EDXRF)	JIS-2	(EDXRF)		
SiO ₂	73.45	76.74	75.69	75.89		
TiO ₂	0.11	0.11	0.07	0.06		
Al ₂ O ₃	12.83	12.29	12.72	12.92		
T-Fe ₂ O ₃	0.89	0.90	0.77	1.03		
MnO	0.069	0.11	0.112	0.02		
MgO	0.12	0.14	0.04	0.11		
CaO	0.67	0.70	0.5	0.72		
Na ₂ O	4.02	4.49	3.99	4.26		
K ₂ O	4.41	4.56	4.45	4.94		
P ₂ O ₅	0.021		0.012			

b 分析結果

分析結果は第2表化学分析表に示すとおりである。第2表には分析結果に基づく河崎の櫛擬定地出土遺物の原産地も記載してある。第3表原産地対比表には対比される原産地が記載してある。

東北日本の原産地黒曜石原石の分析結果に基づく分類は図-1～5、この図-1～5の凡例を抜いて、領域のみを記載したものに河崎の櫛擬定地出土遺物の黒曜石を記載したものが図-6～10(1～50)、図-7～15(51～100)である。第3表原産地対比表に示すように、櫛の擬定地出土遺物の黒曜石はその大半が小赤沢の領域ある。河崎-21, 45, 47, 48, 50, 57, 84, 86の8個は小赤沢の領域の近傍にあり、組成的に小赤沢に近いものとして「小赤沢?」と判定した。黒曜石の岩体の中心部分は良質で組成も安定しているが、岩体の周辺部分はガスの抜けた穴などがある化学組成が幾分異なるものが生成することがあり、この周辺部分にあたるものが小赤沢?であろう。河崎-10, 12, 13, 44, 85の5個は湯ノ倉の化学組成の特徴に近い。河崎-2, 26, 51, 91, 95の5個はSiO₂とAl₂O₃とともに小さく、どの原産地の領域にも属さない化学組成を示し、未確認の原石と判断し、不明とした。

参考・引用文献

- 阿倍朝衛(1997) 新潟県北部地域における縄文時代の石材使用とその背景、帝京史学、第12号、4-5.
- 一色真記(1972) 神津島地域の地質(地域地質研究報告) 地質調査所、1-75.
- 生出慶司・中川久夫・蟹沢聰史(1998) 共立出版株式会社、日本の地質、東北地方、160-170.
- 池島博一・青木謙一郎(1962) 高原火山の岩石学的研究、岩鉱、48、97-107.
- 井上 崑(1986) 中砂疊層出土石器石質分析、中砂疊層、(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第60集、199-201.
- 井上 崑(2000) 東北・北陸北部における原産地黒曜石の斑光X線分析(XRF) 北越考古学、第11号、23-38／
- 井上 崑(2001) テフラ中の火山ガラスの同定に関する一提言、縣石学雑誌、第7号、23-51.
- 上野修一・二宮修二・網干 守・大沢真澄(1986) 石器時代の本県域における黒曜石の利用について、栃木県立博物館紀要、第3号、91-115.
- 大村 平(1992) 多変量解析のはなし、日科技連、162-186.
- 岡村道雄(2000) 講談社、縄文の生活史、95.
- 勝井義雄・佐藤博明(2000) 平凡社地学辞典、地学団体研究会、p493.
- 河内晋平(1974) 豊科山地域の地質(地域地質研究報告) 地質調査所、1-99.
- 河内晋平(1998) 八ヶ岳およびその周辺の火山岩と軽井沢町八幡山溶岩のK-Ar年代、信州大学紀要、93、149-160.
- 北村信・岩井武彦・多田元彦(1972) 青森県の新第三系、青森県の地質、5-70.
- 金属鉱物探鉱促進事業団(1971) 昭和45年度広域調査報告書「国富地域」、通商産業省、44P.
- 久野 久(1962) 7万5千分1地質図帳「熱海」および同説明書、1-141.
- 倉沢 一(1959) 伊豆・天城火山の岩石学的および化学的性質、地球科学、44、1-18.
- 輿水達可(2001) 船橋市飛ノ台貝塚出土黒曜石の原産地、船橋市教育委員会、飛ノ台貝塚第1次・2次発掘調査報告書(科学分析編)、5-9.
- 斎藤林次(1954) 青森県西津軽郡地域調査報告、青森県の地下資源調査報告、84-92.
- 佐々木繁吉(1997) 東北地方の黒曜石、岩手考古学、第9号、60-65.
- 札幌市教育委員会(2000) K435遺跡第2次調査、札幌市教育委員会、4-28.
- 庄司力作(1958) 宮城県北西部亘岡田地域の地質-鮮新統に発達する堆積輪廻の生成に関する研究-、東北鉱山、5-1、1-25.
- 周藤賢治・小山内康人(2002) 共立出版、記載岩石学上、5-20.
- 鈴木隆英(1963) 岩手県岩手郡寒河江町小赤沢産の黒曜石について、岩手県立埋蔵文化財センター 紀要、45-78.
- Suzuki, M. (1973) Chronology of Prehistoric Human Activity in Kanto, Japan Journal of the Faculty of

3 黒曜石産地同定

- Science, the University of Tokyo Sec. V VolIV, Part 3, pp. 241-318.
- 森訪間 伸・野内秀明 (1991) 伊豆・箱根系黒曜石原産地について、第4回長野県旧石器文化研究交流会発表要旨、39-50.
- 琳勃間 伸 (1996) 石材環境(黒曜石)石器文化研究、5、285-291.
- 山浦団体研究会 (1963) 白泥遺跡の研究、山浦団体研究会、9-10.
- 神保小虎 (1886) 黒曜石比較研究諸言、人類学会報告、第二号、24.
- 高橋 豊・西田史郎 (1986) 伊豆半島の縄文遺跡出土黒曜石の原石産地、考古学と自然科学、19、29-41.
- 手島秀一・河内晋平 (1994) 和田岬東方・鷹巣火山岩 類の地質と岩石、信州大学志賀自然教育研究施設研究業績、31、1-8.
- 堤 隆 (1998) 水期の終末と縄石刀文化の出現、科学、岩波書店、VOL68 NO. 4 329-336.
- 堤 隆 (2002) 旧石器時代をフィールドから見つめなおす、科学、岩波書店、VOL72 NO. 5 600-606.
- 東村武信・薦科哲男 (1982) 黒曜石製石器の産地推定—螢光X線による石器産地の推定、古文化財に関する保存科学と人文・自然科学、昭和56年度特定期刊研究、M1-163.
- 上橋由理子 (1998) 新潟県における縄文時代の黒曜石利用について、(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団、研究紀要第2号、43-55.
- 新潟県 (1977) 新潟県地質図説明書、79-108.
- 早坂典久・北村信 (1953) 零石盆地西縁部の地質(概報)、岩石鉱物鉱床学会誌、37-1: 29-39.
- 船橋市教育委員会 (1978) 飛ノ台貝塚、千葉県船橋市飛ノ台貝塚発掘調査概報 1-5.
- 船橋市教育委員会 (1999) 飛ノ台貝塚 平成10年度第4次発掘調査報告書、船橋市教育委員会 1-5.
- 前野昌弘・三國彰 (2000) 統計解析、日本実業出版社、1-227.
- 望月明彦・池谷信之・小林克次・武藤山里 (1994) 遺跡内における黒曜石製石器の原産地別分布について—沼津市土手上遺跡BBV層、北海道立地下資源調査所、40.
- 山本 薫・柴田 勝・高松武次郎 (1997) ガラス質黒色安山岩製石器の石材産地推定方法に関する研究—螢光X線分析法とプレパラート法による石材産地推定結果の比較と評価—
- 縄文時代文化研究会、縄文時代、第8号、1-30.
- 和田村教育委員会 (1993) 長野県黒曜石原産地遺跡分布調査報告書、Ⅲ
- 渡辺 仁 (1948) 北海道の黒曜石、人類学雑誌、第60巻、第1号
- 薦科哲男・東村武信・鈴木義昌 (1973) 螢光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定、考古学と自然科学、6、33-42.
- 薦科哲男・東村武信 (1977) 螢光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(Ⅲ)、考古学と自然科学、第10号、53-81.

第2章化学分析表

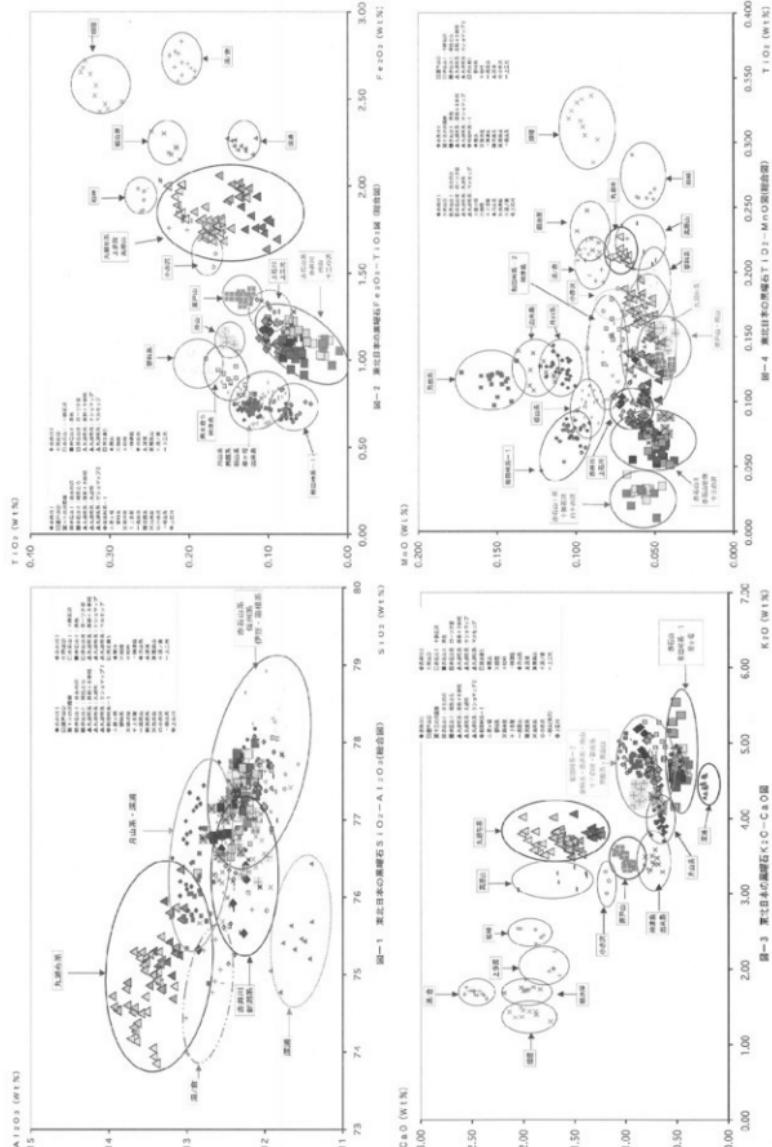
试样名	Nd ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	Re ₂ O ₇	Sc ₂ O ₃	V ₂ O ₃	Zr ₄ O ₇	Total	SiO ₂ /Si	SiO ₂ /Al ₂ O ₃	
河姆-1	5.988	0.000	1.3934	78.4635	0.0000	2.6594	1.0159	0.1644	0.0989	-1.4462	0.0122	0.0085	0.0049	-0.0057	99.9999	934	637 小李队	
河姆-2	5.265	0.072	1.9433	78.8218	0.0000	1.9467	0.9591	0.0944	0.0911	-1.6764	0.0078	0.0019	0.0041	-0.0057	100.0000	731	319 不明	
河姆-3	5.000	0.050	1.4314	78.1814	0.0000	2.6547	1.0067	0.1631	0.0770	-1.7771	0.0092	0.0114	0.0056	-0.0055	100.0000	713	857 小李队	
河姆-4	4.743	0.000	1.2960	76.8173	0.0000	3.0002	1.3005	0.2205	0.0882	-1.7011	0.0105	0.0095	0.0045	-0.0055	100.0000	711	980 小李队	
河姆-5	5.267	0.000	1.9015	76.4935	0.0000	3.5982	1.2662	0.1991	0.0823	-1.6513	0.0117	0.0122	0.0060	-0.0050	100.0000	888	914 小李队	
河姆-6	4.712	0.000	1.7429	77.6351	0.0000	2.9451	1.0861	0.1847	0.0763	-1.7188	0.0095	0.0118	0.0049	-0.0050	100.0000	646	829 小李队	
河姆-7	5.079	0.065	1.3625	72.2904	0.0040	2.4655	1.0861	0.1850	0.0763	-1.5268	0.0092	0.0111	0.0049	-0.0056	100.0000	706	803 小李队	
河姆-8	5.047	0.000	1.5865	77.1444	0.0052	1.9455	1.1098	0.2108	0.0745	-1.6532	0.0064	0.0104	0.0046	-0.0052	100.0000	610	760 小李队	
河姆-9	5.629	0.000	1.4579	78.1738	0.2404	2.5883	1.0145	0.1751	0.0887	-1.6956	0.0130	0.0065	0.0046	-0.0050	100.0000	656	896 小李队	
河姆-10	4.861	0.000	1.5841	76.2224	0.1847	1.9863	1.0470	0.1534	0.1237	-1.7108	0.0064	0.0114	0.0112	-0.0053	100.0000	554	719 小李队	
河姆-11	5.062	0.000	1.4191	76.4970	0.0000	3.6272	1.2662	0.1725	0.0788	-1.4862	0.0091	0.0117	0.0063	-0.0050	100.0000	780	910 小李队	
河姆-12	5.615	0.000	1.4140	76.3190	0.0000	2.8943	1.0249	0.1569	0.0743	-1.7933	0.0090	0.0120	0.0066	-0.0050	100.0000	670	835 潘 馨	
河姆-13	4.513	0.113	12.1771	75.9295	0.0000	1.8560	2.6038	0.2755	0.1387	-1.3103	0.0068	0.0241	0.0076	-0.0050	100.0000	451	565 潘 馨	
河姆-14	1.1	1.424	0.0000	1.1749	78.0190	0.0000	2.8829	2.8665	0.1833	0.0686	-1.6177	0.0114	0.0149	0.0049	-0.0056	100.0000	859	1001 小李队
河姆-15	5.124	0.000	1.2882	76.9790	0.2500	3.0344	1.0174	0.0739	0.0729	-1.5248	0.0065	0.0111	0.0049	-0.0056	100.0000	621	964 小李队	
河姆-16	4.537	0.130	1.3209	78.0396	0.0000	2.8013	1.1965	0.1929	0.0685	-1.5734	0.0069	0.0117	0.0047	-0.0056	100.0000	522	768 小李队	
河姆-17	6.065	0.288	1.8646	77.5764	0.2608	2.2435	1.0241	0.1824	0.0698	-1.5936	0.0080	0.0123	0.0062	-0.0050	100.0000	628	729 小李队	
河姆-18	4.437	0.026	1.5219	77.3131	0.2741	2.8824	0.9255	0.1961	0.0767	-1.5565	0.0109	0.0117	0.0049	-0.0050	100.0000	894	1009 小李队	
河姆-19	3.914	0.152	1.5385	78.9862	0.0000	2.6965	1.0611	0.1849	0.0706	-1.4619	0.0087	0.0095	0.0045	-0.0050	100.0000	685	727 小李队	
河姆-20	5.059	0.155	1.4447	78.9602	0.0000	3.2825	1.2545	0.1961	0.0700	-1.5358	0.0073	0.0104	0.0057	-0.0050	100.0000	523	630 小李队	
河姆-21	4.882	0.000	1.3802	76.3021	0.2887	2.8490	0.7070	0.1715	0.0680	-1.5965	0.0079	0.0112	0.0049	-0.0050	100.0000	726	1021 小李队	
河姆-22	4.013	0.000	1.5181	78.8039	0.0000	2.6548	1.0269	0.1776	0.0759	-1.5965	0.0079	0.0111	0.0049	-0.0050	100.0000	625	725 小李队	
河姆-23	4.965	0.136	1.7103	78.8579	0.0000	2.9944	1.1333	0.1730	0.0766	-1.5172	0.0074	0.0116	0.0049	-0.0050	100.0000	492	710 小李队	
河姆-24	3.605	0.049	1.5459	79.0554	0.0000	2.7119	1.1717	0.1672	0.0615	-1.7172	0.0107	0.0117	0.0045	-0.0047	100.0000	117	1011 小李队	
河姆-25	4.165	0.000	1.5709	78.6797	0.2859	2.8418	1.2278	0.1729	0.0766	-1.5172	0.0074	0.0116	0.0043	-0.0047	100.0000	352	396 小李队	
河姆-26	5.068	0.002	1.9110	78.1097	0.0000	2.9005	1.0925	0.1863	0.0685	-1.6733	0.0090	0.0100	0.0056	-0.0050	100.0000	722	736 小李队	
河姆-27	4.268	0.006	1.7406	78.8690	0.0000	2.7732	1.0465	0.1801	0.0709	-1.5669	0.0092	0.0102	0.0056	-0.0050	100.0000	761	868 小李队	
河姆-28	3.973	0.673	1.6527	78.7623	0.0000	2.8867	1.0380	0.1823	0.0681	-1.6024	0.0072	0.0127	0.0047	-0.0050	100.0000	688	829 小李队	
河姆-29	3.948	0.000	1.4322	79.2668	0.0000	2.6131	1.0289	0.1658	0.0654	-1.3994	0.0078	0.0103	0.0048	-0.0050	100.0000	625	725 小李队	
河姆-30	4.581	0.169	1.6136	77.8825	0.0000	2.8509	1.0233	0.2048	0.0707	-1.5458	0.0068	0.0116	0.0050	-0.0050	100.0000	516	651 小李队	
河姆-31	4.228	0.000	0.9688	1.3219	78.7221	0.0000	2.8620	1.0360	0.1718	0.0685	-1.4467	0.0074	0.0111	0.0044	-0.0047	100.0000	906	1049 小李队
河姆-32	4.055	0.000	1.4026	78.8261	0.0000	2.8883	1.2569	0.1994	0.0765	-1.6067	0.0123	0.0117	0.0047	-0.0047	100.0000	907	737 小李队	
河姆-33	4.242	0.000	1.5497	77.0112	0.0000	2.6131	1.2491	0.1733	0.0703	-1.0485	0.0067	0.0119	0.0043	-0.0047	100.0000	907	736 小李队	
河姆-34	4.094	0.000	1.2457	73.7939	0.0000	2.7457	1.0736	0.1882	0.0678	-1.6078	0.0078	0.0120	0.0045	-0.0047	100.0000	722	736 小李队	
河姆-35	4.917	0.113	1.6711	78.7142	0.0000	2.7313	1.0391	0.1559	0.0681	-1.4744	0.0108	0.0127	0.0047	-0.0047	100.0000	678	829 小李队	
河姆-36	4.582	0.000	1.5871	77.6599	0.0000	2.9744	1.2562	0.1903	0.0755	-1.4747	0.0102	0.0118	0.0048	-0.0047	100.0000	865	1001 小李队	
河姆-37	3.546	0.172	1.1877	79.2015	0.0000	2.7419	1.1747	0.1903	0.0685	-1.6556	0.0133	0.0124	0.0047	-0.0047	100.0000	865	1001 小李队	
河姆-38	3.546	0.172	1.1877	79.2015	0.0000	2.7419	1.1747	0.1903	0.0685	-1.6556	0.0133	0.0124	0.0047	-0.0047	100.0000	865	1001 小李队	
河姆-39	4.3572	0.000	1.0885	78.7792	0.2160	2.8523	1.0569	0.1861	0.0698	-1.1553	0.0114	0.0093	0.0046	-0.0047	100.0000	617	690 小李队	
河姆-40	4.663	0.000	1.4653	77.9244	0.2988	2.8526	1.1586	0.1826	0.0707	-1.5569	0.0101	0.0093	0.0049	-0.0047	100.0000	774	856 小李队	
河姆-41	4.3145	0.000	1.3294	78.7234	0.0000	2.7819	1.1254	0.1881	0.0685	-1.4366	0.0108	0.0110	0.0046	-0.0047	100.0000	709	841 小李队	
河姆-42	4.162	0.000	1.7244	78.9162	0.2817	2.7406	1.0623	0.1657	0.0687	-1.5867	0.0123	0.0118	0.0046	-0.0047	100.0000	755	857 小李队	
河姆-43	4.588	0.167	1.2093	78.7661	0.0000	2.7867	1.0506	0.1799	0.0642	-1.5722	0.0089	0.0116	0.0046	-0.0047	100.0000	885	1001 小李队	
河姆-44	4.549	0.289	1.9061	75.3611	0.2533	2.9661	1.2154	0.1864	0.0654	-1.5564	0.0134	0.0124	0.0047	-0.0047	100.0000	865	1001 小李队	
河姆-45	4.7473	0.035	1.5671	78.8483	0.0000	3.0870	1.2478	0.1865	0.0685	-1.6256	0.0117	0.0095	0.0047	-0.0047	100.0000	853	923 小李队	
河姆-46	3.8388	0.000	1.0856	78.7851	0.0000	2.5659	1.0268	0.2108	0.0623	-1.5663	0.0180	0.0100	0.0066	-0.0047	100.0000	964	1073 小李队	
河姆-47	3.8388	0.000	1.2018	77.7235	0.0000	2.7116	1.4809	0.1862	0.1911	-0.0763	0.0173	0.0104	0.0056	-0.0047	100.0000	567	917 小李队	
河姆-48	3.7488	0.000	1.3294	78.7925	0.0000	2.8474	1.3884	0.1862	0.1641	-0.0700	0.0166	0.0104	0.0056	-0.0047	100.0000	800	811 小李队	
河姆-49	4.987	0.037	1.4294	78.4849	0.0000	2.9676	1.0184	0.1644	0.0659	-1.5401	0.0107	0.0097	0.0055	-0.0047	100.0000	553	699 小李队	
河姆-50	4.003	0.000	1.3683	76.9990	0.0000	5.1770	1.0774	0.1965	0.0676	-1.5175	0.0098	0.0121	0.0055	-0.0047	100.0000	626	733 小李队	

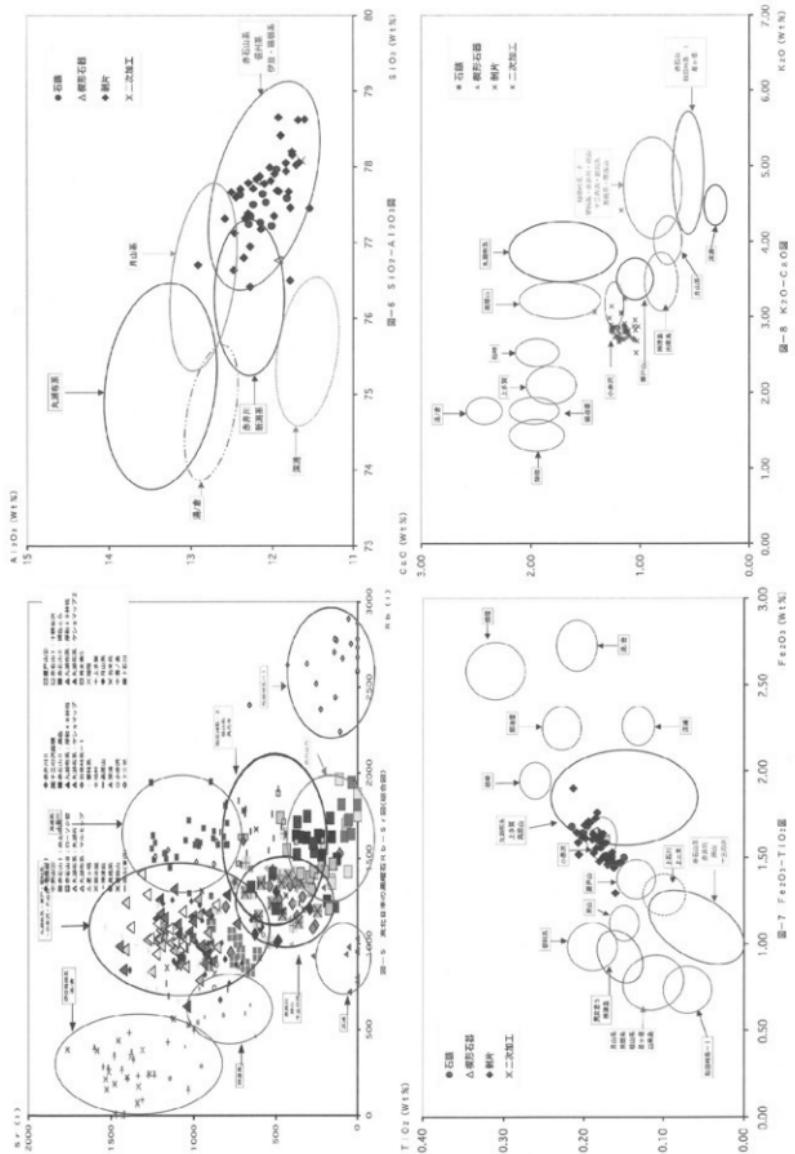
第2章分类表

样名	N	Mo	Al	Cu	K2O	TiO2	CaO	MnO	P2O5	Rb2O	ScO	Y2O3	ZrO2	Total	Rb/B	Sc/B	重矿物	通地率%
河床-51	5,0331	0.0000	11.9039	78.1047	0.0000	1.6784	0.1173	0.0580	1.8652	0.0081	0.0101	0.0091	0.0211	100.0000	580	712	石英65%	石英65%
河床-52	4,9863	0.0000	11.6797	78.1036	0.0000	2.2166	0.1420	0.0829	0.8077	0.15669	0.0103	0.0044	0.0191	100.003	652	782	小长石2%	石英62%
河床-53	0.0000	11.6640	78.2099	0.0000	2.2369	1.3044	0.1841	0.0778	1.5861	0.0063	0.0112	0.0282	0.0067	90.9999	641	636	长石2%	石英63%
河床-54	4,7422	0.0000	11.6382	78.1696	0.0000	2.9842	1.1176	0.1450	0.0241	1.0409	0.0119	0.0043	0.0056	90.9996	641	636	长石2%	石英63%
河床-55	3,2842	0.0000	11.3772	78.8906	0.0000	2.9842	1.1759	0.1320	0.0275	1.5861	0.0075	0.0156	0.0184	100.0000	588	1002	长石2%	石英65%
河床-56	4,2665	0.0054	11.6605	78.2298	0.0000	2.9462	1.0618	0.1655	0.0178	1.5671	0.0066	0.0065	0.0156	90.9999	651	701	长石2%	石英65%
河床-57	2,6465	0.0000	11.7220	78.2294	0.0000	4.2152	1.2113	0.1856	0.0144	0.9144	0.0103	0.0062	0.0138	100.0000	750	598	长石2%	石英65%
河床-58	4,1964	0.0000	11.8564	78.2555	0.0000	2.7256	1.3043	0.2097	0.0168	1.5594	0.0123	0.0065	0.0181	100.0000	641	636	长石2%	石英74%
河床-59	4,1966	0.0000	11.8245	78.4632	0.0000	2.7756	0.9873	0.1622	0.0580	1.4321	0.0053	0.0114	0.0258	100.0000	628	646	长石2%	石英78%
河床-60	3,7544	0.0000	11.8883	78.1737	0.0000	2.7572	1.2211	0.1740	0.0707	1.6182	0.0151	0.0069	0.0254	90.9999	599	1097	长石2%	石英78%
河床-61	4,5357	0.0000	11.7667	78.9074	0.0000	2.9498	1.2284	0.1866	0.0702	1.5717	0.0168	0.0096	0.0288	90.9999	739	710	长石2%	石英75%
河床-62	4,9470	0.0020	11.4639	77.5568	0.0000	2.9463	1.2896	0.1786	0.0782	1.5922	0.0183	0.0101	0.0202	100.0000	623	813	长石2%	石英75%
河床-63	3,8337	0.0000	11.8255	78.2319	0.0000	2.8233	1.2512	0.2174	0.0741	1.6115	0.0216	0.0165	0.0083	100.0000	931	1193	长石2%	石英72%
河床-64	3,0465	0.0000	11.8933	78.5665	0.0000	3.2602	1.1342	0.1677	0.0267	1.5729	0.0104	0.0092	0.0251	90.9999	749	660	长石2%	石英70%
河床-65	4,2423	0.0247	11.9033	78.5665	0.0000	2.7977	1.0867	0.2110	0.0205	0.0875	0.0154	0.0117	0.0267	100.0000	645	1071	长石2%	石英83%
河床-66	4,2867	0.0025	11.7654	78.0561	0.0000	2.8291	1.2933	0.1740	0.0240	1.5860	0.0106	0.0066	0.0219	100.0000	620	990	长石2%	石英82%
河床-67	4,4347	0.0000	11.6960	77.9923	0.0000	2.8291	1.2933	0.1740	0.0240	1.5869	0.0106	0.0062	0.0233	100.0000	816	777	长石2%	石英80%
河床-68	3,7509	0.0027	11.5488	78.8092	0.0000	2.5640	1.1632	0.1693	0.0271	1.5497	0.0103	0.0065	0.0181	100.0000	643	838	长石2%	石英91%
河床-69	3,2507	0.0000	11.5227	78.1469	0.0000	2.5640	1.1632	0.1693	0.0271	1.5497	0.0103	0.0065	0.0247	100.0000	644	949	长石2%	石英92%
河床-70	4,0988	0.0000	11.6176	78.5351	0.0000	3.0305	1.2045	0.1865	0.0865	1.4739	0.0116	0.0053	0.0205	100.0000	824	1062	长石2%	石英92%
河床-71	4,0766	0.0000	11.6463	78.6564	0.0000	2.8886	1.0125	0.1497	0.0647	1.6114	0.0161	0.0059	0.0205	90.9999	459	727	长石2%	石英92%
河床-72	4,5752	0.0000	11.7866	77.8897	0.0000	2.8874	1.1747	0.1988	0.0688	1.5697	0.0091	0.0121	0.0069	100.0000	675	880	长石2%	石英91%
河床-73	4,1666	0.0000	11.8229	78.2064	0.0000	2.7536	1.2281	0.2306	0.0702	1.6167	0.0116	0.0127	0.0097	100.0000	866	921	长石2%	石英91%
河床-74	4,1842	0.0000	11.7715	77.9111	0.0000	2.7887	1.5950	0.1585	0.0621	1.5893	0.0103	0.0066	0.0227	100.0000	645	826	长石2%	石英91%
河床-75	3,9756	0.0000	11.7144	78.6143	0.0000	2.9009	1.1126	0.1556	0.0271	1.5033	0.0141	0.0066	0.0196	100.0000	882	756	长石2%	石英92%
河床-76	4,2485	0.0000	11.6210	78.5588	0.0000	2.9075	1.2118	0.1744	0.0659	1.5870	0.0103	0.0141	0.0060	100.0000	744	991	长石2%	石英92%
河床-77	4,9657	0.0000	11.8285	77.2649	0.0000	2.9865	1.2957	0.1845	0.0648	1.5861	0.0103	0.0141	0.0066	100.0000	929	725	长石2%	石英92%
河床-78	4,6561	0.0000	11.6500	77.6410	0.0000	3.0971	1.2045	0.2159	0.0828	1.7719	0.0152	0.0229	0.0056	100.0000	966	796	长石2%	石英92%
河床-79	4,6519	0.0000	11.8474	77.5319	0.0000	2.9485	1.3184	0.2159	0.0624	1.6768	0.0116	0.0059	0.0204	100.0000	622	734	长石2%	石英91%
河床-80	4,6661	0.0000	11.8130	77.6940	0.0000	2.6556	1.0628	0.1855	0.0627	1.5962	0.0136	0.0056	0.0216	100.0000	623	682	长石2%	石英90%
河床-81	4,6610	0.0000	11.8256	11.6418	0.0000	2.7042	1.1876	0.1707	0.0705	1.5466	0.0100	0.0114	0.0150	100.0000	743	849	长石2%	石英91%
河床-82	4,6610	0.0000	11.8049	78.9895	0.0000	2.9626	1.0915	0.1627	0.0667	1.5479	0.0132	0.0147	0.0050	100.0000	1011	1163	长石2%	石英105%
河床-83	4,0988	0.0000	11.4026	78.0425	0.0000	2.8670	1.1948	0.2359	0.0713	1.5909	0.0164	0.0086	0.0284	100.0000	571	573	长石2%	石英105%
河床-84	3,6357	0.0000	11.9173	75.5365	0.0000	3.0640	1.2742	0.1940	0.0719	1.6012	0.0200	0.0194	0.0248	100.0000	569	704	长石2%	石英106%
河床-85	4,2652	0.0000	11.9622	75.8366	0.0000	2.7451	1.7833	0.1117	0.0790	1.5545	0.0162	0.0129	0.0155	100.0000	538	1255	长石2%	石英106%
河床-86	3,3130	0.0000	11.9622	75.9549	0.0000	3.2456	1.2513	0.1766	0.0612	1.6161	0.0154	0.0054	0.0239	100.0000	612	692	长石2%	石英102%
河床-87	4,1396	0.0000	11.8241	77.9784	0.0000	2.5558	1.2513	0.1766	0.0612	1.6161	0.0154	0.0054	0.0239	100.0000	442	782	长石2%	石英104%
河床-88	4,4552	0.0000	11.8554	75.5104	0.0000	2.9227	1.2831	0.1968	0.0678	1.6338	0.0180	0.0115	0.0053	100.0000	620	826	长石2%	石英103%
河床-89	4,0980	0.0000	11.8003	78.2411	0.0000	2.7258	1.2228	0.1885	0.0687	1.5867	0.0107	0.0132	0.0061	100.0000	857	901	长石2%	石英107%
河床-90	4,4232	0.0000	11.7814	77.2465	0.0000	2.9411	1.1502	0.1865	0.0680	1.6549	0.0176	0.0212	0.0058	100.0000	539	870	长石2%	石英111%
河床-91	4,7310	0.0000	11.7880	76.1013	0.0000	1.9149	0.9203	0.0966	0.0961	1.7079	0.0041	0.0192	0.0009	100.0000	394	256	长石2%	石英117%
河床-92	2,7146	0.0000	11.5411	78.8866	0.0000	2.7255	1.2167	0.1781	0.0641	1.6889	0.0119	0.0188	0.0057	100.0000	577	825	长石2%	石英114%
河床-93	4,1785	0.0000	11.9621	75.9545	0.0000	2.7882	1.1715	0.1963	0.0655	1.5871	0.0116	0.0189	0.0057	100.0000	694	869	长石2%	石英113%
河床-94	4,3628	0.0000	11.5945	75.5309	0.0000	2.7218	1.2143	0.1924	0.0651	1.5574	0.0116	0.0189	0.0057	100.0000	854	679	长石2%	石英115%
河床-95	4,5242	0.0000	11.2147	77.2118	0.0000	2.7199	1.1781	0.1173	0.0603	1.6091	0.0174	0.0209	0.0118	100.0000	550	726	长石2%	石英112%
河床-96	3,0451	0.1229	11.8245	75.5101	0.0000	2.5401	1.1873	0.1609	0.0499	1.4773	0.0112	0.0209	0.0112	100.0000	616	746	长石2%	石英112%
河床-97	4,3130	0.0000	11.9003	77.8080	0.0000	2.5240	1.2220	0.1733	0.0622	1.6099	0.0132	0.0151	0.0112	100.0000	715	922	长石2%	石英114%
河床-98	3,3867	0.0000	11.4052	79.9284	0.0000	2.7428	1.1919	0.1940	0.0652	1.5443	0.0194	0.0139	0.0151	100.0000	766	1025	长石2%	石英109%
河床-99	3,9959	0.0087	12.0077	78.9886	0.0000	2.7914	1.2301	0.1616	0.0626	1.6250	0.0120	0.0146	0.0105	100.0000	861	1000	长石2%	石英111%
河床-100	4,2154	0.0000	11.8063	76.7159	0.0000	3.2283	1.2301	0.1744	0.0753	2.0394	0.0225	0.0154	0.0250	100.0000	782	946	长石2%	石英111%

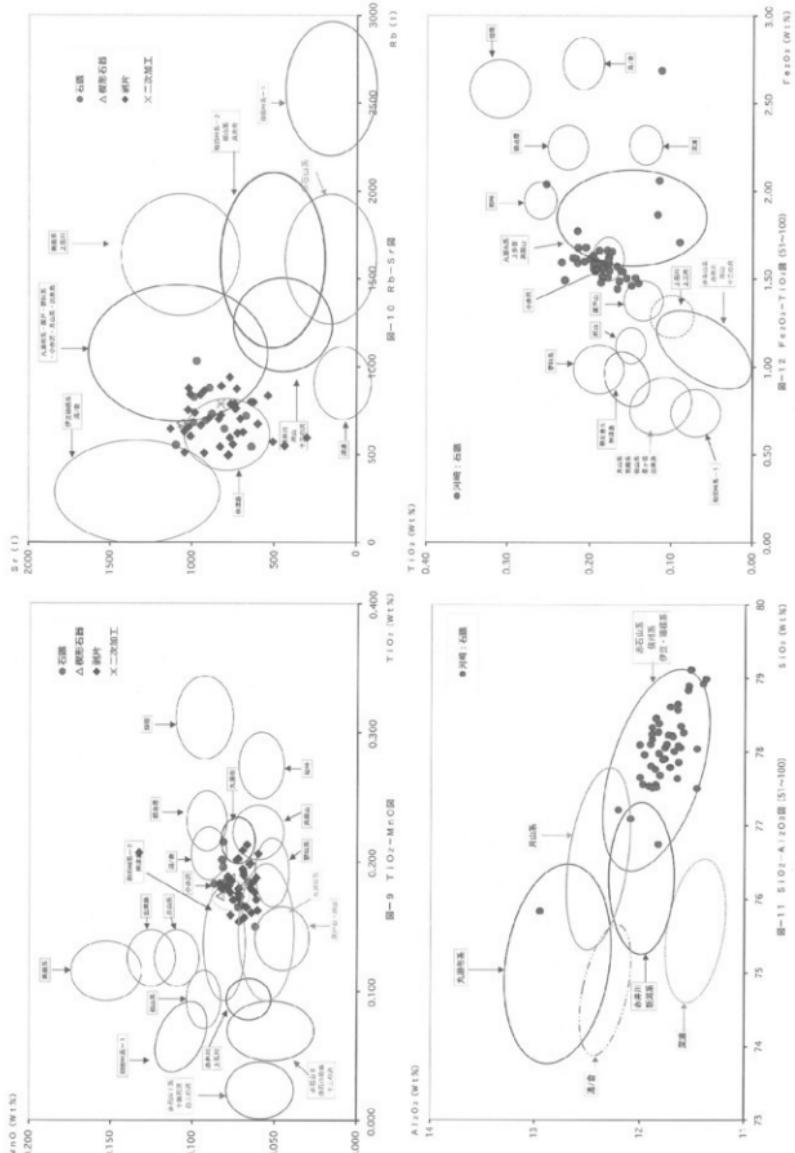
第3表原産地対比表

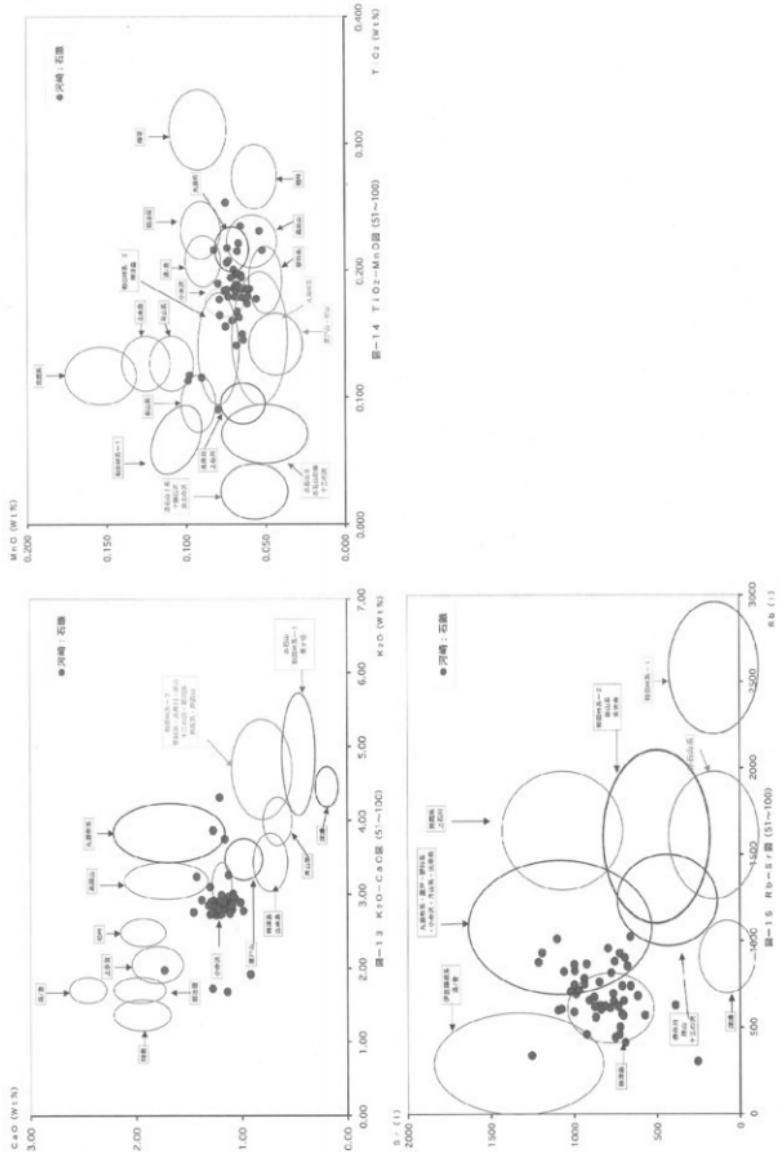
試料名	原産地	遺物No.	試料名	原産地	遺物No.
河崎-1	小赤沢	尖頭器32	河崎-64	小赤沢	石器791
河崎-3	小赤沢	搔器38	河崎-65	小赤沢	石器830
河崎-4	小赤沢	石鏃40	河崎-66	小赤沢	石器832
河崎-5	小赤沢	石鏃142	河崎-67	小赤沢	石器869
河崎-6	小赤沢	楔形石器307	河崎-68	小赤沢	石器914
河崎-7	小赤沢	楔形石器310	河崎-69	小赤沢	石器924
河崎-8	小赤沢	楔形石器315	河崎-70	小赤沢	石器938
河崎-9	小赤沢	石鏃19	河崎-71	小赤沢	石器942
河崎-11	小赤沢	石鏃45	河崎-72	小赤沢	石器947
河崎-14	小赤沢	石鏃82	河崎-73	小赤沢	石器950
河崎-15	小赤沢	石鏃83	河崎-74	小赤沢	石器951
河崎-16	小赤沢	石鏃114	河崎-75	小赤沢	石器962
河崎-17	小赤沢	石鏃139	河崎-76	小赤沢	石器966
河崎-18	小赤沢	石鏃155	河崎-77	小赤沢	石器967
河崎-19	小赤沢	石鏃163	河崎-78	小赤沢	石器968
河崎-20	小赤沢	石鏃195	河崎-79	小赤沢	石器971
河崎-22	小赤沢	石鏃223	河崎-80	小赤沢	石器1007
河崎-23	小赤沢	石鏃229	河崎-81	小赤沢	石器1021
河崎-24	小赤沢	石鏃230	河崎-82	小赤沢	石器1050
河崎-25	小赤沢	石鏃233	河崎-83	小赤沢	石器1053
河崎-27	小赤沢	石鏃285	河崎-87	小赤沢	石器1084
河崎-28	小赤沢	石鏃287	河崎-88	小赤沢	石器1089
河崎-29	小赤沢	石鏃290	河崎-89	小赤沢	石器1107
河崎-30	小赤沢	石鏃327	河崎-90	小赤沢	石器1114
河崎-31	小赤沢	石鏃361	河崎-92	小赤沢	石器1134
河崎-32	小赤沢	石鏃369	河崎-93	小赤沢	石器1138
河崎-33	小赤沢	石鏃387	河崎-94	小赤沢	石器1143
河崎-34	小赤沢	石鏃398	河崎-96	小赤沢	石器1192
河崎-35	小赤沢	石鏃413	河崎-97	小赤沢	石器1301
河崎-36	小赤沢	石鏃430	河崎-98	小赤沢	石器1309
河崎-37	小赤沢	石鏃443	河崎-99	小赤沢	石器1310
河崎-38	小赤沢	石鏃475	河崎-100	小赤沢	石器1311
河崎-39	小赤沢	石鏃476	河崎-21	小赤沢?	石器199
河崎-40	小赤沢	石鏃503	河崎-45	小赤沢?	石器560
河崎-41	小赤沢	石鏃509	河崎-47	小赤沢?	石器608
河崎-42	小赤沢	石鏃537	河崎-48	小赤沢?	石器609
河崎-43	小赤沢	石鏃539	河崎-50	小赤沢?	石器619
河崎-46	小赤沢	石鏃561	河崎-57	小赤沢?	石器711
河崎-49	小赤沢	石鏃611	河崎-84	小赤沢?	石器1056
河崎-52	小赤沢	石鏃629	河崎-86	小赤沢?	石器1062
河崎-53	小赤沢	石鏃636	河崎-10	湯/食	石器21
河崎-54	小赤沢	石鏃653	河崎-12	湯/食	石器80
河崎-55	小赤沢	石鏃689	河崎-13	湯/食	石器81
河崎-56	小赤沢	石鏃709	河崎-44	湯/食	石器563
河崎-58	小赤沢	石鏃714	河崎-85	湯/食	石器1058
河崎-59	小赤沢	石鏃718	河崎-2	不明	搔器25
河崎-60	小赤沢	石鏃728	河崎-26	不明	石器234
河崎-61	小赤沢	石鏃735	河崎-51	不明	石器626
河崎-62	小赤沢	石鏃736	河崎-91	不明	石器1127
河崎-63	小赤沢	石鏃792	河崎-95	不明	石器1152





3 黑曜石產地同定





4 河崎の柵擬定地から出土したコイ科魚類咽頭歯遺体の分析

琵琶湖博物館 中島経夫

岩手県東磐井郡川崎村門崎字銚子の北上川左岸に立地している河崎の柵擬定地には、縄文時代後期前葉から晩期後葉の土器をともなって、さまざまな動物遺体が出土している。この中にコイ科魚類の咽頭歯遺体が含まれていた。今回、これらの咽頭歯遺体の調査をおこなったので報告する。

(1) 方法

すでに水洗選別によって検出されていた咽頭歯遺体等の資料を調査した。

双眼実体顕微鏡 (Leica MZ APO) で咽頭歯遺体を観察し、実体顕微鏡に装着したデジタルカメラ (Nikon HC-300i) で光学的な写真撮影を行った。また、現生咽頭歯標本については、走査型電子顕微鏡 (JEOL JSM-5800LV) で写真撮影を行った。

(2) 結果

調査した91点の資料のうち、コイ科魚類の咽頭歯および咽頭骨は84点であった。他の7点は頸歯と思われるものや骨片であった。破損のため咽頭歯や咽頭骨の一部であるためコイ科魚類属種不明としたものが5点で、残りの79点の咽頭歯を4種類5属に同定した(表1)。

(3) コイ科咽頭歯の記載

コイ科 Cyprinidae

ウグイ亜科 Leuciscinae

ヒメハヤ属 *Phoxinus* Agassiz

アブラハヤ *Phoxinus logoskii steindachneri* Sauvage

標本番号: 25, 31, 43, 47 (写図1)。いずれも平成14年度ⅢC28グリッドc堤防11-13層から出土している。

推定される歯式は、2.5-4.2である。ウグイ属の咽頭歯と似ているが、ウグイ属の咽頭骨や咽頭歯に比べて小さい。咽頭骨前角から後角までの外線と歯列の方向が鰓角的に交わる点で、ウグイ属と異なることから、ヒメハヤ属と同定した。ヒメハヤ属のアブラハヤとタカハヤのどちらであるかは今回の資料からは判断できない。本来、*Phoxinus* sp. とすべきであるが、本報告では、現在の分布からアブラハヤと同定した。

ウグイ属 *Tribolodon* Sauvage

ウグイ属種不明 *Tribolodon* sp.

標本番号: 4 (写図2), 7, 21, 32, 38, 40, 45, 57, 59, 62, 64, 67, 68, 69, 70, 73, 74, 76, 77, 78, 79, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 90, 91。標本番号4から21までは、平成14年度ⅢC27グリッドc堤防12-13層から、他の標本は、ⅢC28グリッドc堤防11-13層から出土している。

推定される歯式は、2.5-で、右側については判断できなかった。右側のA1歯からA4歯、およびB1歯までは、単一の歯として確認した。アブラハヤの咽頭歯や咽頭骨よりも大きいことからウグイ

属と同定した。本報告では、マルタ *Tribolodon brandtii* とウグイ *Tribolodon hakonensis* の区別をつけることができなかつたので、ウグイ属種不明とした。

タナゴ亜科 Acheilognathinae

アラボテ属 *Tanakia*

ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* (Temminck et Schlegel)

標本番号：20, 22, 27, 28, 29, 30, 44, 48(写図3), 49, 50, 53。標本番号20は、平成14年度Ⅲ C27グリッドc 堤防12-13層から、他の標本は、ⅢC28グリッドc 堤防11-13層から出土している。

歯式は5-5である。咽頭歯の歯冠後方側面に側面溝が歯鈎の基部に見られるほかは、歯冠側面が平滑であること。歯冠先端が鋸角的であることからヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* と同定した。

タナゴ亜科属種不明 Acheilognathinae, gen. et sp. indet.

標本番号：46, 51, 55。すべてⅢC28グリッドc 堤防11-13層から出土している。

咽頭骨外縁前角が突起上に発達していることからタナゴ亜科の咽頭骨とわかるが、咽頭骨だけの標本のため、属と種を同定することはできない。おそらくヤリタナゴの咽頭骨であると思われる。

カマツカ亜科 Gobioninae

ニゴイ属 *Hemibarbus* Bleeker

ニゴイ *Hemibarbus barbus* (Temminck et Schlegel)

標本番号：5 (写図4), 6 (写図5), 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 18, 34, 35, 36, 37, 39, 41, 42, 60, 61, 63, 65, 66, 71, 72, 80, 81, 89。標本5から18までは、平成14年度Ⅲ C27グリッドc 堤防12-13層から、他の標本は、ⅢC28グリッドc 堤防11-13層から出土している。

左側の咽頭歯系は、1.3.5- である。右側については、A列が5歯で、B列備があることまでしか推定できない。主列後方歯の歯冠前縁が前方へ湾曲し、歯冠後縁が不明瞭で、浅い咬合面溝をもつハラ状の広い咬合面をもつ、頑丈な咽頭歯であることから、ニゴイ属の咽頭歯であるとした。今回の資料からはコウライニゴイとニゴイとの区別はできないが、現在の分布から、本報告ではニゴイと同定した。

コイ亜科 Cyprininae

フナ属 *Carassius* Jarocki

キンブナ *Carassius buergeri* subsp. 1

標本番号：1 (写図6), 2 (写図7), 33 (写図8)。標本1と2は、平成14年度Ⅱ C84グリッドe 堤防7層から、33はⅢC28グリッドc 堤防11-13層から出土している。

A 1歯の歯冠背面観において、前後に長い特徴からキンブナと同定した。その根柢については、「フナ属の咽頭歯」を参照。

フナ属種不明 *Carassius* sp.

標本番号：3 (写図9)。平成14年度Ⅱ C84グリッド e 堤防7層から出土した。

咽頭骨に植立したA 2歯の標本である。A 1歯がないためキンブナとはしなかつたが、標本番号1のA 2歯と同様、前後に相対的に厚く、エナメロイド層も厚く、キンブナのものであると思われる。

フナ属の咽頭歯系

日本列島に分布するフナ属は、分類が明確に確定していない。そのために咽頭歯での区別もどの種のものであるかという疑問をもたれてしまう。まして遺跡資料や化石資料のフナ属の種の同定などできない状態である。この状態では、いつまでも遺跡資料や化石資料のフナ属咽頭歯は種不明のままである。そこで、今後の考古遺跡からのフナ属の同定の一助ために、フナ属5種の咽頭歯の違いを示すこととする。

オランダ産のヨーロッパブナ *Carassius carassius* (写図10)、宮城県産のキンブナ *Carassius buergeri* subsp. 1 (写図11)、滋賀県産のギンブナ *Carassius auratus langsdorffii*、ニゴロブナ *Carassius auratus grandoculis* (写図13)、ゲンゴロウブナ *Carassius cuvieri* (写図14) の咽頭歯について比較する。

A4歯の前方への湾曲度をみると、ヨーロッパブナ、キンブナまでが強く、一般のコイ科魚類の咽頭歯に近い。一方、ギンブナ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナでは、あまり湾曲しないか、逆に後方へ凸に湾曲している。この特徴はゲンゴロウブナで顕著である。また、A1歯について5種で比較してみると、ヨーロッパブナとキンブナでは、A1歯の前後径は、A2歯の内外径には同じである。その他のフナ属3種では、A1歯の前後径よりA2歯の内外径が大きい。キンブナでは、内側の窪みが顕著であり、歯冠の後方は内側に向くように湾曲している点で他の種とは区別できる。本報告の資料番号2 (写図7) のA1歯はその特徴をよく示している。ギンブナ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナでは、ギンブナ A1歯の内外径が大きく、A1歯が相対的に最も大きい。ゲンゴロウブナでは、前後径が小さく、相対的に最も小さなA1歯となっている。後方の3歯 (A2歯、A3歯、A4歯) 全般については、ヨーロッパブナとキンブナでは前後への側偏があまり顕著ではなく、ギンブナ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナでは顕著である。しかも内外径が大きくフナ属咽頭歯の特徴がよく現れている。特に、この特徴はゲンゴロウブナで顕著である。さらに、ゲンゴロウブナの咽頭歯はエナメロイド層が薄いことで他種の咽頭歯と明瞭に区別ができる。

これらの咽頭歯の特徴から最も原始的なものがヨーロッパブナで、キンブナがつづき、ギンブナ、ニゴロブナが次の段階で、最も特殊化した咽頭歯がゲンゴロウブナであることがわかる。

(4) 考察

今回、河崎の標擬定地からの標本91点を調査した。咽頭歯は、全部で84点あり、他は頸歯と小骨片であった。また、84点のうち5点は咽頭骨の部分であったり、咽頭歯が破損していたりしていたため、亜科の同定ができなかった。亜科の組成をみると、ウグイ亜科、タナゴ亜科、カマツカ亜科、コイ亜科からなっている。東北地方に自然分布しているコイ科魚類と同じ組成になっている。属の組成からみても、ウグイ属、ヒメハヤ属、アブラボテ属、ニゴイ属、フナ属であり、想定されるコイ科魚類の咽頭歯が出土している。出現頻度の割合が多いものが、ウグイ属とニゴイであることから、河川での漁撈活動が行われていたことがわかる。北上川からこれら

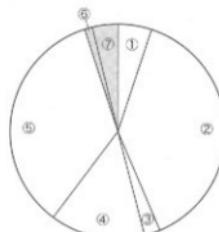


図1 河崎の標擬定地から出土したコイ科魚類咽頭歯の組成
1:アブラハヤ、2:ウグイ属、3:タナゴ亜科属種不明、4:ヤリタナゴ、5:ニゴイ、6:フナ属、7:キンブナ。
影をほどこしたフナ属の割合が少なく近畿地方の縄文遺跡と対照的である。

の魚たちを漁獲していたのだろう。

近畿の縄文遺跡、例えば、栗津湖底遺跡第3貝塚（滋賀県教育委員会、1997）や鳥浜遺跡（鳥浜貝塚研究グループ、1987）などと比較して注目されることは、フナ属の咽頭歯遺体である。これらの近畿地方の縄文遺跡から出土するコイ科魚類の咽頭歯組成の中でフナ属の占める割合は高く、栗津湖底遺跡第3貝塚では、その半数をはるかにこえている（中島、1997）。また、鳥浜貝塚では出土する咽頭歯遺体はほとんどがフナ属のものである（Hongo, 1989；中島ほか、2005）。今回の調査では、近畿地方の縄文遺跡と対照的に、フナ属の占める割合はおよそ5%にすぎなかった（図1）。

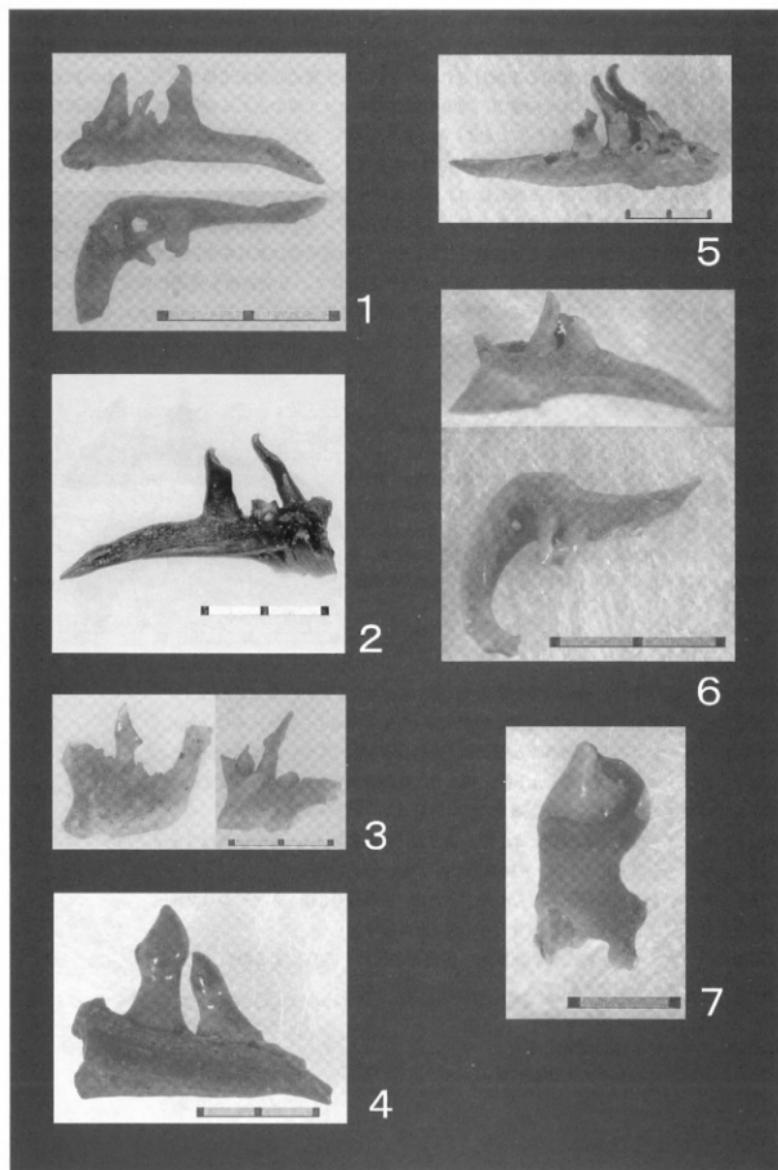
しかも東北地方に自然分布していると考えられているギンブナの咽頭歯はまったく検出されず、すべてキンブナのものであったことが注目される。フナ属の咽頭歯は東日本の縄文遺跡からの出土例は多いが、フナとのみ記載されている。これらのフナとされている咽頭歯を詳細に同定する必要がある。そのことによって東日本と近畿地方や西日本の淡水漁獲のあり方の違いが明らかにされる可能性がある。

引用文献

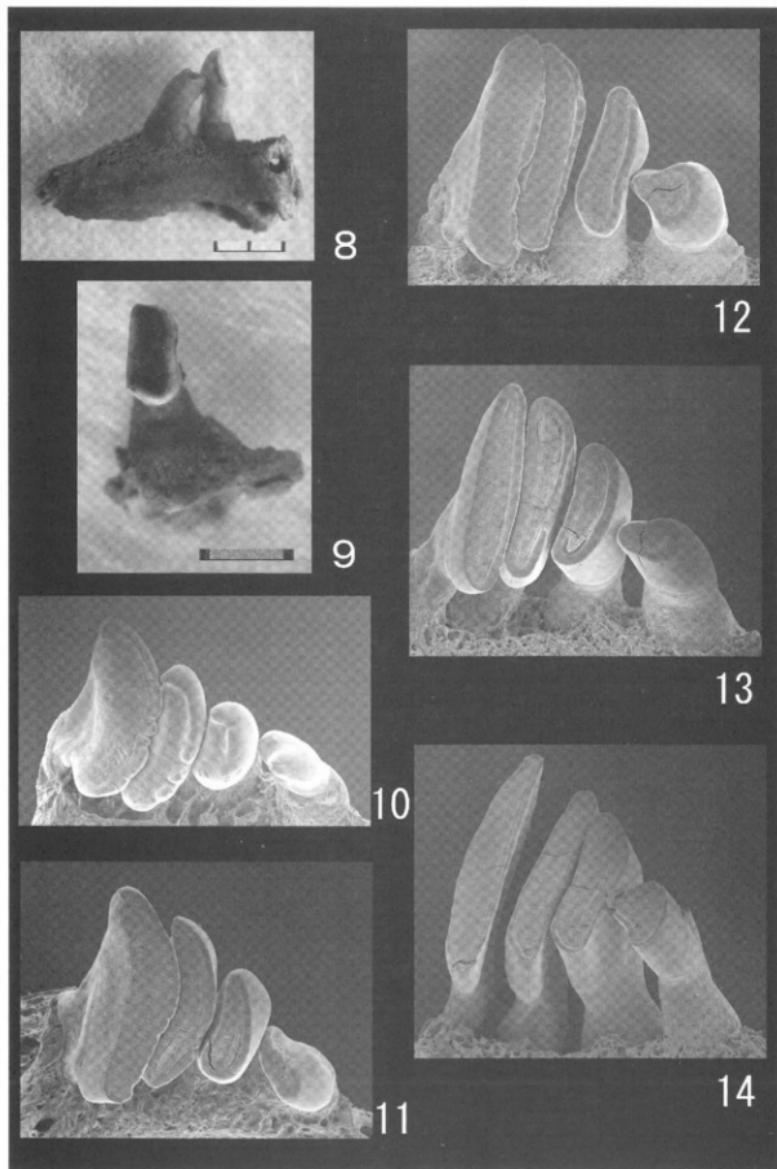
- 鳥浜貝塚研究グループ、1987、鳥浜貝塚－1980-1985年度調査のまとめ、135pp. 福井県教育委員会・福井県立若狭歴史民俗資料館、福井。
- 滋賀県教育委員会、1997、栗津湖底遺跡第3貝塚、453pp. 滋賀県教育委員会、大津。
- Hongo, H. 1989, Freshwater fishing in the Early Jomon Period (Japan) : an analysis of fish remains from the Torihama Shell-mound. *J. Archeological Science*, 16 : 333-354.
- 中島経夫、1997、栗津遺跡のコイ科魚類遺体と古琵琶湖層群、化石研究会会誌、30 (1) : 13-15.
- 中島経夫・甲斐朋子・辻美恵・鈴木恭子、2005、鳥浜貝塚貝殻の定量分析についての予察的報告、鳥浜貝塚研究、(4/5) : 1-8.

図の説明

- 写図1 アブラハヤの右側咽頭骨と咽頭歯（資料番号47）。スケールは2mm。
- 写図2 ウグイ属種不明の左側咽頭骨と咽頭歯（資料番号4）。スケールは2mm。
- 写図3 ヤリタナゴの右側咽頭骨と咽頭歯（資料番号48）。スケールは2mm。
- 写図4 ニゴイの右側咽頭骨とA1歯、A2歯（資料番号5）。スケールは2mm。
- 写図5 ニゴイの左側咽頭骨と咽頭歯（資料番号6）。スケールは2mm。
- 写図6 キンブナの右側咽頭骨とA1歯、A2歯（資料番号1）。スケールは2mm。
- 写図7 キンブナの右側A1歯（資料番号2）。スケールは1mm。
- 写図8 キンブナの左側咽頭骨とA1歯、A2歯（資料番号33）。スケールは2mm。
- 写図9 フナ属種不明の右側咽頭骨とA2歯（資料番号3）
- 写図10 ヨーロッパブナの左側咽頭歯系、多種との比較を容易にするため、左右反転した。
- 写図11 キンブナの右側咽頭歯系。
- 写図12 キンブナの右側咽頭歯系。
- 写図13 ニゴロブナの右側咽頭歯系。
- 写図14 ゲンゴロウブナの右側咽頭歯系。



写図 1 ~ 7



写図 8~14

表1 調査した資料91点の一覧。

番号	和名	学名	状態	側	度種等	差足、底脚	出土層
1 キンブナ	<i>Carrasius baergeri</i> subsp. 1	半頭骨、頭部骨	右側	A1A2	A3,A4	KSG-02, III-04, c517番	
2 キンブナ	<i>Carrasius baergeri</i> subsp. 1	頭部骨	右側	A1		KSG-02, III-04, c517番	
3 フナ属	<i>Carrasius</i> sp.	半頭骨、頭部骨	右側	A2		KSG-02, III-04, c517番	
4 ウダイ属	<i>Trichodon</i> sp.	尾頭骨、頭部骨	左側	A1,A3	[A2,A4][1,12]	KSG-02, III-27, c51213番	
5 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	半頭骨、頭部骨	右側	A1,A3	[A3]	KSG-02, III-27, c51213番	
6 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	半頭骨、頭部骨	左側	A3,A4, E123	[A1A2A5B1C]	KSG-02, III-27, c51213番	
7 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	半頭骨、頭部骨	右側	A1		KSG-02, III-27, c51213番	
8 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A3		KSG-02, III-27, c51213番	
9 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A3		KSG-02, III-27, c51213番	
10 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A4		KSG-02, III-27, c51213番	
11 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A2		KSG-02, III-27, c51213番	
12 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	左側	A5		KSG-02, III-27, c51213番	
13 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-27, c51213番	
14 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	左側	A5		KSG-02, III-27, c51213番	
15 ヒメホタルモチ	<i>Cyprinodon</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	右側	A5		KSG-02, III-27, c51213番	
16 穴過		骨片				KSG-02, III-27, c51213番	
17 穴過		骨片				KSG-02, III-27, c51213番	
18 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-27, c51213番	
19 ヒメホタルモチ		骨化物				KSG-02, III-27, c51213番	
20 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	左側	A4		KSG-02, III-27, c51213番	
21 ウダイ属	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A2		KSG-02, III-27, c51213番	
22 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	左側	A3	A4,A5	KSG-02, III-28, c5113番	
23 ヤリタコ		骨片				KSG-02, III-28, c5113番	
24 ヒメホタルモチ	<i>Cyprinodon</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
25 アツハヤマ	<i>Hemibarbus steindachneri</i>	頭部骨、咽頭骨	左側	A1A2	A3A4A5B1R2	KSG-02, III-28, c5113番	
26 コイ科魚類未名	<i>Cyprinidae</i> gen. et sp. indet.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
27 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨	左側	A2	A1A4A5	KSG-02, III-28, c5113番	
28 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨	左側	A4	A3,A5	KSG-02, III-28, c5113番	
29 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨	左側	A4	A1A5	KSG-02, III-28, c5113番	
30 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨	左側	A1	A1A5	KSG-02, III-28, c5113番	
31 テラヌサ	<i>Phoxinus leptocheilus</i> steindachneri	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
32 ヤリタコ	<i>Prionotus</i> sp.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
33 ヤリタコ	<i>Ctenopharyngodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
34 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A1,A2		KSG-02, III-28, c5113番	
35 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A1,A3		KSG-02, III-28, c5113番	
36 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A1,A5		KSG-02, III-28, c5113番	
37 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	左側	A4		KSG-02, III-28, c5113番	
38 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
39 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
40 ワタケ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
41 ワタケ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
42 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	頭部骨	右側	A5		KSG-02, III-28, c5113番	
43 アツハヤマ	<i>Phoxinus leptocheilus</i> steindachneri	頭部骨、咽頭骨	右側	A2B1	A3A4B2	KSG-02, III-28, c5113番	
44 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A2	A1A3A4A5	KSG-02, III-28, c5113番	
45 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A3	A4	KSG-02, III-28, c5113番	
46 クナゴ頭剝尾不附	<i>Acheilognathus</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	右側	A1,A2A3A4A5		KSG-02, III-28, c5113番	
47 アツハヤマ	<i>Phoxinus leptocheilus</i> steindachneri	頭部骨、咽頭骨	右側	A1A3B1	A2A4B2	KSG-02, III-28, c5113番	
48 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A4	A1A2A3A4	KSG-02, III-28, c5113番	
49 ハクニ	<i>Phoxinus leptocheilus</i> steindachneri	頭部骨、咽頭骨	右側	A2	A1A3A4A5	KSG-02, III-28, c5113番	
50 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A4	A5	KSG-02, III-28, c5113番	
51 クナゴ頭剝尾不附	<i>Acheilognathus</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	右側	A1A2A3A4A5		KSG-02, III-28, c5113番	
52 魚骨		骨片				KSG-02, III-28, c5113番	
53 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨、咽頭骨	右側	A2	A3A4A5	KSG-02, III-28, c5113番	
54 魚骨		骨片				KSG-02, III-28, c5113番	
55 クナゴ頭剝尾不附	<i>Acheilognathus</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	左側	A2A3A4A5		KSG-02, III-28, c5113番	
56 クナゴ頭剝尾不附	<i>Cyprinidae</i> gen. et sp. indet.	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
57 ヤリタコ	<i>Tanakia lanceolata</i>	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
58 カイ科魚類6-9	<i>Carassius</i> sp.	頭部骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
59 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
60 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	A4		KSG-02, III-28, c5113番	
61 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	A5		KSG-02, III-28, c5113番	
62 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	B2		KSG-02, III-28, c5113番	
63 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	A5		KSG-02, III-28, c5113番	
64 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
65 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
66 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
67 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
68 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
69 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
70 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
71 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	A4		KSG-02, III-28, c5113番	
72 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	右側	B1		KSG-02, III-28, c5113番	
73 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A3		KSG-02, III-28, c5113番	
74 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A3		KSG-02, III-28, c5113番	
75 魚頭		骨片				KSG-02, III-28, c5113番	
76 クナゴ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
77 クナゴ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
78 クナゴ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
79 クナゴ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	右側	A3		KSG-02, III-28, c5113番	
80 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
81 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	左側	A5		KSG-02, III-28, c5113番	
82 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
83 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
84 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
85 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A3		KSG-02, III-28, c5113番	
86 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A5		KSG-02, III-28, c5113番	
87 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A2		KSG-02, III-28, c5113番	
88 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A1		KSG-02, III-28, c5113番	
89 ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	咽頭骨	左側	B1		KSG-02, III-28, c5113番	
90 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	A4		KSG-02, III-28, c5113番	
91 ワタケ	<i>Trichodon</i> sp.	咽頭骨	左側	12		KSG-02, III-28, c5113番	

5 河崎の柵擬定地出土の動物遺体

西本豊弘(国立歴史民族博物館)・熊谷 賢・樋泉岳二

河崎の柵擬定地の発掘調査では、北上川の自然堤防が調査され、縄文時代後期から晩期の動物遺体が多く出土した。それらは発掘時点で採取されたものと籠による水洗選別で採取されたものがあり、資料総数は約9000点であった。その中で、魚骨を除いて種名または部位が同定できたものは約800点である。それらの大部分は焼けた骨であり、本来の大きさよりも収縮し、白色化して小さく割れていた。そのため、大型哺乳類の四肢骨であっても原形を留めているものではなく、シカ・イノシシの手足の指の骨が多く記載されることになった。これら的小さな骨の関節部分が火を受けても原形を判読できる程度に残っていた確率が高かったためであり、それらの手足の骨のみが捨てられていたわけではない。

これらの動物遺体の分析の結果、魚類18種・両生類1種・爬虫類1種・鳥類3種・哺乳類8種が認められた。ただし、これらのすべてが人により利用されたものではなく、おそらく自然に混入したものもあると思われる。これらの資料について、出土量を地点ごとに表に記載した。表1は種名一覧である。表2は各地点の包含層を採集し、それらを水洗選別して得た魚骨の内容を示した。表3は発掘時に採集した資料であり、魚類・爬虫類・両生類・鳥類・哺乳類などのすべての動物骨を出土地点ごとにまとめたものである。

動物遺体の同定は西本と熊谷が行い、魚骨は主に樋泉岳二が分担した。また、データの集計では小林園子氏・浪形早季子氏の協力を得た。なお、コイ科の咽頭歯については琵琶湖博物館の中島経夫氏が分類されており、別に報告されている。

(1) 魚類

魚類の内容はコイ類・アユ・イワシ類・ボラ・サバ・サケ・ウナギ・ドジョウ・ギバチ・ハゼ・スズキ・マイワシ・カタクチイワシ・カサゴ?・ブリ?・マグロ?・カジカ類・サメ類など18種以上が認められた。そのうち任意で採集された資料はコイ科とボラ類の椎骨とスズキの歯骨であり、他の資料はすべて包含層の水洗選別で得られたものである。

魚類の中で最も多く認められたのはコイ科とアユである。コイ科としたものは大型のものから小型のものまで大小様々である。おそらくマブナとコイとウグイが含まれており、コイの骨が多いと推定される。コイ科の内容については咽頭歯の分類結果を参照していただきたい。アユは大量に出ておりが、すべてよく生育した個体である。自然死したものが包含層に混入した可能性もあるが、椎骨全体の約3割が焼けているので、アユの骨も人によって焼かれて食べられたものが廃棄されたと推測される。またイワシ類にはマイワシとカタクチイワシの2種が含まれ、これらの小型魚の椎骨にも焼けた痕跡を示すものが見られた。ウナギはよく成育した大きな個体である。ギギ科としたものは棘の形態から見てギバチであろう。ドジョウやハゼ類も見られたが、ハゼ類の種は不明である。スズキは大きな歯骨が1点見られただけである。その他の魚類ではブリ?とカジカ?・サバ・スズキ・マグロ類・サメが含まれている。マグロとしたものは小型の椎骨破片でカツオの可能性もあるが、おそらく小型のマグロであろう。スズキは大きな成熟個体の歯骨が1点出土している。カサゴ?としたものは椎骨の破片である。ブリ?は小型の若い個体である。サケはシロザケタイプのものの椎骨がごく少量見られただけである。なお、アオザメと思われる歯の穿孔品が1点出土している。

(2) 両 生 類

両生類はカエル類のみで、トノサマガエルより小さなタイプである。これらは食べられたものか自然に混入したものか分からぬ。

(3) 爬 虫 類

蛇類の椎骨がごく少量みられただけである。

(4) 鳥 類

鳥類は、キジ類とガン・カモ類が主体でその他にワシがあるだけで、種類数が少ないことが特徴である。キジ類は焼けて収縮しているので種名は定かではないが大小のタイプがあるので、キジとヤマドリの両方が含まれている可能性がある。キジ類によく似たさらに小さいものが見られたが、それは場合によっては古代以降の小型のニワトリが混入している可能性がある。ガン・カモ類としたものはすべてカモ類であり、その中でもミコアイサ程度の大きさやコガモなど小型のものが多い。その他にはワシ類の末節骨（爪の骨）が1点出土している。この骨には石器による傷痕が見られた。

(5) 哺 乳 類

シカ・イノシシ類が主体である。その他にタヌキ・ノウサギ・ムササビ・サル・イタチ類・ネズミ類が少量含まれていた。それらは表3に示したようにすべて火を受けて白色化した焼骨であった。

シカ・イノシシ類は出土資料の主体であるが、それらの四肢骨はすべて小さな破片となっており、部位同定できたものは中手骨・中足骨・基節骨・中節骨・末節骨のみである。頭蓋骨や歯牙も火を受けて破損している。そのため、たとえばイノシシでは第3後臼歯の保存が目立ち、乳歯がまったく見られなかつたのは、おそらく火を受けたために乳歯などが消失したためであろう。このような保存条件を考えると、これらの焼けた資料から、シカ・イノシシの捕獲されていた個体数や年齢組成を推定することは出来ないと判断した。

タヌキはc堤防で成獣の1個体分の歯牙がまとまって出土している。ノウサギとムササビは各地点でバラバラに出土している。サルは雄の枕骨の中間部分の破片が1点認められただけである。この資料の一部には擦り切り痕が見られたので骨器の原材かもしくはその不要な部分であろう。ネズミ類はc堤防で一括して出土しているが、これらは1個体分が自然死したものであろう。その他に歯が見られたが、それらも混入の可能性が高い。これらのネズミ類はすべてドブネズミタイプではなく小型のものである。小型獸類にはホンドイタチと推定されるものとオコジョかも知れないと思われるものがある。

クジラ骨は1点出土しているが、これは全面的によく加工されている棒状品おそらく槍先であろう。骨の部位は不明である。

(6) そ の 他

これらの資料のほかにオオカマキリと推定される前脚破片が出土した。しかしこれらは保存状態から見てごく新しいものの混入の可能性が高い。

まとめ

この遺跡で出土した動物遺体は縄文後期・晩期のもので、河岸の自然堆積層から出土したものであ

る。それらの大部分は火を受けているので人間が食料として利用したものと思われるが、シカ・イノシシなどの大型の動物も小さな破片となっており種同定は困難であった。

出土動物遺体の特色を見ていくと、魚類には河川に生息するものが多いが海産のものも含まれている。鳥類ではキジとカモが主体でその他の種がほとんど見られないことが特徴である。哺乳類ではシカ・イノシシが主体でタヌキ・ノウサギ・ムササビなども少量含まれており、鳥類に比べて含まれる動物種の多様性が見られた。

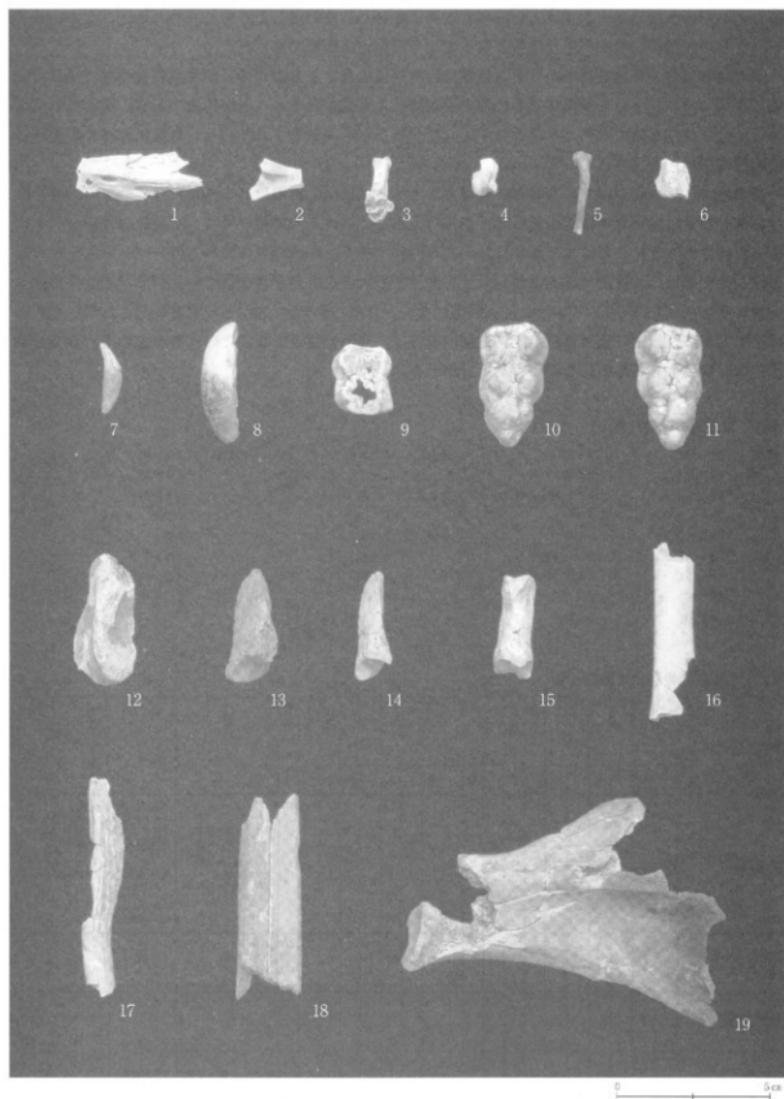
この中で、アユについては椎骨がこれほどまとまって出土した例はあまり知られていない。火を受けた椎骨と受けていない椎骨もあることから考えると、アユを火で焼いて食べた後その骨を食べずに捨てたのであろう。これはイワシ類についても同様であり、小型の魚の食べ方の一例を示すものであろう。サケ類はごく少量ではあるがシロザケタイプの大きなものが含まれていたので、週上性のサケ(シロザケなど)を利用していたことは間違いない。ただしサケ・マスがどの程度利用されていたのかは不明である。以上に述べてきた動物遺体の内容は、鳥類の種が少ないという点を含めて、縄文後晚期の焼骨資料として典型的な例と言えるであろう。

表1 出土動物遺体一覧

魚類	サメ類	ブリ属	肉生類	カエル類	哺乳類	ノウサギ
マイワシ	サバ類					ムササビ
カタクチイワシ	マグロ類またはカツオ	爬虫類	ヘビ類			ネズミ類
サケ・マス類	ウナギ					タヌキ
カジカ類?	コイ科	鳥類	タカ類			イタチ
カサゴ類?	ドジョウ科		カモ類			ニホンジカ
スズキ属	ギギ科(ギバチ)		キジ類			ニホンノイシ
ボラ類	アユ					クジラ目
アジ類	ハゼ科					

表2 水洗鰓別資料出土魚類一覧

出土地点・層位	コイ科		アユ		イワシ類		ボラ科		サバ類		サケ科		ウナギ		ドジョウ		ギギ科		ハゼ科		鱗小片等		その他		種別による 分類		
	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄		
II C27-28c 烧跡11~12層 (縄文後期)	394	67	310	168	34	6	3	35	5	2	46	7	5	3	7	3	10	4	2	1	1	1	1	1	1	スズキ類(上面有白斑) ウナギ骨(左)・上面有白斑右2方背骨1 ギンベイ背骨2根(右)・頭部骨むし1 鮎鱗骨左端2根(右)・頭部骨片1 ギイ骨3片(左)1 コイ骨正面有白斑2方通骨右1・頭部骨 左端2根(右)・頭部骨左1 アヒテ鱗骨(左) マイワシ系(頭骨) ハゼ右側骨2片 アン鰐骨1	
II C09 b 烧跡4層 (縄文後期中~後期)	6	4																								アユ主鱗骨左1	
II C09 c左段3層 (縄文後期中~後期)	3	2																									
e焼跡7層 (縄文後期中)	42	33	45	9	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	1	1	マイワシ第一椎骨1 (右)						サケ科苗床皮1 ギギ骨背側棘片4		
Bd2号住居跡土内	1	2																									



1. スズキ左歯骨 2~4. ノウサギ(2 右肩甲骨 3 右蹠骨 4 左距骨) 5. イタチ右上腕骨 6. タヌキ右桡骨
7. タヌキ右上顎犬歯 8~11. イノシシ(8.右上顎第1切歯 9.右上顎第2後臼歯 10.左上顎第3後臼歯 11.右上顎第3後臼歯) 12~15. シカ(12右冠骨 13・14. 末節骨 15. 中節骨) 16. サル右頭骨 17. 鹿角 18. シカ中足骨 19. イノシシ左肩甲骨

図1 動物遺存体

表3 包含層出土動物遺体一覽

5 河崎の櫛擬定地出土の動物遺体

出土地点	時代	分類	種名	計生名	L.R.	地、跡跡	備考	数量
		鳥類	種不明	中鶴骨	R			1
		候虫類	ハビ娘	等物		1つは非常に小型		2
				弓口介	L			1
				前胃	L	小型種(スズメぐらいの大きさ)		1
				小子骨	L			1
				小足骨	L	小型種(スズメぐらいの大きさ)		1
				玄武骨	R	小型種(スズメぐらいの大きさ)		1
				恵音				1
						1つは小母鷹(スズメぐらいの大きさ)		2
				上鶴第1大臼歯	L			1
					R			1
		ネズミ類		下駄第1前臼歯	L			1
				下駄第1大臼歯	L			2
				下駄第2大臼歯	L			1
			ワニザギ	鰐骨	L	脊椎末端(外れ)		1
				下駄第3前臼歯	L			1
			イタチ	二被骨或後頭	R			1
				下駄第1切歯	L			1
				前大歯	R			1
				前駄第3前臼歯	L			1
		ダヌキ		下駄第4前臼歯	L			1
				上駄第2後臼歯	L			1
				上駄第3後臼歯	L			1
				上駄第3後臼歯	R			1
				前角片		2つは角尖部		6
				角串骨・頭石骨	L.R.			1
				角面骨	L			1
			耳-耳	L	R			2
				2頭骨	R	頭部突起		1
				上駄第2九臼歯	L	△	乳歯	1
				上駄第2十臼歯	R			1
				上駄第3十一臼歯	R			2
				下駄第3十二臼歯	R	看		1
				下駄第3三臼歯	L			1
				下駄第4前臼歯	R			1
				下駄第4後臼歯	R			1
				下駄第2後臼歯	R			1
			解縫	R				1
			丸縫合	R				2
			粒状	R				1
			吻3・吻4 中脚骨					1
			吻2・吻5 杖脚骨					1
			頭顎骨	R	頭骨			1
			耳骨	R				1
			上駄第1切歯	L				1
			上駄歯	L				1
			上駄第2前臼歯	R				2
			上駄第2前臼歯	L				1
			上駄第3前臼歯	R				1
			上駄第3前臼歯	L				1
			上駄第4前臼歯	R				1
			上駄第2後臼歯	R				1
			下駄第3後臼歯	L				1
			下駄第3後臼歯	R				1
			下駄第4後臼歯	L				1
			下駄第4後臼歯	R				1
			下駄第3後三脚	L				1
			下駄第3後三脚	R				1
			尻椎					1
			男中骨	L				1
			第2中足骨	L				2
			第3・第4 中手・中足骨					1
			第3・第4 前足骨					1
			第3・第4 中脚骨					1
			第3・第4 中脚骨					1
			第3・第4 大脚骨					1
			カジラ	吻骨				1
			鰓骨					1
		種不明	頭骨			未記載含む		4

出土地名	時代	分類	種名	部位名	L.R.	施	解説	備考	出處
純文時代後期	哺乳類	ネズミ類	ニホンジカ?	上顎骨	L				1
			ニホンジカ?	下顎骨	L				1
			ニホンジカ?	鼻骨	R				1
			ニホンジカ?	人歯骨	L				1
			ニホンジカ?	舌骨					1
		イノシシ	ニホンジカ?	胸骨					2
			ニホンジカ?	上顎骨	R		小型		2
			ニホンジカ?	下顎骨	L				2
			ニホンジカ?	鼻骨	R				2
			ニホンジカ?	人歯骨	L				2
純文時代後期	哺乳類	鳥類	ホシヅル	頭骨					3
			ホシヅル	下顎骨2前臼歯	L				3
			ホシヅル	下顎骨4前臼歯	R	左	未明示		3
			ホシヅル	上顎骨	R				3
			ホシヅル	大歯骨	S				3
		イノシシ	ホシヅル	第3・第4犬歯骨					3
			ホシヅル	第3・第4犬歯骨					3
			ホシヅル	上顎骨3後臼歯	L				3
			ホシヅル	上顎骨3後臼歯	R	右	失無因		3
			ホシヅル	下顎骨1切歯	L				3
純文時代後期	哺乳類	ニホンジカ?	ニホンジカ?	下顎骨2切歯	R				3
			ニホンジカ?	下顎骨3後臼歯	R	或	腹式有		3
			ニホンジカ?	尺骨	R				3
			ニホンジカ?	第2・第3中手・中足骨	R		食傷水瓶合(内丸)		3
			ニホンジカ?	趾骨	R				3
		イノシシ	ニホンジカ?	第3・第4前歯骨	R		宋高宗の資糧		3
			ニホンジカ?	鳥口骨	L				3
			ニホンジカ?	側骨	L				3
			ニホンジカ?	脛骨	R				3
			ニホンジカ?	距骨	R				3
d復原	純文時代後期	鳥類	ホシヅル	冠羽中2部	S				3
			ホシヅル	複角片					3
			ホシヅル	下顎骨2前臼歯	R				3
			ホシヅル	下顎骨3前臼歯	R				3
			ホシヅル	下顎骨4前臼歯	R				3
		イノシシ	ホシヅル	下顎骨3後臼歯	R	黄			3
			ホシヅル	尺骨	S				3
			ホシヅル	第3・第4犬歯骨	L	1つは右	1つは本種をのつす 本生のもの		3
			ホシヅル	第3・第4犬歯骨	R	右			3
			ホシヅル	上顎骨1後臼歯	L	切			3
d復原	純文時代後期	ニホンジカ?	ニホンジカ?	上顎骨2後臼歯	L	切			3
			ニホンジカ?	上顎骨3後臼歯	L	右			3
			ニホンジカ?	上顎骨3後臼歯	R	右			3
			ニホンジカ?	上顎骨4後臼歯	R	右			3
			ニホンジカ?	下顎骨	R		複合骨		3
		イノシシ	ニホンジカ?	下顎骨	R				3
			ニホンジカ?	下顎骨	R	右	左骨との複合面、本種の骨端合		3
			ニホンジカ?	第3・第4犬歯骨	R	右			3
			ニホンジカ?	第3・第4犬歯骨	R	右			3
			ニホンジカ?	上顎骨	R	右			3
d復原	純文時代後期	鳥類	ホシヅル	頭骨					3
			ホシヅル	頸骨					3
			ホシヅル	クサ脚			イタクシ? 石削による無あり		3
			ホシヅル	尾羽骨					3
			ホシヅル	脛骨	L				3
		ニホンジカ?	ホシヅル	複角片					3
			ホシヅル	頭骨					3
			ホシヅル	鼻骨	S				3
			ホシヅル	鼻骨	R				3
			ホシヅル	鼻骨	R	右	1つは加工品(複角骨)		3
d復原	純文時代後期	鳥類	ホシヅル	頭骨					3
			ホシヅル	頸骨					3
			ホシヅル	クサ脚					3
			ホシヅル	尾羽骨					3
			ホシヅル	脛骨	L				3
		ニホンジカ?	ホシヅル	複角片					3
			ホシヅル	頭骨					3
			ホシヅル	鼻骨	S				3
			ホシヅル	鼻骨	R				3
			ホシヅル	鼻骨	R	右			3
化粧	化粧	スズキ	スズキ	耳骨	R				3
		カマツ類	カマツ類	尾骨					3
				鰓骨					3
				鰓骨					3

5 河崎の横擬定地出土の動物遺体

出土状況	時代	分類	種名	部位名	L	R	埋連	説考	数量
魚骨	鳥類	カサゴ	唐突骨	R			○ガモ?		1
			上顎骨	R					1
			歯骨	L			マガモより小		1
			舌骨	L			1つは中小(ミコツイナより少し小)		2
			基節	L			1つはヨガモに近似		2
		キジ類	頭甲骨	L					2
			椎骨	L					3
			尺骨	L					2
			脛骨	R					1
			中足骨	R					1
鳥類	種不明	アヒル	頭骨	L			不明	頭空洞	1
			胸羽	L					1
			胸羽	R					1
			舌骨	R					1
			上顎骨	L					1
			下顎骨	R					5
			脛骨	L					1
			脛骨	R					1
			中手骨	L					3
			東洋骨						1
水鳥類	成文時代後期	ムクサギ	趾骨						9
			上腕骨	R					1
			尺骨	R					1
			頭甲骨	L					1
			胸羽	L					1
		ノウサギ	頭骨	R					1
			下顎骨	L					1
			腰骨	R					1
			中手・中足骨	R					1
			脛蓋骨	L					1
鳴虫類	成文時代後期	タヌキ	頭骨	R					1
			蝶角片						11
			奥腹骨						1
			上顎骨	L			△3-△3まで連續確認?		1
			下顎第3後臼歛	L	若	老	未確認		1
		ハシシジカ	腰骨	R					1
			腰骨	L					1
			腰骨	R					1
			第3・第4基節骨		1つは若	1つは若	△近位端未癒合(外れ)		4
			第3・第4中節骨						5
鳴虫類	成文時代後期	ホタル	第3・第4末節骨						2
			下顎骨	L			(TP3-P4M1)		1
			下顎第4前臼歛	R					2
			下顎第4前臼歛	L	若	老	未確認		1
			下顎第2後臼歛	L	若	老	未確認		1
		イノシシ	上顎第3後臼歛	L	1つは若	1つは若	1つは未確認、1つは未癒合		3
			上顎第4後臼歛	R					2
			2頭第1前臼歛	R	若	老			1
			2頭第2後臼歛	R					1
			下頸第2後臼歛	R					1
蝶類	小型鼠	蝶	蝶骨	L	若	老	水鹿台の脊椎		1
			第2中手骨	L					2
			第3中手骨	R					1
			第4中手骨	R					1
			第3・第4中手・中足骨	若			未癒合の骨端		2
		蝶花蟹	第2・第5牛二・中足骨	若			骨端未癒合(外れ)		1
			蝶花蟹						1
			蝶骨	L					1
			蝶骨	R					1
			蝶骨	L					1
蝶類	小型鼠	蝶3	蝶3・蝶4連跡骨	1つは若	1つは若	1つは若	1つは未癒合の骨端		3
			蝶2・蝶5基節骨	1つは若	1つは若	1つは若	1つは未癒合の骨端		3
			蝶3・蝶4中節骨	2つは若	2つは若	1つは若	1つは近位端未癒合(外れ)、1つは未癒合の骨端		11
			蝶2・蝶5小面骨	1つは若	1つは若	1つは若	1つは近位端未癒合(外れ)		3
			蝶3・蝶4本節骨						2
		蝶2	蝶2・蝶5支節骨						3
			扁甲骨	L			イタチではないがイタチではない(ミオコジョ)		1
			中手・中足骨						1
			蝶骨						1
			蝶花蟹						2
蝶類	種不明	蝶花蟹	蝶花蟹						1

VI ま と め

1 遺 構

調査で検出された遺構の詳細は本文にあるとおりであるが、付け足しと若干の考察を加えて主な遺構について述べる。

(1) 壁穴住居跡

検出された面や出土遺物から晩期後葉と考えられる。2棟検出されているが、どちらも堤防の頂部に構築された。遺構の確認が床面に設置された炉跡の焼土や炭化物の検出後であったため、壁面残存高は2cm以下で、プランは床面の縊まりなどや推定に頼らざるを得なかった面もある。形状は円形基調で、規模は径約4~5m、炉跡は地床炉である。1号住居跡は炉とその周辺に炭化物が散在し、埋土からは土器片が数点出土している。2号住居跡に炉跡北端には大きさ約10cmほどの礫が3点設置され、同じくらいの大きさの礫が床面中央部~南側を中心に散在している。他に柱穴が2基検出している。柱間距離は約4.5mで柱穴を結ぶラインは住居跡の中央部を通る。出土遺物では土器や石器以外に焼土から動物遺存体が出土している。遺跡からは多量の動物遺存体が出土しているが、大半が自然堤防後背側に遺棄された焼土や単体の焼土からの出土で、2号住居跡から出土したものは極微量である。これは炉の使用後に残った焼土や炭化物を屋外へ廃棄していたためと考えられる。

(2) 炉跡・焼土

検出された炉跡・焼土はいずれも後期のものである。炉跡は住居跡など他の遺構に伴うものではなく、1号焼土・3号焼土とともにb堤防後背面から検出された。炉跡は大きさ約10cmほどの礫を円形に配置した石圓炉であるが、北側の礫は地面に刺さっておらず、浮いた状態で検出された。これらの炉跡や焼土の周辺からは炭化物が泥状に溶けたような土が広がっていることや、遺構周辺に獸骨をはじめと多くの動物遺存体が出土することから、捕獲した獲物を水辺に近いこの場所で解体し、調理を行った痕跡であると考えられる。

(3) 埋設土器、配石遺構

いずれもB区e堤防側縁部で検出された。埋設土器の時期は2基は後期、1基は晩期である。すべて正立した状態で検出した。このうち1号埋設土器は大きさ約60×30cmと約20×20cmほどの粘板岩質で扁平な形状をした礫が土器を押しつぶし、土器の開口部が西側に広がった状態で検出された。土器と地面との間に隙間はほとんどなく、最小限掘り込んで設置されたものである。配石遺構については本文中で述べているように掘り込みなどはなく遺構の性格は判らないが、遺構を構成する礫は埋設土器を覆った礫と同じ粘板岩で、他にもe堤防川側縁部には同じような礫が数点散在しており、後述するが上側を覆うように設置されていたものもある。このような大型の礫は自然堤防が洪水堆積層である性格上、人為的に持ち込まれなければ存在しないため、何らかの意図をもって持ち込んだり設置したものと考えられる。

(4) その他の遺構

土坑・柱穴状土坑がある。土坑はC区・D区からそれぞれ3基・2基の検出であるが、遺構内から出土遺物はなく、用途は不明である。遺構の検出面からすべて縄文時代後期に属すると考えられる。柱穴状土坑についてはこれまで述べてきたとおりであり、特に付け加える事項はない。

(渝)

2 遺 物

(1) 土 器

今回の調査で出土した縄文・弥生土器の総量は約120箱(40ℓコンテナ)で、うち約1割を掲載した。縄文土器はほとんどが平成14年度調査で出土しているが、当該年度調査の記録は不十分で曖昧な点が多い。後期初頭から弥生時代初頭まで連続と出土しているが、土器型式学では追跡可能なものの、層別出土資料として弱いことは否めない。従ってここでは土器様相として特筆される資料に関して追補するに留める。

後期では198の単孔土器が注目される。単孔土器は研究者によって、日常的な道具と非日常的な道具との2様の考え方提示されている資料である。単孔は焼成前の穿孔である。一方、晩期中葉の土器には焼成後の穿孔が認められるものがある。420・403の壺の胴部下位には内面に肩状のハジケが認められ、外面から内面に向けて穿孔が施されたものと考えられる。このような土器は北上市大橋遺跡や大船渡市上鷹生遺跡等で確認されており、晩期において広域に認められる行為として注目される。

後期～晩期土器の器種は全て揃っており、精製土器において北上川中流域の様相から逸脱しないが、晩期中葉の深鉢は九年橋型深鉢が欠落しており、一関～大船渡地区の地域性を示すものと考えられる。

(2) 石器・石製品

a) 概要

石器・石製品は合計24674点出土し、約3%にあたる645点を実測図掲載した。約14箱(40ℓコンテナ)分に相当する。また、自然礫が約40箱分出土したが、これら自然礫の中には石器製作作用に遺跡内へ搬入されたものが多数含まれると想定される。時期は土器との伴出状況から後期前葉から弥生時代初頭を中心とする。器種別では石鏃、尖頭器、石錐、石匙、搔器、削器、楔形石器、剥片、碎片、石核、磨製石斧、打製石斧、砾器、磨石類、凹石類、敲石、石皿、台石、石錐、石棒、石剣、石刀、円盤形石器、有孔石器、岩版、異形石器、石製品が出土し、剥片・碎片・石核の製作残滓が主体を占める。石器組成上、縄文後期以降的一般的な集落遺跡の様相を示している。

b) 層位の問題

本遺跡出土遺物については層位的根拠に問題がある。1つ目はB区出土資料の出土状況があげられる。報告資料の大半は平成14年度調査のB区出土遺物で、B区自然堤防上に廃棄されたものである。B区では崩落層、洪水砂層と人為的堆積の可能性が高い黒色～暗褐色土層の互層が確認されており、遺物はそれら地層内からほぼ途切れることなく出土していると言う。石器・石製品については年度ごとに行われた調査層位データをそのまま掲載したが、正しく新旧関係を表している可能性は低い。本遺跡のように洪水による削平と再堆積を繰り返す場所の層序は、地層の上下関係だけで新旧を判断する

のが困難な場合も多く、地層内堆積物の年代で各地層の年代を検証・確定していくことがある。しかし、B区は平成15年度調査で各堤防間の層対比を試みたようであるが、縄文時代の調査範囲の保存が決定したため実行されず、結果として堆積層の新旧関係は不明な部分が多い。

2つの問題は出土層の記述である。B区堤防内出土遺物の層位記述「c堤防 8～13層」、「d堤防 7～10層」のような複数層を統合した表記は、土壤学や堆積学の分野では行わない。遺物の年代検討を熱望する考古学の分野では各遺物の年代決定に「層位の根拠」を重要事項とするため、離れた地点間での対応層を追及しがちになり、複数層を統合する記述が稀に見られる。この場合、その記述に対するコメントが必要となるが、本遺跡では上記の「8～13層」という記述が、8・9・10・11・12・13層のどれかの層に対応するということなのか、あるいは「8～13層」なる地層が存在するのか、または場所によって「8～13層」を分離できないということなのか触れられておらず定かではない。

この2つの問題から、本遺跡の層序では石器を時系列で並べることは困難である。

c) 石錐のサイズ

石錐は1302点出土し、トゥール類では最も多い。このうち有茎錐が全体の約6割を占める。石材は頁岩とメノウを主体としながらも黒曜石が多量に使用されている。本遺跡周辺の遺跡（一関市清水遺跡、藤沢町相ノ沢遺跡、花泉町下館銅屋遺跡など）でも黒曜石小砾から製作された石錐が多量に出土しており、黒曜石利用が県南部の縄文遺跡の特徴でもある。

石錐のサイズ検討は、完形品を多量に出土した遺跡の比較が有効と考え、時期・地域を異にする遺跡の完形品サイズを表す指標を、一関市清水遺跡（完形石錐935点：中期末～後期初頭）、河崎の櫛擬定地（完形石錐608点：後期前葉～晩期）、軽米町長倉I遺跡（完形石錐521点：後期中葉）、北上市大橋遺跡（完形石錐171点：晩期）の4遺跡で検討してみた。なお、石材ごとで各遺跡の完形個体を検討し、同一石材10点未満のものについては除外した。

その結果、長さの指標である「長／幅の平均値」では、清水の1.3～1.4を最小値とし、河崎で1.4～1.6、長倉Iで1.6～1.9、大橋で2.0～2.4と、時期が下るにつれて大きくなる傾向が読み取れる。一般に縄文中期までは無茎錐の比率が高く、時期が下るにつれて有茎錐の比率が増大していく。河崎と長倉Iの有茎錐・無茎錐の長幅比平均値では、有茎1.4～1.7で中央値は1.6であるが、無茎は1.2～1.5で中央値は1.3となり、有茎の方が長い傾向が出ている。したがって、時期が下るにつれて無茎の減少と有茎の増大が明確になることと、石錐の長さ指標の平均値が増大することは相関すると考えられる。この傾向は「長／重量の平均値」の検討からも窺えた。

一方、厚みの指標である「長／厚の平均値」指標では河崎が4.6～5.1で中央値と低いに対し、他3遺跡は5.3～6.3と高い。数値の高いほうが長く薄い傾向を示すが、河崎のみやや厚みがあり短いと言える。石材別にみても、同地域に位置する清水では、長さ指標は河崎より小さいに対し、厚さ指標では河崎より大きいため、清水が河崎より薄手の資料が多いことを示している。しかし、河崎は他の遺跡より厚みのある有茎円基、円基の占める比率が高く、そのことが指標に表れている可能性もある。以上、簡単な指標比較ではあるが、石錐は時期が下るにつれて長くなるものの、同一形態が大きくなるのではなく、有茎への転換によって長大化すると言えるだろう。このなかで、後期層出土資料を主体とする河崎では、一般的な後期の長さ指標を示す一方で、円基錐の比率が高いことに特徴がある。これが、河川漁撈を生業に組み込んでいる河崎の特徴なのか、あるいは地域性なのか、他の多くの資料も含めて検討を要する。

(3) 土 製 品

a) 土偶

76点出土した。これは精査を行った面積を中心としたもので遺跡全体が包含する数はかなり多く、県内でも最大規模であると推測される。各調査区の出土分布数や時期の内訳は本文にあるが、縄文後期～晚期の範疇で、後期が64点、晚期が12点、時期不明1点である。後期のものが8割以上と圧倒的に多く、9割以上がB区からの出土である。他の調査区からは検出時およびトレンチからの出土であり、傾向を述べるものではない。よって一部ではあるが包含層の精査を行ったB区を対象に出土傾向を考察する。

B区から出土した土偶は全体の92%にあたる70点である。内訳は後期前葉19点、後期中葉3点、後期後葉38点、晚期前葉2点、晚期中葉6点、晚期後葉が1点、時期不明1点で、後期87%、晚期13%である。晚期の遺物包含層の調査は第1層～第3層（大洞C2式以降）まで行った。主体は第3層で大洞C2式の遺物包含層であるが、大半が検出のみで調査が終了したのにに対し、後期の遺物包含層は精査を行った調査区の南西側にあるa-b, c, dなどの各小堤防からの出土であり、結果的に多く出土したものに過ぎないと思われる。

下の図はB区の出土分布傾向を示したもので、以下の傾向が見える。①後期の土偶が小堤防に集中すること。②V類(晚期中葉)の分布がe堤防第3層の堆積土の外縁部に集中すること。このことから出土した土偶の大半が地形的に低い場所に廃棄されたものである可能性が考えられる。その根拠として、最も多く出土するⅢ-C05・Ⅲ-C15・Ⅲ-C17グリッドはいずれも堤防後背面～旧流路にあたり、土偶以外にも廃棄された焼土や炭化物、動物遺存体が多く出土する捨て場であったことが上げられる。一方でd堤防西端部から傍せの状態で出土した蛭巣土偶(52)は30×30×10cmほどの粘板岩質の角礫の下から検出され、人為的に設置されたものと考えられる。ただし、土偶との間に空間はなく、山形県杉沢遺跡や岩手県立石遺跡の埋納例にみられる掘り込みはない。また人為的に持ち込まれたと思われる角礫が1m離れた北側にも1点出土しており、長さ30cmほどの大きさであるが、関連は不明である。埋設土器や配石遺構などが同じく堤防縁部で検出されていることから、土偶もこのような場所に集中して設置されたが、二次的な要因（地震や洪水などによる縁部の浸食や崩落）で散在して出土した可能性もある。

他にアスファルトによる修復痕が観察できるのが2点ある。どちらも後期のものであるが、晚期にも使用されていたことが、アスファルト塊が入った同期の鉢形土器で確認され、分析鑑定の結果、既存の産地とは異なる第3の産地からの搬入であることが確認された。

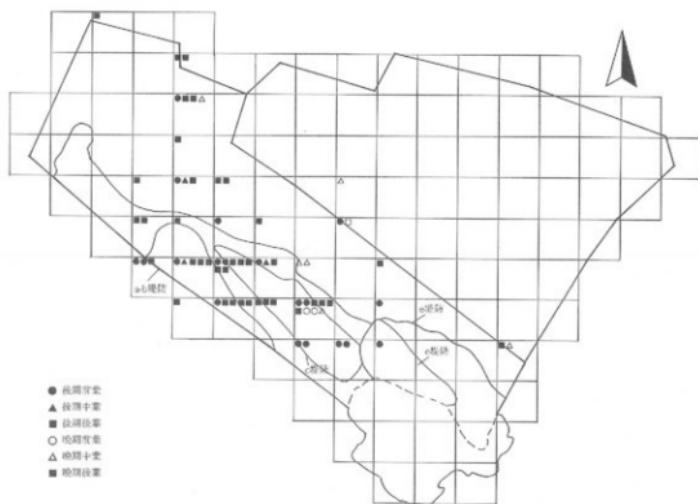
b) 耳飾り

72点出土した。調査区ごとではB区が70点、C区が2点である。タイプは、I類：耳栓形、II：臼形、III：滑車形、IV：環状形の4つに分けた。朱塗りが施されているのはI類：5/5、II類：17/20、III：1/42、IV：1/5となっている。完形品で出土したものはI類：5/5、II類：12/20、III類：0/42、IV類：3/5となり、小形のものが残る確率が高くなり、薄手の構造のIII類はすべて破片で出土している。時期はI類が晚期、II類は後期、III類は後期後葉～晚期前葉、IV類は後期を主にそれぞれ出土する。

大半が出土したB区の分布図をみると、土偶と同じくe堤防の川側縁部と小堤防後背側に集中しているが、よりその傾向が強いのが判る。特にIII類はe堤防の縁部に集中して出土する傾向にあり、残存率がすべて1/2以下のものであることから廃棄された可能性が高い。

c) 土錘

有溝土錘が6点出土した。いずれも用途は投網の錘として使用されたと考えられ、重量は6.38g~



土 錘



耳 飾 り

第192図 土製品出土分布図

4 河崎の横瀬定地の縄文人の漁撈活動について

31.0gである。これらの土製の錘は沼や流れの緩い砂泥底の地形、本遺跡に当てるに、北上川本流の流芯からはずれた河岸や流れの緩慢な狐禅寺狭窄部付近で主に使用されたものと考えられる。

d) その他土製品について

上記以外の土製品で特徴的なものについて述べる。動物形土製品は2点出土しているが、イノシシを模したものが1点、カメを模したものが1点である。日下和寿氏の『岩手県内の動植物形土製品の集成』によるとイノシシを模したと思われる土製品は県内各地で十点以上で、北上川水系に多く、本遺跡に隣接する花泉町の貝鳥貝塚などから出土している。またカメを模した土製品は県内では60を超える例が報告されており、北上川水系の水沢市以南ではこれまで出土例がなかったようである。出土した土製品は甲羅と右後足と思われる部位が付き、甲羅部分には沈線文、右後足前の甲羅後側縁部には刻みが施されている。

飾り玉は13点出土したが、4点については今回主に魚骨の検出を目的とした2mmメッシュ、1mmメッシュの飾掛けを行って検出できたもので、同じものが検出できずに廃棄された可能性がある。

スタンプ形土製品に施される菱形・矢羽根状などのモチーフにある左右対称の文様は盛岡市蔦内遺跡、平泉町新山権現社遺跡など縄文後・晩期の遺跡から出土している。

3 遺 跡 の 性 格

今回の調査で検出された遺構や遺物、試掘によって判明した遺物包含層の広がりなどから本遺跡で縄文時代後期～晩期にかけて集落が営まれていたことは確実である。今回一部の調査にとどまったとはいえ、自然堤防という限られた生活空間をどのように活用したのかを調査区内で最も広い面積の検出・精査を行い、土坑を除く全ての遺構を検出した調査B区の概要から推察したい。

本文中にるように調査B区の地形は山側の大堤防（e堤防）と川側の小堤防群（a-b, c, d堤防）から成り（第3図）、大堤防の標高が堤防絆際で約16m、堤防頂部で約17.5mあるのに対し、小堤防群の標高は堤防頂部で約15m、堤防間の洪水路底面では約13.5mとなっており、大堤防と小堤防間に約2mの比高差が存在する。当時の河川水位の標高は不明であるが、現在の標高は約20mで河川水位との比高差が10m以上あるにもかかわらず北上川の洪水災害が頻発するこの地では、当時も高い頻度で洪水があったことは想像に難しくない。よって、自然堤防というきわめて限られた立地条件で生活をする上で、より標高が高い場所を居住地として選択するのは自然であり、e堤防（自然堤防上で一番標高が高い場所）では縄文時代晩期の堅穴住居跡が2棟検出されている。これに対し、小堤防群からは大堤防では検出されない柱穴状土坑が10基集中して検出されている。6号柱穴状土坑以外はすべて縄文時代後期前業～中葉面での検出である。これらの小土坑が掘られた時期については縄文海退後まもなくの時期で、恒常的な低湿地環境にあったために堅穴式ではなく掘立式の建物を選択したとの推測も成り立つ。ただし、建物は住居に使用された可能性もあるが、捕獲した獲物の解体作業や漁撈活動が盛んに行われた状況からこれらに関連する施設であった可能性もあると考える。その他の遺構では埋設土器・配石遺構が堤防縁部に集中して検出されているのが目につき、自然堤防上の限られた空間を用途に応じて使い分けて利用していた様子がみえてくる。ただし、繰り返しになるが、空間の利用については堤防全体を調査して初めて全容が判明するもので部分的な調査の本調査ではこれ以上空間の機能的役割について述べることは避けたい。

（溜）

4 河崎の柵擬定地の縄文人の漁撈活動について

はじめに

今回の調査で出土した動物遺存体から縄文人の生活のなかで重要な役割を担っている狩猟活動とともにこれまで知られることができなかった岩手県内陸部における縄文人の漁撈活動の一端が明らかになった。縄文人にとって川で身近に捕獲される魚は貴重なタンパク源であり、生活サイクルの中で漁撈は狩猟・採集活動と同じく重要な生業であったと考えられる。県内の沿岸部ではこれまでの貝塚調査などによって蓄積された資料から狩猟や採集活動とともに、漁撈活動やその対象となった魚種についても詳細が知られている。一方で、内陸部の遺跡では一部の淡水性貝塚遺跡や洞穴遺跡を除き、出土する自然遺物はプラスコ状ビットや炉の周囲から出土する炭化材や種実が主で、狩猟活動や漁撈活動については動物依存体の残存率が低く、たとえ出土してもシカやイノシシなどの大型獣の一部のみで、出土した道具から獲得法が推測されることはあっても具体に獲得対象となった獲物については殆ど知られていない。このような状況下で花泉町中神遺跡の発掘は貝塚以外の一般遺跡にあって、大量の動物遺存体が出土した稀な遺跡として注目され、特に出土した魚骨からは河川中心の漁撈活動を営んでいたことが判り、内陸部における縄文時代晩期～弥生時代前期の人々の生活の様子を知る上で貴重な資料となった。また最近でも岩手県埋蔵文化財センターが調査を行った一関市清水遺跡や千厩町清田台遺跡の焼土遺構から動物遺存体が出土し、県南地方と限られた地域ではあるが、徐々に狩猟・漁撈活動の一端が明らかにされつつある。そのような中で行われた東磐井郡川崎村河崎の柵擬定地の縄文面の一部調査は、前に述べた花泉町中神遺跡に先行する縄文時代後期前葉～晩期中葉の時期を中心とする遺跡で、ニホンジカ・イノシシを中心とする獸骨などとともに多数の淡水性魚類の骨が出土し、北上川中流域～下流域における漁撈活動の様子を知る貴重な調査となった。

(1) 河崎の柵擬定地周辺の環境

a) 遺跡の立地と環境

本遺跡はJR大船渡線門崎駅から南に約1.2km、川崎村役場から西北西約1kmに位置し、日本で全長第5位を誇る大河である北上川が洪水時に上流から運んだ土砂が堆積して左岸に形成された自然堤防上に立地する。この豊かな川は古来から交通の要所であったが、背景には、狭窄地形の左岸から川に延びる通称『横石』と呼ばれる大きな岩盤の存在があった。この岩盤の存在によって湯水時は船の通行が困難であったため、船人は足止めされた。これによって川崎村は古くから宿場町として栄えてきた。また、現在は『横石』はないが、川を横断するように延びるこの岩盤周辺は縄文時代からよい漁場であったと思われる。

b) 遺跡周辺に棲息する魚類

現在、遺跡の周辺にある北上川中流域～下流域および各支流には現在約30種を超え



河崎の柵擬定地周辺の航空写真

る魚類が生息していると考えられる。これらの魚種はその棲息環境によって大きく4つのグループに分けることができる。

第Ⅰ類：泥底で緩い流域を好み棲息する魚種

(ウナギ・コイ・フナ類・ドジョウ・タナゴ・ナマズなど)

第Ⅱ類：砂礫質で中流域など清流の速い流れを好み棲息する魚種

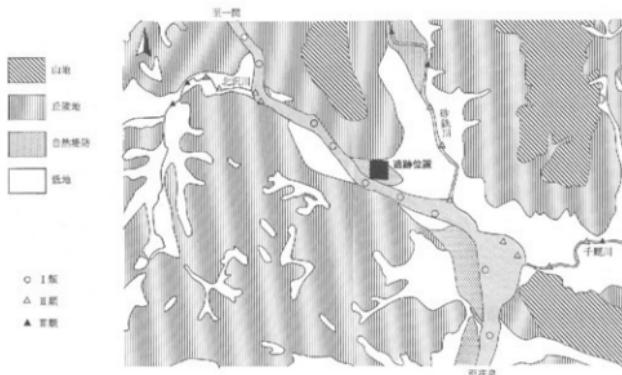
(アユ・ウゲイ・アブラハヤ・カジカなど)

第Ⅲ類：冷水性の魚種で支流の中～上流域に棲息する魚種 (イワナ・ヤマメなど)

第Ⅳ類：特定の季節に産卵のために遡上してくる魚種 (シロザケなど)

これ以外ではハゼ科の魚種などが棲息している。またウゲイのように下流～上流域まで広く棲息するものもあり、便宜上まとめるグループに含めたものもある。第193図は現在の遺跡周辺の地形図と魚類の棲息分布図である。遺跡から上流にある一関市千歳付近までの約5kmにおよぶ流域は狐禪寺狭窄部と呼ばれ、両岸に古生代の岩盤がそびえる狹隘地形のため水深があり、流れは緩慢で、渦りがきつい。このため渦水や砂泥底を好む第Ⅰ類のウナギやコイ・フナ類・ドジョウなどが棲息し、また産卵のために遡上してくるサクラマスが身を潜めるのに適した環境になっている。また流芯からはぎれた河岸の浅瀬にはコイ科のモソゴ属が群れをなして棲息している。これに対し、遺跡からやや東側の下流域は狹隘地形により押さえられていた川水が広がって間折された地形で、最も川幅のある新北上大橋付近～千厩川合流地点では流芯以外に浅瀬が広がり、アユやアブラハヤ・ウゲイ・ギバチなどの棲息に適した環境になっている。また一方で清流の冷水帯を好むイワナ・ヤマメは遺跡付近の北上川本流域には棲息しておらず、支流の北沢川や砂鉄川、千厩川などに棲息し、ヤマメは支流の中～下流域でアユの棲息域と重なっている。このように遺跡付近には多くの魚種が異なる環境で棲み分けている。

自然と密着した生活を営んでいた縄文人が森に住む獣と同じく、川に生息する魚の生態を熟知していたは間違いないく、当時の環境が現在とは異なっていたとしても魚種ごとに適応できる環境は大きく変化することがないことから、捕獲対象となる魚種・漁場はあらかじめ見当をつけていたと思われる。



第193図 遺跡周辺の地形と生息する魚類の分布図

c) 漁期

現在の遺跡付近では、雪解けの影響が終わり、水温が上昇する4月中～下旬頃からサクラマスの遡上がみられ、砂鉄川下流域～北上川合流点ではコイの産卵が見られる。同時にフナなど他のコイ科の魚類も産卵のために浅瀬や岸辺、用水路など身近な場所にその姿を見せるようになる。初夏を迎える頃になると、春に遡上してきたアユも大きく育ち、やがて群れから離れ、なわばりをもつようになる。やがて9月中旬～10月頃になるとアユは産卵のために下流へ移動するが、代わってサケの遡上がりが始まり、河川付近は最もぎやかな季節を迎える。サケの産卵が終わると河川も次第に冬季の静寂を迎える。

現代と違い、食糧確保が難しい縄文時代にあって漁撈は周年食糧を手に入れることのできる手段である。特に採集活動が出来ない冬季は、狩猟活動と並び、貴重な食糧確保の手段であったに違いない。

一般に魚類には魚種ごとに活動に適した水温があり、適水温に近いほど個体は活性化し、適水温から離れるほど活動は鈍る。海水魚の場合、移動する事によって、適水温に近い環境へ自ら移動し、生命を維持している。一方で決まった空間にしか棲息できない淡水魚にとって、高水温・低水温の適応性はかなり広いものが多いが、イワナ・ヤマメなどサケ科の冷水性魚類以外は水温が10℃以下になると極端に活性が下がるものが多く、さらに5℃以下になるとコイ科の魚類は低水温により活動を停止する。このため冬季は渓など水深のある場所に集まることが多く、この習性を熟知していた縄文人はこれらを網などで捕獲していたと考えられ、季節に応じた手法で漁撈活動を展開したと思われる。

(2) 出土遺物からみる漁撈活動

a) 調査で出土した魚骨

調査によって採集した淡水魚の魚骨はウグイ、ウナギ、ギバチ、フナ(キンブナ)、サケ、アユ、サケ科の一種(イワナ・ヤマメ)などで特にウグイとウナギ・アユ・キンブナの数が多いが、渦流を好むフナ・ウナギと清流を好むアユは生息域が全く異なるので、同じ川でも漁場を選んだ可能性が高い。

一方、淡水魚より数は減るもの、マイワシ、サバ属の一種、スズキ、マグロ属の一種などの海水魚も出土している。現在、北上川を下り、旧河口部である石巻湾までは約60kmある。縄文時代の海岸線は前期初頭の海進ピーク以降、後退するが、後期末の碱水域の北限は宮城県桃生郡桃生町深山遺跡にあることが調査から推測され(註1)、本遺跡からは約35km未満の距離であり、海産資源の搬入行程は容易であったと思われる。またスズキは内湾～河口域に生息する魚で、餌となる小魚を追って河川にも入り、大型のものほど河川の奥まで遡上する。出土した個体は歯骨高から推定した体長では55～60cmのフコ級であり、河口から35kmの距離であれば、遺跡周辺まで遡上した可能性は十分あったであろうと考えられる。他にはクジラの骨片やサメの遊離歯が8点出土しているが、これらは搬入品であると思われる。サメの歯が出土した県内の北上川流域遺跡では縄文時代晩期の遺跡である九年橋遺跡第5次調査出土のオオザメの遊離歯が知られているが、後期では本遺跡の他に花泉町貝島遺跡・藤沢町相ノ沢遺跡でサメの遊離歯が出土しており、古くから垂飾品として内陸部に搬入されていたと考えられる。

b) 出土した漁具と漁法

漁撈に使用された漁具は土錘6点、石錘3点、鹿角製ヤスが出土した。他に先端に石錐を差し込んで使用された鹿角製の根拠みが1点出土しているが、漁撈で使用されたかは不明である。これらの出土品から漁撈活動の全容を探るには不足であるが、他の遺跡から出土している漁具との比較から活動の一端を推察したい。土錘は有溝土錘で耐久性から砂泥底の比較的の流速の緩い場所での網漁に使用さ

れたと考えられ（註2）、主に第Ⅰ類に属するウナギやフナ類・ニゴイなどのコイ科の魚種を対象に漁撈を行ったと思われる。また、流速がある砂利底や砾底の場所では石錘が使用され、このような場所ではヤマメ、アユ、ウグイ、ギバチなどの第Ⅱ類・第Ⅲ類に属する魚種が主な捕獲対象となったと思われる。また、ウナギやギバチなどは日中は物陰に潜み、夜間に摑取活動を行うため、日中行う投網漁法はあまり有効ではなく、夜間に投網を行なったり、他の漁法、例えば延縄による仕掛け漁による捕獲も考えられる。他の魚種においても釣りやヤスによる刺突漁、タモによるすくい網漁などの簡易的漁法から臥・梁など川の流れを利用する罠など多岐にわたる方法を駆使していたと考えられる。

県内の遺跡を対象に漁具の出土傾向を見た場合、花泉町貝鳥貝塚、鹿沢町相ノ沢遺跡など湖沼や大規模河川付近に立地し、かつ日常的な漁撈活動を十分まかなえるほど緩慢な流れができる場所が広がっている条件にある遺跡ほど土錘の出土量・依存度が増える傾向にある。通常、河川において最も魚が集まりやすい場所は身を寄せて休むことができる流芯からはずれた流れの緩いどみや外敵から身を隠す大きな岩の陰などであり、このような場所が多いほど簡単に多くの魚を手に入れることができる。逆に言えば、魚の数が十分な大規模河川でも流芯からはずれる緩流域、すなわち土錘を使用した投網漁が可能な範囲が日常的な漁撈活動を満たすことができない規模であった場合には、流速のある場所での漁撈活動が必要になり、軽量な土錘の使用による投網では対応できないため、別に石錘を使用した漁撈（この場合、投網漁法だけとは限らない）を展開する必要があったものと考える。大規模河川である北上川左岸に立地し、漁撈活動を展開するのに条件が良いと思われる平泉町新山権現社遺跡や盛岡市手代森遺跡において土錘と比較して圧倒的に石錘の出土する割合が大きいのはこのような漁撈対象河川における漁場の地形的な形態の違いに起因した漁法の違いにあると考えられる。また盛岡市菊内遺跡や軽米町長倉I・II遺跡、大日向II遺跡のような中規模以下の河川付近に立地している遺跡でも緩流域が広がっていれば、土錘を使用した投網ができたと考えるが、規模は小さく日常的な漁撈活動は流速のある場所を中心に展開され、石錘を使用した漁撈を主としていたと考えられる。

(3) まとめ

今回の調査は縄文時代後期～晩期における北上川中流～下流域付近の漁撈生活の一端を知る上で貴重な成果であった。これまで岩手県内の内陸部における漁撈活動の痕跡は零石町蔵内遺跡で川の流れを利用して魚を追い込む歎が検出されたのをはじめ、各遺跡から漁撈に使用したと考えられる土錘・石錘などの漁具が出土しているが、実際に捕獲し、食べた証である魚骨は一部の洞穴遺跡や淡水性貝塚を有する花泉町の数遺跡を除いてほとんど検出されていない。これまで魚骨が検出された内陸部の遺跡は千厩町清田台遺跡や住田町小松洞窟遺跡、岩泉町岩谷洞窟遺跡などでいずれも沿岸部に隣接する内陸部に位置し、周辺の河川で捕獲したサケ科の一種（サケ・イワナ・ヤマメ）とアユ・コイ科（ウグイか？）の一種を主な対象魚にしたが、大半は海水性魚類に依存している。これは地理的な要因（海水魚の搬入が容易）の他に小規模河川周辺の地域では集落生活を営む上で、必要な魚類の絶対量を確保することが困難であったため、採集や狩猟以外に食料を確保することが可能な海水性魚類の獲得に依存することが多かったことが一因と考えられる。

対して、本遺跡をはじめとする、北上川中流～下流域に立地する花泉町貝鳥貝塚、同中神遺跡の調査では海水性魚類よりも淡水性魚類の遺存体の出土数が圧倒的に多く、日常生活を支えるのに足る一定の漁獲量が北上川をはじめとする周辺の河川から得られていたことを示している。その一方で出土する海水性魚類は日常は河川漁中心の漁撈活動を行う縄文時代の人々も、可能である限り食の多様性を求め、交易などで積極的に海水性魚類の獲得を目指したと考えられる。

一方、北上川上流～中流域の遺跡から出土する海水生魚類の骨はマダイやマグロ属の一種・サメの歯など食料以外に垂飾品などとして二次的な目的に利用されるものに限られてくるのは食料として摄入できる距離の限界点を意味している（註3）。

北上川流域から奥羽山地側の山間部の河川上流に位置する遺跡では、採集や狩猟活動に比重を置きながら、近くの渓流でイワナやヤマメ・ウゲイなどの捕獲を行ったものと考えられる。また狩猟活動は広範囲で行われることから、食料を求めて中規模河川や湖沼へも積極的に出向き漁撈活動や交易を行っていた可能性も考えられる。（添）

- 註1 「縄文時代晚期貝塚の研究2 中沢貝塚II」の北上川下流域における海岸線変遷想定図において縄文時代後期末～晚期初頭の鹹水域の北限を桃生郡桃生町深山遺跡を北限とし、汽水域を旧北上川と北上川の合流地点と想定している。
- 註2 「郡野川流域の漁網鍤」の記述のなかで上野修一氏は有溝土鍤が砂泥底の漁場で使用された可能性について述べている。
- 註3 秋田県大館市の『池内遺跡』では沿岸部から約50kmあるにもかかわらずカツオ、サバ、ホシザメなど数種類の海水性魚類の遺存体が出土し、当時の加工・保存技術や摄入経路（交流）を考える上で貴重な遺跡である。

〈引用・参考文献〉

- 草間俊一・金子浩昌 1971 『貝塚発掘調査報告書』：花泉町教育委員会
 東北大文学部考古学研究所 1995 『縄文時代晚期貝塚の研究2 中沢貝塚II』：東北大文学部考古学研究所
 東北大文学部考古学研究所 1997 『中神遺跡の調査』：花泉町教育委員会
 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 1982 『蔵内遺跡発掘調査報告書』：岩文振第32集
 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 1993 『新山櫛現社遺跡発掘調査報告書』：岩文振第188集
 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 2000 『長倉I 遺跡発掘調査報告書』：岩文振第336集
 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 1998 『大日向II 遺跡発掘調査報告書 第5次～第8次調査』：岩文振第273集
 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 2000 『相ノ沢遺跡発掘調査報告書』：岩文振第332集

5 岩手県における黒曜石産地の問題点

石器時代である縄文時代において、黒曜石はごく一般的な石製利器の素材であるが、県内の縄文遺跡から出土する黒曜石製石器は、石器群全体に占める比率は意外なほど低い。たとえば北上市大橋遺跡では大テンバコで700箱近い遺物が出土し、剥片石器も推定5万点以上回収されたが、黒曜石製石器の出土数はわずか38点である。また、県央の盛岡市手代森遺跡・熊堂A遺跡、県北の軽米町長倉I遺跡や沿岸北部の拠点的集落である普代村力持遺跡でも大量の遺物が回収されているが、黒曜石の出土数は全く無いか出土してもごくわずかである。これに対し、磐井郡の北上川沿いの遺跡では石錐製作に特化した黒曜石利用がなされている。本遺跡もそのひとつであるが、小テンバコ2箱分の2168点、総重量3651.79gが出土している。また、本遺跡から出土した1302点の石錐のうち3割以上を黒曜石製が占める。さらに、周辺では一関市清水遺跡（縄文中期末～後期：石錐約2500点）、藤沢町相ノ沢遺跡（縄文後期～晩期：石錐約8000点）、花泉町下館銅屋遺跡（縄文中期～後期初頭：石錐4449点）などが質・量ともにまとまり、これらの遺跡でも、本遺跡と同様に石錐・剥片・碎片・石核などの石錐製作に関連する黒曜石製石器が大量に出土している。

現在、岩手県内では黒曜石産地が複数確認されているが、理化学分析による報告事例が多いのは半

石町小赤沢、水沢市折居、花泉町金沢の3カ所である。この3カ所で採取された黒曜石は蛍光X線分析を主とする理化学分析によつても明確に分離できないため、北上川の流路に沿つて形成された折居と金沢は、小赤沢の露頭付近から運ばれた小礫サイズの黒曜石原石が堆積する、いわゆる二次原産地と考えられている。県下の遺跡出土黒曜石の分析では、これまで3者のうちで遺跡から近距離に位置する産地名称や「零石産」・「折居産」・「花泉産」の3者の代表名として「零石系産地」と報告される(薦科1999・2000等)ことが多かった。しかしながら、現実に遺跡から出土する黒曜石は、県南の磐井郡に著しい偏りをみせ、産地「零石」に近づくにつれ、むしろその出土数は減少する。もし、仮に縄文時代に産地「零石」が開発されていたならば、石材供給量と産地からの距離の関係を示したレンフリューの減少曲線(Renfrew1982)にしたがうと、黒曜石は零石周辺遺跡で多量に出土し、産地から距離が離れるにつれて出土量の減少傾向が窺えるはずであるが、現実は逆である。

現在でも「零石産」は石器製作に適した径10cm程度のサイズがごく狭いエリアで採取可能であるが、零石周辺の縄文遺跡から出土した10cm程度のサイズを保持した「零石系」黒曜石製石器は皆無である。一方、磐井郡の遺跡から出土する黒曜石原石はほとんどすべて円磨礫で構成され、そのサイズは3~5cmを主体とする。石器サイズは元の原石サイズに規制を受けるため、3cm程度の小型石器が製作されることとなる。このことは「零石系」が「零石産」ではなく、県南の「花泉産」に限られる可能性を示唆している。

では「折居産」はどうであろうか。「折居産」については不明な点が多く、遺跡出土黒曜石の折居周辺の遺跡では多量の晚期資料が出土した前沢町川岸場Ⅱ遺跡がある。100点を越える黒曜石が出土しているが、原産地周辺遺跡としては少なすぎる。むしろ磐井郡方面から搬入された程度の黒曜石量であり、折居についても縄文人に産地として認識されていたかは判断しがたい。

結論すれば、黒曜石出土遺跡の分布と石器サイズの検討から、岩手県内の「零石系」とされる黒曜石産地は磐井郡内の北上川周辺に位置し、花泉町金沢・払田地区に二次原産地として黒曜石円磨礫の集積地となっているのではないだろうか。また、現在とは異なり、「零石産」は縄文人は広く認知されていなかったと考えられる。磐井郡内の北上川沿いに二次原産地が多数形成されている可能性を考慮するならば、今後、県内遺跡出土黒曜石の理化学分析で「零石系」と判定されても、考古学的には磐井郡方面からの供給の可能性を強く意識し、「花泉産」を通じて視点から黒曜石の検討を行う必要があろう。

(米田)

参考文献

- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999 「下館銅屋遺跡発掘調査報告書」第297集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2000 「川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書」第317集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2000 「相ノ沢遺跡発掘調査報告書」第332集
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2002 「清水遺跡発掘調査報告書」第382集
- 薦科哲男 1999 「下館銅屋遺跡出土の黒曜石製遺物の原材料产地分析」「下館銅屋遺跡発掘調査報告書」
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 薦科哲男 2000 「岩手県相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の原材料产地分析」「相ノ沢遺跡発掘調査報告書」
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- Renfrew, C. 1982. Explanation revisited. In Theory and Explanation in archaeology, ed. New York, Academic Press

写 真 図 版



調査区全景(東から撮影)



調査B区全景



e 堤防土層断面 (W→)



a 堤防土層断面 (E→)



c 堤防～b 堤防土層断面 (W→)

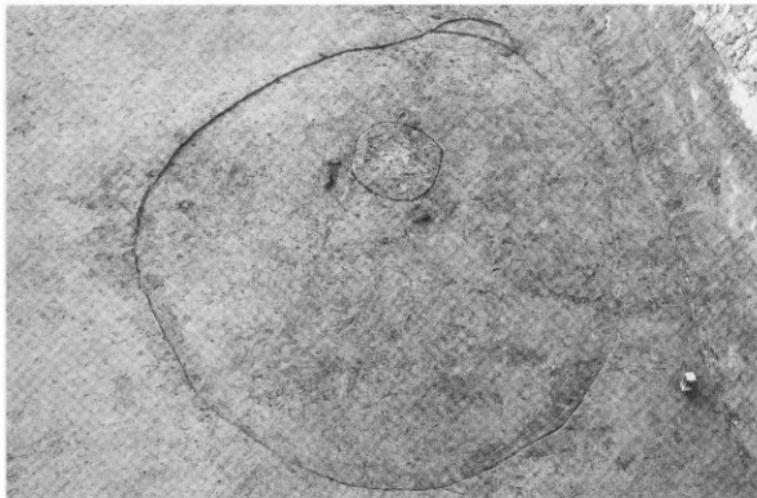
写真図版2 B区(a～c・e堤防)



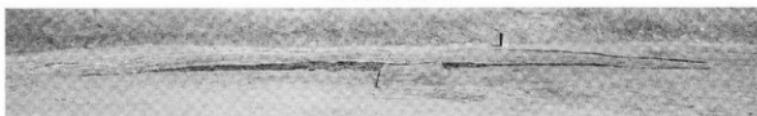
c 堤防土層断面 (W→)



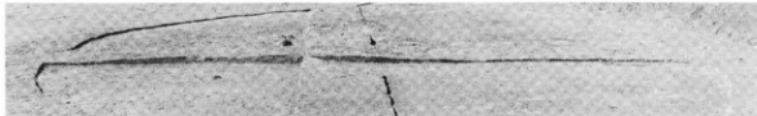
d 堤防土層断面 (W→)



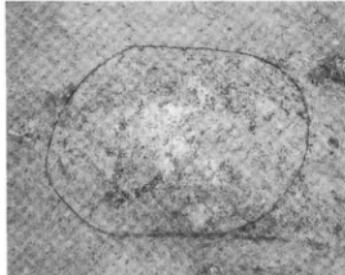
1号住居跡平面(E→)



埋土断面(S→)



埋土断面(E→)

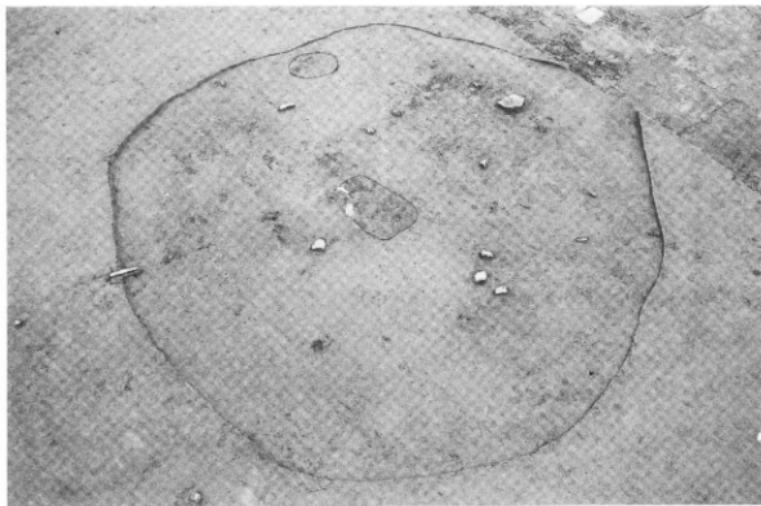


炉路(平面)

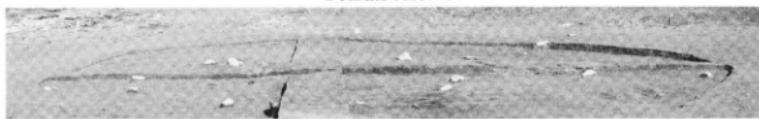


炉路(断面)(S→)

写真図版4 B区(1号住居跡)



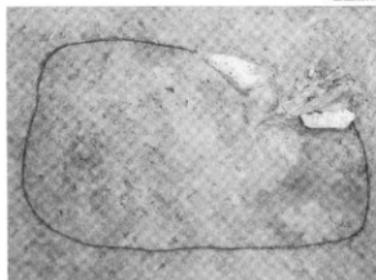
2号住居跡平面(N→)



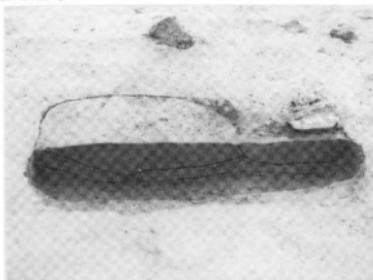
埋土断面(A-A'-S→)



埋土断面(B-B'-E→)



炉跡(平面)

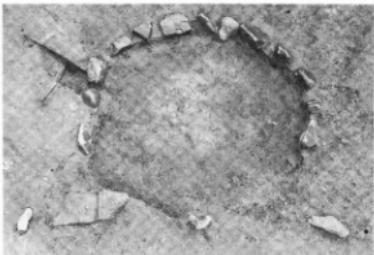


炉跡(断面)

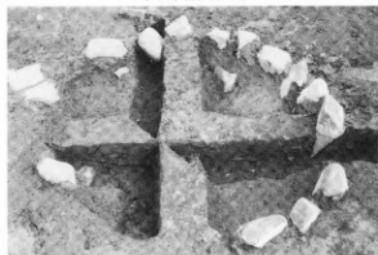
写真図版5 B区(2号住居跡)



1号炉跡(検出状況)



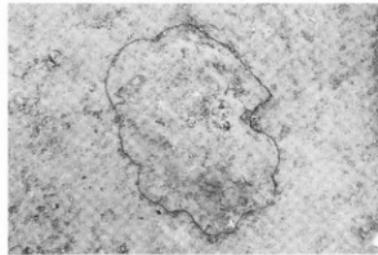
1号炉跡(平面)



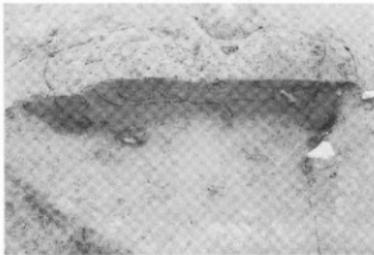
1号炉跡(断面a-a')



1号炉跡(断面b-b')



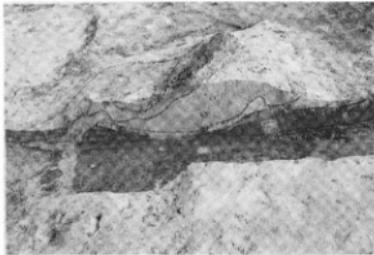
1号焼土(平面・N→)



1号焼土(断面・E→)

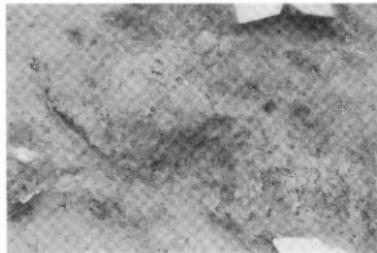


2号焼土(平面・N→)



2号焼土(断面・E→)

写真図版 6 B区(1号炉跡、1・2号焼土)



3号焼土(平面)



3号焼土(断面)



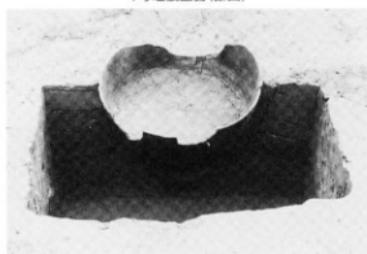
1号埋設土器(平面)



1号埋設土器(断面)



2号埋設土器(平面)



2号埋設土器(断面)

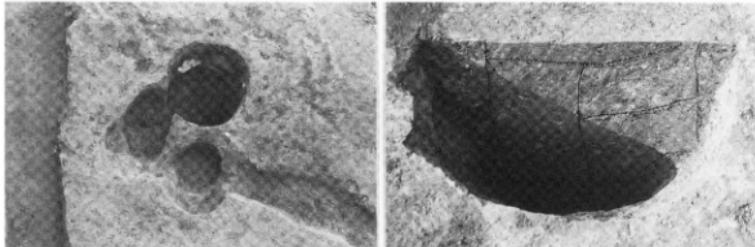


3号埋設土器(平面)

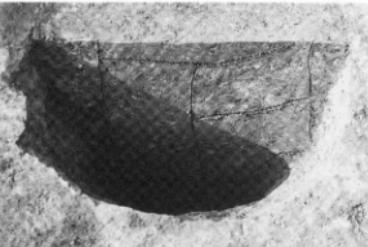


3号埋設土器(断面)

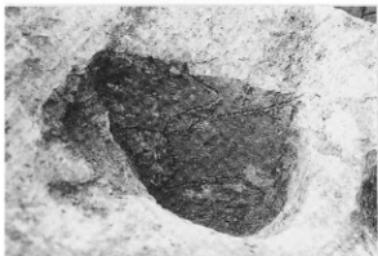
写真図版7 B区(3号焼土、1~3号埋設土器)



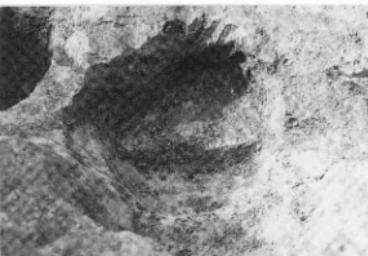
1~3号柱穴状土坑(平面·N→)



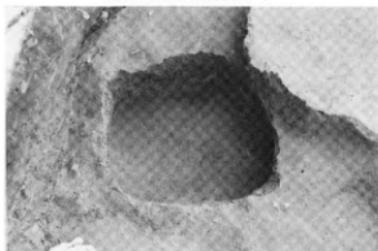
1号柱穴状土坑(断面·NE→)



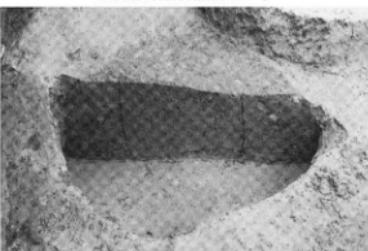
2号柱穴状土坑(断面·E→)



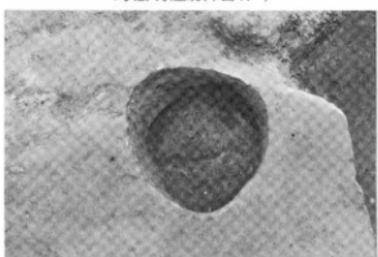
3号柱穴状土坑(断面·NE→)



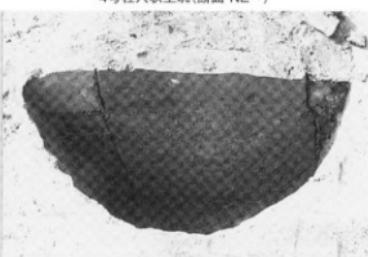
4号柱穴状土坑(平面·N→)



4号柱穴状土坑(断面·NE→)



5号柱穴状土坑(平面·N→)



5号柱穴状土坑(断面·NE→)

写真図版8 B区(1~5号柱穴状土坑)



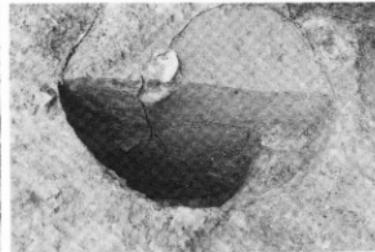
6号柱穴状土坑(平面·S→)



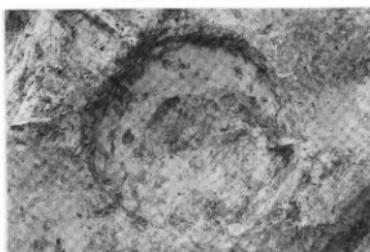
6号柱穴状土坑(断面·E→)



7号柱穴状土坑(平面·N→)



7号柱穴状土坑(断面·E→)



8号柱穴状土坑(平面·N→)



8号柱穴状土坑(断面·E→)

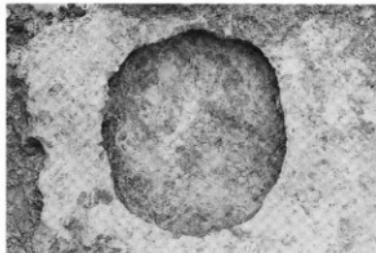


9号柱穴状土坑(平面·N→)



9号柱穴状土坑(断面·E→)

写真図版9 B区(6~9号柱穴状土坑)



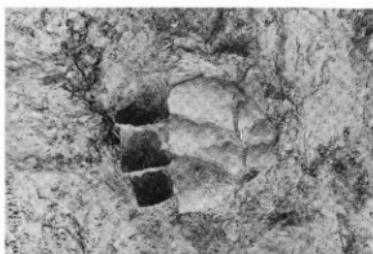
10号柱穴状土坑(平面)



1号配石遺構



C堤防後背面遺物出土狀況①



C堤防後背面遺物出土狀況②



C堤防後背面遺物出土狀況③



C堤防後背面遺物出土狀況④



土器(400)



土器(244)

写真図版10 B区(10号柱穴状土坑、1号配石遺構、出土遺物)



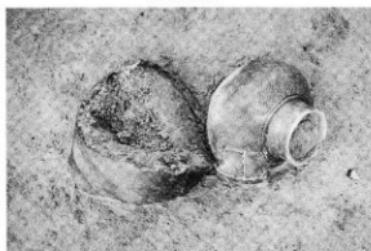
土器出土状況



土器(128)



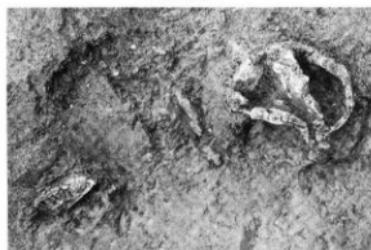
土器(420)



土器(408)



土偶(52)



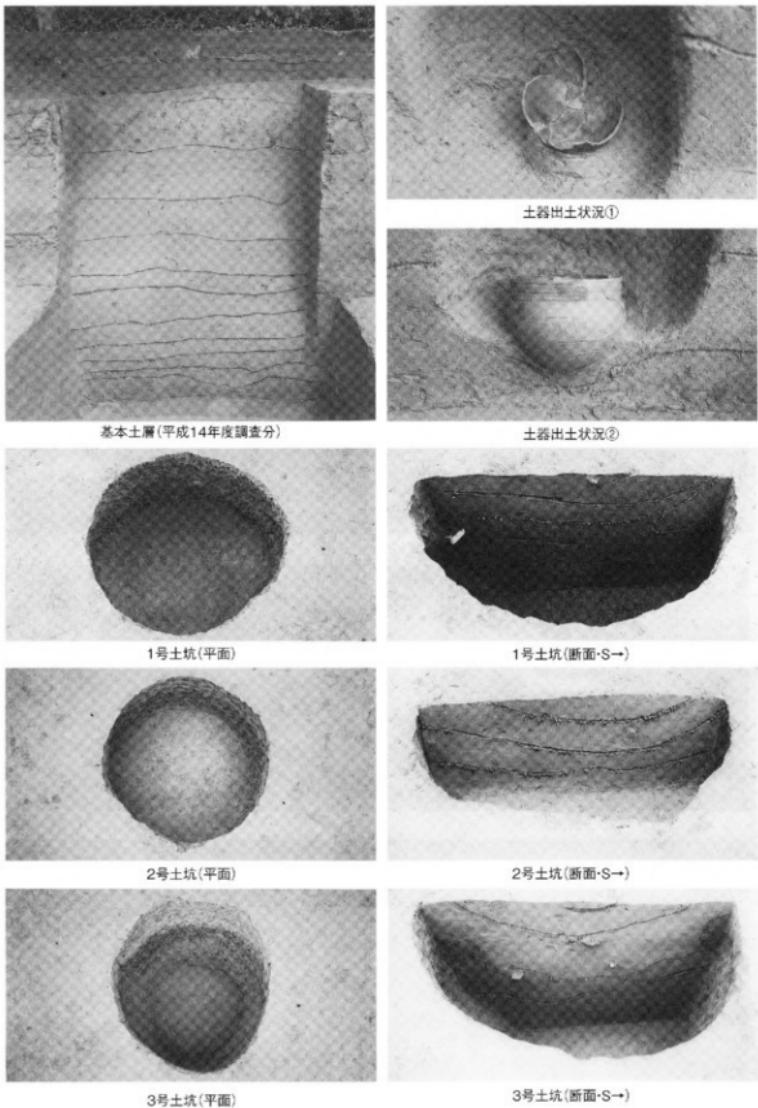
獣骨出土状況①



獣骨出土状況②



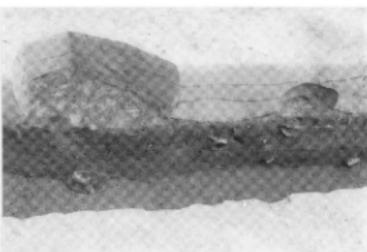
獣骨出土状況③(ニホンジカ下顎骨)



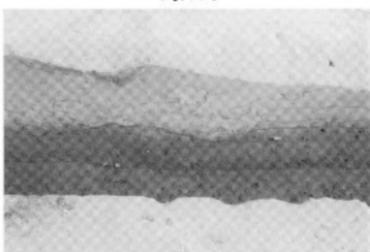
写真図版12 C区(基本土層、遺物出土状況、1～3号土坑)



1号トレンチ



1号トレンチ(断面①)



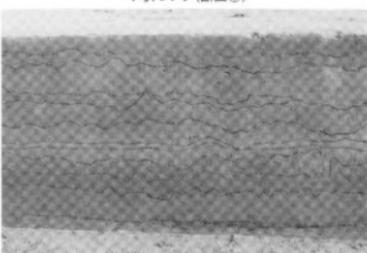
1号トレンチ(断面②)



1号トレンチ(断面③)



2号トレンチ



2号トレンチ(断面)



3号トレンチ調査風景



遺物包含層調査状況

写真図版13 C区(1～3号トレンチ、遺物出土状況)



土偶(79)



S626(石皿15)



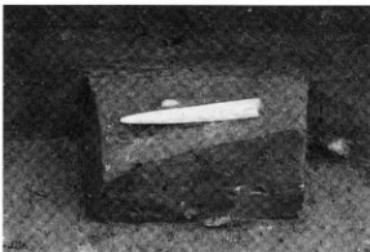
土器(267)



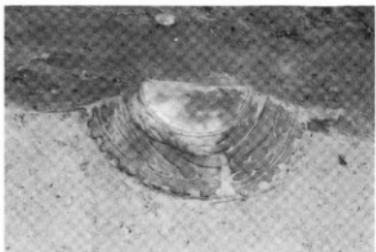
S663(石刀6)



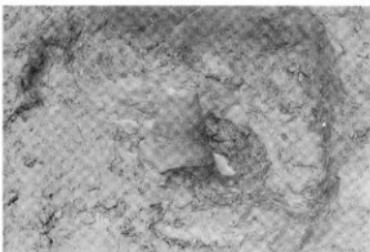
土器出土状況



S631(石劍2)



土器(280)

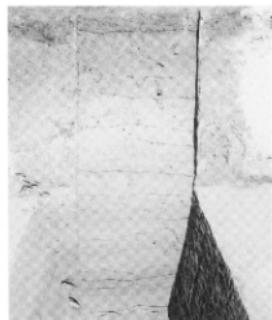


土器(93)

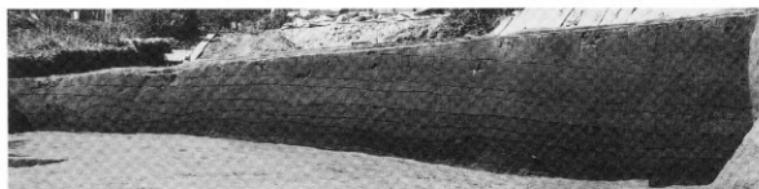
写真図版14 C区(遺物出土状況)



調査区(西から撮影)



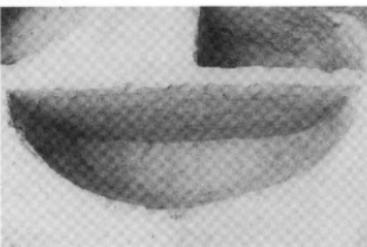
基本土層①(北壁面)



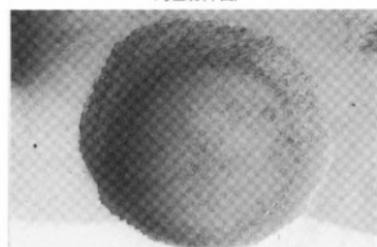
基本土層②(S-Nベルト)



4号土坑(平面)



4号土坑(断面)

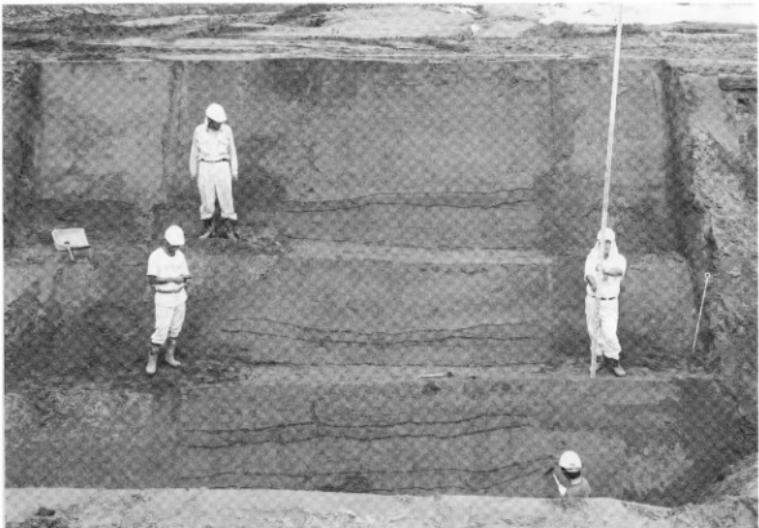


5号土坑(平面)



5号土坑(断面)

写真図版15 D区(調査区、基本土層、土坑)



1号トレーニチ(断面・W→)



2号トレーニチ(断面・SE→)



2号トレーニチ遺物出土状況①



2号トレーニチ遺物出土状況②



3号トレーニチ(断面・NW→)

写真図版16 E区(1~3号トレーニチ)



1
(土器No.349)

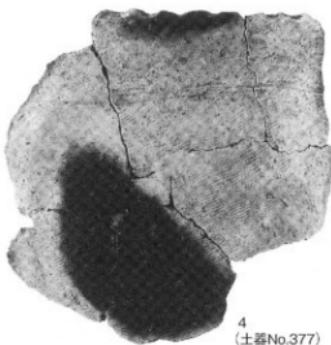


2
(土器No.431)



3
(土器No.515)

1号住居跡



4
(土器No.377)

2号住居跡



S1



1
(土器No.1)

1号炉跡



5
1号埋設土器

写真図版17 遺構内出土遺物 1



6
2号埋設土器



3号埋設土器



8
(土器No.338)



9
(土器No.159)

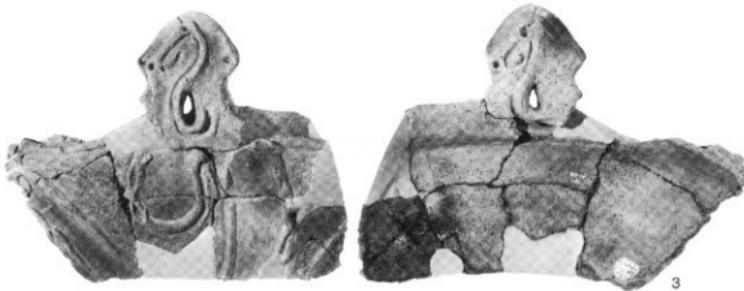


6号柱穴状土坑

写真図版18 遺構内出土遺物2



2



3



4



5



6



7



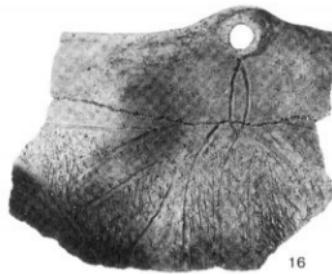
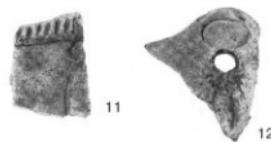
8

写真図版19 土器 1 (1~8)

1(厘米)



写真図版20 土器2(1)



写真図版21 土器3(9~16)



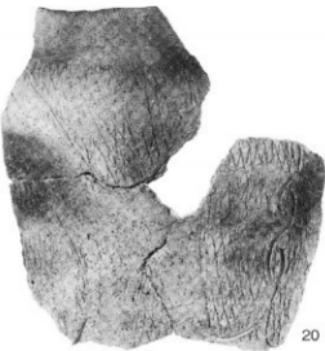
17



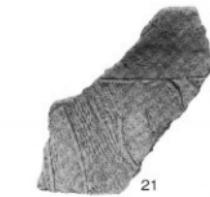
18



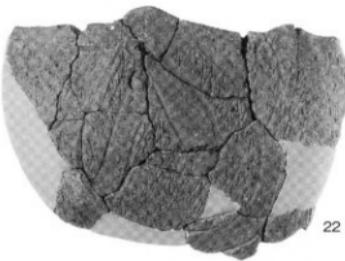
19



20



21



22



23



24

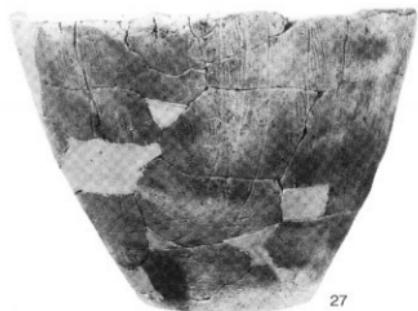


25

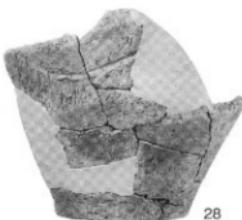


26

写真図版22 土器4 (17~26)



27



28



29



30



31



32

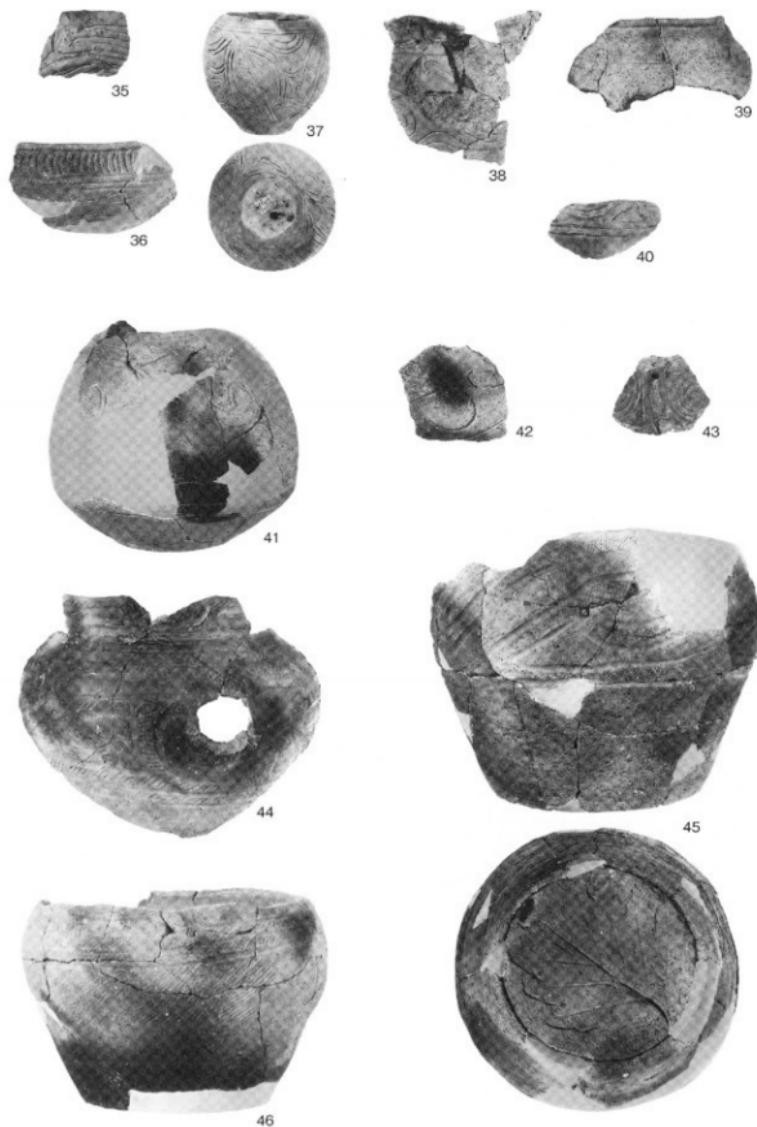


33



34

写真図版23 土器 5 (27~34)



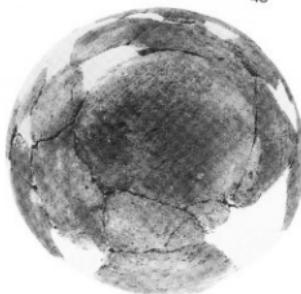
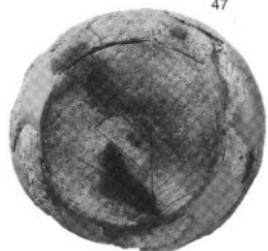
写真図版24 土器6 (35~46)



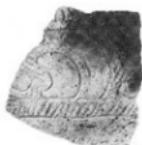
47



48



49

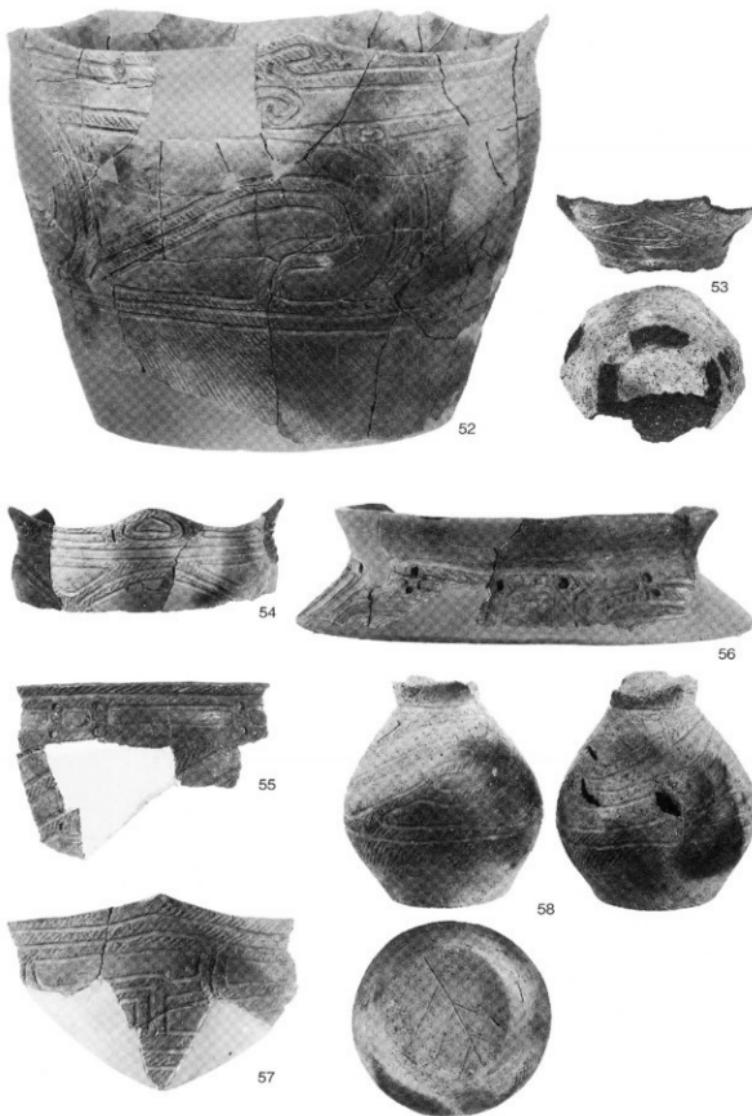


51

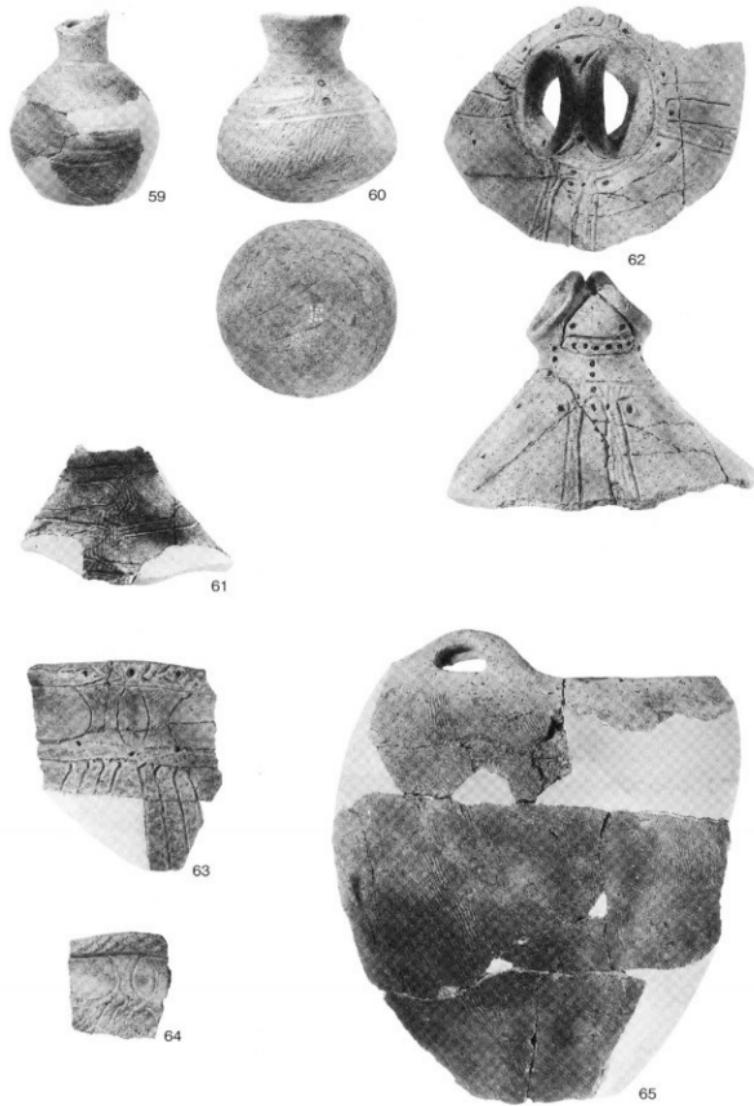


50

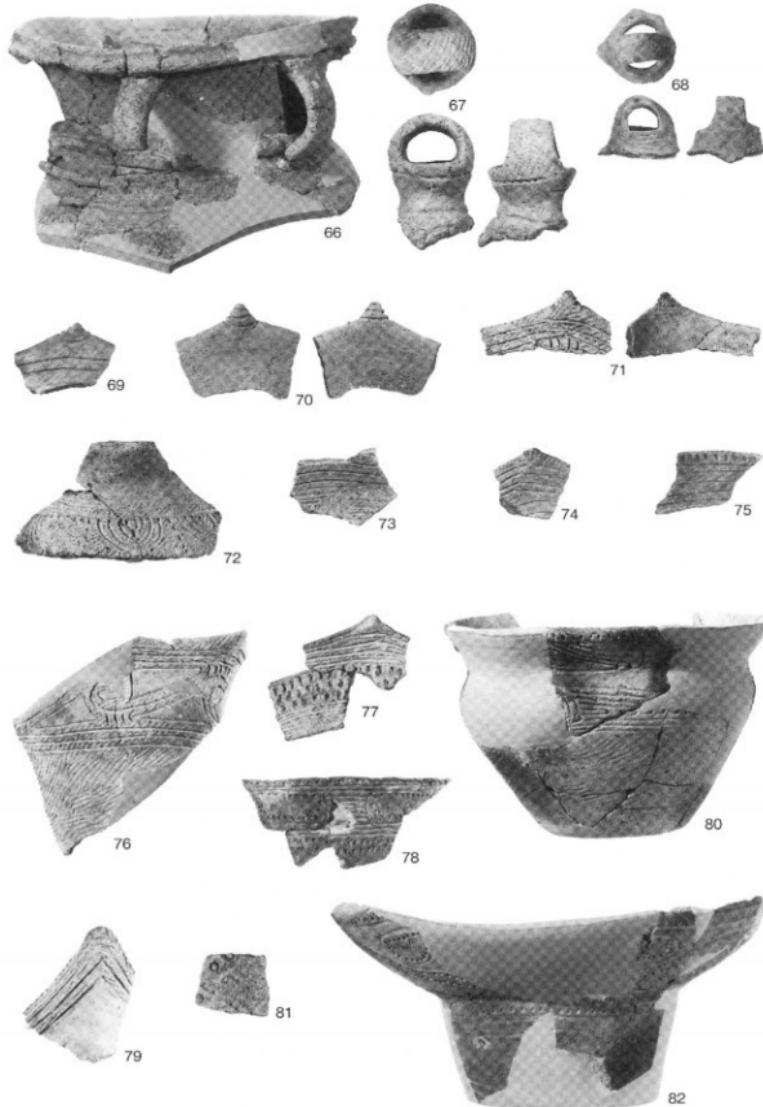
写真図版25 土器 7 (47~51)



写真図版26 土器 8 (52~58)



写真図版27 土器9 (59~65)



写真図版28 土器10 (66~82)



83



84



85



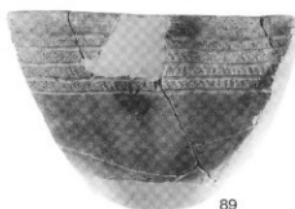
86



87



88



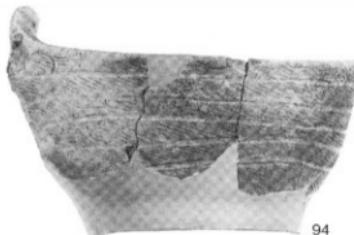
89



90



91



93

写真図版29 土器11 (83~91・94)



92



93



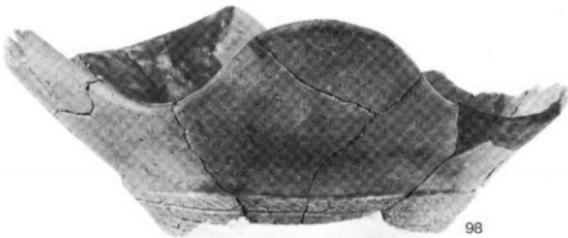
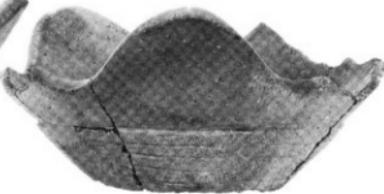
95



96

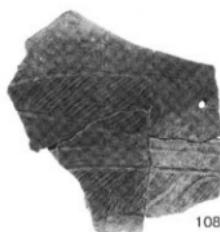
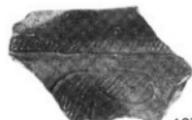


97

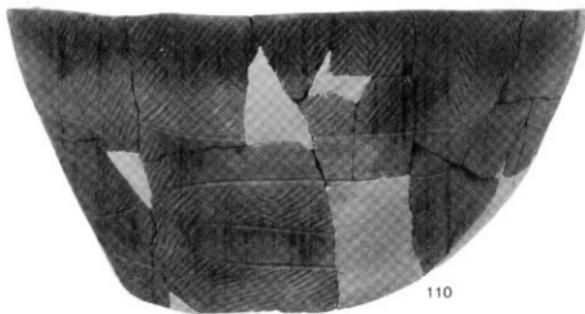


98

写真図版30 土器12 (92・93・95~98)



写真図版31 土器13 (99~109)



110

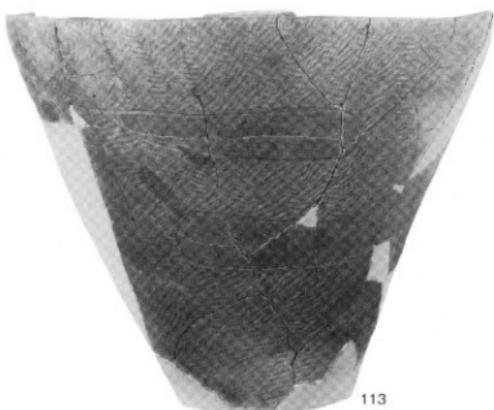


111



112

写真図版32 土器14 (110~112)



113



114

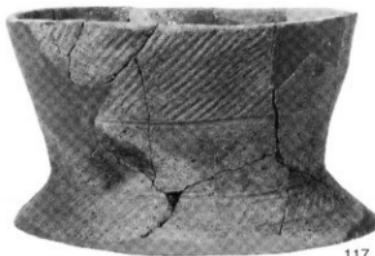
写真図版33 土器15 (113~114)



115



116



117



118



119



120

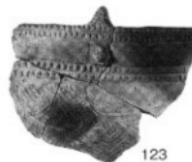
写真図版34 土器16 (115~120)



121



122



123



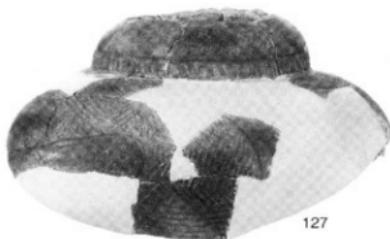
124



125



126



127



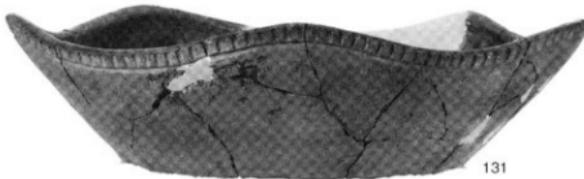
128



129

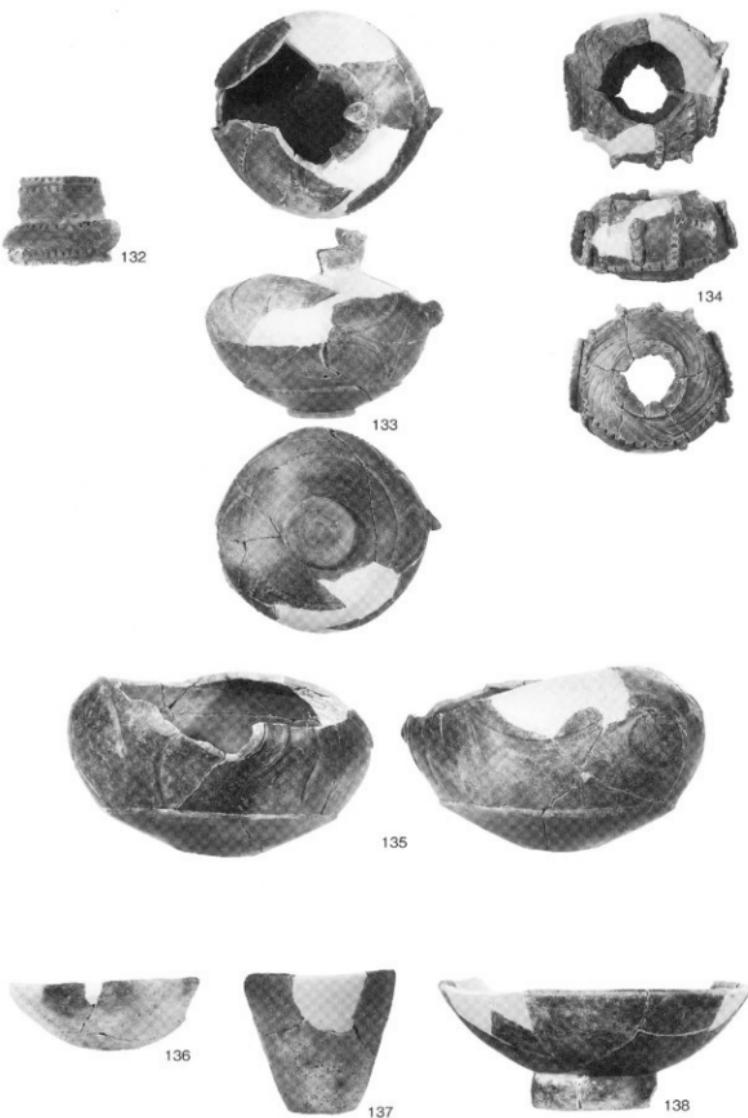


130



131

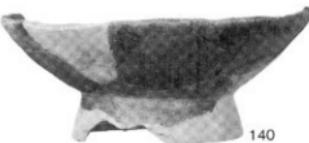
写真図版35 土器17 (121~131)



写真図版36 土器18 (132~138)



139



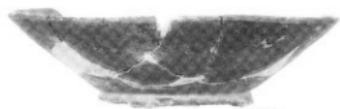
140



141



142



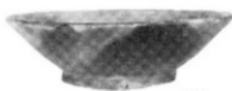
143



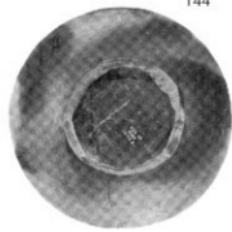
146



147



144



145



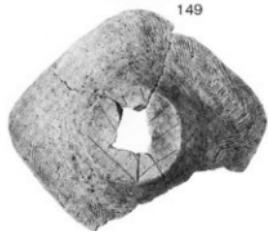
148



写真図版37 土器19 (139~148)



149



150



152



151



157



153



154



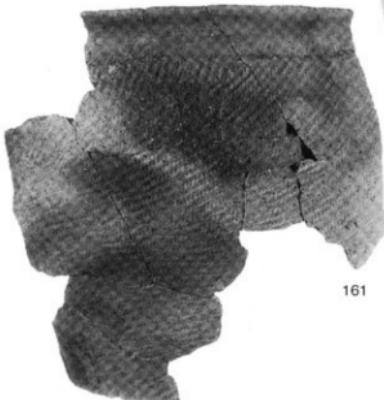
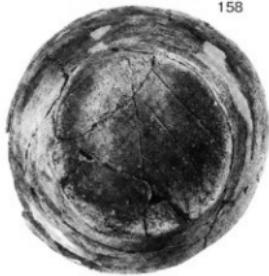
155



156



写真図版38 土器20 (149~157)



161



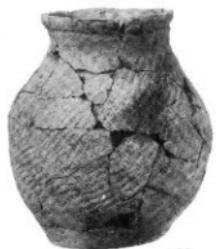
159



160



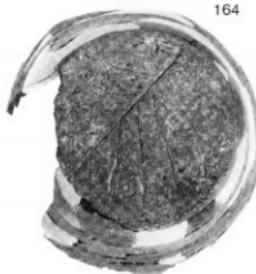
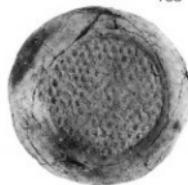
162



163



164



166



165

写真図版40 土器22 (163~166)



167



168



170



169



写真図版41 土器23 (167~170)



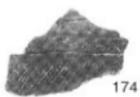
171



172



173



174

175

写真図版42 土器24 (171~175)



176



177

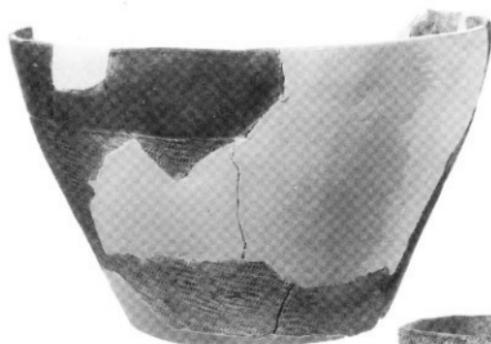


178



179

写真図版43 土器25 (176~179)



180

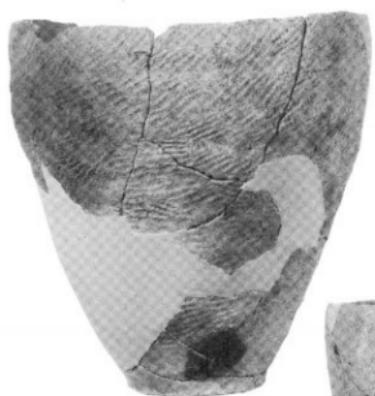


181

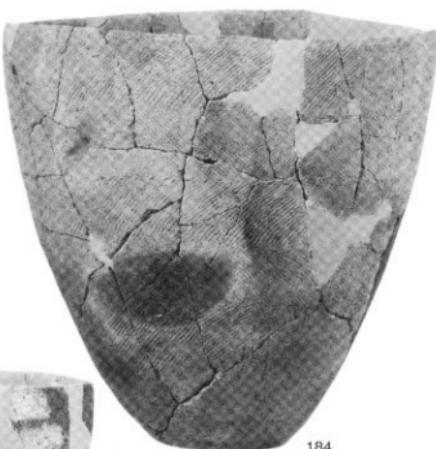


182

写真図版44 土器26 (180~182)



183



184



185

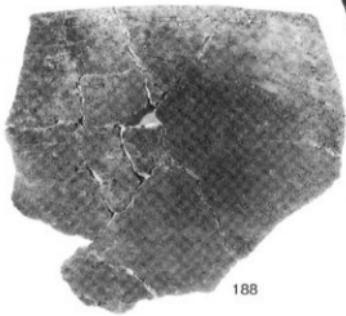
写真図版45 土器27 (183~185)



186

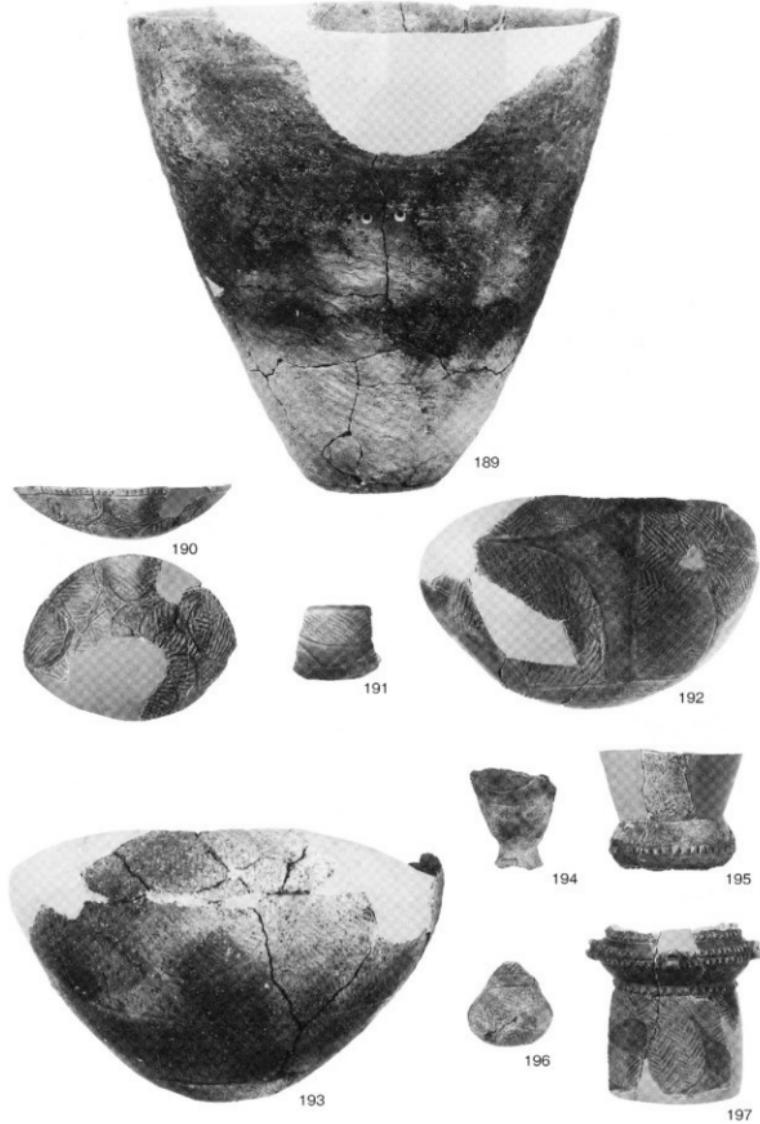


187

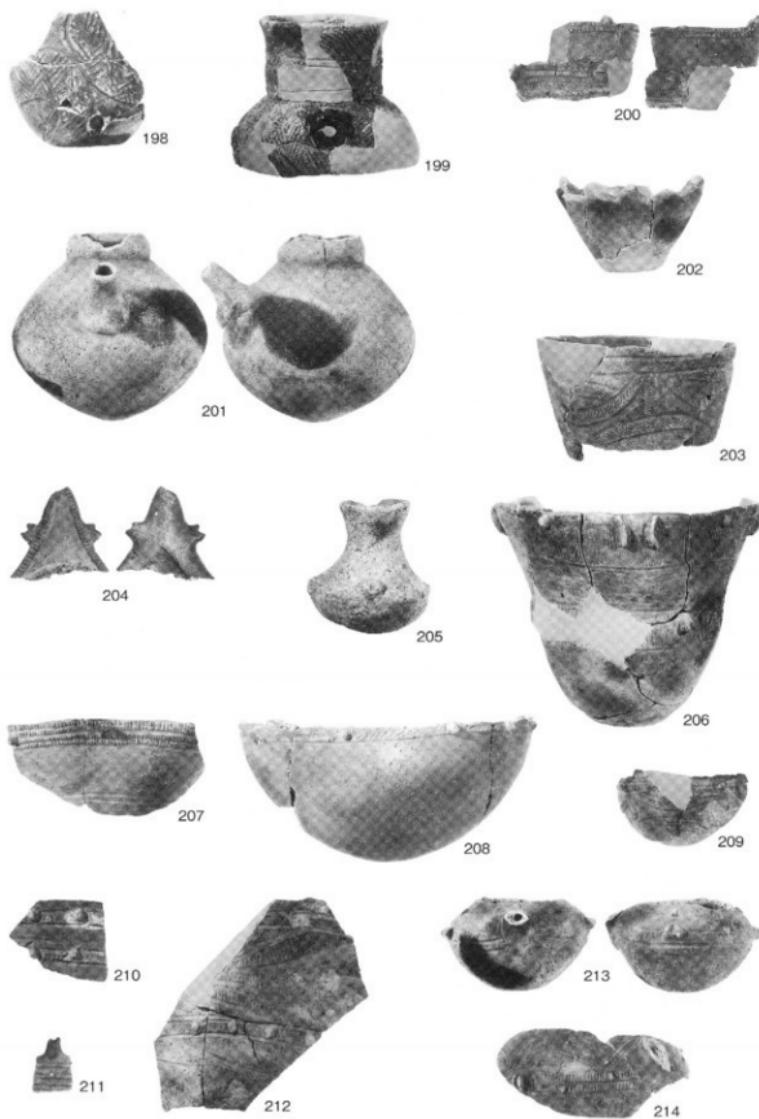


188

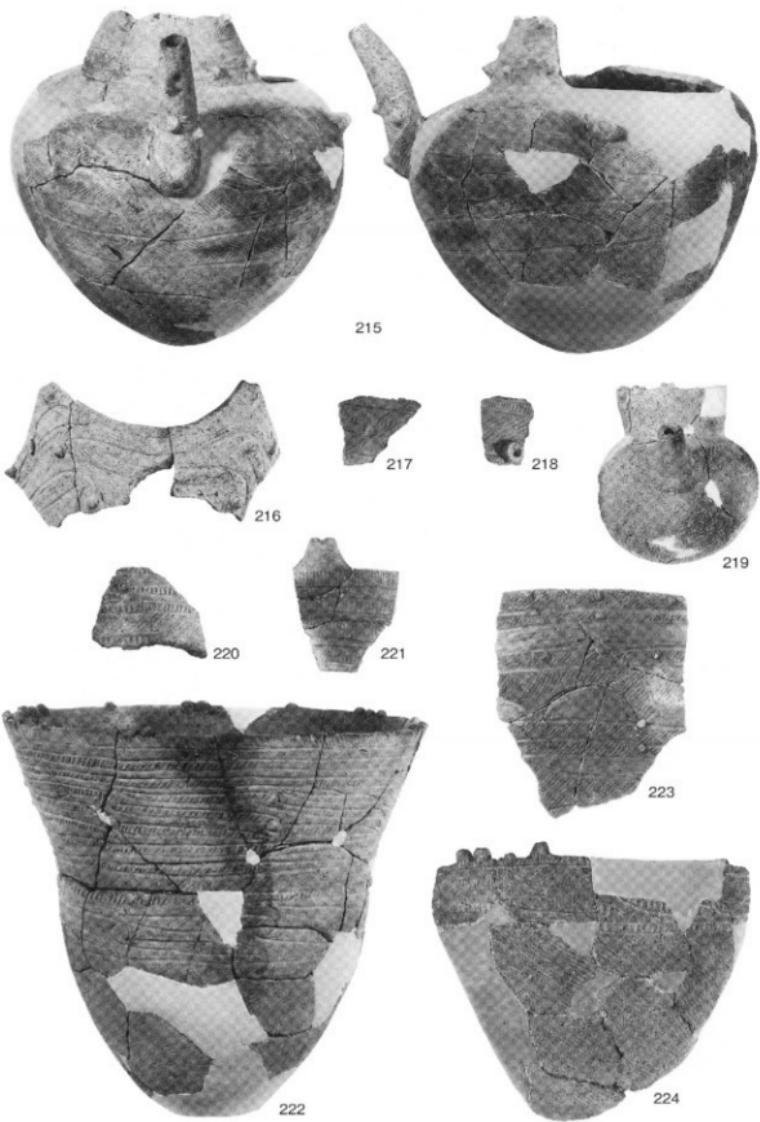
写真図版46 土器28 (186~188)



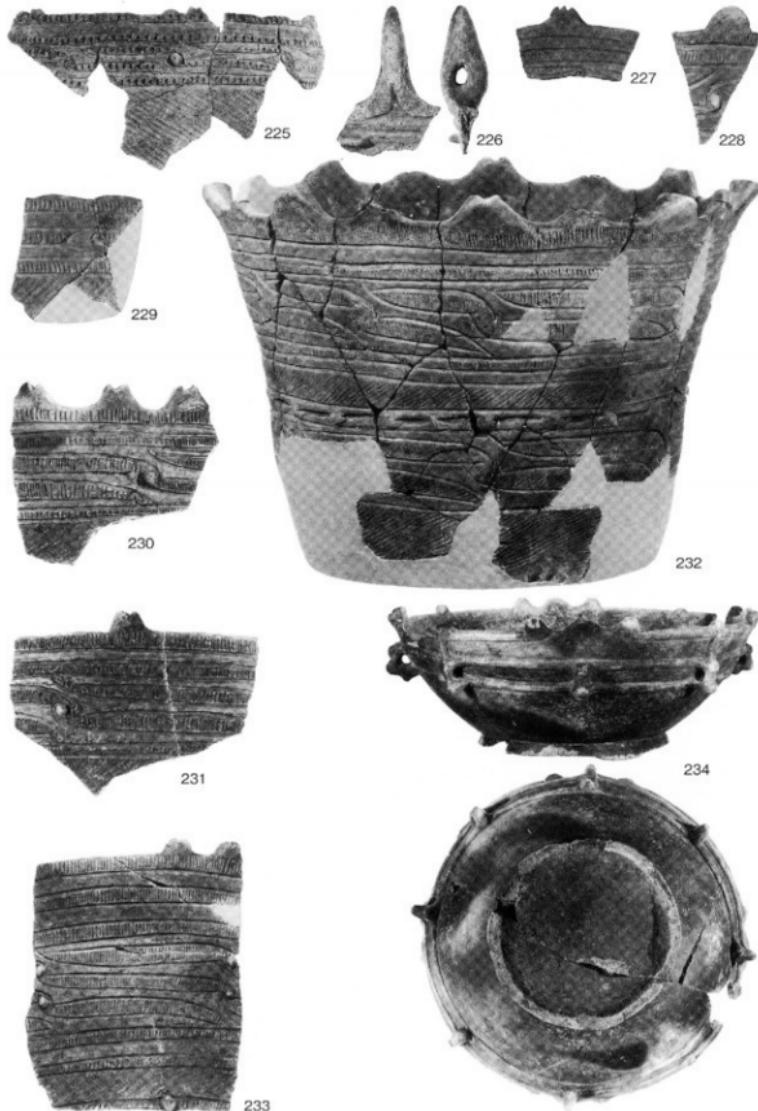
写真図版47 土器29 (189~197)



写真図版48 土器30 (198~214)



写真図版49 土器31 (215~224)



写真図版50 土器32 (225~234)



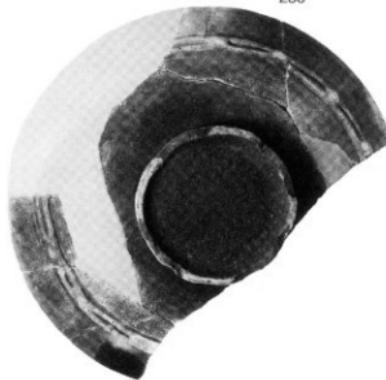
235



236



237



238



239



240



241



242

写真図版51 土器33 (235~242)



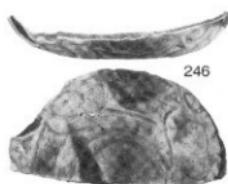
243



244



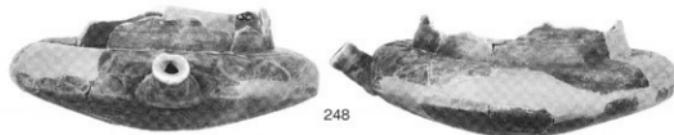
245



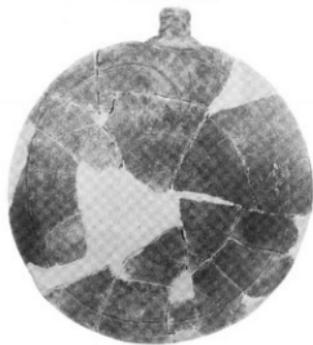
246



247



248



249



252



253



257



254



258



259



260

写真図版53 土器35 (250~260)



261



262



263



264



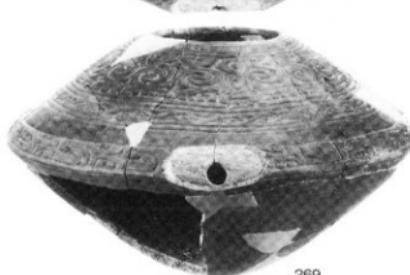
265



266



267



269

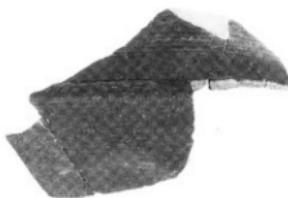
写真図版54 土器36 (261~269)



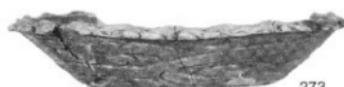
270



271



272



273



274



275



276



277

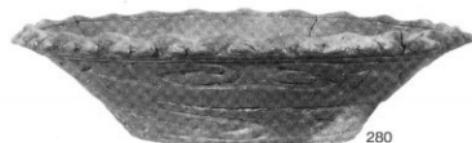


278



279

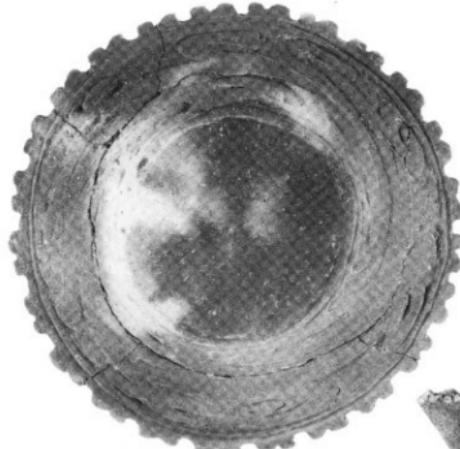
写真図版55 土器37 (270~279)



280



281



282



283



284



285



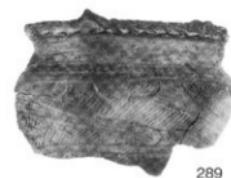
286



287

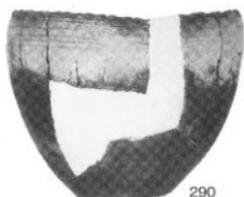


288



289

写真図版56 土器38 (280~289)



290



291



292



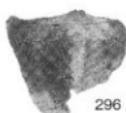
293



294



295



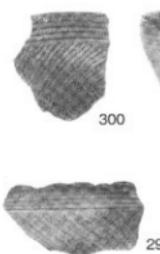
296



297

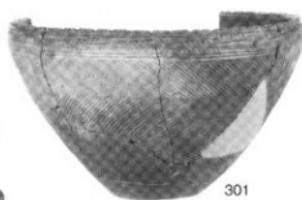


298



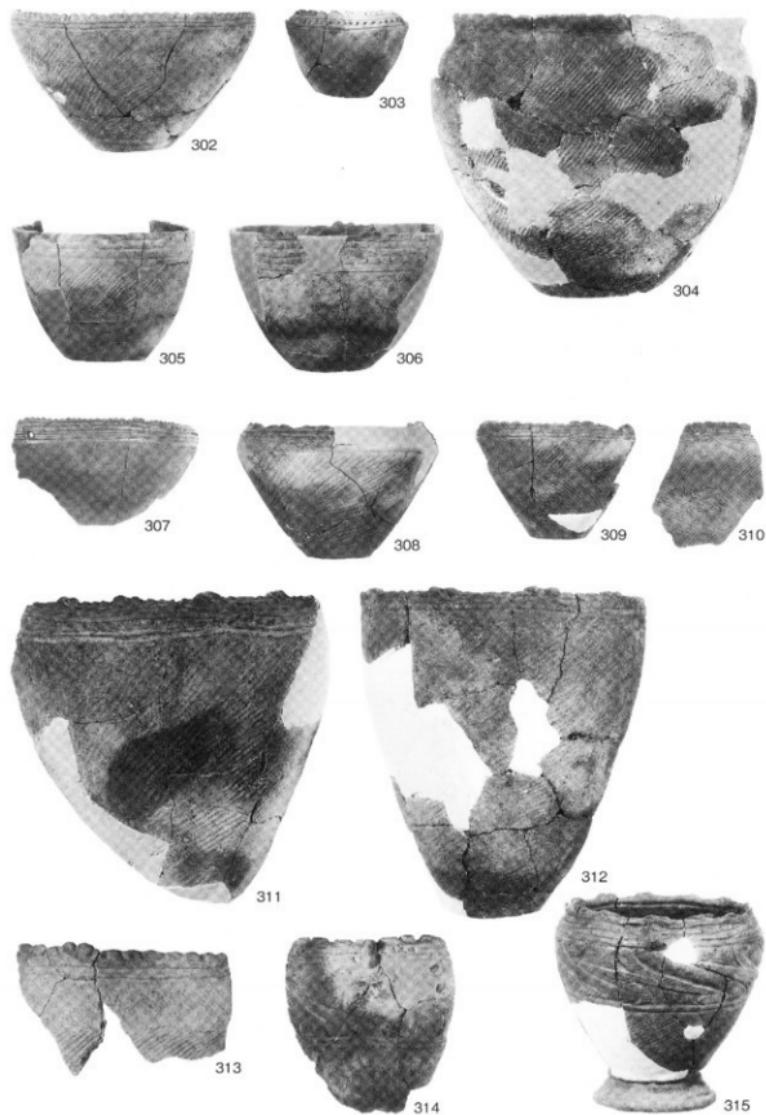
300

299

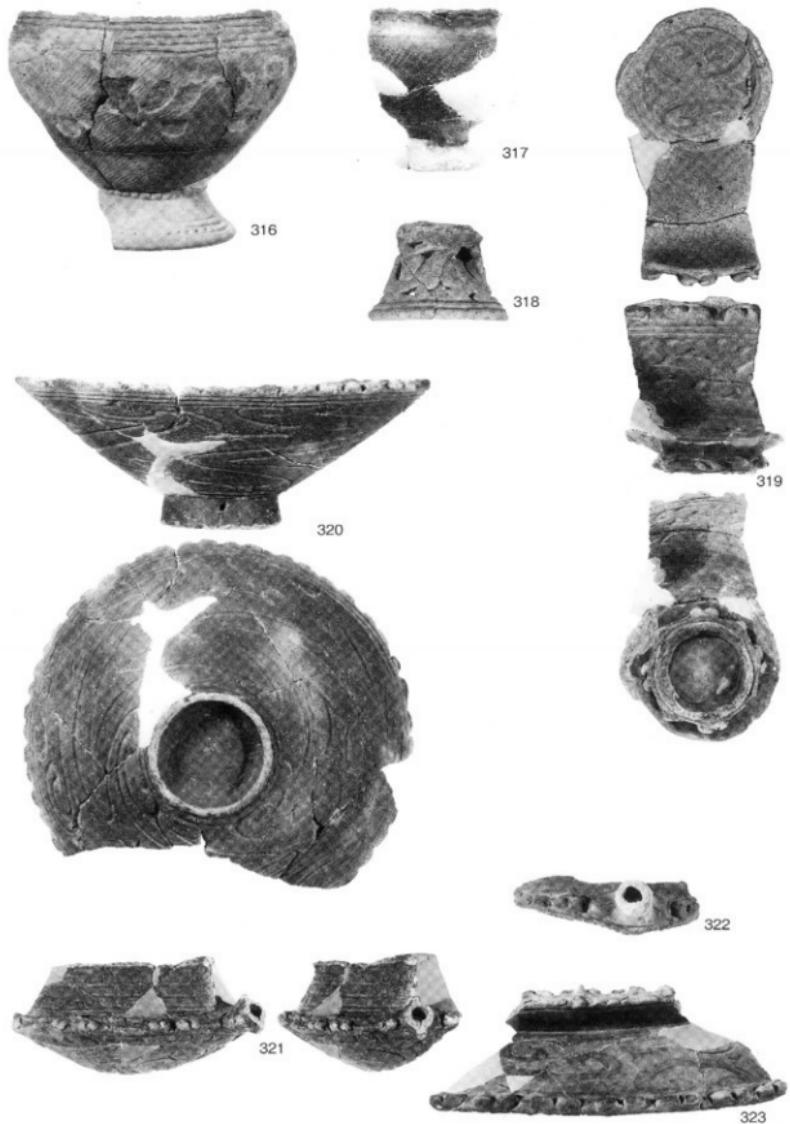


301

写真図版57 土器39 (290~301)



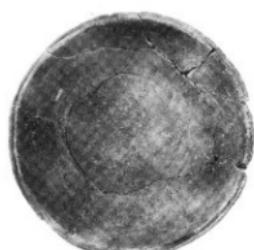
写真図版58 土器40 (302~315)



写真図版59 土器41 (316~323)



写真図版60 土器42 (324~340)



341



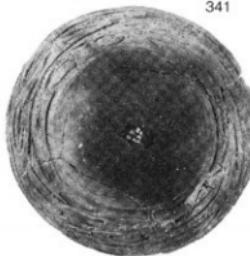
342



343



344



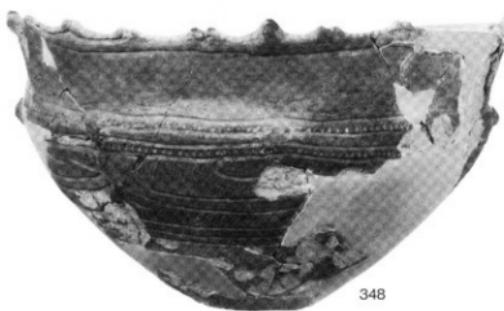
345



346



347



348

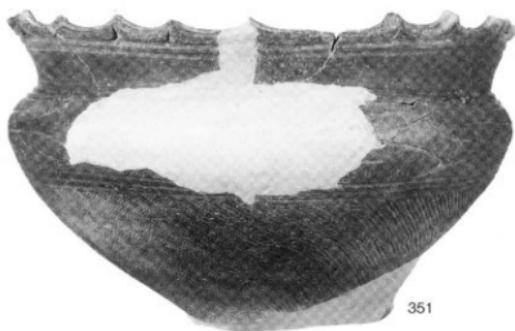


349

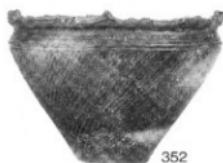


350

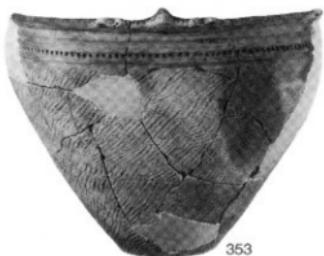
写真図版61 土器43 (341~350)



351



352



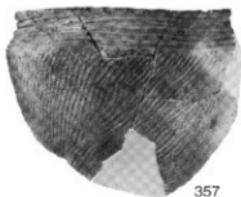
353



354



355



357



358



356

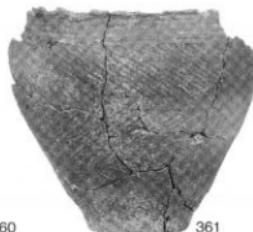
写真図版62 土器44 (351~358)



359



360



361



362



363



364



365



366



367



368



369



370



371

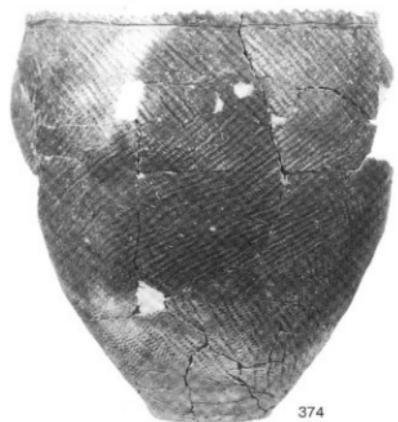


372



373

写真図版63 土器45 (359~373)



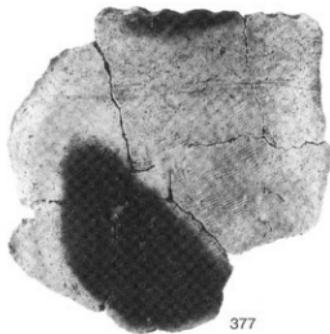
374



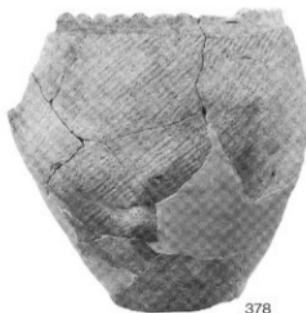
375



376



377



378



379



380



381

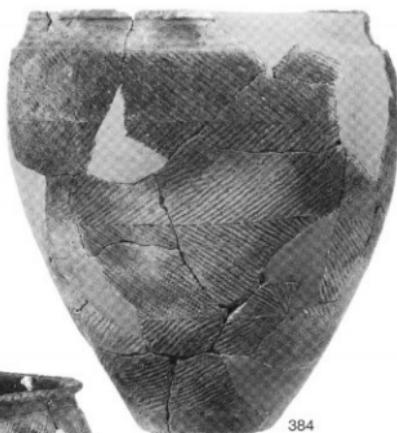


382

写真図版64 土器46 (374~382)



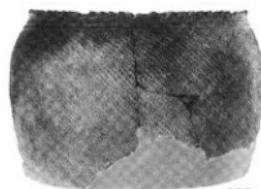
383



384



387



385



386



388



389

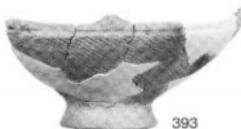


390

写真図版65 土器47 (383~390)



391



393



394



392



395



396



397

写真図版66 土器48 (391~397)



399



400



401



403



402

写真図版67 土器49 (398~403)



404



405

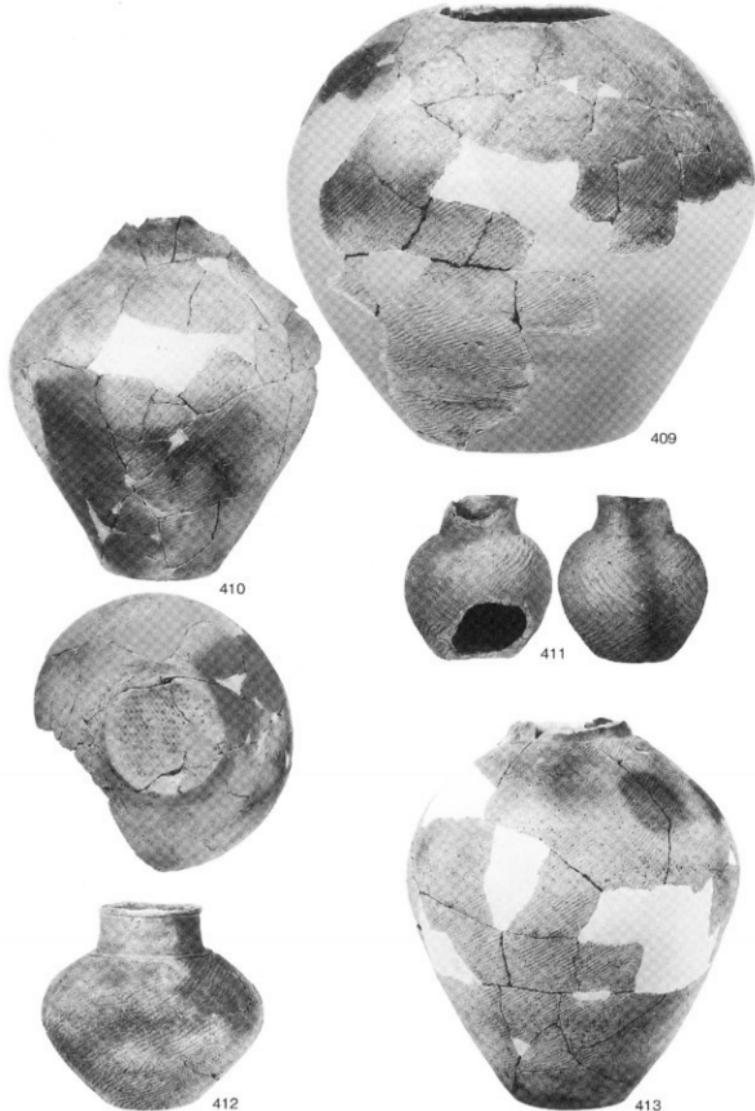


406

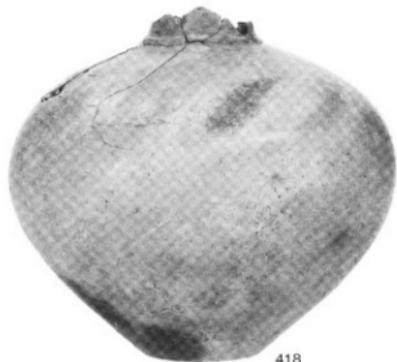


408

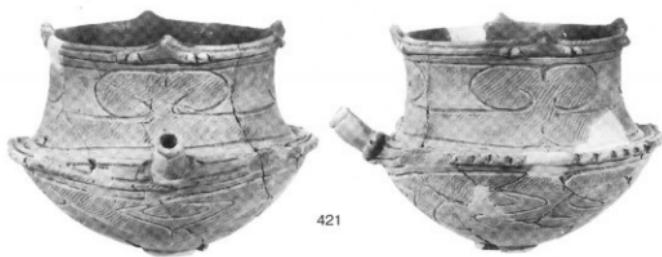
写真図版68 土器50 (404~408)



写真図版69 土器51 (409~413)



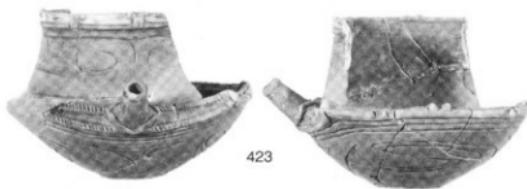
写真図版70 土器52 (414~420)



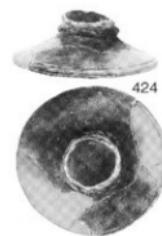
421



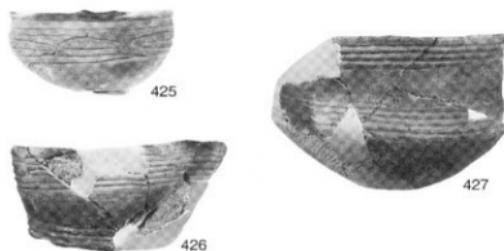
422



423



424



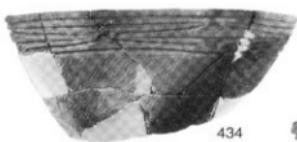
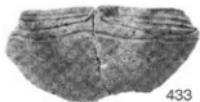
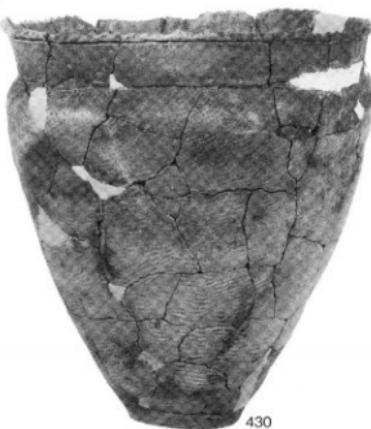
425

427

426

428

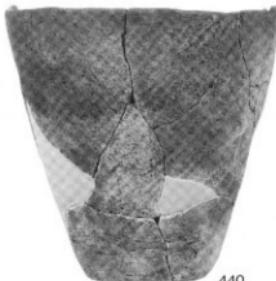
写真図版71 土器53 (421~428)



写真図版72 土器54 (429~438)



439



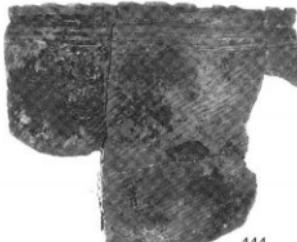
440



441



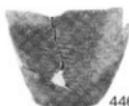
443



444



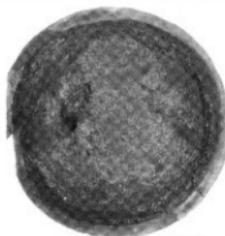
442



446



448



445



447

写真図版73 土器55 (439~448)



449



450



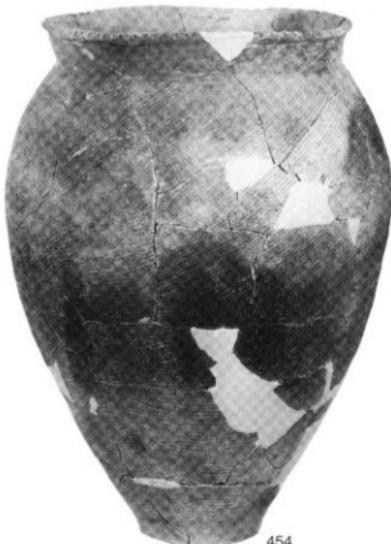
453



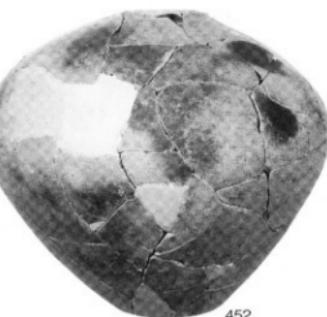
451



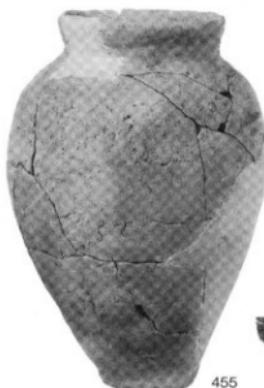
452



454



455



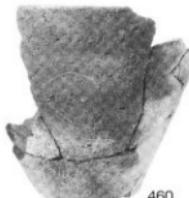
456



457



458



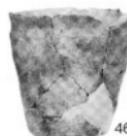
460



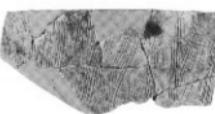
459



461



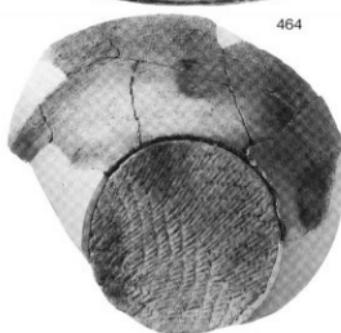
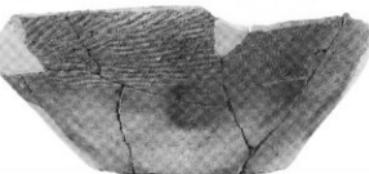
462



463



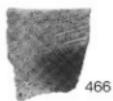
464



写真図版75 土器57 (457~464)



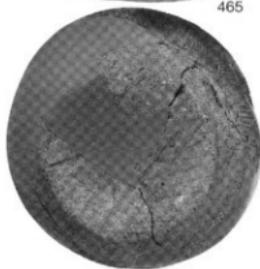
465



466



467



469



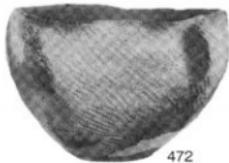
468



471



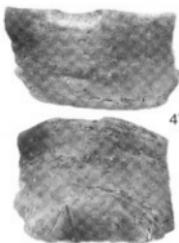
470



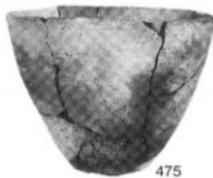
472



473



474



475

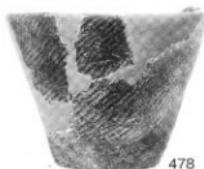


476

写真図版76 土器58 (465~476)



477



478



479



480



481



482



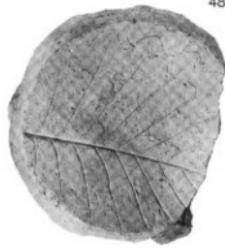
483



484



485



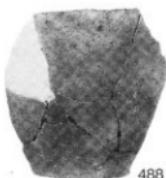
写真図版77 土器59 (477~485)



486



487



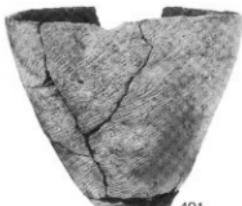
488



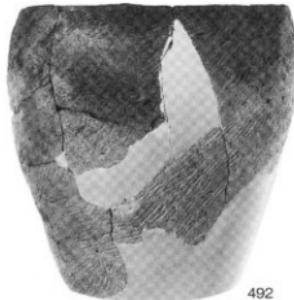
489



490



491



492



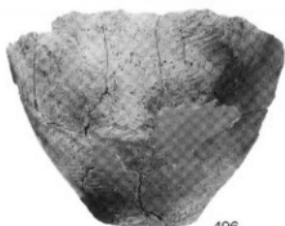
493



494



495



496

写真図版78 土器60 (486~496)



497



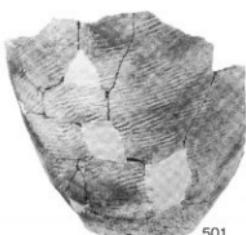
498



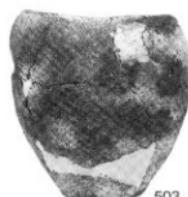
499



500



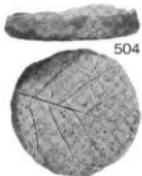
501



503



502



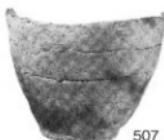
504



505



506



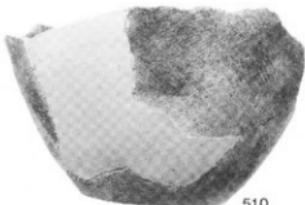
507



508



509



510

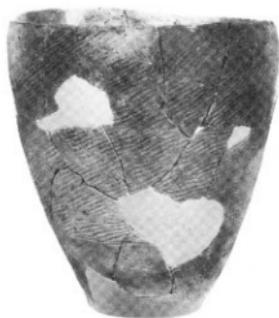


511



512

写真図版80 土器62 (506~512)



513



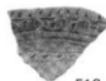
514



515



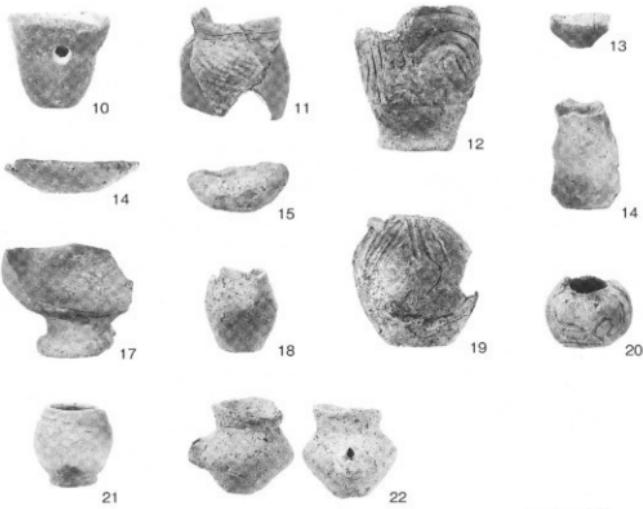
518



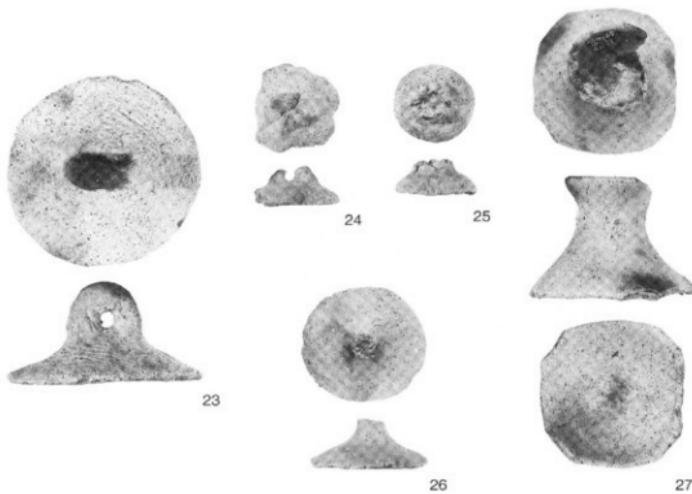
516



517

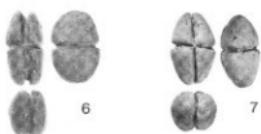


ミニチュア土器

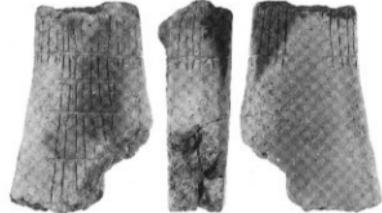


蓋形土器

写真図版82 他の土器(ミニチュア土器・蓋形土器)



土錘



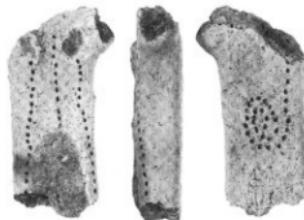
土偶



15



17



16



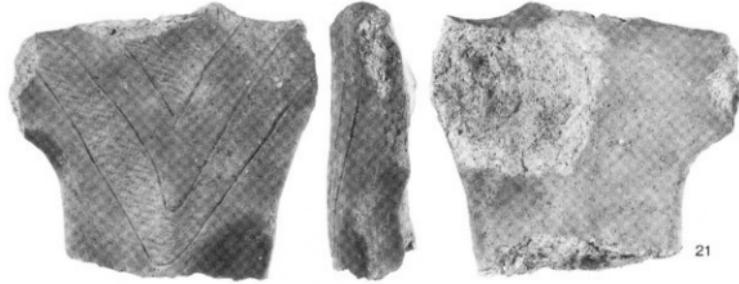
18



19



20



21



22



23

写真図版84 土製品2 土偶(2)



25



26



27



28



29



30



32



31

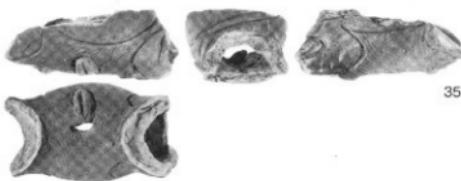


33



34

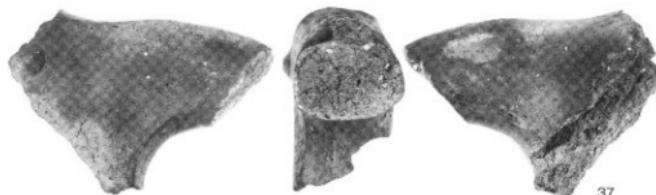
写真図版85 土製品3 土偶(3)



35



36



37



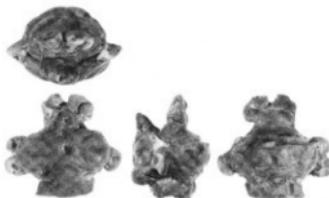
38



40



39



41



42

写真図版86 土製品4 土偶(4)



写真図版87 土製品5 土偶(5)



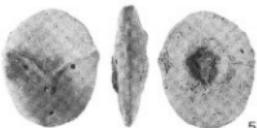
48



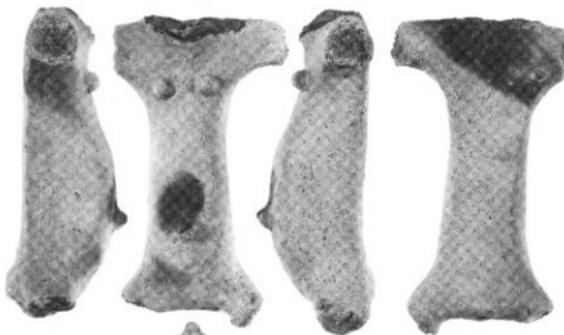
50



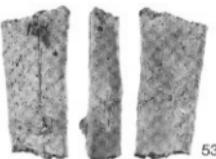
49



51



52



53

写真図版88 土製品6 土偶(6)



写真図版89 土製品7 土偶(7)



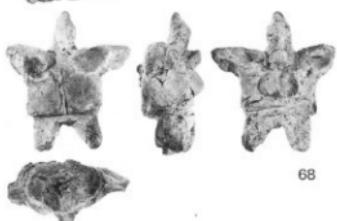
66



67



69



68



70



72

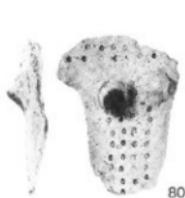


71

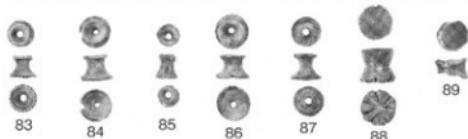


73

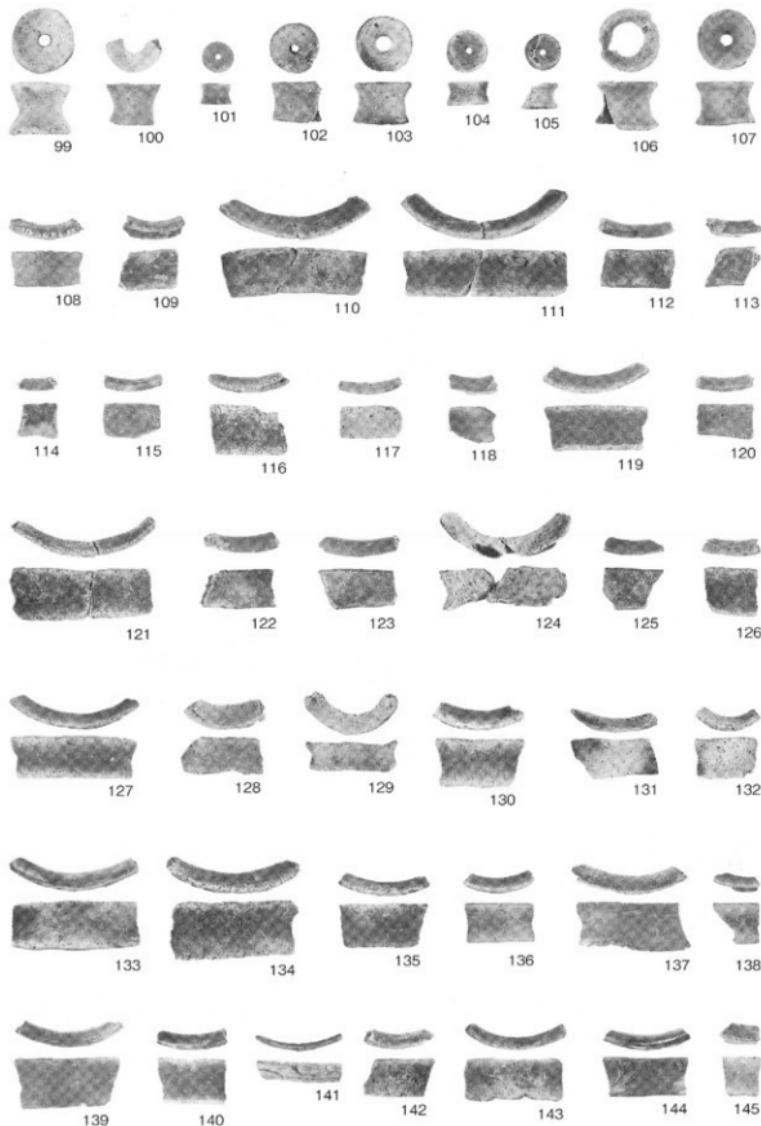
写真図版90 土製品8 土偶(8)



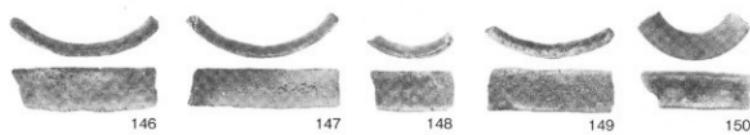
土偶



写真図版91 土製品9 土偶(9)・耳飾り(1)



写真図版92 土製品10 耳飾(2)



耳飾り

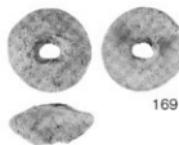
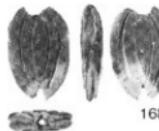
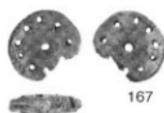


環状土製品



土製腕輪

159 160 161 163

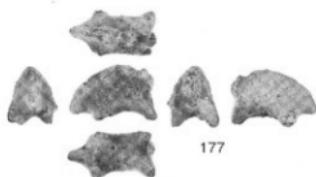


飾り玉

写真図版93 土製品11 耳飾り(3)・環状土製品・土製腕輪・飾り玉



鐸形土製品



177

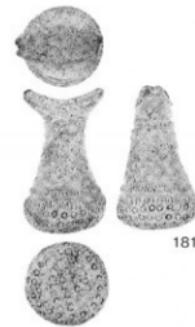


スタンプ形土製品



178

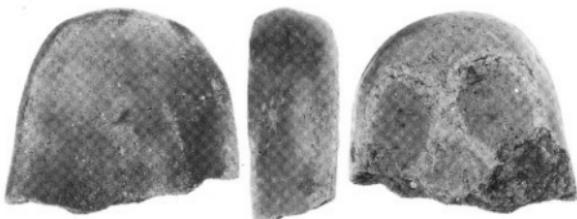
動物形土製品



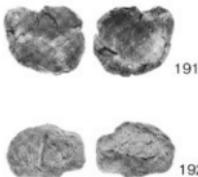
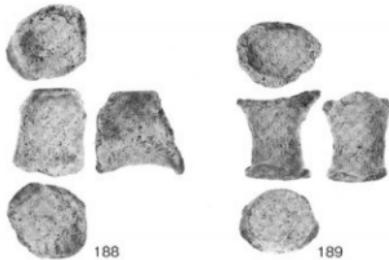
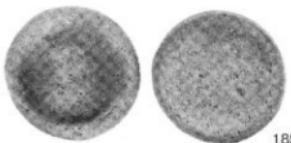
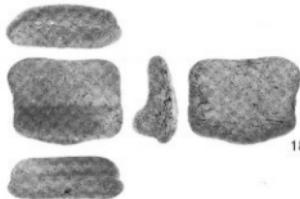
181

分銅形土製品

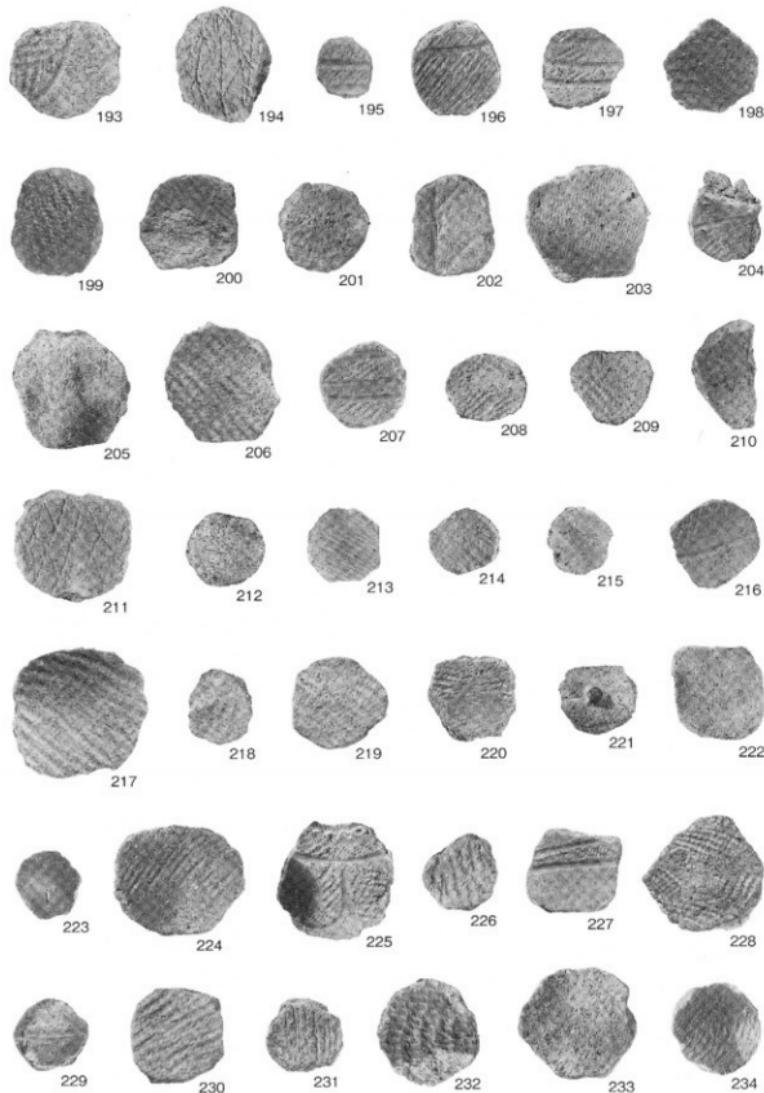
写真図版94 土製品12 鐸形土製品・スタンプ形土製品・
動物形土製品・分銅形土製品



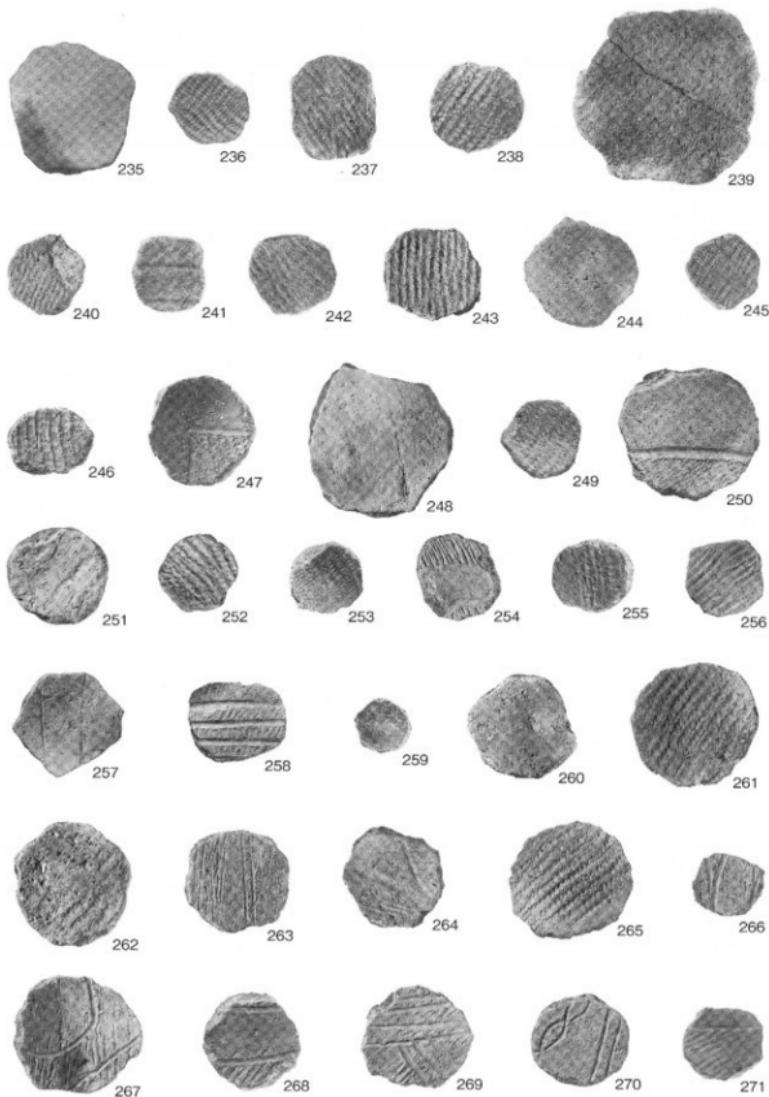
石皿形土製品



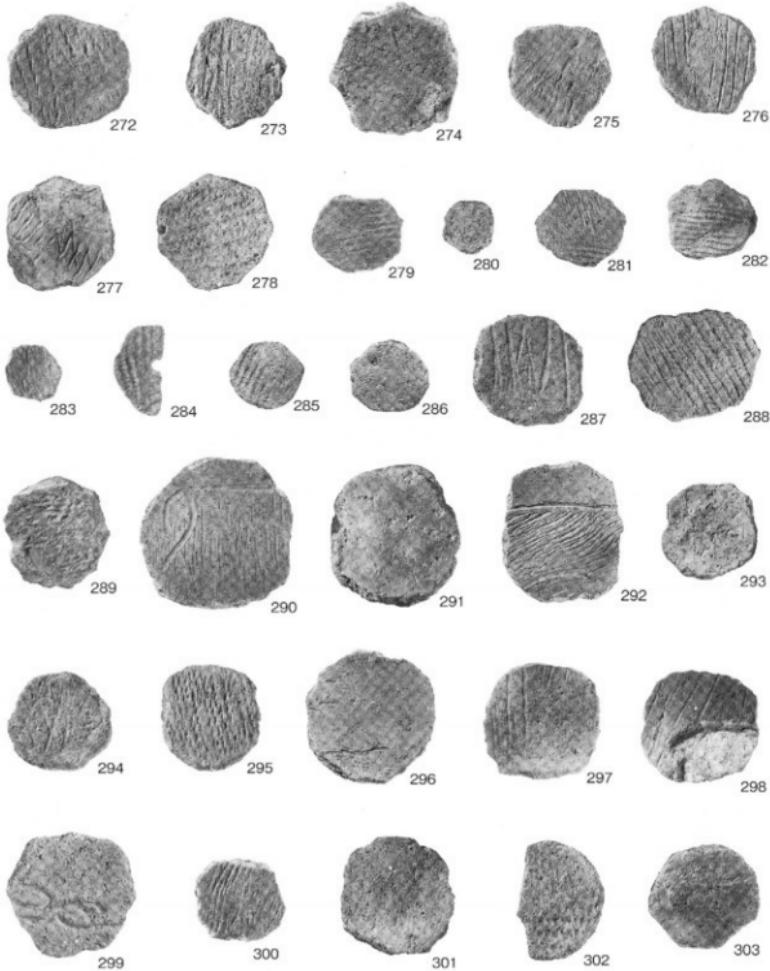
その他土製品



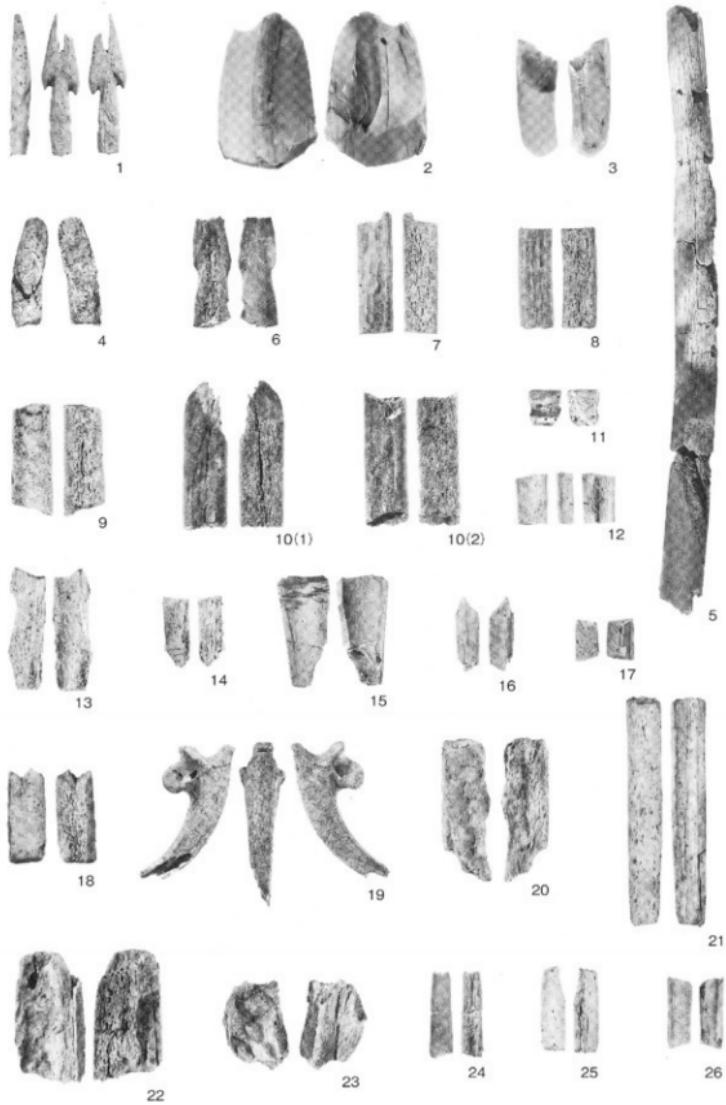
写真図版96 土製品14 円盤形土製品(1)



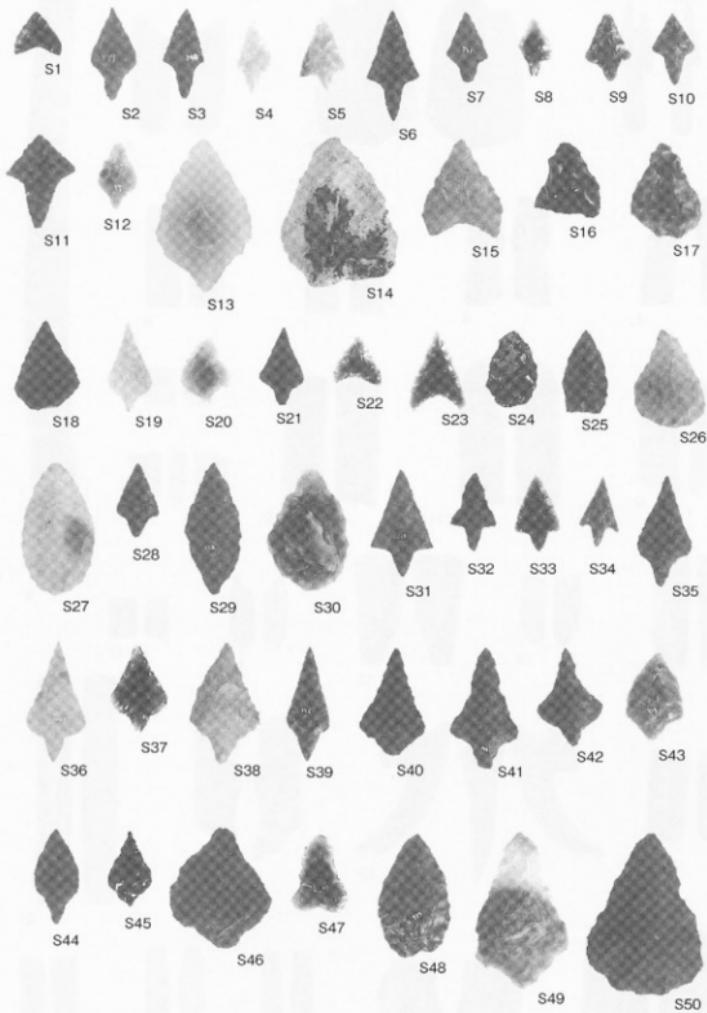
写真図版97 土製品15 円盤形土製品(2)



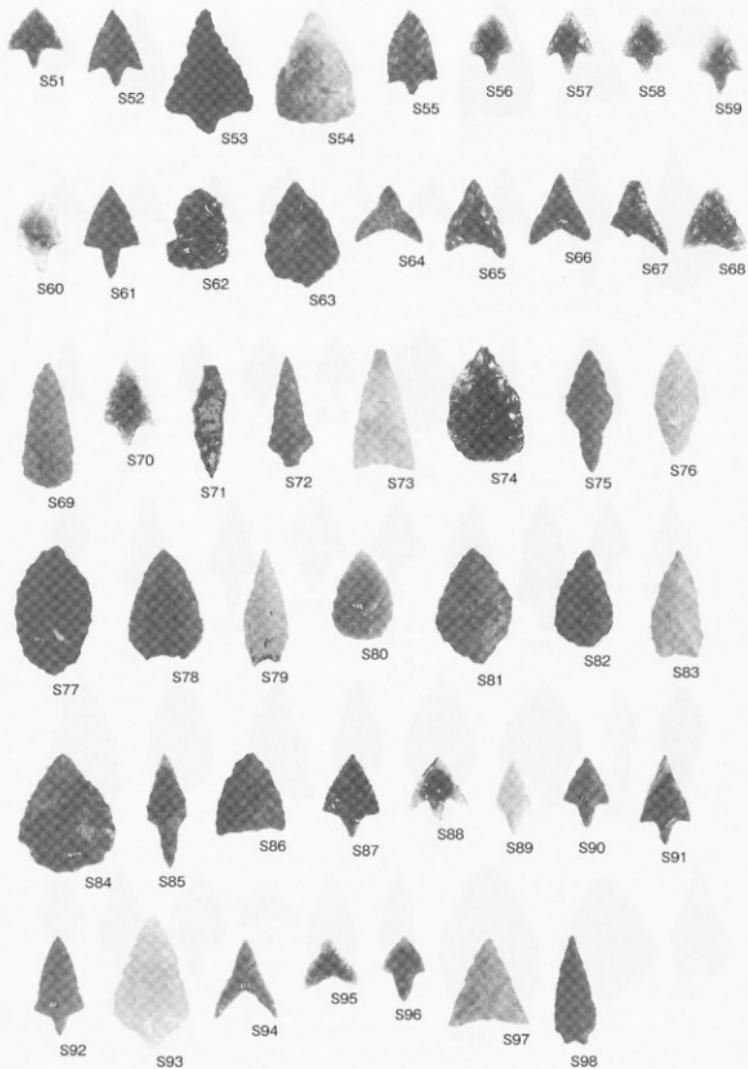
写真図版98 土製品16 円盤形土製品(3)



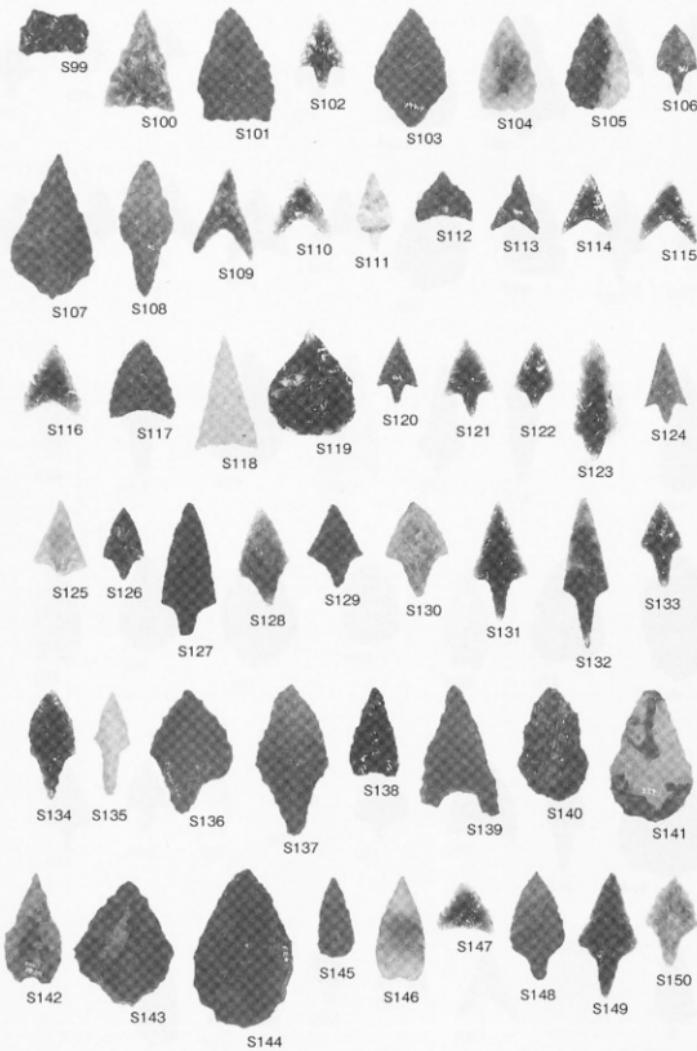
写真図版99 骨角器および未製品



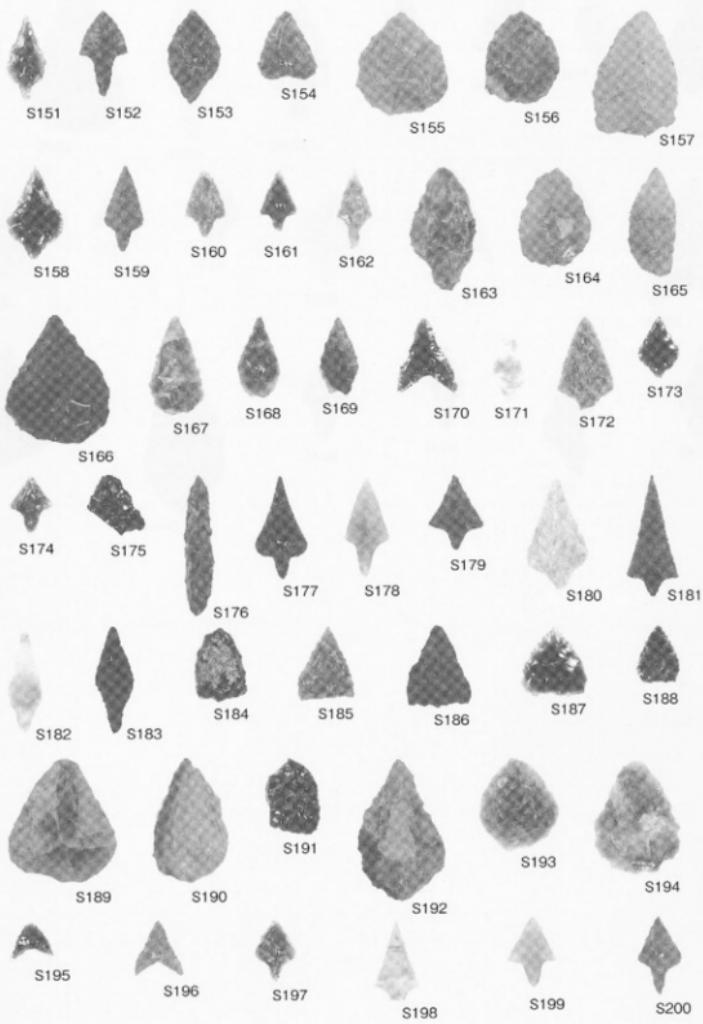
写真図版100 石鎚(1)



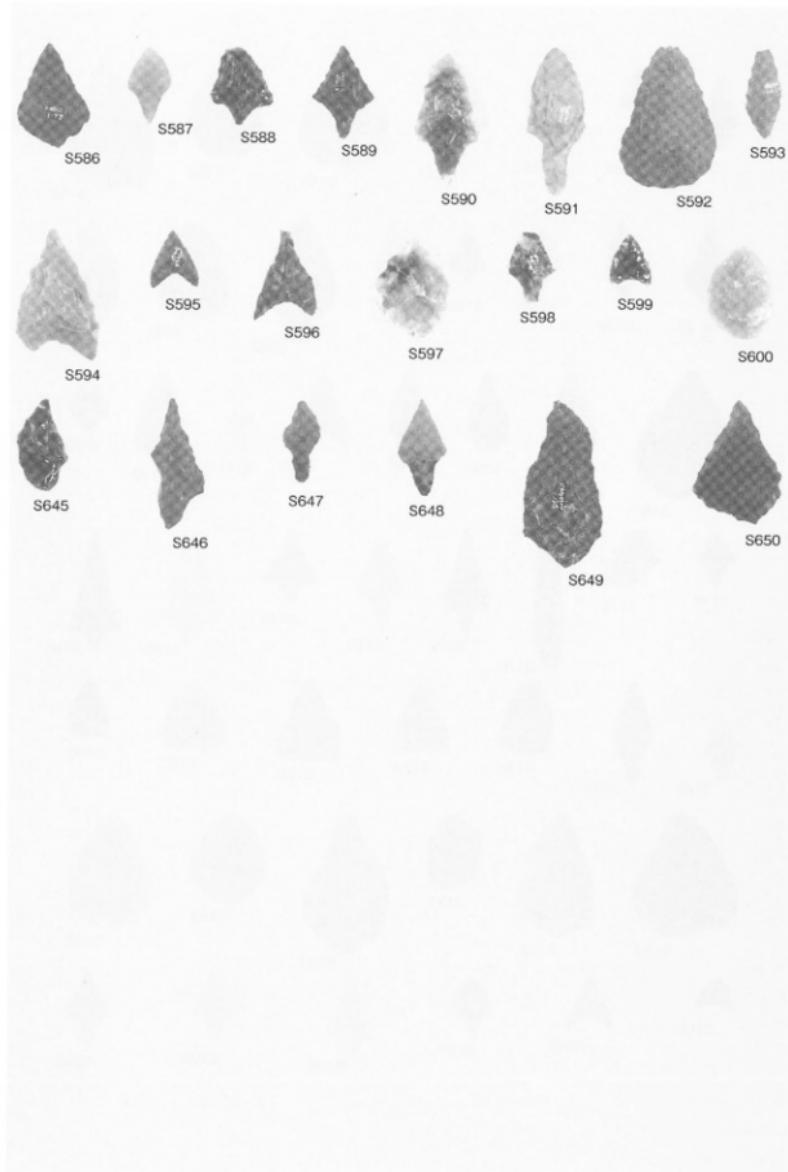
写真図版101 石鏃(2)



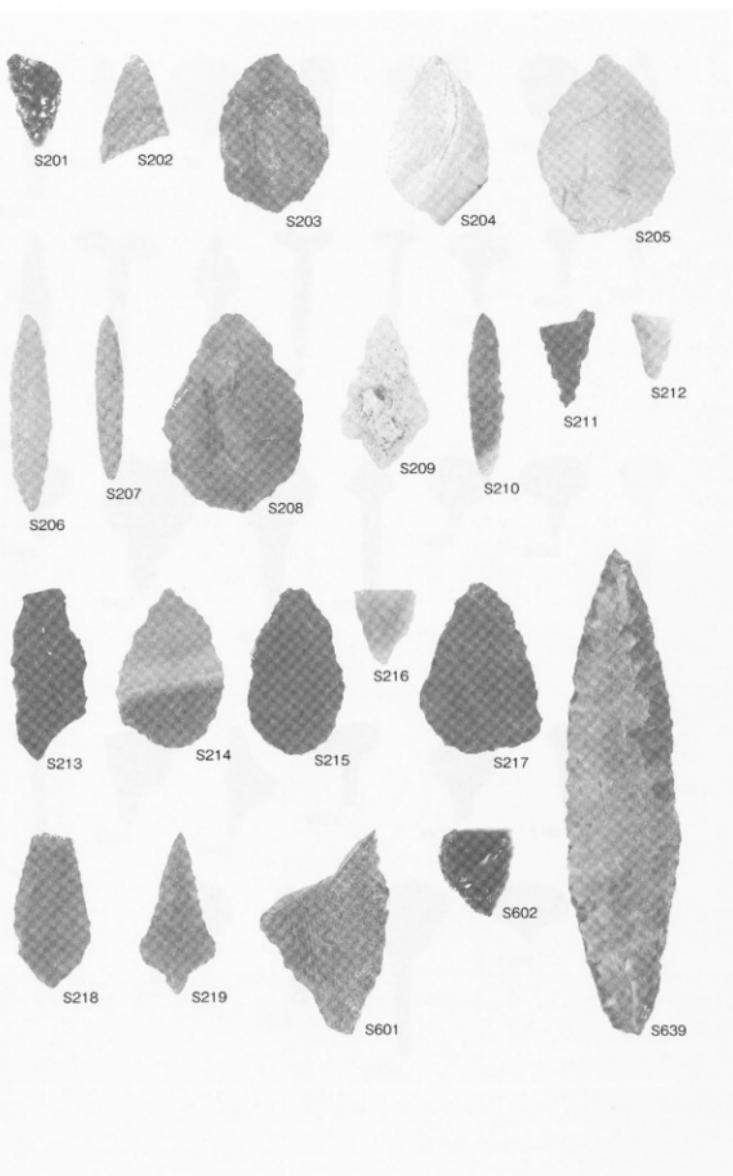
写真図版102 石鏃(3)



写真図版103 石鏃(4)



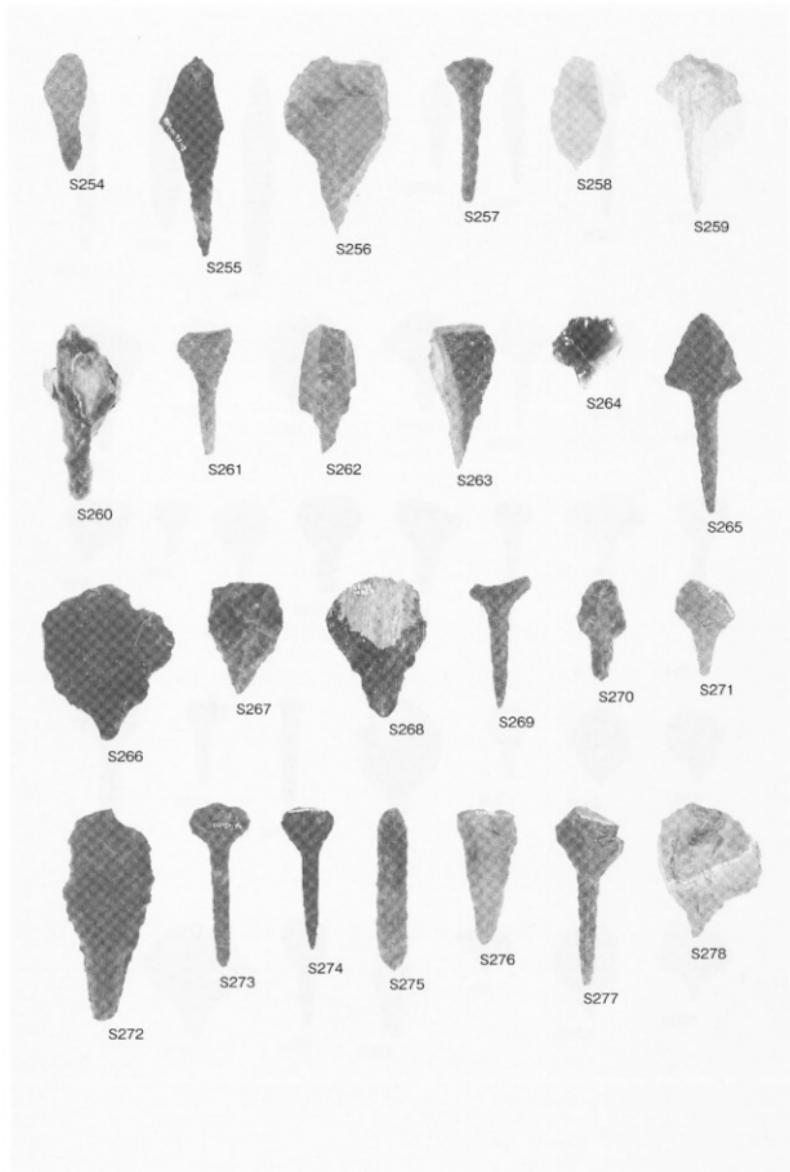
写真図版104 石鏃(5)



写真図版105 尖頭器



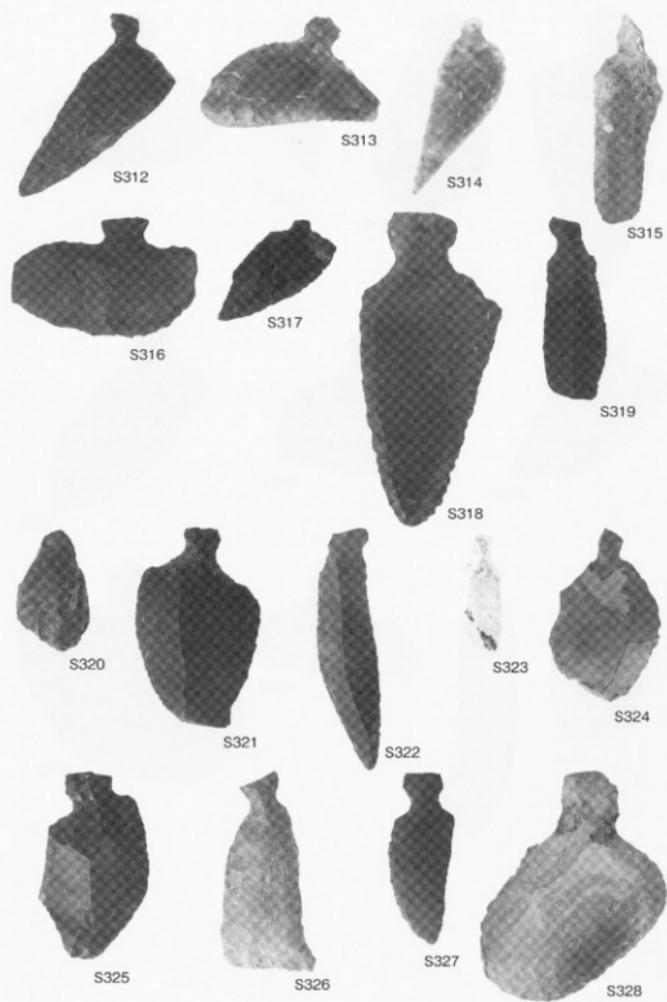
写真図版106 石錐(1)



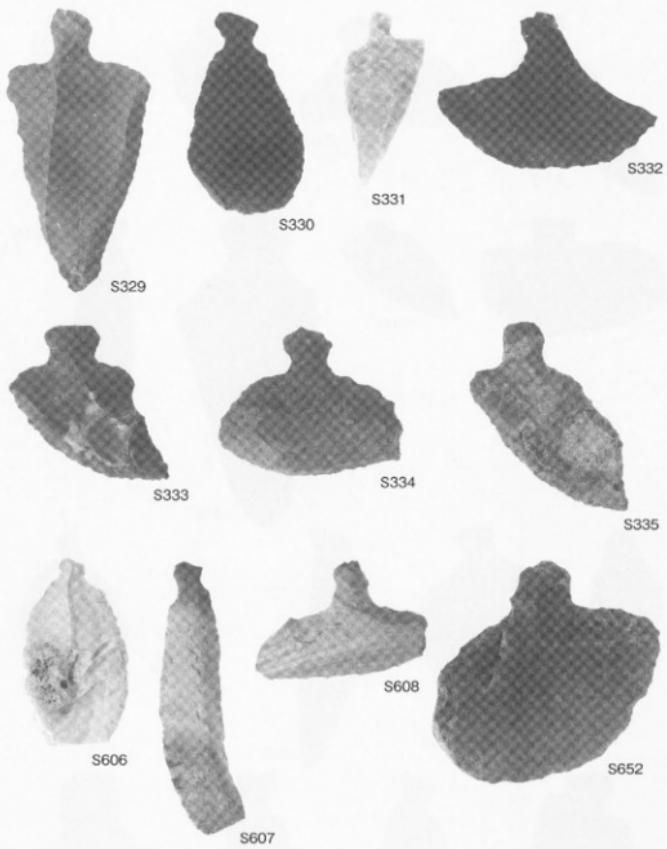
写真図版107 石錐(2)



写真図版108 石錐(3)



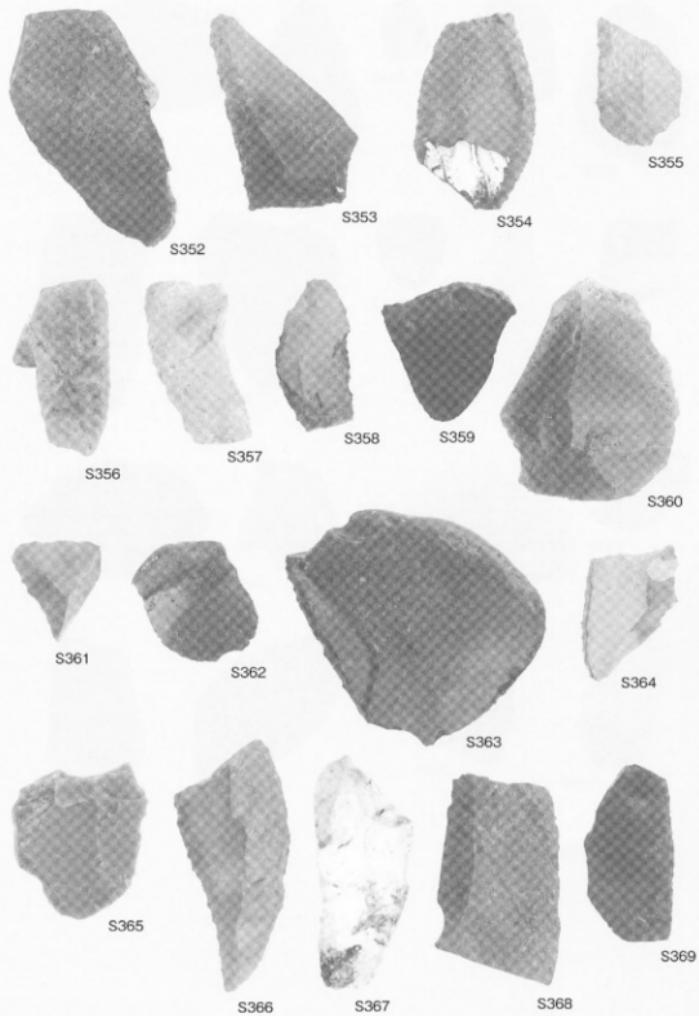
写真図版109 石匙(1)



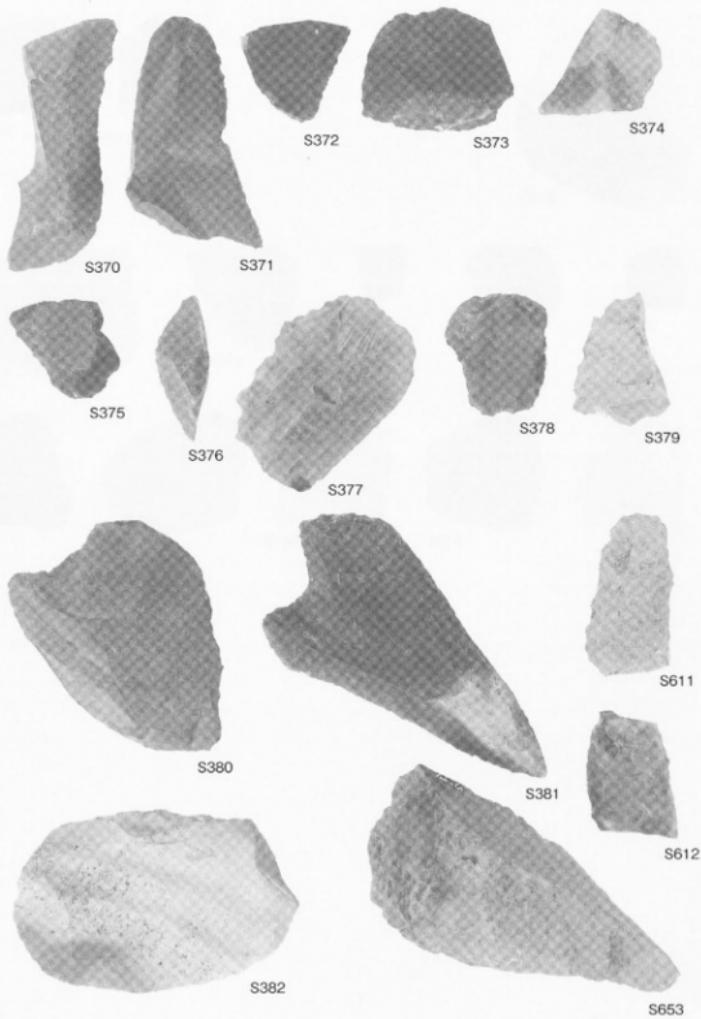
写真図版110 石匙(2)



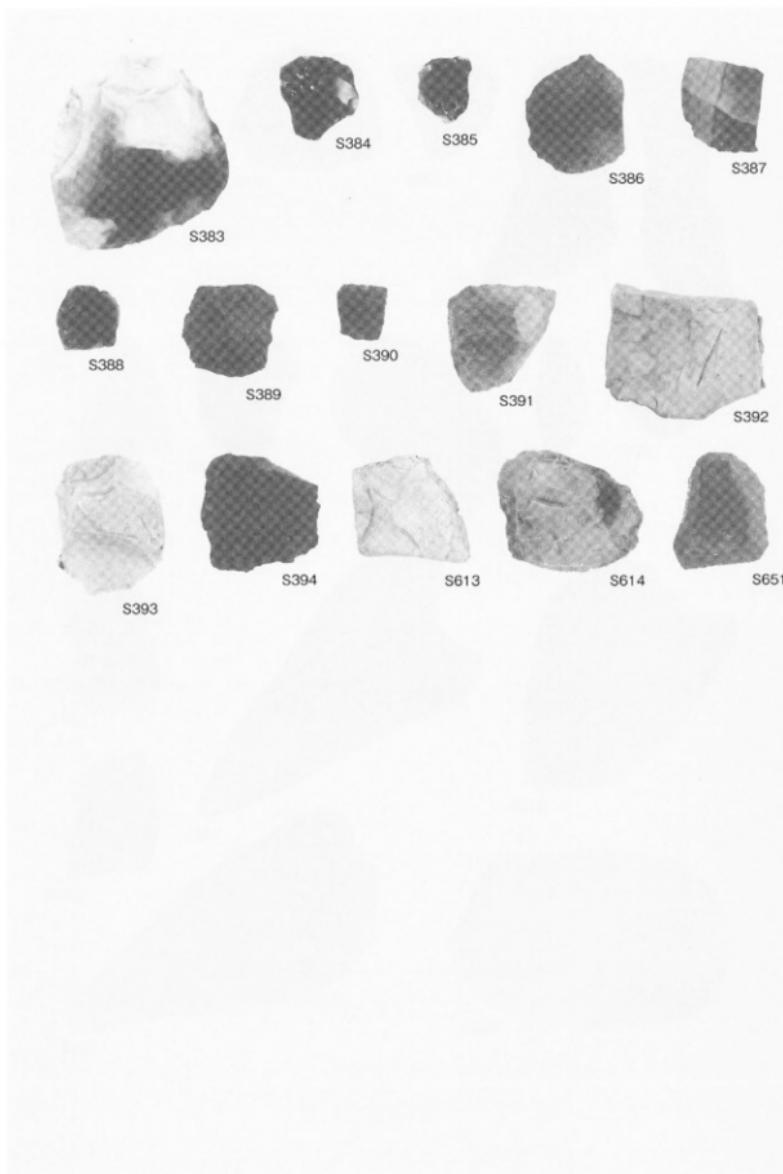
写真図版111 挖器



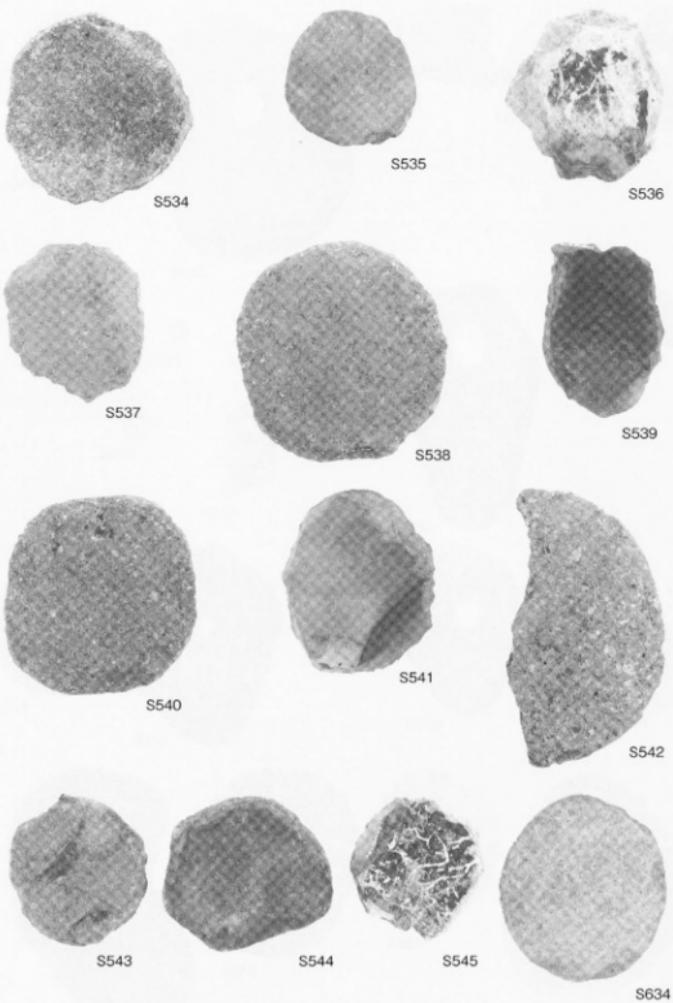
写真図版112 刮器(1)



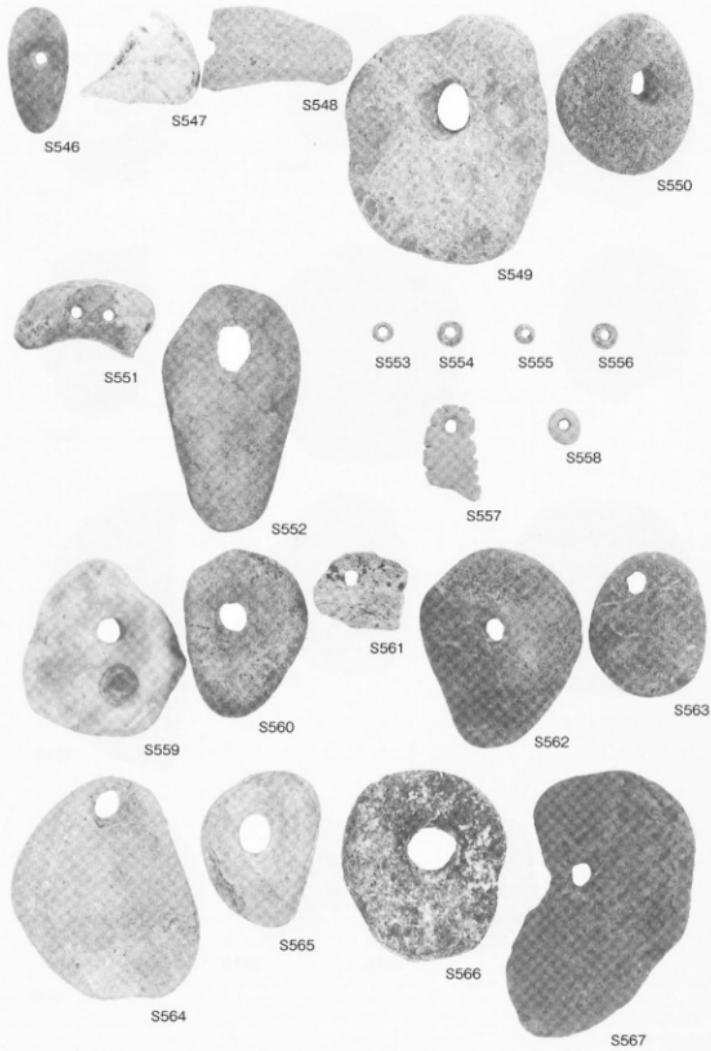
写真図版113 削器(2)



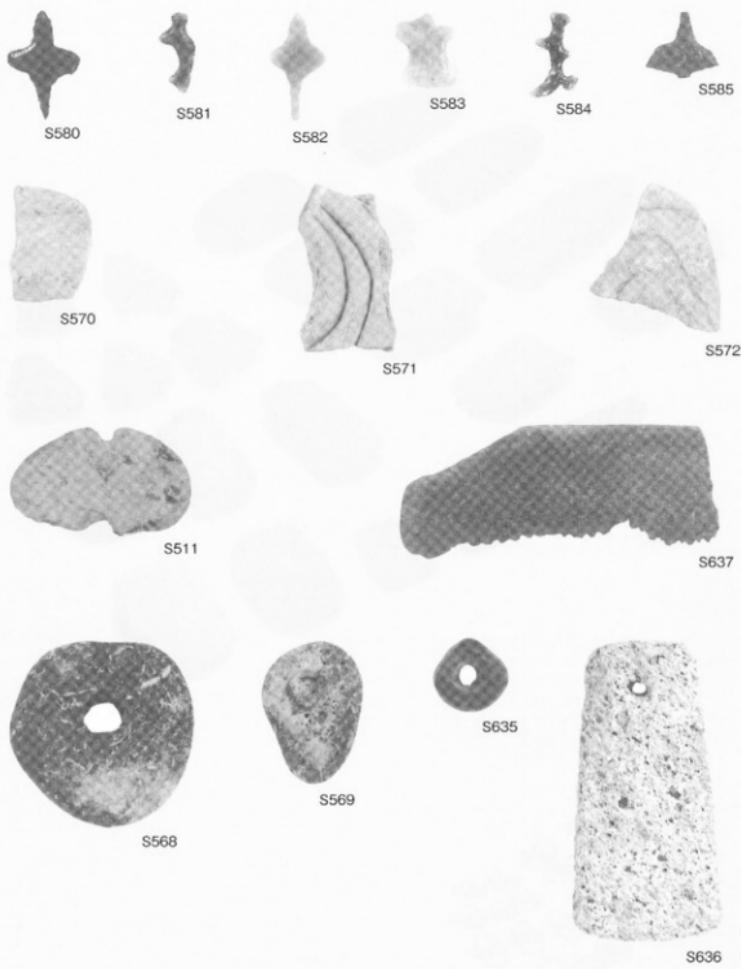
写真図版114 楕形石器



写真図版115 円盤形石器



写真図版116 有孔石器



写真図版117 異形石器、岩版、石錘、鋸齒状石器、有孔石器

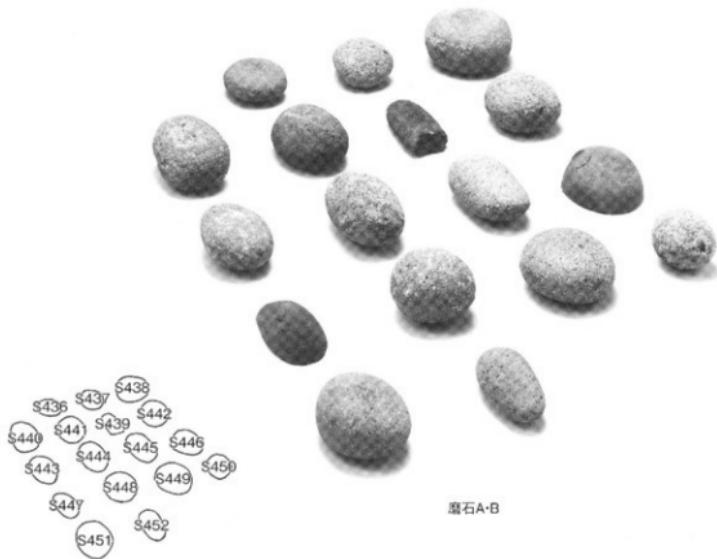


写真図版118 研製石斧(1)

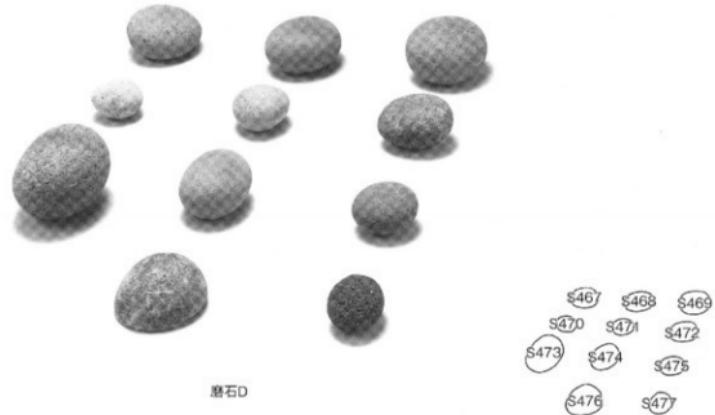
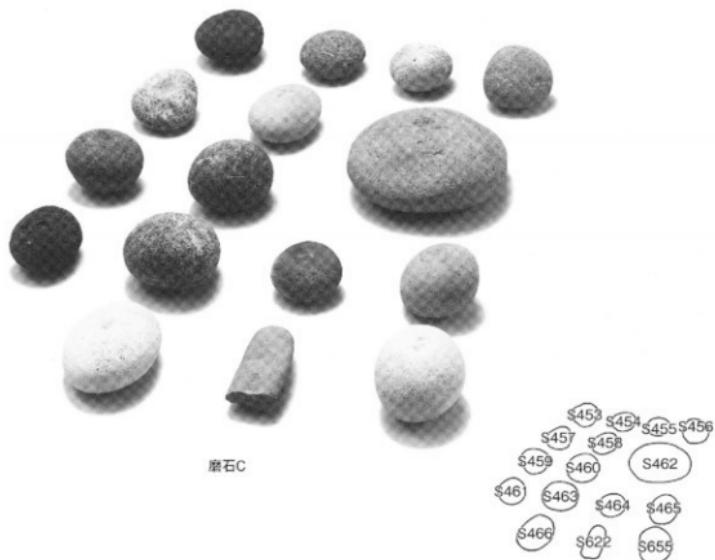


S645 S428
S412 S420 S620
S416 S414 S415 S418
S434 S615 S419 S432
S421 S617 S417
S632 S430 S619 S417
S426 S424 S428
S424 S409

写真図版119 磨製石斧(2)



写真図版120 打製石斧、台石、礫器、磨石A・磨石B



写真図版121 磨石C・磨石D



写真図版122 凹石A・凹石B、敲石



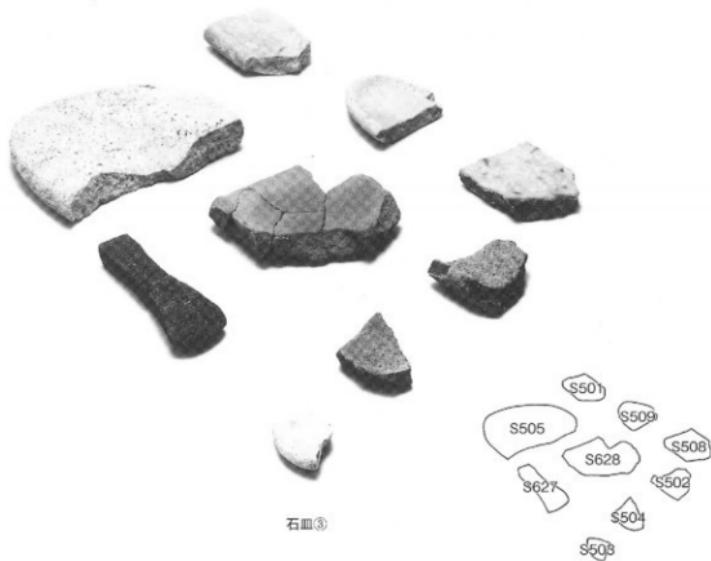
S644

石皿①

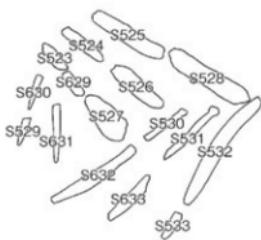


石皿②

写真図版123 石皿(1)



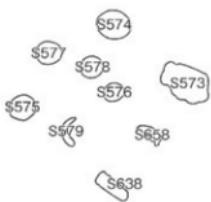
写真図版124 石皿(2)、石棒A



写真図版125 石剣、石刀、石棒B



石製品



S577 線刻

写真図版126 石製品

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第474集

河崎の柵擬定地発掘調査報告書

床上浸水対策特別対策事業関連遺跡発掘調査

(第3分冊 繩文時代編)

印 刷 平成18年2月22日

発 行 平成18年2月28日

発 行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
電話 (019) 638-9001
FAX (019) 638-8563

印 刷 株式会社 杜陵印刷
〒020-0853 岩手県盛岡市みたけ2-22-50
電話 (019) 641-8000

